制御関連編

目　　次

１.システム制御
（１）制御システムの概要 …… Ｃ－　２
（２）監視制御システム …… Ｃ－　６

２.制御機能一覧 …… Ｃ－　７

３.リモコン・コントローラーの機能 …… Ｃ－　１０

４.システムブロック図 …… Ｃ－　１５

５．警報一覧
（１）リモコンの警報一覧表（室内ユニット接続時） …… Ｃ－　２１
（２）リモコンの警報一覧表（水熱交換器ユニット接続時） …… Ｃ－　２４

６.制御機器
（１）制御機器一覧 …… Ｃ－　２６
（２）ワイヤードリモコン …… Ｃ－　２７
（３）ワイヤレスリモコン …… Ｃ－１１５
（４）昇降操作専用リモコン …… Ｃ－１５８
（５）簡単リモコン …… Ｃ－１６１
（６）スケジュールタイマー …… Ｃ－１６８
（７）システムコントローラー …… Ｃ－１７８
（８）ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー …… Ｃ－２００
（９）ｅ-ＣＵＴ機能付システムコントローラー …… Ｃ－２０７
（１０）インテリジェントコントローラー …… Ｃ－２２４
（１１）ＡＭＹアダプター …… Ｃ－２３２
（１２）室内用リレー中継基盤 …… Ｃ－２３７
（１３）室外シリパラＩ／Ｏユニット …… Ｃ－２４４
（１４）ミニシリパラＩ／Ｏユニット …… Ｃ－２６０
（１５）信号出力基盤 …… Ｃ－２６５
（１６）電磁弁出力基盤 …… Ｃ－２６８
（１７）Ｓ-ＤＤＣ …… Ｃ－２７５
（１９）ＯＮ／ＯＦＦ制御用ローカルアダプター …… Ｃ－２８０
（２０）ロンワークスインターフェース …… Ｃ－２９４
（２１）通信アダプター …… Ｃ－３０８
（２２）リモートセンサー …… Ｃ－３１７
（２３）運転表示ランプキット …… Ｃ－３２０
（２４）遠隔監視アダプター …… Ｃ－３２４
（２５）Ｐ－ＡＩＭＳ …… Ｃ－３６８
（２６）チラーリモコン …… Ｃ－３８３
（２７）チラーコントローラー …… Ｃ－４２９
（２８）ＲＡＣローカルアダプター …… Ｃ－４４６

（１）制御システムの概要

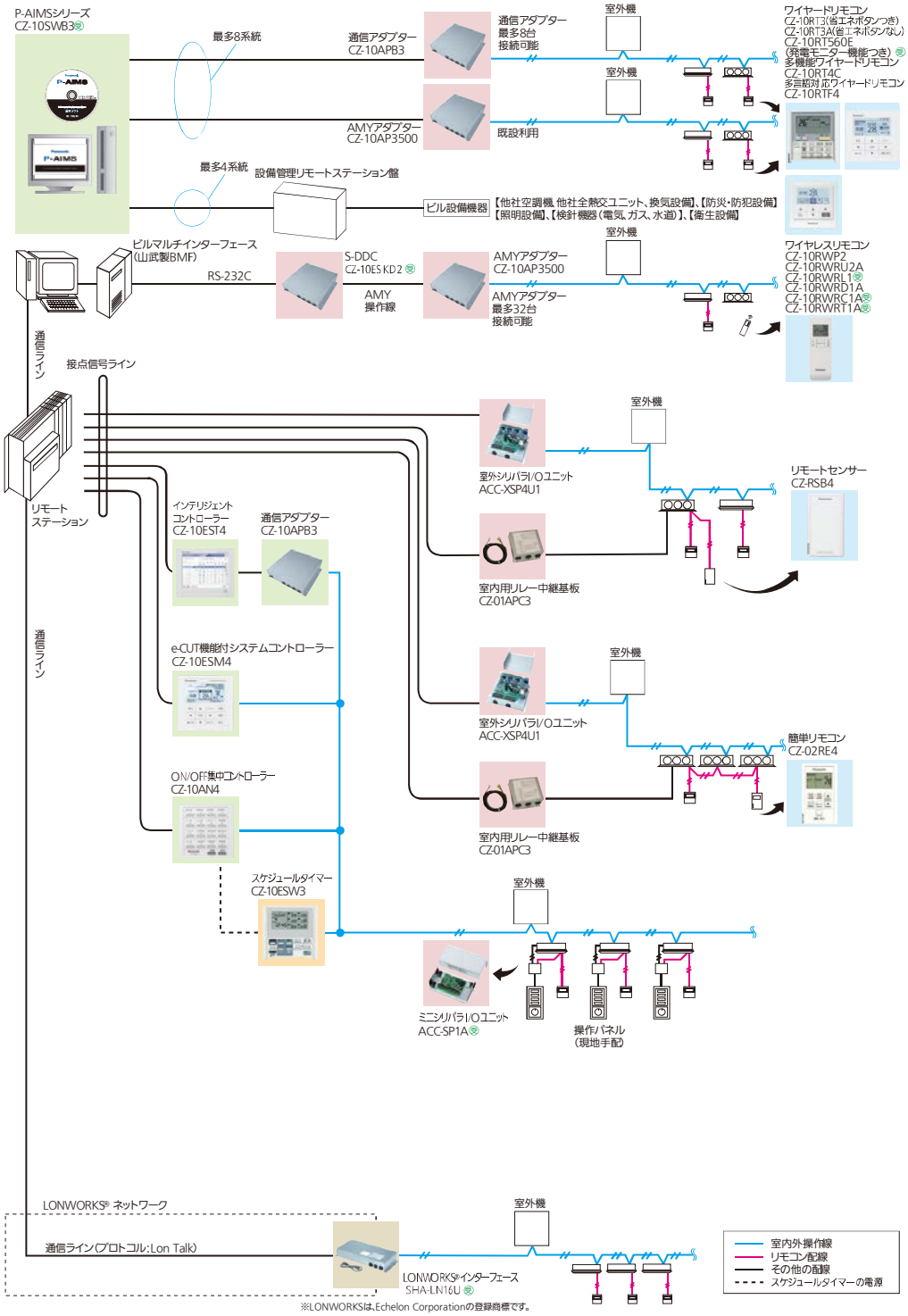
ガスヒートポンプＴ形シリーズはＳ形シリーズ同様に室内外操作線にリンクシステム ＊(リンク配線)を採用しています。同一配線上に室外ユニットを最大３０台、室内ユニットを最大６４台まで接続可能です。従来の集中配線を廃止し、配線作業の簡略化、誤配線の防止を行うとともに室内ユニットの各種設定を自動化（自動アドレス）し大幅な省工事を実現致しました。

＊リンク配線・・・・室内外操作線が複数の室外ユニットにわたる配線方式

●制御システム例

制御機器

用途・規模に合わせたフレキシブルなビル空調管理システム



①通信仕様の統一

ＧＨＰならびにＰＡＣの通信仕様の統一と通信の高速化により、制御性の向上を行っております。これにより集中制御機器の共通化が行え、ＧＨＰ系統とＰＡＣ系統それぞれにリンク配線を使用することにより共通の集中制御機器に接続できます。

②リンク配線方式

配管系統の異なる室内外ユニットを１つの室内外操作線(無極性２芯)で接続でき、集中制御機器の通信を行う配線方式(以下リンク配線と呼ぶ)を採用し、大幅な配線作業の簡略化を実現しております。
１系統のリンク配線方式は、室内外操作線上に室外ユニットを最多３０台、室内ユニットを最多６４台、集中制御機器を最多１０台まで接続可能な配線方式です。
（ただし、リンク配線内の各機器数の合計は１００台までです。Ｇ９００ＢＤ形・Ｇ１４００ＢＤ形は２台として計算します）

③各種アドレス

室内外ユニットの通信による自動アドレス方式を採用しています。
また、各種設定はリモコンから変更や入力ができます。(リモコンからの自動アドレス設定はできません)
各種アドレスや各種設定内容は、室内基板上の不揮発性メモリ(ＥＥＰＲＯＭ)に書き込まれます。
このメモリは電源を切った場合や停電の場合でも、書き込まれた内容は消えません。

・系統(室外ユニット)アドレス・室内ユニットアドレス・グループアドレス

自動アドレスにより室内ユニットの不揮発性メモリ(ＥＥＰＲＯＭ)に自動的に書き込まれます。
(配線方式により、設定操作が必要になります)

・集中制御アドレス

集中制御を行う場合はリンク配線を行い、室内ユニットアドレスを設定してから、リモコンまたは集中制御機器から設定します。

●集中制御機器

集中制御機器の制御対象は、リンク配線[室内外操作線上の室外ユニット：最多３０台、室内ユニット：最多６４台、集中制御機器：最多１０台]が対象になります。(複数の冷媒配管系統にまたがって集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式になります)

＊Ｇ，Ｈ，Ｊ，Ｋ，Ｍ,Ｓ,Ｔ形制御以外の機種は、ローカルアダプターを取り付けることにより、Ｇ，Ｈ，Ｊ，Ｋ，Ｍ，Ｓ，Ｔ形の集中制御機器に接続できます。

（主な制御機器）

・ワイヤードリモコン	：ＣＺ－１０ＲＴ３
	：ＣＺ－１０ＲＴ３Ａ
	：ＣＺ－１０ＲＴ４Ｃ
	：ＣＺ－１０ＲＴＦ４
・ワイヤレスリモコン（送信部）	：ＣＺ－１０ＲＷＰ２
（受信部）	：ＣＺ－１０ＲＷＲＵ２
	：ＣＺ－１０ＲＷＲＵ２Ａ-Ｔ
	：ＣＺ－１０ＲＷＲＵ２Ａ-Ｈ
	：ＣＺ－１０ＲＷＲＵ２Ａ-Ｋ
	：ＣＺ－１０ＲＷＲＬ１
	：ＣＺ－１０ＲＷＲＤ１Ａ
	：ＣＺ－１０ＲＷＲＣ１Ａ
	：ＣＺ－１０ＲＷＲＴ１Ａ
・システムコントローラー	：ＣＺ－１０ＥＳＭ３
・e-CUT 機能付システムコントローラー	：ＣＺ－１０ＥＳＭ４
・インテリジェントコントローラー	：ＣＺ－１０ＥＳＴ４
・Ｐ－ＡＩＭＳシステム	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ａ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｄ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｇ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｂ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｐ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｓ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｔ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｗ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３ＣＡ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３ＣＶ
	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３ＣＬ
・通信アダプター	：ＣＺ－１０ＡＰＢ３
・オン/オフ制御用ローカルアダプター	：ＣＺ－ＣＡＰＬ１
	：ＣＺ－ＣＡＰＡ１

④１リンク配線系統(室内外操作線)の仕様

室内外操作線　･･･････････････････ 無極性２芯
配線総延長距離　･･･････････････ １㎞
分岐配線　･･･････････････････････ 最多１６箇所（１ｍ以内は分岐に含みません）
接続可能室外ユニット　･･･････ 最多３０台
接続可能室内ユニット　･･･････ 最多６４台
接続可能集中制御機器　･･･････ 最多１０台

（ただし１リンク配線内の各機器数の合計は１００台までです。G900・1120・1400・１６００BD形は２台で計算します。）

1)リンク配線系統の室内ユニットは、グループ制御を行っている子機も含めた室内ユニットの合計接続台数が最多６４台までです。
2)室内ユニットや室外ユニットの台数が上記の台数制限より多い場合は、複数系統のリンク配線方式になります。
3)集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式で配線を行ってください。
4)室内外操作線は施工編１．室外ユニット据付工事を参照ください。

※すべての室内外操作線の太さを２㎟にすることにより総配線長を２㎞まで増やすことが可能です。

⑤制御の配線例

「リンク配線方式」ならびに「自動アドレス設定」を採用しています。
下記の配線例のように配線できますが配線方法により自動アドレス設定の方法が異なりますので該当システムに最適な配線方法を選定してください。

●室外ユニット１系統設置の場合

●複数の(リンク配線はしていない)室外ユニットがあり、系統(室外ユニット)アドレスを区分したい場合

1) 室外ユニット内の系統(室外ユニット)アドレスを「１」、または「１」から順次設定します。
2) 室内外ユニットの電源を投入します。
3) 室外ユニットのメイン基板の操作で自動アドレス設定を行います。

リンク配線した場合

室内外操作線が複数の室外ユニットにわたっている（リンク配線）場合

1) 室外ユニット内の系統(室外ユニット)アドレスを「１」から順次設定します。

複数の冷媒配管系統をリンク配線を行った場合でも、室内外ユニットの電源が冷媒配管系統ごとに入切可能かどうかによって自動アドレスの設定方法が異なります。

《室内外ユニットの電源が冷媒配管１系統ごとに入切できる場合》

室外ユニットを運転しないで室内外ユニットの通信でアドレス設定を行います。

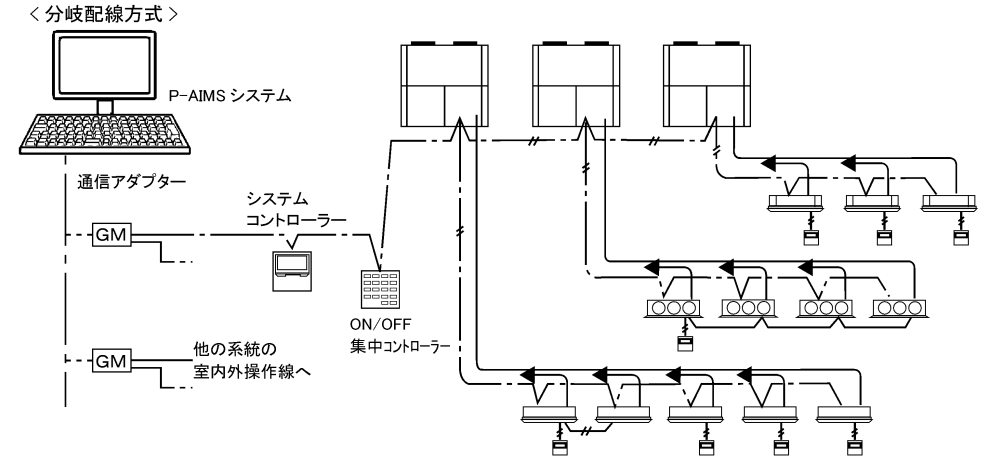
2) 自動アドレスを行う冷媒配管系統のみ電源を投入します。
3) 室外ユニットのメイン基板の操作で自動アドレス設定を行います。

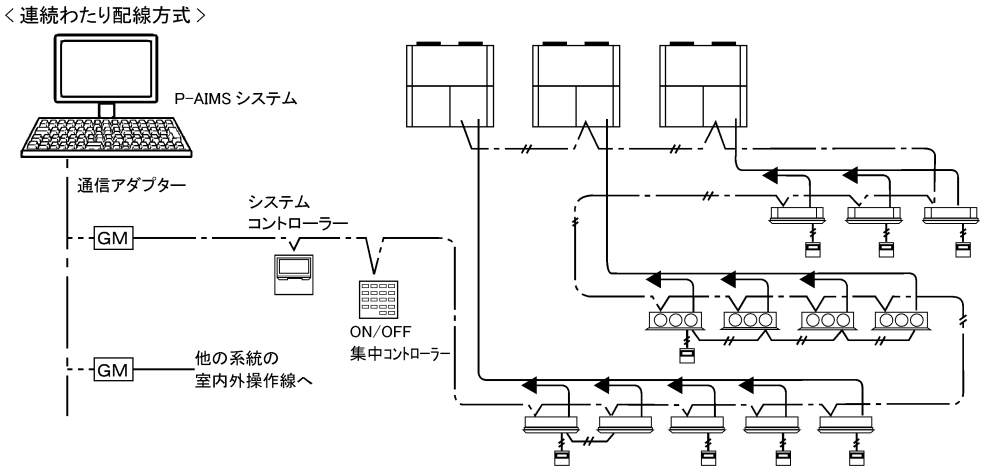
《室内外ユニットの電源が冷媒配管系統ごとに入切できない場合》

各冷媒配管系統ごとに室外ユニットの運転を行って各系統の室内ユニットアドレスの設定を行います。

2) この場合は事前に冷媒配管工事・燃料配管工事を完了し、電源を投入します。
3) 室外ユニットのメイン基板の操作で自動アドレス設定を行います。

●制御配線方式



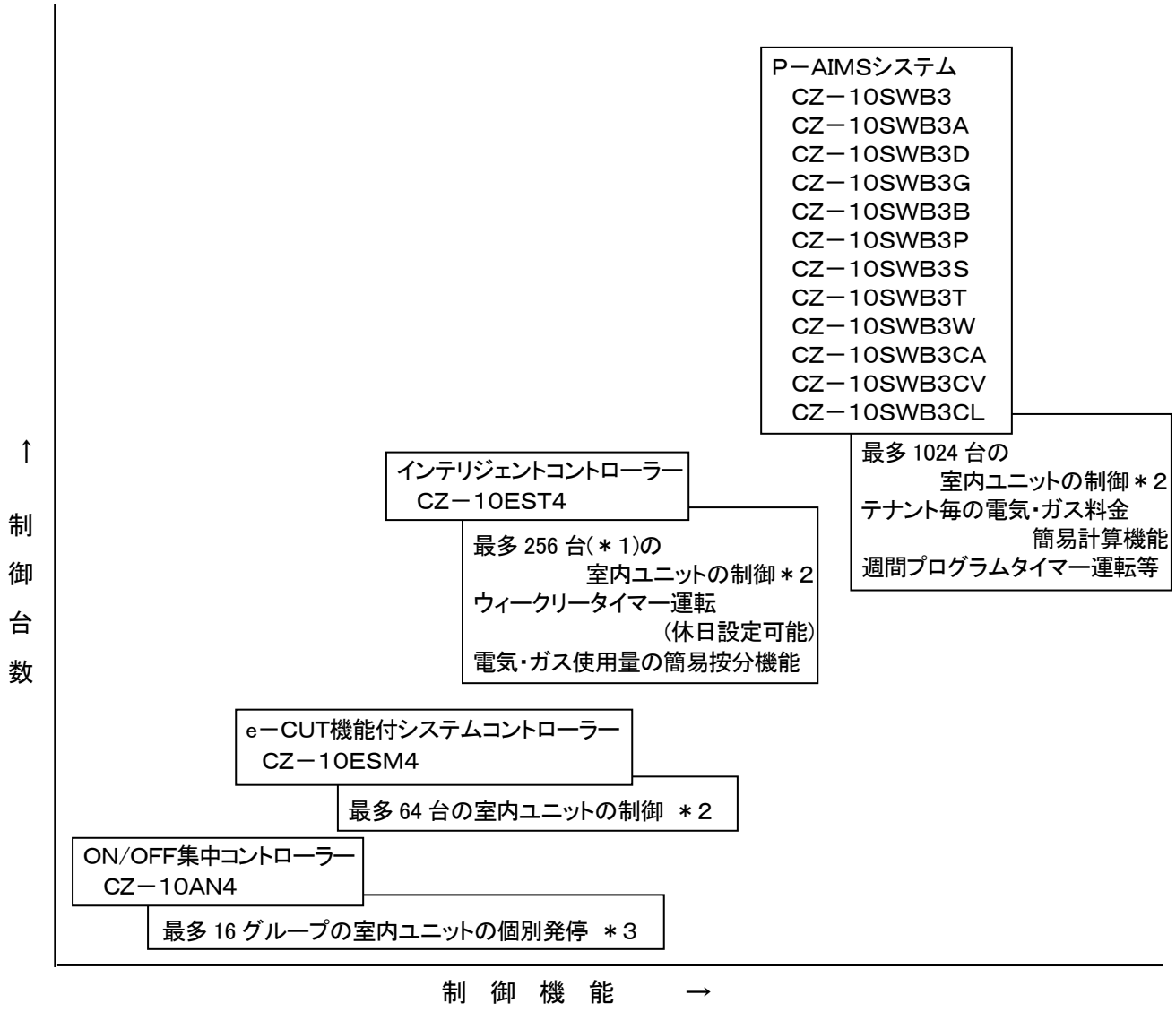


（２）監視制御システム

制御関連商品とシステムは、対象とする室内ユニットの台数と目標とする制御機能やデータ量により図のように位置付けられます。それぞれの商品およびシステムについて、規模と目標に合わせて最適のシステムをご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

《ＧＨＰのトータル監視制御システム展開》

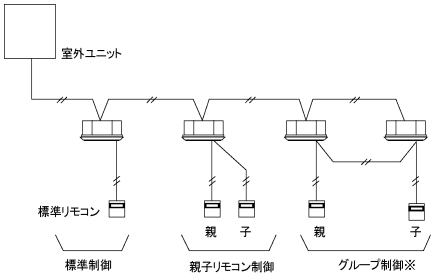
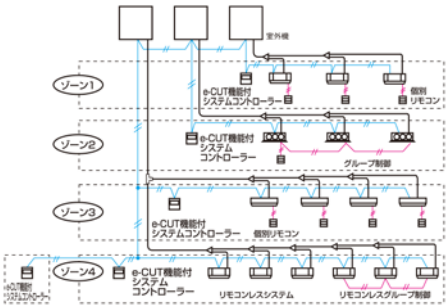
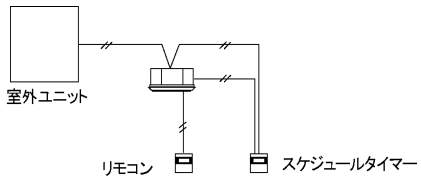
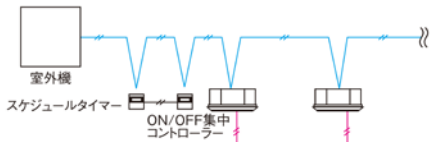
規模・目標に合わせて最適のシステムをお選びください。



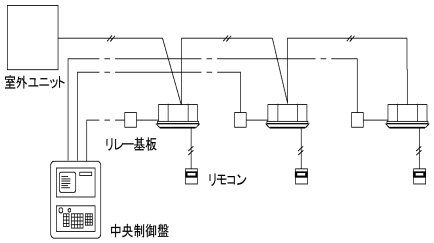
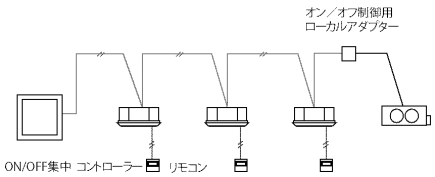
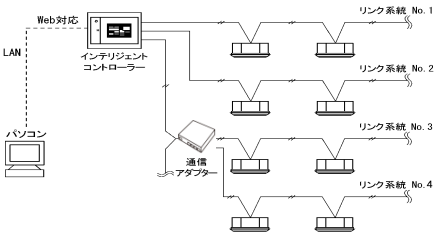
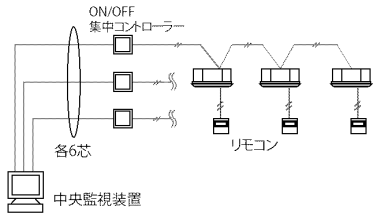
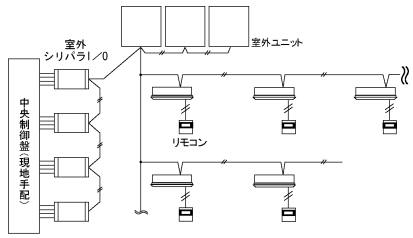
＊１：３系統以上の場合には、外部に通信アダプター（ＣＺ－１０ＡＰＢ３）の設置が必要です。
＊２：グループ制御をする場合、最多接続台数と同数のグループ制御が可能ですが、最多接続台数を超えることはできません。
＊３:グループ制御をする場合１６グループの制御が可能ですが､最多６４台を超えることはできません。

■集中機器が１台しか設置されていないリモコンシステムでは、万一その集中機器が故障した場合、空調機を運転でないなどの問題が発生する可能性があります。その安全措置として、複数の集中機器を設置するよう推奨いたします。

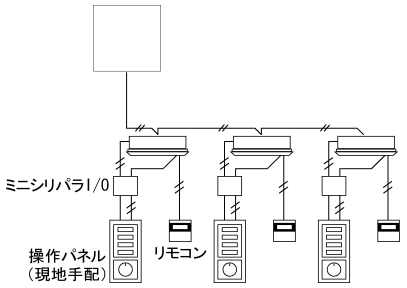
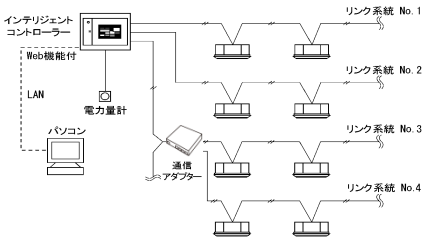
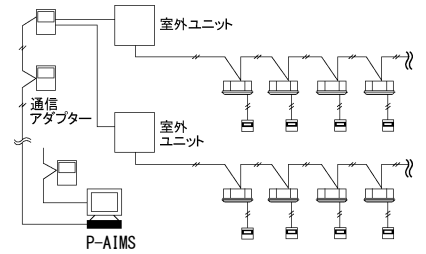
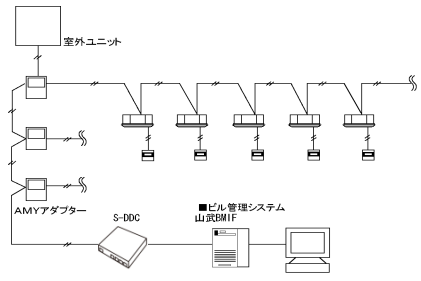
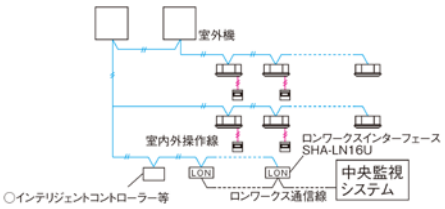
■制御システム

制御方式		制御内容	遠方側機器		手元側機器
			品名・品番	個数	品名・品番
リモコン制御	●標準制御 (1)グループ制御 (2)親子リモコン制御 	標準制御 ●ワイヤードまたはワイヤレスリモコンにより室内ユニットの各種制御を行います。 ●室外ユニットの冷暖モードはリモコンの先押し優先で決定されます。 ●リモコンセンサー、ボディーセンサー切替可能。 (1)グループ制御 ●遠隔ですべての室内ユニットを一括制御。 ●全室内ユニット同一モードで運転。 ●最多8台まで接続可能。 ●センサーはボディセンサーとし、リモコン設定温度に対して各室内ユニット毎にON／OFF。 (2)親子リモコン制御 ●室内ユニット1台に対し最多2個のリモコン。(親リモコン＋子リモコン)が設置可能。 ●後押し優先。(リモコン上で親子の設定をします。) ●子リモコンでもタイマー設定可能。(但し、親か子いずれか一方の設定となります。)	――	―	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A
e-CUT機能付システムコントローラー	(3)e-CUT機能 付システムコントローラー 	●e－CUT機能付システムコントローラーと標準リモコンにより室内ユニットの各種制御を遠方又は手元から行う。 ●最多64台・64グループの室内ユニットを1～4のゾーンに分け個別に制御できます。 ●親・子システム制御ができます。(親子合わせて2台まで) ●e－CUT機能付システムコントローラーを集中制御機器として使用するか、リモコンとして使用するかを選択できます。 ●一斉／ゾーン毎／グループ単位で操作ができます。 ●1～4のゾーンのうち、いずれかのみの設定に限定することもできます。 ●他の集中制御機器との併用もできます。(同一回線上に他の集中制御機器を含め最多 10台まで接続可能。) ●e－CUT機能付システムコントローラーは、1日8回のプログラム運転(運転／停止、運転モード、室温、手元許可／手元禁止)が可能です。	●システムコントローラー CZ－10ESM4 ●ON／OFF集中コントローラー CZ－10AN4 ●インテリジェントコントローラー CZ－10EST4	組合せで最多10台	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A
タイマー運転制御	(4)スケジュール制御 (室内ユニットから電源供給)  (5)スケジュール制御 (集中機器から電源供給) 	●最多64台・64グループの室内ユニットを1～8グループに分けてグループ単位でタイマー制御が可能です。 ●1日6回までのタイマー制御が可能です。 ●タイマー制御項目は、運転／停止、手元許可／手元禁止で、それぞれを組み合わせて、もしくは単独で設定可能です。(運転のみ、手元許可のみ、運転＋手元許可、停止＋手元禁止、等) ●1週間以内の臨時休日設定ができます。	●スケジュールタイマー CZ－10ESW3 ●ON／OFF集中コントローラー CZ－10AN4 ●システムコントローラー CZ－10ESM4 ●インテリジェントコントローラー CZ－10EST4	組合せで最多10台	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A

●集中制御機器が1台の場合、故障等がありますと空調機の制御ができなくなる可能性がありますので、その他の制御機器の併用を推奨いたします。

制御方式		制御内容	遠方側機器		手元側機器
			品名・品番	個数	品名・品番
遠方・連動・中央制御	(6)遠方発停制御 	●各室内ユニットにリレー中継基板を設け、中央制御盤で、ON／OFF、運転、警報の取出し、集中個別の切換を行います。 ●通信方式 出力：運転信号 警報信号 → 無電圧接点 入力：運転／停止 → 各種仕様（CZ－01APC3）	●中央制御 ＜現地手配＞ ●リレー中継基盤 CZ－01APC3	—	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A
	(7)ON／OFF集中制御 	●ON／OFF集中コントローラーを使って最多16グループ（64台）の室内ユニットをON／OFF制御できます。 ●外気処理ユニット等ローカルアダプターを使ってコントロールできます。	●ON／OFF集中コントローラー CZ－10AN4	1台	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A ●オン／オフ制御用 ローカルアダプター CZ－CAPL1 CZ－CAPA1
中央監視制御	(8)インテリジェントコントローラー制御 （中央監視制御） 	●最多256台（4系統×64台）の室内ユニットの制御が可能。3系統以上の場合は外部に通信アダプターCZ－10APB3の設置が必要です。 ●一括、ゾーン単位、テナント単位、グループ単位で操作可能。 ●運転／停止、運転モード切替、温度設定、風速切替、風向切替、リモコンの手元操作禁止（禁止1、2、3、4）ができます。 ●リモコン、ON／OFF集中コントローラー、システムコントローラーなどとの併用もできます。 ●ウィークリータイマー、休日設定、空調エネルギー按分も可能。	●インテリジェントコントローラー CZ－10EST4 ●通信アダプター CZ－10APB3	1台 （通信アダプターが3系統以上の時必要）	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A
	(9)中央監視システム 	●ON／OFF集中コントローラーを中央監視装置に接続できます。 ●中央監視装置から一括ゾーン（ゾーン毎）ON／OFF入力 中央監視装置への運転出力、一括警報出力が取り出せます。	●中央監視装置 ＜現地手配＞	（最多4台）	
	(10)室外シリパラI／Oユニット 	●室外シリパラI／Oユニットを中央制御盤の近くに設置可能。 ●室外シリパラI／Oユニット1台で最多4台の室外ユニット（冷媒系統）を制御可能。 ●中央制御盤からの接点信号で、冷暖切換、室内ユニット一斉ON／OFFができます。	●中央監視装置 ＜現地手配＞ ●室外シリパラI／Oユニット （ACC－XSP4U1）	（最多8台）	

●集中制御機器が１台の場合、故障等がありますと空調機の制御ができなくなる可能性がありますので、その他の制御機器の併用を推奨いたします。

制御方式		制御内容	遠方側機器 品名・品番	遠方側機器 個数	手元側機器 品名・品番
中央監視制御	(11)ミニシリパラI／Oユニット 	●1グループ最多8台の室内ユニットを制御可能です。 ●下記の①～④の機能をDIPSWによって設定し、制御できます。 ①風速設定　＋運転／停止 ②手元発停禁止／許可　＋運転／停止 ③強制サーモＯＦＦ　＋運転／停止 ④運転モード設定　＋運転／停止 ●設定温度は変更可能です。 入力は0－10Vまたは、0－140Ωどちらかを選択します。 ●運転、警報出力が可能です。 ●室温出力は、4～20mAで出力します。	●中央監視装置 ＜現地手配＞ ●ミニシリパラI／Oユニット(ACC－SP1A)	—	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A
中央監視制御＋空調エネルギー按分システム	(12)インテリジェントコントローラー制御 	●空調エネルギー按分と空調料金按分計算ができます。 ●最多２５６台の室内ユニットの制御が可能。3系統以上の場合は外部に通信アダプターCZ－10APB3の設置が必要です。 ●一括、ゾーン単位、テナント単位、グループ単位で操作可能。 ●運転／停止、運転モード切替、温度設定、風速切替、風向切替、リモコンの手元操作禁止(禁止1、2、3、4)ができます。	●電力量計 ＜現地手配＞ ●インテリジェントコントローラー CZ－10EST4 ●通信アダプター CZ－10APB3	1台 （通信アダプターが3系統以上の時必要）	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A
	(13)Ｐ－AIMS 	●Ｐ－AIMSと通信アダプターにより、個別および一括のON／OFF、温度設定、冷房切替、運転信号、警報信号表示等ができます。 ●通信系統最多4系統、室内ユニット1024台、室外ユニット960台接続。 ●料金計算データ、警報履歴、状変履歴をCSV出力。 ●別売ソフトを使用して、レイアウト表示、デマンド制御が可能。	●電力量計 ＜現地手配＞ ●Ｐ－AIMS基本ソフト CZ－10SWB3 ●Ｐ－AIMS料金計算ソフト CZ－10SWB3A ●通信アダプター CZ－10APB3	1台 （通信アダプターが最多32台）	
ビル管理システム	(14)Ｓ－DDCとビル管理システム 	●Ｓ－DDCとAMYアダプターを使いビル管理システムのインターフェース(山武製BMIF)に接続できます。	●ビル管理システム (山武製BMIF) ＜現地手配＞ ●Ｓ－DDC CZ－10ESKD2 ●AMYアダプター CZ－10AP3500	1台 （ＡＭＹアダプターが最多32台）	●ワイヤードリモコン CZ－10RT3 CZ－10RT3A CZ－10RT560E CZ－10RT4C CZ－10RTF4 ●簡単リモコン CZ－02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ－10RWRU2A CZ－10RWRL1 CZ－10RWRD1A CZ－10RWRC1A CZ－10RWRT1A
オープンネットワーク	(15)ロンワークスインターフェース 	●ロンワークスに接続される中央監視システムから室内ユニット最多16グループの基本的な設定／状態監視ができます。 ●ロンワークスインターフェース1台で、室内ユニット最多16グループ(最多64台)を制御可能。 ●室内ユニットが17グループ以上のときは、インターフェースを追加接続してください。	●ロンワークスインターフェース SHA－LN16U ●システムコントローラー CZ－10ESM4 ●インテリジェントコントローラー CZ－10EST4 ●通信アダプター CZ－10APB3	室内ユニット最多16グループに対して1台	

●集中制御機器が１台の場合、故障等がありますと空調機の制御ができなくなる可能性がありますので、その他の制御機器の併用を推奨いたします。

A．リモコン・コントローラの機能一覧

機能一覧 ＼ リモコン		ワイヤードリモコン			簡単リモコン	ワイヤレスリモコン
		ワイヤードリモコン	CZ-10RT3 CZ-10RT3A	多言語対応 ワイヤードリモコン CZ-10RTF4	CZ-02RE4	CZ-10RWP2(送信部) CZ-10RWRC1A㊎(別置受信部) CZ-10RWRU2A (4 方向天井カセット形受信部) CZ-10RWRL1㊎(2 方向天井カセット形受信部) CZ-10RWRD1A(1 方向天井カセット形、高天井用 1 方向、天井吊形受信部) CZ-10RWRT1A㊎(天井吊形「ナノイーX」搭載機種 受信部)
		発電モニター機能付ワイヤードリモコン	CZ-10RT560E㊎			
		多機能ワイヤードリモコン	CZ-10RT4C			
接続可能なエアコンの種類		T・S・M・K・J・H形 ※8				
機能	運転/停止	●		●	●	●
	運転切換 冷暖自動 ※1	●		●	●	●
	運転切換 暖房	●		●	●	●
	運転切換 ドライ ※1	●		●	●	●
	運転切換 冷房	●		●	●	●
	運転切換 送風	●		●	●	●
	温度設定	●		●	●	●
	風速設定 急・強・弱・自動	●※12		●	●	●※12
	オートフラップ 自動風向位置出し ※2	●		●	●	●
	オートフラップ 任意風向設定 ※2	●		●	●	●
	フラップスイング ※2	●		●	●	●
	省エネモード	●※3		●	●	●※14
	昇降グリル操作(別売の昇降グリル取付時)	●		×	×	●
	換気扇操作(市販の換気扇の連動運転、および単独ON/OFF)	●		×	×	●
	時限タイマー(30 分単位)	●		●※9	×	×
	時刻タイマー(24 時間タイマー設定)	×		×	×	●
	リモコンセンサー	●		×	●	×
	設定温度自動リターンモード	●※4		×	×	●※14
	フィルター残り時間表示	●※5		×	×	×
	エコナビ	●※5		●※10	×	●※15
	「ナノイーX」	●※5		●※10	×	●※16
	多言語表示	× ※13		●※11	×	×
システム	集中管理	×		×	×	×
	グループ制御(1グループ最多 8 台)	●(同時運転制御 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟまで)		●	●(同時運転制御 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟまで)	●(同時運転制御 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟまで)
	複数台並列リモコン(子リモコンとして)	●		●	●	●
	複数台並列リモコン(親リモコンとして)	●		●	●	●
設定範囲	冷房 (℃)	１８～３０				
	ドライ (℃)	１８～３０				
	暖房 (℃)	１６～３０ ※6				
	冷暖自動 (℃)	１７～２７				
他の制御機器との併用	ワイヤードリモコン	●		●	●	●
	ワイヤレスリモコン	●		●	●	●
	e-cut 機能付システムコントローラー	●		●	●	●※7
	スケジュールタイマー	●		●	●	●※7

※1. システムにより表示されない場合もあります。取扱説明書等で確認しください。
※2. お使いの室内機によって機能が異なります。詳しくは本体に付属されている取扱説明書をご覧ください。
※3. 省エネモードは、CZ-10RT3・CZ-10RT4C・CZ-10RTF4 のみの機能となります。
※4. 設定温度自動リターンモードは、CZ-10RT3・CZ-10RT3A・CZ-10RT4C のみの機能となります。
※5. 4方向天井カセット形(T1形)に対応しています。CZ-10RT4C のみの機能となります。(エコナビは壁掛形(T1形)にも対応しています。)また、「ナノイーX」は1方向天井カセットスリム型(T1形)にも対応しています。)
※6. 一部の機種の上限温度は26℃になります。
※7. 併用する場合は、リモコンの手元禁止機能が制限されます。詳細はスケジュールタイマー併用時はP.112 を、e-cut 機能付システムコントローラー併用時はP.113 をご参照ください。
※8. ワイヤレスリモコンは、J1形・H形の室内機には、ご使用になれません。
※9. 入タイマーは、6時間、7時間、8時間、切タイマーは、1時間、2時間、3時間の設定が可能です。
※10. 出荷設定は不可。据付(電気)工事説明書記載の設定が必要です。エコナビは、ON/OFF のみ対応。
※11. 日本語・英語併記、英語、中国語(簡体語)の3言語を切り替え表示可能。フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語、ロシア語の表示も可能。据付(電気)工事説明書記載の設定が必要です。
※12. 4方向天井カセット形(T1形)、1方向天井カセットスリム型、多機能ワイヤードリモコン(CZ-10RT4C)ワイヤレスリモコン(C-10RWP2)ご利用時のみ、5段階で設定可能です。
※13. 多機能ワイヤードリモコン(CZ-10RT4C)は、トップ画面のみ英語表示に切替可能です。
※14. CZ-10RWRL1(2方向天井カセット受信部)は、対応しておりません。
※15. 室内機 エコナビ対応機種(4 方向天井カセット形、壁掛け形)にのみ対応しております。但し、壁設置型エコナビセンサー(CZ-CSEN1)使用時、ワイヤレスリモコンは併用不可のため壁掛け形ではワイヤレスリモコンでエコナビ機能をご利用いただけません。
※16. 室内機 「ナノイーX」対応機種(4 方向天井カセット形、1 方向天井カセットスリム形/電動弁取付けタイプ)にのみ対応しております。但しワイヤレスリモコンは、1方向天井カセットスリム形には対応していません。

※集中制御が1台しか設置されていないリモコンシステムでは、万が一その集中機器が故障した場合、空調機を運転できないなどの問題が発生する場合があります。その安全措置として複数の集中機器を設置するよう推奨いたします。

B．集中制御機器を使ったシステム設計

エアコンの種類(グループ別)
aグループ／GHP:T・S・M・K・J・H・G形　bグループ／小形エアコン　cグループ／その他の種類

品名		e-cut 機能付システムコントローラー			ON/OFF 集中コントローラー			インテリジェントコントローラー			P-AIMS (ピーエイムス)		
品番		CZ-10ESM4			CZ-10AN4			CZ-10EST4			CZ-10SWB3シリーズ ㊒ ※1		
室内機･接続台数 (管理可能な台数)		64 台×1系統 ※3			64 台×1系統 ※4			最多 16 系統 256 台 ※4 通信ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ CZ-10APB3			64 台×64 系統×1,28024 台 通信ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ CZ-10APB3		
エアコンの種類(ｸﾞﾙｰﾌﾟ別)		a	b ※5	c ※6	a	b ※5	c ※6	a	b ※5	c ※6	a	b ※5	c ※6
接続に必要なローカルアダプター	CZ-10APB3	—	—	—	—	—	—	●	●	●	● ※7	●	●
	CZ-CAPL1/CZ-CAPA1	—	●	●	—	●	●	—	●	●	—	●	●
	CZ-CAPR1	—	● ※27	—	—	● ※27	—	—	● ※27	—	—	● ※27	—
操作／表示機能 ※インターフェースリレー中継基盤では機能のみ	運転/停止	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	モード変更 ※2	●	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—
	風速変更	●	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—
	温度設定	●	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—
	風向変更	● ※8	—	—	—	—	—	● ※8	—	—	● ※8	—	—
	省エネモード	—	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—
	集中／個別切替	● ※9	—	—	● ※13	—	—	● ※25	—	—	● ※25	—	—
	週間プログラム	▲ ※10	▲ ※11	▲ ※11	—	—	—	● ※12	●	●	●	●	●
	特定日(休日)設定	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●	●
	デマンド制御	●	—	—	—	—	—	●	—	—	● ※14	—	—
	室内温度	—	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—
	一括運転確認	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●	●
	警報	●	—	●	●	—	● ※15	● ※16	● ※17	● ※17	● ※16	● ※17	● ※17
	運転積算時間	—	—	—	—	—	—	●	● ※18	●	● ※20	● ※20	● ※20
	サーモ ON 積算時間	—	—	—	—	—	—	●	● ※19	● ※19	● ※20	● ※19 ※20	● ※19 ※20
	発停回数	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●	●
	説明文	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	●
	レイアウト表示	—	—	—	—	—	—	—	—	—	● ※21	● ※21	● ※21
外部入出力端子	モード固定 ※26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	外部一括警報出力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	オール ON･OFF 入力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	スケジュールタイマー	●	—	—	● ※22	● ※22	● ※22	—	—	—	—	—	—
	一括運転モニター出力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
印刷機能	各画面印刷	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	●
	按分印刷	—	—	—	—	—	—	▲ ※23	▲ ※23	▲ ※23	● ※20	● ※20 ※24	● ※20 ※24
	警報印刷	—	—	—	—	—	—	▲ ※23	▲ ※23	▲ ※23	●	●	●
	請求書発行	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1. CZ-10SWB3 シリーズは機能により、別ソフトが必要となります。
※2. 送風、冷房、ドライ、暖房、自動のモード。
※3. 1 リンク配線の制限（室内機最多 64 台、室外機最多 30 台、集中制御機器最多 10 台、ただし、合計は最多 100 台）を満たす室内機が制御対象で、全室内機を制御可能な一斉モードと、室内機を 1～4 の 4 ゾーンに分け、各ゾーンのみ制御対象とするゾーン 1・2・3・4 モードが選択できます。
※4. 1 系統は 1 リンク配線の制限（室内機最多 64 台、室外機最多 30 台、集中制御機器最多 10 台、ただし、合計は最多 100 台）の室内機最多 64 台が制御対象です。ON/OFF 集中コントローラーは 16 グループまで制御可能。（ON/OFF 集中コントローラー1 台で室内機最多 64 台を制御＝1 グループの室内機 4 台）
※5. 「JEMA 標準 HA 端子-A」端子が付いているエアコン等を発停および発停モニター可能。（旧 L3C 機能）
※6. リレー接点出力
※7. 既設 CZ-10AP3500 通信ラインを接続できます。
※8. グループ制御内は、一括設定になります。
※9. 表 1）5 段階が設定可能。但し、リモコンモード使用時は設定できません。
※10. 別売のスケジュールタイマー（CZ-10ESW3）が必要。但し、e-CUT 機能付システムコントローラー（CZ-10ESM4）は、スケジュール機能を内蔵しているので不要。
※11. 別売のスケジュールタイマー（CZ-10ESW3）が必要。但し、e-CUT 機能付システムコントローラー（CZ-10ESM4）は、スケジュール機能を内蔵しているので不要。操作は、運転・停止のみ可能。
※12. 運転/停止、運転モード、温度設定、風速設定、風向設定、手元禁止、省エネ設定をタイマーで設定可能。
※13. 表 1）2 段階（許可と禁止 1＜運転/停止の許可/禁止＞）が設定できます。4 パターンのグループ一括からの選択固定になります。詳細は据え付け工事説明書、設備設計資料を参照してください。
※14. デマンドコントローラー（現地手配）、CZ-10SWB3D ソフトが必要です。手動設定での制御機能は基本ソフトに含まれます。
※15. ランプのフラッシングで表示。
※16. 警報内容、発生日時を各グループ毎に表示。（インテリジェントコントローラーのメモリー機能は合計 20,000 件まで。P-AIMS は、合計 20,000 件保存する。CSV 出力可能）
※17. 警報発生日時を表示。
（インテリジェントコントローラーのメモリー機能は合計 20,000 件まで。P-AIMS は合計 20,000 件保存する。CSV 出力可能）
※18. 室内機のみ表示。
※19. サーモ信号を取り出せば可能。
※20. CZ-10SWB3A（料金計算ソフト）が必要です。
※21. CZ-10SWB3G（レイアウト表示ソフト）が必要です。
※22. スケジュールタイマーを室内外操作線と T1／T2 端子に接続することで、操作対象の室内機を制御可能。
※23. 印刷は、お客様のパソコン・プリンターをご使用願います。
※24. 室内能力相当値（kW）を P-AIMS から設定する必要があります。
※25. 表 1）5 段階が設定できます。
※26. 室外シリパラ I/O ユニットから可能です。
※27. 当社製の小形エアコンのみとなります。

表 1） 禁止／許可切り換え、制限内容 禁止 1 ～禁止 4 の制限内容は、変更可能です。

許可	リモコンの操作に制限はありません。ただし、集中制御機器またはリモコンのどちらかで、後から操作した内容に変更されます。
禁止 1	リモコンで運転／停止、できません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
禁止 2	リモコンで運転／停止、運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
禁止 3	リモコンで運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
禁止 4	リモコンで運転モードの変更ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）

※集中制御が1台しか設置されていないリモコンレスシステムでは、万が一その集中機器が故障した場合、空調機を運転できないなどの問題が発生する場合があります。その安全措置として複数の集中機器を設置するように推奨いたします。

C．集中制御機器を使ったシステム設計

品名		S－DDC				室外シリパラ I／Oユニット	ミニシリパラ I／Oユニット	LONWORKS インターフェース
品番		CZ-10ESKD2㊒ (CZ-10AP3500) (BMIF)				ACC－XSP4U1	ACC－SP1A㊒	SHA-LN16U㊒
室内機･接続台数 (管理可能な台数)		2048台				4 冷媒系統の室内ユニット (1冷媒系統一括)	1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ／8台	16 ｸﾞﾙｰﾌﾟ／64台
エアコンの種類		e	b	c	d	a	e	e
接続に必要なローカルアダプター	CZ-CAPL1/ CZ-CAPA1	—	—	●	●	—	—	—
	CZ-10AP3500	●	●	●	●			
操作／表示機能 ※インターフェースリレー中継基盤では機能のみ	運転/停止	●	●	●	●	●※2	●※2	●※4
	モード変更	●※5	●※5	—	—	●	●※3	●
	風速変更	●※6	●※6	—	—	—	●※3	●※8
	温度設定	●	●	—	—	—	●※3	●
	風向変更	—	—	—	—	—	—	●
	省エネモード	—	—	—	—	—	—	—
	集中／個別切替	●※8	●※9	—	—	●※10	●※3	●※7 ※11
	週間プログラム	—	—	—	—	—	—	—
	特定日(休日)設定	—	—	—	—	—	—	—
	デマンド制御 ※16	●	●	—	—	●※17	—	—
	室内温度	●	●	—	—	—	●	●
	一括運転確認	—	—	—	—	—	—	—
	警報	●	●	—	●	—	—	●
	運転積算時間	—	—	—	—	—	—	—
	サーモ ON 積算時間	●	●※12	—	●※13	—	—	—
	発停回数	—	—	—	—	—	—	—
	説明文	—	—	—	—	—	—	—
	レイアウト表示	—	—	—	—	—	—	—
外部入出力端子	モード固定	—	—	—	—	●	—	—
	外部一括警報出力	●	●	—	●	●	●	—
	オール ON･OFF 入力	●※14	●※14	●※14	●※14	●	●※3	—
	スケジュールタイマー	—	—	—	—	—	—※15	—
	一括運転モニター出力	—	—	—	—	●	●	—

※1．この機種一覧はＳ－ＤＤＣが持っている機能であり、その機種が使用可能か否かはビル管理システムのインターフェースによります。
また一覧で『—』になっているものでも、ビル管理システムのインターフェース側で付加可能なものがあります。

※2．一括のみ可能。

※3．設置時のＤＩＰＳW設定により、制御モードを選択して使用します。

※4．個別のみ可能

※5．送風、冷房、暖房、自動のモード。

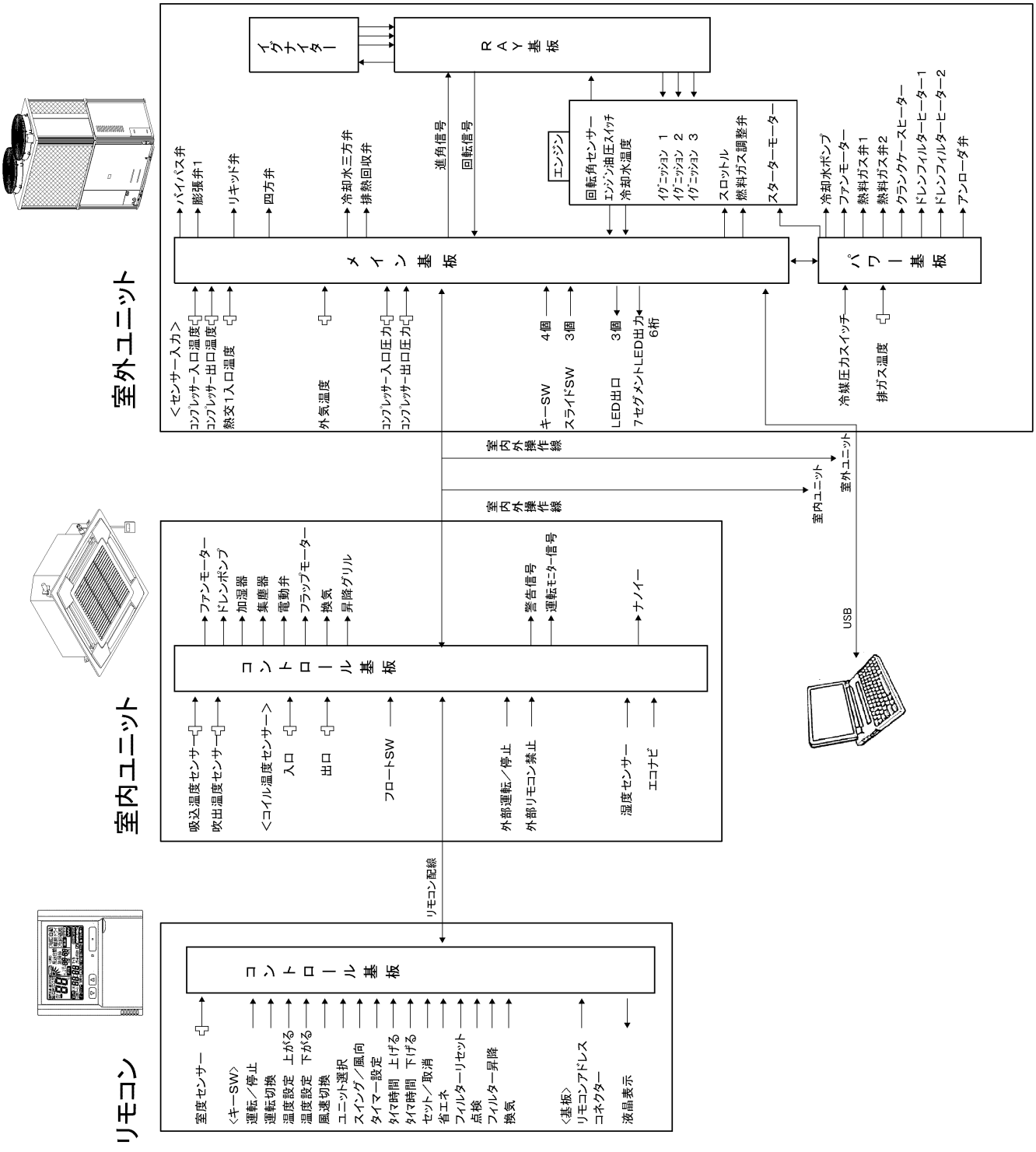
※６.風速は急風、強風、弱風、自動の中から選択可能です。
※７.風速変更・風向変更・集中／個別・フィルターサインのうち、２つをディップスイッチで選択。
※８.表１）の設定ができます。
※９.表１）のリモコンモード設定１を設定可能です。リモコンモード設定２・３は２項目を一緒に設定又は未設定にしてください。
どちらか１項目のみの設定はできません。
※１０.ディップスイッチの切換で対応。
※１１.表１）の設定ができます。（「リモコンモード設定１」の「運転禁止・停止許可」を除く）
※１２.グループ制御時は親ユニットのみ積算。
※１３.サーモ信号を取り出せば可能
※１４.ＯＦＦ入力のみ。
※１５.室内ユニットのＴ１０コネクターを使用しますので、併用できません。
別途、システムコントローラーやＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラーがあれば併用可能です。
※１６.ガス消費量を抑えた運転が可能です。
※１７.サーモＯＦＦは、Ｍ形から可能です。

エアコンの種類
ａ／Ｔ・Ｓ・Ｍ・Ｋ・Ｊ形　ｂ／Ｆ・Ｅ形　ｃ／小型エアコン　ｄ／その他の種類　ｅ／Ｔ・Ｓ・Ｍ・Ｋ・Ｊ・Ｈ・Ｇ形

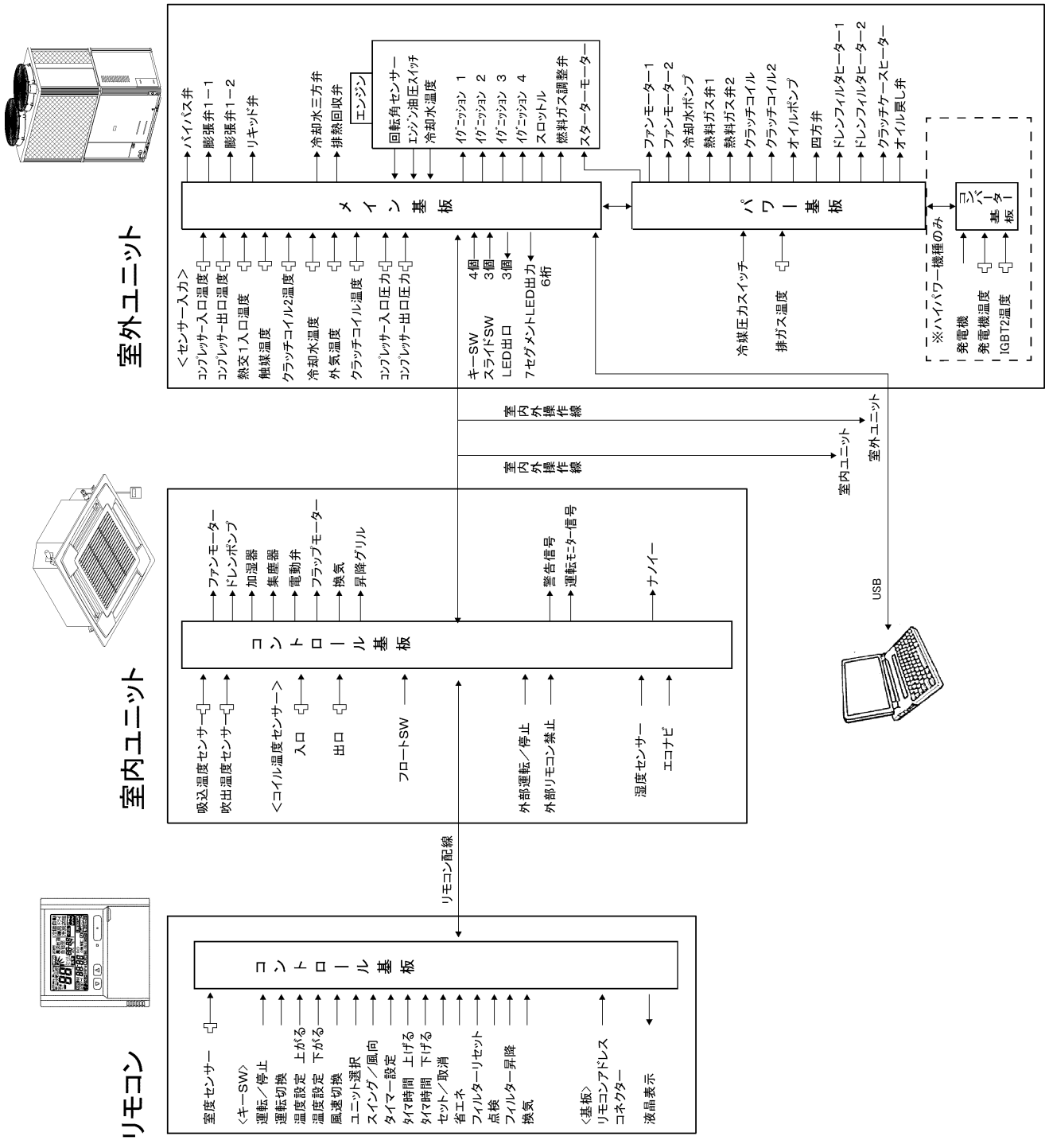
表１）集中／個別切り換え、制限内容

ﾘﾓｺﾝﾓｰﾄﾞ設定１	運転許可・停止許可	リモコンで運転／停止ができます。
	運転禁止・停止禁止	リモコンで運転／停止ができません。
	運転禁止・停止許可	リモコンで運転はできませんが、停止はできます。
ﾘﾓｺﾝﾓｰﾄﾞ設定２	温度設定許可	リモコンで温度設定の変更ができます。
	温度設定停止	リモコンで温度設定の変更ができません。
ﾘﾓｺﾝﾓｰﾄﾞ設定３	運転モード変更許可	リモコンでモード変更ができます。
	運転モード変更禁止	リモコンでモード変更ができません。

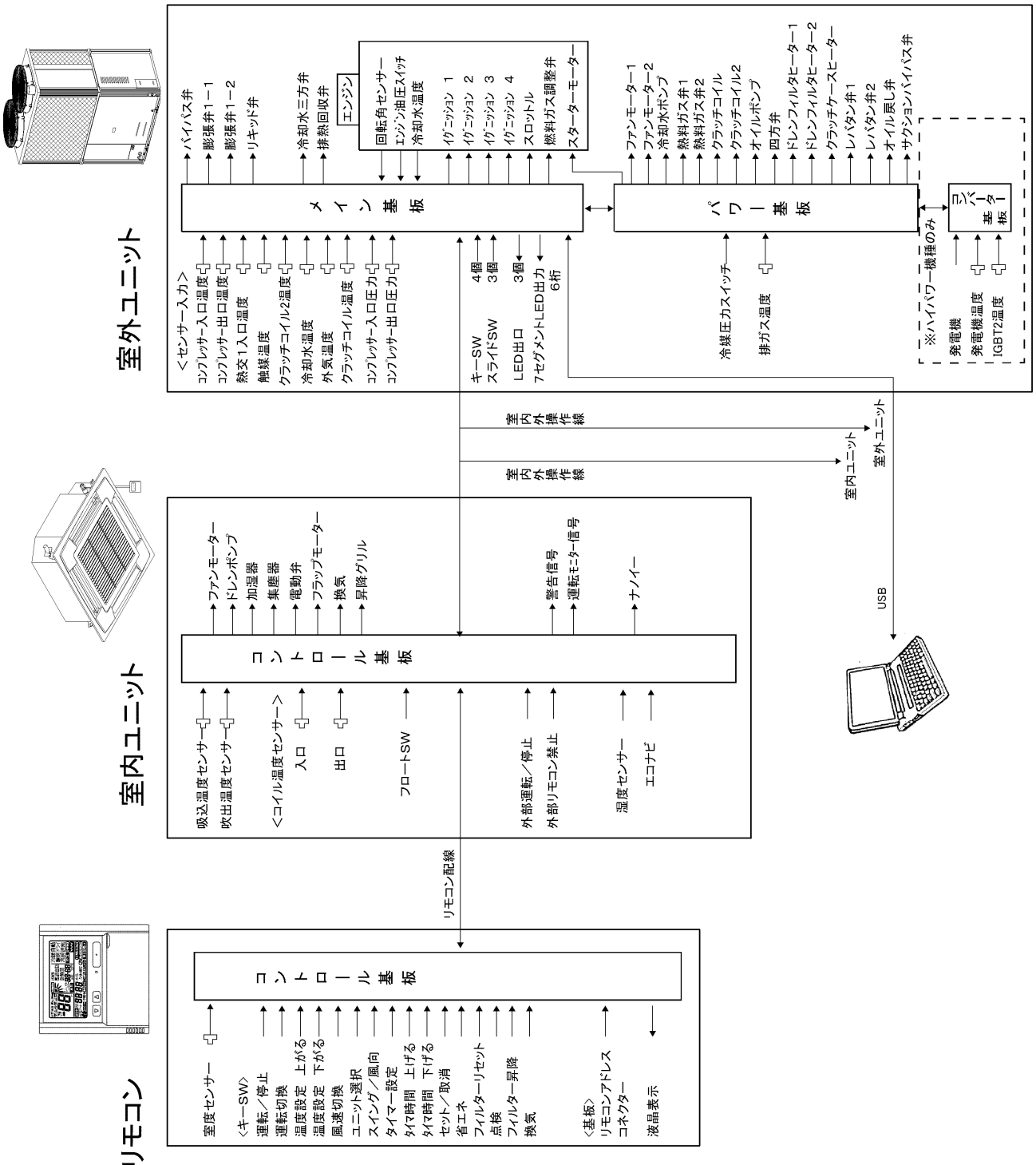
■２２４･２８０･３５５形


室外ユニット
<センサー入力>
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交1入口温度
外気温度
コンプレッサー入口圧力
コンプレッサー出口圧力
キーSW 4個
スライドSW 3個
LED出口 3個
7セグメントLED出力 6桁
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
メイン基板
パワー基板
イグナイター
RAY基板
エンジン
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション 1
イグニッション 2
イグニッション 3
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
冷却水ポンプ
ファンモーター
熱料ガス弁1
熱料ガス弁2
クランクケースヒーター
ドレンフィルターヒーター1
ドレンフィルターヒーター2
アンローダ弁
バイパス弁
膨張弁1
リキッド弁
四方弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
進角信号
回転信号
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
室内ユニット
コントロール基板
吸込温度センサー
吹出温度センサー
<コイル温度センサー>
入口
出口
フロートSW
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
リモコン配線
リモコン
コントロール基板
室度センサー
<キーSW>
運転／停止
運転切換
温度設定 上がる
温度設定 下がる
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
タイマ時間 上げる
タイマ時間 下げる
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
<基板>
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

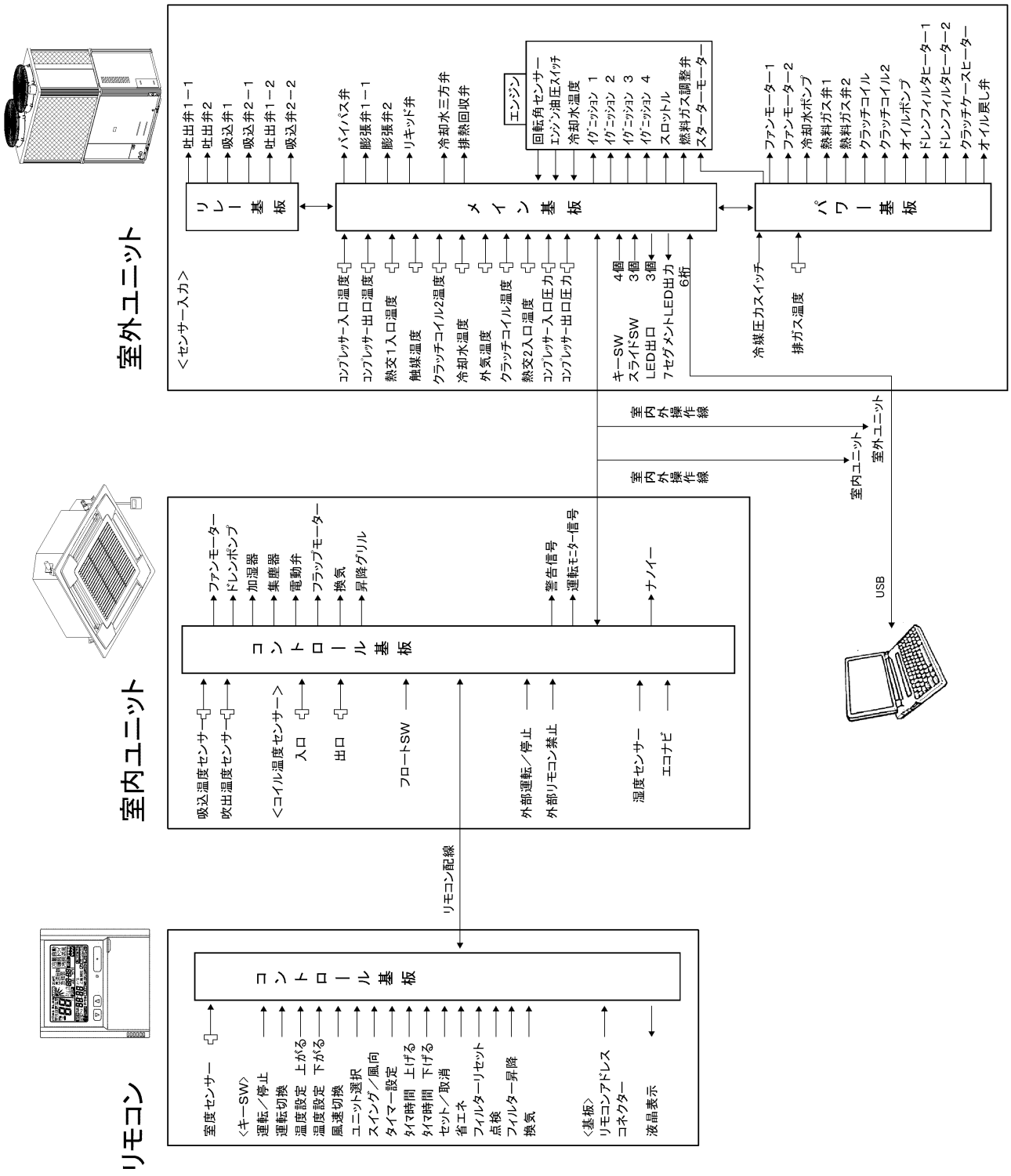
■４５０･５６０･７１０形


室外ユニット
メイン基板
パワー基板
ヨバタ基板
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
室内ユニット
コントロール基板
リモコン配線
リモコン
コントロール基板

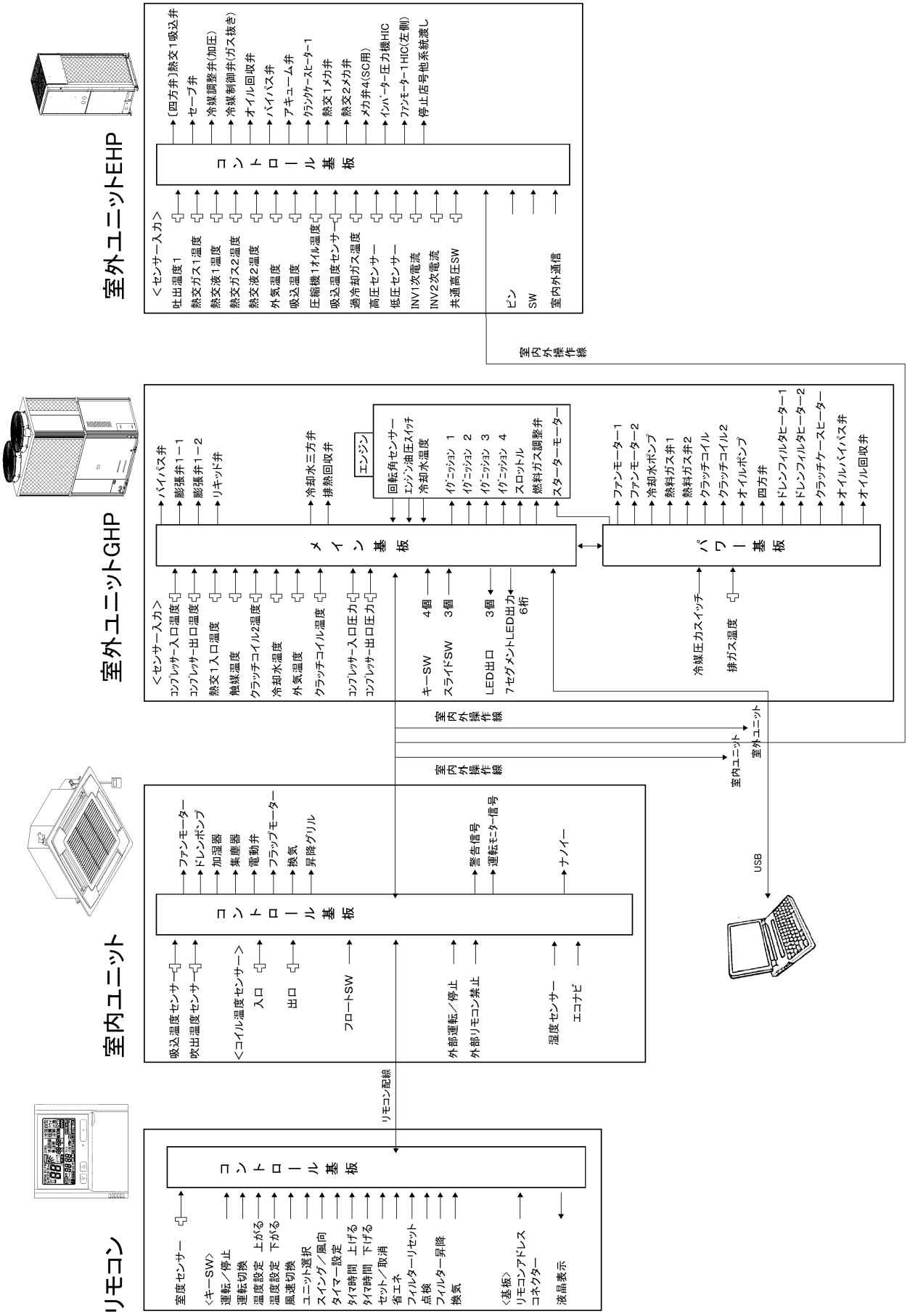
■８５０形


室外ユニット
室内ユニット
リモコン
メイン基板
パワー基板
コンバーター基板
コントロール基板
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
リモコン配線
バイパス弁
膨張弁1－1
膨張弁1－2
リキッド弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
エンジン
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション 1
イグニッション 2
イグニッション 3
イグニッション 4
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
ファンモーター1
ファンモーター2
冷却水ポンプ
熱料ガス弁1
熱料ガス弁2
クラッチコイル
クラッチコイル2
オイルポンプ
四方弁
ドレンフィルタヒーター1
ドレンフィルタヒーター2
クラッチケースヒーター
レバタン弁1
レバタン弁2
オイル戻し弁
サクションバイパス弁
※ハイパワー機種のみ
発電機
発電機温度
IGBT2温度
＜センサー入力＞
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交1入口温度
触媒温度
クラッチコイル2温度
冷却水温度
外気温度
クラッチコイル温度
コンプレッサー入口圧力
コンプレッサー出口圧力
キーSW 4個
スライドSW 3個
LED出口 3個
7セグメントLED出力 6桁
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
吸込温度センサー
吹出温度センサー
＜コイル温度センサー＞
入口
出口
フロートSW
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
室度センサー
＜キーSW＞
運転／停止
運転切換
温度設定 上がる
温度設定 下がる
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
ﾀｲﾏ時間 上げる
ﾀｲﾏ時間 下げる
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
＜基板＞
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

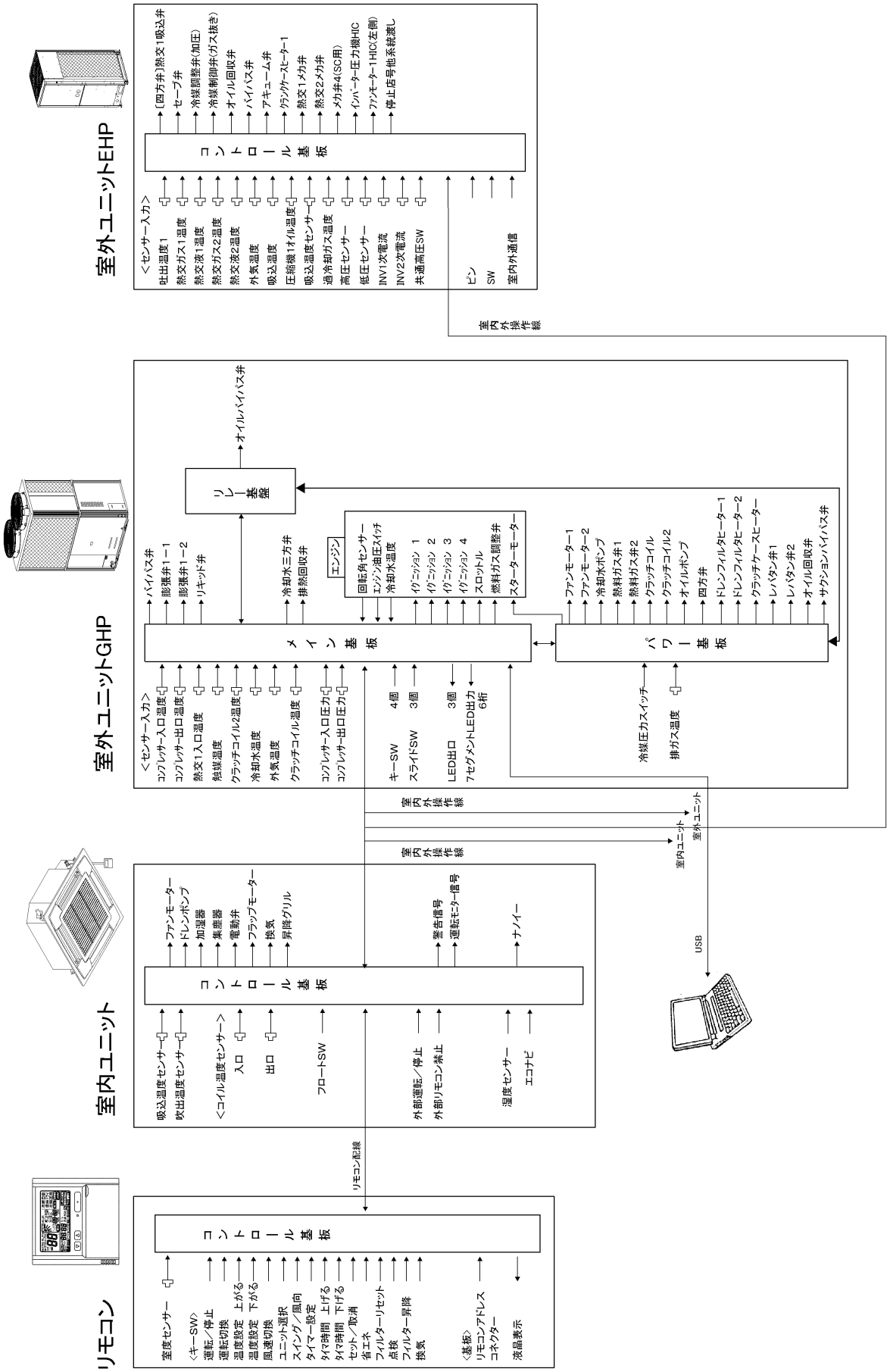
■3WAY


室外ユニット
リレー基板
メインPC基板
パワー基板
吐出弁1－1
吐出弁2
吸込弁1
吸込弁2－1
吐出弁1－2
吸込弁2－2
バイパス弁
膨張弁1－1
膨張弁2
リキッド弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
エンジン
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション 1
イグニッション 2
イグニッション 3
イグニッション 4
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
ファンモーター1
ファンモーター2
冷却水ポンプ
熱料ガス弁1
熱料ガス弁2
クラッチコイル
クラッチコイル2
オイルポンプ
ドレンフィルタヒーター1
ドレンフィルタヒーター2
クラッチケースヒーター
オイル戻し弁
＜センサー入力＞
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交1入口温度
触媒温度
クラッチコイル2温度
冷却水温度
外気温度
クラッチコイル温度
熱交2入口温度
コンプレッサー入口圧力
コンプレッサー出口圧力
キーSW 4個
スライドSW 3個
LED出口 3個
7セグメントLED出力 6桁
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
室内外操作線
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
室内ユニット
コントロール基板
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
吸込温度センサー
吹出温度センサー
＜コイル温度センサー＞
入口
出口
フロートSW
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
リモコン配線
リモコン
コントロール基板
室度センサー
＜キーSW＞
運転／停止
運転切換
温度設定 上がる
温度設定 下がる
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
タイマ時間 上げる
タイマ時間 下げる
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
＜基板＞
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

■スマートマルチ５６０形・７１０形



■スマートマルチ８５０形



（１）リモコンの警報一覧表（室内ユニット接続時）

：点滅　○：点灯　●：消灯

検出内容			警報表示	ワイヤレスリモコン ランプ表示	判定機器
エンジン保護装置動作	エンジン系の異常	エンジン油圧異常	Ａ０１	運転 タイマー 準備中 ● 同時点滅	室外ユニット
		エンジンオイル異常	Ａ０２		
		エンジン過回転異常	Ａ０３		
		エンジン低回転異常	Ａ０４		
		イグニッション電源異常	Ａ０５		
		エンジン起動失敗	Ａ０６		
		燃料ガス弁異常	Ａ０７		
		エンスト	Ａ０８		
		排ガス温度高	Ａ１０		
		エンジン油圧スイッチ異常	Ａ１４		
		クランク角センサー異常	Ａ２３		
		カム角センサー異常	Ａ２４		
		失火異常	Ａ２６		
	スターター系の異常	スターター電源出力短絡	Ａ１５		
		スターターロック	Ａ１６		
		ＣＴ異常（スターター電流検出不良）	Ａ１７		
	冷却水系の異常	冷却水温度低	Ａ１９		
		冷却水温度高	Ａ２０		
		冷却水レベル異常	Ａ２１		
		冷却水ポンプ異常	Ａ２２		
	クラッチ異常		Ａ２５		
	触媒温度異常（触媒付き機種のみ検出）		Ａ２７		
	発電機異常（ＨＰのみ検出）		Ａ２８		
	コンバーター異常（ＨＰのみ検出）		Ａ２９		
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが室内ユニットからの信号の異常を検出	リモコン受信不良	Ｅ０１	運転 タイマー 準備中 ● ● 点滅	リモコン
		リモコン送信不良	Ｅ０２		室内ユニット
	室内ユニットがリモコン（集中）からの受信不良		Ｅ０３		リモコン
	設定不良	室内ユニットアドレス重複設定	Ｅ０８		室内ユニット
		親リモコン複数台設定	Ｅ０９		室外ユニット
	ＤＣ送風機ドライバ通信異常		Ｅ１０		室内ユニット
	室内基板が信号出力基板からの受信不良		Ｅ１１		
	自動アドレス中により、自動アドレス開始禁止		Ｅ１２		
	室内ユニットがリモコンへの送信不良		Ｅ１３		
	グループ制御配線の通信不良		Ｅ１８		
	室内ユニットが室外ユニット側からの受信不良		Ｅ０４	運転 タイマー 準備中 ● ● 点滅	室内ユニット
	室内ユニットが室外ユニット側への送信不良		Ｅ０５		
	室外ユニットが室内ユニット側からの受信不良		Ｅ０６		室外ユニット
	室外ユニットが室内ユニット側への送信不良		Ｅ０７		
	自動アドレス警報	（台数少）	Ｅ１５		
		（台数多）	Ｅ１６		
	室内ユニット無し		Ｅ２０		
	室外メイン基板異常		Ｅ２１		
	室外メイン基板センサー異常		Ｅ２２		
	室外ユニット間通信異常（Ｗマルチのみ検出）		Ｅ２４		
	室外ユニット台数不一致（Ｗマルチのみ検出）		Ｅ２６		
	ユニット内通信異常		Ｅ３１		

注）表中の「ＨＰ」：ハイパワーマルチ
注）機種によっては表示しない項目があります。

☼：点滅　○：点灯　●：消灯

検出内容			警報表示	ワイヤレスリモコン ランプ表示	判定機器
センサー異常	室内ユニット側のセンサー系異常	室内熱交換器入口温度センサー異常	Ｆ０１	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ● 交互点滅	室内ユニット
		室内熱交換器出口温度センサー異常	Ｆ０３		
		室内ユニット吸込温度センサー異常	Ｆ１０		
		室内ユニット吹出温度センサー異常	Ｆ１１		
	室外ユニット側のセンサー系異常	コンプレッサー出口温度センサー異常	Ｆ０４	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ○ 点灯 交互点滅	室外ユニット
		室外熱交換器入口温度センサー異常	Ｆ０６		
		外気温度センサー異常	Ｆ０８		
		コンプレッサー入口温度センサー異常	Ｆ１２		
		冷却水温度センサー異常	Ｆ１３		
		コンプレッサー入出口圧力センサー異常	Ｆ１６		
		温水出入口温度センサー異常（3WAYのみ）	Ｆ１７		
		排ガス温度センサー異常	Ｆ１８		
		クラッチコイル温度センサー異常	Ｆ２０		
		クラッチ2コイル温度センサー異常	Ｆ２１		
		オイルレベルセンサー異常（Wマルチのみ検出）	Ｈ０８	運転 タイマー 準備中 ● ☼ ● 点滅	
コンプレッサーオイル無し異常（Wマルチのみ検出）			Ｈ０７		
室内不揮発性メモリ（ＥＥＰＲＯＭ）異常［＊１］			Ｆ２９	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ● 同時点滅	室内ユニット
室外不揮発性メモリ（ＥＥＰＲＯＭ）異常			Ｆ３１	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ○ 点灯 同時点滅	室外ユニット
誤設定・未設定	室内外機種の不一致（ＧＨＰ以外の機器接続あり）		Ｌ０２	運転 タイマー 準備中 ☼ ● ☼ 同時点滅	室内ユニット
	グループ制御の親機複数設定		Ｌ０３		
	室内ユニット優先重複設定	（優先室内ユニット）	Ｌ０５		室外ユニット
		（優先室内ユニット以外）	Ｌ０６		
	個別制御室内ユニットへのグループ配線あり		Ｌ０７		室内ユニット
	室内ユニットアドレス未設定		Ｌ０８		
	室内ユニット能力未設定		Ｌ０９		
	系統（室外ユニット）アドレスの重複設定		Ｌ０４	運転 タイマー 準備中 ☼ ○ 点灯 ☼ 同時点滅	室外ユニット
	室外ユニット能力未設定		Ｌ１０		
	室内ユニット機種設定不良		Ｌ１３		
	室内ユニットペアリング不良		Ｌ１５		
	ガス種設定不良		Ｌ２１		

注）機種によっては表示しない項目があります。

＊１：電源投入時に室内不揮発性メモリ（ＥＥＰＲＯＭ）不良の場合は、警報コードＦ２９は出ず、室内基板上の電源ＬＥＤが点滅します。

☼：点滅　○：点灯　●：消灯

検出内容			警報表示	ワイヤレスリモコン ランプ表示	判定機器
室内ユニット天井パネルコネクタ接続不良			Ｐ０９	運転　タイマー　準備中 ●　☼　☼ 交互点滅	室内ﾕﾆｯﾄ
保護装置動作	室内保護装置	室内送風機異常／室内送風機回転数異常	Ｐ０１		
		室内ユニットフロートスイッチ作動	Ｐ１０		
		室内ＤＣファン異常	Ｐ１２		
	室外保護装置	コンプレッサー吐出温度高	Ｐ０３	運転　タイマー　準備中 ☼　●　☼ 交互点滅	室外ﾕﾆｯﾄ
		冷媒高圧スイッチ作動	Ｐ０４		
		電源異常	Ｐ０５		
		冷媒回路異常（Ｗﾏﾙﾁ･3WYA･30 馬力のみ検出）	Ｐ１３		
		O_2センサー作動	Ｐ１４		
		完全冷媒ガス欠	Ｐ１５		
		バイパス弁異常	Ｐ１８		
		四方弁ロック異常（３ＷＡＹは検出しません）	Ｐ１９		
		冷媒高圧異常	Ｐ２０		
		室外送風機異常	Ｐ２２		
		クラッチ接続異常	Ｐ２６		
グループ制御の子機異常（システムコントローラー）			Ｐ３０		ｼｽﾃﾑ ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ
グループ制御異常（警報）			Ｐ３１		室内ﾕﾆｯﾄ
オイル交換時間（レベル）警報 室外表示：ｏｉＬ			オイル点検		室外ﾕﾆｯﾄ
自動バックアップ運転中［＊２］			点検		
ｺﾝﾊﾞｰﾀｰ異常時の発電無しﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ運転表示（ＨＰのみ検出）			ＧＥ		

注）機種によっては表示しない項目があります。

＊２：この場合、システムの運転は可能ですが、いずれかの室外ユニットが異常停止していることを意味しています。

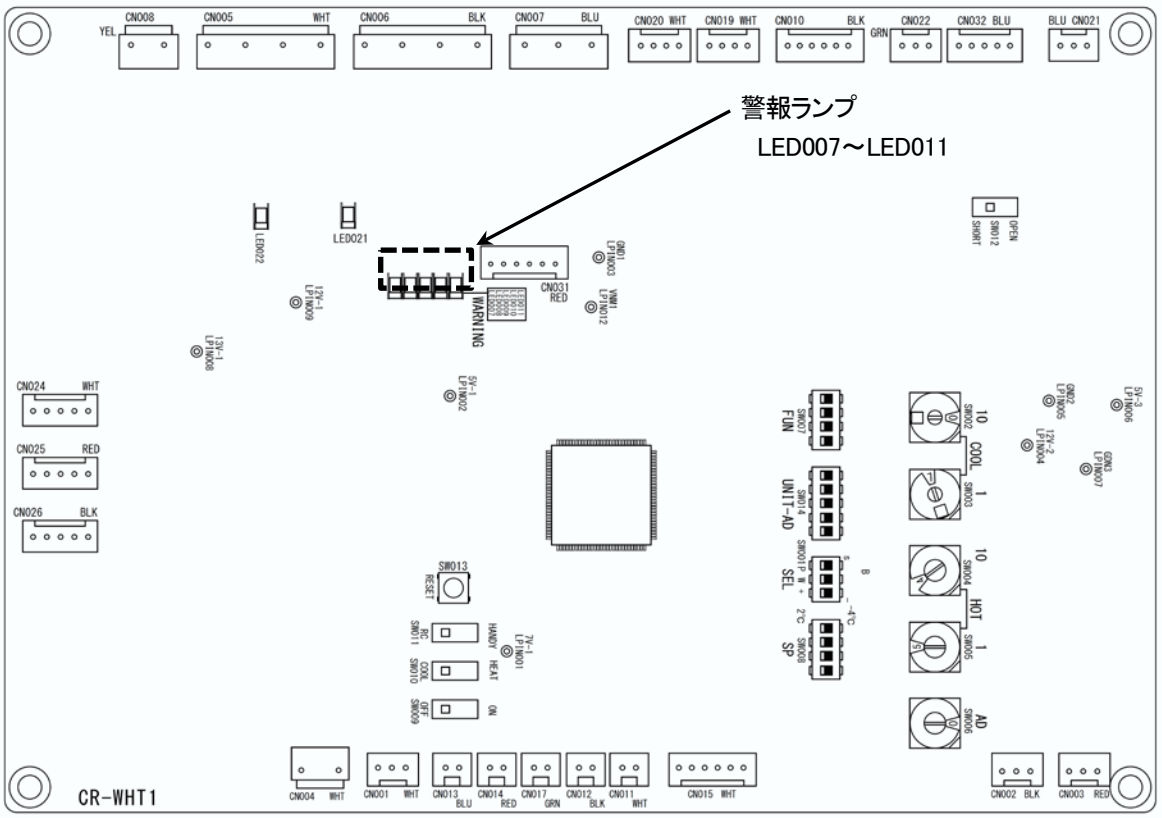
・システムコントローラーではＰ３０警報（グループ制御の子機異常）が表示されることがあります。

（２） リモコンの警報一覧表（水熱交換器ユニット接続時）

検出内容			警報表示	リモコンスイッチ表示	水熱交換器ユニット基板表示	判定機器
エンジン保護装置動作	エンジン系の異常	エンジン油圧異常	A01	「異常」点灯	—	室外ユニット
		エンジンオイル異常	A02	「ｵｲﾙ警報」「異常」点灯	—	
		エンジン過回転異常	A03	「異常」点灯	—	
		エンジン低回転異常	A04			
		イグニッション電源異常	A05			
		エンジン起動失敗	A06			
		燃料ガス弁異常	A07			
		エンスト	A08			
		排ガス温度高	A10			
		エンジン油面異常	A11			
		エンジン油圧スイッチ異常	A14			
		クランク角センサー異常	A23			
		カム角センサー異常	A24			
		クラッチ異常	A25			
		失火異常	A26			
	スターター系の異常	スターター電源出力短絡	A15			
		スターターロック	A16			
		CT異常（ｽﾀｰﾀｰ電流検出不良）	A17			
	冷却水系の異常	冷却水温度低	A19			
		冷却水温度高	A20			
		冷却水レベル異常	A21			
		冷却水ポンプ異常	A22			
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが室内ユニットからの信号の異常を検出	リモコン受信不良	E01	「異常」点灯	—	リモコン
		リモコン送信不良	E02			
	水熱交換器ユニットがリモコン（集中）からの受信不良		E03		LED008 点灯	水熱交換器ユニット
	水熱交換器ユニットが室外ユニット側からの受信不良		E04			
	水熱交換器ユニットが室外ユニット側への送信不良		E05			
	室外ユニットが水熱交換器ユニット側からの受信不良		E06		—	室外ユニット
	室外ユニットが水熱交換器ユニット側への送信不良		E07			
	設定不良	水熱交換器ユニットアドレス重複設定	E08			室外ユニット・水熱交換器ユニット
	水熱交換器ユニットがリモコンへの送信不良		E13		LED008 点灯	水熱交換器ユニット
	室外ユニットでの水熱交換器ユニット台数設定不良	（台数少）	E15		—	室外ユニット
		（台数多）	E16			
	ユニット内通信異常		E31			
センサー異常	水熱交換器ユニット側のセンサー系異常	水熱交換器ﾕﾆｯﾄ冷媒入口センサー異常	F01	「異常」点灯	LED009 点灯	水熱交換器ユニット
		水熱交換器ﾕﾆｯﾄ凍結防止ｾﾝｻｰ異常	F02			
		水熱交換器ﾕﾆｯﾄ冷媒出口センサー異常	F03			
		水入口温度センサー異常	F10			
		水出口温度センサー異常	F11			
	室外ユニット側のセンサー系異常	ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ出口温度ｾﾝｻｰ異常	F04		—	室外ユニット
		室外熱交換器入口温度ｾﾝｻｰ異常	F06			
		外気温度センサー異常	F08			
		ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ入口温度ｾﾝｻｰ異常	F12			
		冷却水温度センサー異常	F13			
		ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ入出口圧力ｾﾝｻｰ異常	F16			
		排ガス温度センサー異常	F18			
		クラッチコイル温度センサー異常	F20			
		クラッチ2コイル温度センサー異常	F21			
	室内不揮発性メモリ（EEPROM）異常［＊1］		F29	「異常」点灯	LED009 点灯	水熱交換器ユニット
	時計機能（RTC）異常		F30			室外ユニット
	室外不揮発性メモリ（EEPROM）異常		F31			

検出内容			警報表示	リモコンスイッチ表示	水熱交換器ユニット基板表示	判定機器
誤設定・未設定	室内外機種の不一致（GHP以外の機器接続あり）		L02	「異常」点灯	—	室外ユニット
	系統（室外ユニット）アドレスの重複設定		L04			
	室外ユニット能力未設定		L10			
	水熱交換器ユニット設定不良（国内仕様のみ）		L16		LED011 点灯	水熱交換器ユニット
	水熱交換器ユニット並列アドレス重複（国内仕様のみ）		L19		LED011 点灯	
	ガス種設定不良		L21		—	室外ユニット
保護装置動作	室外保護装置	コンプレッサー吐出温度高	P03	「異常」点灯	—	室外ユニット
		冷媒高圧スイッチ作動	P04			
		電源異常	P05			
		フロースイッチ異常	P09		—	水熱交換器ユニット
		水熱交換器ユニット凍結異常	P11		LED010 点灯	
		O_2センサー作動	P14		—	室外ユニット
		完全冷媒ガス欠	P15			
		バイパス弁異常	P18			
		四方弁ロック異常	P19			
		冷媒高圧異常	P20			
		室外送風機異常	P22			
		水熱交換器ユニットインターロック異常	P23		LED007 点灯	水熱交換器ユニット
		クラッチ接続異常	P26		—	室外ユニット
エンジンオイル交換時間（CZ－10RTGXAに表示） 室外表示：oiL			エンジンオイル		—	室外ユニット

注）機種によっては水熱交換器ユニットを接続することはできません。



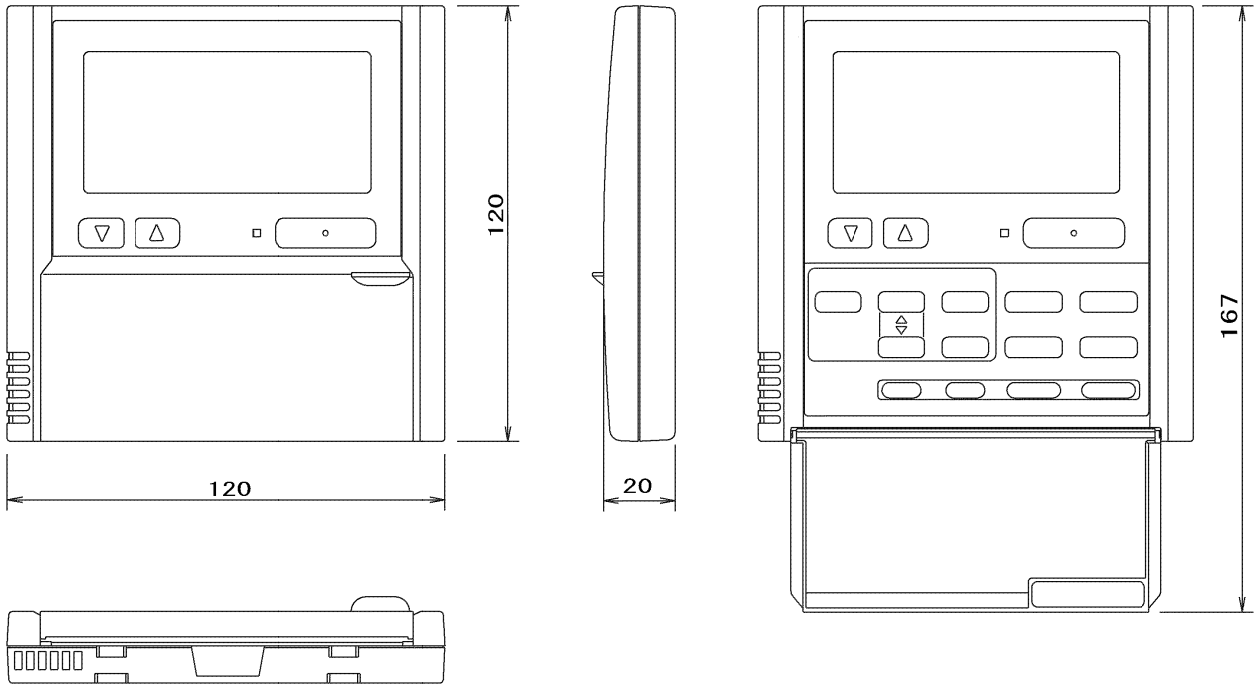
水熱交換器ユニットコントロール基板（ＣＲ－ＷＨＴ１）

（１）制御機器一覧

品　　名		品　　番
ワイヤードリモコン		CZ－10RT4C(推奨) CZ－10RT3 （機能制限あり） CZ－10RT3A （機能制限あり） CZ－10RT3P　（ペリメータ専用 省エネボタン付） CZ－10RT3PN （ペリメータ専用 省エネボタン無し） CZ－10RT560E（発電モニター機能つき　ハイパワーエクセル専用） CZ－10RTF4（多言語対応）
ワイヤレスリモコン	送信部	CZ－10RWP2
	受信部	CZ－10RWRU2A（4方向天井カセット形）:ホワイト （-T:ブラウン、-H:グレー、-K:ブラック） CZ－10RWRL1（2方向天井カット形） CZ－10RWRD1A（天井吊形/1 方向天井カセット形/ 高天井用1方向カセット形） CZ－10RWRC1A（別置タイプ） CZ－10RWRT1A（天井吊形「ナノイーX」搭載機種 受信部）
昇降操作専用リモコン		CZ－10RWU3G
簡単リモコン		CZ－02RE4
スケジュールタイマー		CZ－10ESW3
システムコントローラー		CZ－10ESM3
ON／OFF集中コントローラー		CZ－10AN4
e-CUT機能付システムコントローラー		CZ－10ESM4
インテリジェントコントローラー		CZ－10EST4
AMYアダプター		CZ－10AP3500
室内用リレー中継基板		CZ－01APC3
室外シリパラI／Oユニット		ACC－XSP4U1
ミニシリパラI／Oユニット		ACC－SP1A
信号出力基板		ACC－SG－E
電磁弁出力基板		ACC－3WAY－B1／B2／EK／EQ2
S－DDC		CZ－10ESKD2
ON／OFF制御用ローカルアダプター		CZ－CAPL1　CZ－CAPA1
ロンワークスインタフェース		SHA－LN16U
通信アダプター		CZ－10APB3
リモートセンサー		CZ－RSB4
運転表示ランプキット		IND－TH80E CZ－10TRP
遠隔監視アダプター		CZ－01AP60B
P-AIMSシステム		CZ－10SWB3 （基本ソフト） CZ－10SWB3A（料金計算ソフト） CZ－10SWB3D（デマンドソフト） CZ－10SWB3G（レイアウト表示ソフト） CZ－10SWB3S（設備管理ソフト） CZ－10SWB3T（グラフ表示ソフト） CZ－10SWB3B（BACnet 通信ソフト） CZ－10SWB3W（Web対応ソフト） CZ－10SWB3P（太陽光・蓄電表示ソフト） CZ－10SWB3CA（カメラ空調省エネソフト） CZ－10SWB3CV（カメラ換気省エネソフト） CZ－10SWB3CL（カメラ照明省エネソフト）
HA JEM－A規格対応コネクタ （サービスパーツ扱い）		WIRE　K（6231731287）
チラーリモコン		CZ－10RTC1
チラーコントローラ		CZ－10RT15G
RACローカルアダプター		CZ－CAPR1

（２）ワイヤードリモコン(標準)

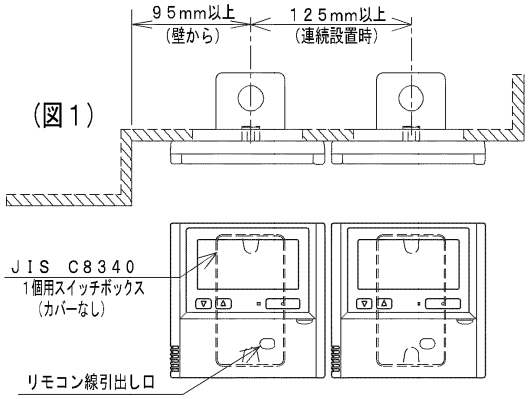
項　　目	別売品（標準）	
（停　　止）	ＣＺ１０ＲＴ３	ＣＺ１０ＲＴ３Ａ
運転/停止	押しボタン	
運転切換	押しボタン	
温度設定	押しボタン	
風速切換	押しボタン	
オートフラップ	押しボタン	
タイマー設定	押しボタン	
フィルターリセット	押しボタン	
点検	押しボタン	
省エネ	押しボタン	―
（表　　示）	ＣＺ１０ＲＴ３	ＣＺ１０ＲＴ３Ａ
運転	ランプ・文字 運転ランプ 「試運転」 「暖房準備」 「運転準備」 「集中管理中」 「運転切換管理中」	
運転モード	文字 「冷暖自動」 「暖房」 「冷房」 「ドライ」 「送風」	
省エネ	「省エネ」	―
設定温度	数字	
風速	文字 「風速　自動」 「風速　　急 」 「風速　　強 」 「風速　　弱 」	
オートフラップ	マーク	
タイマー	文字・マーク・数字	
フィルター昇降	フィルター昇降	
換気	換気	
（警　　報）	ＣＺ１０ＲＴ３	ＣＺ１０ＲＴ３Ａ
通信・各種設定	「Ｅ０１～Ｅ３１」	
未設定・各種設定	「Ｌ０１～Ｌ３１」	
室内送風機	「Ｐ０１」	
天井パネル未接続	「Ｐ０９」	
室内フロートスイッチ	「Ｐ１０」	
保護装置	「Ｐ０１～Ｐ３１」	
エンジン保護	「Ａ０１～Ａ３１」	
センサー	「Ｆ０１～Ｆ３１」	



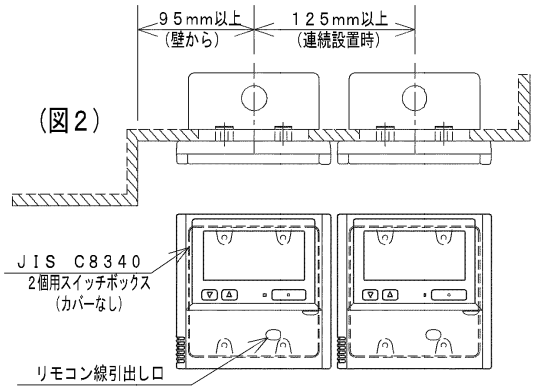
連続設置の場合の取付寸法

＊リモコンスイッチを壁面に連続して取り付ける場合、
図１・図２の取付寸法を守ってください。

（図１）

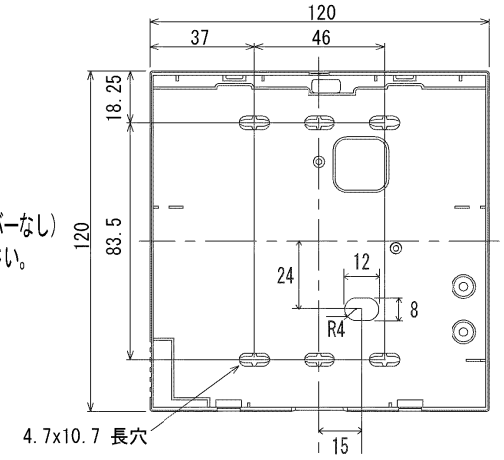


（図２）



＊リモコンスイッチを上下に連続設置する場合、隙間は
５０mm以上としてください。
＊リモコン上部の隙間は１０mm以上確保してください。

＜リモコン取付け寸法＞

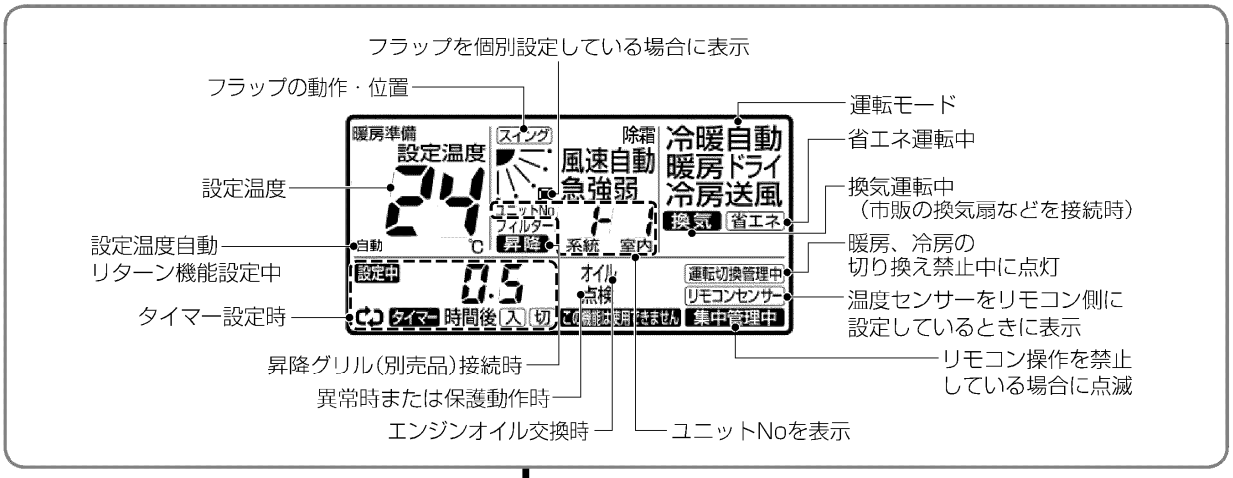


お願い）　配線を埋込まれる場合は、ＪＩＳ－Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）
または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

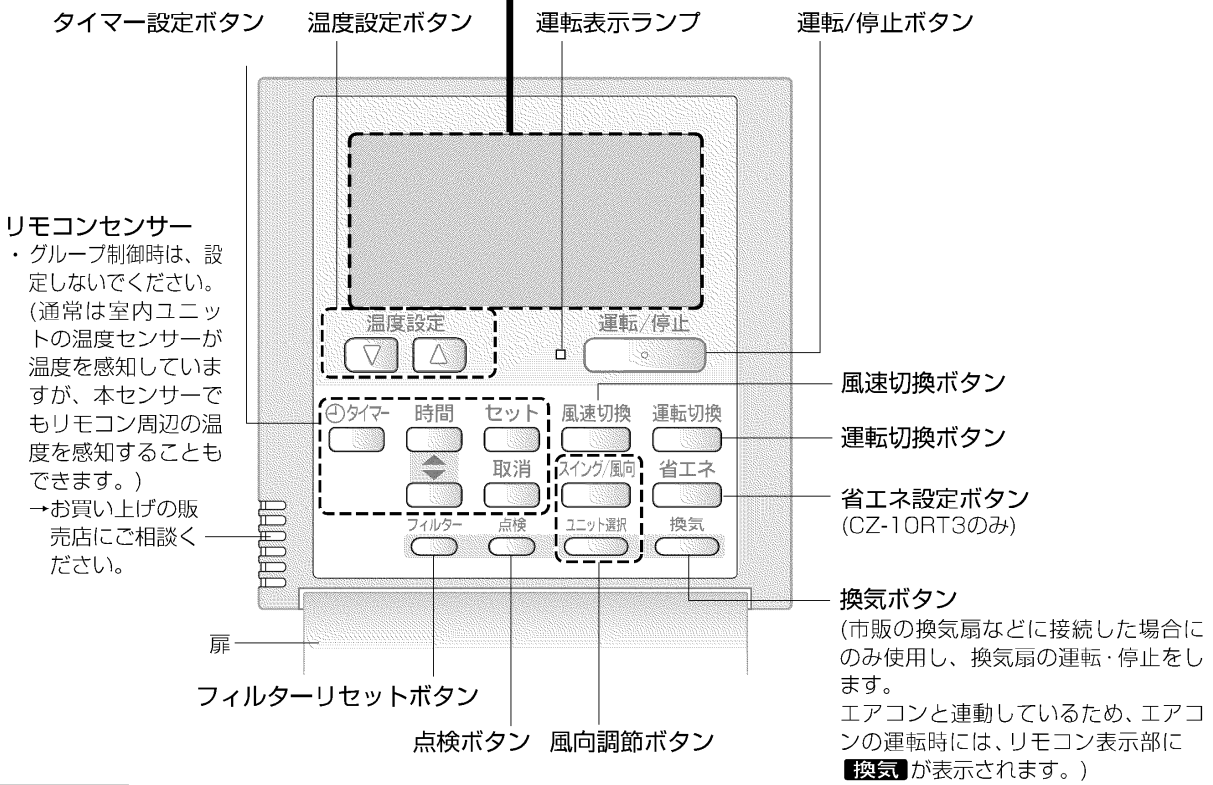
品番	CZ-10RT3 CZ-10RT3A	外形寸法図 （標準ワイヤードリモコン）

ワイヤードリモコン（別売品：CZ-10RT3/10RT3A）

表示部



操作部



お知らせ

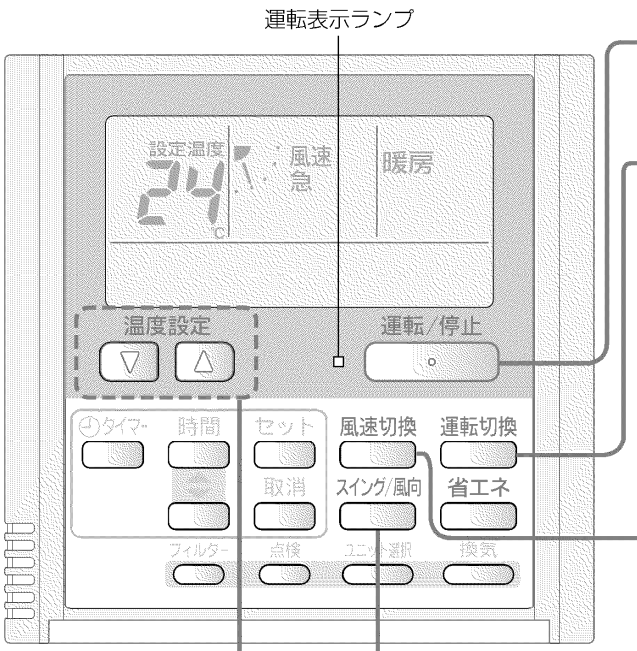
- 漏電しゃ断器を入れると、自動で機種確認を行っている間、リモコン表示部に 設定中 が点滅します。
  設定中 が消えたあとに、リモコン操作をしてください。
- このリモコンは 1 台で、室内ユニットを最多 8 台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
- 次の室内ユニットは表示部にフラップ位置が表示されません。(天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形、天井埋込形、天吊形厨房用エアコン、ペリメーター用床置形、ペリメーター用床置埋込形)

運転のしかた

冷暖自動・暖房・ドライ・冷房・送風

（本書ではワイヤードリモコンでの操作を中心に説明しています。）

運転開始の５時間以上前に漏電しゃ断器（電源）を入れる。（本体保護のため）



1 運転/停止

を押す
（運転表示ランプ点灯）

2 運転切換

を押し、お好みの運転を選ぶ

冷暖自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風 …設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。（室内ユニットがグループ制御されている場合のみ）

3 風速切換

を押し、お好みの風速を選ぶ

自動 → 急 → 強 → 弱

●送風時は「自動」を選べません。

4 スイング/風向

を押し、お好みの風向を選ぶ

5 温度設定

▽ △ を押し、お好みの温度にする

冷暖自動	：17 ℃～ 27 ℃
暖房	：16 ℃～ 30 ℃
冷房・ドライ	：18 ℃～ 30 ℃

■止めるとき

運転/停止

を押す（運転表示ランプ消灯）

お知らせ

- 機種によって、運転開始から設定した風速になるまでに時間がかかることがあります。
- ドライ時は、設定温度に近づくと弱風になります。
- 設定温度は室内ユニットの吸込口付近の温度（目安）です。据付状態によって、室温とは多少異なります。
- リモコンに「暖房準備」を表示中は、風向は上向きになり、消灯後は、設定した風向きになります。
- 湿度の高い梅雨などに長期間運転をすると、露の滴下や、霧が吹き出すことがあります。
- 停電したときは、すべての運転が停止しますが、通電後 運転/停止 を押すと、停電前の内容で運転を再開します。

■省エネ運転をしたいとき

（ワイヤードリモコン CZ-10RT3・コントロールスイッチのみ）

運転中に

省エネ

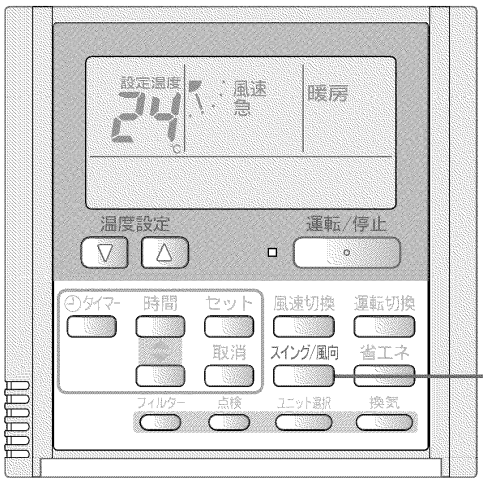
を押す

- エンジン回転数を制限した運転になるため、冷房や暖房などの能力は低下します。

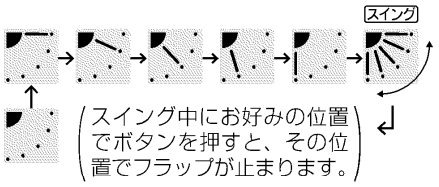
風向を調節する

リモコンで調節する

●1 方向天井カセット形　●2 方向天井カセット形　●4 方向天井カセット形
●高天井用 1 方向カセット形　●天井吊形　●壁掛形



1 運転中に
スイング/風向
[　　] を押し、お好みの風向を選ぶ



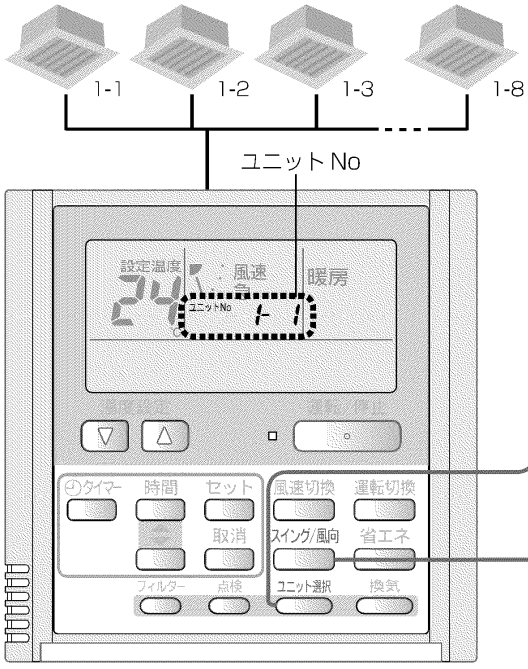
- 冷房とドライの調節範囲は、3 段階です。
- 冷房とドライのスイング中は 5 段階表示されますが、下向きの位置でボタンを押しても、露付き防止のため、3 段階の一番下で止まります。
- 天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形、天井埋込形、天吊形厨房用エアコン、ペリメーター用床置形、ペリメーター用床置埋込形は、リモコンでの操作はできません。

お知らせ

- リモコンのスイング・風向の表示は、フラップの動きと同調していません。

■ 1 台のリモコンで、複数台の室内ユニットを運転しているとき（グループ制御）

グループ制御されているエアコンは、ユニットごとに風向きが設定できます。（風向以外の運転はすべて同じになります。）



●室内ユニットを個別に風向設定するとき

1 運転中に
ユニット選択
[　　] を押し、設定したいユニット No を選ぶ

2 スイング/風向
[　　] を押し、お好みの風向を選ぶ

リモコン表示例
表示なし → 1-1 → 1-2 → 1-3 ⋯ 1-8 → 表示なし

●すべての室内ユニットを同時に風向設定するとき

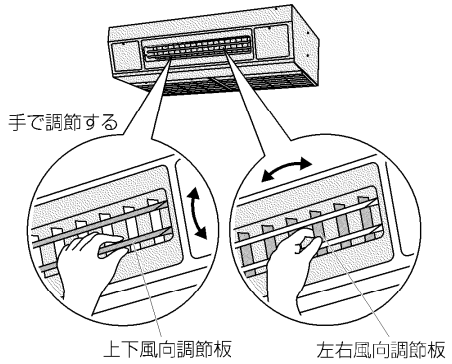
1 運転中に
ユニット選択
[　　] を押し、[表示なし] を選ぶ

2 スイング/風向
[　　] を押し、お好みの風向を選ぶ

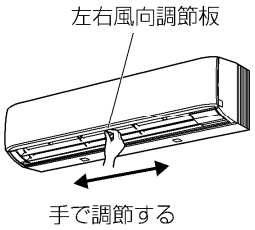
風向を調節する（つづき）

手で調節する

●天吊形厨房用エアコン



●壁掛形



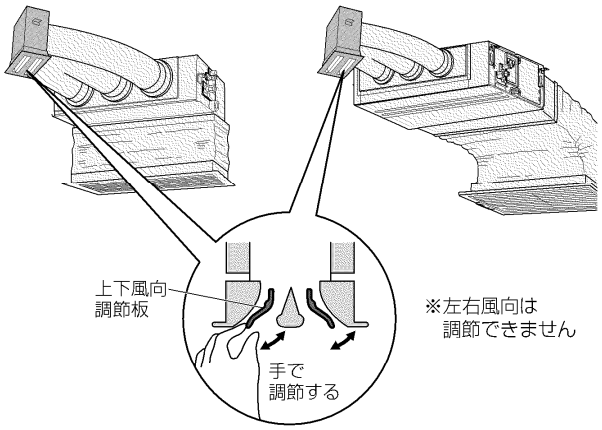
お知らせ

- 天井埋込形、ペリメーター用床置埋込形は、風向調節はできません。

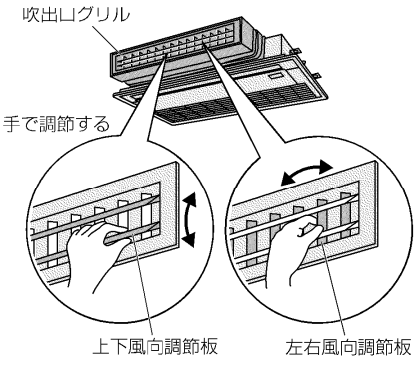
■別売品の吹出口グリルを設置しているとき

風向調節板を直接手で調節してください。

●天井ビルトインカセット形　●ビルトインオールダクト形



●高天井用 1 方向カセット形



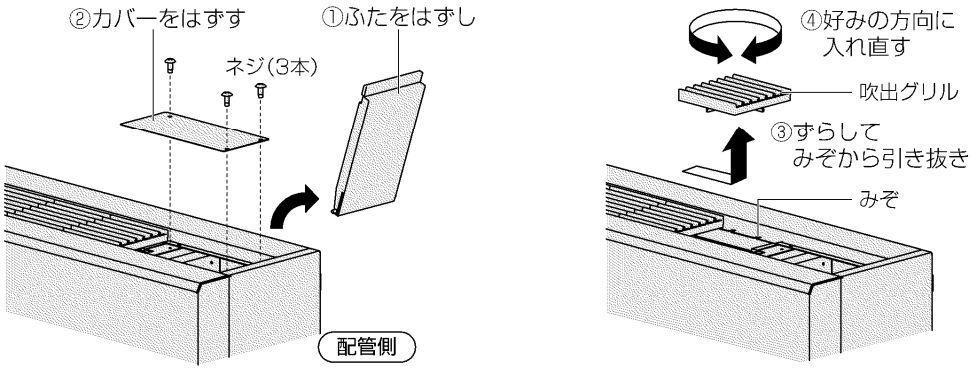
お願い

- 暖気は上に、冷気は下にたまります。風向は、暖房時は下向きに、冷房やドライ時は上向きにしてください。
  特に壁掛形の冷房やドライ時は、フラップを水平に、左右風向調節板は垂直（中央）でご使用ください。
  （湿度が高い環境（湿度 80 %以上）で長時間運転すると、フラップや吹出口周辺に露が付き、滴下･露飛びの原因）

お買い上げの販売店にご依頼ください

●ペリメーター用床置形

- 固定の吹出しグリルの向きを販売店で変更することができます。
- 工具が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。



お知らせ

- 風が壁側に当たるように吹出グリルを向けると、冷房運転時に露が付着することがあります。
- 吹出グリルは配管側から１個はずすと逆方向からでも取りはずせます。

お願い

- 暖気は上に、冷気は下にたまります。風向は、暖房時は下向きに、冷房やドライ時は上向きにしてください。
（冷房やドライ時は下向きにすると、吹出口に露が付き、滴下の原因）

便利な機能

タイマー運転

タイマー切換について
タイマー
を押すごとに
切り換わる

表示なし → 切 → 切 → 入 → 表示なし

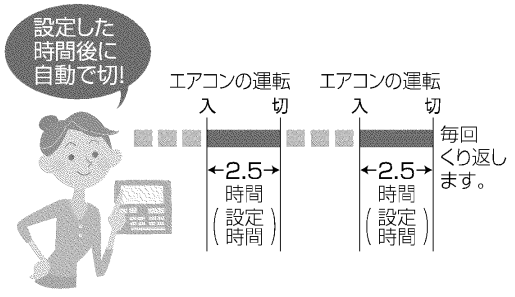
（図は切タイマー設定中の表示例）

タイマー設定時間について
時間
0.5 時間（30 分）単位（上限 72 時間）
0.5 時間（30 分）単位（下限 0.5 時間）

■ タイマー運転を中止するとき→取消 を押す。
（タイマーの時間と表示が消える）

くり返し切タイマー 切 の動作について

例：毎回 2.5 時間後に運転停止の設定をしたとき



切タイマー 切

設定した時間後にエアコンを停止するとき
例：30 分後に運転を停止したいとき

1. 運転中に タイマー を 1 回押す
（リモコン表示部に 切 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）
2. 時間 を押し 0.5 を表示する
3. セット を押す
（設定中 が消え、タイマー時間が表示される）

くり返し切タイマー 切

毎回、設定した時間後にエアコンを停止するとき
（消し忘れ防止のため）
例：毎回 2.5 時間後に運転を停止したいとき

1. 運転中に タイマー を 2 回押す
（リモコン表示部に 切 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）
2. 時間 を押し 2.5 を表示する
3. セット を押す
（設定中 が消え、タイマー 時間が表示される）

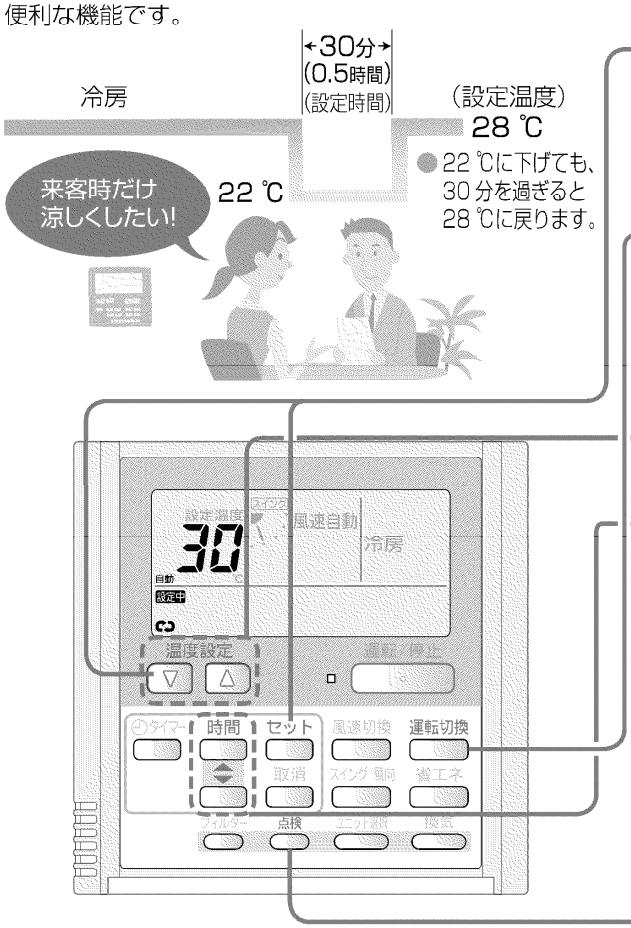
入タイマー 入

設定した時間後にエアコンを運転するとき
例：8 時間後に運転を始めたいとき

1. 運転中に タイマー を 3 回押す
（リモコン表示部に 入 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）
2. 時間 を押し 8.0 を表示する
3. セット を押す
（設定中 が消え、タイマー時間が表示される）
※設定直後、運転は停止します。

設定温度自動リターン機能

来客時など、温度を下げても（または上げても）設定した時間が過ぎると、登録した設定温度に自動で戻る便利な機能です。



運転モード	設定温度範囲	設定時間範囲
冷房・ドライ	18 ℃～30 ℃	0.5 時間（30 分）～2.0 時間（120 分）
暖房	16 ℃～30 ℃	
冷暖自動	17 ℃～27 ℃	

- 冷房とドライは同じ設定になります。
- 設定時間は、0.5 時間（30 分）単位、設定温度は、1 ℃単位。
- 設定できる内容は、リモコン及び室内ユニットの種類によって異なります。

■ 途中で操作を中止するとき→点検 を押す。

お知らせ

●他の制御機器から設定温度を変更された場合
設定した時間を経過しても、設定した温度には戻りません。

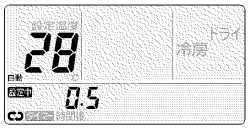
●停電が発生した場合
通電後 運転/停止 を押すと、設定した時間経過後に、設定した温度に戻ります。

■ 設定したい運転モード･設定温度･時間を登録する

例：30 分後に設定温度を自動で 28 ℃に戻したいとき

1. セット と 温度設定 を 同時に 4 秒以上、長押しする
（リモコン表示部の 自動 設定中 と運転モードが点滅）
2. 運転切換 を押し、運転モードを選ぶ
（初期設定は「冷房」と「ドライ」が表示される）
3. セット を押す
（運転モードが点灯し、自動 設定中、設定温度とタイマー時間が点滅）
4. 温度設定 を押し 28 を表示する
5. 時間 を押し 0.5 を表示する
6. セット を押す
• 続けて他の運転モードの設定をするときは手順 2 からくり返す。

表示例



7. 点検 を押す（登録完了）
（元の表示に戻り、自動 と が点灯）

• 以上の登録により、温度を下げても（または上げても）30 分後には自動で 28 ℃（設定温度）に戻ります。一度登録すると、解除するまで温度変更するたびに戻ります。

■ 設定温度自動リターン機能を解除するとき

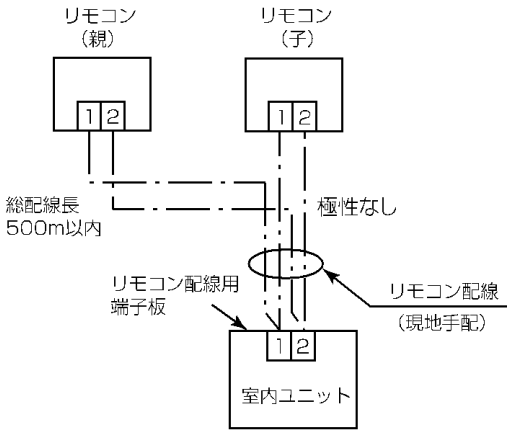
上記手順 3 のあと

4. 時間 を押し -.- を表示する
5. セット を押す（-.- が点灯に変わる）
6. 点検 を押す（解除完了）
（自動 設定中 とタイマー時間が消え、元の表示に戻る）

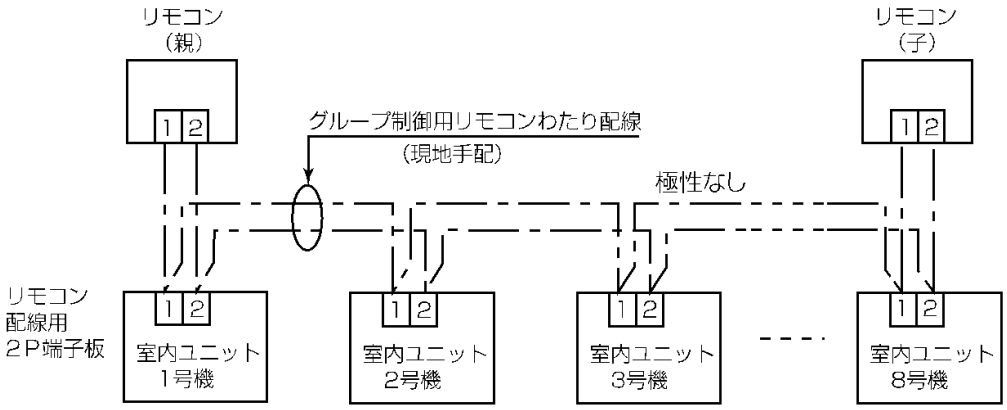
■リモコンセンサー
室温センサーは、室内ユニット側（ボディーセンサー）とリモコン側（リモコンセンサー）どちらにも、リモコンからの設定で切り換えが可能です。
設定の方法は「設定」の項目を参照してください。

■グループ制御
この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
①複数個設置した中の１個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）
②その他のリモコンは、リモコン設定モードで子リモコンにしてください。
＜基本配線図＞
注：配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

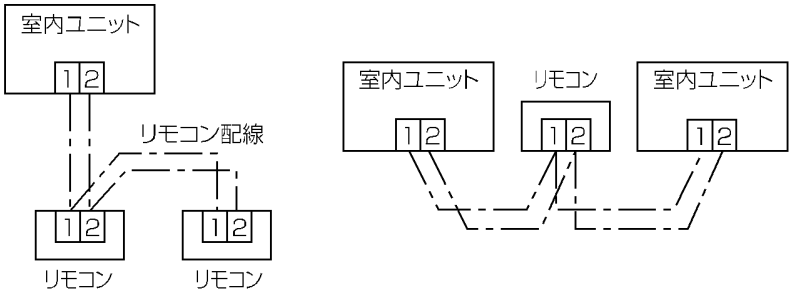
1)室内ユニット１台を、リモコン２ヶ所設置にて操作する場合。



2)複数台グループ制御を、リモコン２ヶ所にて操作する場合。
※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。

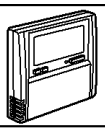
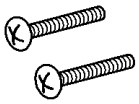


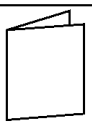
※以下のようなリモコンでわたる配線は禁止です。



■据付

①リモコンスイッチ付属品

番号	付　属　部　品	個数
①	リモコン 	1
②	小ネジ M4×25 	2

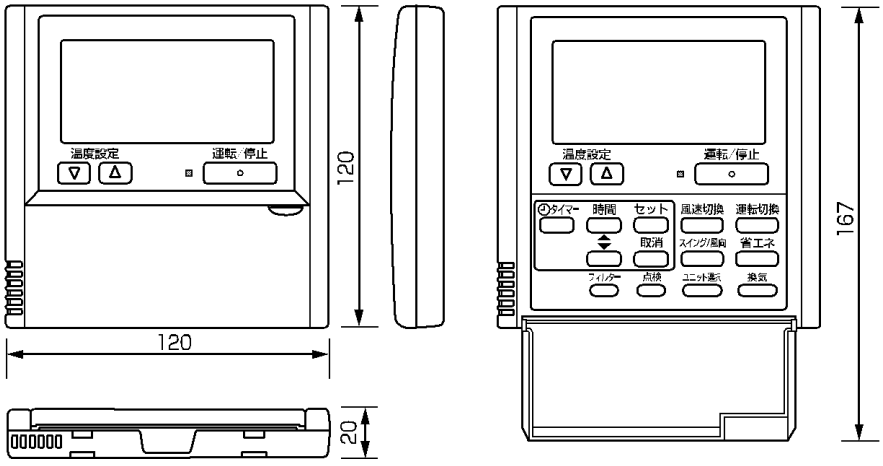
番号	付　属　部　品	個数
③	木ネジ	2
④	据付工事説明書 	1

②リモコンスイッチの設置方法のお願い

設置場所

- リモコンの取付け高さは、床面より1～1.5mの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- このリモコンは防湿･防滴仕様ではありませんので､冷凍･冷蔵庫内には設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面等に垂直に設置してください。
- リモコンを並列設置するときは5㎜以上離してください。

外形寸法図



③室温センサーの切り換え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンに内蔵されています。
室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切り替えるには以下の手順で設定します。

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを４秒以上押します。
注） 最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注） ユニット選択 ボタンを押さないでください。

②温度設定▼／▲ボタンで、項目コード 32 を指定します。

③時間▼／▲ボタンで、設定データを 0000（室内ユニット側）から 0001（リモコン側）に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）

⑤ 点検 ボタンを押します。
通常の停止状態になります。この時、液晶表示部には“ リモコンセンサー ”と表示されます。

注１） 2リモコン制御の時は、親リモコン／子リモコンのどちらからでも設定できますが、リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注２） グループ制御時はグループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注３） リモートセンサーとリモコンを併用する場合はリモコンのリモコンセンサーは使用しないでください。

④換気扇との接続について

室内コントロール基板上の換気扇出力（FAN DRIVE：2P（白）,DC12V）（注）で市販の換気扇等を運転する場合は、 換気 ボタンによって操作可能にする、設定変更を行ってください。

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを4秒以上押します。
注） 最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注） ユニット選択 ボタンを押さないでください。

②温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで、項目コード 31 を指定します。

③時間 ▼ ／ ▲ ボタンで、設定データを 0000 から 0001 に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）

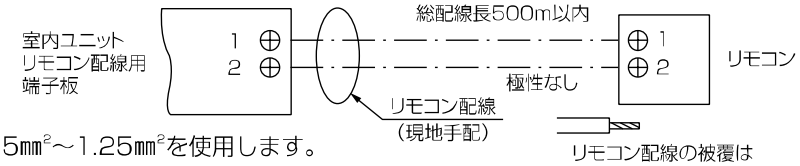
⑤ 点検 ボタンを押します。
通常の停止状態になります。 換気 ボタンを押して、液晶表示部に“ 換気 ”と表示されることを確認してください。

（注）室内コントロール基板に接続する専用配線（別売品）が必要になります。

⑤リモコンスイッチの取付方法

〈注１〉リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉リモコンは、ノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注３〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

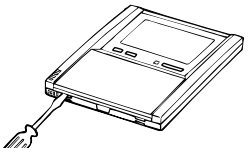
●接続図



- 配線は0.5㎟～1.25㎟を使用します。
- 誤配線すると故障の原因になります。
- リモコン配線には、柔軟性のあるケーブルをご使用ください。
- 単線は使用しないでください。

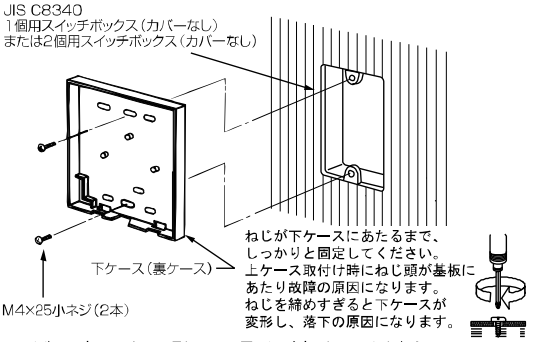
推奨　電線（エコ電線）　VCTF　(EM-ECTF)
VCT　(ECO120)
MVV-S（EM-MEE-S）

①リモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、下ケースを外してください。

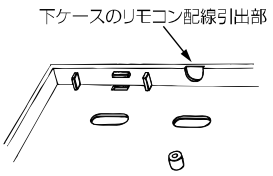


②下ケースの取り付けかた

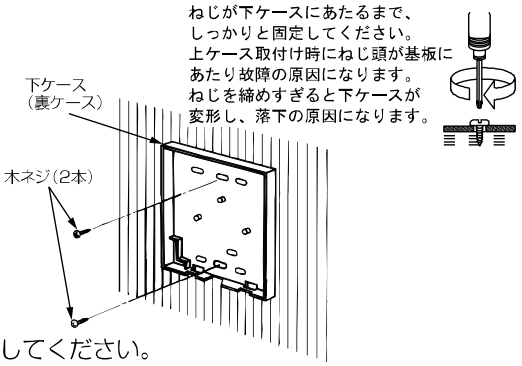
●リモコンを埋込型としてご使用の場合は、あらかじめ現地で壁内に埋込まれた図に示すJISボックス（現地手配）に取り付けてください。
下ケースを付属のM4小ネジ（2本）を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。



●露出型としてご使用の場合は、リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。
リモコン配線は、下ケースリモコン配線引出部（中央上部の肉薄部）をニッパ等で切り欠き、この部分より出してください。（図A）
下ケースを木ネジ（2本）を使用して壁面に固定してください。

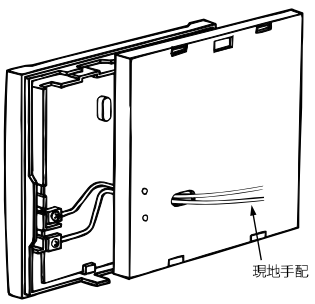


（図A）

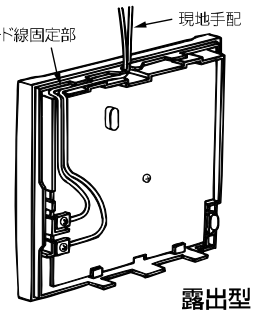


③リモコン端子台に、リモコン配線を接続してください。
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（誤配線するとこわれます。）

- 図のような経路で配線し、余分なリモコン配線はリモコンケース内に収納しないでください。
- 基板から出ている金属の突起物にリモコン配線が触れないようにご注意ください。



埋込型



露出型

④リモコン本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み取り付けてください。

⑥リモコンを複数個設置される場合のお願い

この親子リモコン制御は、１台もしくは複数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。（最大2個まで設置可能です。）

●設定の方法

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
①複数個設置した中の１個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）
②もう一個のリモコンは子リモコンにしてください。

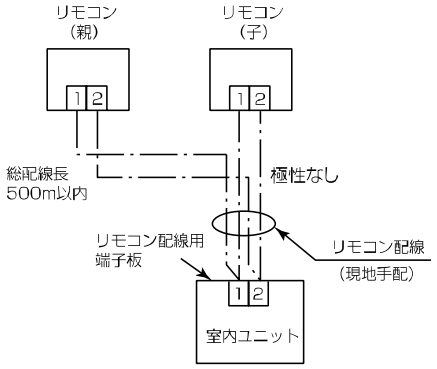
リモコン親子設定のしかた

①［セット］＋［運転切換］ボタンを4秒以上押します。
②温度設定［▼］／［▲］ボタンで、項目コード 01 を指定します。
③時間［▼］／［▲］ボタンで、設定データを 0001（親）から 0000（子）に変更します。
④［セット］ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤［点検］ボタンを押します。
設定した情報は、リモコンの電源が切れても保持されます。

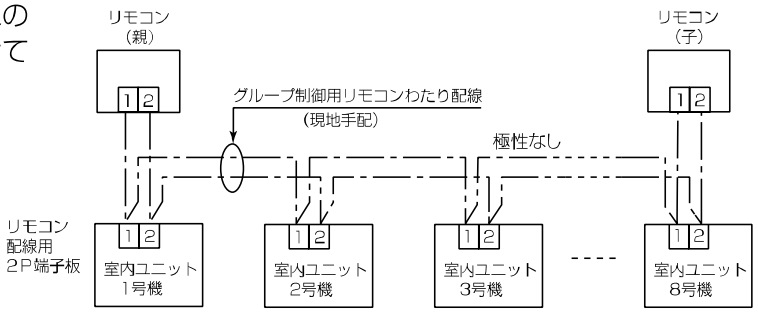
●基本配線図

注：配線は誤配線のないように接続してください。
（誤配線するとこわれます。）

●室内ユニット１台を、リモコン2ヶ所設置にて操作する場合。

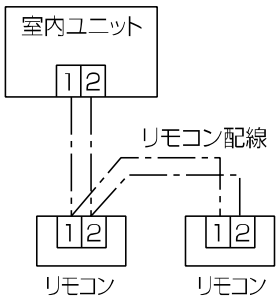


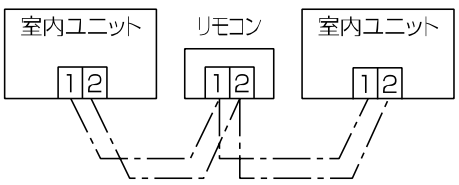
●複数台グループ制御を、リモコン2ヶ所にて操作する場合。
※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。



総配線長500m以内。
ただし室内ユニット間のわたりは200m以内。

※以下のようなリモコンでわたる配線は禁止です。





⑦リモコン試運転設定

1）リモコンの 点検 ボタンを４秒以上押して液晶表示部に“試運転”と表示されてから、運転/停止 ボタンを押してください。

・試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。

・「試運転」の位置では温度調節はできません。

機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。

2）「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。

（注）電源投入後、および運転停止後約３分間は、室外ユニットは運転しません。

3）試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の“試運転”消灯を確認してください。

（このリモコンは連続試運転を防止するために、６０分タイマー解除機能付となっています。）

⑧サービス機能の一覧

	モード	機能概略	操作ボタン	復帰ボタン	ユニットの状態
1	試運転	強制サーモＯＮで運転	点検 4秒以上押します	点検	運転状態を維持
2	サービスモニター	各種センサーなどの値を表示	点検 ＋ 取消 ２つ同時に４秒以上押します	点検	運転状態を維持
3	サービスチェック	警報の履歴を表示	点検 ＋ セット ２つ同時に４秒以上押します （履歴の削除は 取消 ）	点検	運転状態を維持
4	積算運転時間 モニター	(リンクされた)室外ユニットの積算運転時間の表示	時間 ▲ ▼ ２つ同時に４秒以上押します	点検	運転状態を維持
5	簡単設定	フィルター寿命、 運転モード優先、 集中制御アドレスなどの設定	点検 ＋ 換気 ２つ同時に４秒以上押します	点検	設定中のリモコンが接続されている個別またはグループの室内ユニットが停止
6	詳細設定	系統（室外ユニット）アドレス、室内ユニットアドレス、グループなどの設定	点検 ＋ セット ＋ 取消 ３つ同時に４秒以上押します	点検	設定中のリモコンが接続されている個別またはグループの室内ユニットが停止
7	アドレス変更	室内ユニットアドレスの変更	点検 ＋時間 ▲ ２つ同時に４秒以上押します	点検	全システムが停止
8	省エネ	省エネモード運転	省エネ １回押します	省エネ	運転状態を維持
9	リモコン設定	親子リモコン設定 リモコンチェックなど	セット ＋ 運転切換 ２つ同時に４秒以上押します	点検	運転状態を維持

⑨積算運転時間モニター

●機能概要

室外ユニットの積算運転時間を表示します。（Wマルチの子機は表示できません。）

●操作方法

1) 時間 ボタンを同時に４秒以上押し続けると、積算時間表示画面になります。

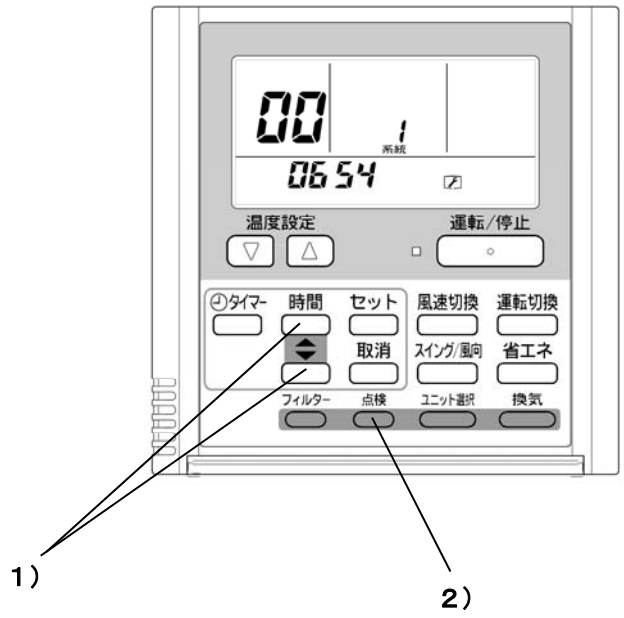
１系統～３０系統まで、約５秒ずつ順番に表示します。

室外ユニットが存在しない系統の運転時間は、------ 表示になります。

３０系統まで表示完了すると、自動的に終了し通常リモコン表示に戻ります。

2) 点検 点検 ボタンを押すと、強制的に終了し通常リモコン表示に戻ります。

例）系統１の室外ユニットの積算時間が、６５４時間のとき



⑩簡単設定モード

●室内ユニットのよく変更の起こり得る項目を変更することができます。

●設定可能な項目

項目コード	パラメーター	設定データ	
０１	フィルター寿命	0=無　1=150　2=2500　3=5000　4=10000 5=目詰まりセンサーを使用 （出荷時に機種に合わせて設定済み）	
０２	フィルター汚れ程度	0=通常(出荷時)　1=大	
０３	集中制御アドレス	1=集中１　2=集中　2 ～ 64=集中 64　99=未定（出荷時）	
０４	運転切り替え優先	0=通常(出荷時)　1=優先	
０５	暖房サーモＯＦＦ時風速	コンプレッサーＯＮ時 ０＝Ｌ風１分ＬＬ風３分 １＝Ｌ風 ２＝ＬＬ風 ４＝Ｌ風１分ＬＬ風３分 ５＝Ｌ風 ６＝ＬＬ風	コンプレッサーＯＦＦ時 ＬＬ風 〃 〃 Ｌ風 〃 〃
０６	暖房時吸い込み温度シフト	0=0　1=1　2=2　3=3　4=4　5=5　6=6 （出荷時に機種に合わせて設定済み）	
０Ｆ	冷房専用	0=冷暖兼用(出荷時)　1=冷房専用	

●設定方法

1) 点検 ＋ 換気 ボタンを同時に４秒以上押します。
（ユニット No. ＡＬＬ、項目コード０１、設定データ、**設定中**が点滅します。）

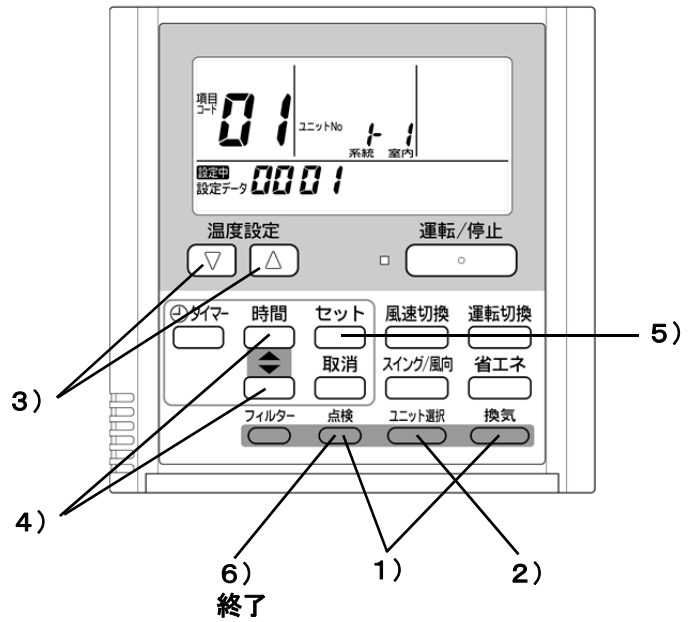
2) グループすべての室内ユニットに設定する場合はユニット No. ＡＬＬのまま、またグループ内の室内ユニットを個別に設定する場合は ユニット選択 ボタンで設定したいユニット No. を選択します。（選択されている室内ユニットのファンが動作します。）

3) 温度設定 △ または ▽ ボタンで項目コードを選択します。

4) 時間 ▲ または ▼ で設定データを選択します。

5) セット ボタンを押して設定します。（**設定中**が点灯します。）

6) 2～5 を繰り返してすべての室内ユニットへの設定が完了したら、 ユニット選択 ボタンを押して、簡単設定モードを終了します。



⑪詳細設定モード

●室内ユニットの普段あまり変更のない項目を変更することができます。

●設定可能な項目(簡単設定モードの内容も含まれます)

項目コード	パラメーター	設定データ
１２	系統(室外ユニット)アドレス	1=1 号機　2=2 号機 ～ 30=30 号機　99=未定(出荷時)
１３	室内ユニットアドレス	1=1 号機　2=2 号機 ～ 64=64 号機　99=未定(出荷時)
１４	グループ設定	0=個別　1=親機　2=子機　99=未定(出荷時)
３０	さがぁる	０＝なし　１＝あり
３１	換気扇（ロスナイ）	０＝なし　１＝あり
３２	リモコンセンサー	０＝ボディーセンサー　１＝リモコンセンサー
３４	運転切換管理中表示	０＝通常（表示あり）　１＝消灯
６３	換気運転ＬＥＤ表示	0=なし　1=あり（出荷時）
６６	換気運転開始からの自動停止時間	0=制御なし（出荷時） 1=5 分 2=10 分 ～ 124=620 分 125=625 分
６７	換気運転と室内自動制御時間	0=自動制御なし 1=5 分 2=10 分 3=15 分 4=20 分（出荷時）～ 15=75 分
６８	換気差温の温度設定	0=0deg 1=1deg 2=2deg ～ 5=5deg 6=制御なし
７２	フィルター表示時間任意設定	0=任意設定なし 1=100 時間 2=200 時間 ～ 20=2,000 時間（出荷時）～ 125=12,500 時間

●設定方法

1) 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンの３つを同時に４秒以上押します。
（ユニット No.、項目コード：0、設定データ、**設定中**が点滅します。）

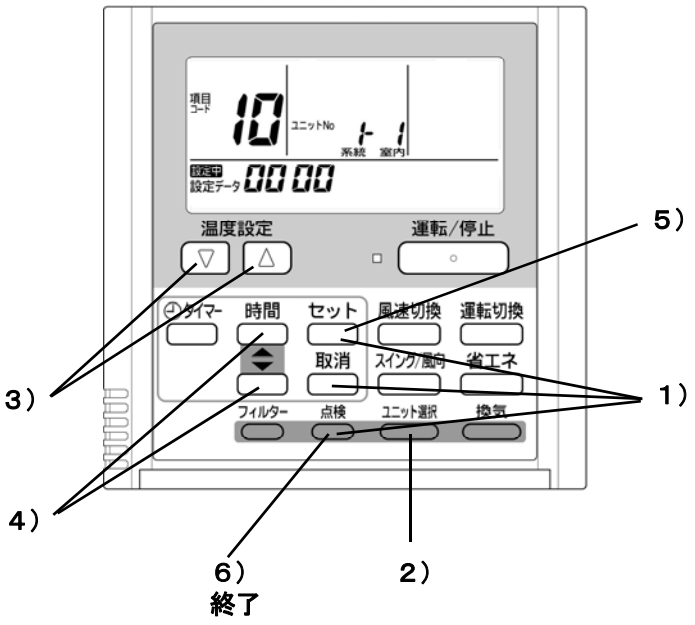
2) ユニット選択 ボタンで設定したいユニット No. を選択します。
（選択されている室内ユニットのファンが動作します。）

3)温度設定 △ または ▽ ボタンで項目コードを選択します。

4)時間 ▲ または ▼ で設定データを選択します。

5) セット ボタンを押して設定します。(**設定中**が点灯します。)

6)2～5 を繰り返してすべての室内ユニットへの設定が完了したら、 点検 ボタンを押して、詳細設定モードを終了します。



⑫運転モード優先

●運転モード(冷・暖・ドライ・送風)を優先に設定された室内ユニット(運転モード優先室内ユニット)の運転モードによって、同一配管系統にある他の室内ユニット(通常の室内ユニット)の運転モードを管理することができます。

1)優先設定された場合の他の通常室内ユニットが選べる運転モード

・優先室内ユニットは停止していても運転モードの規制は有効です。

優先室内ユニットで選択されている運転モード	他の通常室内ユニットが選べる運転モード
「冷房」	「冷房」・「ドライ」・「送風」
「ドライ」	「冷房」・「ドライ」・「送風」
「暖房」	「暖房」・「送風」
「送風」	「暖房」・「冷房」・「ドライ」・「送風」

2)優先室内ユニットの運転モードを変更した場合の、通常室内ユニットに与える運転モード

・通常室内ユニットの運転中に優先室内ユニットの運転モードを変更すると、運転中の通常室内ユニットの運転モードが変化する場合があります。

	運転中の通常室内ユニット	優先室内ユニット	その後の通常室内ユニットの運転モード
運転モード	「冷房」運転中	「暖房」選択	「暖房」運転
		「冷房」選択	「冷房」運転
		「ドライ」選択	「冷房」運転
		「送風」選択	「冷房」運転
	「ドライ」運転中	「暖房」選択	「暖房」運転
		「冷房」選択	「ドライ」運転
		「ドライ」選択	「ドライ」運転
		「送風」選択	「ドライ」運転
	「暖房」運転中	「暖房」選択	「暖房」運転
		「冷房」選択	「冷房」運転
		「ドライ」選択	「冷房」運転
		「送風」選択	「暖房」運転
	「送風」運転中	「暖房」選択	「送風」運転
		「冷房」選択	「送風」運転
		「ドライ」選択	「送風」運転
		「送風」選択	「送風」運転

※空間清浄システム搭載形エアコン４方向天井カセット形には、ドライ機能はありません。

●優先室内ユニットの設定方法

1)簡単設定モードに入り、ユニット選択 ボタンで設定したいユニットを選択します。

2)温度設定 △ または ▽ ボタンで項目コード０４「運転モード優先」を選択します。

3)時間 ▷ または ▽ で設定データを１（普通に戻す場合は０）にして、
セット ボタンを押します。

4)簡単設定モードを終了します。

⑬アドレス設定

●リモコンからの手動でアドレスを設定する方法

＜室内ユニットとリモコンが１対１の場合＞

内容：リモコンの詳細設定モードに入り、設定します。

方法：

1)電源投入します

2)リモコンから、詳細設定モードに入りアドレスの設定を行います。

a)詳細設定モードに入ります。

・ 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを４秒以上押します。

b)系統(室外ユニット)アドレスを設定します。

・温度設定 △ または ▽ ボタンで、項目コード ｜０(最初)を ｜２に変更します。

・設定データ ０００９（アドレス未定時）を、時間 ▷ または ▽ ボタンで、同一冷媒配管の系統（室外ユニット）アドレスに変更します。

・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればＯＫ）

c)室内ユニットアドレスを設定します。

・温度設定 △ または ▽ ボタンで、項目コード ｜３に変更します。

・設定データ ００００（アドレス未定時）を、時間 ▷ または ▽ ボタンで、お好みの室内ユニットアドレス（番号）に変更します。

・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればＯＫ）

d)グループ設定を設定します。（グループ制御をしていない場合も設定が必要です）

・温度設定 △ または ▽ ボタンで、項目コードを ｜４に変更します。

・設定データ ００００(未定時)を、時間 ▷ または ▽ ボタンで ０に変更します。

（０は個別を意味します。）

・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればＯＫ）

e)詳細設定モードを終了します。

・ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

＜グループ配線をしている場合＞

内容：設定したい室内ユニットとリモコンの配線を一時的に、１対１に接続します。
リモコンの詳細設定モードに入り、個別に設定します。

方法：

1)設定したい室内ユニットとリモコンの配線を１対１に接続します。
室外ユニットとの配線はそのままです。

2)電源投入します。

3)詳細設定モードに入りアドレスの設定を行います。

a)詳細設定モードに入ります。

・点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを４秒以上同時に押します。

b)系統アドレスを設定します。

・温度設定 △ または ▽ ボタンで、項目コード ｜０（最初）を ｜２に変更します。

・設定データ ０ ０ ９ ９（アドレス未定時）を、時間 ▲ または ▼ ボタンで、同一冷媒配管の系統（室外ユニット）アドレスに変更する。

・セット ボタンを押します。（表示が点灯すればＯＫ）

c)室内ユニットアドレスを設定します。

・温度設定 △ または ▽ ボタンで、項目コードを ｜３に変更します。

・設定データ（アドレス未定時）を、時間 ▲ または ▼ ボタンで、お好みの室内ユニットアドレス（番号）に変更します。

・セット ボタンを押します。（表示が点灯すればＯＫ）

d)グループ設定を行います。

・温度設定 △ または ▽ ボタンで、項目コードを ｜４に変更します。

・設定データ ０ ０ ９ ９（未定）を、タイマー時間 ▲ または ▼ ボタンで変更します。

子機は、２に変更します。（グループ内に、複数設定されます。）

親機は、｜に変更します。（親機は、グループ内に必ず一台設置してください。）

・セット ボタンを押します。（表示が点灯すればＯＫ）

e)詳細設定モードを終了します。

・点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

⑭アドレス確認

●室内ユニットのユニットNo.（番号）の説明

・室内ユニットのユニットNo.の意味について（リモコンの表示部に表示されます。）

ユニットNo.

８８－８８ → →・ユニットNo.（ユニット番号）：室内ユニットのアドレスを意味する。

↑　↑

↑　・室内ユニットアドレス：同一冷媒配管の中で1から順に番号が付いています。(1～64)

・系統（室外ユニット）アドレス：接続されている室外ユニットのアドレスと同じになります。

（室外ユニットアドレス／室内外組合せアドレス）　(1～30)

●リモコンから、室内ユニットのNo.（番号）と室内ユニットの位置を確認する方法

（室内ユニットのアドレスは全て、設定済みのこと。）

・室内ユニット本体の位置はわかるが、その室内ユニットアドレスを知りたい時。

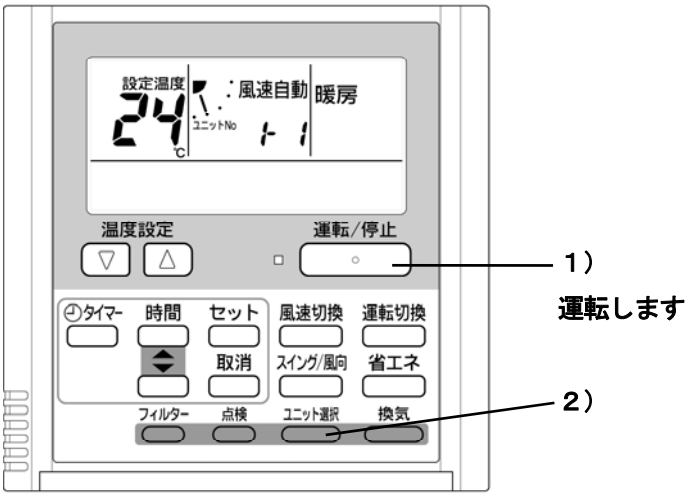
＜個別運転（リモコンと室内ユニットが1対1）の場合＞　（運転中に行ってください。）

1)運転します。

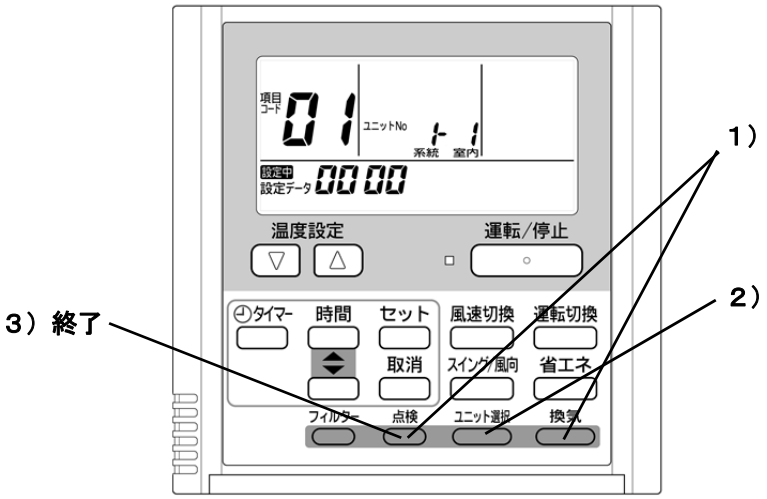
2) ユニット選択 ボタンをＯＮします。

ＬＣＤに、ユニットNo.８８－８８が表示されます。（数秒後に消えます。）

表示されたユニットNo.が、その室内ユニットのアドレスを表します。



＜グループ制御内のユニット番号を確認する方法＞ （停止中に行ってください。）
（注　この方法では、グループ制御内の室内ユニットが停止します。）
内容：グループ制御内の室内ユニットNo.を順次表示し、その室内ユニットのファンがＯＮします。



1)簡単設定モードに入ります。(停止中に行ってください。)

a) 点検 ＋ 換気 ボタンを同時に４秒以上押します。

この時、ユニットNo.ＡＬＬと表示されます。

この時、グループ制御内の全室内ユニットのファンがＯＮします。

2)順次、次の室内ユニットを選択します。

a) ユニット選択 ボタンを押すと、グループ制御内のユニットNo.を順次表示します。

最初に表示されるユニットNo.が親機のアドレスを指す。

この時、選択されている室内ユニットのみファンがＯＮします。

3)簡単設定モードを終了します。

a) 点検 ボタンを押すと簡単設定モードは終了します。

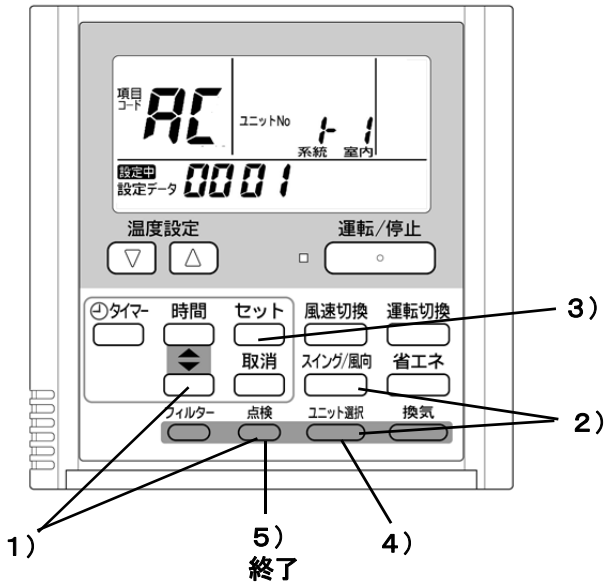
この時、グループ制御内の室内ユニットは全停止します。

・アドレスから、その室内ユニット本体の位置を知りたい時。

＜システム全てのユニット番号を確認する方法＞

（注　この方法では、システムの全室内ユニットが停止します。）

内容：同一冷媒配管の室内ユニット番号と位置を確認できます。
室外ユニットを選択し、その同一冷媒配管の室内ユニット No. を順次表示し、その室内ユニットのファンがＯＮします。



1)アドレス確認／変更モードに入る

a)タイマー時間 ▼ ＋ 点検 ボタンを同時に、４秒以上押します。

最初は、１系統　項目コードＡＣ（Address Change）が表示されます。

2)系統（室外ユニット）アドレスを選択します。（室外ユニットを選択します。）

a) ユニット選択 または スイング/風向 ボタンで系統（室外ユニット）アドレスを選択します。

3) セット ボタンで、選択した系統（室外ユニット）アドレスを確定します。

選択した室外ユニットの冷媒配管につながる室内ユニットのアドレスが表示され、ファンがＯＮします。

4)順次、次の室内ユニットを選択する。

a) ユニット選択 ボタンを押すと、同一配管の室内ユニット No. を順次表示します。

この時、選択されている室内ユニットのみファンがＯＮします。

5)アドレス確認／変更モードを終了します。

a) 点検 ボタンを押すとアドレス確認／変更モードは終了します。

⑮アドレス変更

●リモコンから、一度設定された室内ユニットアドレスを変更する方法

≪変更可能なアドレス≫

室内ユニットのユニットNo.のうち、室内ユニットアドレスのみ変更できます。

≪変更できないアドレス≫

室内ユニットNo.のうち、系統（室外ユニット）アドレスは変更できません。

（冷媒配管のつながる室外ユニットのアドレスに強制的に固定されているため）

もしも、どうしても変更したい場合は、室外ユニットに正しい系統（室外ユニット）アドレスを設定して、自動アドレスを行ってください。

＜リモコン個別かグループ制御内の室内ユニットアドレスを変更する方法＞

（自動アドレスで設定済みのときに可能）

内容：グループ制御内の室内ユニットアドレスを変更できます。

方法：詳細設定モードに入って、室内ユニットアドレス（項目コード：3）を変更します。

（詳細設定モードの項を参照）

（注）アドレス変更で、もしも、誤ってアドレスの重複が発生した場合、自動アドレスをやり直してください。

＜システム全ての室内ユニットアドレスを変更する方法＞

（自動アドレスで設定済みのときに可能）

内容：同一冷媒配管ごとに、室内ユニットアドレスを変更できます。

方法：アドレス確認／変更モードに入って、アドレス変更を行います。

（注）この方法では、システム内の全ての室内ユニットが停止します。

1)アドレス確認／変更モードに入る。

a)タイマー時間 ▼ ＋ 点検 ボタン同時に、4秒以上押します。

最初は、：系統　項目コードAC（Address Change）が表示されます。

2)室外ユニットを選択します。（室外ユニットごとに、室内ユニットアドレスを変更するため）

a) ユニット選択 または スイング/風向 ボタンで、系統（室外ユニット）アドレスを選択します。

3) セット ボタンを押して確定します。

選択した室外ユニットの冷媒配管につながる室内ユニットのアドレスが表示され、ファンがＯＮします。

設定データに、最初は現室内ユニットアドレスが表示されます。

{系統（室外ユニット）アドレスは、表示されません。}

4)室内ユニットアドレスを変更します。

a)時間 ▽ または ▼ ボタンで、設定データの室内ユニットアドレスがＵＰ／ＤＯＷＮします。

設定データを新しいアドレスに変更します。

5)変更した設定データ（＝室内ユニットアドレス）を確定します。

a) セット ボタンを押します。（表示部の表示が全点灯します。）

6)順次、次の室内ユニットを選択します。

a) ユニット選択 ボタンを押すと、同一配管の室内ユニットNo.を順次表示します。

この時、選択されている室内ユニットのみファンがＯＮします。

7)4～6を繰り返し全ての室内ユニットアドレスを、重複しないように変更します。

この時、変更した室内ユニットアドレスに間違いがないか、確認します。

8)変更した全てのアドレスを確定します。

a)最後に、セット ボタンを押します。（表示部の表示が全点灯します。）

9)アドレス変更モードを終了します。

a) 点検 ボタンを押すとアドレス確認／変更モードは終了し通常の停止状態になります。

⑯サービス機能

●各モニター機能

≪サービスモニター(センサー温度モニター)の方法≫

内容：リモコンからサービスモニターモードに入り、リモコン・室内ユニット・室外ユニットの各センサー温度をモニターできる機能

方法：

1)サービスモニターモードに入ります。

a) 点検 ＋ 取消 ボタンを同時に４秒以上押します。

サービスモニターが点灯し、最初は親機の室内ユニット No.が表示され、項目コード００の温度が表示されます。

2)モニターしたいセンサーナンバー（項目コード）に変更します。

a)温度設定 △ または ▽ ボタンを押して、モニターを行うセンサーのセンサーナンバー（項目コード）に変更します。（項目コードは下表を参照のこと）

3)モニターを行う室内ユニットを選択します。

a) ユニット選択 ボタンを押して、モニターを行う室内ユニットに変更します。

（グループ制御内の室内ユニットとその室外ユニットのセンサーをモニターできます。）

4)サービスモニターを終了し、通常に戻します。

a) 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。

サービスモニターの項目コード一覧表

01～06：室内ユニットデータ

07～09：室外ユニットデータ

0B～49：無効

項目コード	データ名
00	制御に使用中の室温
01	リモコン温度
02	室内吸い込み温度
03	室内吹き出し温度
04	E1 温度
05	E3 温度
06	室内電動弁開度
07	エンジン回転速度(min^{-1})/10
08	コンプレッサー入口圧力(MPa)×100
09	コンプレッサー出口圧力(MPa)×100
0A	
0B	
0C	
0D	
0E	
0F	
10 ～ 49	

≪サービスチェック(故障履歴モニター)の方法≫
内容：過去の故障内容を呼び出す機能
方法：

1)サービスチェックモードに入ります

a) 点検 ＋ セット ボタンを同時に４秒以上押します。

サービスチェックが点灯し、最初に項目コード０１を表示し、一番新しい警報内容が表示されます。

警報の発生した室内ユニットNo.と警報内容が表示されます。

2)ほかの故障履歴をモニターするには、故障履歴番号を変更する。

a)温度設定 △ または ▽ ボタンを押して、故障履歴番号（項目コード）を変更します。

項目コード０１（最新）－－→項目コード０４（古い）

（注）故障履歴は、４つメモリされています。

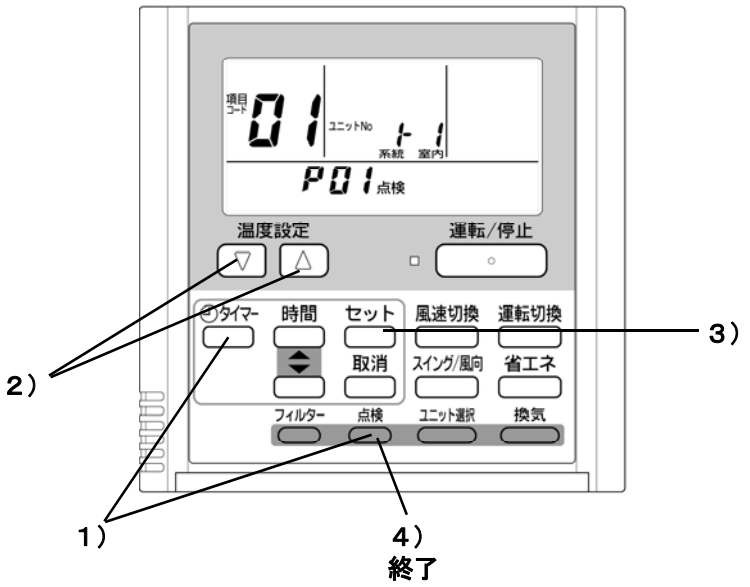
3)故障履歴内容を全て消去する方法

a) 取消 ボタンを押します。

室内ユニットの警報履歴内容は全て消去されます。

4)サービスチェックを終了し、通常に戻します。

a) 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。



■リモコンへの「オイル点検」表示について

ガスエンジンの運転時間が所定時間になりますと、リモコンに“オイル点検”が点滅します。（右図）
“オイル点検”が点滅した場合は販売会社またはサービス会社に連絡し、定期点検を行ってください。
点検を行わないと所定時間以後、運転時間に応じた設定間隔ごとに運転を停止します。
そのまま放置しておきますと故障の原因となります。(スイッチの設定により、表示しない場合もあります。)

⑰省エネボタンの機能と使用上のご注意

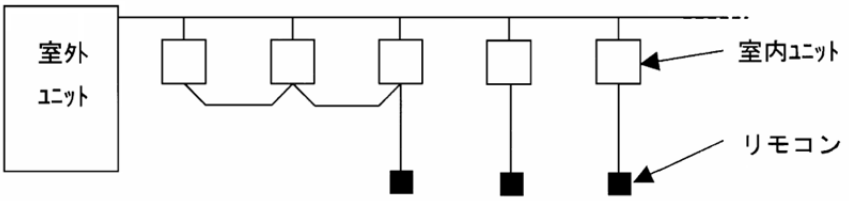
省エネボタン付のリモコンは、ご使用方法によっては不都合な場合がありますので、以下の機能と使用上のご注意をご覧ください。

●機能

・省エネボタンを押すことにより、高効率な運転（省エネ運転）を行います。このとき、機器の持つ最大空調能力は 80～90%程度に抑えられます。

(注意)すでに効率の良い運転を行っている場合には、ボタンを押しても運転状態が変わらないことがあります。

・ひとつの冷媒系統に複数台のリモコンが設置されている場合、いずれかひとつのリモコンで省エネボタンを押すとその冷媒系統全体が省エネ運転を行います。



いずれかのリモコンの省エネボタンを押すことで、この系統全体が省エネ運転を行います。また、省エネ運転のときいずれかのリモコンの省エネボタンを押すことで省エネ運転を解除します。

・リモコン毎に省エネボタンの有効、無効の設定が可能ですので、省エネ運転機能が不要の場合には、リモコン毎に無効設定することができます。

●使用上のご注意

・上記機能のように、“いずれかひとつのリモコンで省エネボタンを押すとその系統全体が省エネ運転を行います”ので、ひとつの冷媒系統で、複数のテナントの空調をする場合は、省エネ運転の有効、無効の不都合が生じる場合があります。あらかじめ、そのようなケースが予想されて、また、省エネボタンが不要と判断される場合には、省エネボタンのない EN 形リモコンを使用することもできます。

※リモコン内蔵タイプ(床置形)の場合は使用できません。

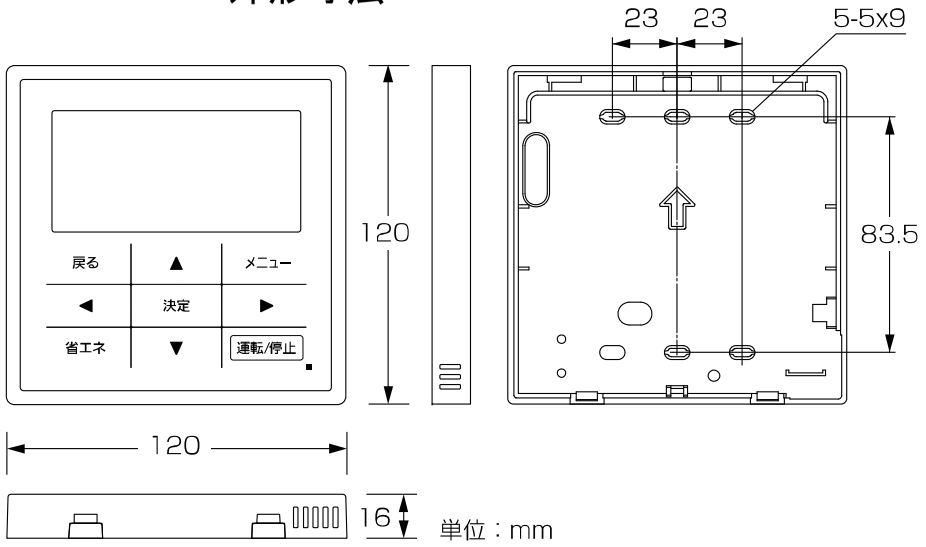
ワイヤードリモコン（CZ－10RT3）

ワイヤードリモコン（CZ－10RT3Ａ）
省エネボタンなし

仕様

品番		CZ-10RT4C
外形寸法		(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 16 mm
質量		180 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源		DC16 V（室内ユニットより供給）
時計	精度	± 30 秒 / 月（常温 25 ℃）※定期的に合わせてください。
	保持時間	72 時間（満充電時）※満充電に約８時間かかります。
接続台数		室内ユニット　最多 8 台 (グループ制御時。熱交換気ユニットの台数を含む。)

外形寸法



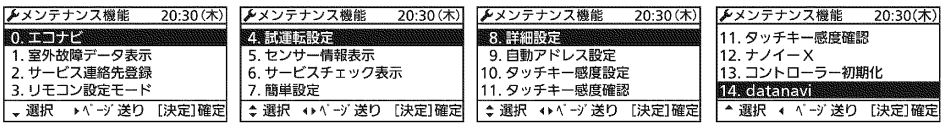
品番	CZ-10RT4C	外形寸法図 (ワイヤードリモコン)

■リモコンには、各種サービス機能があります。試運転、点検時等、必要に応じてご利用ください。

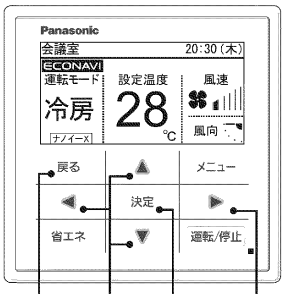
メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

① 戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



ワイヤードリモコン

サービス機能一覧表

機　　能	機　能　概　略	メ　ニ　ュ　ー　選　択	復帰操作	ユニットの状態
エコナビ表示 ※エコナビセンサー CZ-CSENU1, CZ-CSEN1 ※エコナビパネル CZ-160KPEU5, CZ-160KSEU5 使用時	各種センサーの表示	0. エコナビ	戻るボタンを押す	
試運転機能	強制サーモONで運転	4. 試運転設定	戻るボタンを押す	
センサー温度表示	各種センサーの温度表示	5. センサー情報表示		
サービスチェック表示	警報履歴の表示	6. サービスチェック表示		
簡単設定	フィルター寿命、運転モード優先、集中制御アドレス等の設定	7. 簡単設定	戻るボタンを押す (再起動します)	設定中のリモコンが接続されている室内ユニットが停止
詳細設定	冷媒系統アドレス、室内ユニットアドレス、集中制御アドレス等の設定	8. 詳細設定		
自動アドレス設定	ワイヤードリモコンからの指示による自動アドレス設定	9. 自動アドレス設定	自動復帰	全システムが停止
ナノイー表示	状態を表示	12. ナノイーX	戻るボタンを押す	

「2．サービス連絡先登録」については51ページを参照ください。

（注意）
「1．室外故障データ表示」、「10．タッチキー感度設定」、「11．タッチキー感度確認」は選択しないでください。

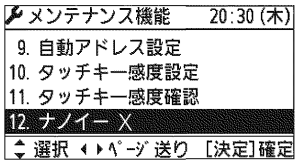
⚠ナノイー X（ワイヤードリモコン CZ-10RT4C をご使用のとき）

準備 ： 室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。
送風運転中かつナノイー X ON状態（５分以上経過）を確認してください。

1　３つのボタンを押す

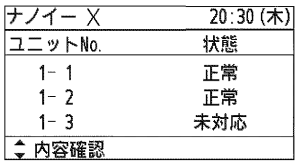
[戻る]+[決定]+[▶] ボタンを同時に４秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

2　「12. ナノイー X」を選ぶ



[▲] / [▼]ボタンで「12. ナノイー X」を選択し、
[決定]ボタンを押してください。

3　ナノイー Xモジュールの状態が「正常」であることを確認する



（ [▲] / [▼]ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）

すべての室内ユニットのナノイー Xモジュールの状態が表示されます。
・「**正常**」…ナノイー Xモジュールは正常に動作しています。
・「**未対応**」…ナノイー Xに対応した室内ユニットではありません。

※『1-1』、『1-2』は室内ユニットNo.を示します。

※「**未対応**」の場合、「8. 詳細設定」を選択し、項目コード9Fの設定データを確認してください。
設定データが0000の場合、ナノイー Xモジュールを認識していません。接続を確認してください。

試運転は以上です。「正常」「未対応」以外の表示の場合は、**4**を確認してください。

4　ナノイー Xモジュールの状態が「正常」「未対応」以外の場合

ナノイー Xモジュールを接続しているにもかかわらず、「12. ナノイー X」の状態表示に入れない、もしくはモジュールの状態が「正常」「未対応」以外となる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。

表示	説明	対応
放電異常	ナノイー X発生可能な温度・湿度条件からはずれています。 範囲外の温度は、5℃以下または35℃以上。	ナノイー Xモジュールに異常はありません。使用可能な温度、湿度条件でお使いください。
断線異常	室内ユニットとナノイー Xモジュール間の配線が接続されていません。	対象の室内ユニットを特定(※)し、ナノイー Xモジュールの室内基板への接続を確認してください。
接続なし	室内ユニットとナノイー Xモジュール間の配線が接続されていない可能性があります。	

※室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。

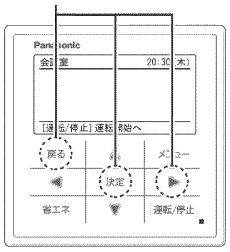
確認方法：
①メンテナンス機能を終了する。
[メニュー]ボタンを押してメンテナンス機能画面を表示し、[戻る]ボタンを押す。
②風向操作をする。
[メニュー]の「２.風向設定」で「室内ユニットNo」を選んで、風向設定を行ってください。
設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

ユニットが特定できましたら、漏電しゃ断器（電源）を切り、ナノイー Xモジュール配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。漏電しゃ断器（電源）を入れ、再度**1**～**3**を操作し、「12. ナノイー X」にて状態を確認してください。再度、「断線異常」「接続なし」が表示された場合はナノイー Xモジュールの交換が必要です。

エコナビセンサー表示

リモコンに「エコナビ点検」が表示された場合、以下の方法でセンサーの状態を確認することができます。

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 「0. エコナビ」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

メンテナンス機能　20:30 (木)
0. エコナビ
1. 室外故障データ表示
2. サービス連絡先登録
3. リモコン設定モード
▼ 選択　▸ﾍﾟｰｼﾞ送り　[決定]確定

3 「センサー情報」を選ぶ

① ▲ ▼ → 決定
② ▲ ▼ ボタンでユニットNo.を選択し、決定 ボタンを押してください。

エコナビ　20:30 (木)
センサー情報
エコナビシステム設定
運転状態確認
エラー確認
▼ 選択　[決定]確定

4 センサーNo.1 の項目コード11、12、14※1のデータを確認する

① ▲ ▼ ボタンでセンサーNo.1 を選択してください。
② ◀ ▶ ボタンで項目コードを選択してください。
③ ▲ ▼ ボタンで11、12、14※1を選択してください。

センサー情報　20:30 (木)

ｾﾝｻｰNo.	項目ｺｰﾄﾞ	ﾃﾞｰﾀ
▲	10	0002
1	11	0001
▼	12	0000

▲▼ 選択　▸次へ

項目コード		説　明
エコナビセンサー	エコナビパネル	
11	21	データはエコナビセンサーの状態を表します。 0000：エコナビセンサーが接続されていません。 0001：人を検知できる状態です。 0002：初期設定中です。(人を検知できません。) 電源投入から約90 秒で初期設定が完了します。 0003：複数台のエコナビセンサーが接続されています。 ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー1台のみ接続可能です。 0004：人感センサーが故障しています。 データは30 秒ごとに自動で更新されます。 0005：床温度センサーが故障しています。 データは30 秒ごとに自動で更新されます。
12	22	データは30 秒間に人を検知した回数を表します。 データは30 秒ごとに自動で更新されます。
14※1	24	データはエコナビセンサーが測定した床面温度を表します。 データは30 秒ごとに自動で更新されます。

<人感センサーの確認方法>

手順1　項目コード11 または21のデータが0001 になっていることを確認する。
手順2　人感センサーに人を検知させる。
・人感センサーの下で10 秒程度前後、左右に体を移動させる。
手順3　手順2から30 秒以内に項目コード12 または22のデータが1以上になることを確認する。
手順4　人感センサーに人を検知させない。
・人感センサーの検知エリアから人、動物など(検知対象となるもの)を除外する。
※ エコナビセンサーの検知エリア内にリモコンがある場合、検査者は体等を動かさないようにして、リモコン表示を確認すること。
手順5　しばらくして、項目コード12 たは22のデータが0 になることを確認する。
(待ち時間の目安:30 秒～2分)

<床温センサーの確認方法>

項目コード14※1 または24：データが −20 ～ 60 の範囲内であれば問題ありません。
データが −35 の表示の場合は床温センサーが故障しています。

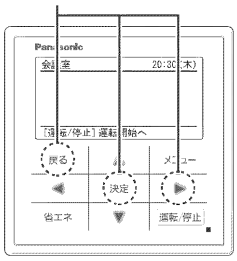
※1　CZ-CSENU1のみ対応

試運転機能

準備:ユニットの漏電しゃ断器を入れ、電源を投入してください。
（運転開始前の電源投入時間は各ユニット付属の据付工事説明書を参照ください。）
リモコンが起動し、**“設定中”**の表示が消えるまでお待ちください。
（１０分以上**“設定中”**が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。）

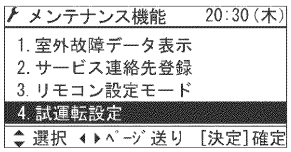
1 3つ のボタンを
同時に4秒
以上押す

お願い
●試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）



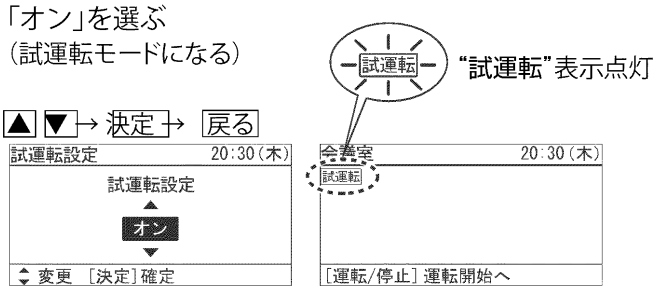
2 「4.試運転設定」を
選ぶ

▲ ▼→ 決定

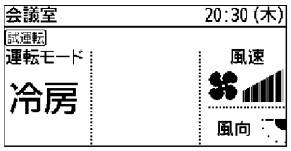


3 「オン」を選ぶ
（試運転モードになる）

▲ ▼→ 決定 → 戻る



4 試運転する
運転/停止 押す

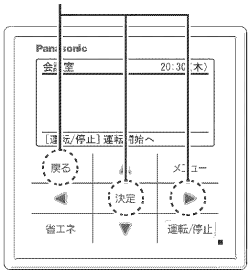


5 試運転を終了する
手順1・2を行い、手順3で
「オフ」を選ぶ。
（**“試運転”**表示消灯）

●温度変更はできません。
●試運転設定は、60分 後自動で「オフ」になります。(連続試運転の防止)
●電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニット の運転はしません。

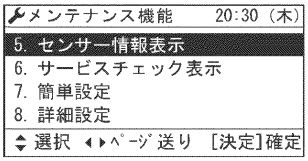
センサー温度表示

1 3つ のボタンを
同時に4秒
以上押す



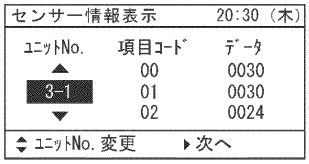
2「5. センサー情報表示」を
選ぶ

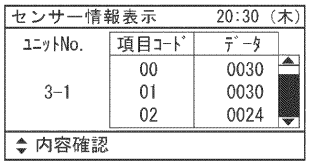
▲ ▼→ 決定



3 ユニットを選ぶ

▲ ▼→ ユニットNo.を選択し、▶を
押してください。





4 センサー情報を参照
▲ ▼で確認したいセンサーアドレス(項目コード)を
参照します。

選択したユニットのセンサー情報が表示されます。
表示内容は下表【センサー温度対照表】をご参照くだ
さい。

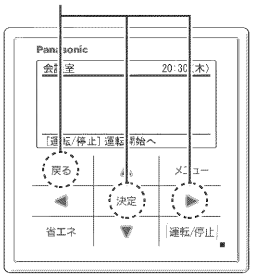
センサー温度対照表

センサー取付場所	センサーアドレス	センサーの種類	センサーアドレス	センサーの種類
室内ユニット側 ※機種により 使用しないセンサー があります。	00	室温(制御中の)※1	06	吹出温度センサー
	01	リモコン温度	07	吹出設定温度
	02	室内吸込温度	08	室内電動弁開度
	03	室内熱交温度(E1)	09	—
	04	室内熱交温度(E2)	100	湿度センサー
	05	室内熱交温度(E3)		
室外ユニット側	室外ユニットについては、各ユニットのTechnical Guide を参照してください。			

※1 グループ制御の場合は親機のみ。

サービスチェック表示

1 3つのボタンを
同時に4秒
以上押す



2 「6. サービスチェック表示」を
選ぶ

▲ ▼→ 決定

メンテナンス機能	20:30（木）
5. センサー情報表示	
6. サービスチェック表示	
7. 簡単設定	
8. 詳細設定	
▲▼選択 ◀▶ﾍﾟｰｼﾞ送り [決定]確定	

3 警報履歴を参照

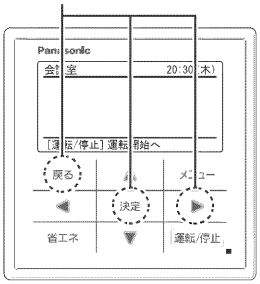
▲ ▼で警報履歴を参照します。

ｻｰﾋﾞｽﾁｪｯｸ表示		20:30（木）
	ﾕﾆｯﾄNo.	警報
1	3- 1	F30
2	30- 7	F06
3	30- 5	F06
▼内容確認	［決定］履歴削除	

警報履歴を削除する場合は 決定 を押してください。

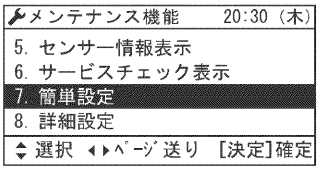
簡単設定

1 3つのボタンを
同時に4秒
以上押す



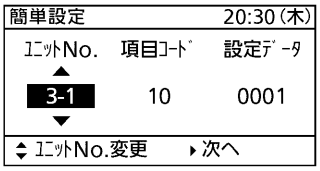
2 「7. 簡単設定」を選ぶ

▲ ▼→ 決定



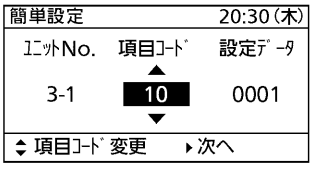
3 ユニットNo.を選ぶ

▲ ▼でユニットNo.を選択し、
▶を押してください。



4 項目コードを選ぶ

▲ ▼で項目コードを選択し、
▶を押してください。



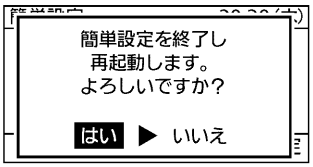
5 設定データを選ぶ

▲ ▼で設定データを選択後、
決定を押してください。

※続けて別のユニットNo.、項目コードを
設定する場合は手順3～5を繰り返してください。

6 設定を反映する

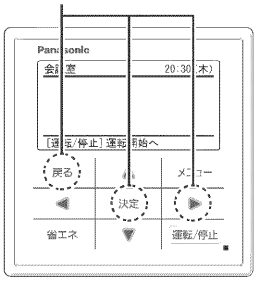
設定が完了したら、
戻るを押してください。



再起動:「はい」を選択し、
決定を押してください。

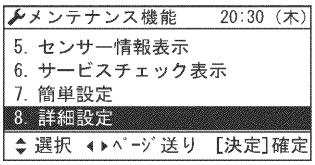
詳細設定

1 3つのボタンを
同時に4秒
以上押す



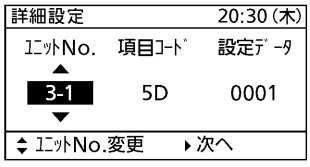
2「8. 詳細設定」を選ぶ

▲ ▼→ 決定



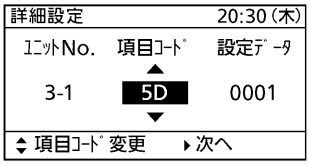
3 ユニットNo.を選ぶ

▲ ▼でユニットNo.を選択後、
▶を押してください。



4 項目コードを選ぶ

▲ ▼で項目コードを選択後、
▶を押してください。



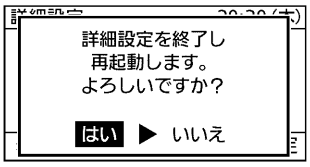
5 設定データを選ぶ

▲ ▼で設定データを選択後、
決定を押してください。

※続けて別のユニットNo.、項目コードを
設定する場合は手順3～5を繰り返してください。

6 設定を反映する

設定が完了したら、
戻るを押してください。

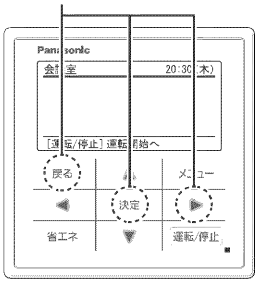


再起動:「はい」を選択し、
決定を押してください。

自動アドレス設定

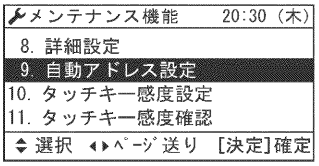
室内外ユニット全て電源を入れてから1分30秒以上待ってからアドレス設定してください。

1 3つのボタンを
同時に4秒
以上押す



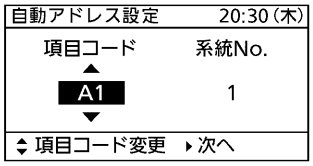
2 「9. 自動アドレス設定」を選ぶ

▲ ▼→ 決定



3 項目コードを選ぶ

▲ ▼で項目コード：「A1」を選択し、
▶を押してください。



4 系統No.を選ぶ

▲ ▼で系統No.を選択し
てください。

5 自動アドレス設定を開始する

設定が完了したら、
決定を押してください。
自動アドレス設定が開始されます。
（リモコンに“設定中”と点滅表示します。）

“設定中”が消灯したら設定完了し、再起動します。

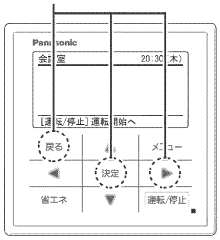
別の系統を設定する場合は、上記1から
行ってください。

・設定を中断する

戻るを押してください。

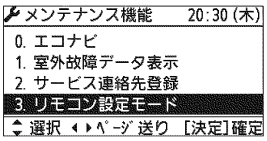
リモコン設定モード

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2「3. リモコン設定モード」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



3 項目コードを選ぶ

▲ ▼ で項目コードを選択し、
▶ を押してください。

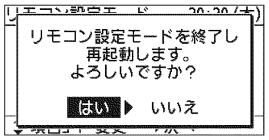
4 設定データを選ぶ

▲ ▼ で設定データを選択し、
決定 を押してください。

※続けて別の項目コードを設定する場合は手順3～4を繰り返してください。

5 設定を反映する

設定が完了したら、
戻る を押してください。



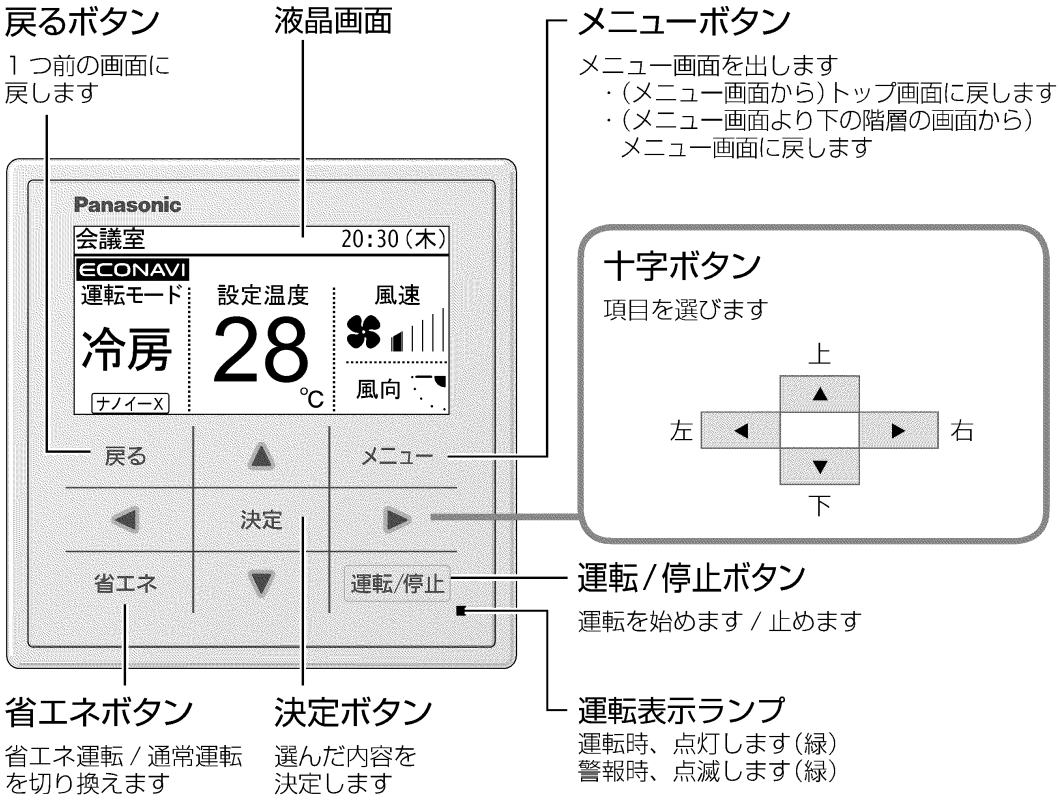
再起動:「はい」を選択し、
決定 を押してください。

リモコン設定モード項目一覧

項目コード	項目 概要	項目 説明	設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを2個設置するとき設定します。	0000：子
			0001：親（出荷設定）
2B	熱交換気連動設定①	エアコンの運転 / 停止と、接続している熱交換気ユニットを連動させるとき設定します。	0000：連動なし（出荷設定）
			0001：連動あり
2F	パスワード設定	管理者パスワードを設定します。	0000 ～ 9999 0000（出荷設定）
36	操作ロック解除方法表示設定	操作がロックされている場合に、操作ロックを解除する方法を表示しないとき設定します。 ※操作ロック設定は取扱説明書 (CZ-10RT4C) を参照ください。	0000：解除方法を表示する（出荷設定）
			0001：解除方法を表示しない
			0002：解除方法を表示しない （解除時に管理者パスワード入力を要求）

※リモコン設定モードの項目は、リモコンの機種により異なります。
※上記以外の設定データに設定しないでください。

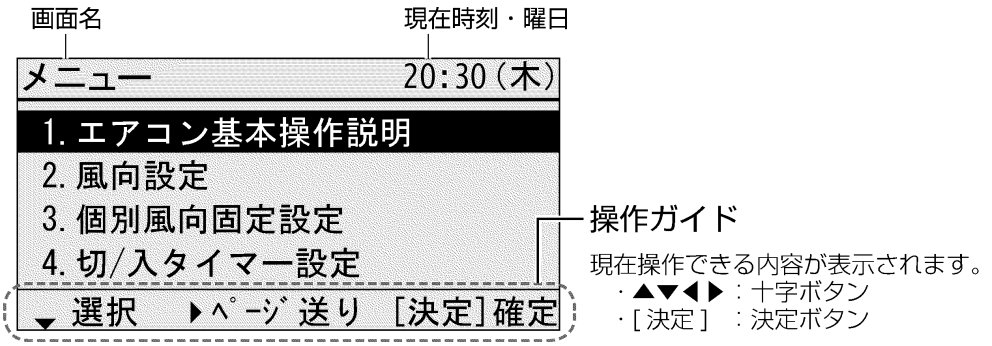
各部の名前



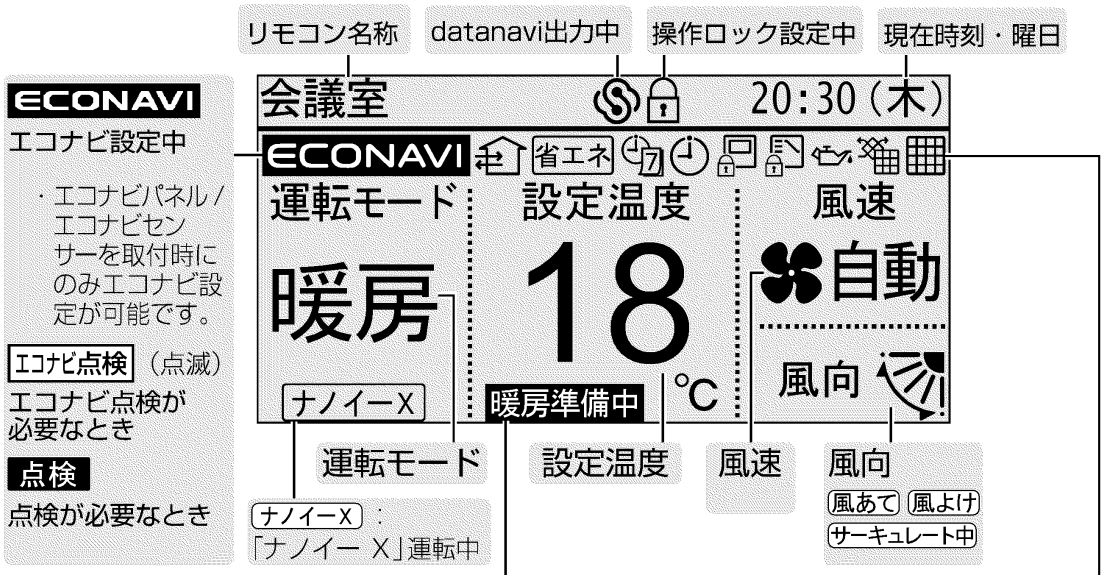
お知らせ

●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
●手袋を着けた状態では、操作できません。
●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

メニュー画面



トップ画面



暖房準備中：室内ファンが停止または微風運転中
運転準備中：停電復旧時などに、室内ユニットの電源を入れたとき
除霜中：室内ユニットが霜取り運転中（注1）
注1：表示できない場合があります

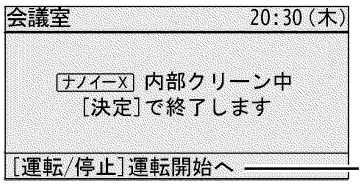
設定情報アイコン
・設定状況によりアイコンの数と表示位置はかわります。
・トップ画面では、一部の設定状態しか確認できません。すべてを確認するときは

トップ画面に表示される設定情報アイコン

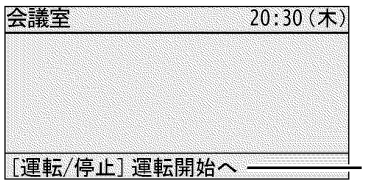
・アイコンの詳細
・JC は、上記のすべてのアイコンを表示中は、表示されません。

■項目選択中

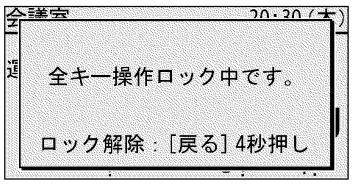
■内部クリーン中



■停止中



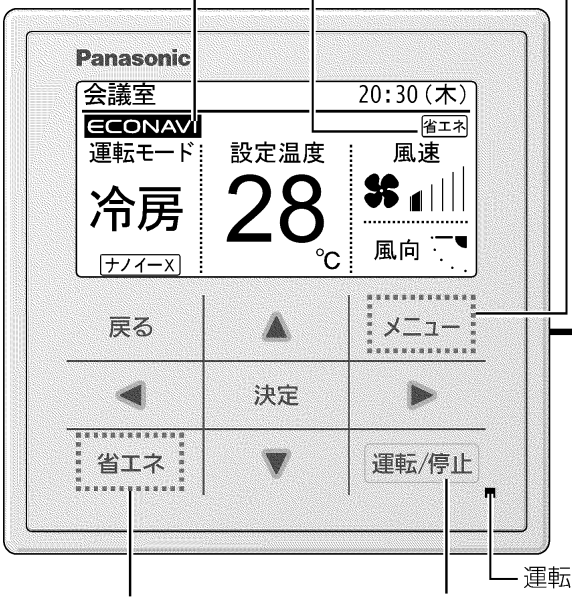
■ロック中にボタンを押したとき



「操作ロック」が働いています。

●ロックを解除するとき
「戻る」ボタンを４秒押す。

基本の使いかた



1 運転を始める

運転/停止 を押す

（運転表示ランプ点灯）

冷房や暖房など
運転モード
を変えるとき

設定温度
を変えるとき

風　速
を変えるとき

風　向
を変えるとき

お知らせ

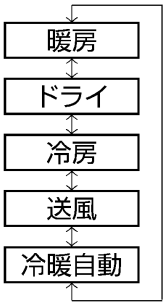
- 設定できない運転モードは表示されません。
- リモコンのスイング・風向の表示は、フラップの動きと同調していません。
- 停電の後、通電後に 運転/停止 を押すと、停電前の内容で運転を再開します。
- しばらくするとバックライトが消えます。（節電のため）何かのボタンを押すとバックライトが点灯します。
- 省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房/暖房などの能力は低下します。
  （室外ユニットの運転が制限値以下の場合は、制限されません。）
- 機器によっては設定できる温度範囲が異なります。
- 風向を変えられない機種では、風向が表示されません。
- 設定温度の範囲を制限するとき
- 風速や冷房・ドライ時の風向が 3 段階の室内ユニット（例:天井吊形）を親ユニット、4 方向天井カセット形を子ユニットにしてグループ制御を行うと、設定できる風速および冷房・ドライ時の風向は3 段階になります。

2 設定する項目を選ぶ

3 設定を変える

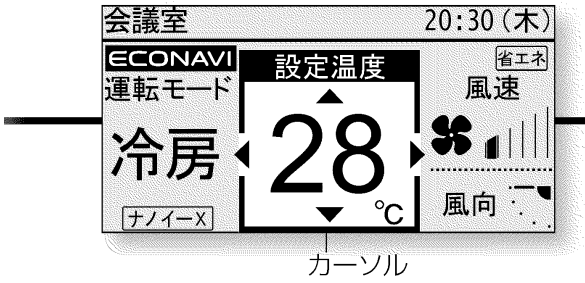
▲ / ▼ → 決定 を押す
（カーソルが消える）

◀



※冷暖自動：
設定温度
になるよう、
自動で冷房/
暖房を切り
換えます。

決定 （カーソルが消えているとき）

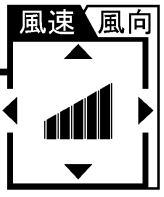


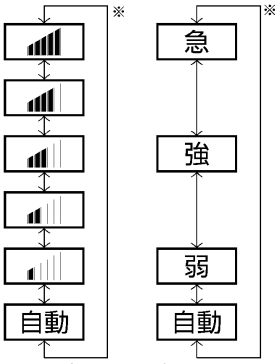
・冷房・ドライ　:18 ℃～30 ℃
・暖房　:16 ℃～30 ℃ ※
・冷暖自動　:17 ℃～27 ℃

※一部の機種の上限温度は
26 ℃になります。

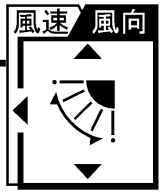
機種によってどちらかの表示
になります。

▶





▶ 2 回押す



※自動：送風時は選べません。
※機種によって選択可能な風
速が異なる場合があります。

・ ：スイング

・スイング中に▲▼を押すと
お好みの位置でフラップを
止められます。

■室内ユニットごとに風向を設定するとき

メニュー一覧

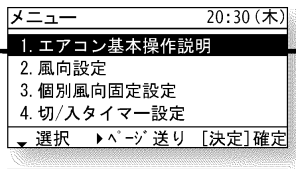
1 メニュー画面を出す

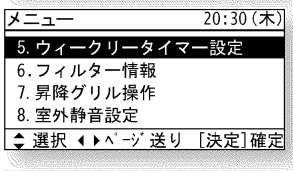
メニュー

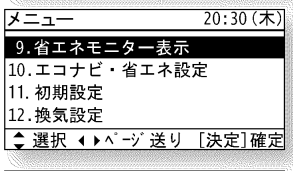
2 メニュー項目を選ぶ

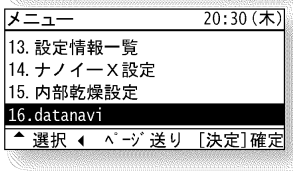
▲ → 決定

▼









■1 つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

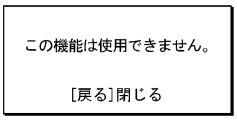
■各設定画面で数分間操作をしないとき
トップ画面に戻ります。

■ページをめくるとき

◀ ▶

1. エアコン基本操作説明
2. 風向設定※
3. 個別風向固定設定※
4. 切／入タイマー設定
5. ウィークリータイマー設定
6. フィルター情報※
7. 昇降グリル操作※
8. 室外静音設定※☆
9. 省エネモニター表示※
10. エコナビ・省エネ設定※
11. 初期設定
12. 換気設定※
13. 設定情報一覧
14. ナノイー X設定※
15. 内部乾燥設定※
16. datanavi

※ 機能が付いていない場合は、使用できないメニューがあります。使用できないメニューを選ぶと、次のような表示が出ます。



☆ 設定には、管理者パスワードが必要です。

基本操作の説明をします。

室内ユニットごとに、風向を設定します。

特定の吹出口の風向を固定します。

切 / 入タイマーを設定します。

曜日単位で運転スケジュールを設定します。

フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。

昇降グリルを操作します。

室外ユニットを静音運転します。

1 日、1 週間、1 年単位の消費電力量を確認します。

右記の省エネ機能は、「省エネ」ボタンとは別にそれぞれ個別に設定できます。

エコナビ	人の活動量に合わせた運転を行います。
設定温度自動リターン	温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。
設定温度範囲制限	設定できる温度の範囲を制限します。
消し忘れ防止設定	消し忘れ防止タイマーを設定します。
時間帯デマンド☆	時間帯を決めて、省エネ運転します。
運転自動停止	運転するたび、一定時間後に自動停止させます。

時計設定	現在日時を設定します。
時刻表示設定	時刻表示の種類を設定します。
リモコン名称設定	リモコンに名前を付けます。
操作ロック設定	ボタン操作をロックします。
操作音設定	操作音をオン / オフします。
コントラスト調整	画面のコントラストを設定します。
バックライト設定	画面のバックライトの明るさを設定します。
言語切換	トップ画面の表示言語を設定します。
管理者パスワード変更☆	管理者パスワードを設定します。
温度センサー設定☆	リモコン / 室内ユニットのどちらの温度センサーを使うか設定します。
リモコン親子設定☆	リモコンを 2 つ接続しているときに、設定します。
換気出力設定☆	エアコンの運転 / 停止と換気扇の運転 / 停止を連動させます。
サービス連絡先表示	サービスの連絡先を確認します。
外部機器連動☆	エコナビセンサーの在 / 不在などの外部機器連動を設定します。
ローテーション設定※☆	ローテーション運転をオン / オフします。

熱交換換気ユニットを含む換気運転の設定をします。

設定情報アイコンの意味を確認します。

「ナノイー X」・内部クリーンの設定をします。

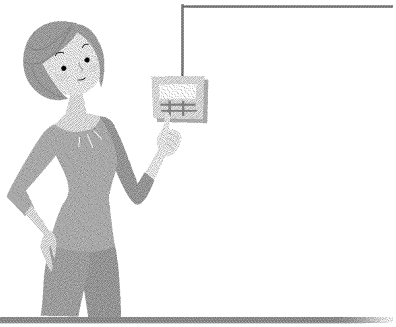
内部乾燥の設定をします。

datanavi 向けのメニューです。

室内ユニットごとに風向を設定する 風向設定

室内ユニットごとに風向を設定したい

1つの室内ユニット内の吹出口の風向は、
すべて同じになります。



1 メニュー画面を出す

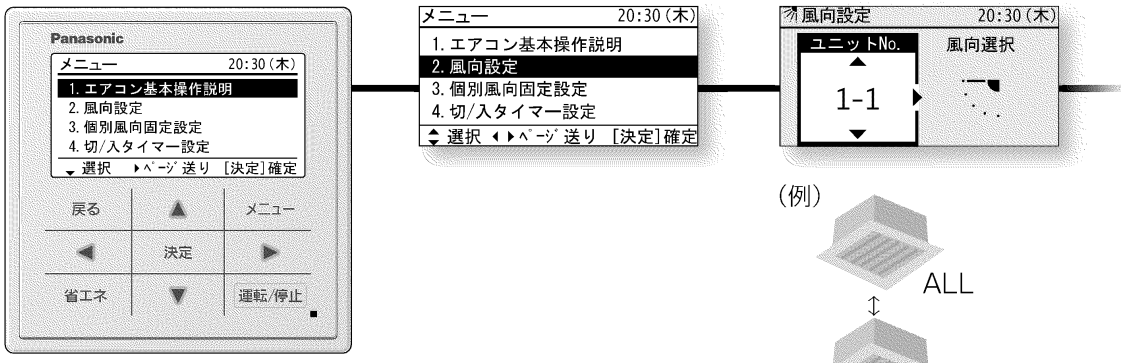
メニュー

2 「風向設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

3 設定する室内ユニットを選ぶ

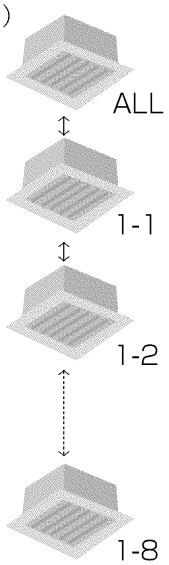
▲ ▼ → ▶



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

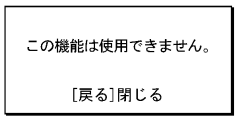
（例）

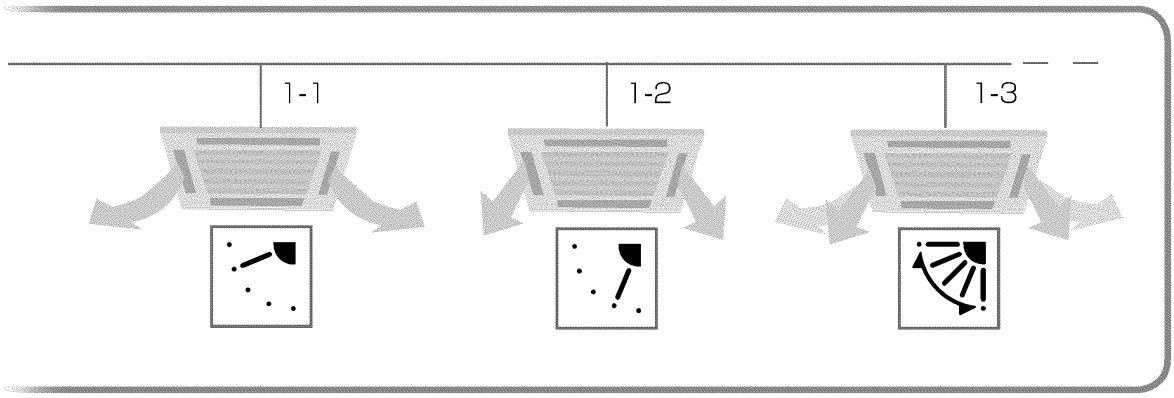


・ALL：リモコンに接続されている、すべてのユニット

お知らせ

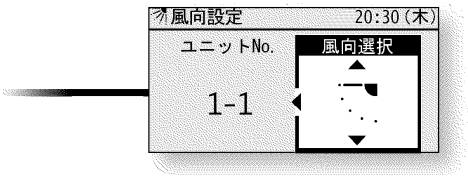
●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



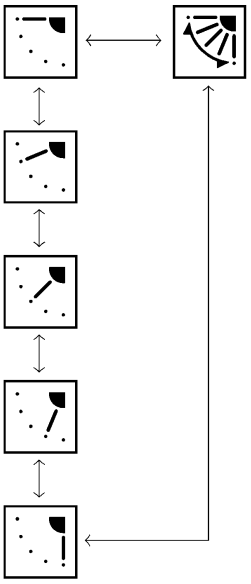


4 風向を選ぶ

▲ → メニュー
▼ （2回押し終了）



スイング



・スイング中に▲か▼を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。

・スイング停止中に▲か▼を押すと、所定の位置にフラップが設定されます。

▲押すと

▼押すと

・機種によって、仕様が異なる場合があります。
（スイングなし・風向が変更できず、「機能なし」と表示される／冷房・ドライ時、冷房自動の冷房時の風向設定が３段階）

吹出口ごとに風向を設定する 個別風向固定設定

室内の状況に合わせて吹出口ごとの風向を個別に設定したい

全室内ユニットの風向を変えたり、室内ユニットごとに
風向を変えたりしても、ここで設定した風向は変更されません。

1 メニュー画面を出す

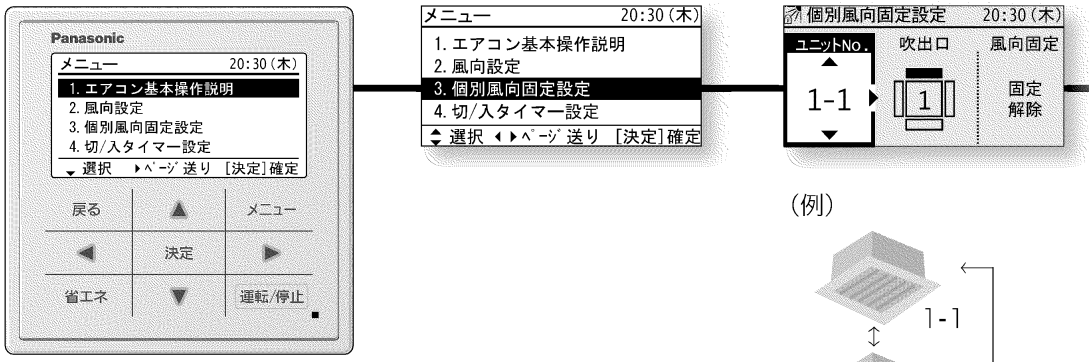
メニュー

2 「個別風向固定設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

3 設定する室内ユニットを選ぶ

▲ ▼ → ▶

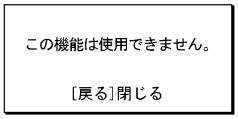


■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

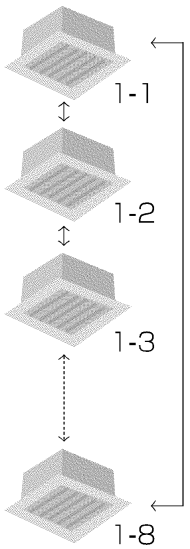
■トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

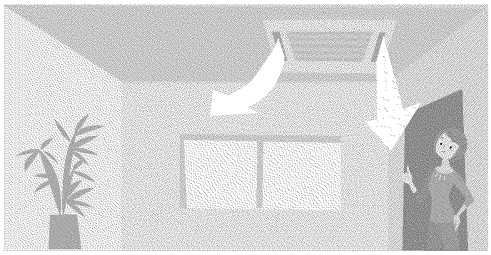
●4方向天井カセット形以外は、
次のような表示が出て使用できません。



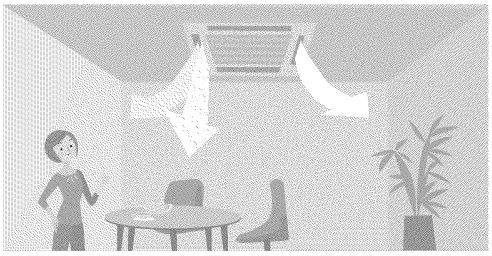
（例）



■設定例

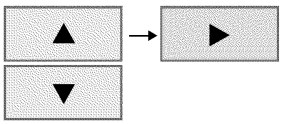


出入口の吹出口だけ下向きに。

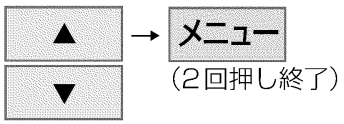


人の集まる側の吹出口をスイングに。

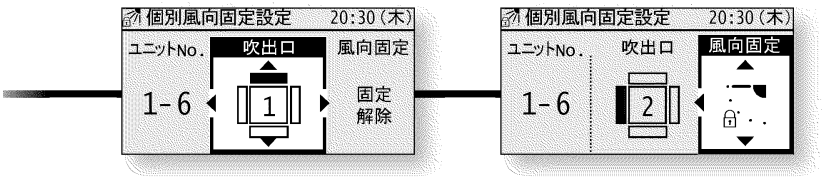
4 吹出口を選ぶ

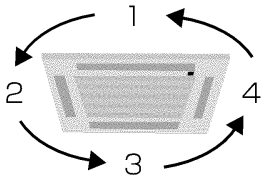


5 風向を選ぶ



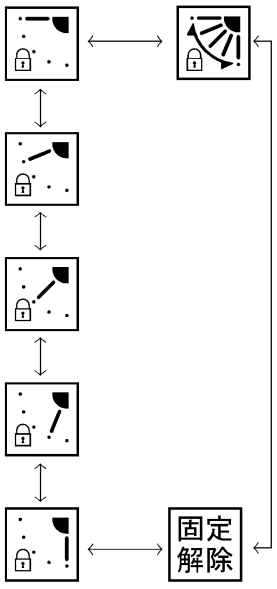
（2回押し終了）

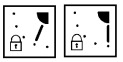




・■マークが、吹き出し口の１番になります。
・吹き出し口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。
・ALL：すべての吹き出し口

スイング



・冷房、ドライ時は  も表示されますが、実際は の風向になります。

エコナビ・省エネ設定 エコナビ

人の活動量に合わせた運転を行いたい

高精度なエコナビセンサーがリアルタイムに室内を監視、人を検知して、ムダな運転を抑えます。

1 メニュー画面を出す

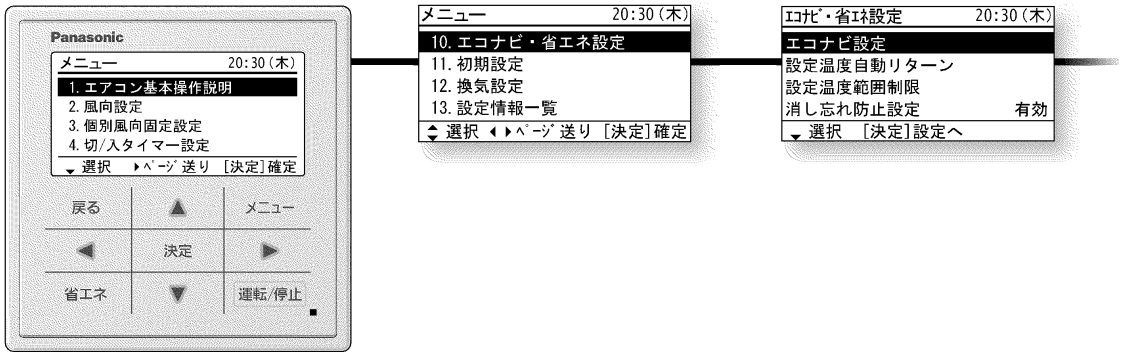
メニュー

2 「エコナビ・省エネ設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

3 「エコナビ設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

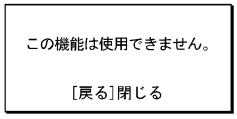


■1 つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

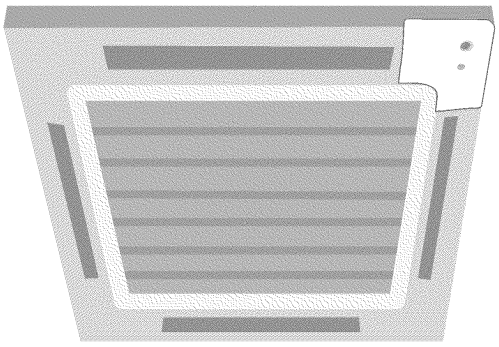
■トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを 2 回押す。

お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



●エコナビ設定は、別売品のエコナビパネル（CZ-160KPEU5）、または、壁設置形のエコナビセンサー（CZ-CSEN1）等を接続することにより可能になります。



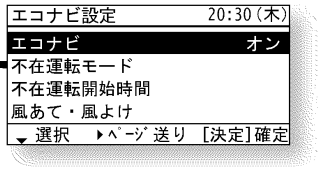
4 「エコナビ」を選ぶ

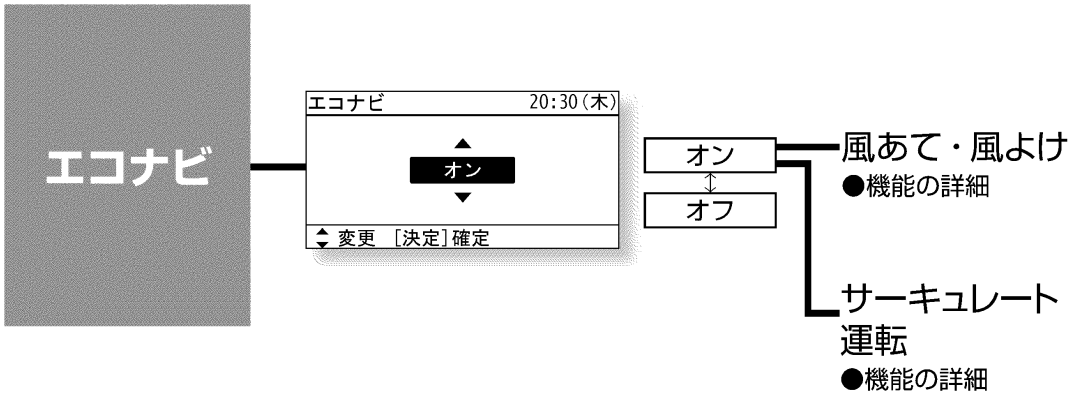
▲ ▼ → ▶

5 「オン」を選ぶ

▲ ▼ → 決定 → メニュー

（２回押し終了）





「ナノイー X」設定 ナノイー X / 内部クリーン

1 メニュー画面を出す

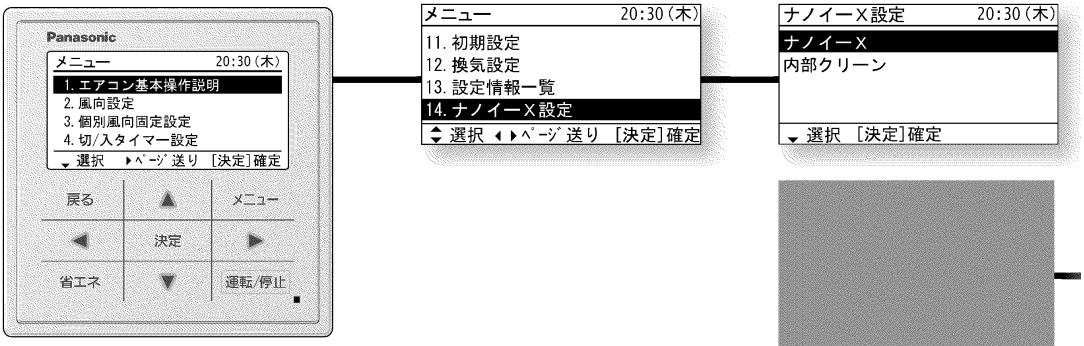
メニュー

2 「ナノイー X設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

3 設定する項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定



■1 つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを 2 回押す。

ナノイー X

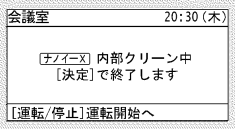
内部クリーン

内部クリーンをやめたいとき

①「決定」ボタンを押す。

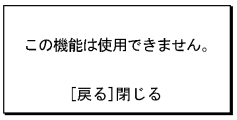
・内部クリーン運転中に、再び室内ユニットを運転させたい場合は、

運転/停止 ボタンを押してください。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

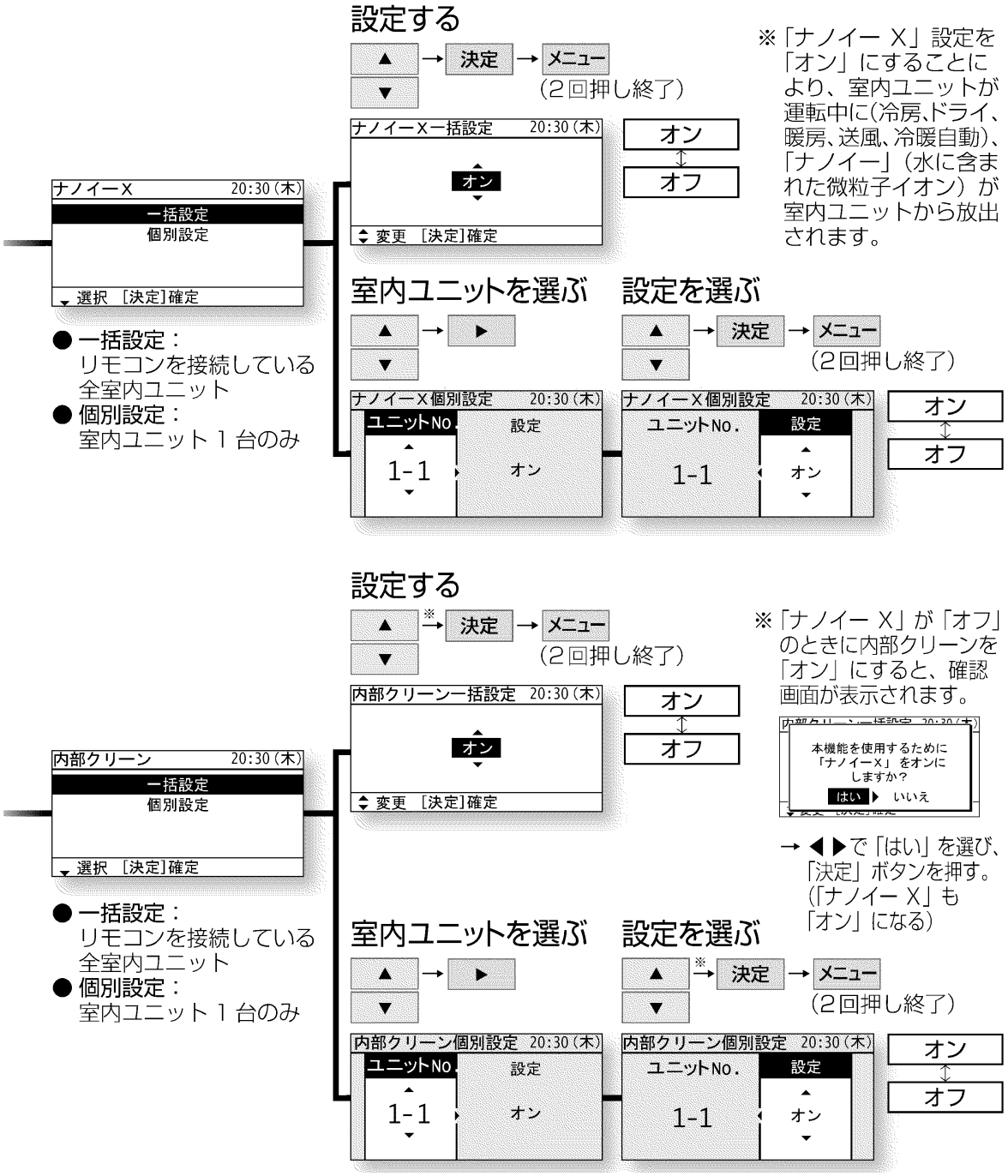


●「ナノイー X」を「オフ」にすると、内部クリーン機能は、働きません。

4 設定対象を選ぶ

▲ ▼ → 決定

5 設定する



Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤードリモコン

品番 CZ-10RT4C

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は途中接続しない**
  (接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  (製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に接続しない**
  (感電、故障の原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  (感電、故障の原因)

⚠注意

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

  (感電、火災などの原因)

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
  ・直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  ・過度な衝撃や振動のあるところ ・据付面に凹凸があるところ
  ・熱源の近くなど
●床面から1～1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける。
(室内の平均温度を感じる場所)
●複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1 m以上離す。
(映像の乱れ、雑音の原因)
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
●配線は、地中に埋設しない。
(落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

仕様

品番	CZ-10RT4C
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 16 mm
質量	180 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 % ※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）
時計精度	± 30 秒 / 月（常温 25 ℃） ※ 定期的に合わせる

datanaviについて

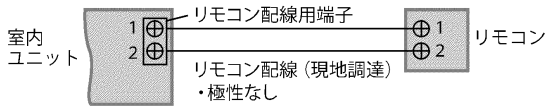
本機はdatanaviに対応しています。
ご使用方法などの詳細は、下記URLより、
ご確認ください。

https://datanavi.ac.smartcloud.panasonic.com/

ローテーション運転について

本機はローテーション運転の設定が可能です。
ご使用方法の詳細は、付属の取扱説明書をご覧ください。

1 配線のしかた



● ケーブルの種類
- 柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm²のケーブル（単線は使わない）
- シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
- 推奨品：VCTF（EM-ECTF *）/ VCT（ECO120 *）

* エコ電線。紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

● 総配線長：500 m以内
- グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は、400 mまで
- 室内ユニットわたり総配線長は200 mまで

● グループ制御時の接続可能台数
- 室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）

お知らせ

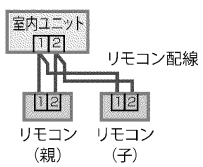
接続可能な熱交換気ユニット（マイコンタイプ）
- 天井埋込形　MZD 9 / 10 シリーズ
- 天吊カセット形　MZB 9 / 10 シリーズ

※ 熱交換気ユニットは、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続してください。
※ 室内ユニットが1台以上必要です。

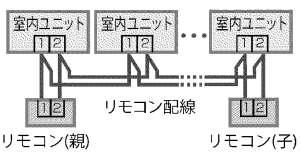
親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、「3 設定する」（裏面）の「リモコン親子設定」を行い、
片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
他リモコンと併用の場合は、本機を「親リモコン」に設定してください。

■ 室内ユニットが1台のとき



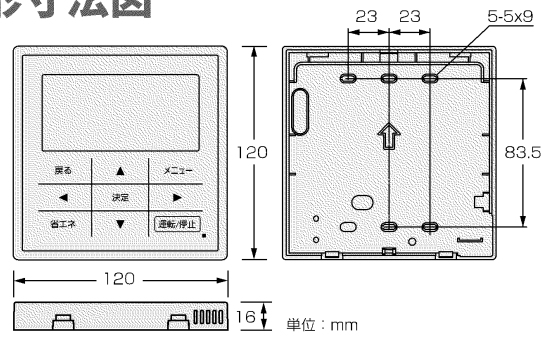
■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ

どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

外形寸法図



付属品

＜＞：個数

小ネジ ＜2＞	木ネジ ＜2＞	結束クランパー
M 4 × 25	M 3.8 × 16	＜1＞
（埋込型 JISボックス用）	（露出型 壁面用）	

取扱説明書、据付（電気）工事説明書　各＜1＞

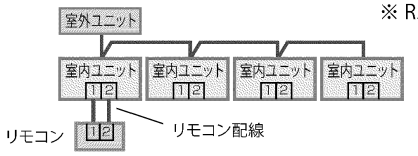
※ リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R410A冷媒機種のみ、R32冷媒機種とR410A冷媒機種や熱交換気ユニットが混在する場合は、すべての室内ユニットにリモコンわたり配線が必要です。
● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

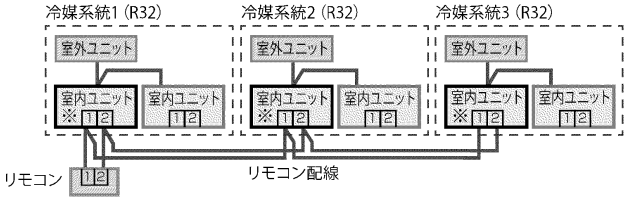
※ R32冷媒機種



お知らせ

どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

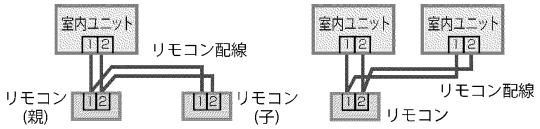
複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

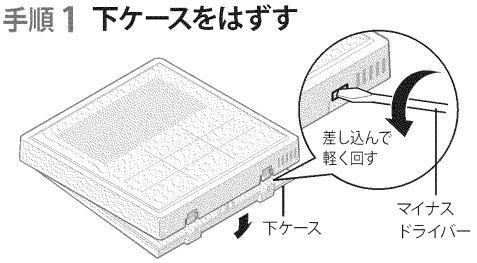
● リモコンはリモコンわたり配線上の室内ユニット（※）に接続する必要があります。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、リモコンわたり配線上の室内ユニット（※）とし、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。
手動で室内ユニットの親子設定を変更する場合は、設置後、「3 設定する」（裏面）の「詳細設定（項目コード14：親子設定）」を行ってください。

お願い 以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



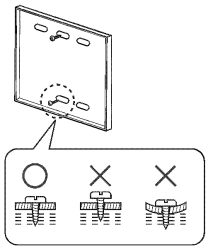
2 据え付ける

手順 1 下ケースをはずす



■ 下ケースを取り付けるとき（手順2 ❶）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
（下ケースの変形による、落下の原因）

■ 上ケースを取り付けるとき（手順2 ❸）
- 余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）



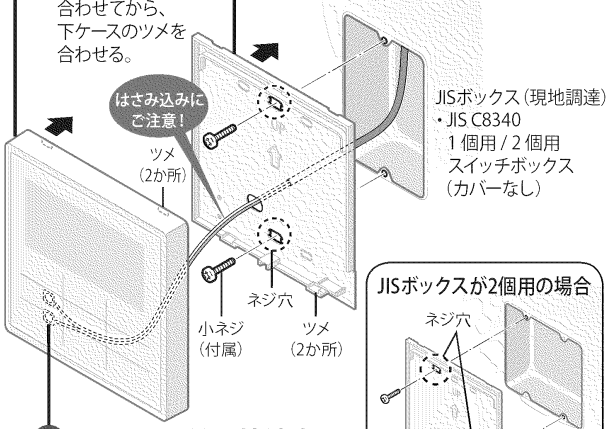
手順 2 壁に取り付ける

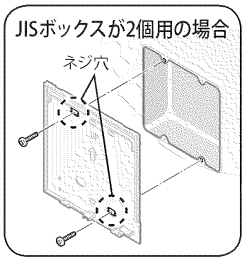
埋込型の場合

準備：使用するJISボックスに対応するネジ穴（2か所）を、ドライバー等で開けておく。

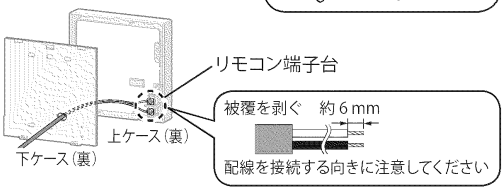
❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースをJISボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。





❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。

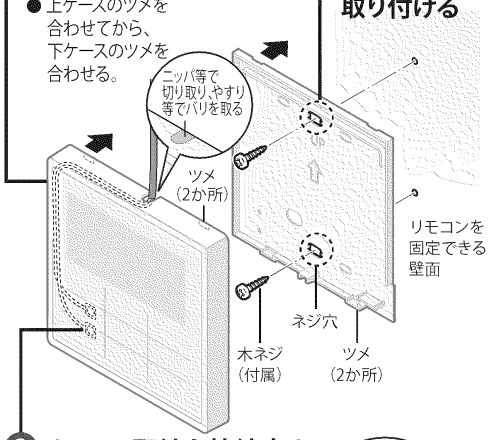


露出型の場合

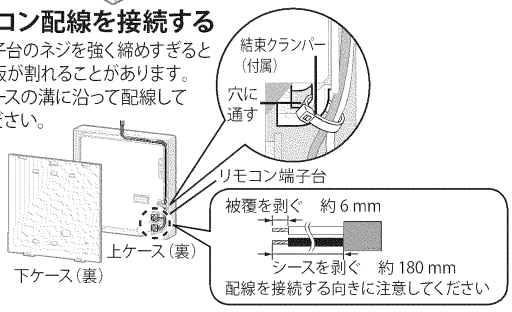
準備：ネジ穴（2か所）をドライバー等で開けておく。

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースを壁に取り付ける



❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
- ケースの溝に沿って配線してください。

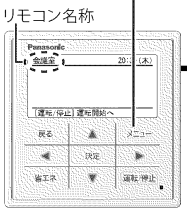


3 設定する

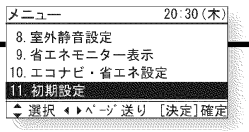
準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電気）を入れてください。リモコンが起動し、「設定中」の表示が消えるまでお待ちください。
※ 10 分以上「設定中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。

時計設定 / リモコン名称設定のしかた

1 メニュー を押す

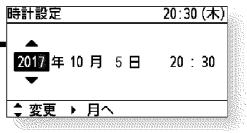


2 「初期設定」を選ぶ
▲▼→[決定]



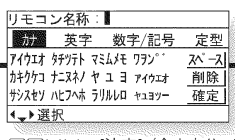
3 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

時計設定

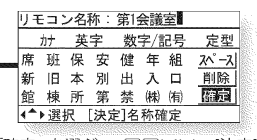


4 設定する
▲▼→▶→[決定]
（くり返す）

リモコン名称設定



▲▼◀▶→[決定]（全文字分、くり返す）



「確定」を選ぶ　▲▼◀▶→[決定]

※ 文字入力のしかた

■ **文字種を変更するとき**
▲▼◀▶で文字種を選び、[決定]

■ **定型の名称から選ぶとき**
▲▼◀▶で「定型」を選び、[決定]

■ **スペースを入力するとき**
▲▼◀▶で「スペース」を選び、[決定]

■ **1 字消すとき**
▲▼◀▶で「削除」を選び、[決定]

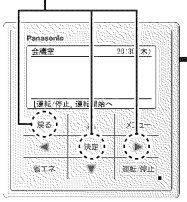
※ 全角 8 文字 / 半角 16 文字まで入力可能。
（スペースも文字数に含む）

お知らせ
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- 接続する室内ユニットによっては、液晶画面の表示が異なる場合があります。

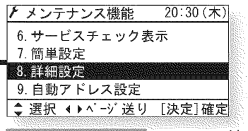
3 設定する（つづき）

サービス連絡先登録 / リモコン親子設定 / パスワード設定などのしかた

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



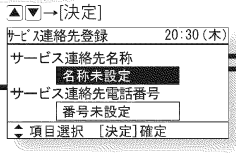
2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



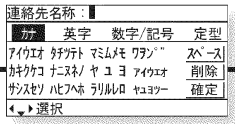
3 設定する

サービス連絡先登録

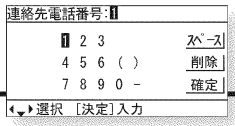
▲▼→[決定]



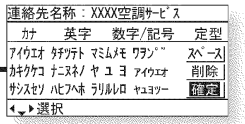
「※ 文字入力のしかた」を参照（3ページ下）



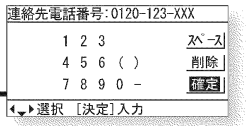
▲▼◀▶→[決定]（全文字分、くり返す）



▲▼◀▶→[決定]（全文字分、くり返す）



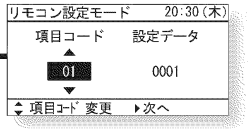
「確定」を選ぶ ▲▼◀▶→[決定]



「確定」を選ぶ ▲▼◀▶→[決定]

リモコン設定モード

項目コード・設定データを選択
▲▼→▶→[決定]（くり返す）



項目コード（リモコン設定モード）			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき	・0000：子 ・0001：親（出荷設定）
2F	パスワード設定	管理者パスワードを設定するとき	・0000～9999 ・0000（出荷設定）
2B	熱交換気連動設定①	空調機の運転 / 停止と、接続している熱交換気ユニットを連動させるとき	・0000：連動なし（出荷設定） ・0001：連動あり

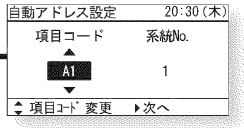
詳細設定

ユニットNo.・項目コード・設定データを選択
▲▼→▶→[決定]（くり返す）

項目コード（詳細設定）			設定データ
14	室内ユニットの親子設定	グループ制御時に室内ユニットの親子設定をするとき	・0001：親機 ・0002：子機
31	換気扇との接続	室内コントロール基板上の換気扇出力『FAN DRIVE：2P(白)』に市販の換気扇等を接続するとき ※ 専用配線（別売品）が必要	・0000：接続なし ・0001：接続あり
32	室温センサー設定	リモコンの室温センサーで室温を測るとき ※ 親・子リモコン制御時は、親リモコンが有効 ※ リモートセンサー併用時は、室内ユニット側に設定 ※ グループ制御時は、設定できません	・0000：室内ユニット側 ・0001：リモコン側
D7	熱交換気連動設定②	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えるとき （「換気モード」が「自動換気」のときのみ） ※ 熱交換気ユニット（ユニットNo.31-XX）の設定項目になります。	・0000：オフ ・0001：オン

自動アドレス設定

項目コード「A1」・系統No.を選択
▲▼→▶→[決定]（くり返す）



項目コード（自動アドレス設定）			系統No.
A1		自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。	・室外ユニットの系統番号

お知らせ

- リモコン設定モード・詳細設定・自動アドレス設定・簡単設定は、終了時に再起動を行います。

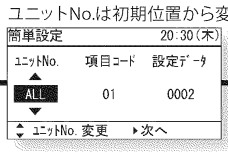
お願い

- 自動アドレス設定は、室内・室外ユニットの電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
- 自動アドレス設定を行ったあとは、90 秒以上たってから運転してください。
- 集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
  接続する集中制御機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

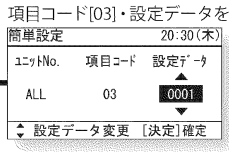
集中制御アドレス設定　（ON/OFF集中コントローラーなどの集中制御機器を接続する場合）

簡単設定

ユニットNo.は初期位置から変更しない。



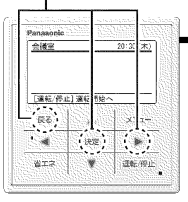
項目コード[03]・設定データを変更



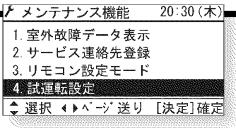
・ユニットNo.選択位置で[戻る]→終了

4 試運転する

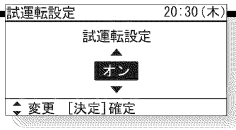
1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



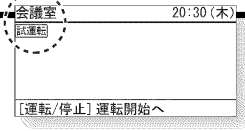
2 「試運転設定」を選ぶ
▲▼→[決定]



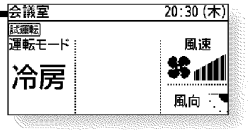
3 「オン」を選ぶ
（試運転モードになる）
▲▼→[決定]



[戻る]を2回押す



4 試運転する
運転/停止 押す

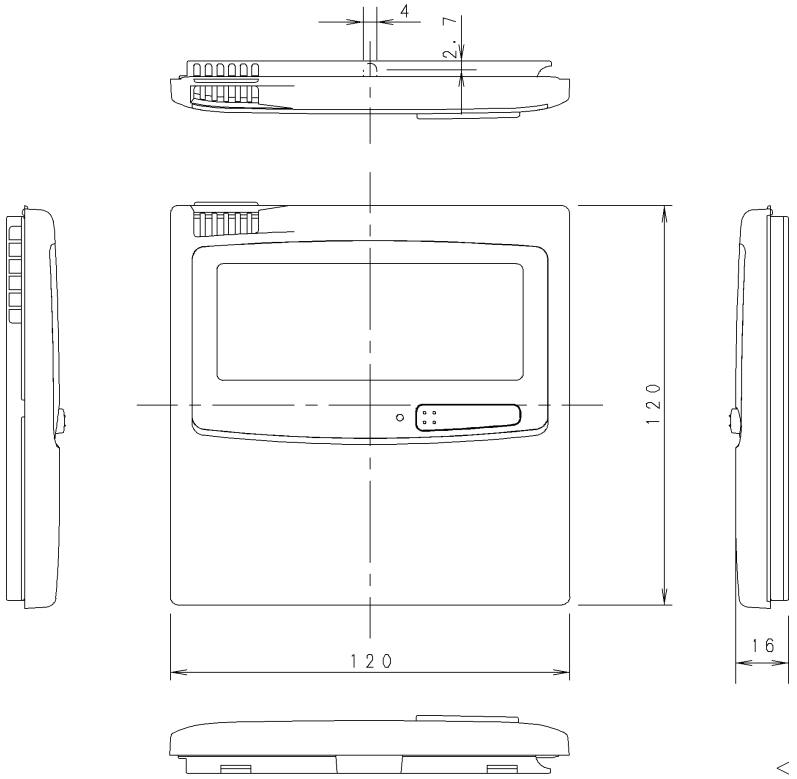


■ 試運転を終了する

手順 1・2 を行い、手順 3 で「オフ」を選ぶ。
（「試運転」表示消灯）

お願い

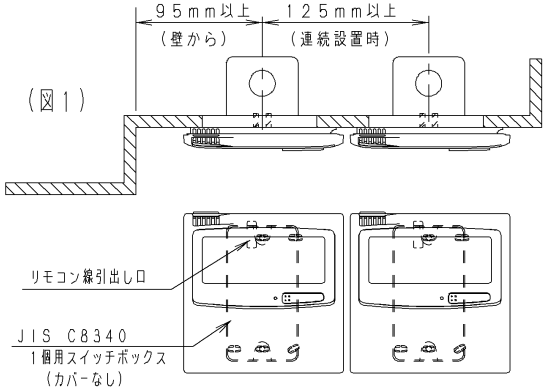
- 試運転以外の目的には使わないでください。
  （室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房 / 冷房 / 送風のいずれかのみ運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。



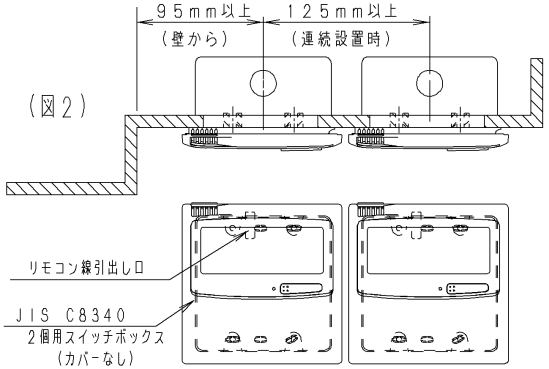
連続設置の場合の取付け寸法

※　リモコンスイッチを、壁面に連続して取付ける場合は、
図１・図２の取付け寸法を守ってください。

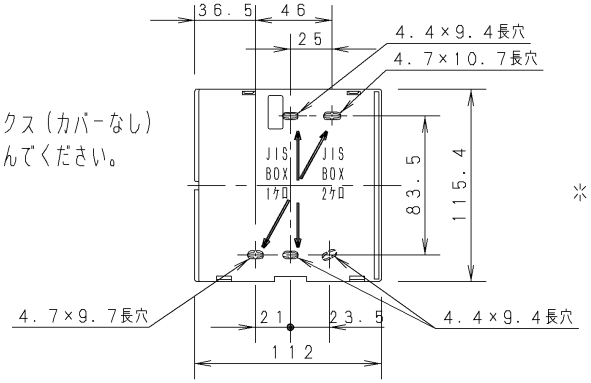
（図１）



（図２）



＜リモコン取付け寸法＞

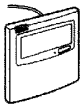
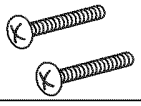


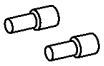
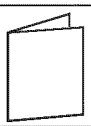
お願い）　配線を埋込まれる場合は、ＪＩＳ－Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）
または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

※　リモコンスイッチを上下に並置して、取付ける場合は、
保守の関係上、隙間は２５ｍｍを守ってください。

品番	CZ-10RT3P CZ-10RT3PN	外形寸法図 （標準ワイヤードリモコン）

リモコン付属品

番号	付属部品	個数
①	リモコン （配線200mm付属） 	1
②	小ネジ M4×25 	2
③	木ネジ 	2

番号	付属部品	個数
④	スペーサー 	2
⑤	ワイヤー ジョイント 	2
⑥	据付（電気）工事担当および サービス担当のかたへ 	1

リモコンの設置方法のお願い

設置場所

●ペリメーター用床置形（露出タイプ）に組み込む場合

①リモコンカバーとリモコン本体の間（図1の位置）にマイナスドライバー等の先端を差し込み、矢印方向に回転させ、リモコンのカバーを取り外してください。（図1）

②ペリメータ本体の前パネルを開けて、図2の2つビスをはずし、固定金具をはずしてください。（図2）
※前パネルの開けかたは、ペリメーター本体の工事説明書を参照ください。

③リモコンを図2のように本体に取り付けスペースに押し込んでください。このとき、リモコンの2本の配線はリモコン裏面の中法に寄せ、配線取出口から出るようにしてください。
注）リモコン基板裏に親子リモコンの切換を行うリモコンアドレスコネクタがあります。「リモコンを2個設置する場合のお願い」を事前に設定を確認してください。

④固定金具を取り付けてください。

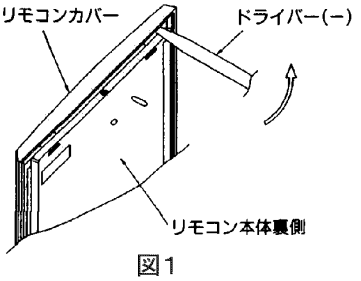


図1

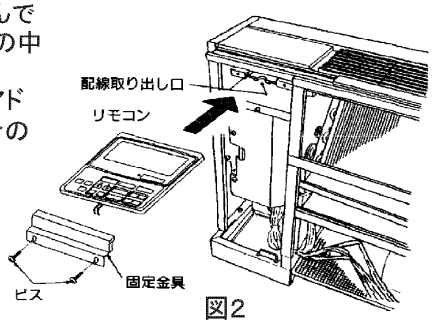


図2

●壁面等に設置する場合

・リモコンの取り付け高さは、 床面より1～1.5mの範囲で、室内の平均湿度を感じる場所に設置してください。
・必ず壁面等に垂直に設置してください。
・直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
・室内の空気の流れから外れた物かげやものの裏側等に設置しないでください。
・防湿・防滴仕様ではありませんので、 冷凍・冷蔵庫内に設置しないでください。

外形寸法図

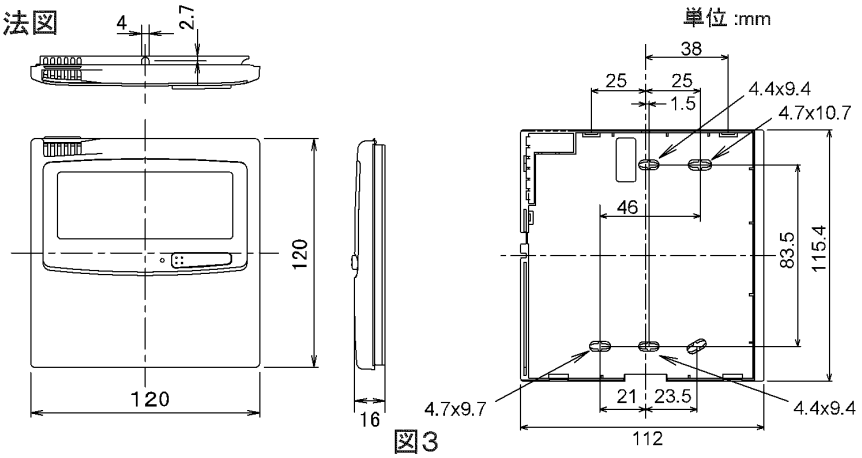


図3

連続設置時の注意
＊1 壁面から95mm以上離してください。
＊2 左右に並べて取り付ける場合は、 間を125mm以上あけてください。
＊3 上下に並べて取り付ける場合は、 間を25mm以上あけてください。

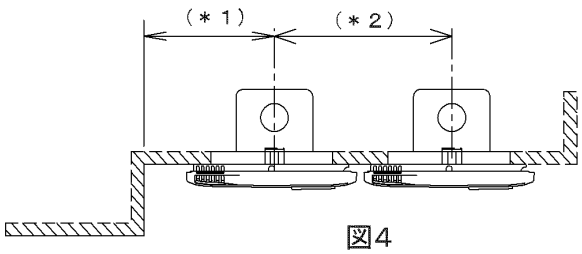
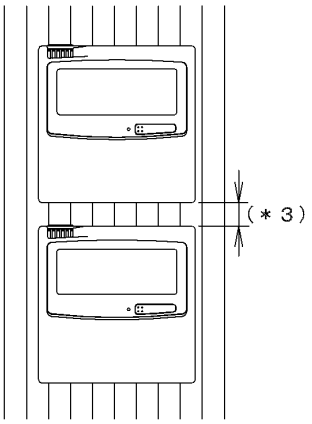


図4



<注1>リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤配線の原因となりますので避けてください。
<注2>ノイズの発生源から離して据付けてください。
<注3>ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

①リモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を
押しこんであけ、 下ケースを外してください。

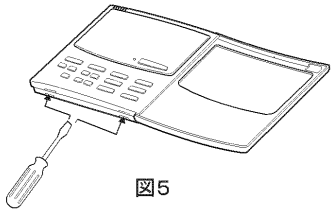
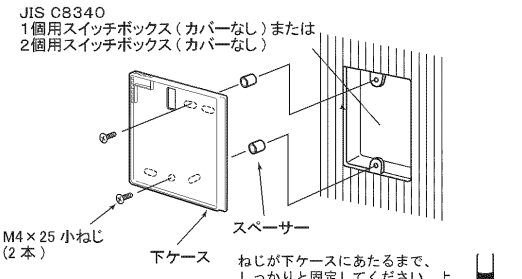


図5

②下ケースの取り付けかた

●埋込型としてご使用の場合

あらかじめ現地で壁内に埋め込まれた図6に示すJISボックス(現地手配)に取り付けてください。下ケースを付属のM4小ネジ(2本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。



ねじが下ケースにあたるまで、しっかりと固定してください。上ケース取付け時にねじ頭が基板にあたり故障の原因になります。ねじを締めすぎると下ケースが変形し、落下の原因になります。

図6

●露出型としてご使用の場合

リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。

配線は、下ケースの配線引出部(中央上部の肉薄部)をニッパ等で切り欠き、この部分より出してください。(図7)

下ケースを木ねじ(2本)を使用して壁面に固定してください。

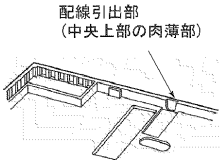
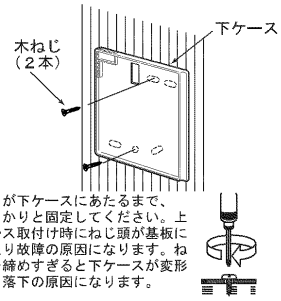


図7



ねじが下ケースにあたるまで、しっかりと固定してください。上ケース取付け時にねじ頭が基板にあたり故障の原因になります。ねじを締めすぎると下ケースが変形し、落下の原因になります。

図8

③リモコン配線を接続してください。

室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続します。室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線しないよう接続してください。(誤配線するとこわれます。)

●配線は0.5mm²～2.0mm²を使用します。
リモコン配線の総配線長は500m以内にしてください。

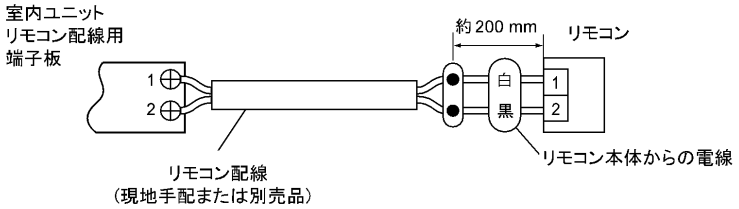


図9

●リモコン配線の接続部にワイヤージョイントについて

①接続する電線の被覆を約14mmむきます。

②2本の電線をより合わせてワイヤージョイントにて圧着接続します。(図10)

③専用圧着工具を使用しない場合、または、ハンダ付接続 の場合は絶縁テープにて絶縁処理をしてください。

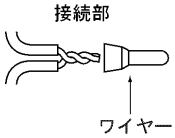


図１０ ジョイント

●リモコン配線にリモコンコード(別売品)を使用について

リモコンのリード線固定部に巻き付けてあるリード線を外し、コネクタ部を外してリモコンコード(別売品)をリモコン本体のコネクタ部に接続してください。

リモコンコード(別売品)を溝に入れて整形後、リード線固定部に巻きつけてください。(図11)

リモコンコード(別売品)を使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。

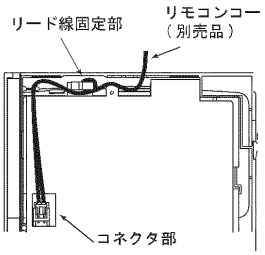


図１１

リモコンコード(別売品)

サービス部品コード CV6380192227(5m品)
サービス部品コード CV6380196258(10m 品)

③リモコン配線を接続してください。

室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続します。室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線しないよう接続してください。（誤配線するとこわれます。）

●配線は0.5mm²～2.0mm²を使用します。
リモコン配線の総配線長は500m以内にしてください。

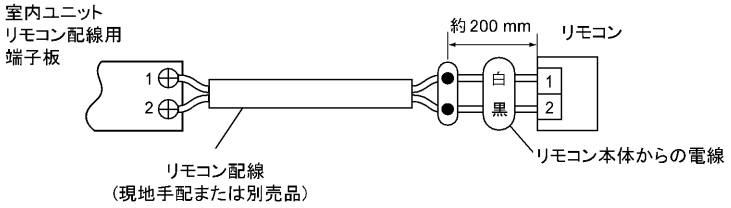


図9

●リモコン配線の接続部にワイヤージョイントについて

①接続する電線の被覆を約14mmむきます。
②2本の電線をより合わせてワイヤージョイントにて圧着接続します。（図10）
③専用圧着工具を使用しない場合、または、ハンダ付接続 の場合は絶縁テープにて絶縁処理をしてください。

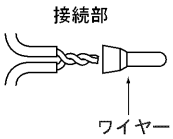


図１０ ジョイント

●リモコン配線にリモコンコード（別売品）を使用について

リモコンのリード線固定部に巻き付けてあるリード線を外し、コネクタ部を外してリモコンコード（別売品）をリモコン本体のコネクタ部に接続してください。
リモコンコード（別売品）を溝に入れて整形後、リード線固定部に巻きつけてください。（図11）
リモコンコード（別売品）を使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。

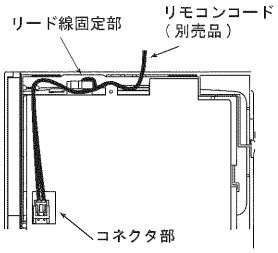


図１１

リモコンコード（別売品）

サービス部品コード CV6380192227(5m品）
サービス部品コード CV6380196258(10m 品）

④リモコン本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み取り付けてください。

※基板裏に親子リモコンのリモコンアドレスを切り換えるコネクタがあります。「リモコンを2個設置する場合のお願い」を事前に参照して、 設定をご確認ください。

リモコンを2個設置する場合のお願い

1 台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。

●設定方法

2個のリモコンの中で、1個を親（工場出荷時）にしてください。 もう1個のリモコンを子にしてください。 親と子の切換えは、リモコン基板裏のリモコンアドレスコネクタを親→子にさしかえてください。（図12）

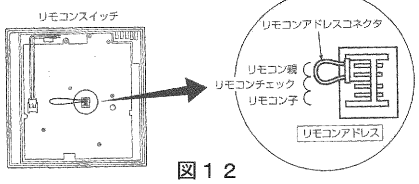


図１２

●基本配線図

注）：配線は誤配線しないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

・室内ユニット1台をリモコン2か所で操作する場合

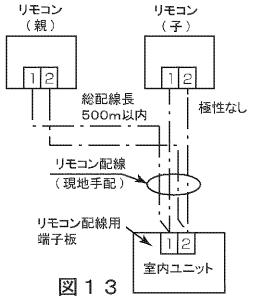


図１３

・複数台の室内ユニットを、リモコン2ヶ所で操作する場合。
※親と子のリモコンは、いずれの室内ユニットに取り付けても動作します。

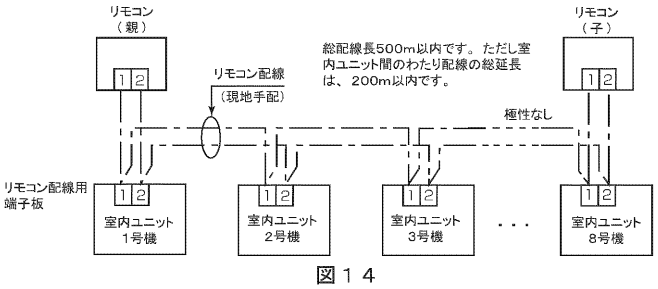


図１４

リモコン試運転設定

①リモコンの [点検] ボタンを4秒以上押して液晶表示部に“試運転”と表示させてから、[運転／停止] ボタンを押してください。
・試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。
・試運転中は温度調節できません。
機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。
②「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。
（注）電源投入後、および運転停止後約3分間は室外ユニットは運転しません。
③試運転終了後は、再度 [点検] ボタンを押して液晶表示部の“試運転”消灯を確認してください。
（このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー解除機能付となっています。）

室温センサー切換え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンに内蔵されています。室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切換えるには以下の手順で設定します。ただし、ペリメーター本体にリモコンを組み込む場合はリモコンセンサーは使用できません。
① [点検] ＋ [換気] ＋ [セット／取消] ボタンを4秒以上押します。
注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注）[ユニット選択] ボタンを押さないでください。
②温度設定 [▲] ／ [▼] ボタンで、項目コード 32 を指定します。
③時間 [▲] ／ [▼] ボタンで、設定データを 0000（室内ユニット側）から 0001（リモコン側）に変更します。
④ [セット／取消] ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ [点検] ボタンを押します。
通常の停止状態になります。この時、液晶表示部には、”[リモコンセンサー]”と表示されます。

注1）親子リモコン制御の時は、親リモコン／子リモコンのどちらからでも設定できますが、リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注2）グループ制御時は、グループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注3）リモートセンサーとリモコンを併用する場合はリモコンのリモコンセンサーは使用しないでください。

換気扇との接続について

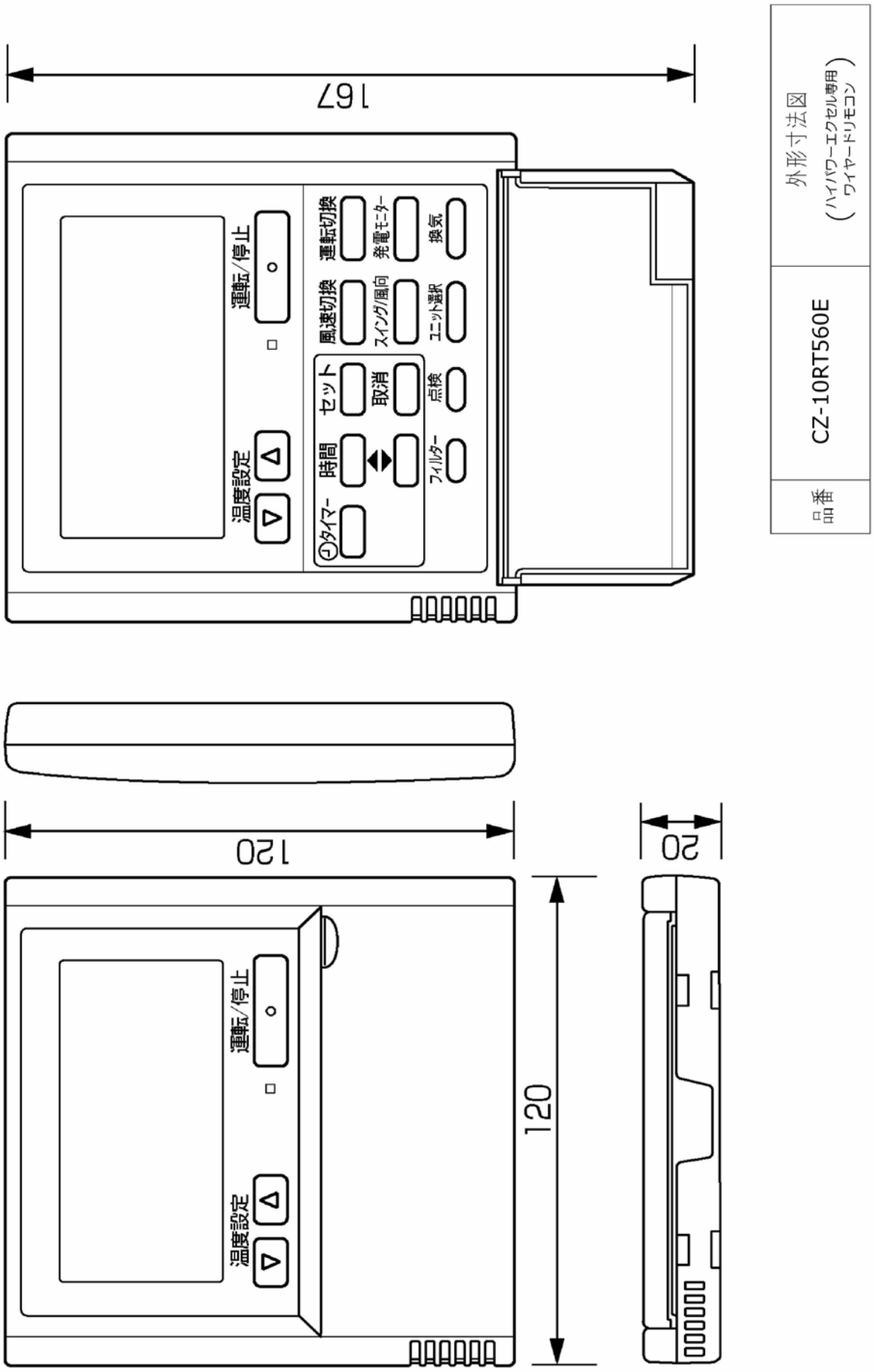
室内コントロール基板上の換気扇出力（FAN DRIVE: 2P(白),DC12V）で市販の換気扇等を運転する場合は、[換気] ボタンによって操作可能にする設定変更を行ってください。
① [点検] ＋ [換気] ＋ [セット／取消] ボタンを4秒以上押します。
注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注）[ユニット選択] ボタンを押さないでください。
②温度設定 [▲] ／ [▼] ボタンで、項目コード 31 を指定します。
③時間 [▲] ／ [▼] ボタンで、設定データを 0000 から 0001 に変更します。
④ [セット／取消] ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ [点検] ボタンを押します。
通常の停止状態になります。[換気] ボタンを押して、液晶表示部に“ 換気 ”と表示されることを確認してください。
注）室内コントロール基板に接続する専用配線（別売品）が必要になります。

ワイヤードリモコン(ハイパワーエクセル専用)

項　　目	別売品（ﾊｲﾊﾟﾜｰｴｸｾﾙ専用）
（停　　止）	ＣＺ－１０ＲＴ５６０Ｅ※
運転/停止	押しボタン
運転切換	押しボタン
温度設定	押しボタン
風速切換	押しボタン
オートフラップ	押しボタン
タイマー設定	押しボタン
フィルターリセット	押しボタン
点検	押しボタン
省エネ	押しボタン
（表　　示）	ＣＺ１０ＲＴ３
運転	ランプ・文字 運転ランプ 「試運転」 「暖房準備」 「運転準備」 「集中管理中」 「運転切換管理中」
運転モード	文字 「冷暖自動」 「暖房」 「冷房」 「ドライ」 「送風」
省エネ	「省エネ」
設定温度	数字
風速	文字 「風速　自動」 「風速　 急 」 「風速　 強 」 「風速　 弱 」
オートフラップ	マーク
タイマー	文字・マーク・数字
フィルター昇降	フィルター昇降
換気	換気
（警　　報）	ＣＺ１０ＲＴ３
通信・各種設定	「Ｅ０１～Ｅ３１」
未設定・各種設定	「Ｌ０１～Ｌ３１」
室内送風機	「Ｐ０１」
天井パネル未接続	「Ｐ０９」
室内フロートスイッチ	「Ｐ１０」
保護装置	「Ｐ０１～Ｐ３１」
エンジン保護	「Ａ０１～Ａ３１」
センサー	「Ｆ０１～Ｆ３１」

※：ＣＺ－１０ＲＴ５６０Ｅは、ハイパワーエクセル専用のワイヤードリモコンです。

■外形寸法図



品番	CZ-10RT560E	外形寸法図（ハイパワーエクセル専用 ワイヤードリモコン）

■各部の名称とはたらき

各部のなまえとはたらき

ワイヤードリモコン（別売品）

（CZ-10RT560E/10RT3/10RT3A）

- このリモコンは１台で、室内ユニットを最多８台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
- S−FS1、FES1、ES1、VS1 シリーズは、表示部にフラップ位置が表示されません。
- S−G224ES1、G280ES1 はドライ機能はありません。

運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

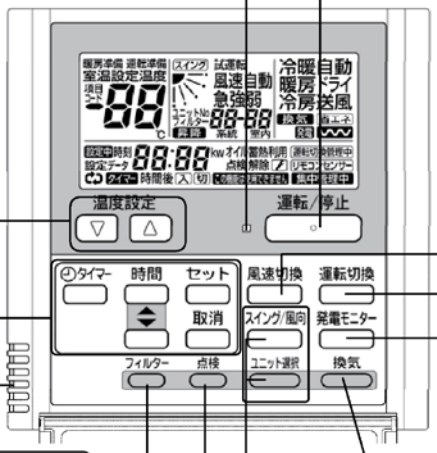
温度設定ボタン
▽ 設定温度を１℃ずつ下げます。
△ 設定温度を１℃ずつ上げます。
（☞１４ページ）
※別売の昇降グリルを接続し、操作するときは、下降上昇に使用します。（☞１７ページ）

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。
（☞１６ページ）

リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。（グループ制御時は設定しないでください。）

フィルターボタン
■単発押し
フィルターサインを消灯させるときに使用します。フィルターが表示されたときにはフィルター掃除後、ボタンを押してください。
■４秒以上の長押し
別売の昇降グリルを接続したときに使用します。
（☞１７ページ）
※フィルター昇降操作を行うとフィルターサインが消えます。

点検ボタン
サービス時、または設定温度時自動リターン機能の設定時に使用します。（☞１５ページ）



運転/停止ボタン
運転/停止させるときに使用します。

風速切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

発電モニターボタン
運転中にボタンを押すと、現在の発電量が表示されます。
※CZ-10RT3 は省エネボタンになります。
（☞２８ページ）
※CZ-10RT3A には省エネボタンはありません。

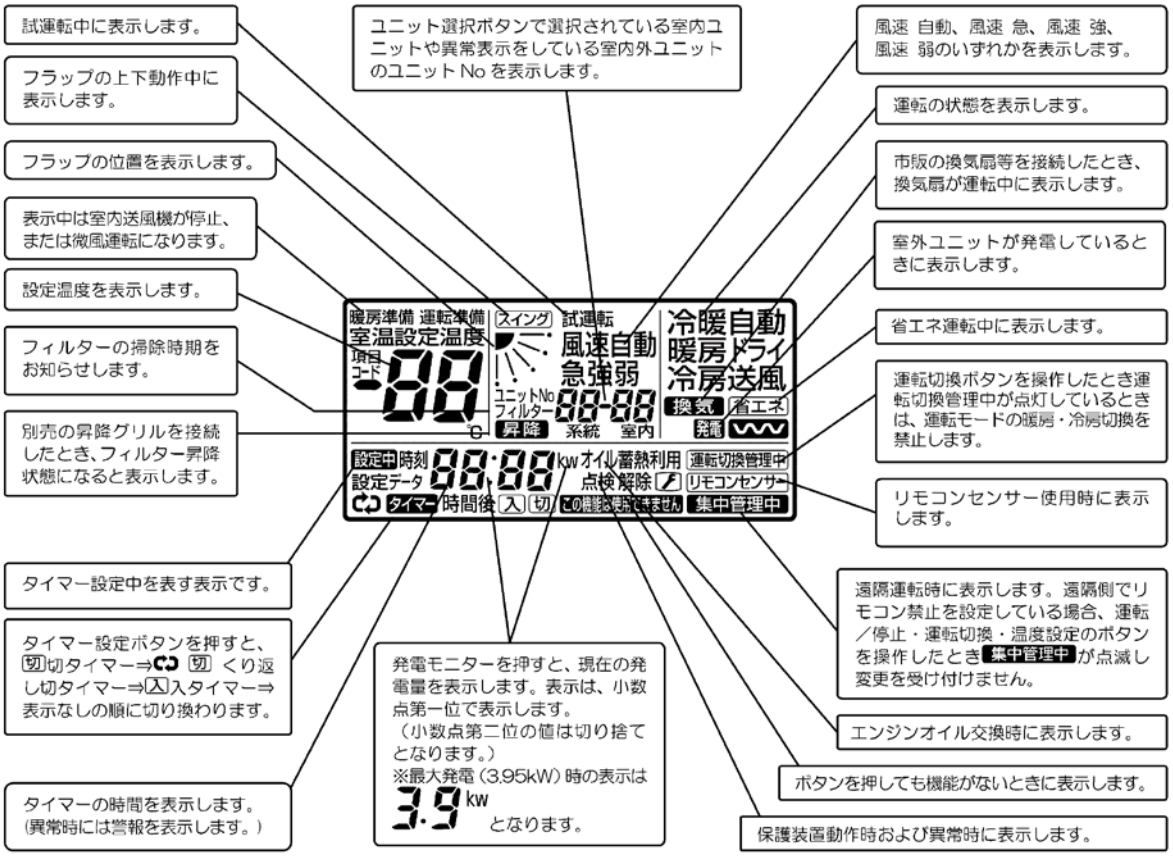
換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転・停止します。エアコンを運転・停止したときは、換気扇も同時に運転・停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気扇ボタンを押したとき、リモコン表示部に この機能は使用できません が表示された場合は換気扇が接続されていません。

オートフラップボタン
スイング/風向：自動スイングやフラップの角度を設定します。
ユニット選択 ：１台リモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルを操作時にユニットを選択します。
※S−DMS1、US1、LS1、DS1、TS1、KS1 シリーズのみ

操作部 《上の図はふたを開けた状態を示しています。》

各部のなまえとはたらき

- 漏電しゃ断器を最初に入れたとき、リモコン表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。
- このページ以降ではリモコンボタン名からすべて「ボタン」を省略して表示します。



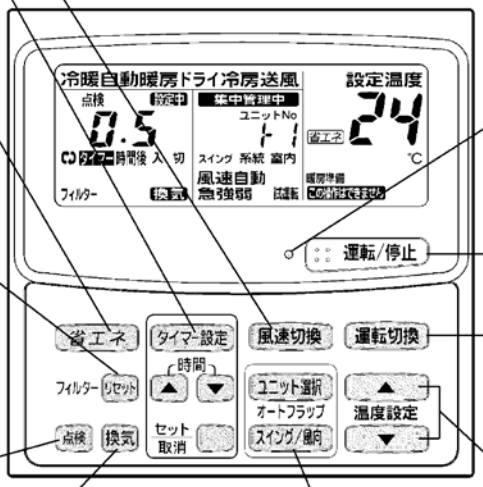
表示部 《液晶の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

各部のなまえとはたらき

コントロールスイッチ

S-BS1 シリーズ

●このコントロールスイッチ１台で、室内ユニットを最多8台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



風速切換ボタン

タイマー設定ボタン

タイマー設定時に使用します。
（☞１６ページ）

省エネボタン

運転中にボタンを押すとリモコン表示部に 省エネ が表示され、省エネ運転を開始します。もう一度ボタンを押すと表示は消え、通常の運転になります。
（☞２８ページ）

フィルターリセットボタン

フィルターサインを消灯させるときに使用します。“フィルター” が表示されたときはフィルター掃除後、ボタンを押してください。

点検ボタン

サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

換気ボタン

市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転・停止します。エアコンを運転・停止したいときは、換気扇も同時に運転・停止します。（換気扇が運転中はコントロールスイッチの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、コントロールスイッチ表示部に この機能は使用できません が表示された場合は換気扇が接続されていません。

運転ランプ

運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

運転/停止ボタン

運転切換ボタン

運転モードを切り換えるときに押します。

温度設定ボタン

▲ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▼ 設定温度を１℃ずつ下げます。
（☞１４ページ）

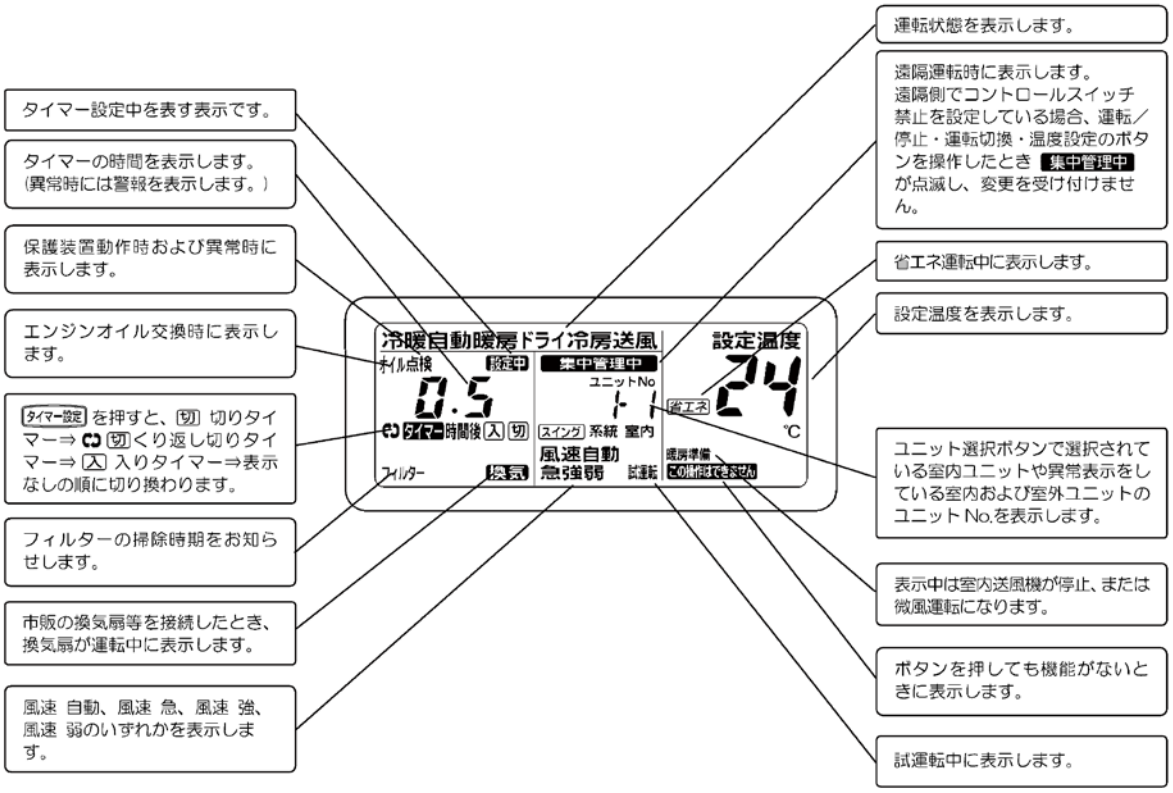
オートフラップボタン

ユニット選択　１台のコントロールスイッチで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時にユニットを選択します。
スイング/風向　フラップをスイングさせたり、停止させたい位置で固定できます。

操作部《上の図はふたを開けた状態を示しています。》

各部のなまえとはたらき

- 漏電しゃ断器を最初に入れたとき、コントロールスイッチ表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後コントロールスイッチの操作を行ってください。
- このページ以降ではコントロールスイッチのボタン名からすべて「ボタン」を省略して表示します。



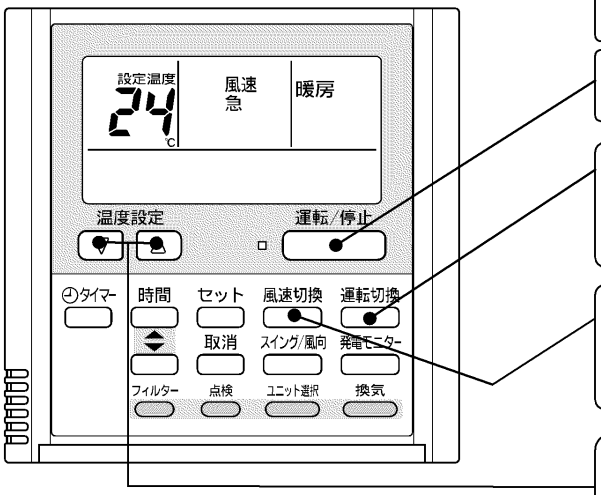
表示部 《液晶の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

■運転のしかた

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風

＜CZ-10RT560E による使用例＞



電源　漏電しゃ断器を入れてください。
・運転開始５時間以上前

①　運転/停止 を押します。

②　運転切換 を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。
（ドライ運転 ☞ 27ページ）

③　風速切換 を押して、お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に変わります。
（送風時は自動になりません。）

④　**温度設定** ▽ △ を押して、お好みの温度にします。

	上限（℃）	下限（℃）
冷暖自動	27	17
暖房	30	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

停止　運転/停止 を押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転するときがあります。

● 機種によって、運転開始から設定風速に到達するまでに、時間がかかることがありますが、故障ではありません。
● 暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は、風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
● 温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定温度は室温の目やすとしてください。

運転準備について

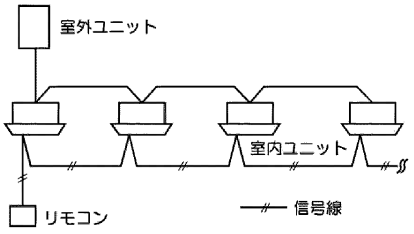
室内ユニットの優先順位を設定しますと、室内ユニットの合計能力が室外ユニットの能力範囲を超えた場合に、優先順位の低い室内ユニットを「運転待ち」（サーモ OFF）の状態とし、優先順位の高い室内ユニットを優先させます。このとき運転待ちとなっている室内ユニットは、運転準備を表示します。室内ユニットの合計能力が室外ユニットの能力範囲に入れば運転を再開します。

● **通常の方法で停止できないとき**
漏電しゃ断器を切るとともに燃料ガス元コックを閉じてからお買い上げの販売店へお知らせください。
● **冷媒ガスが吹き出しているか、漏れているとき**
エアコンの運転を停止し、換気をよくしてからお買い上げの販売店へお知らせください。
冷媒ガスの比重は空気より重く、不燃性、非毒性、無臭の冷媒ですが上記の処理を行ってください。

複数台の同時運転について（グループ制御）

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。
● １台のリモコンで室内ユニット最多８台まで操作できます。
● 風向、フィルター昇降を除く設定は、すべての室内ユニットが同じ設定となります。
● 温度センサーは室内ユニット側を使用します。

※自立運転時に運転させる室内ユニットと自立運転時に運転させない室内ユニットは同じグループにできません。



■タイマー運転のしかた・昇降グリルの操作方法

運転のしかた

タイマー運転のしかた

●運転中にタイマー設定を行ってください。

こんな時にお使いください		表示部
設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	↻ 切
設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

タイマー時間について

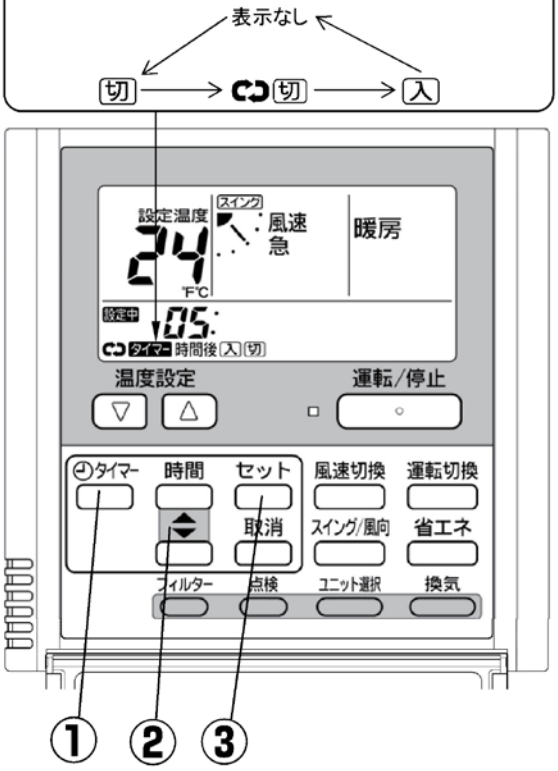
時間

設定時間を 0.5 時間（30 分）ずつふやします。
上限は 72.0 時間です。

設定時間を 0.5 時間(30 分)ずつへらします。
下限は 0.5 時間です。

タイマーの表示について

タイマー を押すごとに次のように切り換わります。



＜使用例＞

切タイマー設定

（例）３０分後に運転を停止させたいとき

①	タイマー を１回押すとリモコンに 切 が表示されます。 設定中 と時間が点滅します。
②	時間 を押して、タイマーの時間を 0.5 に合わせます。
③	セット を押します。 設定中 が消えてタイマー時間が点灯します。

くり返し切タイマー設定

（例）毎回２時間３０分後に運転を停止させたいとき

①	タイマー を２回押すとリモコンに ↻ と 切 が表示されます。 設定中 と時間が点滅します。
②	時間 を押して、タイマー時間を 2.5 に合わせます。
③	セット を押します。 設定中 が消えてタイマー時間が点灯します。 切タイマーが働き2.5時間後に運転が停止します。再び、運転/停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー設定

（例）８時間後に運転をさせたいとき

①	タイマー を３回押すとリモコンに 入 が表示されます。 設定中 と時間が点滅します。
②	時間 を押して、時間を 8.0 に合わせます。
③	セット を押します。 設定中 と運転表示が消えてタイマー時間が点灯します。設定直後、エアコンは停止します。

タイマー運転を中止させるとき

取消 を押します。タイマーの時間とタイマー表示が消えます。

運転のしかた

昇降グリルの操作方法

(別売の昇降グリルを接続してある場合)

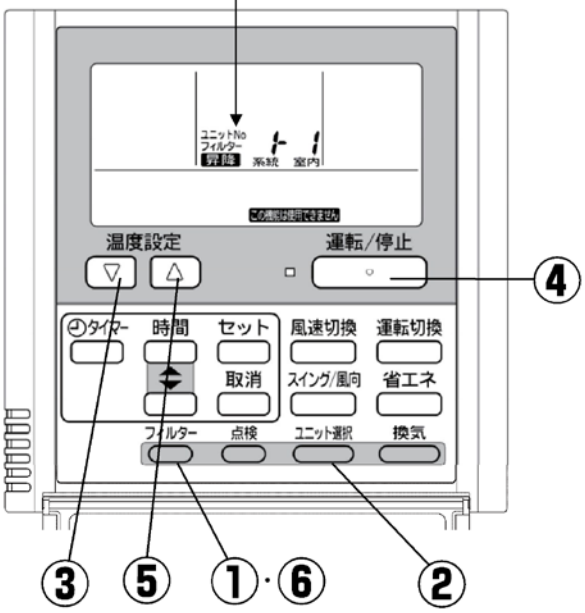
- 昇降グリルの操作(下降･停止･上昇)を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降･停止･上昇するまで数秒、時間が掛かります。
- 昇降グリルについての詳しい説明は、昇降グリルに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- フィルター昇降操作を行うとフィルターサインが消えます。

① フィルター を４秒以上押すとリモコンに“フィルター 昇降”が点滅します。
(室内ユニットの運転は停止します。)
※この機能は使用できませんが表示されたとき、昇降グリルは接続されていません。

② １台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合(グループ制御)、リモコンにユニットNoが表示されますので、ユニット選択 を押して、操作する室内ユニットを選択してください。
(詳細は下図を参照してください。)

ユニット選択について

ユニット選択 を押すごとに次のように切り換わります。
※ユニットNo.は　室外ユニット－室内ユニット



下降させるとき

③ 温度設定 ▽ を押してください。
昇降グリルは、ゆっくりと降りてきます。
障害物に当ったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

④ 運転/停止 を押してください。
昇降グリルの下降、上昇が停止します。
停止を押さないで下げていくと、停止を押さなくても自動的に停止します。
※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。
※昇降グリルの高さは変更することができます。変更したい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

上昇させるとき

⑤ 温度設定 △ を押してください。
昇降グリルが上昇します。昇降グリルがきちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
※ 運転/停止 で止めず、自動的にモーターが停止したことを確認してください。

⑥ フィルター を４秒以上押すとリモコンの表示が消えます。
※昇降グリルが動作中に フィルター を４秒以上長押しすると、昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、昇降グリルを動かしたいときは、①に戻ってください。

■風向き調整のしかた（ビル用マルチ）

風向調節

1方向･2方向･4方向天井カセット形、高天井用1方向カセット形、天井吊形、壁掛形

- リモコンで操作するフラップは絶対に手で動かさないでください。
- 停止時にはフラップが自動的に全閉（2方向天井カセット形のみ下向き）状態になります。
- 暖房準備時にはフラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンには暖房準備中でもスイング表示されます。

風向きを設定するときは

運転中 スイング/風向 を押すごとに風向きが変わります。

スイングさせるときは

スイング/風向 を押し、フラップの向きを1番下に設定し、もう1度 スイング/風向 を押すことにより スイング が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

スイングを止めるときは

フラップのスイング中にもう1度 スイング/風向 を押すことにより、フラップをお好みの位置で止めることができます。

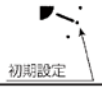
その後 スイング/風向 を押すと再び風向を1番上から設定できます。

暖房時

フラップは下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。

冷房･ドライ時

フラップの向きは、3つのポジションから選択できます。



送風時

すべての運転時

スイングを止めたときの表示

送風･暖房時

冷房･ドライ時

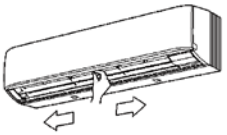
冷房・ドライ時にはフラップは下向きでは止まりません。スイング中にフラップが下向きの状態で止めても上から3番目の位置まで動いてから止まります。

※壁掛形をご使用の場合

左右の風向調節

- 左右風向調節板は手で操作してください。
  吹出し口にある左右風向調節板を動かして調節してください。

※冷房・ドライ運転時は、露付き防止のため、フラップは水平、左右風向調節板は垂直（中央）でのご使用をおすすめします。湿度が高い環境（湿度80%以上）で長時間運転すると、フラップや吹出口周辺に露がつき、滴下したり、露飛びが発生する場合があります。



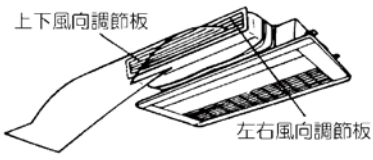
※高天井用1方向カセット形の吹出口グリル（別売品）をご使用の場合

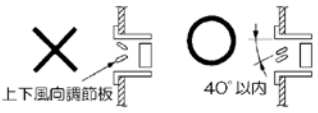
前吹き出し

- 上下風向調節板、左右風向調節板は手で操作してください。
- 冷房時、風の流れを妨げるような急な曲げかたをしますと、吹出口からの水滴落下の原因になります。

上下の風向調節

- 冷房時 上下風向調節板を水平方向にして風向調節してください。
  下方向に調節するときは、下図のように上下風向調節板を一様に曲げてください。



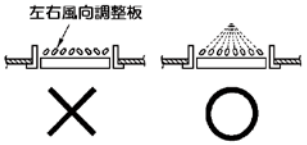


上下風向調節板の傾き角度は 40° 以内にしてください。40° を超えると水滴落下の原因となります。

- 暖房時 上下風向調節板を下方向に風向調節してください。

左右の風向調節

左右風向調節板は、下図のように左右風向調節板を徐々に曲げて風向調節を行ってください。



風向調節

１台のリモコンで室内ユニットを複数台、運転している場合

■風向調節

- 天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形、天吊形厨房用エアコン、ペリメーター用床置形はリモコン操作での風向設定はできません。
  （☞詳しくは各室内ユニット風向調節のページをご覧ください。）
- １台のリモコンに室内ユニットが複数台接続されている場合、室内ユニット選択（下記の操作）を行うことにより、それぞれの室内ユニットの風向設定ができます。

オートフラップボタン［ユニット選択］について

- 個別に風向設定するときは［ユニット選択］を押し、グループ制御されている室内ユニットNoを表示します。表示されている室内ユニットに対して風向を設定してください。
- ［ユニット選択］を押すごとに次のような順序で表示が切り換わります。
- 表示なしの時は、室内ユニットを一斉に操作することができます。
- ユニットNoは、室外ユニットNo－室内ユニットNoを表示します。グループ制御されているユニット台数によって異なります。

室外ユニット1台、室内ユニット8台

表示なし → ユニットNo 1－1 → ユニットNo 1－2 → ユニットNo 1－3 ……… ユニットNo 1－8

室外ユニット2台、室内ユニット各4台

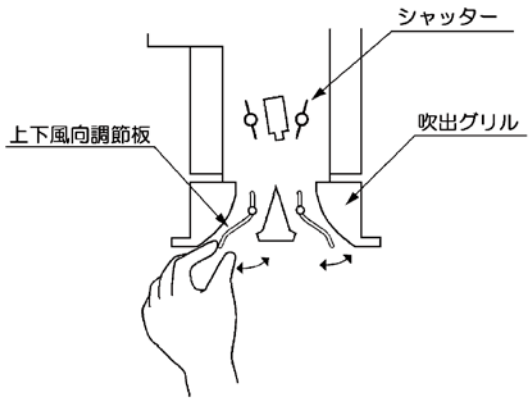
表示なし → ユニットNo 1－1 → ユニットNo 1－2 → ユニットNo 1－3 → ユニットNo 1－4 → ユニットNo 2－1 ……… ユニットNo 2－4

天井ビルトインカセット形，ビルトインオールダクト形

（別売品の吹出口グリルを設置してあるとき）

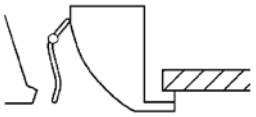
- 上下風向調節板は手で操作してください。

吹出口にある上下風向調節板を動かして調節してください。



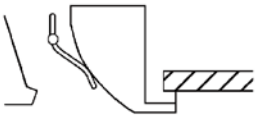
暖　房　時

上下風向調節板は下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。



冷　房　時

上下風向調節板は上向きにしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。



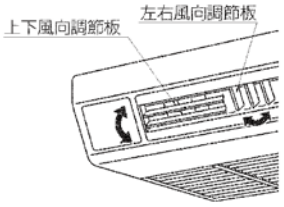
風向調節

天吊形厨房用エアコン

- 上下風向調節板、左右風向調節板は手で操作してください。
- 冷房運転時、上下風向調節板は上向きにしてください。下向きにしますと、吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。
- 冷温風が火気や調理台に直接当たり、調理に影響するようなときには風向を変えてください。

上下方向の調節
吹出口の上下風向調節板を手で動かし、調整してください。
注）冷房時、上下風向調節板の固定位置によって露が付くことがあります。その時は、水平にしてください。

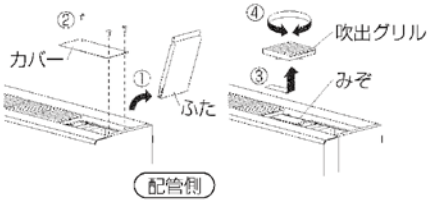
左右方向の調節
左右方向の風向調節は、左右風向調節板を手で動かしてください。
左右風向調節板は、上下風向調節板の奥にあります。（右図参照）



ペリメーター用床置形

- 風向調整は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください
- 冷房運転時、吹出グリルを後側に向けると壁面等に露が付着することがあります。

① ふたを取り外してください。
② ３本のねじを外して、カバーを外します。
③ 吹出グリルを横方向にずらし、端にあるみぞから引き抜きます。
④ お好みの方向に入れ直してください。
（配管側から吹出グリルを１個外した後は、逆の方向から取り外しができます。）



床置形

左右の風向調節

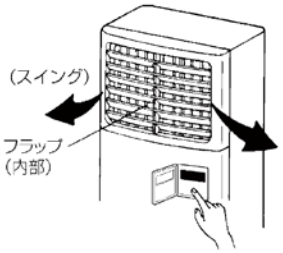
- コントロールスイッチで操作するフラップは絶対に手で動かさないでください。

スイングさせるときは

運転中 スイング/風向 を押すと風向きが自動的に左右に切り換わります。

風向きを設定するときは

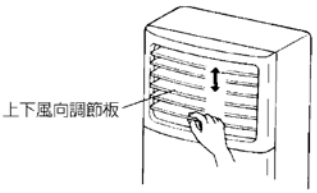
スイング中にフラップを止めたい位置で スイング/風向 を押すと、フラップが止まります。



上下の風向調節

- 上下風向調節板は手で操作してください。

吹出口にある上下風向調節板を動かして調節してください。
冷房・ドライ運転時、梅雨どきなどの湿度の高いときに、上下風向調節板を大きく上下に曲げて使用すると吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。
上下風向調節板を水平にしてください。



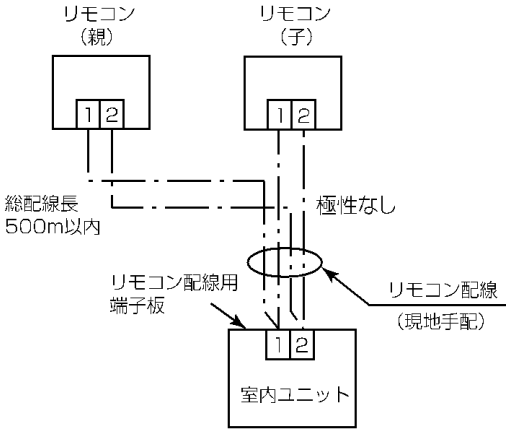
天井埋込形・ペリメーター用床置埋込形

- 風向調節は、できません。

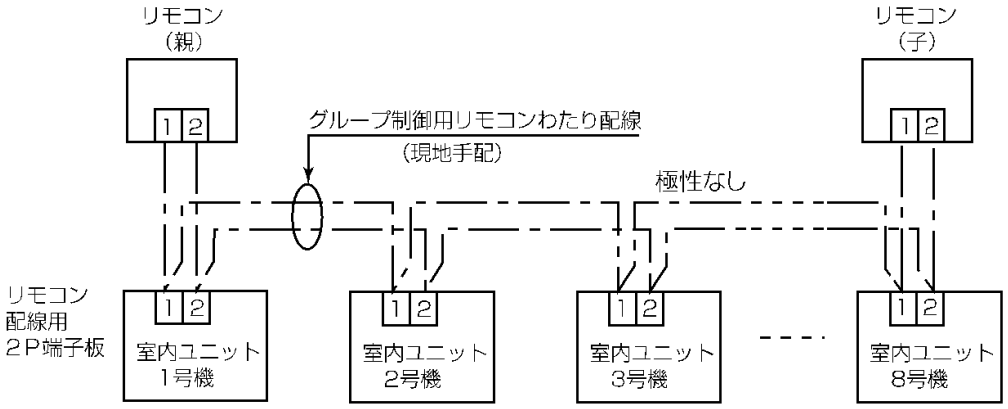
■リモコンセンサー
室温センサーは、室内ユニット側（ボディーセンサー）とリモコン側（リモコンセンサー）どちらにも、リモコンからの設定で切り換えが可能です。
設定の方法は「設定」の項目を参照してください。

■グループ制御
この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
①複数個設置した中の１個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）
②その他のリモコンは、リモコン設定モードで子リモコンにしてください。
＜基本配線図＞
注：配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

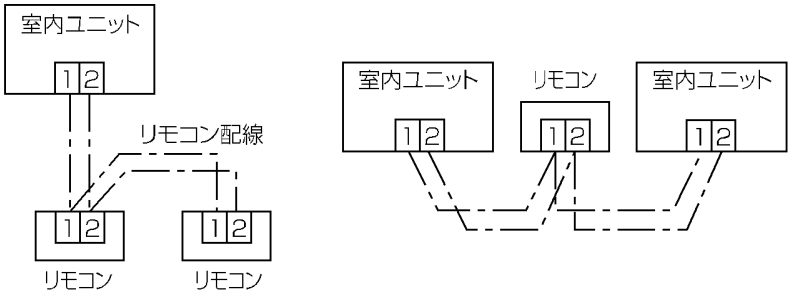
1)室内ユニット１台を、リモコン２ヶ所設置にて操作する場合。



2)複数台グループ制御を、リモコン２ヶ所にて操作する場合。
※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。



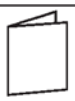
※以下のようなリモコンでわたる配線は禁止です。



■据付

①リモコンスイッチ付属品

番号	付　属　部　品	個数
①	小ネジ M4×25	2
②	木ネジ M3．8×16	2

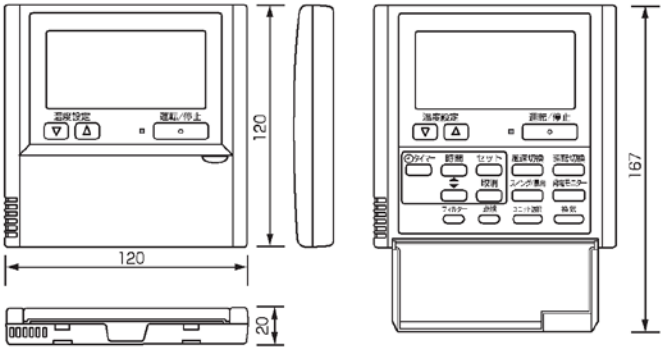
番号	付　属　部　品	個数
③	据付(電気)工事説明書 	1

②リモコンスイッチの設置方法のお願い

設置場所

- リモコンの取付け高さは、床面より1～1.5mの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- このリモコンは防湿･防滴仕様ではありませんので､冷凍･冷蔵庫内には設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面等に垂直に設置してください。
- リモコンを並列設置するときは5㎜以上離してください。

外形寸法図



単位：㎜

③室温センサーの切り換え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンに内蔵されています。
室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切り替えるには以下の手順で設定します。

①[点検]＋[取消]＋[セット]ボタンを４秒以上押します。
注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注）[ユニット選択]ボタンを押さないでください。
②温度設定[▼]／[▲]ボタンで、項目コード 32 を指定します。
③時間[▼]／[▲]ボタンで、設定データを 0000（室内ユニット側）から 0001（リモコン側）に変更します。
④[セット]ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤[点検]ボタンを押します。
通常の停止状態になります。この時、液晶表示部には“[リモコンセンサー]”と表示されます。

注１）親子リモコン制御の時は、親リモコン／子リモコンのどちらからでも設定できますが、リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注２）グループ制御時はグループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注３）リモートセンサーとリモコンを併用する場合はリモコンのリモコンセンサーは使用しないでください。

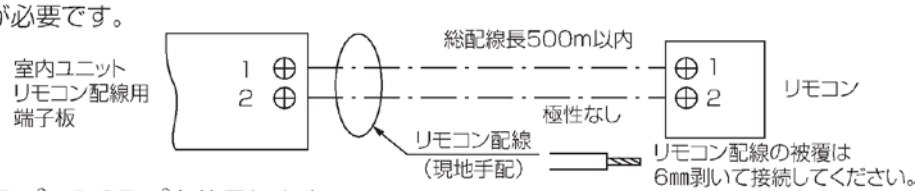
④換気扇との接続について

室内コントロール基板上の換気扇出力（FAN DRIVE：2P（白），DC12V）（注）で市販の換気扇等を運転する場合は、[換気]ボタンによって操作可能にする、設定変更を行ってください。
①[点検]＋[取消]＋[セット]ボタンを4秒以上押します。
注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注）[ユニット選択]ボタンを押さないでください。
②温度設定[▼]／[▲]ボタンで、項目コード 31 を指定します。
③時間[▼]／[▲]ボタンで、設定データを 0000 から 0001 に変更します。
④[セット]ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤[点検]ボタンを押します。
通常の停止状態になります。[換気]ボタンを押して、液晶表示部に“[換気]”と表示されることを確認してください。
（注）室内コントロール基板に接続する専用配線（別売品）が必要になります。

⑤リモコンスイッチの取付方法

〈注１〉リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉リモコンは、ノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注３〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

●接続図

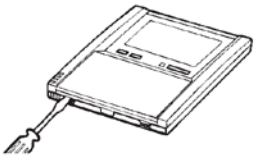


- 配線は0.5㎟～1.25㎟を使用します。
- 誤配線すると故障の原因になります。
- リモコン配線には、柔軟性のあるケーブルをご使用ください。
- 単線は使用しないでください。

推奨　電線（エコ電線）
VCTF　(EM-ECTF)
VCT　(ECO120)
MVV-S　(EM-MEE-S)

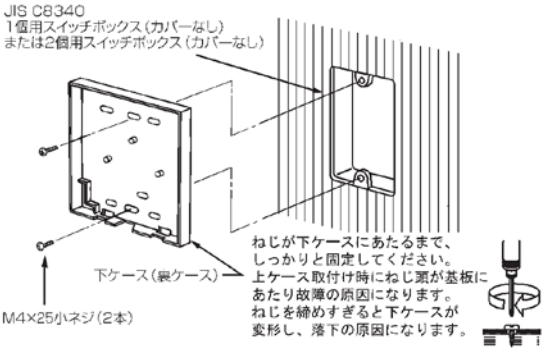
※エコ電線について：紫外線（日光、照明など）の影響を受ける場合は遮光または耐紫外線用としてください

①リモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、下ケースを外してください。

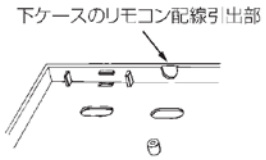


②下ケースの取り付けかた

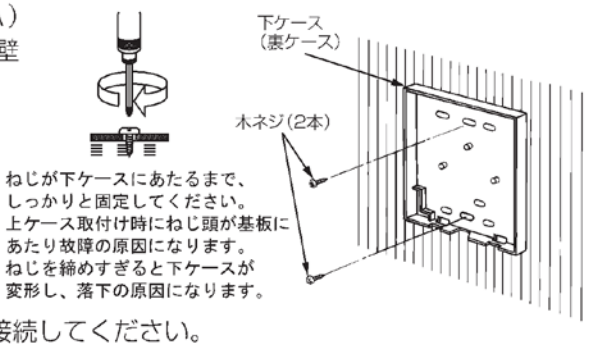
●**リモコンを埋込型としてご使用の場合は、**あらかじめ現地で壁内に埋込まれた図に示すJISボックス（現地手配）に取り付けてください。
下ケースを付属のM4小ネジ（2本）を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。



●**露出型としてご使用の場合は、**リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。
リモコン配線は、下ケースリモコン配線引出部（中央上部の肉薄部）をニッパ等で切り欠き、この部分より出してください。（図A）
下ケースを木ネジ（2本）を使用して壁面に固定してください。

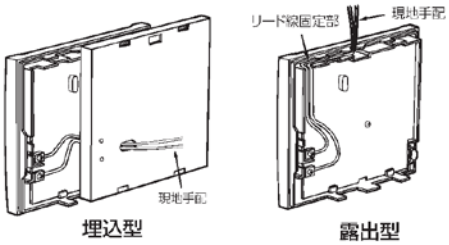


（図A）



③リモコン端子台に、リモコン配線を接続してください。
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（誤配線するとこわれます。）

- 図のような経路で配線し、余分なリモコン配線はリモコンケース内に収納しないでください。
- 基板から出ている金属の突起物にリモコン配線が触れないようにご注意ください。



埋込型　露出型

④リモコン本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み取り付けてください。

⑥リモコンを複数個設置される場合のお願い

この親子リモコン制御は、1台もしくは複数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。(リモコンなどのリモコン配線で接続される制御機器は2個まで設置可能です。)

●設定の方法

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
①複数個設置した中の1個は親リモコンとしてください。(工場出荷状態)
②もう一個のリモコンは子リモコンにしてください。

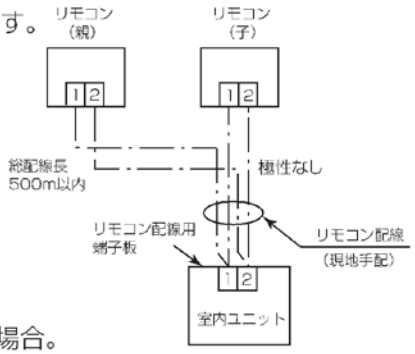
リモコン親子設定のしかた

① [セット] + [運転切換] ボタンを4秒以上押します。
②温度設定[▼]/[▲]ボタンで、項目コード 01 を指定します。
③時間[▼]/[▲]ボタンで、設定データを 0001 (親)から 0000 (子)に変更します。
④ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
⑤ [点検] ボタンを押します。
設定した情報は、リモコンの電源が切れても保持されます。

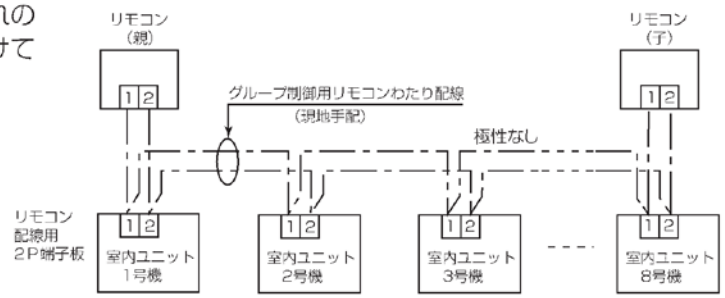
●基本配線図

注：配線は誤配線のないように接続してください。
(誤配線するとこわれます。)

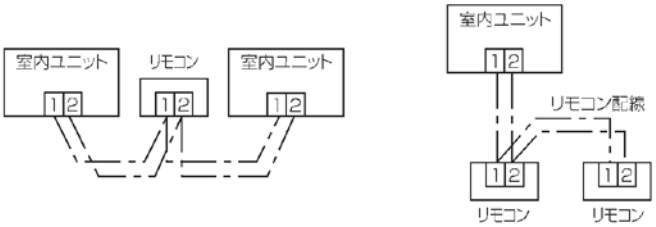
●室内ユニット1台を、リモコン2ヶ所設置にて操作する場合。



●複数台グループ制御を、リモコン2ヶ所にて操作する場合。
※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。



※以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



⑦リモコン試運転設定

①リモコンの [点検] ボタンを4秒以上押して液晶表示部に“試運転”と表示されてから、[運転/停止]ボタンを押してください。
- 試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。
- 「試運転」の位置では温度調節はできません。

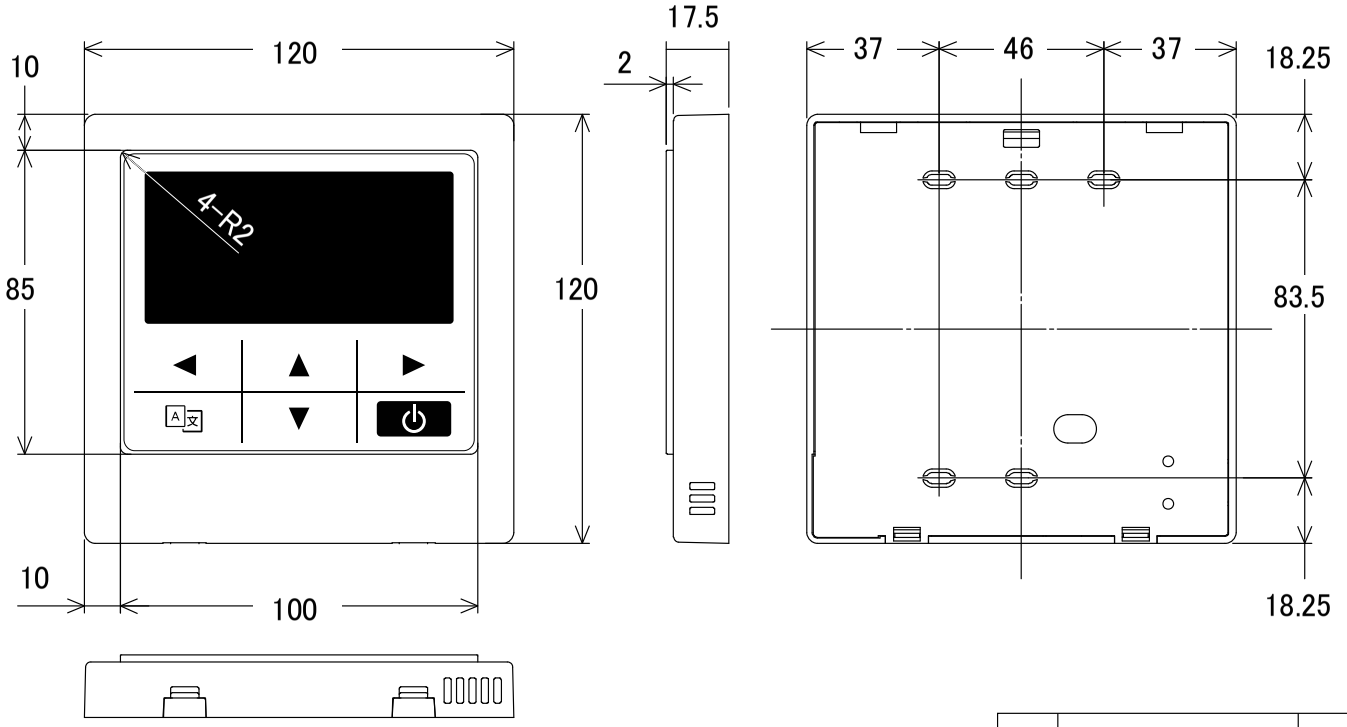
機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。
②**「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。**
(注) 電源投入後、および運転停止後約3分間は室外ユニットは運転しません。
③試運転終了後は再度 [点検] ボタンを押して液晶表示部の“試運転”消灯を確認してください。
(このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー解除機能付となっています。)

仕様

品番	CZ-10RTF4
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 % ～ 80 % (屋内設置専用)
電源	DC16 V(室内ユニットより供給)
接続可能台数	室内ユニット:最多 8 台

外形寸法

(mm)



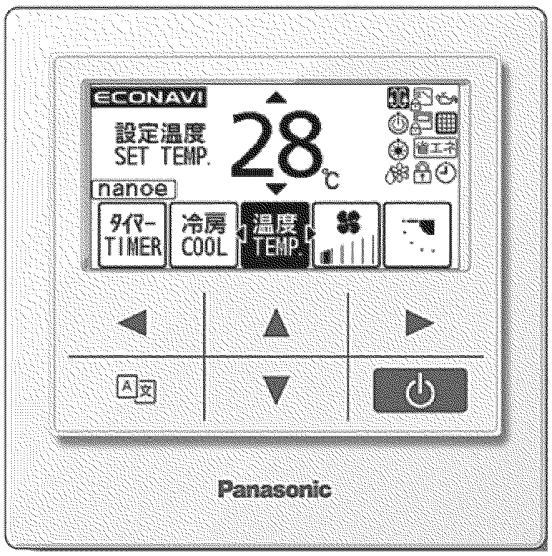
品番	CZ-10RTF4	外形寸法図 (多言語対応ワイヤードリモコン)

Panasonic

取扱説明書 (日本語)

多言語対応ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RTF4**



ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

☒ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

☒ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容 (禁止事項) です。	実行しなければならない内容 (強制事項) です。

⚠ 警告

必ず守る 据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
(感電・火災の原因)

必ず守る 当社指定のエアコンと接続して使う
(水漏れや感電・火災の原因)

禁止 体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
(体調の悪化・健康障害の原因)
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

⚠ 警告

必ず守る

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
(感電や火災の原因)
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- 漏電しゃ断器がたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

禁止

リモコンを分解しない
(感電や故障の原因)

⚠ 注意

禁止

ぬれた手で操作しない
(感電や故障の原因)

禁止

水洗いしない
(感電や火災の原因)

使用上のお願い

☒次のような場所に設置しない
- 湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる / 熱源の近く / 結露する(故障の原因)
- ノイズが発生する(誤動作の原因)

☒ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(変色や故障の原因)
- 汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よくしぼってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。

仕様

品番	CZ-10RTF4
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % (屋内設置専用)
電源	DC16 V (室内ユニットより供給)

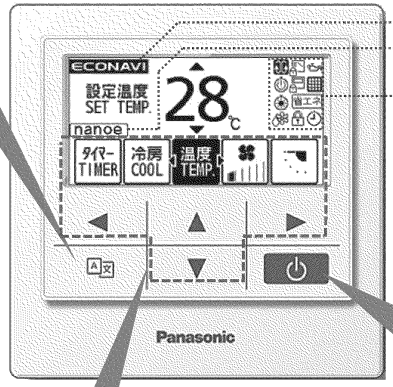
押すたびに画面表示の言語が切り替わります
(日本(Eng.)/ENGLISH/中文)

上記以外の言語にも切り替えることができます。

(フランス語/スペイン語/ドイツ語/イタリア語/ポーランド語/ロシア語)

① [A文]ボタンを押したままにする（約4秒）
② ▲▼を押して、言語を選ぶ
③ ◀▶を押して、切り替えを有効にする

言語切替	
日本語	◀☑▶
日本(Eng.)	☑
ENGLISH	☑
FRANÇAIS	☐
[A文]戻る	◀▶☑/☐



エコナビが設定中です※
ナノイーが運転中です※

表示されるアイコン※

- サーキュレート運転中です
- 運転準備中です
- 暖房準備中です
- 除霜中です 室外ユニットが霜取り運転中です
- 運転の種類の切り換えが制限されています
- 集中制御機器で制限されています
- エンジンオイルの交換が必要です
- 室内ユニットのフィルター清掃が必要です
- 省エネ 省エネ運転中です
- 操作ロック設定中です
- 切/入タイマー設定中です

運転を始める/止める

※：据え付け時設定または機種によって異なります。切り換え方法は、据付（電気）工事説明書を参照してください。

◀▶を押して操作項目※を選び、▼▲を押して設定します

タイマー TIMER 入タイマー 切タイマー を設定する

3時間
2時間
1時間
「切タイマー」
設定した時間が経過すると、自動的に運転が止まります。
未設定
8時間
7時間
6時間
「入タイマー」
設定した時間が経過すると、自動的に運転が始まります。

☒入タイマーを設定すると、運転が停止します。

冷房 COOL 運転の種類 を切り換える

冷暖自動(AUTO)
暖房(HEAT)
ドライ(DRY)
冷房(COOL)
送風(FAN)

☒機種によって選択可能な運転の種類が異なる場合があります。

温度 TEMP. 温度 を調節する

設定できる範囲

冷房・ドライ: 18～30 ℃
暖房: 16～30 ℃
冷暖自動: 17～27 ℃

☒「送風」時には設定できません。
☒ 機種によって設定できる温度範囲が異なります。

風速 FAN 風の強さ を変える

自動
(急)
(弱)
(強)

☒「自動」は、室温に合わせて、自動調節されます。
☒ 運転の種類が「送風」時には自動は設定できません。
☒ 機種によって選択可能な風速が異なる場合があります。

風向 FLAP 風の向き を変える

スイング
停止(STOP) スイング停止

☒スイング中に、お好みの向きになったところで▼を押すと、そこで止められます。
☒機種によって選択可能な風向が異なる場合があります。

困ったときは

⏻ を押しても運転が始まらない

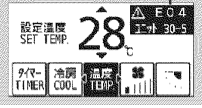
☒停電していませんか？
→停電から復帰後、再度 ⏻ を押す。
☒暖房開始時は、温かい風が出るまで少し時間がかかります。（しばらくお待ちください）

画面が暗い、暗くなった

☒一定時間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消えます。(節電のため)
→いずれかのボタンを押す。
(バックライトが点灯します)

警報表示について

表示例



☒警報表示が[E04]、[E 06]、[P10]、[P20]、[H06]のいずれかの場合は、一度運転を停止し、約１分後 に再運転してください。
→ 警報表示が再表示されなければ、そのまま使う。
上記を行っても警報表示が再表示されるときや、上記以外の警報表示（[E/H/L/P] いずれかの文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番・警報表示・室内ユニットNo. をご連絡ください。

Panasonic

据付(電気)工事説明書

多言語対応ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RTF4**

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ・電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - ・据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

⚠注意

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - ・結露するところ
  - ・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - ・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - ・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - ・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - ・有機溶剤の飛沫するところ
  - ・電磁波が出る機械のあるところ
  - ・電圧変動の多いところ

  (感電、火災などの原因)
- **水洗いしない**(感電の原因)

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
  ・直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  ・過度な衝撃や振動のある場所(本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)　・熱源の近くなど
●床面に対して垂直に据え付ける。
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避けてください。(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離してください。(映像の乱れ、雑音の原因)
●漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。
●配線は、地中に埋設しない。

仕様

品番	CZ-10RTF4
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続可能台数	室内ユニット：最多 8 台

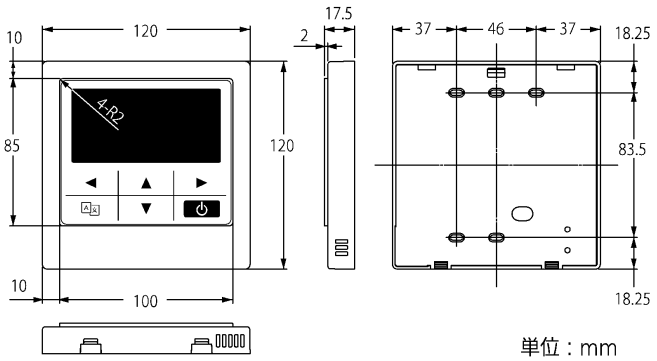
付属品

＜＞：個数

小ネジ ＜2＞ M4 × 25（JISボックス用）	木ネジ ＜2＞ M 3.8 × 16（壁面用）
取扱説明書、据付（電気）工事説明書 各＜1＞	

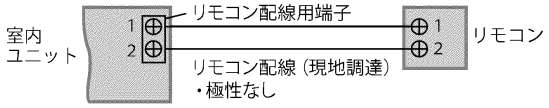
※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

外形寸法図



単位：mm

1配線のしかた



● ケーブルの種類
- ・柔軟性のある0.5 ～ 1.25 mm²のケーブル
- ・単線は使わない。
- ・シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
- ・推奨品：VCTF（EM-ECTF）/VCT（ECO120）

※（ ）内：エコ電線

※ エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の 影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

● 総配線長：500 m以内
（グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は400 m以内）
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

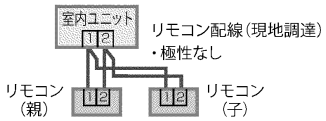
● 接続可能台数
リモコンは、最多 2 個。
室内ユニットは、最多 8 台。

お願い
- ● 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- ● 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

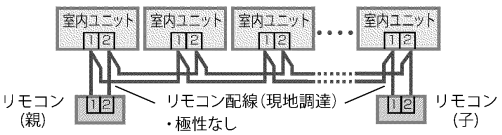
リモコンを親子で設置するとき

設置後、「3 設定する」（裏面）の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。本機には、リモコンセンサーがありません。リモコンセンサーを搭載しているリモコン（CZ-10RT3、CZ-10RT4B など）と併用する場合は、本機を「子リモコン」に設定してください。

■ 室内ユニットが1台のとき

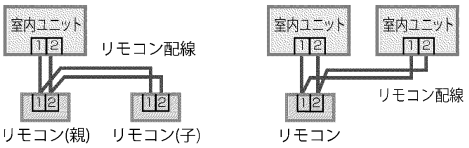


■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ
- ● どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

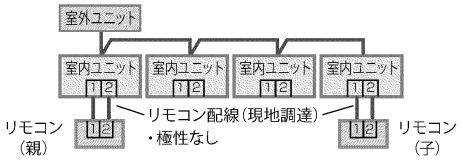
※ 以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



R32冷媒機種の配線のしかた（オフィス・店舗用エアコン専用）

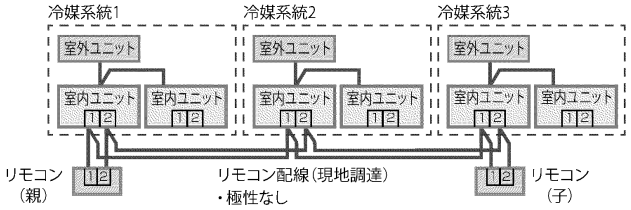
R32冷媒機種は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。

■ 同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ
- ● どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

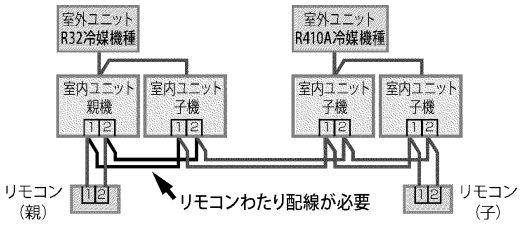
■ 複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お願い
- ● リモコンはリモコンわたり配線上の室内ユニットに接続する。

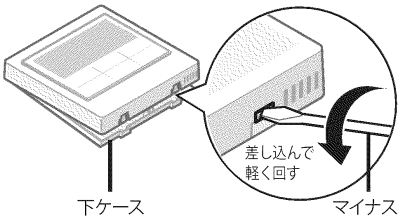
R32冷媒機種とR410A冷媒機種とが混在する場合

R32冷媒機種とR410A冷媒機種とが混在する場合は、すべての室内ユニットにわたり配線が必要です。



2 据え付ける

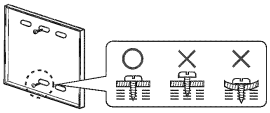
1 下ケースをはずす



お願い

■ 下ケースをはずすとき
- マイナスドライバーを強く差し込んで回さないでください。
（ケース損傷の原因）

■ 下ケースを取り付けるとき（手順 2 ❶）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
（下ケースの変形による、落下の原因）



■ 上ケースを取り付けるとき（手順 2 ❸）
- 余分な配線をリモコンケースに収納しないでください。
（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

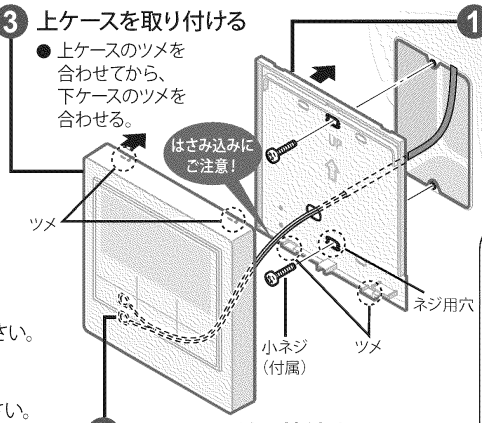
2 壁に取り付ける

準備：ネジ用穴（2か所）をドライバー等で開けておく。

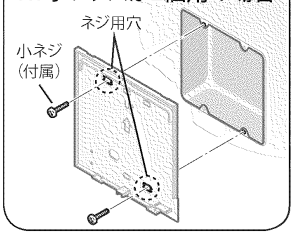
❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースをJISボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。

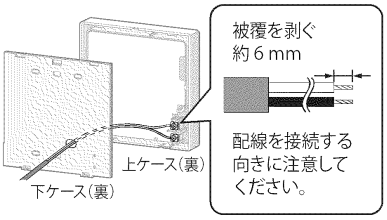
JISボックス（現地調達）
・JIS C8340
1個用/2個用スイッチボックス
（カバーなし）



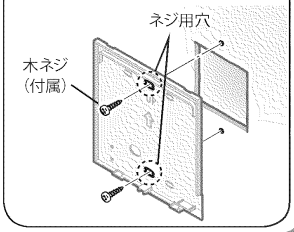
JISボックスが2個用の場合



❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると、基板が割れることがあります。
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク：0.5～0.6N・m（推奨値）



壁に取り付ける場合



3 設定する

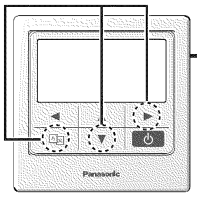
準備：ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。リモコンが起動し、「設定中」の表示が消えるまでお待ちください。
（10 分以上「設定中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください）

リモコン親子設定 / 自動アドレス設定 / 集中制御アドレス設定

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す

2 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

3 設定する



お願い
- 自動アドレス設定は、全ユニットの電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
- 自動アドレス設定を行ったあとは、90秒以上たってから運転してください。
- 集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
接続する集中制御機器に付属の説明書も合わせてご覧ください。

お知らせ
- メンテナンス機能は［点検］ボタンで設定を終了します。
- リモコン設定モード・自動アドレス設定・簡単設定は、終了時に再起動を 行います。

お知らせ
- 操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

リモコン設定モード

項目コード・設定データを選択
▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ → 項目コード選択位置で［点検］ボタンを押し
⏻ ボタンで決定 ◀▶ ボタンで「はい」を選択して ⏻ ボタンで終了

項目コード			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき設定します。	0000：子 0001：親（出荷設定）

自動アドレス設定

項目コード「A1」・系統No.を選択
▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ → 項目コード選択位置で［点検］ボタンを押し
⏻ ボタンで決定 ◀▶ ボタンで「はい」を選択して ⏻ ボタンで終了

項目コード	
A1	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。

系統アドレス
ユニットNo.は初期位置から変更しない。

簡単設定

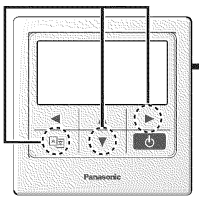
項目コード「03」・設定データを選択
▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ
⏻ ボタンで決定
ユニットNo.選択位置で［点検］ボタンを押し
◀▶ ボタンで「はい」を選択して
⏻ ボタンで終了

項目コード			設定データ
03	集中制御アドレス設定	システムコントローラーなどの集中制御機器を接続する場合設定します。	0001 ～ 0064 0099（未定）

3 設定する（つづき）

言語切替 / 操作項目 / 操作音設定 / コントラスト調整 / バックライト設定

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 「初期設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

3 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

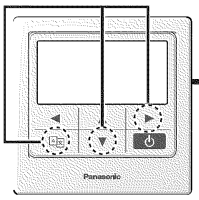
4 設定を変える

- 初期設定
  - 言語切替
    - 言語選択
      - ● 使用する言語を変更します。
        ▲▼ ボタンで言語を選択
        ⏻ ボタンで決定
    - 言語切替有効無効
      - ● トップ画面で切替できる言語を変更します。
        ▲▼ボタンで言語を選択
        ◀▶ ボタンで有効 ☑ /無効 ☐を切替
        ※ 使用中の言語は無効にすることはできません。
  - 操作項目
    - ● トップ画面で操作できる項目を変更します。
      ▲▼ボタンで項目を選択
      ◀▶ ボタンで有効 ☑ /無効 ☐を切替
  - 操作音設定
    - ▲▼ ボタンでオン・オフを選択
      ⏻ ボタンで決定
  - コントラスト調整
    - ◀ ボタンで薄い、▶ボタンで濃いを選択
      ⏻ ボタンで決定
  - バックライト設定
    - ◀ ボタンで暗い、▶ボタンで明るいを選択
      ⏻ ボタンで決定

お知らせ
- [詳細] ボタンで設定を終了します。

詳細設定

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 「詳細設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

3 設定する

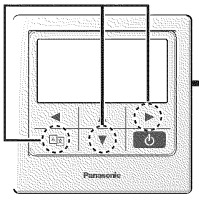
① ▲▼ ボタンでユニットNo.を選択します。
② ▶ ボタンで項目コードへ切換え、▲▼ ボタンで項目コードを選択します。
③ ▶ ボタンで設定データへ切換え、▲▼ ボタンで設定データを選択します。
④ 設定データの位置で ⏻ ボタンで決定してください。
⑤ 別の室内ユニットを設定する場合は①～④の操作を繰り返してください。
⑥ ユニットNo. の位置で [詳細] ボタンを押し、◀▶ ボタンで再起動：“はい”を選択し、⏻ ボタンを押して設定を終了します。

※ 設定する項目コード、設定データの値は室内ユニットや別売部品に付属の「据付（電気）工事説明書」等でご確認ください。

お知らせ
- [詳細] ボタンで設定を終了します。
- 詳細設定は、終了時に再起動を行います。

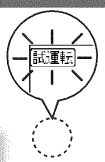
4 試運転する

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 「試運転設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

3 「オン」を選ぶ（試運転モードになる）
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



[詳細] ボタンを押し、メンテナンス機能を終了（「試運転」表示点灯）

4 試運転する
⏻ ボタンを押す

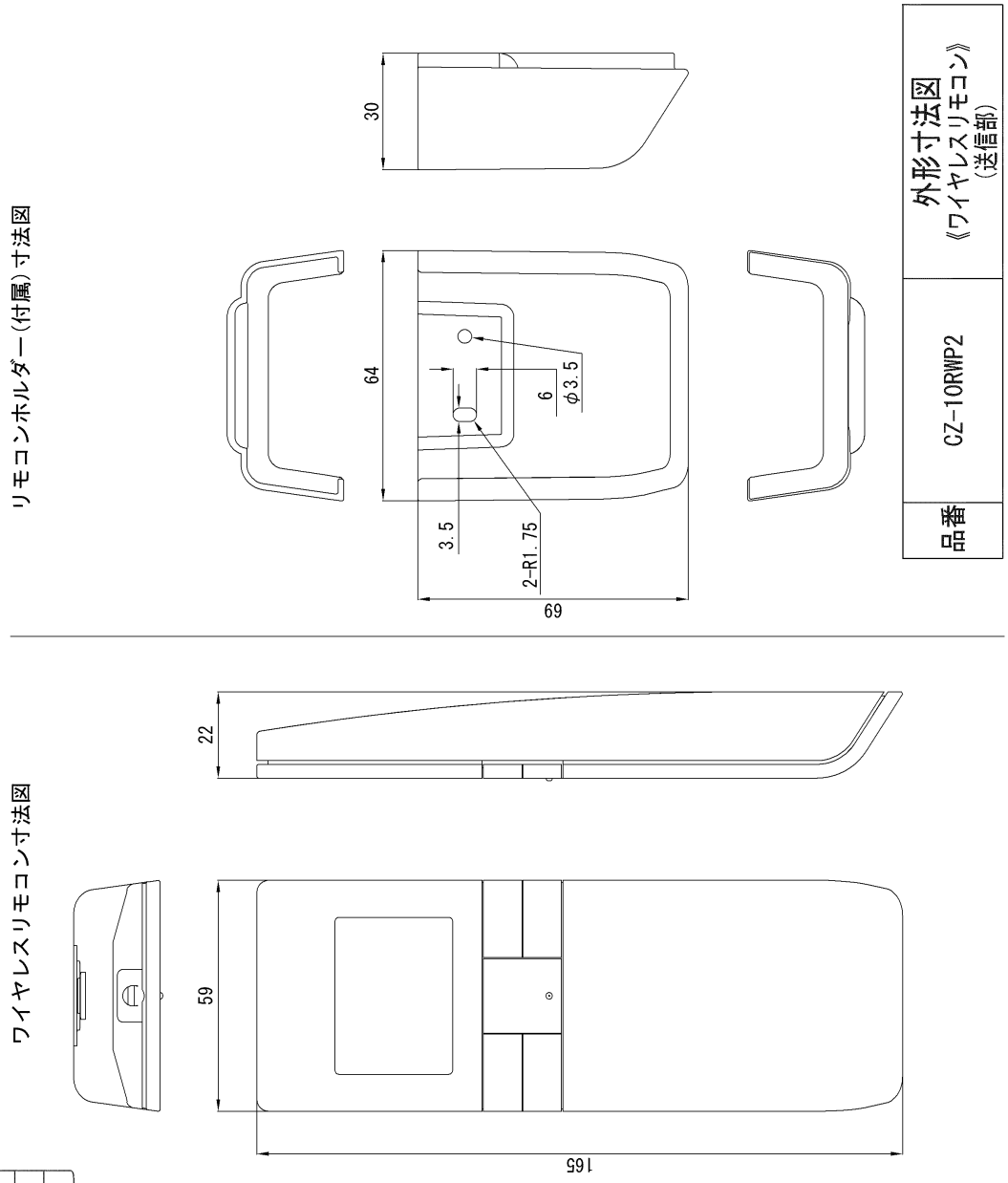
■ 試運転を終了する
手順 1・2 を行い、手順 3 で「オフ」を選ぶ。
（「試運転」表示消灯）

お知らせ
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3 分間は室外ユニットの運転はしません。

お願い
- 試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）

（3）ワイヤレスリモコン送信部（ＣＺ－１０ＲＷＰ２）

■外形寸法図



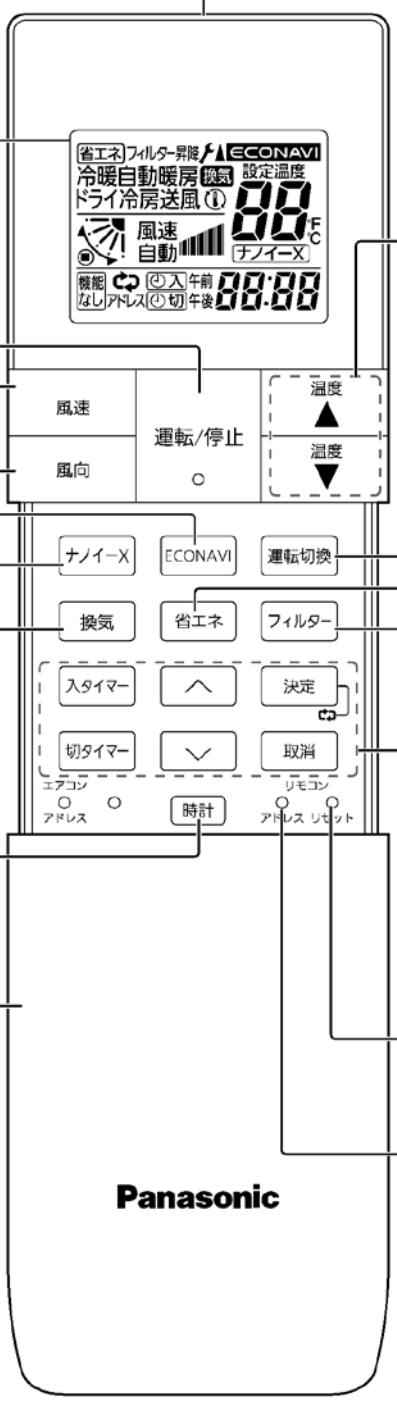
仕様

品番	CZ-10RWP2
外形寸法	(高さ)165 mm × (幅)59 mm × (奥行)22 mm
重量	100g(乾電池、リモコンホルダーを含みません)
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80% ※屋内設置専用
電源	単4形乾電池×2本

1. 各部の名前

1-1 ワイヤレスリモコン送信部

● 1台のリモコンで室内ユニット最多8台までグループ制御できます。



送信部

表示部
運転状態を表示します。
（図は全部を表示した状態です）

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

風速ボタン
風速を変えます。

風向ボタン
風向を変えます。

エコナビボタン
エコナビ設定をします。

「ナノイー X」ボタン
「ナノイー X」設定をします。

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。

時計ボタン
現在時刻を合わせるときに使用します。

カバー
中央上部を押してから下にスライドします。

温度ボタン
温度▲：設定温度を1℃ずつ上げます。
温度▼：設定温度を1℃ずつ下げます。

運転切換ボタン
運転モードを切り換えます。

省エネボタン
省エネ設定をします。

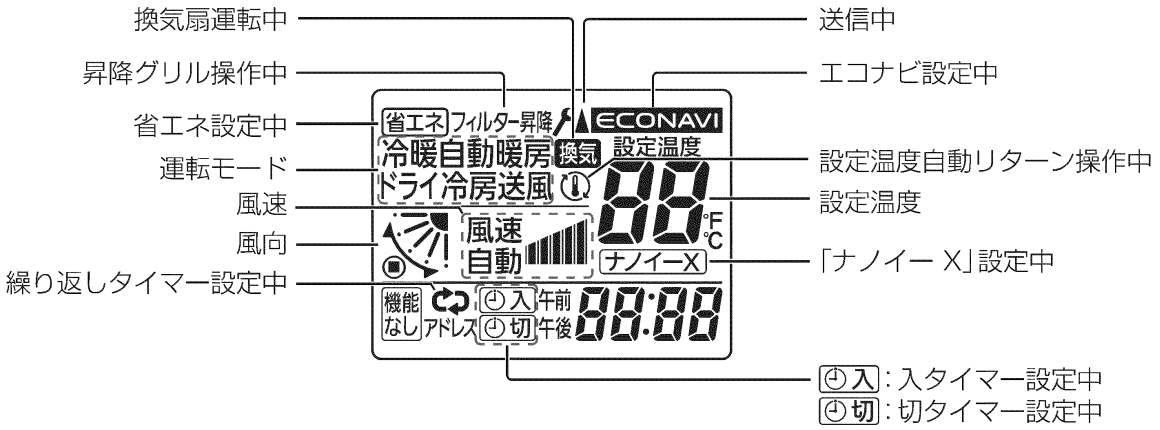
フィルターボタン
● 受信部のフィルターサイン（ランプ）を消灯します。
● 別売の昇降グリルを接続したときに使用します。

タイマー設定ボタン
入／切タイマーを設定します。

リモコンリセットボタン
乾電池交換後に使用します。

リモコンアドレスボタン
アドレス設定をします。

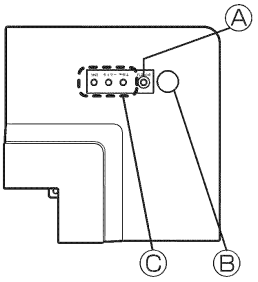
液晶画面



1-2 ワイヤレスリモコン受信部

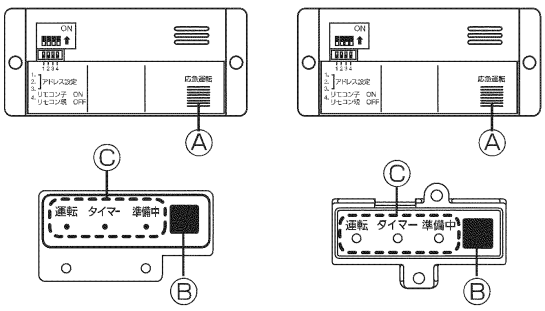
● 室内ユニットに取り付けてあります。(別置受信部を除く)

CZ-10RWRU2A
CZ-10RWRU2



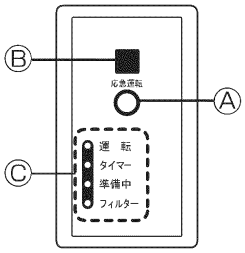
4方向天井カセット形

CZ-10RWRL1　CZ-10RWRL2



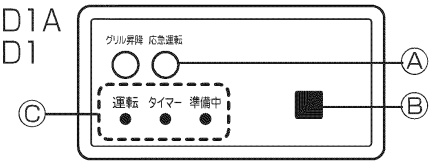
2方向天井カセット形

CZ-10RWRC1A
CZ-10RWRC1



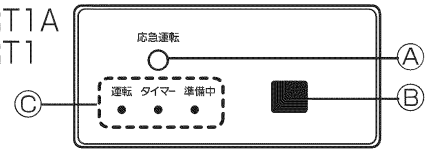
別置受信部

CZ-10RWRD1A
CZ-10RWRD1



1方向天井カセット形／高天井用1方向カセット形
(ビル用マルチ・ガスヒートポンプエアコン) 天井吊形

CZ-10RWRT1A
CZ-10RWRT1



(オフィス店舗用エアコン) 天井吊形
(ビル用マルチ・ガスヒートポンプエアコン)T1天井吊形

● 壁掛形は、室内ユニットに付属の説明書をご確認ください。

Ⓐ 応急運転ボタン(⇒「1-3 応急運転のしかた」)

Ⓑ 受信部

送信部からの信号を受信します。

Ⓒ 表示ランプ

異常発生中はいずれかが点滅します。表示ランプが点滅したときはお買い上げの販売店にご相談ください。

運転ランプ(緑)	運転中に点灯します。
タイマーランプ(緑)	タイマー予約中に点灯します。
準備中ランプ(橙)	暖房運転時、次のようなときに点灯します。 運転開始時／温度調節器がはたらいたとき／霜取運転中
フィルターランプ(赤) 別置受信部のみ	フィルターの掃除時期をお知らせします。

1-3 応急運転のしかた

次のようなとき、ワイヤレスリモコン受信部の応急運転ボタンを使って応急的に運転してください。
- ワイヤレスリモコン送信部の乾電池の容量がなくなった。
- ワイヤレスリモコン送信部が故障した。
- ワイヤレスリモコン送信部を紛失した。

■ 壁掛形以外の場合

応急運転ボタン を押す
- 運転ランプが点灯します。
- 冷暖自動運転になります。冷暖自動不可の場合、運転を開始するときの室温が24 ℃以上のときは冷房運転、室温が24 ℃未満のときは暖房運転になります。
- 再度 応急運転ボタン を押すと停止します。

■ 壁掛形の場合
- 室内ユニットに付属の取扱説明書をご確認ください。

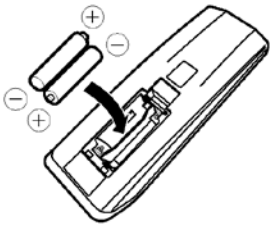
お知らせ
- 冷暖フリータイプ（3WAY）以外をお使いの場合「ピッピー」という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら冷房モードまたは暖房モードが不一致ですので、希望するモードでの運転はできません。（冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作になります）
- 集中制御機器等で手元禁止の設定がされている場合、運転/停止 風速 風向 温度▲ 温度▼ 運転切換 省エネ を操作したとき、「ピッ」という音が5回して、変更を受け付けません。

2. 乾電池の入れかた

電池カバーを開ける

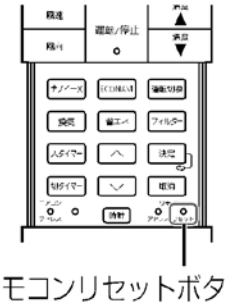
- ツマミをつまんで▽マーク方向へ押しながら開きます。

単4形アルカリ乾電池を2本入れる



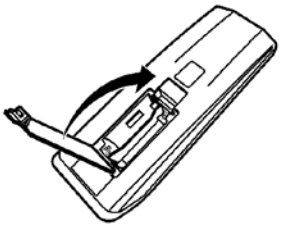
- 表示にしたがって⊕⊖極の向きを正しく入れてください。

先の細い物で、リモコンリセットボタンを押す



- 現在時刻表示が「0:00」または「午前 12:00」にならないときは、電池を入れ直してください。

電池カバーを閉める



■ 乾電池は
- 寿命は約1年です。
- 消耗すると、受信しにくくなったり、リモコンの表示が薄くなったりします。
- 長時間使わないときは、取り出してください。（液漏れ防止のため）
- 乾電池が切れたときは、本体で応急運転ができます。（⇒「1-3 応急運転のしかた」）

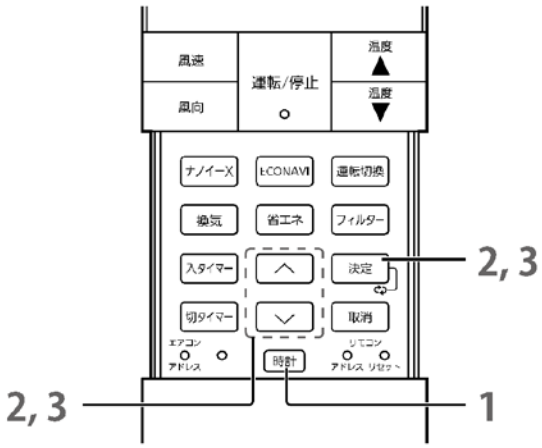
■ 乾電池を交換するときは
- 単4形アルカリ乾電池を2本同時に交換してください。
- 充電式電池（Ni-Cd、ニッケル水素など）は使わないでください（サイズ、形、性能の一部が異なるため）
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- 電池を取り外すと出荷設定に戻ります。
- 乾電池交換後は、現在時刻を合わせてください。（⇒「3. 現在時刻の合わせかた」）

3. 現在時刻の合わせかた

1 時計 **を2秒以上押す**
- 時刻表示が点滅します。〔「：」（コロン）は点灯〕

2 ∧ ∨ **で「時」を合わせ、** 決定 **を押す**

3 ∧ ∨ **で「分」を合わせ、** 決定 **を押す**

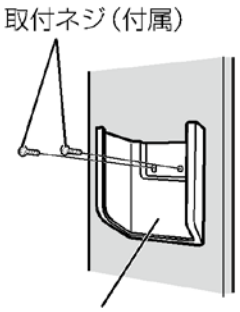
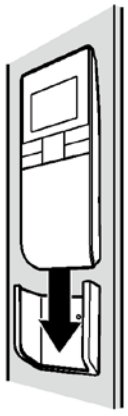
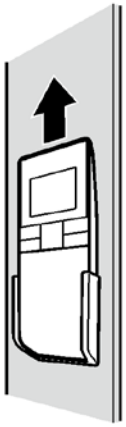


お知らせ
- 現在時刻の設定中に一定時間ボタン操作がない場合、表示している時刻に設定します。
- 時刻は定期的に合わせてください。

4. リモコンの取り扱いかた

- ワイヤレスリモコン送信部は手で持ち受信部に向けて操作をしてください。
  正常に受信されるとブザーが鳴ります。
- 送信できる距離は直線で6 m以内です。この距離は目安です。使用条件により短くなることがあります。
- 受信部（本体または別置受信部）との間に信号をさえぎる物がないようにしてください。
- 直射日光や本体からの風が直接当たる場所、ストーブの近く等に置かないでください。
- 落としたり、投げたり、水洗い等しないでください。
- 電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）、またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。

壁等に取り付けてご使用になる場合

取り付ける		取り外す
付属のリモコンホルダーを取付ネジで止める	ワイヤレスリモコン送信部を上からスライドさせて取り付ける	ワイヤレスリモコン送信部を上へ引き抜く
	 ● 壁に取り付ける位置で 運転/停止 を押し、正常に受信されることを確認してください。	

- ワイヤレスリモコン送信部が、受信部の受信できる範囲にない場合は、操作ができません。

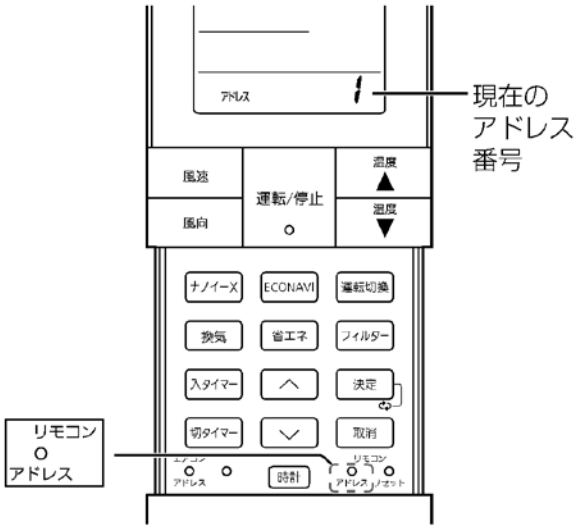
5. ペアリングアドレス設定について

同じ部屋にワイヤレスリモコン対応の室内ユニットが複数台設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定してください。
ワイヤレスリモコン送信部のアドレスと受信部のアドレススイッチの数字を合わせることにより、6台までの室内ユニットを対応するリモコンで個別に制御することができます。
ワイヤレスリモコン送信部には送信用のアドレス、受信部には受信用のアドレス設定があります。
設定が異なるとリモコン操作を受け付けません。

アドレスの確認方法

先の細い物で [リモコン アドレス] を押す

- 現在のアドレス番号を5秒間表示します。
- このアドレスが受信部のアドレスと一致していれば、受信部からブザーが鳴ります。(ALLになっていれば必ずブザーが鳴ります)
- ALLになっていれば、受信部のアドレスに関わらずに操作できます。操作したい受信部にリモコンを向けて送信してください。



アドレスの合わせかた

■ 壁掛形以外の場合

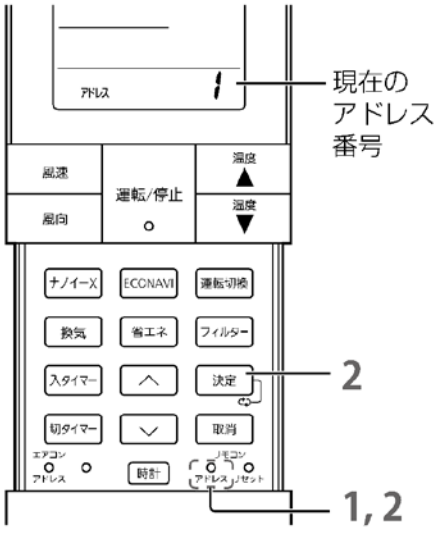
＜リモコンの設定＞

1 先の細い物で [リモコン アドレス] を4秒以上押す

- 現在のアドレス番号が点滅表示します。

2 [リモコン アドレス] で操作したい受信部のアドレスを選び、[決定] を押す

- [リモコン アドレス] を押すたびに「ALL（すべてのアドレス）→1→2→3→4→5→6」の順で切り換わります。
- 受信部のアドレス設定と一致していれば受信部からブザーが鳴ります。



お知らせ

- 受信部のアドレスは、ご使用のワイヤレスリモコン受信部の説明書に従って設定してください。
設定はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 壁掛形の場合

＜室内ユニットの設定＞

1 **受信部の 応急運転ボタン を4秒以上押す**

- 運転ランプ → タイマーランプ → 準備中ランプの順で点灯を1秒周期で繰り返し、アドレス設定の準備状態となります。

＜リモコンの設定＞

2 **「■ 壁掛形以外の場合」(⇒上記)の手順1～2を行う**

- 設定を続けて行うには、「■ 壁掛形以外の場合」の手順2を繰り返します。
- 3分間リモコンからのデータ送信がない場合、室内ユニットのアドレス設定準備は終了します。
- 室内ユニットのアドレス設定準備を終了する場合、受信部の 応急運転ボタン を押してください。

室内ユニットの受信部

6. 対応機能について

お使いのワイヤレスリモコン受信部の機種によっては、一部の機能が使用できません。

受信部の機能の有無については、リモコン アドレス を押したときのブザー音で確認できます。

機能	リモコン アドレス を押したときのワイヤレス受信部のブザー音	
	「ピピッ」の場合	「ピッ」の場合
風速設定	5段階設定 ※1	3段階設定 ※1 ※2
「ナノイー X」設定 エコナビ設定 省エネ設定 個別風向固定設定	機能あり ※1	この機能は使用できません ※3
設定温度自動リターン	機能あり	

※1　室内ユニットの機種やオプション機器の組み合わせによって使用できる機能が異なります。
室内ユニットタイプが同じでも能力や年式により機能が異なる場合があります。
室内ユニットの設定できる機能については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

※2　、、の3段階の風速設定が可能です。
(を選択時は 、 を選択時は と同じ風速で動作します)

※3　ナノイー-X ECONAVI 省エネ ボタンの有効／無効を設定するには(⇒「18. ボタン制御について」)

7. 仕様

品　　番	CZ-10RWP2
寸　　法	(高さ)165 mm×(幅)59 mm×(奥行)22 mm
質　　量	100 g(乾電池、リモコンホルダーを含みません)
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20%～80%(屋内設置専用)
時 計 精 度	±90秒／月(常温25 ℃)
電　　源	単4形アルカリ乾電池×2本

8. 基本の使いかた

- 漏電しゃ断器は、ユニットの説明書を参照し、事前に入れてください。
- ワイヤレスリモコン送信部は手で持ち受信部に向けて操作をしてください。

運転／停止する

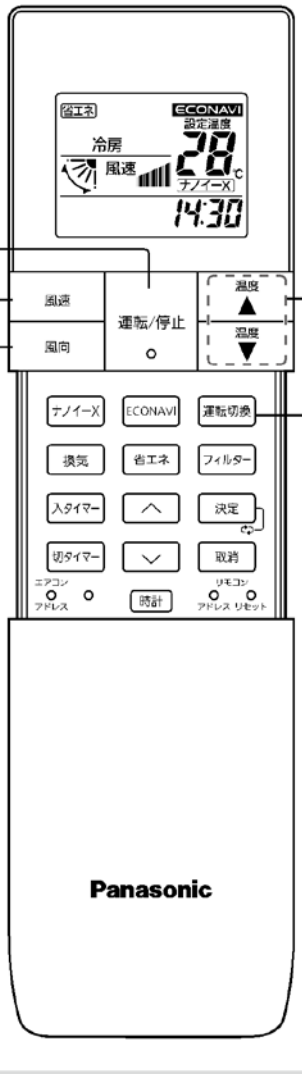
運転/停止 を押す

- 運転/停止 を押しても停止できないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店へお知らせください。
- 運転を停止しても、室外ユニットはしばらく運転するときがあります。

風速を変える

風速 を押す

- 押すたびに「 → → → → → 風速自動」の順で切り換わります。
- 送風時は風速自動になりません。
- 暖房時、風速「 」で運転して暖まりが良くない場合は、風速を「 」や「 」に切り換えてみてください。
- 機種によって選択可能な風速が異なります。
- 機能が付いていない場合は、機能なし と表示され、使用できません。



設定温度を変える

温度 温度 を押す

- 冷暖自動　：17 ℃～27 ℃
  暖房　　：16 ℃～30 ℃
  ドライ・冷房：18 ℃～30 ℃
- 送風時は温度設定ができません。
- 機器によって設定できる温度範囲が異なります。
- 上限温度はシステムや使用条件により異なります。上限温度を変更するには（⇒「17. 各種設定について」）

運転モード（冷暖自動／暖房／ドライ／冷房／送風）を変える

運転切換 を押す

- 押すたびに「冷暖自動→暖房→ドライ→冷房→送風」の順で切り換わります。
- 冷暖自動について（⇒下記）
- 冷房専用タイプは、冷暖自動、暖房運転ができません。
- 機種によって選択可能な運転モードが異なります。運転モードの表示を変更するには（⇒「17. 各種設定について」）

風向を変える

風向 を押す

- 押すたびに「 → → → → → (スイング) → (スイング停止)」の順で切り換わります。
- スイング中に 風向 を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。
- 暖房準備時は、スイングや風向設定にかかわらず、フラップが上向きになります。
- 機種によって選択可能な風向が異なります。
- 機能が付いていない場合は、機能なし と表示され、使用できません。
- **リモコンで操作するフラップは絶対に手や棒で動かさないでください。故障の原因になります。**

冷暖自動について

設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。
冷暖自動は、冷暖フリータイプ（3WAY）や同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっている場合のみ可能です。ガスヒートポンプエアコンをお使いの方は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

9. 吹出口ごとに風向を設定する 個別風向固定設定

（対応機種：4方向天井カセット形）

室内の状況に合わせて吹出口ごとの風向を個別に設定できます。

[風向] で操作しても（⇒「風向を変える」）、ここで設定した風向は変更されません。

1 **[風向] [決定] を同時に4秒以上押す**

- 「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。

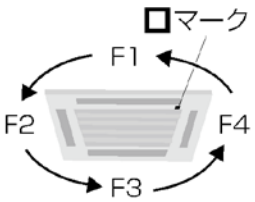
2 **[温度▲] [温度▼] で設定する室内ユニットの番号を選び、[決定] を押す**

- [温度▲] [温度▼] を押すと、「U1 ↔ U2 ↔ … ↔ U8 ↔ AL（リモコンに接続されているすべての室内ユニット）」の順で切り換わり、受信部からブザーが鳴ります。
  - 設定可能なとき　：「ピッ」
  - 設定不可のとき※：「ピッピー」

  ※ 室内ユニットが未接続や本機能に非対応のとき

3 **[∧] [∨] で吹出口の番号を選ぶ**

- [∧] [∨] を押すと、「F1 ↔ F2 ↔ F3 ↔ F4 ↔ AL（すべての吹出口）」の順で切り換わります。
- 室内ユニットのパネルにある□マーク（凹形状）が、吹出口の1番の目印になります。機種によっては、□マーク（凹形状）がないものがあります。



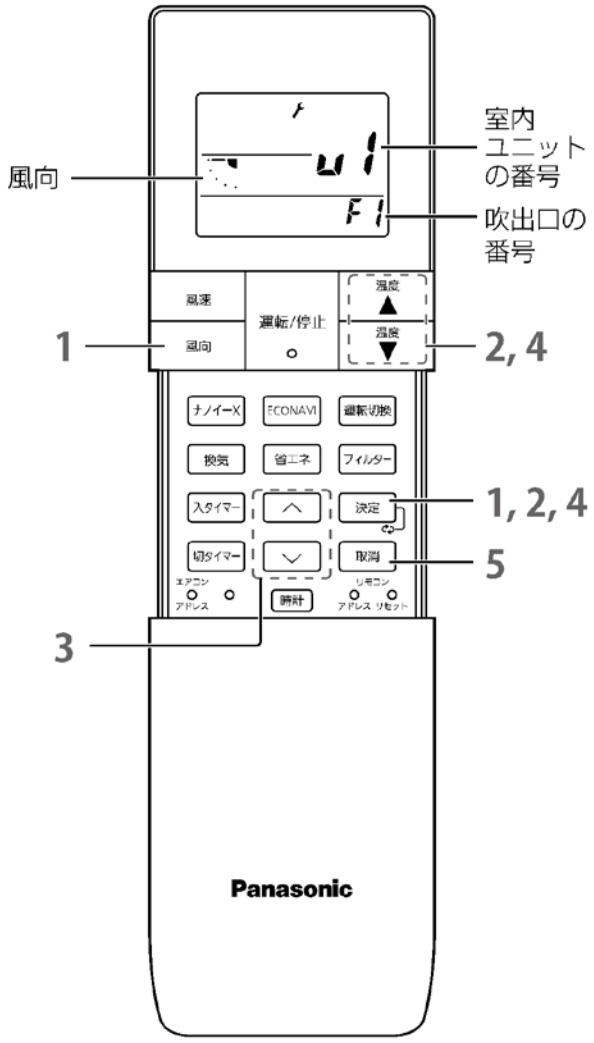
- 吹出口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。

4 **[温度▲] [温度▼] で風向を選び、[決定] を押す**

- [温度▲] [温度▼] を押すと、「（固定解除）↔（スイング）↔ ↔ ↔ ↔ ↔ 」の順で切り換わります。

5 **[取消] を押す**

- [取消] の代わりに [決定] を押すと、手順**2**に戻り、続けて設定できます。



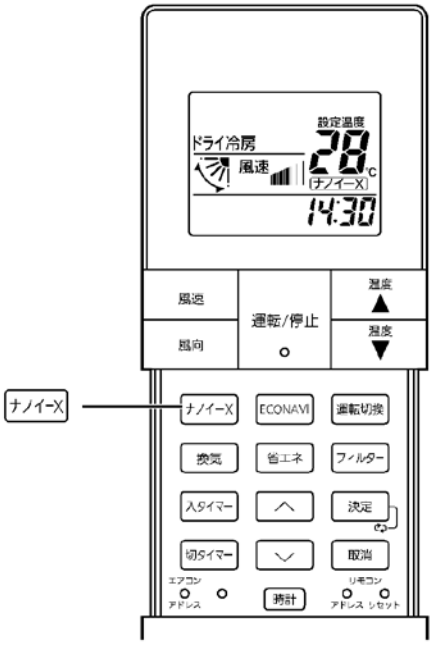
お知らせ

- 途中で操作をやめるときは、[取消] を押してください。

10.「ナノイー X」設定をする

運転中に [ナノイー X] を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 **ナノイーX** 」が表示されます。
- 「ナノイー X」設定を「オン」にすることにより、室内ユニットが運転中に（冷房、ドライ、暖房、送風、冷暖自動）、「ナノイー」（水に含まれた微粒子イオン）が室内ユニットから放出されます。
- [ナノイー X] を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- 「ナノイー X」機能がない機器の場合、数秒間 [機能なし] と表示されます。



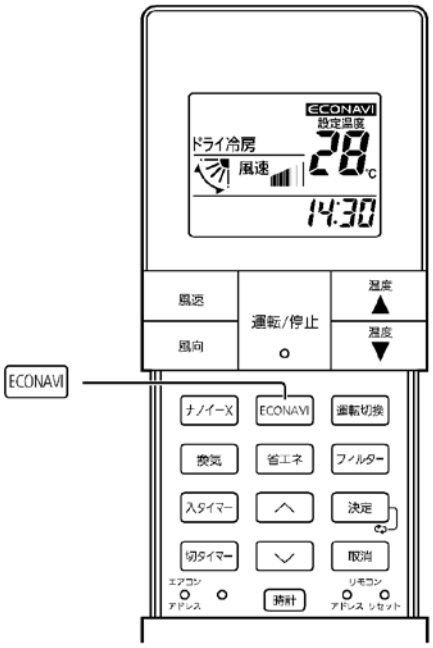
11. エコナビ設定をする

（別売品のエコナビパネル（CZ-160KPEU5）・壁設置形のエコナビセンサー（CZ-CSEN1）等を接続時）

運転中に [ECONAVI] を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 **ECONAVI** 」が表示されます。※
- 高精度なエコナビセンサーがリアルタイムに室内を監視、人を検知して、ムダな運転を抑えます。
- エコナビ機能によって目標温度が変更されても、リモコンに表示される設定温度は変化しません。
- 室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。
- [ECONAVI] を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- エコナビ機能がない機器の場合、数秒間 [機能なし] と表示されます。

※ 運転モードが送風時は表示されません。



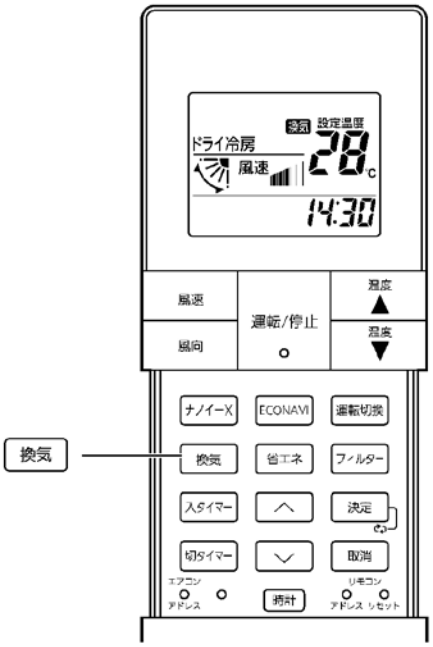
12. 換気扇を運転／停止する

（市販の換気扇等を接続時）

換気 ボタンは、出荷時は「無効」に設定されています。換気扇を接続したときは、換気 ボタンを「有効」にしてください。(⇒「18. ボタン制御について」)

換気 を押す

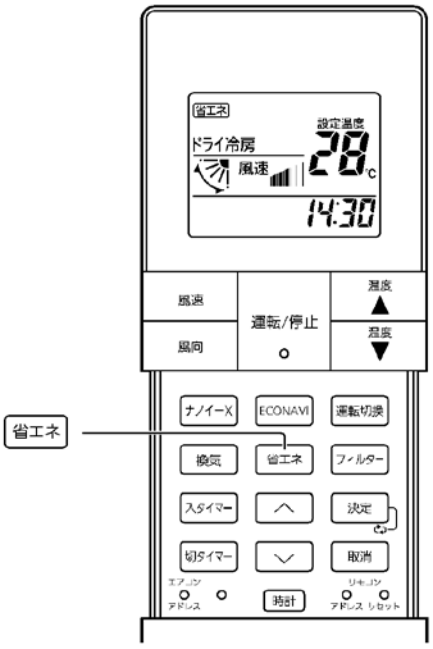
- 押すたびに換気扇が運転／停止します。
- 換気扇運転中は、「 換気 」が表示されます。
- エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転／停止します。
- 換気機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



13. 省エネ設定をする

運転中に 省エネ を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 省エネ 」が表示されます。
- 省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房／暖房などの能力は低下します。(室外ユニットの運転が制限値以下の場合は、制限されません)
- 省エネ を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには(⇒「18. ボタン制御について」)
- 省エネ機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



14. 温度を変更しても設定時間後に元に戻す 設定温度自動リターン

温度を変えても、決めた時間がたったら自動で決めた温度に戻すように設定できます。

● 運転モードごとに時間と温度を設定します。

1 温度▲ ﹀ を同時に4秒以上押す

● 「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。

2 運転切換 で運転モードを選び、決定 を押す

● 運転切換 を押すたびに、「ドライ・冷房→暖房→冷暖自動」の順で切り換わり、受信部からブザーが鳴ります。
- 未設定のとき　:「ピッ」
- 設定済みのとき:「ピピッ」

3 ﹀ ﹀ で、決めた温度に戻るまでの時間（戻り時間）を設定する

● 設定範囲：10～240分（10分単位）

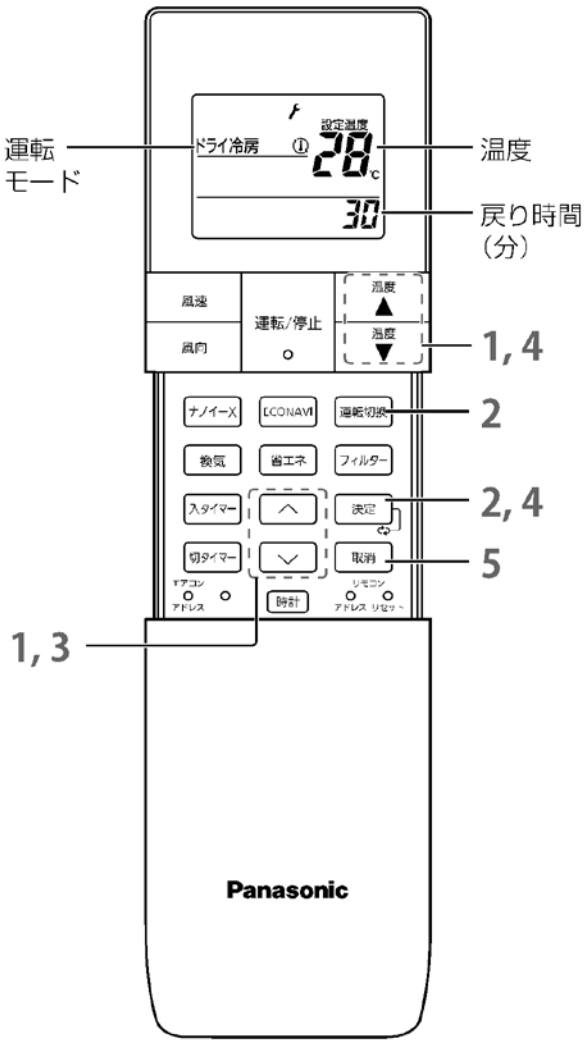
4 温度▲ 温度▼ で温度を設定し、決定 を押す

● 冷暖自動　　：17 ℃～27 ℃
暖房　　：16 ℃～30 ℃
ドライ・冷房：18 ℃～30 ℃

● 機器によって設定できる温度範囲が異なります。

5 取消 を押す

● 取消 の代わりに 決定 を押すと、手順2に戻り、続けて設定できます。



設定を変更する

設定のときと同様、上記の手順1～5を行う

設定を解除する

1 温度▲ ﹀ を同時に4秒以上押す

2 運転切換 で運転モードを選び、取消 を4秒以上押す

● 受信部が「ピッ」と鳴ります。

● 取消 を10秒以上押すと、すべての運転モードの設定を解除します。

お知らせ

● 途中で操作をやめるときは、取消 を押してください。

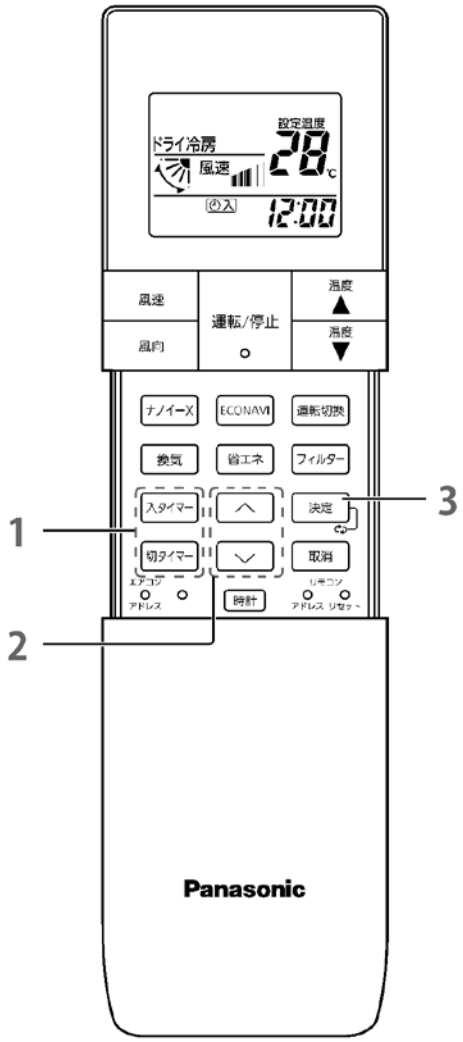
15. タイマー運転のしかた

- 予約の前に、現在時刻が合っていることを確認してください。
- タイマーの設定は運転中のみ可能です。
- タイマー設定後、ワイヤレスリモコン送信部をワイヤレスリモコン受信部の近く（信号受信可能な場所）に置いてください。

1 入タイマー または 切タイマー を２回押す
- 前回設定したタイマー時刻が点滅します。（タイマー設定がないときや乾電池交換時は「－－:－－」が点滅）

2 ∧ ∨ でタイマー時刻を設定する
- 10分単位で変更できます。
- ∧ ∨ を押し続けると早送りができます。

3 決定 を押す
- タイマー時刻が点灯表示に変わり、3秒後に現在時刻表示に戻ります。
- 設定すると、「入」または「切」が表示されます。



入／切タイマーを組み合わせる

入／切タイマー時刻をそれぞれ設定する

タイマー時刻を確認する

入タイマー または 切タイマー を押す
- タイマー時刻を4秒間表示します。
- タイマー設定がないときや乾電池交換時は「－－:－－」が表示されます。（初期状態）

タイマー時刻を変更する

設定のときと同様、上記の手順1～3を行う

タイマー時刻を取り消す

取消 を押す
- 入／切タイマーのどちらかを取り消したい場合は、入タイマー または 切タイマー を押し、タイマー時刻が表示されている状態で 取消 を押します。

タイマーを毎日同じ時刻に使う

決定 を２秒以上押す
- 設定すると、「🔁」が表示されます。
- 再度 決定 を２秒以上押すと、「🔁」の表示が消えて、１回だけの動作となります。

16. 昇降グリルの操作方法

（別売の昇降グリルが接続されている場合）

- ワイヤレスリモコン送信部は、操作を行いたい室内ユニットの受信部に向けてください。
- 昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒かかります。

1 フィルター を４秒以上押す

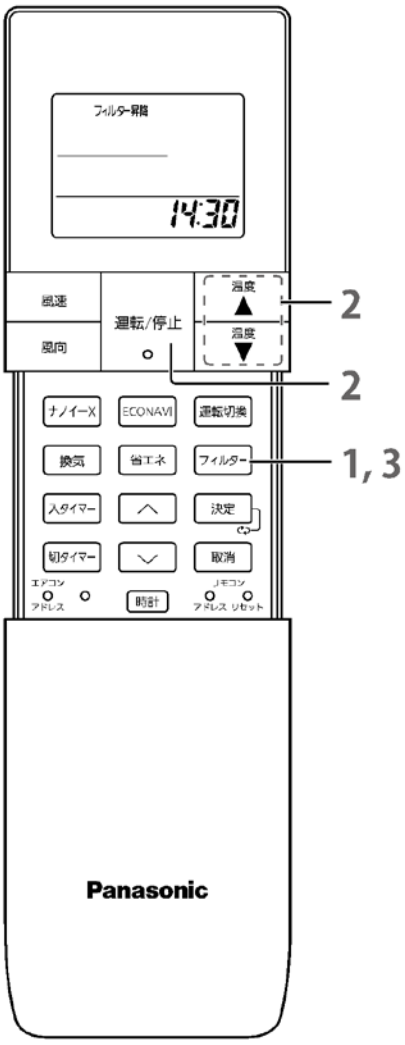
- 「フィルター昇降」が表示されます。
- 室内ユニットの運転は停止します。

2 温度▲ 温度▼ で昇降グリルを上下させ、運転/停止 で停止させる

- 運転/停止を押さなくても、昇降グリルが下降しおえる、または収まると自動的に停止します。
- 昇降グリルが収まると、数秒後にモーターが停止します。運転/停止で止めず、自動的にモーターが停止したことを確認してください。
- 下降中または上昇中に他の操作を行うときは、必ず、一度停止をしてから行ってください。

3 フィルター を４秒以上押す

- 「フィルター昇降」の表示が消えます。
- 昇降グリルの動作中にフィルターを押すと、昇降グリルが停止して、「フィルター昇降」の表示が消えます。再度昇降グリルを動かしたいときは、手順1に戻ってください。



フィルターランプを消す

（フィルターランプは別置受信部のみ搭載）

フィルター を押す

- 受信部からブザーが鳴ります。

17. 各種設定について

お使いの室内ユニットによって各種設定変更が可能です。
運転モード表示、時計表示（24時間、午前／午後）、暖房上限温度

- この設定はリモコン内部の不揮発性メモリーに保存されますので、乾電池を交換しても再設定は必要ありません。
- リモコンの表示が停止中（現在時刻のみ表示）になっているのを確認してから設定してください。

＜操作方法＞

- 各項目の下記のボタンを押しながら［へ］を押すごとにリモコン表示が変わります。
- ［へ］を離した時点で、表示されている内容に設定されます。

設定項目	操作ボタン	設定内容	リモコンの表示
運転切換を押したときのリモコンの運転モード表示設定	運転切換を押しながら［へ］	標準の室内ユニット（冷暖自動あり）	冷暖自動暖房 ドライ冷房送風
		標準の室内ユニット（冷暖自動なし）	暖房 ドライ冷房送風
		冷房専用の室内ユニット	ドライ冷房送風
時刻表示設定	時計を押しながら［へ］	24時間	23:59
		午前／午後	午後 11:59
暖房運転で設定できる温度範囲の上限値	温度▲を押しながら［へ］	暖房温度範囲の上限 26 ℃～30 ℃	26→27→28 ↑ 30←29 ↵

18. ボタン制御について

お使いの室内ユニットによって以下のボタンの有効／無効を変更できます。
ナノイー X、エコナビ、換気、省エネ

変更したい設定内容のリモコンボタンを4秒以上押す

- 4秒以上押すごとに有効／無効が切り換わります。
- 無効にすると、ボタンを押したときに機能なしと表示され、使用できません。

リモコンボタン	設定内容
ナノイー-X	ナノイー Xボタンの有効／無効設定
ECONAVI	エコナビボタンの有効／無効設定
換気	換気ボタンの有効／無効設定
省エネ	省エネボタンの有効／無効設定

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン送信部

品番 CZ-10RWP2

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⊘	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⊘
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**(感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)

⚠注意

⊘
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ

⚠注意

⊘
- **落としたり、投げたりしない**(故障の原因)
- **乾電池は⊕⊖を逆に入れない**(発火や液漏れの原因)

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 据付面に凹凸のあるところ
- 熱源の近くなど
- 子供の手の届くところ
- 油煙や湯気の多いところ(調理場や機械工場など)
- カーテンなど、信号をさえぎるものがあるところ
- 強い光源やインバーター蛍光灯などがあるところ

●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
(映像の乱れ、雑音の原因)
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●操作する上で支障がないところに据え付ける。
- ワイヤレスリモコン送信部が、受信部の受信できる範囲にない場合は、操作ができません。
- 据え付ける位置で正常に操作できることを確認してください。
- リモコンホルダーで壁などに固定して操作する場合は、部屋の照明を点灯させたり電気器具等を動作させた状態で取り付ける位置からリモコンを操作し、エアコンが作動することを確認してから取り付けてください。

はじめに

「取扱説明書」を参照して本機を据え付けます。

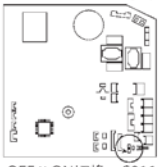
1. 乾電池を入れる
2. 現在時刻を合わせる
3. リモコンホルダーを取り付ける
4. ペアリングアドレス設定をする
（必要に応じて）

壁掛形室内ユニットをご使用になる場合

（お願い）壁掛形室内ユニットに付属の説明書をあわせてご覧ください。

- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
- ワイヤレスリモコンのみでご使用になる場合は、室内ユニット基板の切換スイッチ（S011またはSW502）を「OFF→ON」に設定する必要があります。
複数の壁掛形室内ユニットをグループ制御する場合は、1台のみを「OFF→ON」に設定してください。

室内ユニット基板（例）



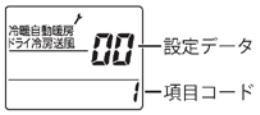
OFF⇔ON切換　S011

現地設定のしかた

この設定はリモコン内部の不揮発性メモリーに保存されますので、乾電池を交換しても再設定は必要ありません。
※ 本設定を行うことによって実際の動作が「取扱説明書」に記載されている内容から変更になりますので、お客様に十分に説明をしてください。
※ 下記項目コード以外は、正常な動作をしなくなる可能性があるため、設定を変更しないでください。

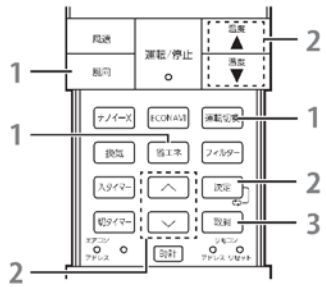
（　）：出荷設定

1 リモコンの表示が停止中（現在時刻のみ表示）に、[風向] [省エネ] [運転切換] を同時に4秒以上押す
「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。



2 [温度▲] [温度▼] で項目コードを、[∧] [∨] で設定データを選び、[決定] を押す

3 [取消] を押す



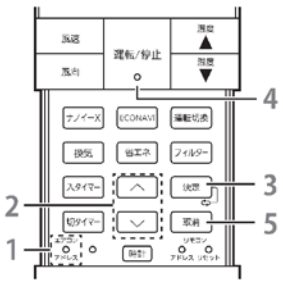
項目コード	設定項目	設定データ	チェック欄
1	運転モード（※1）	（00：冷暖自動/暖房/ドライ/冷房/送風）　03：冷房/送風 01：暖房/ドライ/冷房/送風　04：冷暖自動/暖房/冷房/送風 02：ドライ/冷房/送風　05：暖房/冷房/送風	
2	フラップ表示	（00：5段階（冷房5段階）＋スイング＋停止）　03：スイングのみ 01：5段階（冷房3段階）＋スイング＋停止　04：切換機能なし 02：5段階（冷房3段階）＋スイング	
3	風速選択	（00：3速（1～5・自動））　03：弱（1）・強（3） 01：3速（弱（1）・強（3）・急（5）・自動）　04：切換機能なし 02：3速（弱（1）・強（3）・急（5））	
5	時刻表示	（00：24時間（表示なし））　01：午前/午後	
6	換気扇 機能切換（※2）	（00：無効）　01：有効	
7	冷房 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
8	冷房 下限温度	5～35℃（出荷設定 18℃）	
9	暖房 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
10	暖房 下限温度	5～35℃（出荷設定 16℃）	
11	ドライ 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
12	ドライ 下限温度	5～35℃（出荷設定 18℃）	
13	冷暖自動 上限温度	5～35℃（出荷設定 27℃）	
14	冷暖自動 下限温度	5～35℃（出荷設定 17℃）	
18	省エネ 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	
19	エコナビ 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	
20	ナノイーX 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	

※1 本機を冷房専用としてご使用になる場合、「02：ドライ/冷房/送風」か「03：冷房/送風」に設定してください。
※2 時刻表示画面において、各機能の設定ボタンを4秒以上押すことで、機能の有効/無効を切り換えることもできます。

（お願い）設定を変更した場合は、設定内容をチェック欄に記入してください。

自動アドレス設定

自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットのアドレスを自動で設定する機能です。
自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号をご確認のうえ、以下の手順で自動アドレス設定を行ってください。



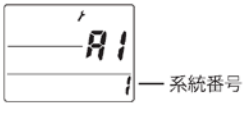
1 [エアコン アドレス] を4秒以上押す
「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。

2 [∧] [∨] で系統番号1～30（室外ユニットの系統アドレス）を選択

3 [決定] を押し、自動アドレス開始

4 [運転/停止] を押し、自動アドレス状態を確認
（自動アドレスの状態については、右表を参照してください）
・完了/異常中となった場合、手順5へ進んでください。
・10分以上実行中が継続する場合、系統番号の指定に誤りがないか確認してください。

5 [取消] を4秒以上押し、自動アドレス終了
・実行中/異常中の場合は、自動アドレス設定が中断されます。異常がある場合は、異常の原因を解決してから自動アドレスを再実行してください。



自動アドレス状態	受信部のブザー音	受信部の表示ランプ 運転　タイマー　準備中
実行中	ピピッ	◎→◎→◎
完了	ピッ	-　-　-
異常中	ピピピピピッ	●　●　◎

●：消灯 / ○：点灯 / ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

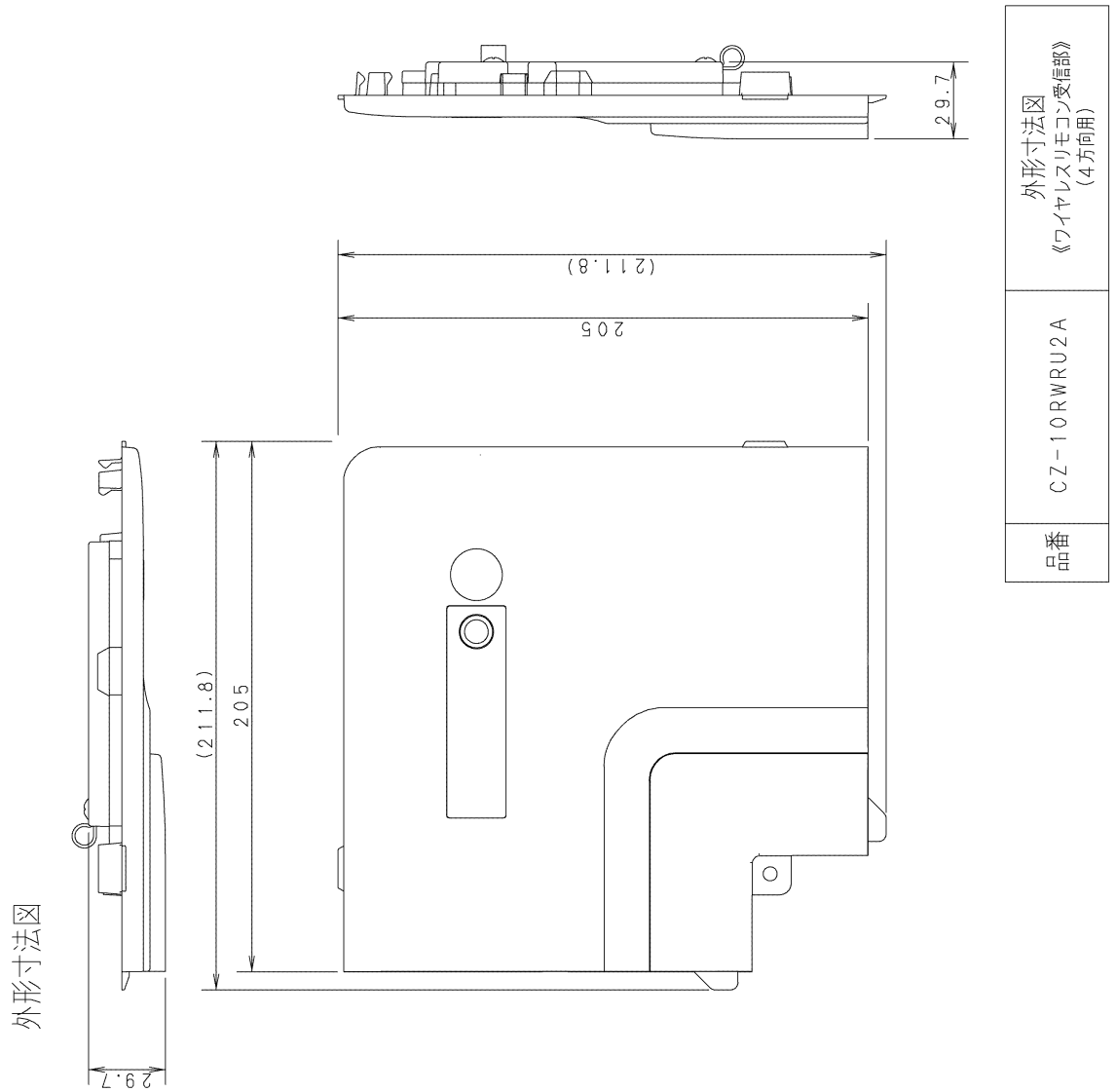
- リモコンホルダー　＜1＞
- リモコンホルダー取付ネジ　M4 × 15.5　＜2＞
- 単4形アルカリ乾電池（動作確認用）　＜2＞
- 取扱説明書　＜1＞
- 据付（電気）工事説明書　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWP2
寸法	（高さ）165 mm ×（幅）59 mm ×（奥行）22 mm
質量	100 g　（乾電池、リモコンホルダーを含みません）
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃ ・ 20 %～80 %　※ 屋内設置専用
電源	単4形アルカリ乾電池×2本

ワイヤレスリモコン受信部（４方向天井カセット形）

■外形寸法図



外形寸法図《ワイヤレスリモコン受信部》（4方向用）	
品番	CZ-10RWRU2A

仕様

品番	CZ-10RWRU2A/CZ-10RWRU2A-T CZ-10RWRU2A-H/CZ-10RWRU2A-K
外形寸法	(高さ) 29.7mm×(幅) 211.8mm×(奥行) 211.8mm
質量	160g
使用温度・湿度範囲	0℃~40℃・20%~80%　※屋内設置専用
電源	DC16V（室内ユニットより供給）

注）ワイヤレスリモコン受信部の色は
下表の4色があります。

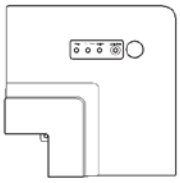
CZ-10RWRU2A	ホワイト
CZ-10RWRU2A-T	ブラウン
CZ-10RWRU2A-H	グレー
CZ-10RWRU2A-K	ブラック

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（4方向天井カセット形）

品番 CZ-10RWRU2A / CZ-10RWRU2A-T
CZ-10RWRU2A-H / CZ-10RWRU2A-K



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

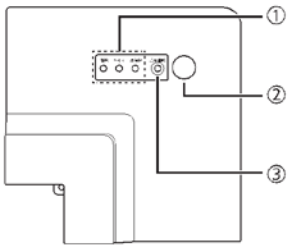
⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 熱源の近くなど
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- 配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
- 配線は、地中に埋設しない。
  (落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

各部の名前



お知らせ

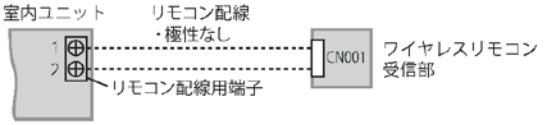
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、
下記の影響により操作を受け付けないことがありますので
取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯
（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

- リモコン配線の総配線長：400 m以内
  ・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
- グループ制御時の接続可能台数
  ・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
- ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

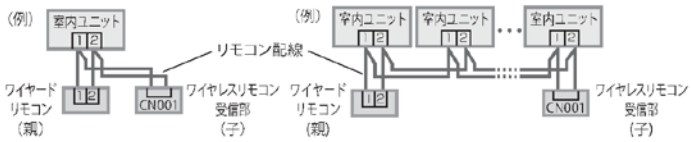
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

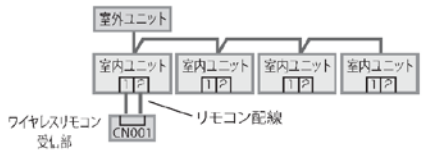
グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R410A冷媒機種のみ、R32冷媒機種とR410A冷媒機種や熱交換気ユニットが混在する場合は、すべての室内ユニットにリモコンわたり配線が必要です。
- リモコン側で渡る配線は禁止です。
- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例

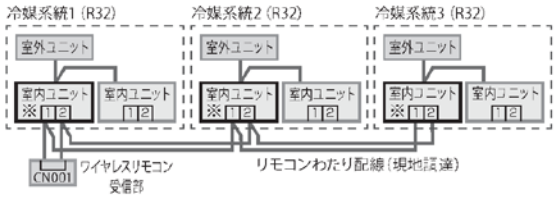


お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例



お知らせ

- ワイヤレスリモコン受信部はリモコンわたり配線上の室内ユニット（※）に接続する必要があります。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、リモコンわたり配線上の室内ユニット（※）とし、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

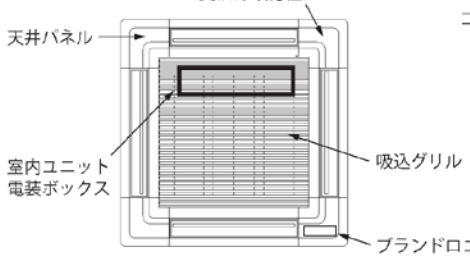
- 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

2 据え付ける

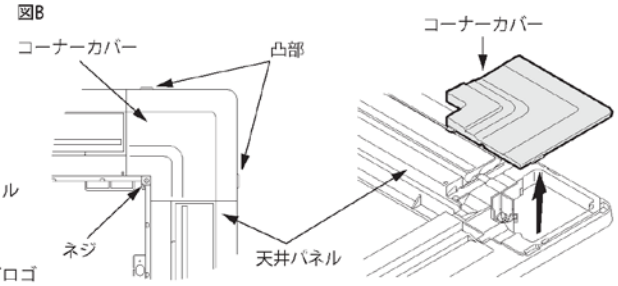
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

※ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）を取り付けられるコーナー部は、図Aの受信部取付位置のみとなります。
天井パネルを室内ユニットに取り付けたときの向きを考慮してください。
① 吸込グリルをはずします。（図A）
② コーナーカバーを固定しているネジをはずし、コーナーカバーの左右凸部を手前に引いてはずします。（図B）

図A

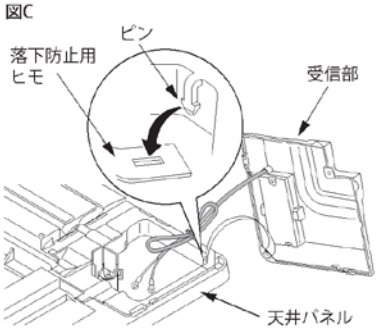


図B

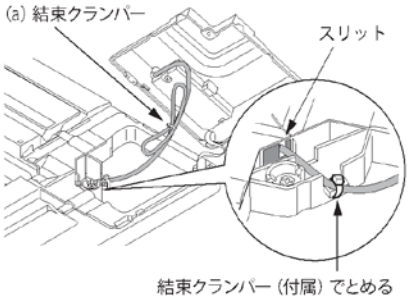


③ 受信部の落下防止用ヒモを天井パネルのピンに引っかけてください。（図C）
④ 受信部から出ている配線をスリットの中に通します。（図D）
配線の接続については、表面の「1 配線のしかた」を参照してください。
⑤ 受信部がはずせる長さの配線をのこし、結束クランパー（付属）で固定します。（図D）
※フィルターチャンバーを併用される場合は、図D（a）の結束クランパーを切ってください。
⑥ 受信部を天井パネルに、ツメが5か所収まるようにして嵌合し、②ではずしたネジで固定します。（図E）
※配線をはさまないようにご注意ください。
※天井パネルに付属の説明書もあわせてご覧ください。

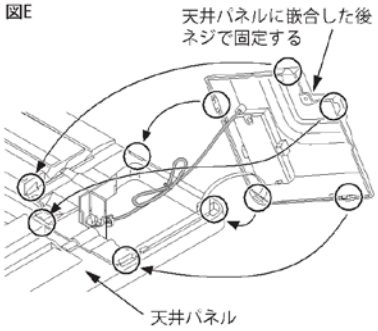
図C



図D



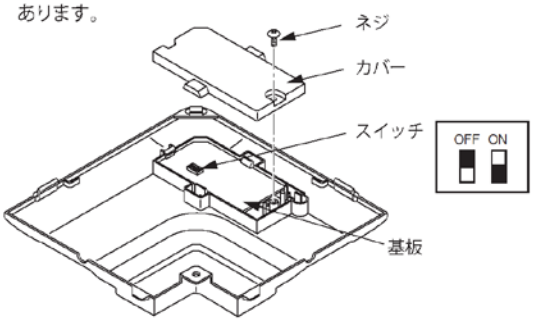
図E



3 設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	1 2 3 4	1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約３分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致(冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む)		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ → ◎ → ◎			順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／○：点灯 ／◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- 結束クランバー ＜1＞
- 据付（電気）工事説明書 ＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRU2A / CZ-10RWRU2A-T CZ-10RWRU2A-H / CZ-10RWRU2A-K
外形寸法	（高さ）29.7 mm ×（幅）211.8 mm ×（奥行）211.8 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

試運転する

準備：ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。電源を投入した後、約1分間はリモコン操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転モードを終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。（ユニットに無理がかかるため）
- ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
- 暖房／冷房／送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

- 下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。警報の対処方法については、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

検出内容	警報表示	受信部の表示ランプ			
		運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回路上での通信異常	E01～E03、E08～E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04～E07、E15、E16、E19～E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09～P12	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02～P08、P13～P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01～F03、F10～F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04～F09、F12～F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01～H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01～L03、L05～L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10～L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01～A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致(冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む)		○	◎	◎	交互
オイル警報(室外保護装置動作と同じ)		◎	●	◎	交互
試運転する		◎	◎	◎	同時

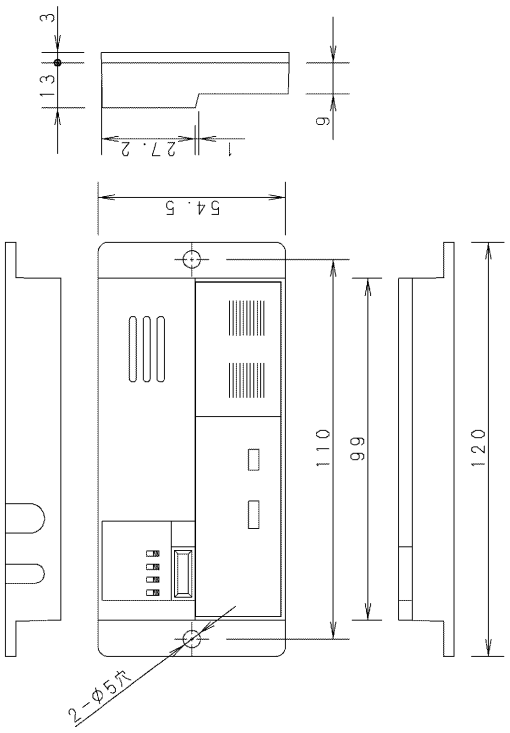
●：消灯／○：点灯／◎：点滅（0.5秒間隔）

ワイヤレスリモコン受信部（２方向天井カセット形）

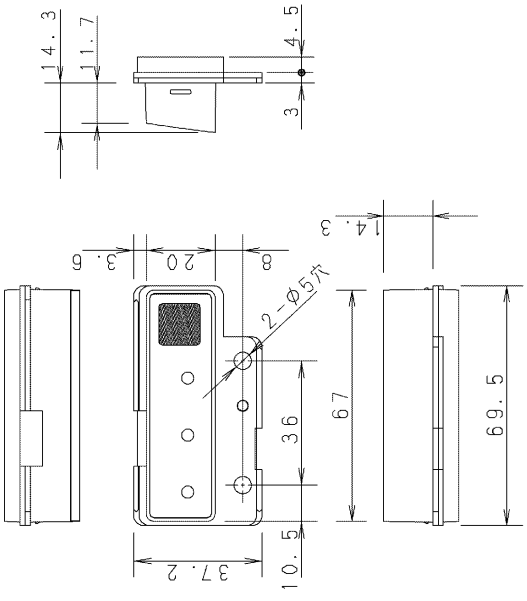
■外形寸法図

外形寸法図《ワイヤレスリモコン》受信部（２方向天井カセット形）
CZ-10RWRL1
品番

操作部寸法図



受信部寸法



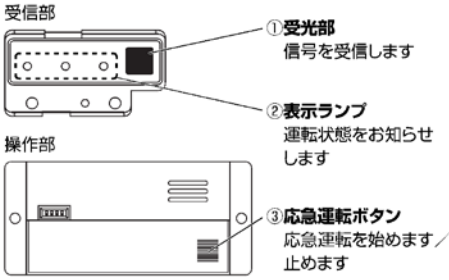
据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部(2方向天井カセット形)

品番 **CZ-10RWRL1**

●据付(電気)工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付(電気)工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

各部の名前



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠警告	⚠注意	⃠	❗
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の 損害が発生するおそれがある内容」です。	してはいけない内容(禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

⃠ 分解や改造は行わない
(感電・火災の原因)

❗ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
(感電・火災等の原因)

❗ 据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う
(感電・火災等の原因)

❗ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付(電気)工事説明書

(感電・火災の原因)

❗ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

(発熱・火災等の原因)

❗ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う
(感電の原因)

⚠注意

⃠ 次のような場所で使わない
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ
- 結露するところ

(感電・火災等の原因)

⃠ ぬれた手で操作しない
(感電の原因)

⃠ 水洗いしない
(感電・火災の原因)

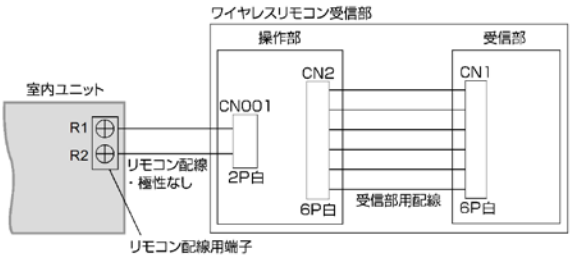
設置上のご注意

設置番所など

- ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。
  - インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
  - プラズマディスプレイや液晶テレビ
  - その他、出力の大きい照明や直射日光

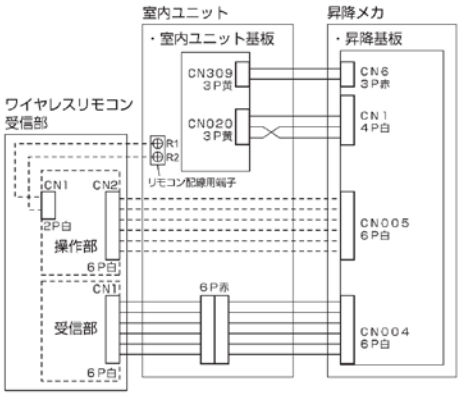
受信部の配線の仕方

■ **配線図**



■ **配線図（昇降グリル付天井パネルの場合）**

● ---- はワイヤレスリモコン受信部の同梱品です。



■ **総配線長：**400 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

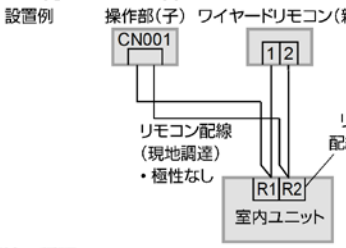
■ **接続可能台数**
リモコンおよび受信部：最多2個
室内ユニット：最多8台

お願い

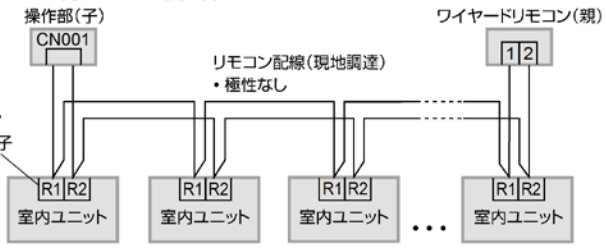
- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

リモコンや受信部を親子で設置するとき

■ **室内ユニットが1台のとき**



■ **室内ユニットが複数台のとき**



■ **配線の種類**

- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm²のケーブルを使う。
- 単線は使わない。

- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF（EM-ECTF）
  - VCT（ECO120）

※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンの据付（電気）工事説明書をご覧ください。
ワイヤードリモコンは「親リモコン」に設定することを推奨します。

お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンや受信部を接続しても、動作します。

付属品

小ネジ M4 × 10（4本）	結束バンド（3個）

仕様

品　番	CZ-10RWRL1
外形寸法	受信部:（高さ）37 mm ×（幅）70 mm ×（奥行）22 mm 操作部:（高さ）55 mm ×（幅）120 mm ×（奥行）16 mm
質　量	受信部:15 g　　操作部:75 g
使用温度・湿度範囲	0 °C ～ 40 °C・20 % ～ 80 % （屋内設置専用）
電　源	受信部:DC5 V（操作部より供給） 操作部:DC16 V（室内ユニットより供給）

取り付ける

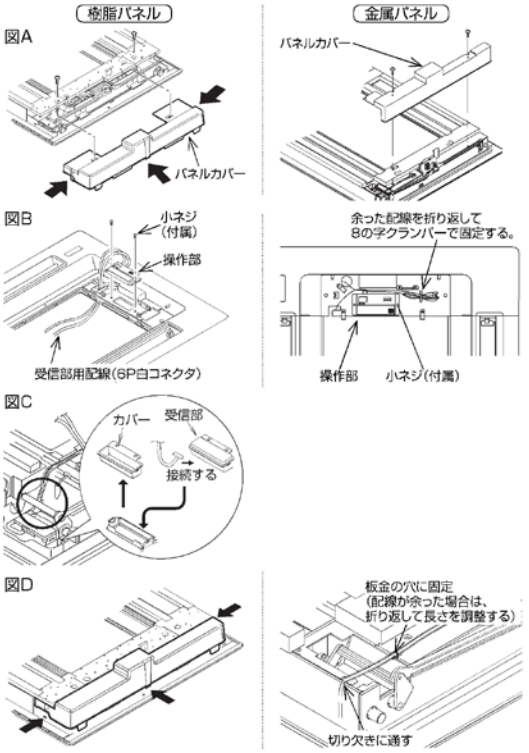
昇降グリルなしの場合（樹脂パネル／金属パネル）

■ 操作部

① ネジを2本はずしてパネル裏側よりパネルカバーをはずします。（図A）
樹脂パネルの場合：矢印の個所にツメがありますので、そこからパネルカバーをはずしてください。
② 操作部を右図の場所に小ネジ2本（付属）で固定してください。（図B）
③ 受信部用配線（6P白コネクタ）をパネル裏側に通してください。

■ 受信部

① カバーをはずします。（図C）
受信部の取り付け位置にカバーが付いていますので、ネジを1本はずしてパネルの表側から押し込んではずします。
② 操作部から出ている受信部用配線（6P白コネクタ）を受信部に接続し、パネルに受信部をはめ込みます。6P白コネクタが奥までしっかりと接続されていることを確認してください。
③ 受信部のリード線をはめ込みます。
樹脂パネルの場合 ルーバーのシャフトに接触しないように整形します。図Cの丸印の部分に配線通し用の溝がありますので、リード線がたるまないよう溝にはめ込んでください。
金属パネルの場合 受信部のリード線をパネルの切り欠きを通して、板金の穴を利用して結束バンドで固定します。（図D）
④ パネルカバーを取り付けます。
樹脂パネルの場合 図Dの矢印の個所のツメを確実にはめ込んでください。
⑤ 操作部のリード線を整形し、結束バンドで固定してください。
⑥ 天井パネルを取り付けてください。

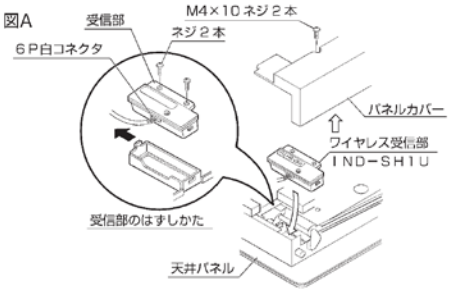


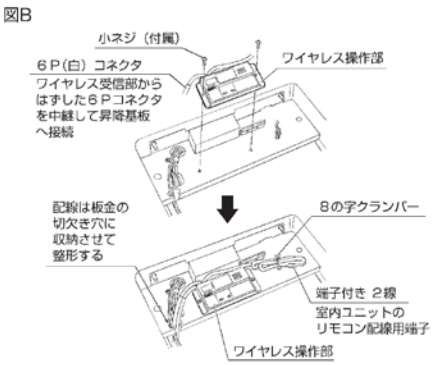
昇降グリルありの場合

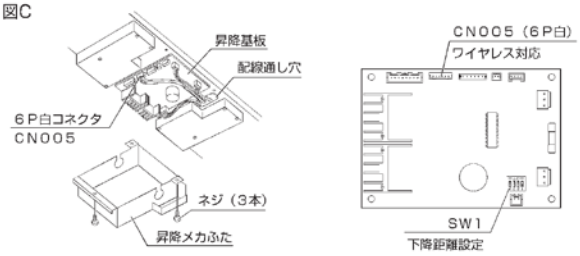
1．昇降グリル受信部をワイヤレス受信部（ＩＮＤ－ＳＨ１Ｕ）に付け換えます。（図Ａ）
※受信部の付け換えは、天井パネルの取り付け作業前に行ってください。
①天井パネルを裏側にして、パネルカバーをはずします。（M4×10 ネジ２本）
②受信部（ネジ2本）をはずしツメ部を矢印（⬅）方向に押しながら昇降グリル受信部を取り出し、６Ｐ白コネクタを根元からはずします。
③ワイヤレス受信部（ＩＮＤ－ＳＨ１Ｕ）を、②ではずした6P(白）コネクタに接続して天井パネルに取り付けます。

2．ワイヤレス操作部を取り付けます。（図Ｂ）
①操作部は天井パネルを表面にして、小ネジ２本（付属）で固定します。
②操作部の端子付き２線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続します。（極性はありません）配線は整形して８の字クランパーで結束します。
③操作部の６Ｐ白コネクタにワイヤレス受信部からはずした６Ｐ白コネクタを接続し、もう一方の６Ｐ白コネクタは昇降基板に接続します。昇降メカふた（ネジ3本）をはずし配線穴を通して昇降基板の6P白（ＣＮ００５）コネクタに接続します。（図Ｃ）

3．その他の電気配線のしかたは、昇降グリル付天井パネルの説明書をご覧ください。

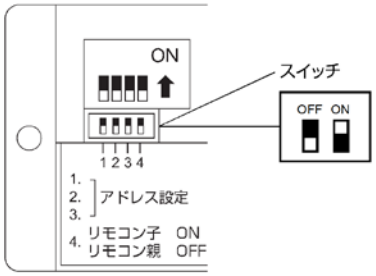






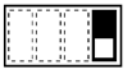
設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定



リモコン親子設定

- リモコンや受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定することを推奨します。

親子設定	親	子
操作部の親子スイッチの位置	 1 2 3 4	1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数の受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスリモコンのアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
操作部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

試運転する

準備：ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。電源を投入した後、約1分間はリモコン操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転モードを終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。（ユニットに無理がかかるため）
- ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
- 暖房／冷房／送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

- 下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。警報の対処方法については、室内ユニットの据付説明書やテクニカルガイドをご覧ください。

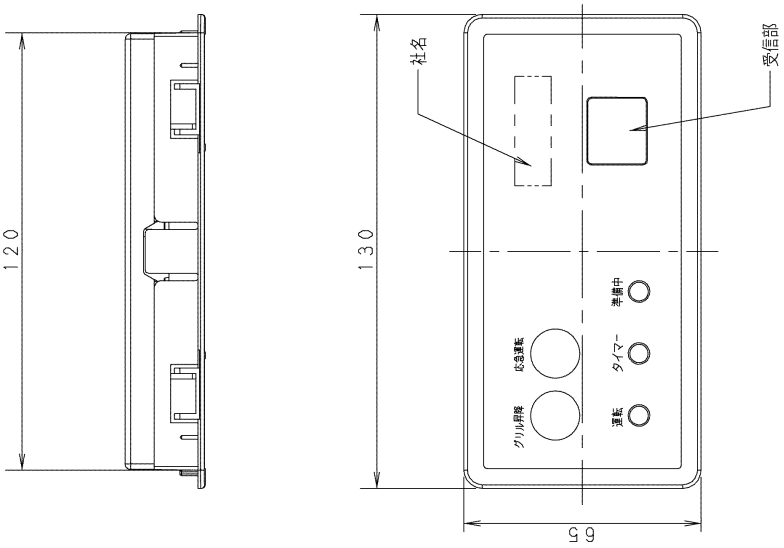
検出内容	警報表示	受信部の表示ランプ 運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01～E03、E08～E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04～E07、E15、E16、E19～E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09～P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02～P08、P15～P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01～F03、F10～F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04～F09、F12～F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01～H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01～L03、L05～L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10～L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01～A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
試運転する		◎	◎	◎	同時

●：消灯／○：点灯／◎：点滅（0.5秒間隔）

ワイヤレスリモコン受信部（１方向天井カセット形、高天井用１方向、天井吊形）

■外形寸法図

外形寸法図



外形寸法図《ワイヤレスリモコン》受信部（1方向形［高天＋カセット］，天吊形）	
品番	CZ－10RWRD1A

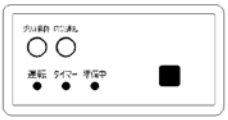
仕様

品番	CZ－10RWRD1A
外形寸法	(高さ) 65mm×(幅) 130mm×(奥行) 22mm
質量	82g
使用温度・湿度範囲	0℃~40℃・20%~80%　※屋内設置専用
電源	DC16V（室内ユニットより供給）

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部
(1方向天井カセット形／高天井用1方向カセット形／天井吊形)



品番 CZ-10RWRD1A

- ●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- ●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
- ●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- ●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- ●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ・電気設備に関する技術基準
  - ・内線規程
  - ・据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は途中接続しない**
  (接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **配線は、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しない**
  (感電、故障の原因)
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  (感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

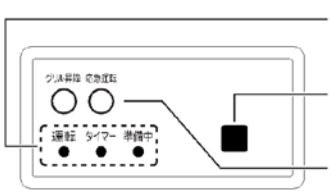
⃠
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - ・結露するところ
  - ・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - ・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - ・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - ・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - ・有機溶剤の飛沫するところ
  - ・電磁波が出る機械のあるところ
  - ・電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

- ●次のような場所に据え付けない。
  - ・直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - ・過度な衝撃や振動のあるところ
  - ・熱源の近くなど
- ●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- ●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- ●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- ●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
- ●配線は、地中に埋設しない。
  (落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

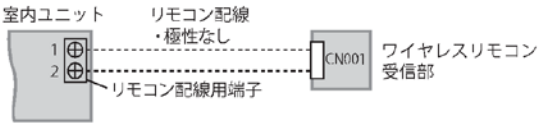
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
● グループ制御時の接続可能台数
・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
● ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

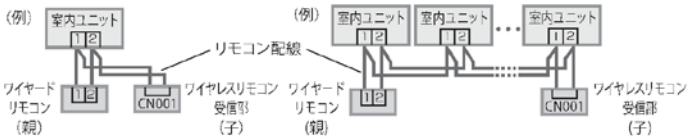
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



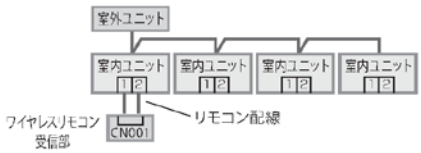
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R410A冷媒機種のみ、R32冷媒機種とR410A冷媒機種や熱交換気ユニットが混在する場合は、すべての室内ユニットにリモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例

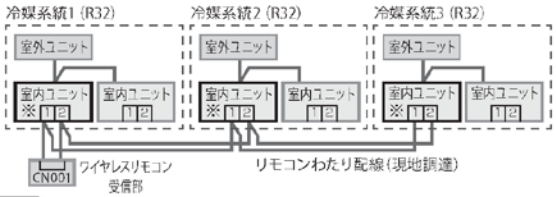


お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例



お知らせ

● ワイヤレスリモコン受信部はリモコンわたり配線上の室内ユニット（※）に接続する必要があります。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、リモコンわたり配線上の室内ユニット（※）とし、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

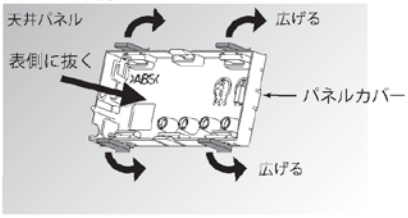
2 据え付ける

お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

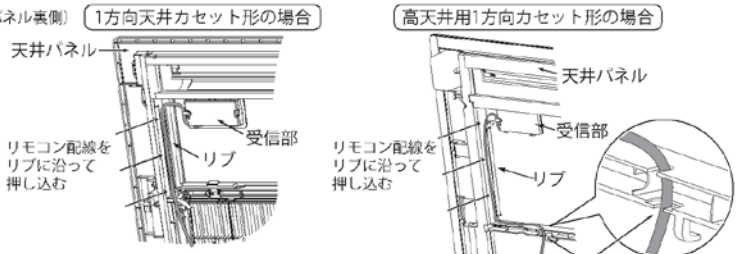
1方向天井カセット形／高天井用1方向カセット形の場合

① ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）の取り付け位置にあるパネルカバーをはずします。（図A）
② 天井パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。
③ リモコン配線をリブに沿って押し込みます。高天井用1方向カセットの場合は、さらに切り欠きに通します。（図B）
④ 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
⑤ リモコン配線は室内ユニット内部の結束バンドで固定します。（図C）
高天井用1方向カセットに取り付ける場合は、結束クランパー（付属）でファンケーシングのラッチ部に固定してください。（図D）
※リモコン配線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
⑥ リモコン配線を室内ユニット電装ボックスの下側の穴から引き込んでリモコン配線用端子に接続します。

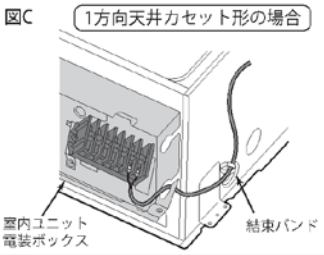
図A
（天井パネル裏側）



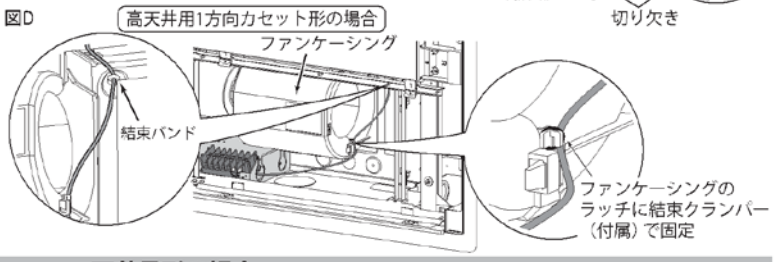
図B
（天井パネル裏側）



図C



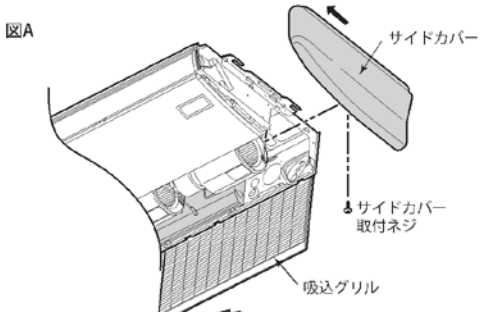
図D



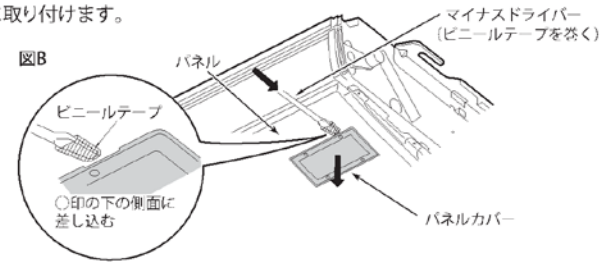
天井吊形の場合

① 吸込グリルを開きます。（図A）
② サイドカバー取付ネジをはずし、サイドカバーを前面へスライドさせてはずします。（図A）
③ 図Bのようにして、ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）の取り付け位置にあるパネルカバーをはずします。（図B）
※力を加えすぎるとパネルにキズをつける恐れがあります。
④ パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。（図C）
⑤ リモコン配線は室内ユニット内部の結束バンドで固定します。（図C）
⑥ リモコン配線を室内ユニット電装ボックスの上側の穴から引き込んでリモコン配線用端子に接続します。
ルーバーモーター等の配線に沿わせて結束バンドで固定します。（図D）
※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。
⑦ 手順①、②ではずしたサイドカバーと吸込グリルを元の状態に取り付けます。

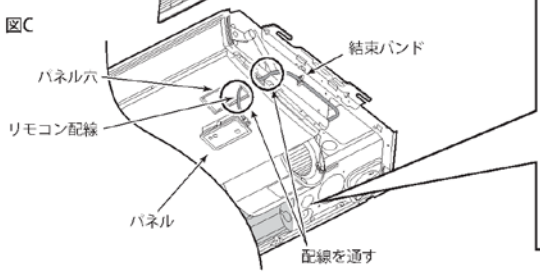
図A



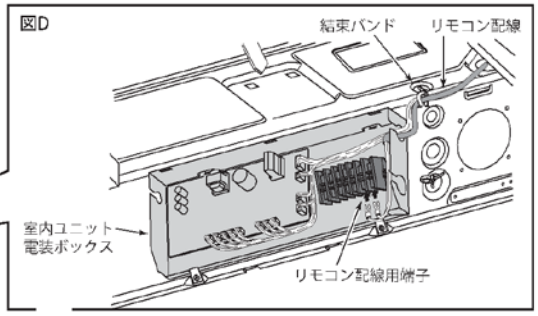
図B



図C



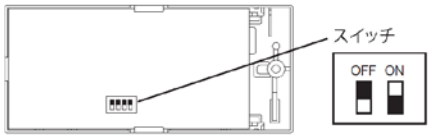
図D



3 設定する

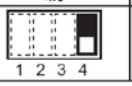
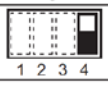
■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを
取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置		

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能						

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約３分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内FEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- 結束クランバー　＜1＞
- 据付（電気）工事説明書　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRD1A
外形寸法	（高さ）65 mm ×（幅）130 mm ×（奥行き）22 mm
質量	82 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

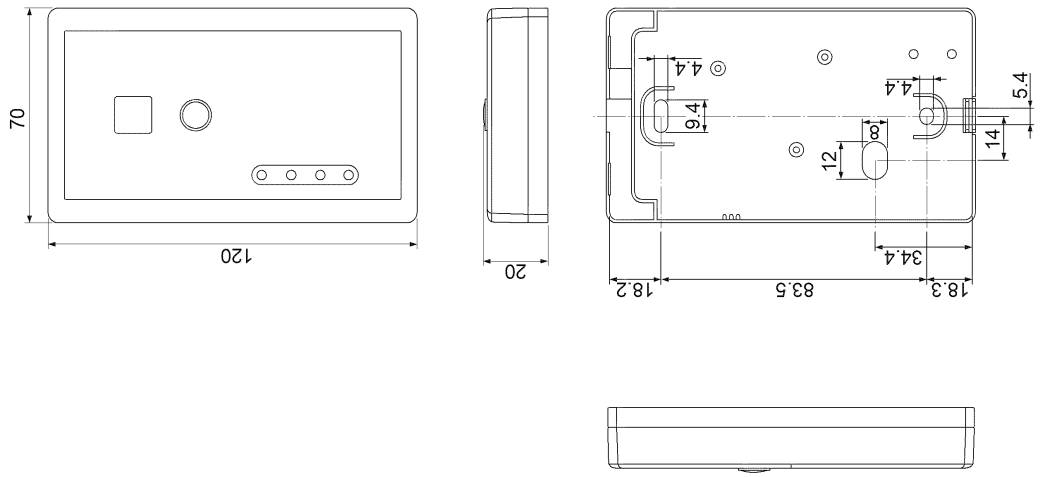
ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）

■外形寸法図

品番	CZ-10RWRC1A	外形寸法図《ワイヤレスリモコン》（別置受信部）

単位：mm

外形寸法図



仕様

品番	CZ-10RWRC1A
外形寸法	（高さ）120 mm × （幅）70 mm × （奥行）20 mm
重量	75g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80%　※屋内設置専用
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）

品番 CZ-10RWRC1A

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⊘	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⊘
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は途中接続しない**
  (接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に接続しない**
  (感電、故障の原因)
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  (感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  (製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

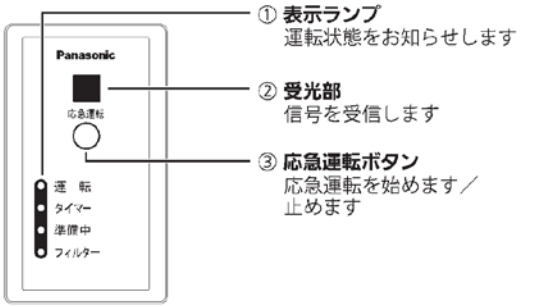
⊘
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
  - 熱源の近くなど
- 床面から1～1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける。
- 複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- 配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
- 配線は、地中に埋設しない。
  (落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

各部の名前



お知らせ

ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

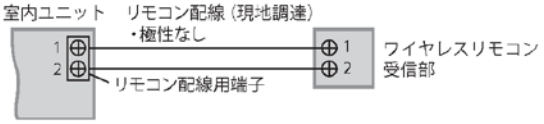
1 配線のしかた

● ケーブルの種類
・柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm²のケーブル（単線は使わない）
・シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
・推奨品：VCTF（EM-ECTF *）/ VCT（ECO120 *）
* エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで

● グループ制御時の接続可能台数
・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）

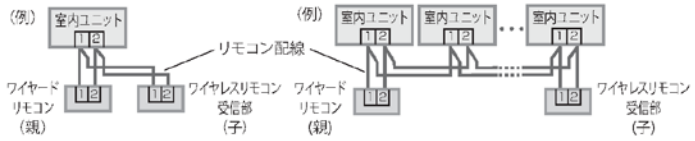
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



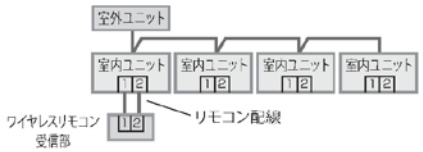
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R410A冷媒機種のみ、R32冷媒機種とR410A冷媒機種や熱交換気ユニットが混在する場合は、すべての室内ユニットにリモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例

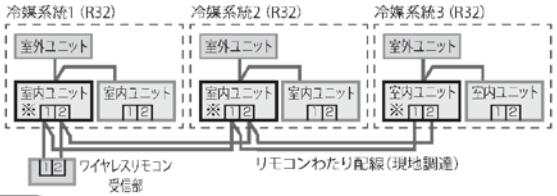


お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例



お知らせ

● ワイヤレスリモコン受信部はリモコンわたり配線上の室内ユニット（※）に接続する必要があります。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、リモコンわたり配線上の室内ユニット（※）とし、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

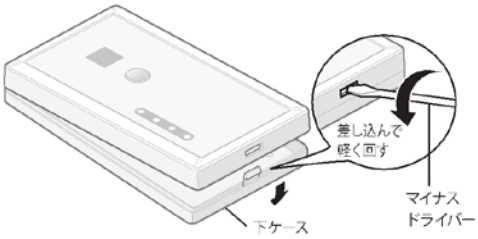
お願い

● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

2 据え付ける

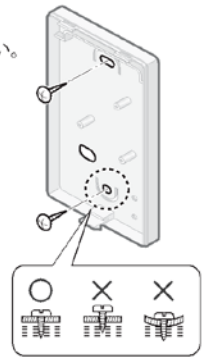
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

手順1 下ケースをはずす



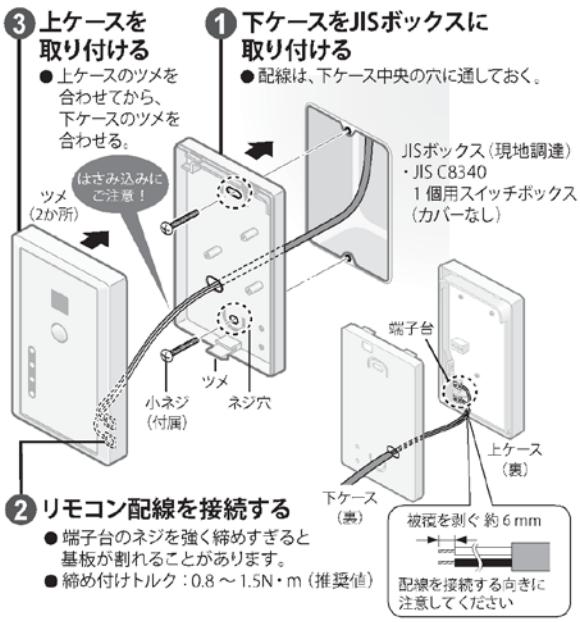
■ 下ケースを取り付けるとき（手順2 ❶）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
（下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

■ 上ケースを取り付けるとき（手順2 ❸）
- 手順2❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
（配線が基板とケースにはさみ込まれ、故障の原因）

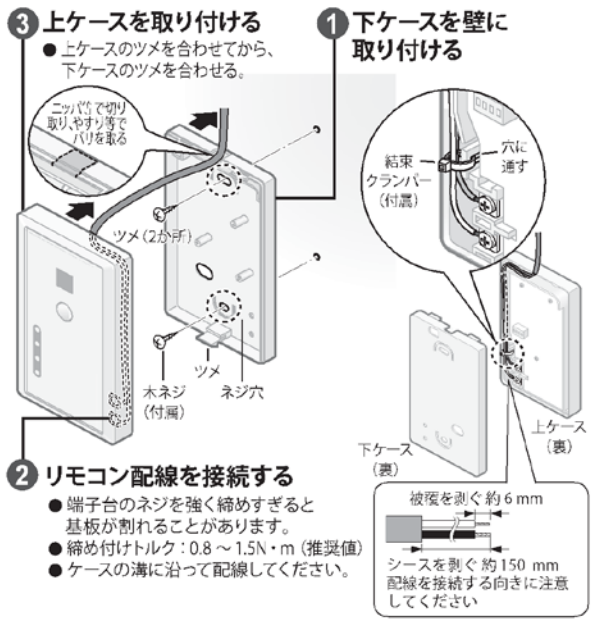


手順2 壁に取り付ける

埋込型の場合

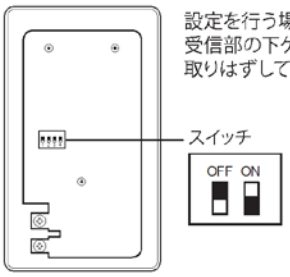


露出型の場合



3 設定する

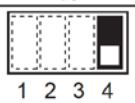
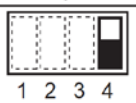
■ リモコン親子設定　■ アドレス設定



設定を行う場合は、受信部の下ケースを取りはずしてください。

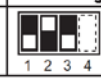
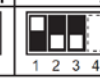
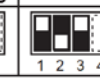
リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	 1 2 3 4	 1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	 1 2 3 4	1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い
- 試運転以外の目的には使わないでください。（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

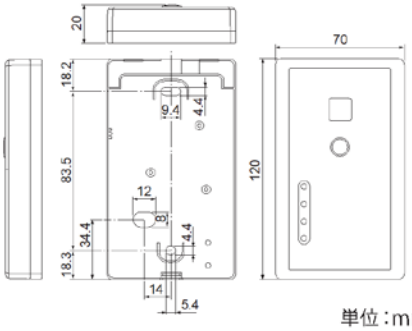
自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		→◎	→ ◎	→ ◎→	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

外形寸法図



単位：mm

付属品

＜＞：個数

- ●小ネジ　M4×25　（埋込型 JISボックス用）　＜2＞
- ●木ネジ　M4×15.5（露出型 壁面用）　＜2＞
- ●結束クランパー　＜1＞
- ●据付（電気）工事説明書　＜1＞

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

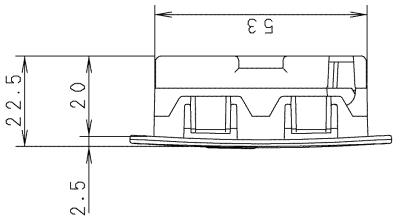
仕様

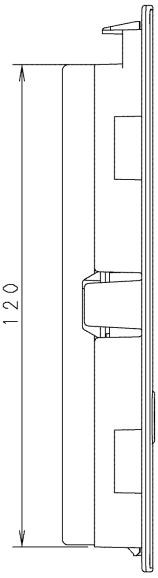
品番	CZ-10RWRC1A
外形寸法	（高さ）120 mm × （幅）70 mm × （奥行き）20 mm
質量	75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

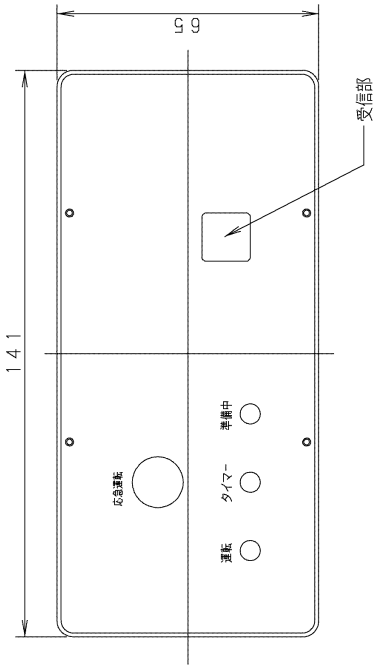
ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形「ナノイーX」搭載機種 受信部）

■外形寸法図

品番	CZ-10RWRT1A
外形寸法図《ワイヤレスリモコン》受信部（天井吊形）	







外形寸法図

仕様

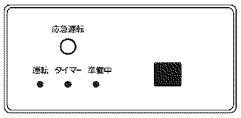
品番	CZ-10RWRT1A
外形寸法	(高さ) 65mm×(幅) 141mm×(奥行) 22.5mm
質量	85g
使用温度・湿度範囲	0℃~40℃・20%~80%　※屋内設置専用
電源	DC16V (室内ユニットより供給)

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形）

品番 CZ-10RWRT1A



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠注意

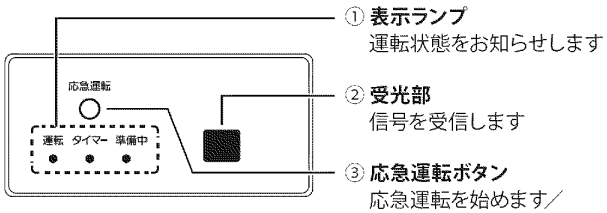
⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 熱源の近くなど
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- 配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
- 配線は、地中に埋設しない。
  (落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

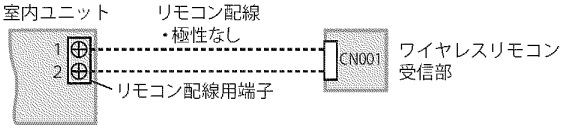
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1配線のしかた

- リモコン配線の総配線長：400 m以内
  ・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
- グループ制御時の接続可能台数
  ・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
- ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

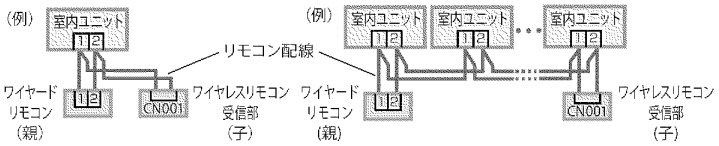
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

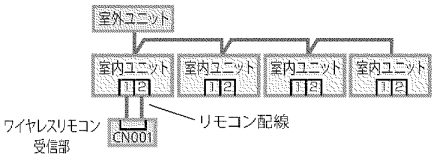
グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R410A冷媒機種のみ、R32冷媒機種とR410A冷媒機種や熱交換気ユニットが混在する場合は、すべての室内ユニットにリモコンわたり配線が必要です。
- リモコン側で渡る配線は禁止です。
- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例

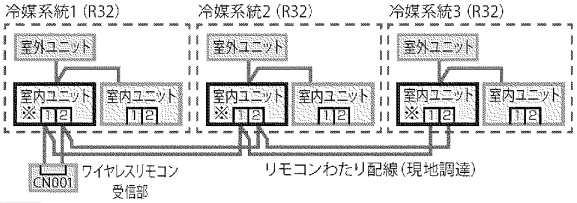


お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種の例



お知らせ

- ワイヤレスリモコン受信部はリモコンわたり配線上の室内ユニット（※）に接続する必要があります。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、リモコンわたり配線上の室内ユニット（※）とし、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

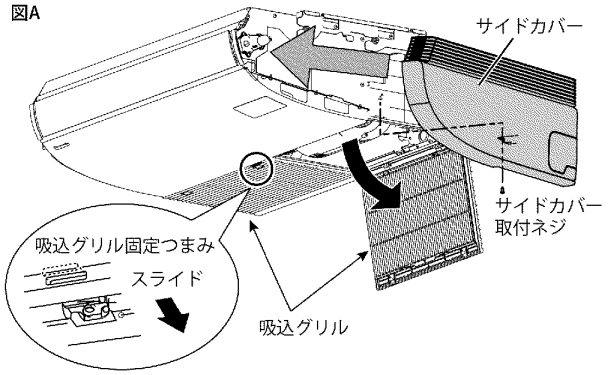
- 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

2 据え付ける

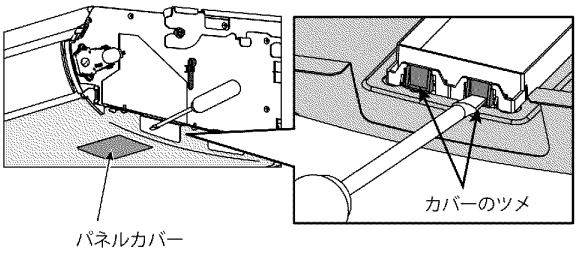
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

① 吸込グリル固定つまみをスライドし、吸込グリルを開きます。(図A)
② サイドカバー取付ネジをはずし、サイドカバーを前面へスライドさせてはずします。(図A)
③ 側面からマイナスドライバーを差し込み、ワイヤレスリモコン受信部(以降、受信部)の取り付け位置にあるパネルカバーのツメ(2か所)を押しながらカバーをはずします。(図B)
④ パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。(図C)
※リモコン配線を通したあと、再生クランパーを締めてください。
⑤ 再生クランパーへリモコン配線を通し、リモコン配線入り口から室内ユニット内部へ引き込みます。(図C)
⑥ サドル(3か所)へリモコン配線を通し、室内ユニット電装ボックスへ引き込みます。(図D)
※電源線とリモコン線は分けて引き込んでください。
※ドレンアップキットを取り付けた状態でも配線の引き回しは変わりません。
⑦ リモコン配線をリモコン配線用端子へ接続し、配線固定具へ結束クランパー(付属)を通してリモコン配線を固定します。(図E)
※2線・4線式の場合は室内外信号線と共締めしてください。
※ワイヤードリモコンを併用される場合は、2本のリモコン配線を共締めしてください。
⑧ 手順①、②ではずしたサイドカバーと吸込グリルを元の状態に取り付けます。

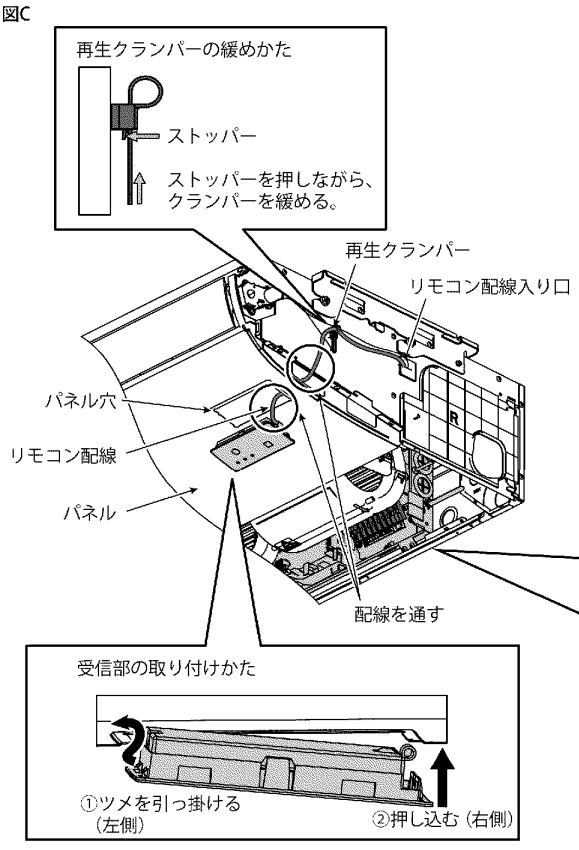
図A



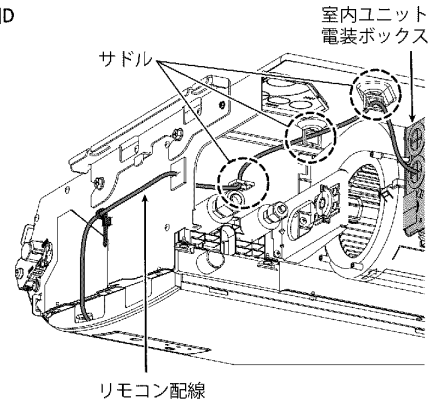
図B



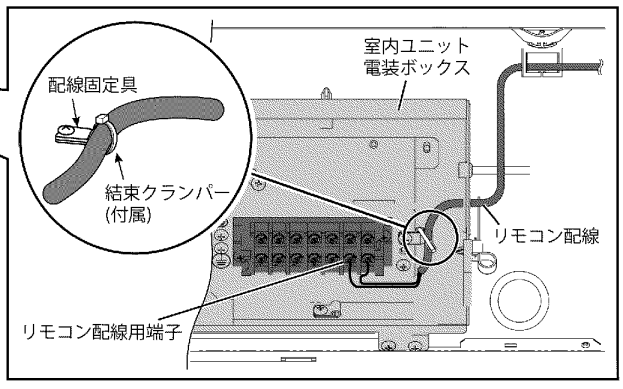
図C



図D



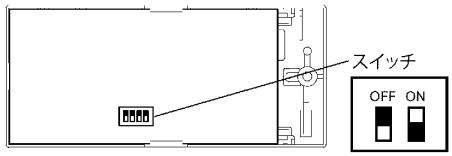
図E



3 設定する

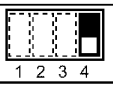
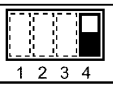
■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを
取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	 1 2 3 4	 1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

（お願い）
- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- 結束クランパー　＜1＞
- 据付（電気）工事説明書　＜1＞

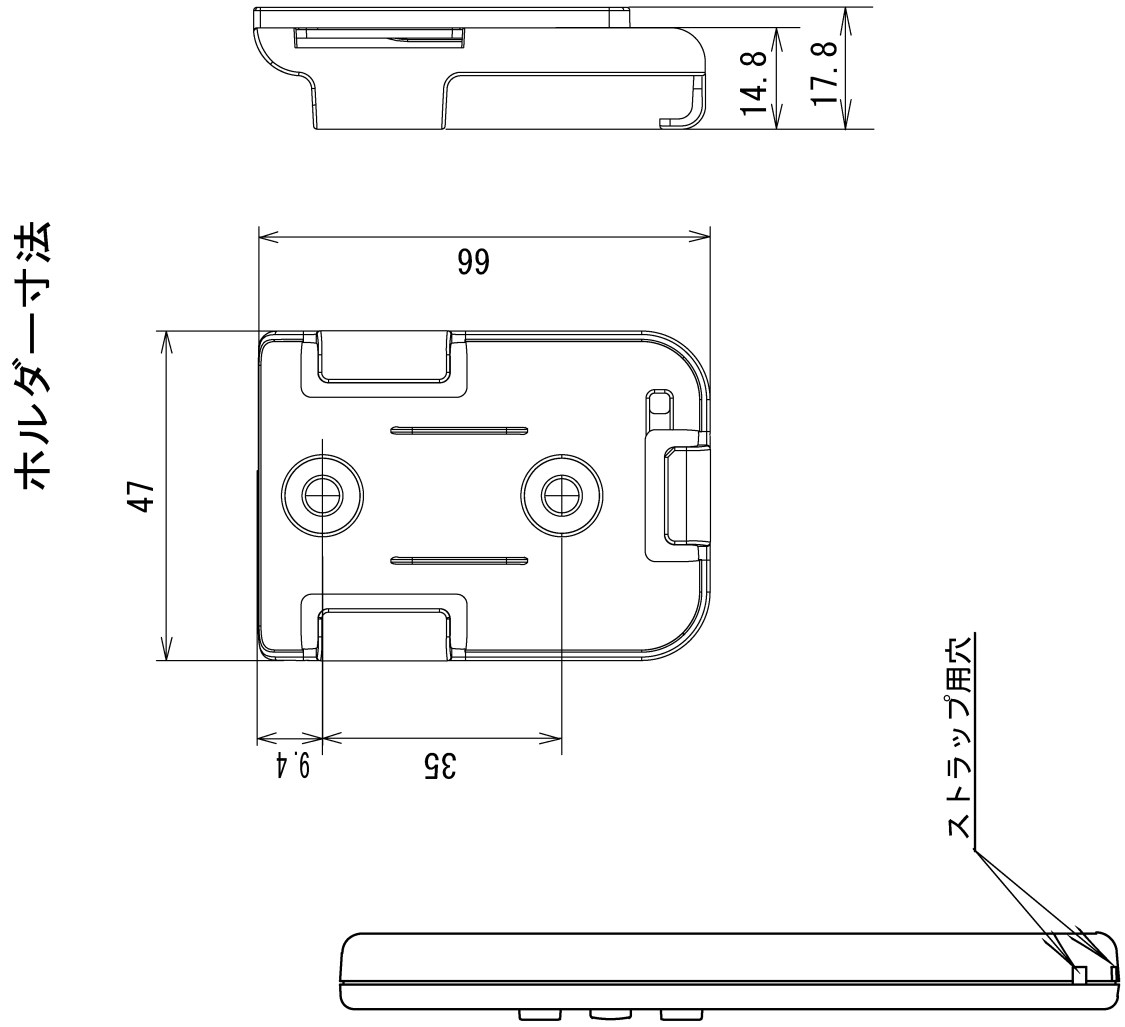
仕様

品番	CZ-10RWRT1A
外形寸法	（高さ）65 mm ×（幅）141 mm ×（奥行き）22.5 mm
質量	85 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

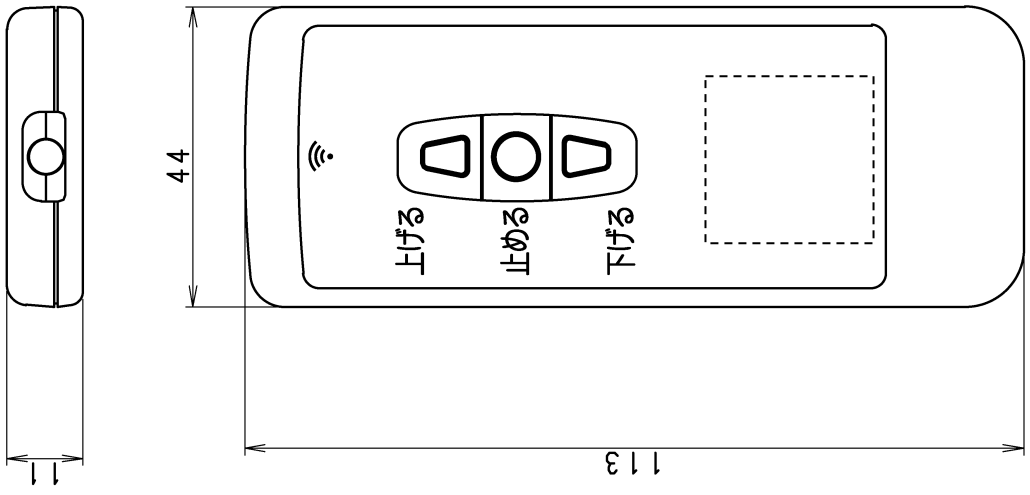
（４）昇降操作専用リモコン（ＣＺ－１０ＲＷＵ３Ｇ）

■外形寸法図

品番	CZ-10RWU3G
外形寸法図（昇降操作専用リモコン）	



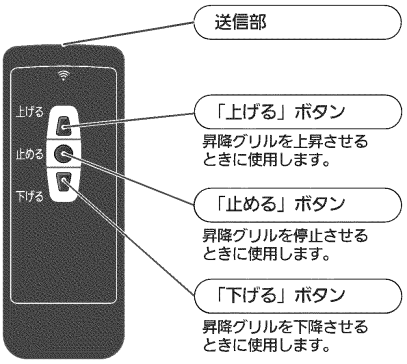
ホルダー寸法



ワイヤレスリモコン寸法図

■操作説明

各部のなまえとはたらき

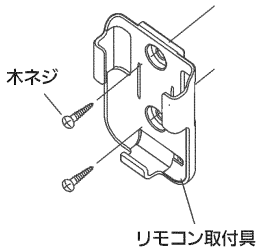


リモコンの取り扱いかた

●送信部は、室内ユニット本体の受信部に向けてください。
●受信できる距離の目やすは、約 4mです。
●受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
●直射日光やストーブの近く等に置かないでください。
●落としたり、なげたり、水洗い等しないでください。
●電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）または、インバーター方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかないでください。変色、故障の原因になることがあります。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布で仕上げてください。

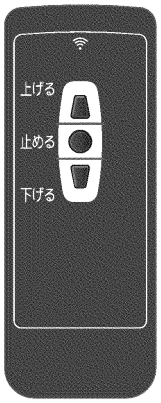
壁等に取り付けてご使用になる場合

リモコン取付具を付属の木ネジで止めます。



操作のしかた

●電源投入時、初めて操作した場合は 下げる を押しても上昇動作をします。
●操作するときは、エアコンの運転を停止してから行ってください。
●昇降グリルが作動中に逆方向の操作をすると、数秒停止後に指定の動作をします。
●昇降操作専用リモコンを室内ユニットの昇降グリル用受信部に向けて操作してください。



下降させるとき

操作ボタンの 下げる を押してください。

昇降グリルは、ゆっくりと降りて来ます。
障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

操作ボタンの 止める を押してください。

昇降グリルの下降、上昇が停止します。

止める を押さないで下げて行くと、
設定された位置に自動的に停止します。
※昇降グリルの高さは変更することができます。変更したい場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

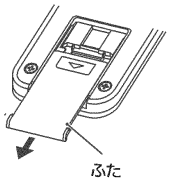
上昇させるとき

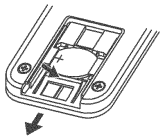
操作ボタンの 上げる を押してください。

昇降グリルが上昇します。昇降グリルが天井パネルにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

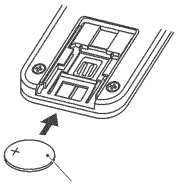
電池の入れかた

①ふたをはずします。
②電池を入れます。
　CR2025形リチウム電池をお使いください。
　⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
③ふたを取り付けます。
●電池の交換は約１年が目やすです。受信部に近づかないと、受信できない場合は、電池を交換してください。
●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。
●ご使用後の電池は指定の場所に捨ててください。





使用済みの電池をはずすときは矢印の部分を押しながら引き出してください。



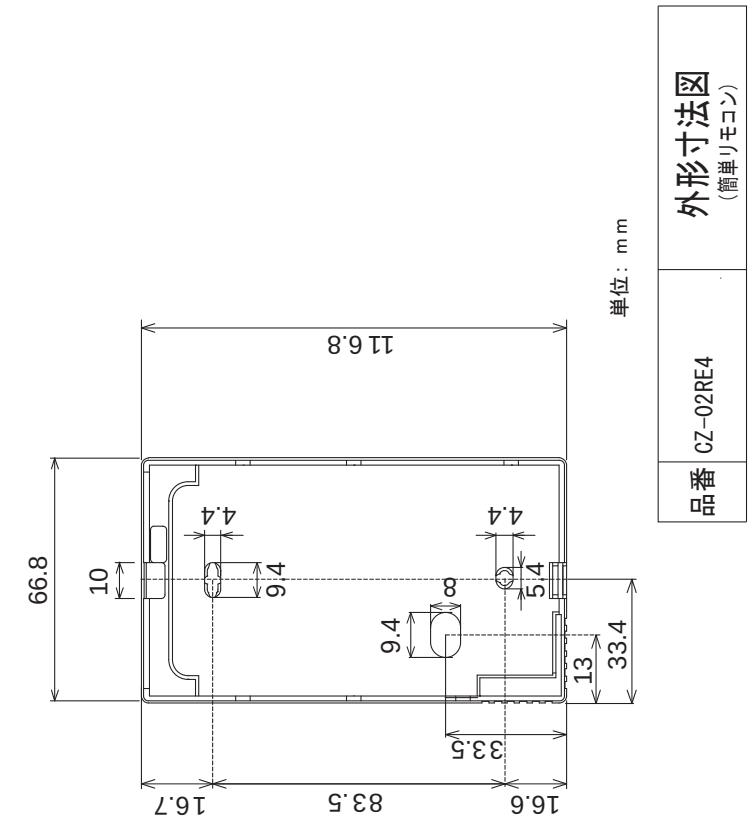
CR2025形リチウム電池
(平らな面が⊕極)

⚠ 警　告

●乳幼児の手の届く所にリモコンを置かない。
　電池を取り出し、誤って飲み込むおそれ
●電池は⊕⊖を逆に入れない。
　ショートによる発火や液漏れの原因

（5）簡単リモコン（ＣＺ－０２ＲＥ４）

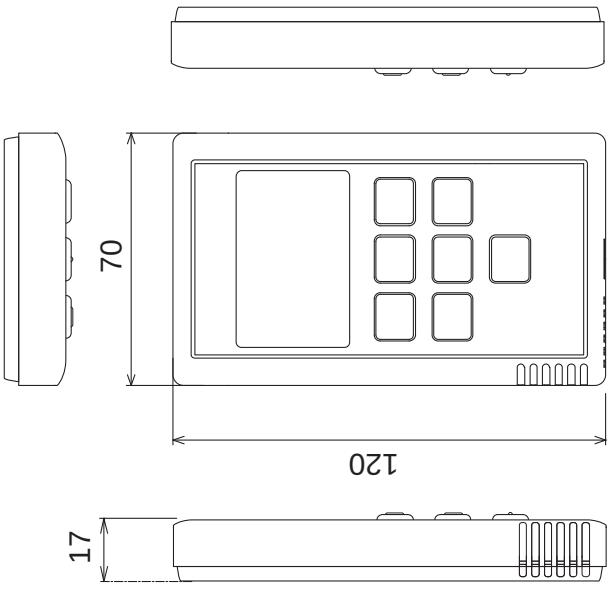
■外形寸法図



●仕様

品番	CZ-02RE4
外形寸法	(高さ)120 mm ×(幅)70 mm ×(奥行)17 mm
質量	90g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃・20% ～ 80%（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続台数	室内ユニット 最多8台

●外形寸法図



このたびは簡単リモコンをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
  本書は簡単リモコンの取扱説明書です。室内ユニットなどに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は室内ユニットなどに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

Panasonic

取扱説明書

簡単リモコン

品番 CZ-02RE4

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る （水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る （水漏れや感電・火災の原因）

リモコンを分解しない
禁止 （感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）
必ず守る

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- 漏電しゃ断器がたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

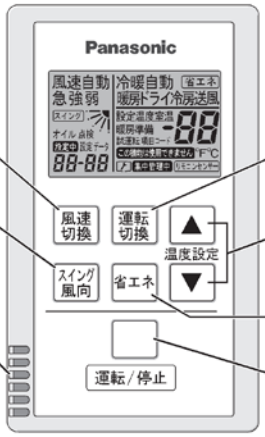
ぬれた手で操作しない
禁止 （感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止 （感電・火災の原因）

使用上のお願い

- ●次のような場所に設置しない
  - ・湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる / 熱源の近く / 結露する（故障の原因）
  - ・ノイズが発生する（誤動作の原因）
- ●ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（変色や故障の原因）
  - ・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よくしぼってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。

各部の名前 (操作部)



風速切換ボタン

スイング／風向ボタン
フラップの角度を変更します。

リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコンの周辺温度を感知させることもできます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。（グループ制御時は設定しないでください。）

運転切換ボタン

温度設定ボタン
▲ 設定温度を 1 ℃ずつ上げます。
▼ 設定温度を 1 ℃ずつ下げます。

省エネボタン
省エネ運転／通常運転を切り換えます。

運転／停止ボタン

お知らせ

- 設定できない運転モードは表示されません。
- 風向の表示は、実際のフラップの角度とは異なります。
- 停電からの復帰後「運転／停止」ボタンを押すと、停電前の内容で運転が再開します。
- 省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房/暖房などの能力は低下します。
  （室外機の運転が制限値以下の場合は、制限されません。）
- 機器によっては設定できる温度範囲が異なります。
- 風向表示が出ない機種があります。

各部の名前 画面表示

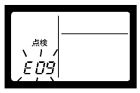
風速 自動、風速 急、風速 強、風速 弱のいずれかを表示します。

保護動作時および異常時に表示します。

エンジンオイルの交換が必要です。
（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）

室内ユニットの情報を読み込み中に表示します。点滅表示が消えるまで、操作ができません。

異常時の警報を表示します。
警報表示の例



風向を表示します。

暖房準備表示中は、室内送風機が停止、または微風運転になります。冷房専用ユニットには、表示されません。

標準の室内ユニット
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。
冷暖自動の表示については、基本の使いかた 冷暖自動について をご確認ください。

冷房専用の室内ユニット
ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。

省エネ運転中に表示します。

設定温度を表示します。

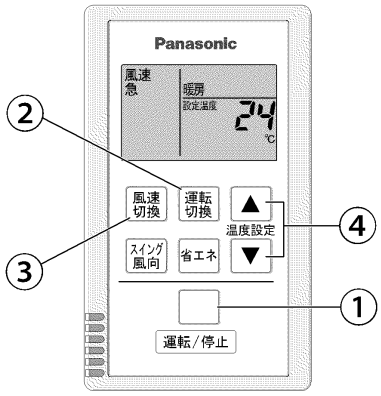
試運転中に表示します。

リモコンの温度センサー使用時に表示します。

集中管理中に表示します。遠隔側でリモコン操作禁止を設定している場合、運転/停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき、“集中管理中”が点滅し、変更を受け付けません。

基本の使いかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風



電源 漏電しゃ断器は、ユニットの説明書を参照し、事前に入れてください。

① **運転/停止** ボタンを押します。

② **運転切換** ボタンを押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。
※モード表示は、室内ユニットにより異なります。

③ **風速切換** ボタンを押して、お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。（送風時は自動になりません。）

④ **温度設定** ボタンを押して、お好みの温度にします。

	上限（℃）	下限（℃）
冷暖自動	27	17
暖房	30*1	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。
※一部の室内ユニットは上下限温度が異なります。
*1：一部の機種の上限温度は26℃です。

停止 **運転/停止** ボタンを押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットのファンは、しばらく運転することがあります。

●通常の方法で停止できないとき
漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店へお知らせください。

●暖房時、「風速 弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「風速 急」、「風速 強」に切り換えてみてください。
●温度センサーが 感じる温度は室内ユニットの吸込口付近の温度ですので、据え付け状態により室温とは多少異なります。設定温度は目安としてください。
●冷房専用タイプは、冷暖自動、暖房運転ができません。

冷暖自動について

設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。冷暖自動は、冷暖フリータイプ（3WAY）や同一冷媒系統内の全室内ユニットが1つのグループ制御になっている場合のみ可能です。ガスヒートポンプエアコンをお使いの方は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

運転できないとき

「運転／停止」ボタンを押しても運転が始まらないときは…
修理ご依頼の前に、ご確認を！

「集中管理中」のメッセージが点滅表示されたとき	● 集中管理中のため、操作はできません。
停電していませんか？	● 復帰したら、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
漏電しゃ断器が「切」になっていませんか？	● 故障で漏電しゃ断器が「切」になっているかも知れないので、管理責任者に確認してください。問題がなければ、漏電しゃ断器を「入」にしてから、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「設定中」が点滅していませんか？	● 室内ユニットの情報を読み込んでいるため点滅表示が消えるまで、操作ができません。点滅が消えてから、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「点検」が表示されていませんか？	● 警報表示が次の場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。 （警報表示、消灯） [・E04　・E06　・P10　・P20　・H06] → 再度、表示しなければ、そのままご使用ください。 → 再度、表示されたときや、上記以外の警報表示（E、F、H、L、Pの文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と警報表示、室内ユニットNo.をご連絡ください。

・サービスに連絡が必要な場合は、室内ユニットもしくは室外ユニットの取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

仕様

品番	CZ-02RE4
外形寸法	（高さ）120 mm × （幅）70 mm × （奥行）17 mm
重量	90 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・ 20 %～80 % （屋内設置専用）
電源	DC16 V （室内ユニットより供給）
接続台数	室内ユニット 最多 8 台

据付(電気)工事説明書

簡単リモコン

品番 **CZ-02RE4**

●据付(電気)工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付(電気)工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

付属品

小ネジ M4×25(2本)	木ネジ M3.8×16(2本)	結束バンド(1個)	取扱説明書(1冊)
 (埋込型 JISボックス用)	 (露出型 壁面用)		

※リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠警告	⚠注意	⃠	❗
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	してはいけない内容(禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

⃠ 分解や改造は行わない
(感電・火災の原因)

❗ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
(感電・火災等の原因)

❗ 据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う
(感電・火災等の原因)

❗ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付(電気)工事説明書

(感電・火災の原因)

❗ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

(発熱・火災等の原因)

❗ 据付は、リモコンの重さに十分耐える所に設置する
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

(落下の原因)

❗ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う
(感電の原因)

⚠注意

⃠ 次のような場所で使わない
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ
- 結露するところ

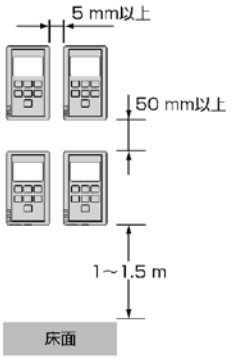
(感電・火災等の原因)

⃠ ぬれた手で操作しない
(感電の原因)

⃠ 水洗いしない
(感電・火災の原因)

設置上のご注意

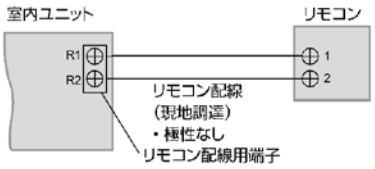
設置場所など



- 床面から1～1.5 mの高さに設置する（室内の平均的温度を感じる場所）
- 床面に対して垂直に設置する
- 複数並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
- 次のような場所に設置しない
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際等
  - 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側等
  - 結露するところ（防湿・防滴仕様ではないため）
  - 近くに熱源があるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
- テレビ・ラジオ・パソコンから1 m以上離す。（映像の乱れ・雑音の原因）

リモコン配線

■ **配線図**



■ **総配線長：**500 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

■ **接続可能台数**
リモコン：最多2個
室内ユニット：最多8台

■ **配線の種類**

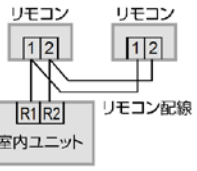
- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm²のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- シース部含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使う。
- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF(EM-ECTF)
  - VCT(ECO120)

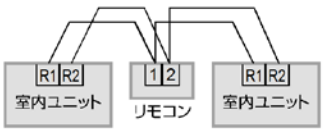
※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

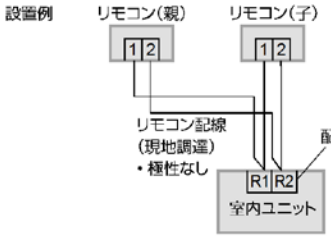
※以下のような渡り配線は禁止です。



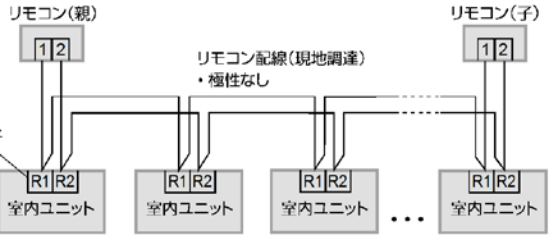


リモコンを親子で設置するとき

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



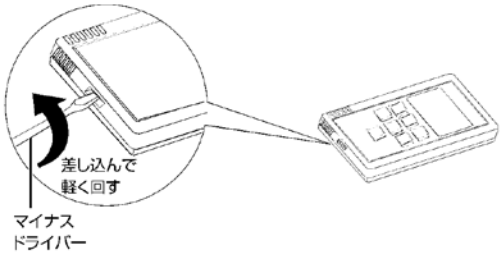
設置後、「設定する」（裏面）の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
CZ-10RT4/CZ-10RT4Aと併用する場合、本機を「子リモコン」に設定してください。

お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

取り付ける

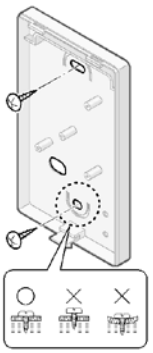
1 下ケースをはずす



お願い

下ケースを取り付けるとき
- ネジは、下ケースにあたるまで締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

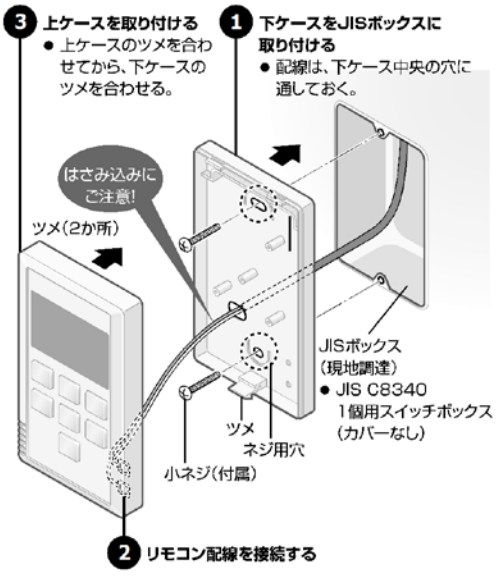
上ケースを取り付けるとき
- 手順2 ❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納しないでください。
  （配線はさみ込みによる基板破壊の原因）
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
  （配線はさみ込みによる基板破壊の原因）



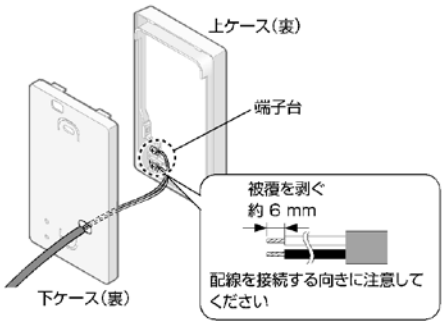
2 壁に取り付ける

埋込型の場合

- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス（現地調達）に取り付けてください。

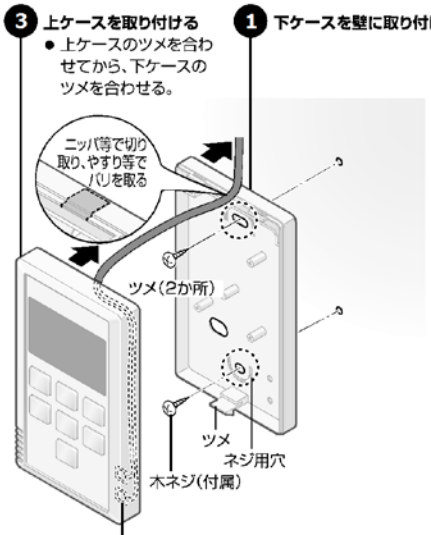


2 リモコン配線を接続する

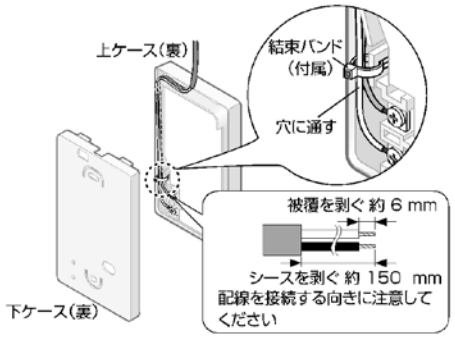


露出型の場合

- リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。



2 リモコン配線を接続する
- ケースの溝に沿って配線する



設定する

■ リモコン親子設定　■ 室温センサー設定

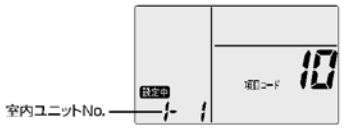
リモコン親子設定

リモコンを2個設置するときに設定します。
①「運転切換」+「省エネ」ボタンを同時に4秒以上押しつづけるとリモコン表示部が右図になります。
②「▲」、「▼」ボタンを押して、設定変更する項目コードに切り換え、「運転切換」ボタンで決定します。
③「▲」、「▼」ボタンで設定データを変更し、「運転切換」ボタンを押すと設定完了します。
④「スイング風向」ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。
※1つ前に戻るには、「省エネ」ボタンを押してください。
※データはリモコンに記憶されます。電源を切ってもデータは消えません。
※工場出荷時は【親】が設定されています。

項目コード	項目	設定データ	
		00 00	00 01
01	リモコン親子	子	親

室温センサー設定

リモコンの室温センサーで室温を測るとき設定します。
①「運転切換」+「省エネ」+「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押しつづけると
リモコン表示部が右図になります。
② グループ制御を行っているときは「▲」「▼」ボタンを押して親機の室内ユニットNo.を選択します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
③「運転切換」ボタンを押して室内ユニットNo.を決定します。
④「▲」、「▼」ボタンで項目コードを変更し、「運転切換」ボタンで決定します。
⑤「▲」、「▼」ボタンで設定データを変更し、「運転切換」ボタンで決定します。
⑥「スイング風向」ボタンを押すと設定を終了し再起動します。
※室温センサーをリモコン側に設定したとき、親リモコンの画面右下に リモコンセンサー が表示されます。
※1つ前に戻るには、「省エネ」ボタンを押してください。
※データは室内ユニットに記憶されます。電源を切ってもデータは消えません。
※リモートセンサーと併用する場合は、設定データを室内ユニット側にしてください。



項目コード	項目	設定データ		
		00 00	00 01	
32	室温センサー	室内ユニット側	リモコン側	

試運転する

①「運転停止」ボタンと「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押してください。
液晶表示部に"試運転"と表示されます。
②「運転停止」ボタンを押すと試運転開始します。
もう一度押すと試運転を終了します。
③ 試運転終了後は再度「運転停止」ボタンと「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押します。
液晶表示部から"試運転"が消えていることを確認してください。

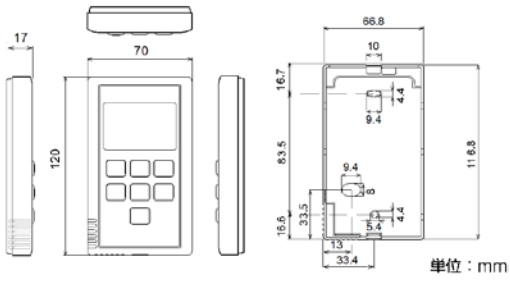
お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）
- ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
- 暖房/冷房/送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

仕様

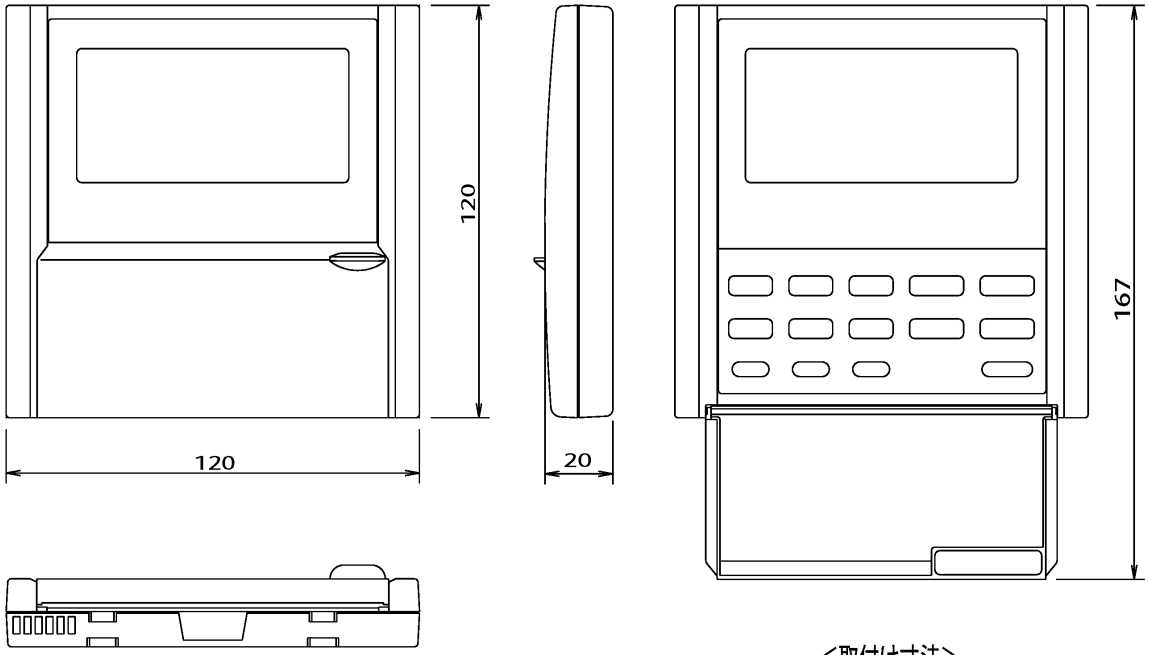
品　番	CZ-02RE4
外形寸法	(高さ)120 mm × (幅)70 mm × (奥行き)17 mm
質　量	90 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 % (屋内設置専用)
電　源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接続台数	室内ユニット　最多8台

外形寸法



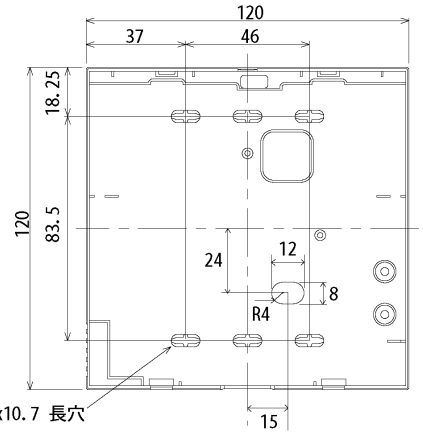
単位：mm

■外形寸法図



お願い）　ＪＩＳ－Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

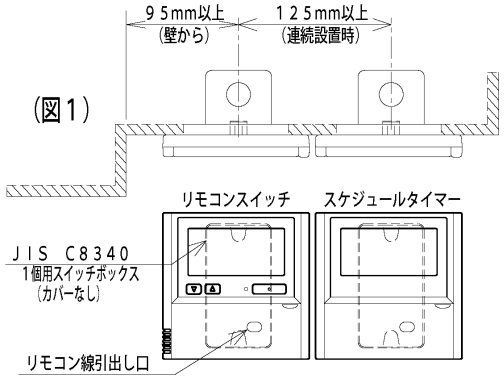
<取付け寸法>



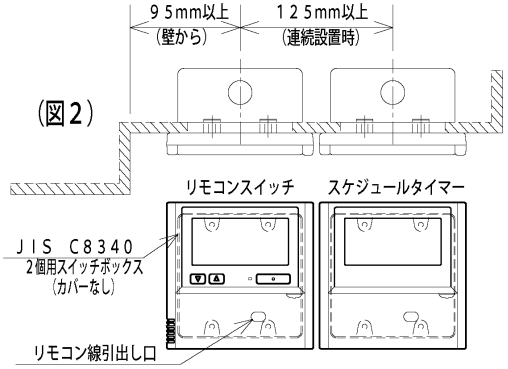
連続設置の場合の取付け寸法

＊リモコンスイッチとスケジュールタイマーを壁面に連続して取付ける場合は、図１・図２の取付け寸法を守ってください。

（図１）



（図２）



＊リモコンスイッチとスケジュールタイマーを上下に連続設置する場合は、保守の関係上、隙間は２５mmを守ってください。
＊リモコン上部の隙間は１０mm以上確保してください。

品番	CZ-10ESW3	外形寸法図（スケジュールタイマー）

■取扱説明

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警 告	取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注 意	取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

●図記号の意味

「禁止」を表します。	必ず実行してほしい行為を表します。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警 告

ご自分で据え付けはしない

据え付けは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。

使用上の注意事項

⚠ 警 告

リモコンを絶対に分解しない

内部を手で触れると感電や故障の原因になることがあります。
内部の点検調整は、お買いあげの販売店にご依頼ください。

ぬれた手でスイッチを操作しない、リモコンをぬらさない

リモコンをぬらさないようにご注意ください。
感電や火災、故障等の原因になります。

異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して漏電しゃ断器を切る

異常のまま運転を続けると感電や火災、故障等の原因になります。
お買いあげの販売店にご相談ください。

移設･修理時の注意事項

⚠ 警 告

改修はしない

改修は絶対にしないでください。
また、修理はお買いあげの販売店にご相談ください。
修理に不備があると感電や火災の原因になります。

移動再設置は、販売店に相談する

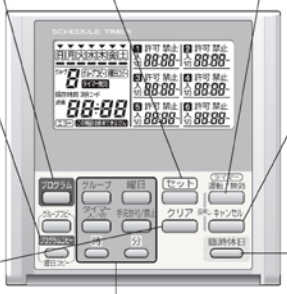
製品を移動再設置する場合は、お買いあげの販売店または専門業者にご相談ください。
据え付けに不備があると感電や火災の原因になります。

使用･据え付け上の注意事項

●エアコンは必ず当社指定の製品を使用してください。
●強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
●製品をベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかないでください。
変色、故障の原因になることがあります。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布で仕上げてください。
●湿気・油分や振動の多いところ、直射日光のあたるところ、熱源の近くには設置しないでください。故障の原因になります。
●ノイズの発生するところには設置しないでください。誤動作の原因になります。

各部のなまえとはたらき

操作ボタン



セットボタン
プログラム運転時刻のセットに使います。
※プログラムボタンを押さないとプログラム内容を確定しません。

タイマー運転／無効ボタン
一時的にプログラムタイマーを無効にしたい場合に使います。2秒以上押し続けることで、液晶に タイマー無効 が表示され、再度このボタンを長押しするまでプログラムタイマー機能は無効になります。

プログラムボタン
プログラム内容の設定開始とプログラム内容の確定に使います。

プログラムコピーボタン
プログラム内容をグループ単位や曜日単位でコピーするのに使います。
☞ P.11

キャンセルボタン
設定中のプログラム内容やプログラムコピー、休日設定を取り消すときに使います。2秒以上押し続けることで、現在行っている設定やコピー動作を確定せずに通常画面に戻ります。

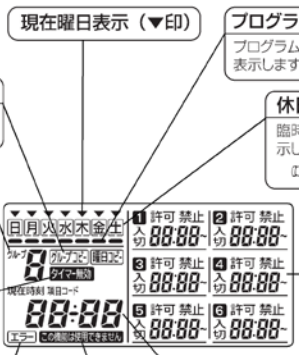
クリアボタン
設定中のプログラム内容を消去するのに使います。
※プログラムボタンを押さないと消去を確定しません。

臨時休日ボタン
臨時休日を設定するのに使用します。
☞ P.15

設定ボタン	プログラム運転の内容や、現在時刻の設定に使います
グループ	プログラム運転を行うグループの設定に使います。
曜 日	現在曜日およびプログラム運転を行う曜日の設定に使います。
タイマー入／切	タイマーによってエアコンを運転／停止させるときに使います。
手元許可／禁止	タイマーによって手元リモコンの操作を許可／禁止させるときに使います。
時　分	現在時刻およびプログラム運転を行う時刻の設定に使います。

※据付時の設定によっては上記機能が使用できない設定になっています。その場合、使用できないボタンを押すと液晶に この機能は使用できません と表示されます。
詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

液晶表示



現在曜日表示（▼印）

プログラム予約表示（ー印）
プログラム運転をセットした曜日を表示します。

コピーモード表示
プログラム内容をコピーするときに表示します。

休日セット表示（□印）
臨時休日をセットした曜日を表示します。
☞ P.15

グループ表示
最多8つのグループを切り換えて表示します。

プログラム内容
セットしたプログラムタイマーを表示します。
また、グループコピーの際にはコピー元／コピー先を表示します。

タイマー無効表示
プログラムタイマー運転が無効になっているときに表示します。

エラー表示
タイマー時刻の設定に誤りがあったときに表示します。

現在時刻表示
現在の時刻を24時間制で表示します。
また、各種設定中のモードを表示します。

この機能は使用できません表示
使用できない機能を選択したときに表示します。

ご使用方法

スケジュールタイマーをお使いになるときは、下記の手順によって設定を行ってください。

1. スケジュールタイマーの初期設定を行う

「ｾｯﾄｱｯﾌﾟ」点滅中はスケジュールタイマーが接続しているエアコンと初期通信をしています。しばらくお待ちください。

●現在の時刻と曜日の設定を行います ☞ P.5 P.6

2. スケジュールタイマーのプログラム運転設定を行う

●プログラム運転設定を行います ☞ P.7

ご使用方法

現在時刻の設定

例：現在時刻が12時45分の場合

1.「セット」ボタンを押しながら「時」ボタンを押し、現在時刻の時を合わせます。

❶「セット」ボタンを押しながら
❷「時」ボタンを押します。
❸「セット」ボタンを離して、確定します。

※❷のとき「時」ボタンを長押しすると早送りになります。

2.「セット」ボタンを押しながら「分」ボタンを押し、現在時刻の分を合わせます。

❶「セット」ボタンを押しながら
❷「分」ボタンを押します。
❸「セット」ボタンを離して、確定します。

※❷のとき「分」ボタンを長押しすると早送りになります。

〈ご注意〉
時刻が未設定の場合「88:88」が表示され、プログラム内容が設定されていても動作しません。

ご使用方法

曜日の設定

例：水曜日の場合

1.「セット」ボタンを押しながら「曜日」ボタンを押し、現在の曜日に合わせます。

❶「セット」ボタンを押しながら
❷「曜日」ボタンを押します。
「▼」が点滅して順次移動します。

※「セット」ボタンを離したとき曜日が確定し点灯表示になります。

ご使用方法

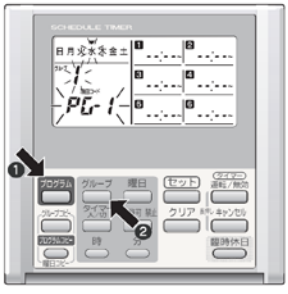
プログラムの設定

グループおよび曜日ごとに、1日6個までのプログラム運転をセットできます。また、1つのプログラム運転で下記の動作を組み合わせて設定できます。
・エアコンの運転／停止
・リモコンによる手元操作の許可／禁止
すでに設定してあるプログラム内容を変更する場合も以下の手順で行います。

※据付時の設定によってはリモコン手元操作の許可／禁止が使用できない設定になっています。その場合、「手元許可／禁止」ボタンを押すと液晶に この機能は使用できません と表示されます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

設定の例：

1. プログラム運転を行うグループを選択します。



❶「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在曜日が点滅し、現在時刻表示が項目コード PG-1 の点滅に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して、プログラム運転を行うグループを選択します。

※選択可能なグループ数は据付時に設定されていますので、据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

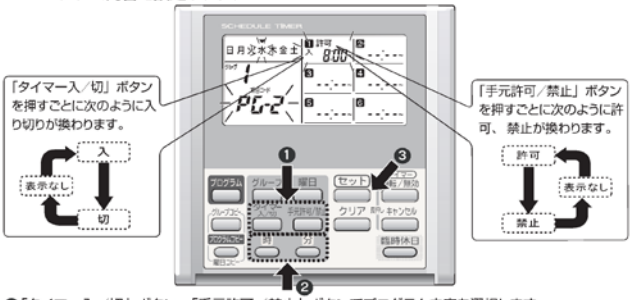
2. プログラム運転を行う曜日を選択します。

❶「曜日」ボタンを押してプログラム運転を行う曜日を選択します。
❷「セット」ボタンを押すとプログラム 1 の設定時刻が点滅します。また、項目コード が PG-2 の点滅に変わります。

〈ご注意〉
プログラムの設定中に、設定を途中でキャンセルしたい場合は「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けてください。通常画面に戻ります。

ご使用方法

3. プログラム内容を設定します。



❶「タイマー入／切」ボタン、「手元許可／禁止」ボタンでプログラム内容を選択します。
❷「時」・「分」ボタンで動作時刻を設定します。
❸「セット」ボタンを押すとプログラム 1 の内容で確定（点滅→点灯）し、同時にプログラム 2 の設定に移ります。上記を繰り返すことで 2 ～ 6 を設定することができます。
（「セット」ボタンを押すと、プログラム内容を時間の早い順に自動的に並べ替えます。）
設定中 エラー が点滅表示した場合は、9ページ「●エラー点滅について」をご参照ください。

※据付時の設定によっては「手元許可／禁止」の機能を選択できない設定になっています。この場合は「タイマー入／切」のみ設定可能です。
※プログラム内容を設定しない状態で「セット」ボタンを押すと、プログラム 1 が点滅表示になり、設定の変更が行えます。また、プログラム 6 を設定した状態で「セット」ボタンを押しても、同じようにプログラム 1 が点滅表示になります。

4. プログラム内容を確定します。

●最後に「プログラム」ボタンを押すとプログラム内容を確定し、通常画面に戻ります。
※「プログラム」ボタンを押さないで「キャンセル」ボタンを2秒長押しすると、設定内容は確定しません。

5. 同様に、他のグループおよび曜日のプログラム内容を設定してください。

すでにセットした内容を他のグループや曜日にコピーできます。☞ P.11

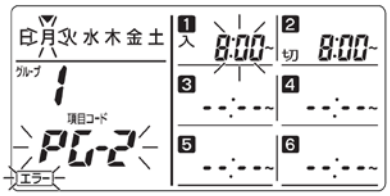
ご使用方法

●エラー点滅について

同じ時刻に複数のプログラムをセットした場合、エラーが点滅し設定できません。

修正方法

例：

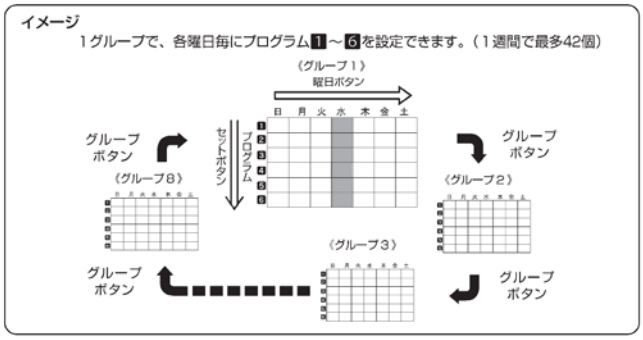


1.「セット」ボタンを押すごとに同じ時刻のプログラム（上記の例で1と2）が切り換わりますので、修正するプログラムを選択します。
2. 時刻がかさならないように「時」・「分」ボタンで設定を変更します。
3.「セット」ボタンを押して、エラー表示が出ないことを確認します。
4.「プログラム」ボタンを押して変更完了です。

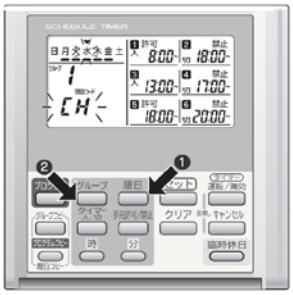
ご使用方法

プログラム内容の確認

プログラムした各グループおよび曜日の運転時刻を確認することができます。



1. 曜日とグループを選択します。



❶「曜日」ボタンを押していくと順次各曜日のプログラム内容を表示します。
❷「グループ」ボタンを押すと、現在選択している曜日の他の各グループのプログラム内容を表示します。
※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

2. 確認を終了します。

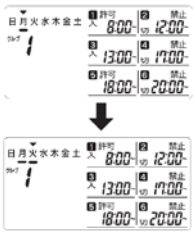
●「クリア」ボタンを押すと通常画面に戻ります。
※「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けても通常画面に戻ります。

ご使用方法

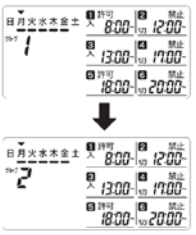
プログラム内容のコピーのしかた

●曜日コピー
すでに設定されている他の曜日のプログラムをコピーすることができます。
●グループコピー
すでに設定されている他のグループのプログラムを1週間分まとめてコピーすることができます。

例：曜日コピー
（月曜日の内容を火曜日にコピー）

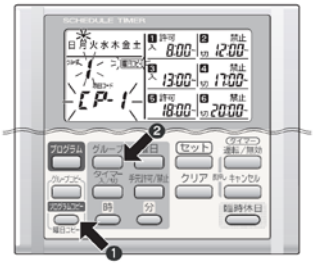


例：グループコピー
（グループ1の内容をグループ2にコピー）



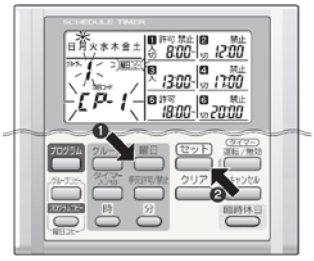
曜日コピーのしかた

1. 曜日コピーを行うグループを選択します。



❶「曜日コピー」ボタンを押すとグループ番号とコピーモード、現在曜日表示「▼」が点滅し、現在時刻表示が項目コード[P-1]の点滅表示に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して曜日コピーを行うグループを選択します。
※戻る場合は「クリア」ボタンを押してください。

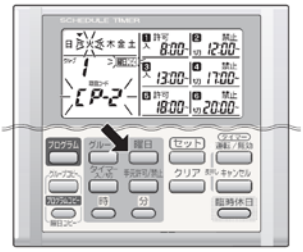
2. コピー元を選択します。



❶「曜日」ボタンを押すごとに現在曜日表示「▼」が移動しますので、コピー元になる曜日に合わせます。
❷「セット」ボタンを押すとコピー元を確定し、コピー先の選択画面になります。
※戻る場合は「クリア」ボタンを押してください。

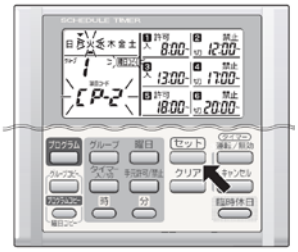
ご使用方法

3. コピー先の曜日を選択します。



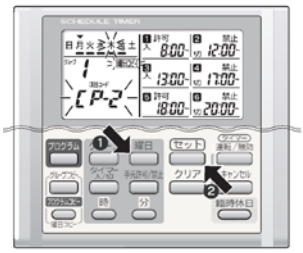
●現在時刻表示が[P-2]の点滅表示に変わり曜日表示が点滅しますので、「曜日」ボタンでコピー先の曜日を選択します。
※戻る場合は「曜日コピー」ボタンを押してください。

4. プログラム内容をコピーします。



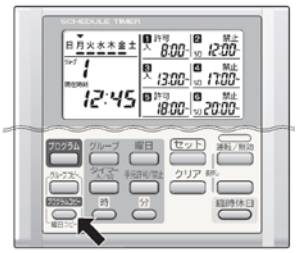
●「セット」ボタンを押すと、プログラム予約表示「－」が表示されます。

5. 引き続き他の曜日にコピーできます。



❶ 他のコピー先の曜日を「曜日」ボタンを押して選択します。
❷「セット」ボタンを押すとプログラム予約表示「－」が表示されます。上記を繰り返すことで、他の曜日に連続してコピーすることができます。
※設定中に「クリア」ボタンを押すと、プログラム予約表示「－」が消えてコピーが取り消されます。

6. プログラムコピーを確定します。



●「曜日コピー」ボタンを押すとプログラムコピーが確定し、通常画面に戻ります。

〈ご注意〉
すでにプログラムされている曜日をコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。曜日コピーの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けることでプログラムコピーの「曜日コピー」ボタンを押す前の状態に戻ります。
（そこまでの変更やコピー作業はすべてキャンセルされます）

ご使用方法

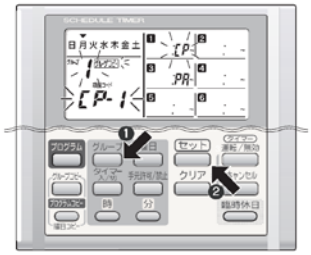
グループコピーのしかた

1. グループコピーを行うグループを選択します。

●「グループコピー」ボタンを押すとグループ番号とコピーモードが点滅し、現在時刻表示が項目コード［P-1］の点滅に、プログラム1がコピー元を示す［P（コピー）の点滅表示に変わります。

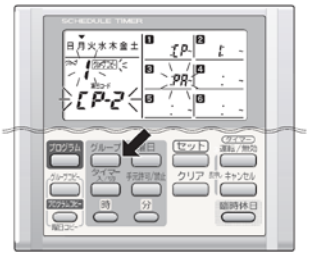
※この機能は使用できません が点灯した場合、選択可能なグループ数は据付時に設定されていますので、据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。

2. コピー元を選択します。



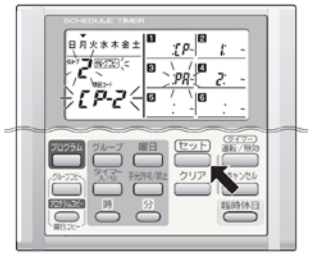
❶「グループ」ボタンでコピー元となるグループを選択します。
❷「セット」ボタンを押すと、コピー先の選択画面になります。

3. コピー先のグループを選択します。



●項目コードが［P-2］の点滅に変わり、プログラム2にコピー元のグループがセットされ、プログラム3がコピー先を示すPR（ペースト）の点滅表示になります。
「グループ」ボタンを押してコピー先グループを選択します。

4. コピー先を決定します。

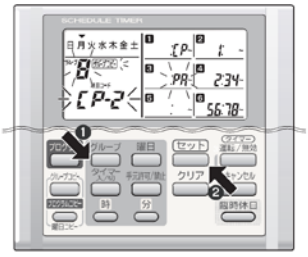


●「セット」ボタンを押すと、プログラム4のエリアにコピー先のグループが表示されます。

※コピー先のグループとして1～4を選択した場合はプログラム4のエリアに、5～8を選択した場合はプログラム6のエリアに表示されます。

ご使用方法

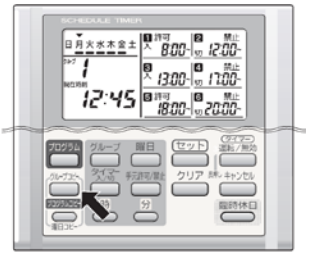
5. 引き続き他のグループにコピーできます。



❶他のコピー先のグループを「グループ」ボタンを押して選択します。
❷「セット」ボタンを押すとコピー先にコピーできます。
上記を繰り返すことで、他のグループに連続してコピーすることができます。

※コピー先のグループとして1～4を選択した場合はプログラム4エリアに、5～8を選択した場合はプログラム6のエリアに表示されます。
※設定中に「クリア」ボタンを押すと、直前に選択（予約）したコピー先のグループが消えてコピーが取消されます。

6. プログラムコピーを確定します。



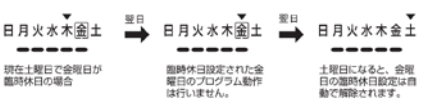
●「グループコピー」ボタンを押すとプログラムコピーが確定し、通常画面に戻ります。

〈ご注意〉
●すでにプログラムされているグループをコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。
●グループコピーの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けることで、プログラムコピーの「グループ」ボタンを押す前の状態に戻ります。
（そこまでの変更やコピー作業はすべてキャンセルされます）

ご使用方法

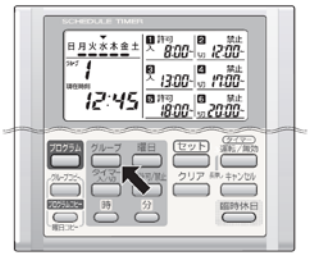
臨時休日の設定

臨時休日を設定した曜日のプログラム内容を一度だけ無効にすることができます。



※現在曜日に臨時休日を設定した場合、次週のプログラム運転が取り消されます。
（プログラムによって運転していても停止にはなりません）

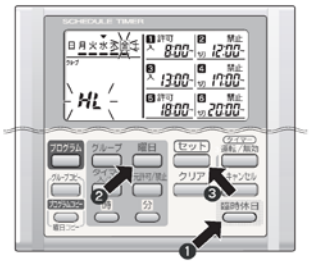
1. グループを選択します。



●「グループ」ボタンを押して臨時休日を設定したいグループを選択します。

※据付時の設定によってはグループ1のみをご使用していただく設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

2. 臨時休日になる曜日を設定します。

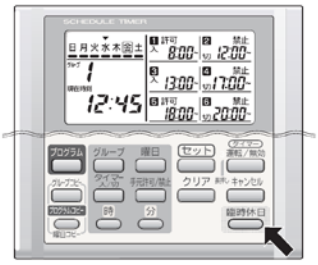


❶「臨時休日」ボタンを押してください。
現在時刻表示がHLの点滅に変わり、現在の曜日表示が点滅します。
❷「曜日」ボタンで曜日を選択します。
❸「セット」ボタンを押してください。
曜日表示に臨時休日を示す枠（［］）が表示されます。

※引き続き他の曜日に臨時休日を設定したい場合は❷、❸を繰り返してください。
また、取り消したい場合は、曜日を選択して「クリア」ボタンを押してください。

ご使用方法

3.「臨時休日」ボタンを押して確定します。



●セットした臨時休日を確定し、通常画面に戻ります。

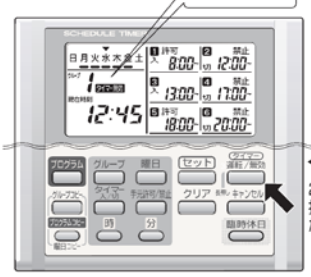
タイマー運転無効の設定

タイマー運転無効を設定すると、プログラム内容を無効にすることができます。
（全グループ、グループごと）

●タイマー運転無効に設定すると、再度下記の操作を行うまでプログラム運転を行いません。

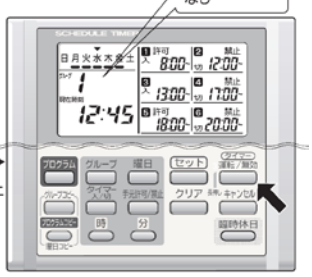
※据付時の設定によってはグループごと、または全グループの2通りありますので「グループ」ボタンを押して確認してください。

プログラムの無効



2秒以上押してください

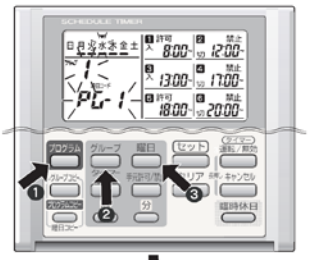
プログラムの有効



ご使用方法

プログラムの取り消しかた

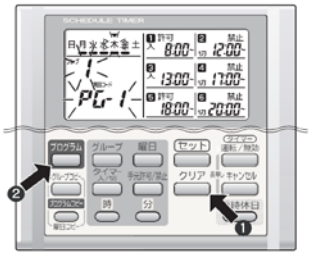
プログラム内容を取り消したい曜日を選択します。



❶「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在の曜日表示が点滅し、現在時刻表示が項目コードPG-1の点滅に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して、消去したいグループを選択します。
❸「曜日」ボタンを押して、消去したい曜日を選択します。

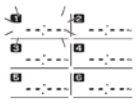
※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。
※「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けたときは、「プログラム」ボタンを押す前の状態に戻ります。（そこまでの操作はすべてキャンセルされます）

〈曜日単位での消去〉
選択した曜日の全てのプログラムを消去します。

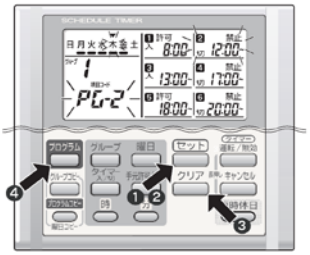


❶「クリア」ボタンを押します。
プログラムの1から6の内容がすべて消去され、下図のような表示になります。
❷「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常画面に戻り、プログラム予約表示の「－」が消えます。

例：上の内容から全ての内容をクリアした後の表示



〈曜日内の個別プログラムの消去〉
選択した曜日の一部のプログラムだけを消去します。



❶「セット」ボタンを押して個別プログラム消去画面に移ります。
❷「セット」ボタンを押して消去したいプログラムを選択します。
❸「クリア」ボタンを押します。
❹「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常画面に戻ります。

例：上の内容から2をクリアした後の表示

知っていただきたいこと

停電について

エアコンが停電して電源が復帰した場合は、エアコンが運転していた場合は停止します。
また、リモコンが手元禁止になっていた場合は電源が復帰してから数分間は手元許可に戻ります。

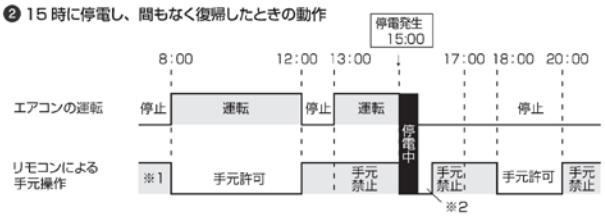
●停電が復帰した後の時刻のプログラム運転から有効になります。
●プログラム内容は、スケジュールタイマーに内蔵している不揮発性メモリでバックアップしますので、クリアされることはありません。また、現在時刻と現在曜日は内蔵の電池により、最大100時間までバックアップします。

スケジュールタイマーの設定（例）

❶ 通常動作

※1　前日の設定によって手元許可が手元禁止のいずれかになります。

❷ 15時に停電し、間もなく復帰したときの動作



※1　前日の設定によって手元許可が手元禁止のいずれかになります。
※2　停電復帰後の数分間は手元許可になります。

知っていただきたいこと

スケジュールタイマーとエアコンの動作について

エアコンの運転は、スケジュールタイマーから行われるプログラム運転と、接続されたリモコンやシステムコントローラー等による動作のいずれかになります。

スケジュールタイマーの設定（例）

❶システムコントローラー等からの操作がない場合の動作
●リモコンが手元許可のときはリモコンから運転／停止が行えます。（後押し優先）

※1　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。
※2　すでに手元禁止になっていますので、手元禁止のまま変化しません。
※3　翌日以降に手元許可を設定するまで手元禁止を継続します。

❷システムコントローラー等からの操作がある場合の動作
●リモコンが手元許可のときはリモコンからの運転／停止が行えます。（後押し優先）
●システムコントローラー等から設定した手元許可／禁止（集中1～4）は、プログラム運転によって解除されます。

※1　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。

■据付工事

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また、“据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

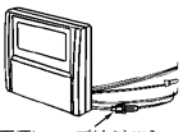
⚠ 警 告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
●据付工事は、本書に従って確実に行ってください。
据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び本書に従って施行してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注 意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●厨房や工場等、油分を含んだ雰囲気中への設置はしないでください。
●直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
●エレベーターや自動ドア、工業用ミシン等のノイズの発生が予想される機器の近傍には設置しないでください。
●可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ、水や油(機器油を含む)の飛沫するところ、有機溶剤の飛沫するところでのご使用は避けてください。
●スケジュールタイマーの近くで暖房器具を使用しないでください。プラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

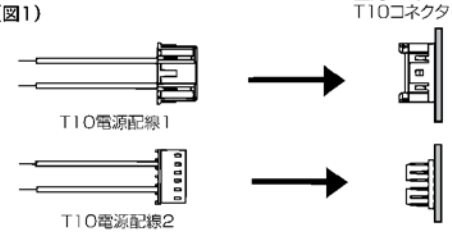
スケジュールタイマー付属部品

番号	付属部品	個数
①	スケジュールタイマー本体(集中制御機器)  (電源ヒューズ付き)※1	1
②	T10電源配線1 ※2 	1
③	T10電源配線2 ※2 	1

番号	付属部品	個数
④	電源配線 システムコントローラー接続用 	1
⑤	小ネジ M4×25 	2
⑥	ワイヤージョイント 	6
⑦	取扱説明書 	1
⑧	据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ 	1

※1　ヒューズが配線の短絡や誤配線、過電流で溶断した際には125V／0.1Aのものと交換してください。
※2　室内コントロール基板のT10コネクタの形状に合わせてご使用ください。（図1）

(図1)



スケジュールタイマーの取り付けかた

〈注1〉室内外操作線や入出力配線は、電源配線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤作動の原因となりますので避けてください。
〈注2〉スケジュールタイマーはノイズ発生源から離して据付けてください。
〈注3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

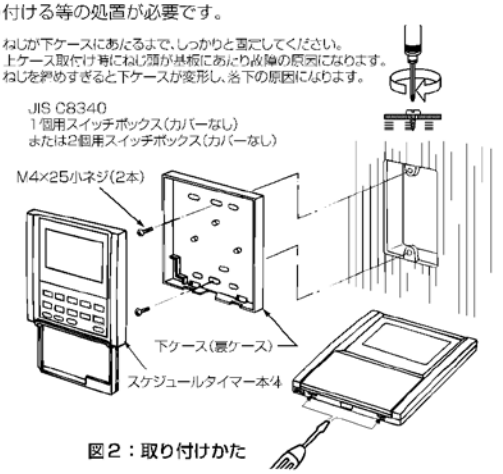


図2：取り付けかた

①スケジュールタイマー本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、下ケースをはずしてください。
②スケジュールタイマーの下ケースを付属のM4小ネジ(2本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押し開けてください。
固定のときは、下ケースが変形しないように取り付けてください。
③スケジュールタイマー本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

連続設置の場合の取付方法

スケジュールタイマー（リモコン・システムコントローラー等）を壁面に取付ける場合は、図3、図4、図5の取付け方法を守ってください。

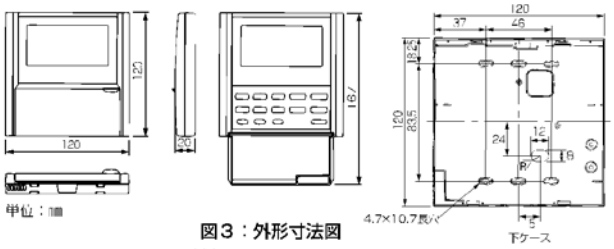


図3：外形寸法図

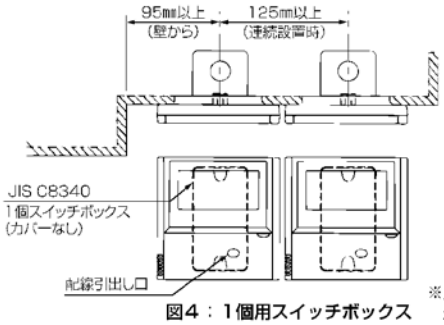


図4：1個用スイッチボックス

※上下に連続設置する場合、隙間は50mm以上としてください。

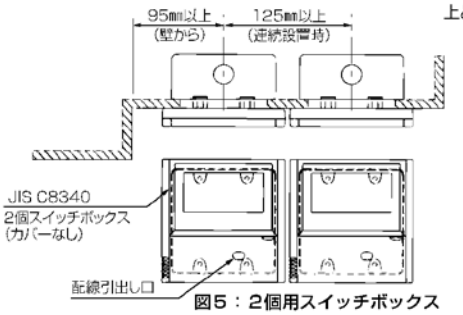


図5：2個用スイッチボックス

スケジュールタイマーの配線のしかた

●配線を行うまえに

- **室内外ユニットに「端子台U1・U2（室内外操作線接続）」がない場合集中制御機器（スケジュールタイマー）を使用するためには、S-LINKアダプター等が必要です。**
- 現地配線は0.5㎟～2㎟を使用します。
- 室内外操作線は、リモコン配線および電源配線区別できる信号線を使用し、誤配線のないようにしてください。（誤配線すると壊れます）
- スケジュールタイマーの電源配線と通信配線が正しく接続されていることを確認してください。（図6）

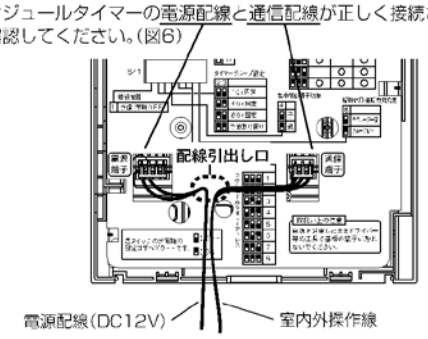
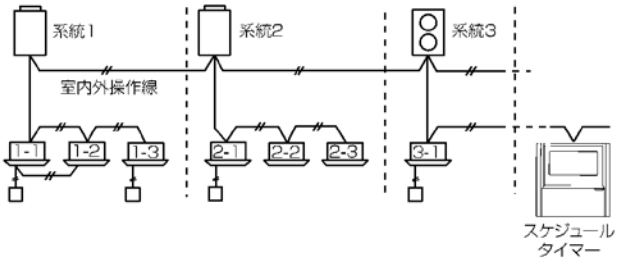


図6：スケジュールタイマー配線確認

〈基本配線図〉

- 室内外ユニットにS-LINKアダプターを使用する場合は、S-LINKアダプターに同梱されている工事説明書を参照してください。
- エアコンの室内外操作線は、図7のような集中制御使用時の配線をしてください。
- 1システムのエアコンの接続台数は、室内ユニットが最多64台、室外ユニットが最多30台です。
- スケジュールタイマーは最多で8台まで接続可能です。（スケジュールタイマーの台数は他の集中制御機器を含めて10台までとしてください）

（図7）



〈注〉室内外ユニットに端子台U1・U2がない機種の場合は、S-LINKアダプター等が必要です。

●配線のしかた
スケジュールタイマーの配線は、以下の3通り接続方法があります。現地で設置する場所に合わせて、接続方法を選択してください。
配線を行うときは、ワイヤージョイント（付属品）および延長配線（現地手配）により、配線の延長を行ってください。

1．室内ユニットへ接続（図8）
2．システムコントローラーへ接続（図9）
3．ON/OFF集中コントローラー、マルチコントローラーへ接続（図10）

●電源配線には極性がありません。
●室内外操作線には極性がありません。

1. 室内ユニットへ接続

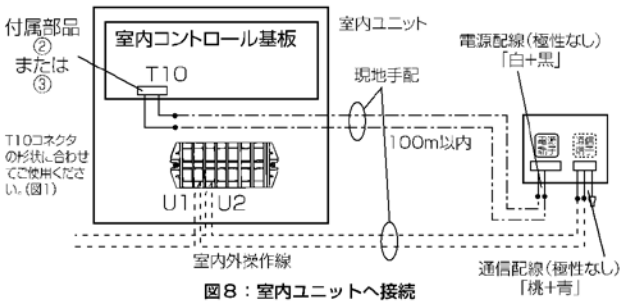


図8：室内ユニットへ接続

室内ユニットの室内コントロール基板から電源を供給する場合には、室内コントロール基板のT10端子に付属のT10端子接続用配線を接続し、スケジュールタイマーの電源配線と接続してください。

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。

〈注意〉スケジュールタイマーは、運転モードや温度設定はできませんので、必ずリモコンやシステムコントローラーなどとの併用が必要です。

2. システムコントローラーへ接続

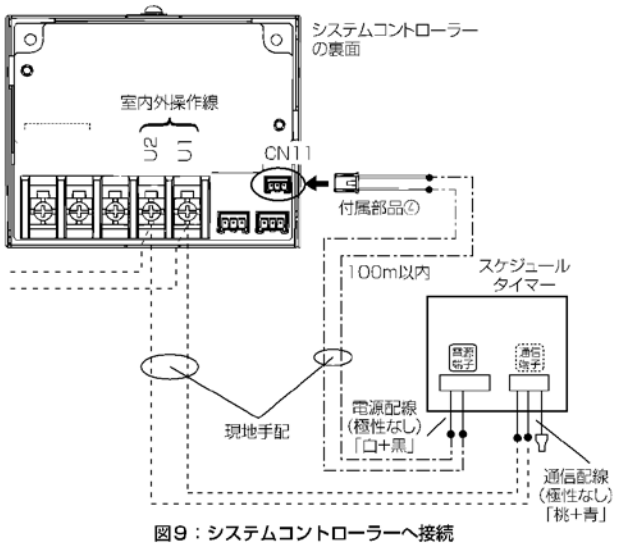


図9：システムコントローラーへ接続

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。
注：室内外操作線用配線は桃＋青＋青（ワイヤージョイント圧着）となっておりますので、桃＋青の配線をご使用ください。

3. ON/OFF集中コントローラー、マルチコントローラーへ接続

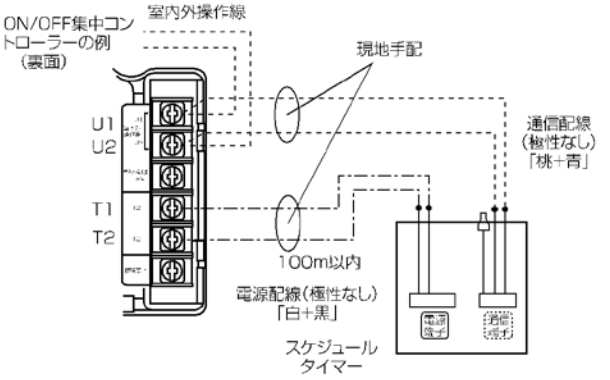


図10：ON/OFF集中コントローラーへ接続

スケジュールタイマーの室内外操作線用配線（注）と、ON/OFF集中コントローラー等の端子台にあるU1・U2端子を、また電源配線（白+黒）とT2、T1端子を図10のように接続してください。

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。

注：室内外操作線用配線は桃＋青＋青＋（ワイヤージョイント圧着）となっておりますので、桃＋青の配線をご使用ください。

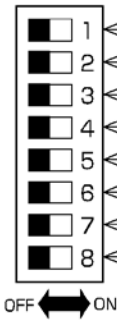
お客様への説明

●「取扱説明書」「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」は、工事完了後にお客様にお渡しください。
●「取扱説明書」に沿ってお客様に使用方法を説明してください。

設定スイッチについて

• 設定スイッチの設定は、スケジュールタイマーの電源を入れる前に行ってください。

S41



※出荷時の設定はすべてOFF

予備(1)

必ずOFFで使用してください。

タイマーグループ設定(2, 3)

機能	2	3
1タイマーグループ固定	OFF	OFF
4タイマーグループ固定	OFF	ON
8タイマーグループ固定	ON	OFF
手動グループ設定	ON	ON

詳細は「タイマーグループの設定のしかた」をご参照ください。

集中制御親子切換(4)

子：OFF
親：ON

①スケジュールタイマー単体で使用する場合は、必ず親(ON)にしてください。

②ワイヤードリモコン、単体リモコン、ON/OFF集中コントローラーと併用する場合も親(ON)にしてください。

③インテリジェントコントローラー、システムコントローラー等の集中制御機器と併用する場合、子(OFF)にしてください。

④上記②以外の場合でスケジュールタイマーを複数台使用するときは、1台のみを親(ON)とし、その他を子(OFF)にしてください。

スケジュールタイマーのアドレス設定(5, 6, 7)

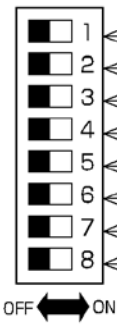
スケジュールタイマーは、室内外操作線上に最多8台接続できます。複数台設置する場合、設定スイッチにより重複を避けるためにアドレスの割り振りを行ってください。

機能	5	6	7
アドレス 1	OFF	OFF	OFF
アドレス 2	OFF	OFF	ON
アドレス 3	OFF	ON	OFF
アドレス 4	OFF	ON	ON
アドレス 5	ON	OFF	OFF
アドレス 6	ON	OFF	ON
アドレス 7	ON	ON	OFF
アドレス 8	ON	ON	ON

グループごとの臨時休日、運転無効設定(8)

設定スイッチOFFで一括、ONでタイマーグループごとの設定となります。

S42



※出荷時の設定はすべてOFF

時刻同期送受信(5)

無効：OFF
有効：ON

スケジュールタイマーの複数台設置時、時刻設定を複数同時に行う場合はON(有効)にしてください。時刻設定を行ってから1分後に他のスケジュールタイマーの時刻が一致します。(通常OFF)

予備(6, 7, 8)

必ずOFFで使用してください。

次項に続く

前項より

手元許可項目(1)

上書き　：OFF
追加/解除：ON

システムコントローラー等、他の集中制御機器から設定された手元禁止項目に対して、スケジュールタイマーで上書きするか、項目の追加/解除を行うかの設定ができます。

タイマー設定内容で上書き　→OFF　※下記①例参照

設定スイッチ2~4の項目を追加/解除　→ON　※下記②例参照

手元許可/禁止を使用しないときはOFFにして使用してください。

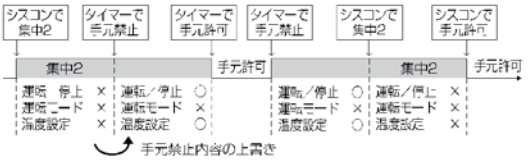
手元禁止項目スイッチ(2, 3, 4)

タイマーの手元禁止時に手元禁止を使用したい項目に合わせて手元禁止項目スイッチを設定してください。

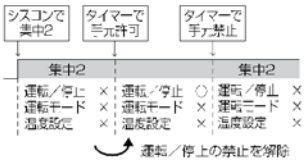
手元禁止項目	2	3	4
手元禁止を使用しない	OFF	OFF	OFF
運転/停止　(集中1)	OFF	OFF	ON
運転モード　(集中4)	OFF	ON	OFF
運転モード　運転/停止	OFF	ON	ON
温度設定	ON	OFF	OFF
温度設定　運転/停止	ON	OFF	ON
温度設定　運転モード　(集中3)	ON	ON	OFF
温度設定　運転モード　運転/停止　(集中2)	ON	ON	ON

集中1~4はシステムコントローラーの手元禁止モードの呼称です。

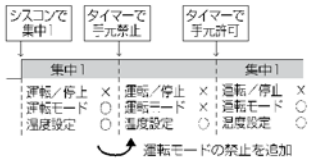
①の例(手元禁止項目を「運転モード」にした場合)



②の例(手元禁止項目を「運転/停止」にした場合)



③の例(手元禁止項目を「運転モード」にした場合)



集中制御アドレスの設定のしかた

■スケジュールタイマーを使用する場合は室内ユニットに集中制御アドレスの設定が必要になります。

●すべてのエアコンの電源を入れてください。

●エアコンの試運転を終了してください。**(系統アドレス、室内ユニットアドレス、グループアドレスの設定が終了していないと、集中制御アドレスは設定できません)**

●リンク配線後、下記の手順にしたがって集中制御アドレスを設定してください。

ワイヤードリモコンでの設定

●エアコンが停止中に行ってください。

●すべてのエアコンに対して下記の①~⑤の操作を行ってください。

①「点検」+「換気」ボタンを同時に4秒以上押し続けます。(「ユニット選択」ボタンを押さないでください。)

②温度設定「▲」/「▼」ボタンで項目コード「03」に設定します。

③タイマー時間「▲」/「▼」ボタンで希望の集中制御アドレスに設定します。

④「セット」(または「セット/取消」)ボタンを押します。(**設定中** の表示が点滅から点灯に変化したことを確認してください。)

⑤「点検」ボタンを押します。(通常の停止状態になります。)

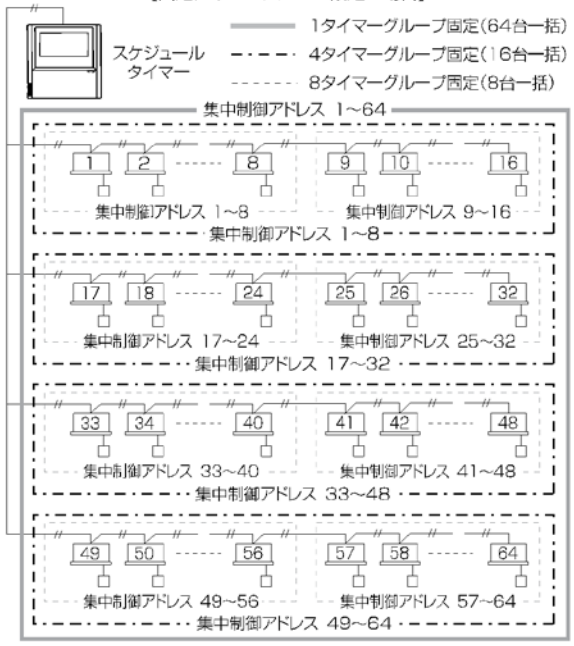
システムコントローラーでの設定

●システムコントローラー同梱の「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」や、試運転・サービス資料等の「集中制御の設定のしかた」を参照してください。

タイマーグループの設定のしかた

スケジュールタイマーは、6個の時刻状態変化を持ち、これをグループ(タイマーグループ)として最多8グループもつことができます。スケジュールタイマーを使用されるシステムで、一括でタイマー制御を行う室内ユニットの集中制御アドレスに合わせてタイマーグループの設定を行ってください。

【固定タイマーグループ設定の場合】



●固定タイマーグループ設定（グループ固定）の手順

①まず、他の集中機器（システムコントローラーなど）やワイヤードリモコンにより、一括でタイマー制御したい室内ユニットを上図で割り振られている集中制御アドレスに合わせて設定してください。
②次に、タイマーグループをいくつに分割させるかをS41スイッチ2．3により設定します。
③最後にスケジュールタイマーの電源を入れます。初期通信（SC An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になり、タイマーグループ設定が確定します。

●手動タイマーグループ設定（手動割り振り設定）の手順

手動タイマーグループ設定はタイマーグループ内の集中制御アドレスの割り振りを自由に行うことのできる設定方法です。

①S41設定スイッチ2．3をONにして電源を入れてください。再起動と初期通信（SC An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になります。
②通常表示時にスケジュールタイマーの「クリア」、タイマー「入/切」、「手元許可/禁止」ボタンを同時に4秒以上押してください。現在時刻表示部に"Ad-01"表示が点滅します。（AdはAddress、01は集中アドレス番号）
③「グループ」ボタンでタイマーグループを設定し、「曜日」ボタンでタイマーグループ内に割り振り登録したい集中制御アドレスを選択します。「セット」ボタンを押すと、集中制御アドレスが登録されます。
④登録を続ける場合は③の手順を繰り返します。（液晶右側部分に集中制御アドレス番号が追加されていきます）登録した集中制御アドレスを取り消したい場合には、「グループ」ボタンでタイマーグループを選択し、「クリア」ボタンを押してください。
⑤タイマーグループごとに③~④の手順を繰り返します。登録を終了するときはタイマー「入/切」ボタンを押します。自動的にスケジュールタイマーが再起動し、初期通信（SC An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になり、手動で割り振り設定したタイマーグループ設定が確定します。

スケジュールタイマーで制御できる集中制御アドレスの確認、運転のしかた

スケジュールタイマーは、室内ユニットとの通信により現在タイマー制御のできる集中制御アドレスを確認し、運転／停止することができます。

①スケジュールタイマーは、「手元許可/禁止」、「時」、「クリア」ボタンを同時に4秒以上押してください。現在時刻表示部に"Ad-(集中制御アドレス)"が順次点滅されます。
②「グループ」ボタンにより、集中制御アドレスが順次点滅表示され、表示タイマーグループ内のどの集中制御アドレスがタイマー運転できるかを確認することができます。
③表示されているタイマーグループでタイマー「入/切」ボタンを押してください。押すごとに表示タイマーグループ内の室内ユニットが運転／停止を行います。また、このモードの中で「手元許可/禁止」ボタンを押すことにより、表示タイマーグループ内の手元禁止されている室内ユニットの全項目許可(運転停止、運転モード、設定温度の項目)を行うことができます。
④アドレス確認、運転後は「キャンセル」ボタンを2秒以上押してください。スケジュールタイマーが通常表示に戻り、制御可能な全室内ユニットが停止します。

施工計画書

●スケジュールタイマーのユニットNoの確認は、ワイヤードリモコンで行います。(ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの「ユニット選択ボタン」を1回だけ押すと、親機のユニットNoを表示します)

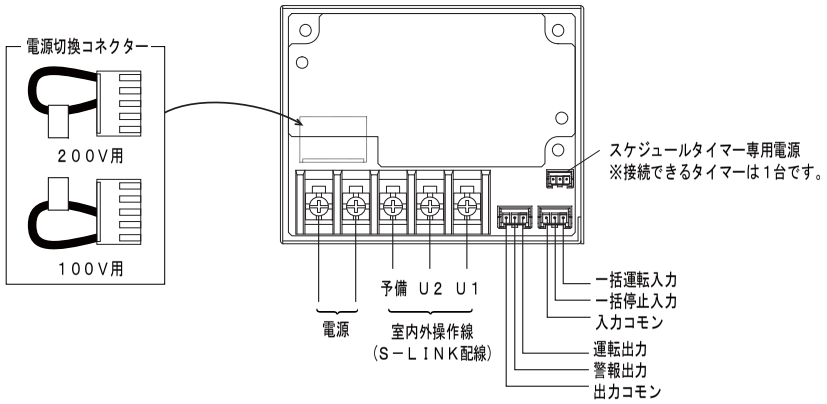
スケジュールタイマー タイマーグループ固定 1	4	8	集中制御アドレス	室内ユニットNo 系統 － 室内	部屋名
1 出荷時	1	1	1	－ . －	
			2	－ . －	
			3	－ . －	
			4	－ . －	
			5	－ . －	
			6	－ . －	
			7	－ . －	
			8	－ . －	
		2	9	－ . －	
			10	－ . －	
			11	－ . －	
			12	－ . －	
			13	－ . －	
			14	－ . －	
			15	－ . －	
			16	－ . －	
	2	3	17	－ . －	
			18	－ . －	
			19	－ . －	
			20	－ . －	
			21	－ . －	
			22	－ . －	
			23	－ . －	
			24	－ . －	
		4	25	－ . －	
			26	－ . －	
			27	－ . －	
			28	－ . －	
			29	－ . －	
			30	－ . －	
			31	－ . －	
			32	－ . －	
	3	5	33	－ . －	
			34	－ . －	
			35	－ . －	
			36	－ . －	
			37	－ . －	
			38	－ . －	
			39	－ . －	
			40	－ . －	
		6	41	－ . －	
			42	－ . －	
			43	－ . －	
			44	－ . －	
			45	－ . －	
			46	－ . －	
			47	－ . －	
			48	－ . －	
	4	7	49	－ . －	
			50	－ . －	
			51	－ . －	
			52	－ . －	
			53	－ . －	
			54	－ . －	
			55	－ . －	
			56	－ . －	
		8	57	－ . －	
			58	－ . －	
			59	－ . －	
			60	－ . －	
			61	－ . －	
			62	－ . －	
			63	－ . －	
			64	－ . －	

△

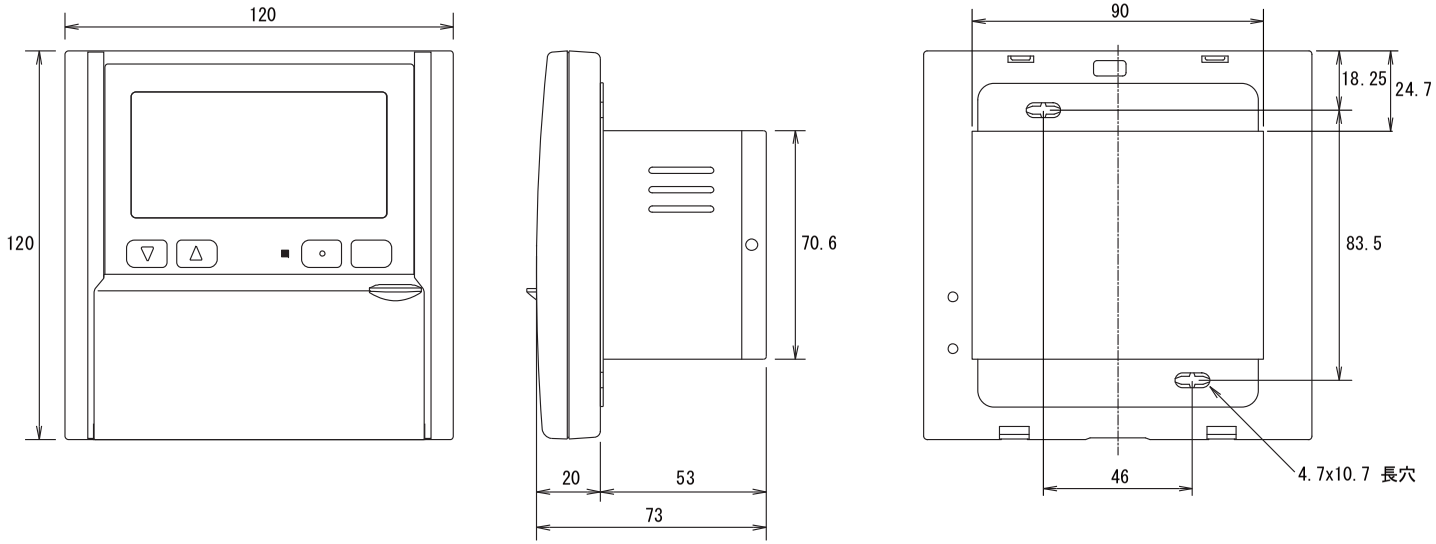
■仕　様

機　　種		ＣＺ－１０ＥＳＭ３
外形寸法	mm	（高さ）１２０×（幅）１２０×（奥行）２０＋５３
取 付 方 法		埋込型
接 続 台 数		最大６４グループ（６４台）
表　　示		液晶表示
電 源 定 格		単相１００／２００Ｖ　５０／６０Ｈｚ　３.１Ｗ
質　　量	g	５６０

■入出力端子



■外形寸法図



お願い：システムコントローラを取付ける場合は
ＪＩＳ－Ｃ８３４０　２個用スイッチボックス
（カバー付き）を現地手配してください。

品番	CZ-10ESM3	外形寸法図 （システムコントローラー）

本機の特長

■接続台数

１台のシステムコントローラーに最多64グループ、64台の室内ユニットを１～４の４ゾーンに分けて一斉、ゾーン、グループ単位で制御可能。
（１ゾーンは最多16グループまで、１グループは室内ユニット最多８台まで）

■システムコントローラーの種類

①動作モード……集中制御モード、リモコンモードがあります。
●集中制御モードとは……システムコントローラーを集中コントローラーとして使用します。
（システムコントローラーから手元禁止することにより、リモコンからの設定を禁止できます。）
●リモコンモードとは……システムコントローラーをリモコンとして使用します。
（他の集中コントローラーにより手元禁止の場合、システムコントローラーからの設定が禁止になります。）

②管理台数モード……一斉モード、ゾーン１・２・３・４ モードがあります。
●一斉モードとは……すべてのエアコンを設定できます。
●ゾーン１・２・３・４ モードとは……１・２・３・４ いずれかのゾーンのエアコンのみ設定できます。

③これらのモードの組み合わせにより、システムコントローラーは一斉集中制御、ゾーン１・２・３・４ 集中制御、一斉リモコン、ゾーン１・２・３・４ リモコンの10種類になります。また各々に親子があります。

	集中制御モード	リモコンモード
一斉 モード	一斉 集中制御	一斉 リモコン
ゾーン１ モード	ゾーン１ 集中制御	ゾーン１ リモコン
ゾーン２ モード	ゾーン２ 集中制御	ゾーン２ リモコン
ゾーン３ モード	ゾーン３ 集中制御	ゾーン３ リモコン
ゾーン４ モード	ゾーン４ 集中制御	ゾーン４ リモコン

くわしくは付属の〝据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ〟をご覧ください。
操作方法については集中制御モード編　　、リモコンモード編　　をご覧ください。

■操作機能……運転、停止、冷・暖房切換、温度設定、風速切換、風向切換（リモコンレス時のみ設定により可能）、集中１・２・３・４ ／個別切換（リモコンモードの場合をのぞく）、換気、他。

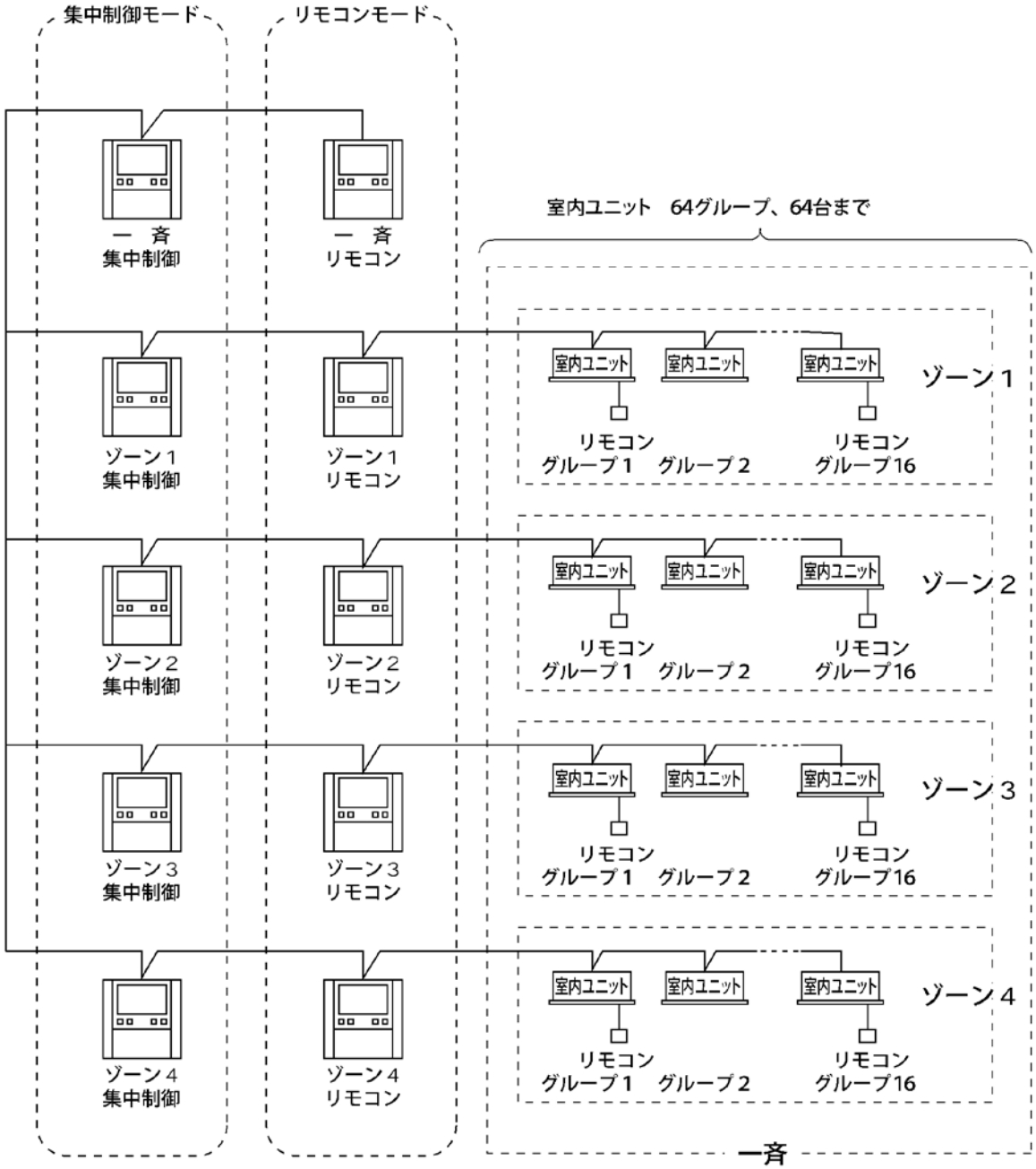
■システムコントローラー設置台数…同一回線で他の集中コントローラーを含め10台まで。

■表　　示……ＬＣＤパネル

●別売のスケジュールタイマーの接続により、週間プログラムの運転が可能です。
くわしくはシステムコントローラー機能表　　をご覧ください。

システムの構成

・一　　斉：すべてのエアコンを一括で設定します。
・ゾ ー ン：すべてのエアコンを1～4の4ゾーンに分けゾーン毎に一括で設定します。
　　各フロア毎にゾーン1、ゾーン2、・・・とエアコンを登録すると便利です。
・グループ：エアコンを個別に設定します。



システムコントローラー機能表

	集中制御モード					リモコンモード				
	一斉集中制御	ゾーン1集中制御	ゾーン2集中制御	ゾーン3集中制御	ゾーン4集中制御	一斉リモコン	ゾーン1リモコン	ゾーン2リモコン	ゾーン3リモコン	ゾーン4リモコン
制御台数	64グループ(ゾーン1~4)	16グループ(ゾーン1)	16グループ(ゾーン2)	16グループ(ゾーン3)	16グループ(ゾーン4)	64グループ(ゾーン1~4)	16グループ(ゾーン1)	16グループ(ゾーン2)	16グループ(ゾーン3)	16グループ(ゾーン4)
操作単位	一斉ゾーングループ	ゾーングループ	ゾーングループ	ゾーングループ	ゾーングループ	一斉ゾーングループ	ゾーングループ	ゾーングループ	ゾーングループ	ゾーングループ
運転	○	○	○	○	○	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
停止	○	○	○	○	○	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
運転切換	○	○	○	○	○	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
温度設定	○	○	○	○	○	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
風速切換	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スイング／風向	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集中／個別	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	×	×	×	×	×
換気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュールタイマー接続	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一括運転表示(LCD)	○※3	○※4	○※4	○※4	○※4	○※3	○※4	○※4	○※4	○※4
一括警報表示(LCD)	○※3	○※4	○※4	○※4	○※4	○※3	○※4	○※4	○※4	○※4

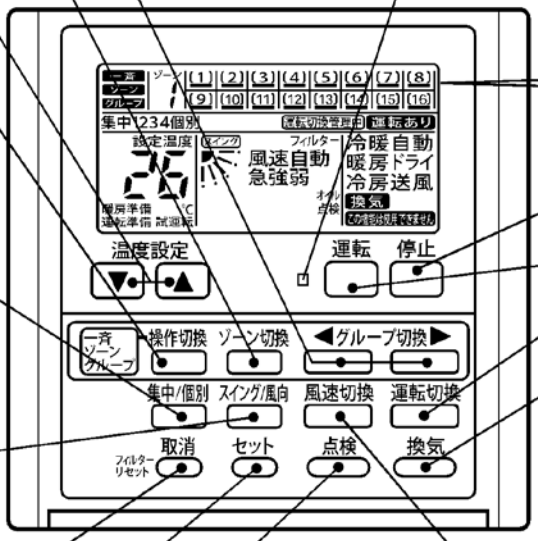
※1：集中1設定されている場合、運転／停止できません。
　　集中2設定されている場合、運転／停止、運転切換、温度設定できません。
　　集中3設定されている場合、運転切換、温度設定できません。
　　集中4設定されている場合、運転切換できません。
※2：集中1、集中2、集中3、集中4、個別設定ができます。
※3：一斉単位
※4：ゾーン単位
●付属の〝据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ〟も合わせてご覧ください。

集中制御モード編

各部のなまえとはたらき

●エアコンを選択（[　]が点滅）したとき、集中１・２・３・４／個別いずれかの表示がある場合、集中制御モード編をご覧ください。
それらの表示がない場合、リモコンモード編（P.14）をご覧ください。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
《液晶表示は、説明用のものです。実際とは異なります。》

操作ボタン



ゾーン切換ボタン
操作するゾーンの切り換えをします。（※2）

温度設定ボタン
▲ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▼ 設定温度を１℃ずつ下げます。

操作切換ボタン
一斉、ゾーン、グループの切り換えをします。（※1）

集中／個別ボタン
集中１、集中２、集中３、集中４、個別を切り換えます。

スイング／風向ボタン
フラップの角度を変更させます。
（リモコンレス時のみ）

取消ボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。

セットボタン
※通常は使用しないでください。

点検ボタン
※通常は使用しないでください。

グループ切換ボタン
◀ 操作するグループ（ ）が１つずつ左に移動します。
▶ 操作するグループ（ ）が１つずつ右に移動します。

運転ランプ
運転中は点灯し、停止中は消灯します。
異常時、保護装置動作中は点滅します。

停止ボタン

運転ボタン

運転切換ボタン

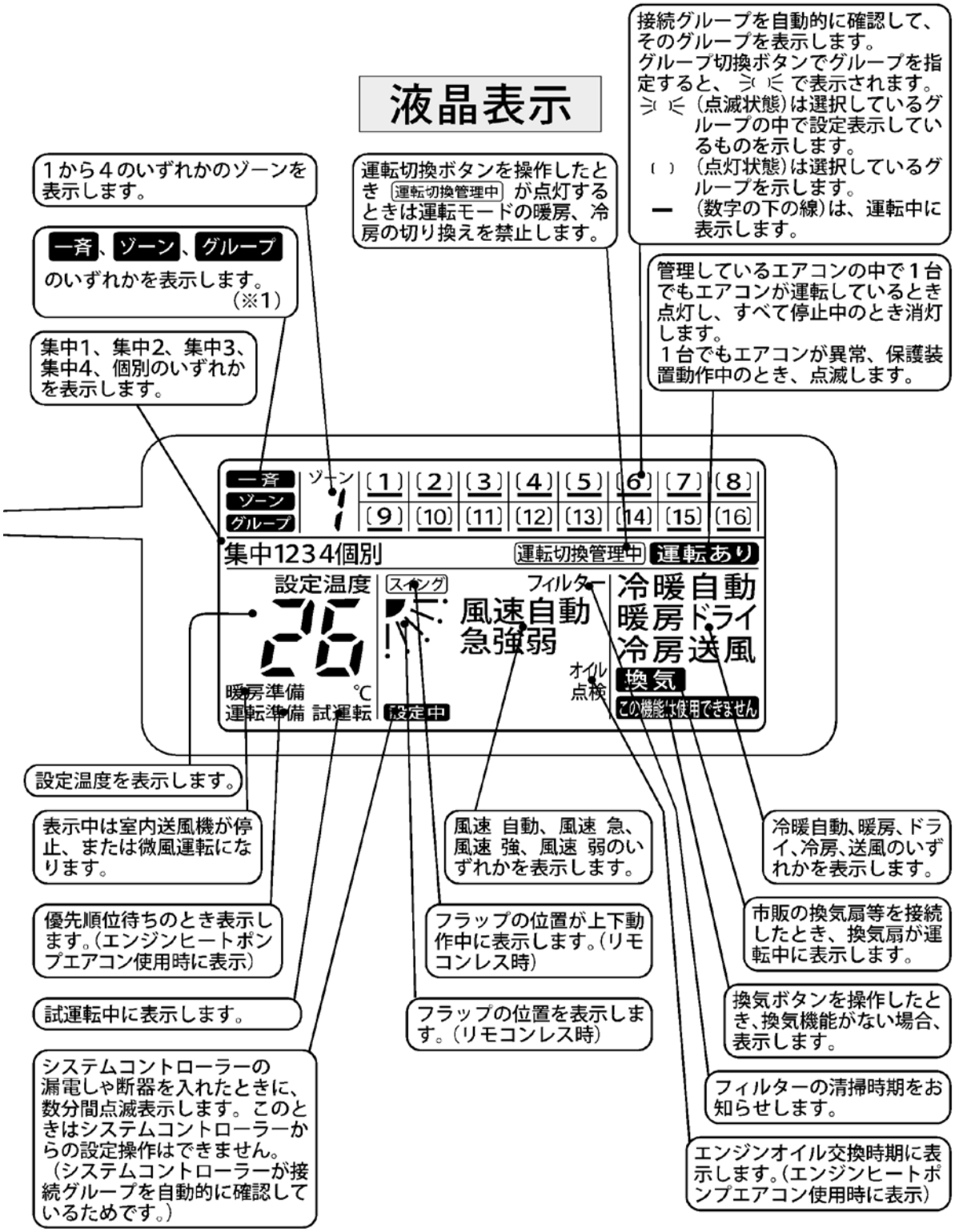
換気ボタン
市販の換気扇等をエアコンに接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。
エアコンを運転停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。
（表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、表示部に この機能はありません が表示されたときは換気扇が接続されていません。

風速切換ボタン

※１：ゾーン１・２・３・４集中制御の場合、 一斉 は選択できません。
※２：ゾーン１・２・３・４集中制御の場合、ゾーン切換ボタンは無効です。

集中制御モード編

各部のなまえとはたらき

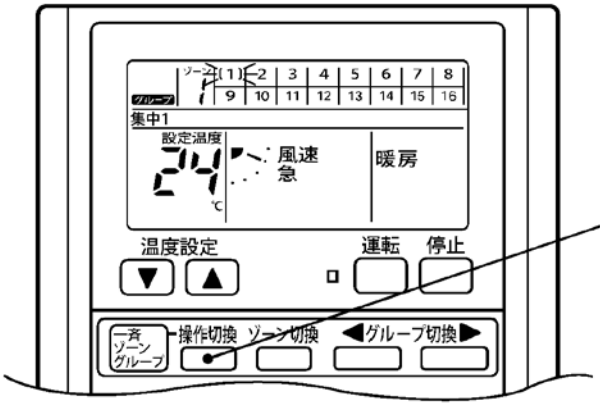


集中制御モード編

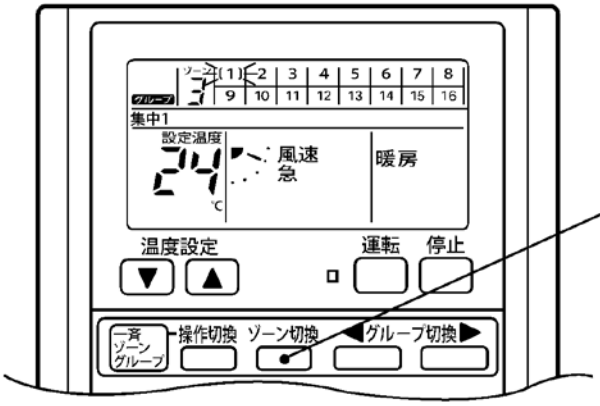
運転のしかた

グループ運転のしかた

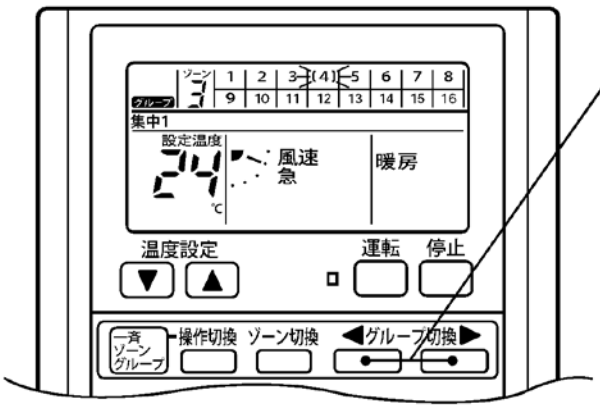
グループ単位で運転・停止したいとき
（例）ゾーン３のグループ４を操作する。



1 操作切換 を押して、
グループ にします。



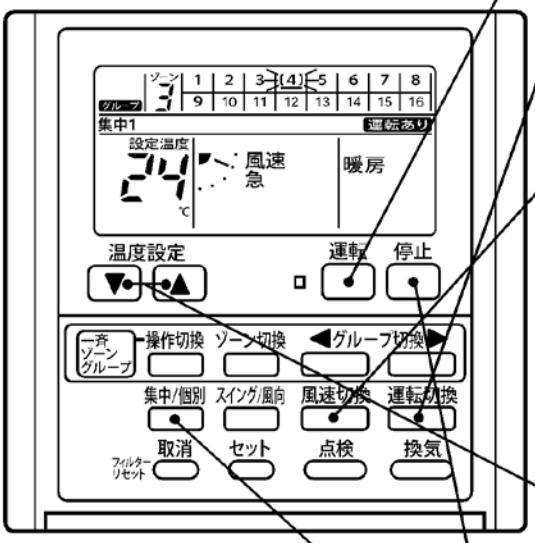
2 ゾーン切換 を押して、
操作したいグループがあるゾーンを選択します。（※２）
（例）の場合は、ゾーン３にします。



3 ◀グループ切換▶ を押して、
操作したいグループを選択します。
（例）の場合は、グループ４が
〉(4)〈（　）が点滅）になります。

※１：ゾーン１・２・３・４集中制御の場合、
一斉 は選択できません。
※２：ゾーン１・２・３・４集中制御の場合、
ゾーン切換ボタンは無効です。

集中制御モード編
運転のしかた



4 運転 を押します。

5 運転切換 を押して、
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

6 風速切換 を押して、
お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。
（送風時は自動になりません。）

7 温度設定 を押して、
お好みの温度にします。

	上限(℃)	下限(℃)
冷暖自動	27	17
暖房	30	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。
※上下限温度は室内ユニットにより異なります。

8 集中/個別 を押して、
お好みの設定にします。
個別　→リモコンで操作できます。
集中1→リモコンで運転／停止できません。
集中2→リモコンで運転／停止、運転切換、温度設定できません。
集中3→リモコンで運転切換、温度設定できません。
集中4→リモコンで運転切換できません。
●上記以外の集中個別設定のときは集中を表示します。

停止 停止 を押します。

●通常の方法で停止できないとき
漏電しゃ断器を切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。
※運転を停止してもシステムコントローラーの液晶表示はそのまま表示されています。

冷暖自動について

設定温度、室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行い、室温が一定になるようにコントロールします。

一斉・ゾーン操作時の設定について

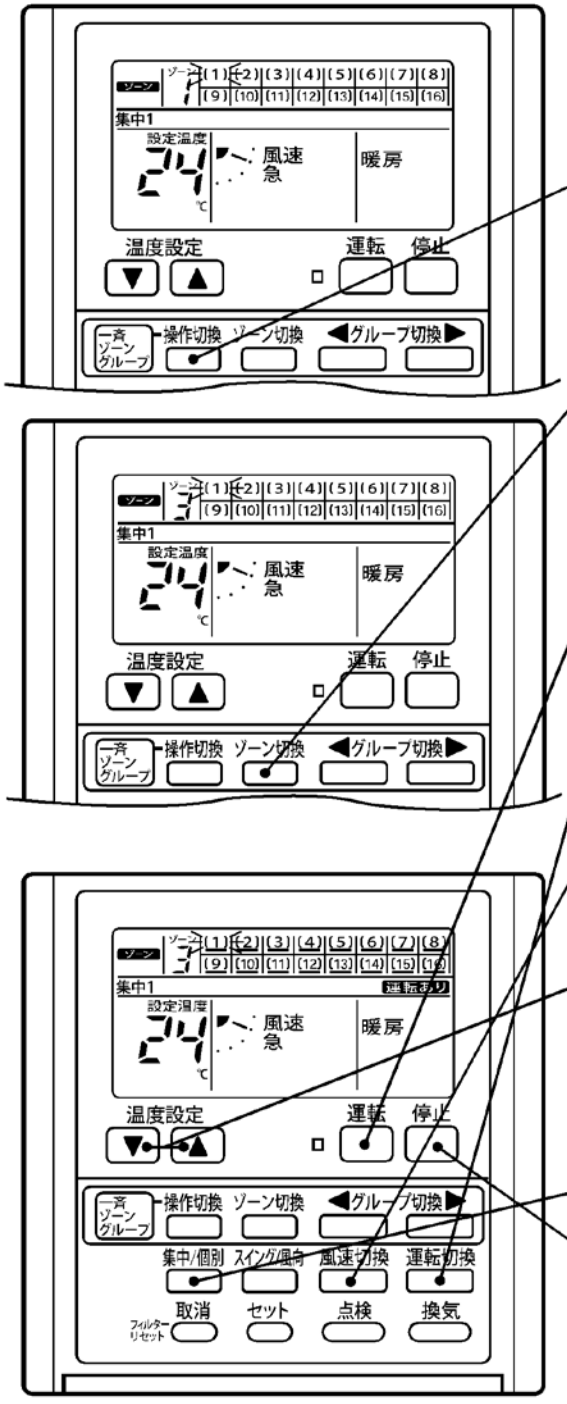
設定操作した内容のみ、一斉・ゾーンのエアコンに設定されます。（※1）
（例）運転切換ボタンを押した時は運転モードのみ設定されます。

●ボタンは爪等の先のとがったもので押さないでください。傷付の原因になります。

集中制御モード編
運転のしかた

ゾーン運転のしかた　ゾーン単位で運転、停止したいとき

（例）ゾーン３を操作する。



1　操作切換 を押して **ゾーン** にします。

2　ゾーン切換 を押して、（※2）
操作したいゾーンを選択します。
（例）の場合は、ゾーン３にします。

3　運転 を押します。
約１秒毎に運転します。

4　運転切換 を押して、
お好みの運転モードにします。

5　風速切換 を押して、
お好みの風速にします。
（送風時は自動になりません。）

6　温度設定 ▼ ▲ を押して、
お好みの温度にします。

7　集中/個別 を押して、
お好みの設定にします。

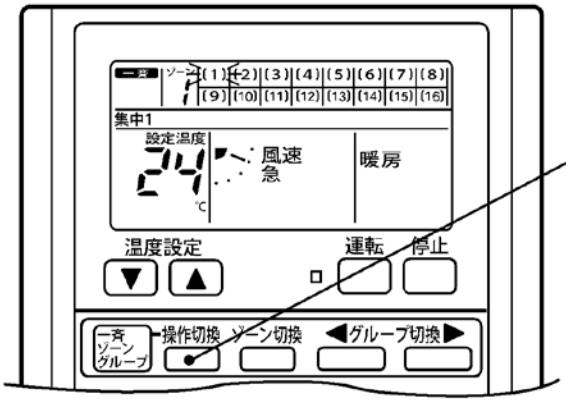
停止　停止 を押します。

4から7までのくわしい設定方法は、グループ運転のしかた（P.10の５，６，７，８）をご覧ください。

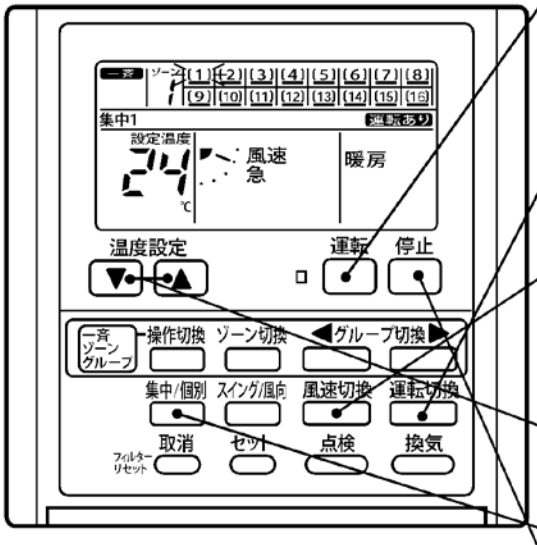
※運転を停止してもシステムコントローラーの液晶表示はそのまま表示されています。

集中制御モード編
運転のしかた

一斉運転のしかた　全体を一括で運転、停止したいとき（※1）



1　操作切換 ▭ を押して **一斉** にします。



2　運転 ▭ を押します。
約１秒毎に運転します。

3　運転切換 ▭ を押して、
お好みの運転モードにします。

4　風速切換 ▭ を押して、
お好みの風速にします。
（送風時は自動になりません。）

5　温度設定 ▼ ▲ を押して、
お好みの温度にします。

6　集中/個別 ▭ を押して、
お好みの設定にします。

停止　停止 ▭ を押します。

※１：ゾーン１・２・３・４集中制御の場合、
一斉 は選択できません。
※２：ゾーン１・２・３・４集中制御の場合、
ゾーン切換ボタンは無効です。

3から6までのくわしい設定方法は、グループ運転のしかた（P.10の 5，6，7，8）をご覧ください。
※運転を停止してもシステムコントローラーの液晶表示はそのまま表示されています。

集中制御モード編

風向調節のしかた

●室内ユニットにリモコンがない場合に操作できます。
●グループ制御のときは、グループ一斉での設定になります。
●エアコンの機種によっては、風向調節機能がないものがあります。くわしくはエアコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
●フラップは絶対に手で動かさないでください。
●暖房準備時にはフラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、システムコントローラーの風向は暖房準備中でもスイング表示します。

操作切換 ボタンを押して **グループ** にします。

スイング/風向 を押すごとに風向きが換わります。

（**一斉** ／ **ゾーン** のとき、風向調節はできません）（※３）

※３：ゾーン１・２・３・４ 集中制御の場合 **一斉** は選択できません。

● スイングさせるときは

スイング/風向 を押し、フラップの向きを１番下に設定し、もう１度 スイング/風向 を押すことにより スイング が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

暖　房　時

フラップの向きは５つのポジションから選択できます。

冷房・ドライ時

フラップの向きは３つのポジションから選択できます。

送　風　時

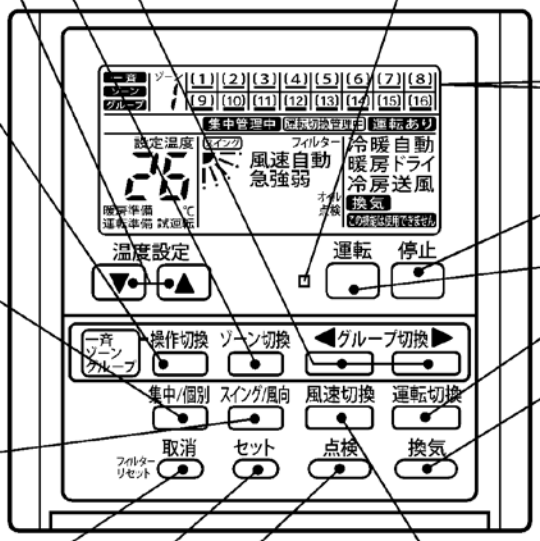
すべての運転時

リモコンモード編

各部のなまえとはたらき

●エアコンを選択（[　]が点滅）したとき、集中１・２・３・４／個別いずれかの表示がある場合、集中制御モード編（P.6）をご覧ください。
それらの表示がない場合、リモコンモード編をご覧ください。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
《液晶表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

操作ボタン



ゾーン切換ボタン
操作するゾーンの切り換えをします。（※5）

グループ切換ボタン
◀ 操作するグループ（ｺﾝ ﾋﾞ）が１つずつ左に移動します。
▶ 操作するグループ（ｺﾝ ﾋﾞ）が１つずつ右に移動します。

運転ランプ
運転中は点灯し、停止中は消灯します。
異常時、保護装置動作中は点滅します。

温度設定ボタン
▲ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▼ 設定温度を１℃ずつ下げます。

操作切換ボタン
一斉、ゾーン、グループ の切り換えをします。（※4）

集中／個別ボタン
無効です。

スイング／風向ボタン
フラップの角度を変更させます。
（リモコンレス時のみ）

取消ボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。

セットボタン
※通常は使用しないでください。

点検ボタン
※通常は使用しないでください。

風速切換ボタン

停止ボタン

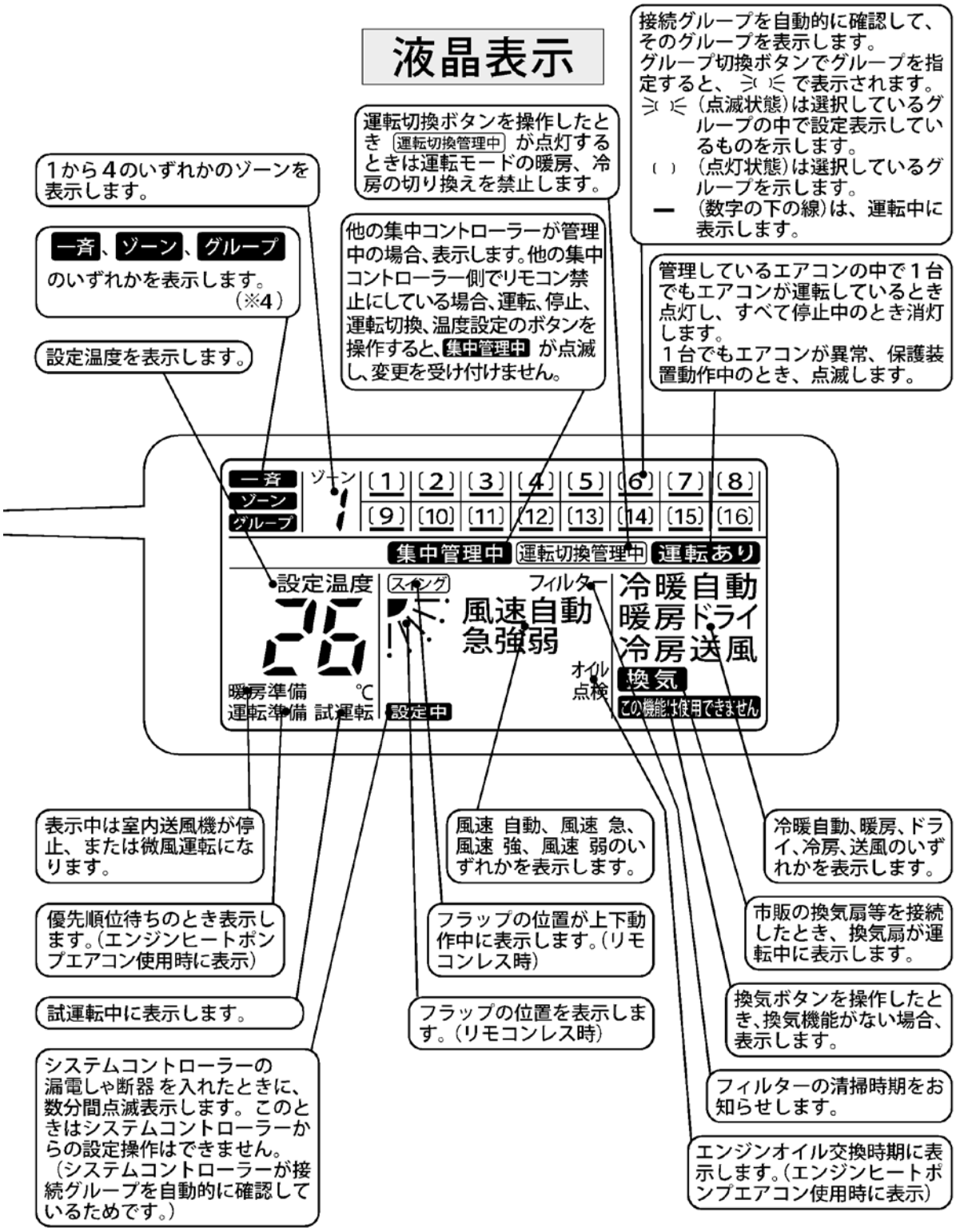
運転ボタン

運転切換ボタン

換気ボタン
市販の換気扇等をエアコンに接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。
エアコンを運転停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。
（表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、表示部に
この機能はありません
が表示されたときは換気扇が接続されていません。

※４：ゾーン１・２・３・４リモコンの場合、 一斉 は選択できません。
※５：ゾーン１・２・３・４リモコンの場合、ゾーン切換ボタンは無効です。

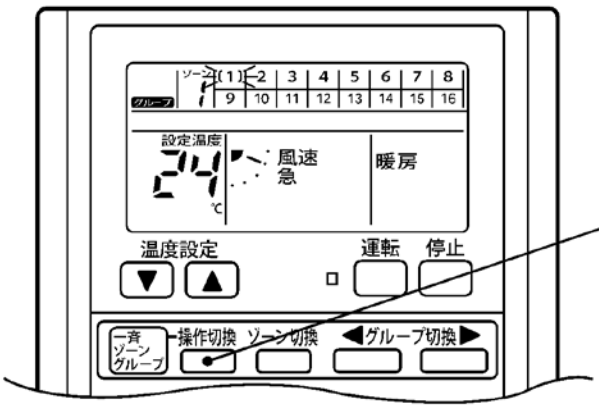
リモコンモード編
各部のなまえとはたらき



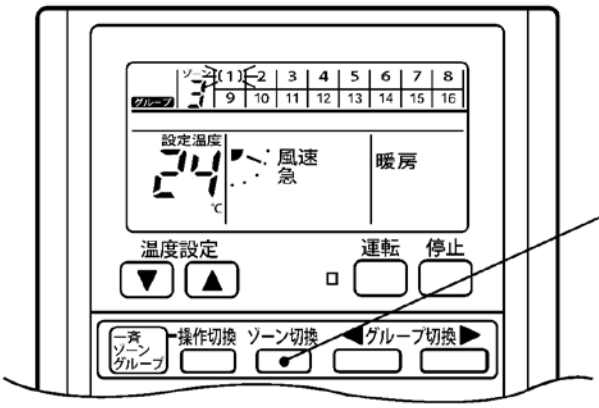
リモコンモード編
運転のしかた

グループ運転のしかた

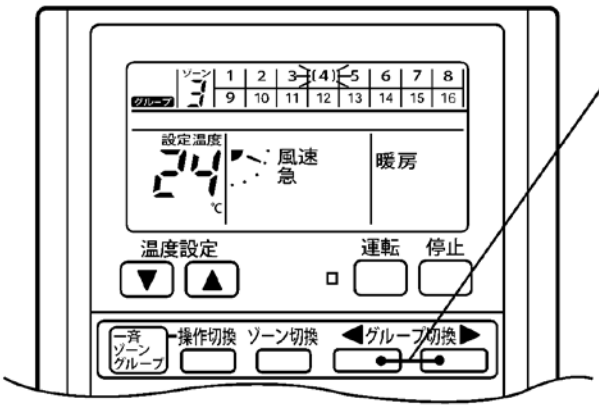
グループ単位で運転・停止したいとき
(例) ゾーン３のグループ４を操作する。



1 操作切換 を押して、
グループ にします。



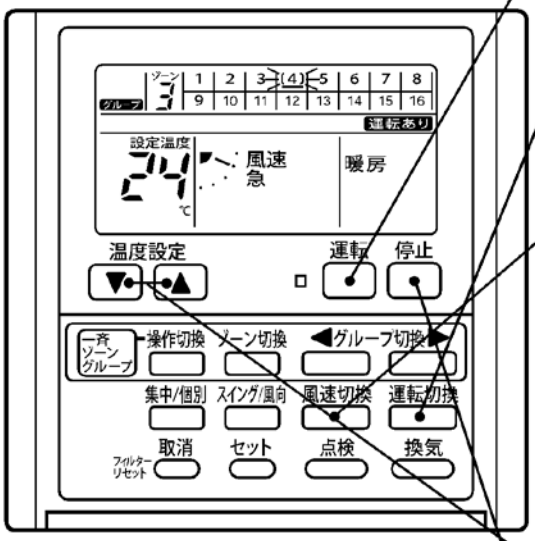
2 ゾーン切換 を押して、
操作したいグループがあるゾーンを選択します。（※5）
(例)の場合は、ゾーン３にします。



3 ◀グループ切換▶ を押して、
操作したいグループを選択します。
(例)の場合は、グループ４が
〉(4)〈 ( ) が点滅)になります。

※４：ゾーン１・２・３・４ リモコンの場合、
一斉 は選択できません。
※５：ゾーン１・２・３・４ リモコンの場合、
ゾーン切換ボタンは無効です。

リモコンモード編
運転のしかた



4 運転 を押します。

5 運転切換 を押して、
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

6 風速切換 を押して、
お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。
（送風時は自動になりません。）

7 温度設定 ▼ ▲ を押して、
お好みの温度にします。

	上限(℃)	下限(℃)
冷暖自動	27	17
暖房	30	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。
※上下限温度は室内ユニットにより異なります。

停止 停止 を押します。

●通常の方法で停止できないとき
漏電しゃ断器を切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。
※運転を停止してもシステムコントローラーの液晶表示はそのまま表示されています。

冷暖自動について

設定温度、室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行い、室温が一定になるようにコントロールします。

一斉・ゾーン操作時の設定について

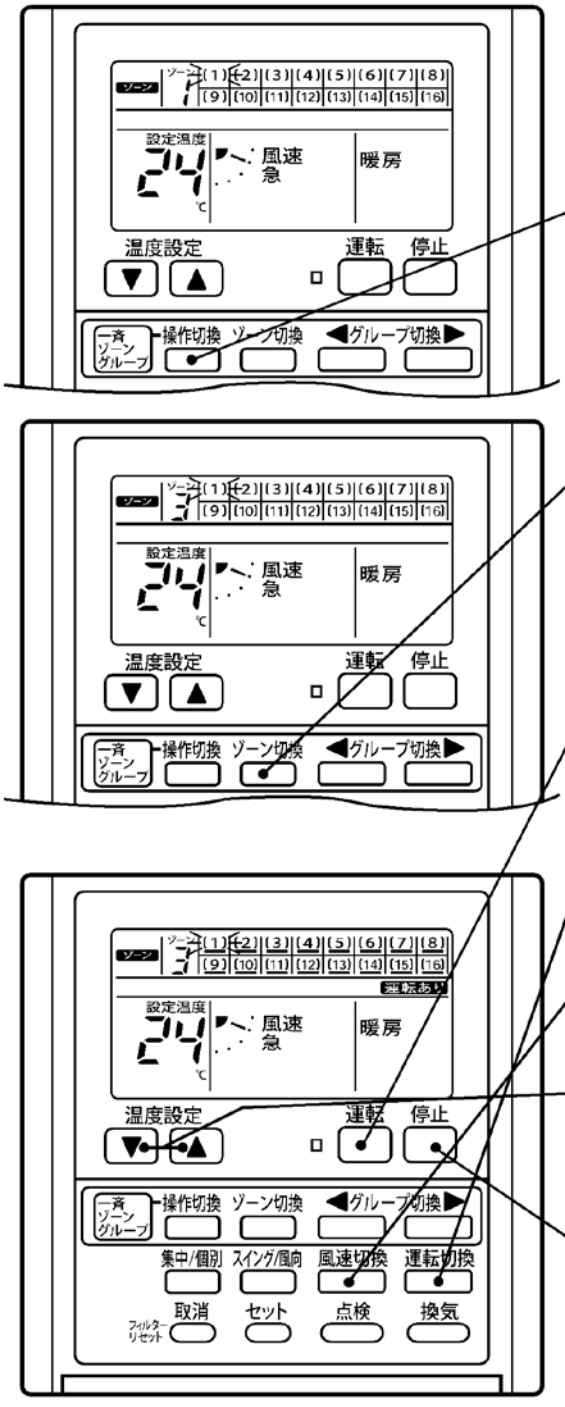
設定操作した内容のみ、一斉・ゾーンのエアコンに設定されます。（※4）
（例）運転切換ボタンを押した時は運転モードのみ設定されます。

●ボタンは爪等の先のとがったもので押さないでください。傷付の原因になります。

リモコンモード編
運転のしかた

ゾーン運転のしかた　ゾーン単位で運転、停止したいとき

(例) ゾーン３を操作する。



1 操作切換 を押して **ゾーン** にします。

2 ゾーン切換 を押して、操作したいゾーンを選択します。(※５)
(例)の場合は、ゾーン３にします。

3 運転 を押します。
約１秒毎に運転します。

4 運転切換 を押して、
お好みの運転モードにします。

5 風速切換 を押して、
お好みの風速にします。
(送風時は自動になりません。)

6 温度設定 ▼ ▲ を押して、
お好みの温度にします。

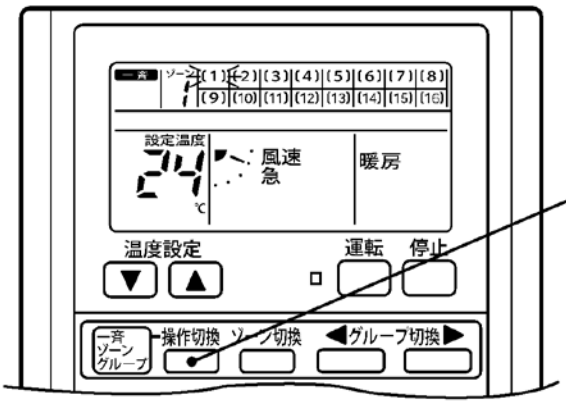
停止 停止 を押します。

４から６までのくわしい設定方法は、グループ運転のしかた(P.18の５，６，７)をご覧ください。

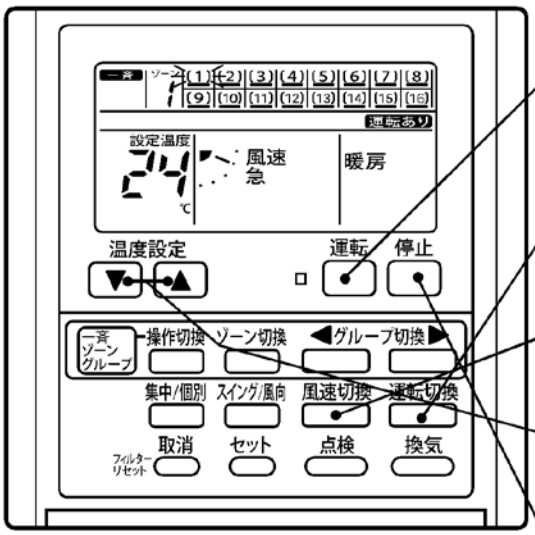
※運転を停止してもシステムコントローラーの液晶表示はそのまま表示されています。

リモコンモード編
運転のしかた

一斉運転のしかた　全体を一括で運転、停止したいとき（※４）



1　操作切換 を押して **一斉** にします。



2　運転 を押します。
約１秒毎に運転します。

3　運転切換 を押して、
お好みの運転モードにします。

4　風速切換 を押して、
お好みの風速にします。
（送風時は自動になりません。）

5　温度設定 ▼ ▲ を押して、
お好みの温度にします。

停止　停止 を押します。

※4：ゾーン１・２・３・４リモコンの場合、**一斉** は選択できません。
※5：ゾーン１・２・３・４リモコンの場合、ゾーン切換ボタンは無効です。

３から５までのくわしい設定方法は、グループ運転のしかた(P.18の 5，6，7)をご覧ください。
※運転を停止してもシステムコントローラーの液晶表示はそのまま表示されています。

リモコンモード編

風向調節のしかた

●室内ユニットにリモコンがない場合に操作できます。
●グループ制御のときは、グループ一斉での設定になります。
●エアコンの機種によっては、風向調節機能がないものがあります。くわしくはエアコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
●フラップは絶対に手で動かさないでください。
●暖房準備時にはフラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、システムコントローラーの風向は暖房準備中でもスイング表示します。

操作切換 ボタンを押して **グループ** にします。
スイング/風向 を押すごとに風向きが換わります。
（**一斉** ／ **ゾーン** のとき、風向調節はできません）（※６）

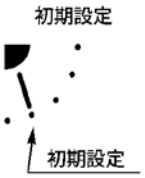
※６： ゾーン1･2･3･４リモコンの場合、 **一斉** は選択できません。

●スイングさせるときは

スイング/風向 を押し、フラップの向きを１番下に設定し、もう１度 スイング/風向 を押すことにより スイング が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

暖　房　時

フラップの向きは５つのポジションから選択できます。



冷房・ドライ時

フラップの向きは３つのポジションから選択できます。

送　風　時

すべての運転時

■据付工事担当の方へ

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また、“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

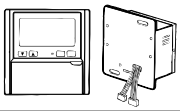
⚠ 警 告

- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。
  電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注 意

- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
  漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ、水や油（機械油含む）の飛沫や上記の多いところ、電圧変動の多いところ、電磁波を発生する機械のあるところ、有機溶剤の飛沫するところでのご使用は避けてください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどは室内ユニットおよびシステムコントローラーから1m以上離して設置してください。映像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- システムコントローラーの近くで暖房器具を使用しないでください。
  プラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

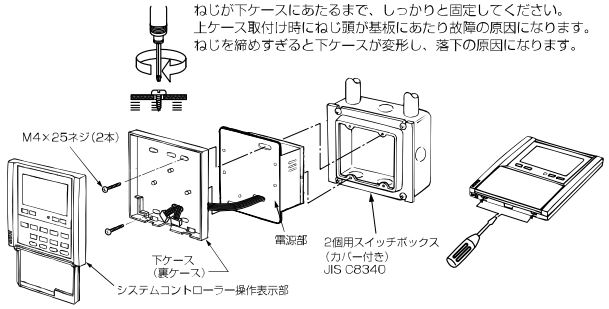
システムコントローラー付属部品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	システムコントローラー本体（操作表示部＋電源部） 	1	④	据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ	1
			⑤	電源切換コネクター ・100V用 ・200V用	各1
②	固定用ネジ（M4×25）	2	⑥	入出力用コネクター ・出力信号用 ・入力信号用	各1
③	取扱説明書	1	⑦	ワイヤージョイント	6

システムコントローラーの取り付けかた

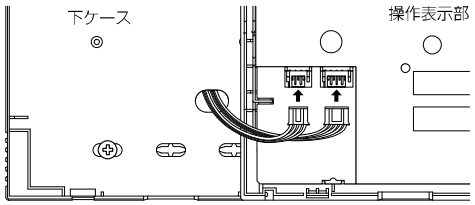
〈注1〉室内外操作線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注2〉システムコントローラーはノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

●あらかじめ現地で壁内に埋込まれた図に示すJISボックス（現地手配）に取り付けてください。



❶システムコントローラー本体の扉を開くと見えるシステムコントローラー本体下側の溝にマイナスドライバー等を入れてこじるようにして、下ケースを外してください。
❷システムコントローラー配線を、システムコントローラー本体の端子台に接続してください。（システムコントローラーの配線のしかたの項を参照してください。）
❸システムコントローラー下ケースと電源部を付属のM4ネジ（2本）を使用して固定します。
❹電源部の配線2本をシステムコントローラー表示操作部のコネクタに接続します。

（コネクタの向きに注意してください）



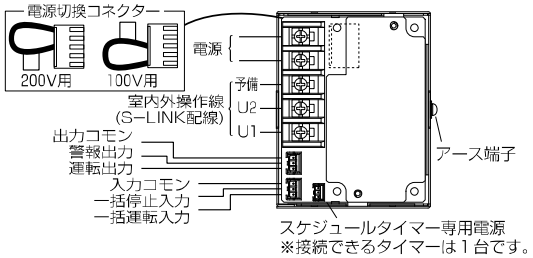
❺システムコントローラー本体を下ケースのツメに合わせてはめ込んで取り付けてください。

システムコントローラーの配線のしかた

システムコントローラーの取り付け、取りはずしは安全のためエアコンの電源を切ってから行ってください。

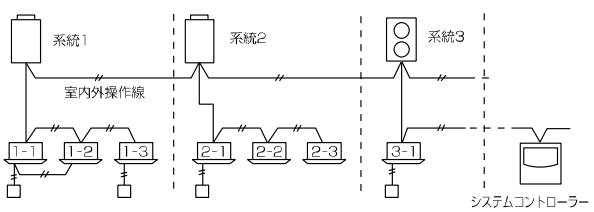
●電源部のカバーを外します。（ビス2本）
●信号線は、室内外操作線に接続します。
●室内外操作線は、2芯0.5mm²～2.0mm²の電線を使用してください。
●室内外操作線は、電源配線（AC100V等）と同一電線管内に通したり、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。
●室内外操作線は、リモコン配線および電気配線と違いのわかる信号線を使用してください。
●システムコントローラーの電源配線は、AC100VもしくはAC200Vに接続し、付属の電源切換コネクターを使用する電圧に合わせて差し込んでください。（誤配線をするとこわれます。）アース工事も行ってください。
●配線は、誤配線をしないように接続してください。
（誤配線をするとこわれます。）

〈裏面端子配置図〉



〈基本配線図〉

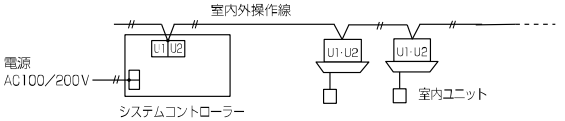
エアコンの室内外操作線は、下図のような集中制御使用時の配線をしてください。
●室内外ユニットにS-LINKアダプターを使用する場合はS-LINKアダプターに同梱されている工事説明書を参照してください。
●1システムのエアコンの接続台数は、室内ユニット最多64台、室外ユニット最多30台です。
●システムコントローラーは、他の集中制御機器を含め10台まで接続できます。



〈注〉●エアコンの機種によっては、ローカルアダプターが必要です。

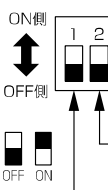
〈配線の手順〉

システムコントローラーの端子台、室内外操作線（U1、U2）と、室内ユニットの端子（U1、U2）とを、下図のように、接続してください。
●極性はありませんので、U1、U2は逆になってもかまいません。
●室外ユニットの、室内外操作線用の端子にも、接続できます。



〈注〉
誤ってU1、U2にAC100/200Vを印加した場合、ヒューズが溶断して保護します。配線を修正した後、通信線をU1と予備端子に接続してください。
また、室内外コントロール基板のヒューズも溶断しているおそれがありますので、それぞれの“試運転担当のかたへ”を参照してください。

設定スイッチについて



集中／個別ボタン操作（注）（許可：OFF／禁止：ON）
集中／個別ボタン操作の許可（OFF）、禁止（ON）を設定してください。
（ただしリモコンモードのときは無効です。）

集中制御親子切換（親：OFF／子：ON）
①インテリジェントコントローラー、システムコントローラー等の集中制御機器と併用する場合、子（ON）にしてください。
② ①以外の場合でシステムコントローラー1台のみ使用するとき、親（OFF）で使用します。
③ ①以外の場合でシステムコントローラーを複数台使用するとき、一斉モードのときは1台のみを親（OFF）とし、ゾーンモードのときはゾーン毎に1台を親（OFF）にしてください。一斉モード（管理台数モード切換）を親とすることを推奨します。

集中制御モード、リモコンモード切換（集中制御モード：OFF／リモコンモード：ON）
集中制御モードとは……
システムコントローラーを集中制御機器として使用します。
（システムコントローラーから手元禁止することにより、リモコンからの設定を禁止できます。）
リモコンモードとは……
システムコントローラーをリモコンとして使用します。
（他の集中制御機器により手元禁止の場合、システムコントローラーからの設定が禁止になります。）

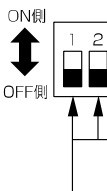
管理台数モード切換
一斉モードとは……
すべての室内ユニットを設定できます。
一斉、ゾーン、グループ毎に制御可能。
ゾーン1・2・3・4モードとは……
1・2・3・4いずれかのゾーンの室内機のみ設定できます。
ゾーン、グループ毎に制御可能。

機能／スイッチNo.	2	3	4	5
一斉ゾーン	OFF	OFF	予備（必ずOFFで使用してください）	OFF
ゾーン1モード	OFF	OFF		ON
ゾーン2モード	ON	OFF		ON
ゾーン3モード	OFF	ON		ON
ゾーン4モード	ON	ON		ON

システムコントローラー親子切換（親：OFF／子：ON）
❶通常、親（OFF）で使用します。
❷システムコントローラーを親子（2台）で使用する場合、1台を親（OFF）、もう1台を子（ON）にしてください。

（注）
1. インテリジェントコントローラーと併用する場合に、両方の集中機能を操作すると、後押し優先に切り換わるため、片方を禁止にして使用することを推奨します。

※出荷時の設定はすべてOFF



運転あり表示（表示あり：OFF／表示なし：ON）
液晶表示部の一括運転状況 運転あり 表示をOFFにすると表示あり、ONにすると表示なしです。
通常、表示あり（OFF）で使用します。

6,7 予 備 必ずOFFで使用してください。

5, 警報出力遅延
OFF：通常
ON ：警報出力（デジタル出力端子）を遅延します。

右上に続く

左下より

4 フラップ表示
OFF リモコンレスの時のみスイング／風向設定可能
ON リモコンがあってもスイング／風向設定可能

1、2、3 予 備 必ずOFFで使用してください。

※出荷時の設定はすべてOFF

システムコントローラーのモード設定について

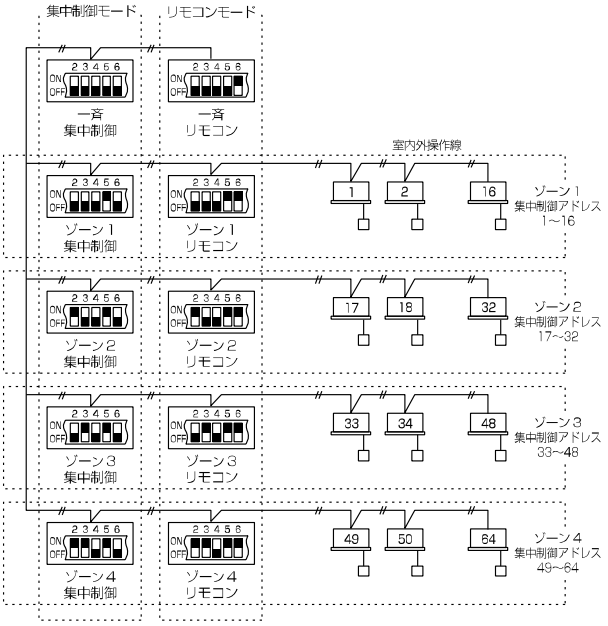
❶**動作モード**……集中制御モード、リモコンモードがあります。
集中制御モードとは……システムコントローラーを集中制御機器として使用します。（システムコントローラーから手元禁止することにより、リモコンからの設定を禁止できます。）
リモコンモードとは……システムコントローラーをリモコンとして使用します。（他の集中制御機器により手元禁止の場合、システムコントローラーからの設定が禁止になります。）

❷**管理台数モード**……一斉モード、ゾーン1・2・3・4モードがあります。
一斉モードとは……すべての室内ユニットを設定できます。
ゾーン1・2・3・4モードとは……1・2・3・4いずれかのゾーンの室内機のみ設定できます。

❸これらのモードの組み合わせにより、システムコントローラーは一斉集中制御、ゾーン1・2・3・4集中制御、一斉リモコン、ゾーン1・2・3・4リモコンの10種類になります。また各々に親子があります。

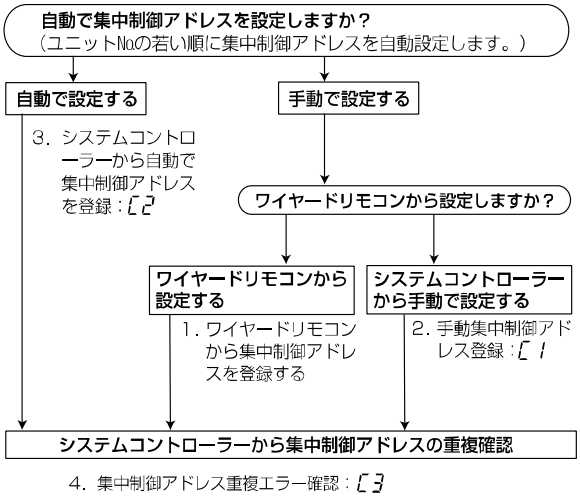
	集中制御モード	リモコンモード
一斉モード	一斉集中制御	一斉リモコン
ゾーン1モード	ゾーン1集中制御	ゾーン1リモコン
ゾーン2モード	ゾーン2集中制御	ゾーン2リモコン
ゾーン3モード	ゾーン3集中制御	ゾーン3リモコン
ゾーン4モード	ゾーン4集中制御	ゾーン4リモコン

❹システムコントローラーの種類により、
設定スイッチ SW1の2～6番を次のように設定してください。



集中制御アドレスの設定のしかた

●すべてのエアコンの電源を入れてください。
●**エアコンの試運転を終了**してから、下記の手順にしたがって、集中制御アドレスを設定してください。



ワイヤードリモコンから設定する

1．ワイヤードリモコンから集中制御アドレスを登録する

●エアコンが停止中に行ってください。
❶ 点検 ボタンと 換気 ボタンを同時に4秒間以上押し続けます。
❷ **ユニット選択** ボタンを押さないでください。
❸温度設定 ▲、▼ボタンで項目コード03にします。
❹タイマー時間 ▲、▼ボタンで、集中制御アドレスを設定します。

集中管理アドレス、ゾーン・グループ対応表

集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ
1	1	1	17	2	1	33	3	1	49	4	1
2		2	18		2	34		2	50		2
3		3	19		3	35		3	51		3
4		4	20		4	36		4	52		4
5		5	21		5	37		5	53		5
6		6	22		6	38		6	54		6
7		7	23		7	39		7	55		7
8		8	24		8	40		8	56		8
9		9	25		9	41		9	57		9
10		10	26		10	42		10	58		10
11		11	27		11	43		11	59		11
12		12	28		12	44		12	60		12
13		13	29		13	45		13	61		13
14		14	30		14	46		14	62		14
15		15	31		15	47		15	63		15
16		16	32		16	48		16	64		16
									99	未設定	

❺ セット ボタンを押す。（ 設定中 が点滅から点灯に変わる。）
❻ 点検 ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。（通常の停止状態になる。）

システムコントローラーから手動で設定する

2．手動集中制御アドレス登録：C1

ゾーン、グループを選択して室内グループ毎に集中制御アドレスを登録します。
❶リモコンを接続して、室内ユニットのユニットNoを確認し、施工計画書を作成してください。
❷ 点検 ボタンと ゾーン切換 ボタンを同時に4秒間以上押し続けます。（項目コードC1が点滅します。）
❸ セット ボタンを押します。（C1が点灯に変わります。）
❹ ゾーン切換 ボタンとグループ切換 ◀、▶ ボタンで登録したいゾーンとグループの番号をそれぞれ選択します。
すでに登録されている場合は 取消 ボタンを押します。
❺ 集中／個別 ボタンで系統No（1～31）、スイング／風向 ボタンで室内No（1～64）がそれぞれ変わり、存在するエアコン（室内ユニットグループ制御時は親機）のユニットNoを点滅表示します。
（系統が存在しない場合、室内Noは - - になります。系統31はローカルアダプタ用で、存在の有無にかかわらず室内Noを表示します。）
❻ セット ボタンを押すと、グループNoが点灯、ユニットNoが点滅から点灯表示になり登録されます。
取り消す場合は 取消 ボタンを押します。
❼登録を続ける場合は、❹～❻を繰り返します。
登録を修了するときは 点検 ボタンを押します。
設定中 が数分間点滅し、自動的に初期設定を行い終了します。

自動で設定する

3．システムコントローラーから自動集中制御アドレスを登録：C2

❶ 点検 ボタンと ゾーン切換 ボタンを同時に4秒間以上押し続けます。（項目コードC1が点滅します。）
❷温度設定 ▲、▼ボタンを押して、項目コードをC2にします。
❸ セット ボタンを押すと、（C2が点灯し、設定中 が点滅します。）自動集中制御アドレス登録を開始します。（数分程度かかります。）
❹ 設定中 が消灯し、C2が点滅表示になったら終了です。
❺ 点検 ボタンを押します。
設定中 が数分間点滅し、自動的に初期設定を行い終了します。

システムコントローラーから集中制御アドレスの重複確認

4．集中制御アドレス重複エラー確認：C3

❶ 点検 ボタンと ゾーン切換 ボタンを同時に4秒間以上押し続けます。（項目コードC1が点滅します。）
❷温度設定 ▲、▼ボタンを押して、項目コードをC3にします。
❸ セット ボタンを押しますと、C3 が点灯し、設定中 が点滅して集中制御アドレス重複エラー確認を開始します。
❹室外機の1系統から順にすべての室内機のアドレスを確認します。
C3が点滅し、設定中 が消灯したら確認終了です。
❺集中制御アドレスに重複があった場合、グループNoが点滅します。
温度設定 ▲、▼ボタンで項目コードをC1にして、セット ボタンを押します。
グループNo点滅箇所を選択し、取消 ボタンを押すと集中制御アドレスはクリアされます。正しい集中制御アドレスをワイヤードリモコンまたは、システムコントローラーで設定してください。
❻ 点検 ボタンを押して終了してください。
設定中 が数分間点滅し、自動的に初期設定を行い終了します。

外部設備との接続

名称	入出力項目	システムコントローラー側 入出力条件	システムコントローラー側 端子名	設備側 切分け端子	設備側 回路例	入出力条件
デジタル入出力端子	状態出力	運転出力 警報出力 無電圧A接点 スタティック （リレー出力） 接点許容電圧電流 DC30V、0.5A	運転 1 警報 2 3 出力コモン	0.5mm²以上	デジタル入力	配線長100m以内
	制御入力	一斉運転入力 一斉停止入力 有電圧A接点パルス （フォトカプラー入力） 接点許容電圧電流 DC24V、10mA	一斉運転（+） 1 一斉停止（+） 2 3 入力コモン（−）	0.5mm²以上	+24V COM	パルス幅300msec以上 配線長100m以内

システムコントローラーの試運転のしかた

❶エアコンの電源をすべて入れてください。
❷システムコントローラーの電源を入れてください。（ **設定中** が点滅しエアコンの接続グループを自動的に確認します。）
❸接続されているエアコンの数（グループ制御時は親機のみ）と64系統集中コントローラーに表示されるグループNoの数は一致しますか？
❹一致しない場合、**集中制御アドレスの設定のしかた**をご覧になり、再度設定してください。

エアコンの試運転のしかた

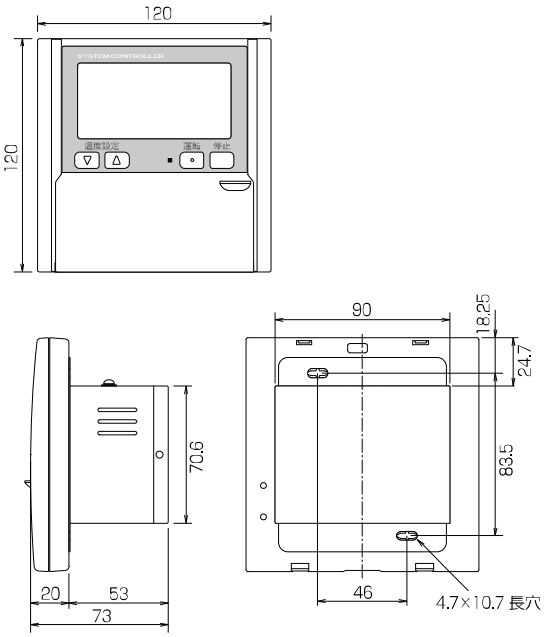
❶システムコントローラーの 点検 ボタンを4秒以上押してください。
　●試運転中は液晶表示部に"試運転"と表示されます。
❷ 運転 停止 ボタンを押してください。
　●「試運転」の位置では温度調節はできません。
　機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。
❸運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の"試運転"消灯を確認してください。

お客様への説明

●「取扱説明書」「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」は工事完了後お客様にお渡しください。
●「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法を説明してください。

外形寸法図

単位：mm



施工計画書

●室内ユニットグループ制御時は、室内ユニットの親機に集中制御アドレスを設定してください。
●室内ユニットのユニットNoの確認は、ワイヤードリモコンで行います。
（ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの ユニット選択 ボタンを**1回だけ押す**と、親機のユニットNoを表示します。）

システムコントローラー			室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス		
ゾーン 1	1	1	－	
	2	2	－	
	3	3	－	
	4	4	－	
	5	5	－	
	6	6	－	
	7	7	－	
	8	8	－	
	9	9	－	
	10	10	－	
	11	11	－	
	12	12	－	
	13	13	－	
	14	14	－	
	15	15	－	
	16	16	－	

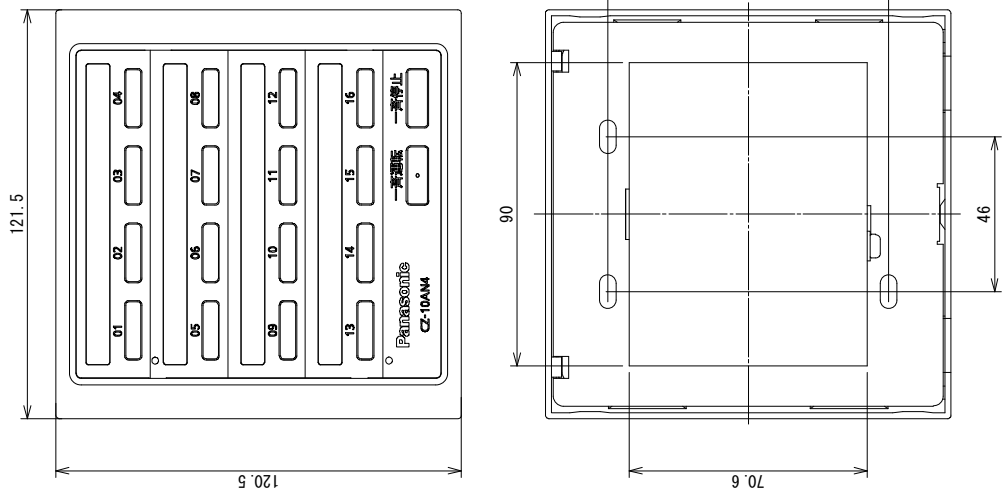
システムコントローラー			室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス		
ゾーン 2	1	17	－	
	2	18	－	
	3	19	－	
	4	20	－	
	5	21	－	
	6	22	－	
	7	23	－	
	8	24	－	
	9	25	－	
	10	26	－	
	11	27	－	
	12	28	－	
	13	29	－	
	14	30	－	
	15	31	－	
	16	32	－	

システムコントローラー			室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス		
ゾーン 3	1	33	－	
	2	34	－	
	3	35	－	
	4	36	－	
	5	37	－	
	6	38	－	
	7	39	－	
	8	40	－	
	9	41	－	
	10	42	－	
	11	43	－	
	12	44	－	
	13	45	－	
	14	46	－	
	15	47	－	
	16	48	－	

システムコントローラー			室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス		
ゾーン 4	1	49	－	
	2	50	－	
	3	51	－	
	4	52	－	
	5	53	－	
	6	54	－	
	7	55	－	
	8	56	－	
	9	57	－	
	10	58	－	
	11	59	－	
	12	60	－	
	13	61	－	
	14	62	－	
	15	63	－	
	16	64	－	

（8）ON／OFF集中コントローラー（CZ－10AN4）

外形寸法

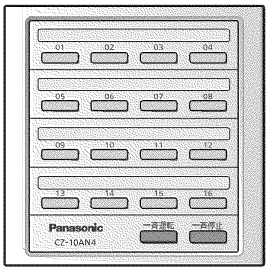


品番	CZ-10AN4

外形寸法図
(ON/OFF集中コントローラー)

仕様

品　　番	CZ-10AN4
外 形 寸 法	（高さ）120.5 mm ×（幅）121.5 mm （奥行き）14 + 51.1 mm
質　　量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃、20 %～80 % （屋内設置専用）
電　　源	単相AC　100～240 V　0／60 Hz
消 費 電 力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ 64台）



Panasonic

取扱説明書

ON/OFF集中コントローラー

品番 **CZ-10AN4**

据付（電気）工事説明書
別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、ON/OFF集中コントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書はON/OFF集中コントローラーの取扱説明書です。室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（下記）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とともに、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る
（感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

分解しない
禁止
（感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
必ず守る
（感電・火災の原因）

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

ぬれた手で操作しない
禁止
（感電や故障の原因）

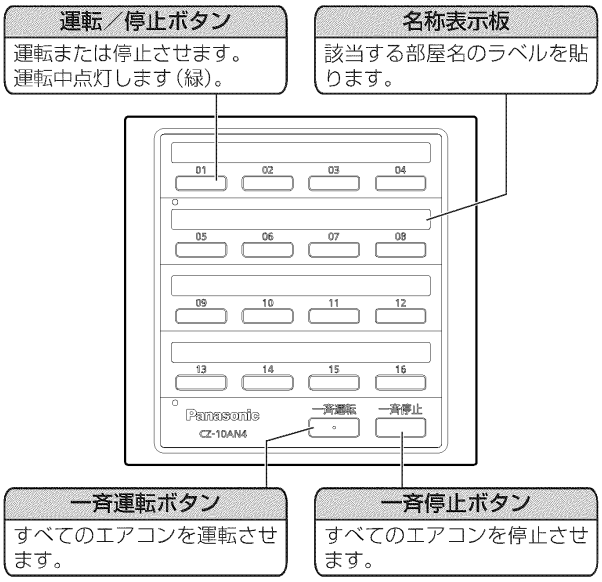
水洗いしない
禁止
（感電・火災の原因）

本機の特長

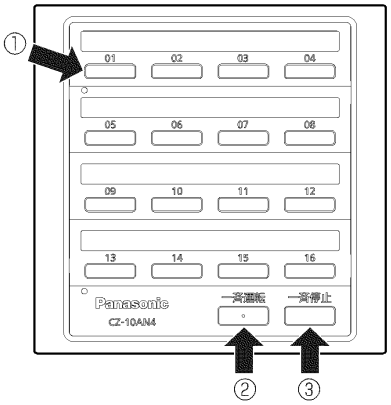
■ **接続台数** … 1台のON/OFF集中コントローラーに最多16グループ、64台の室内ユニットを接続可能
■ **操作機能** … 運転／停止（個別または一斉）
■ **順次始動** … 一斉運転の場合は1～2秒間隔で運転を開始

● 別売のスケジュールタイマーの接続により、週間プログラムの運転が可能です。

各部のなまえとはたらき



ご使用方法



① **個別に室内ユニットを運転または停止をするとき**
対象の室内ユニットの運転／停止ボタンを押します。

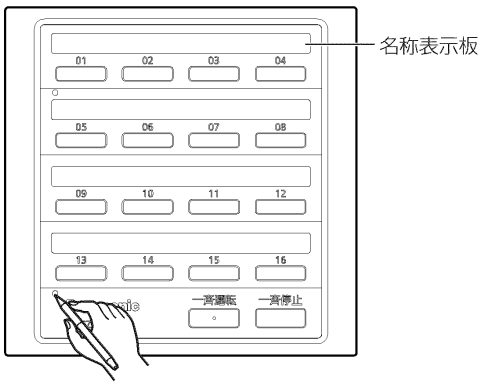
② **1番から16番の室内ユニットを同時に運転するとき**
一斉運転ボタンを押します。
1番から1～2秒間隔で順番に運転を開始します。

③ **1番から16番の室内ユニットを同時に停止するとき**
一斉停止ボタンを押します。

● 本機は、運転モードの設定や温度の設定ができません。リモコンやシステムコントローラーなどから操作してください。

名称表示板の使いかた

エアコンを運転したい部屋がわかり、エアコンの運転状態を動作表示ランプで確認できます。



① 透明カバー左の穴に先のとがったものを差し込んで透明カバーをはずしてください。

② 付属のスイッチ表示ラベルに、部屋名を油性ペン等で記入して、名称表示板に貼り付けてください。

知っていただきたいこと

本機のボタンが点滅している場合は以下についてご確認ください。

① 1番から16番のボタンが全て高速点滅（0.2秒間隔）しているとき
本機が室内ユニットを認識していない状態です。

② 本機を操作後に15秒間隔高速点滅（0.2秒間隔）したとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが操作を受けつけていない状態です。

③ ボタンが個別に低速点滅（1秒間隔）しているとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが警報状態です。

● 上記症状が続くようであれば、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕 様

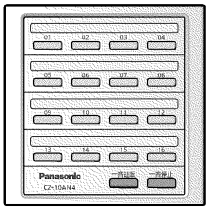
品　　番	CZ-10AN4
外形寸法	（高さ）120.5 ㎜ ×（幅）121.5 ㎜ （奥行き）14 + 51.1 ㎜
質　　量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % （屋内設置専用）
電　　源	単相AC100 ～ 240 V　50／60 Hz
消費電力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ（64台）

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ON/OFF集中コントローラー

品番 CZ-10AN4



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」「スイッチ表示ラベル」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗ ● **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)

❗ ● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
・電気設備に関する技術基準　・内線規程
・据付(電気)工事説明書
(感電、火災の原因)

● **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**
(故障や、漏電時に感電、火災の原因)

● **電源は、必ず専用回路を使用する**
(感電、火災の原因)

⏚ ● **アース工事(D 種接地工事)を行う**
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
・アース線は、ベランダの手すりにとらない
(感電の原因)

本体を据え付けるときに

⃠ ● **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)

● **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)

● **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
(発熱、火災の原因)

❗ ● **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)

● **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)

● **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
(製品の落下による、けがの原因)

本体を据え付けるときに

❗ ● **付属品は当社指定の部品を使用する**
(製品の落下、感電、火災などの原因)

● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)

● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

● **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

⃠ ● **次のような場所で使わない**
・結露するところ
・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
・電磁波が出る機械のあるところ
・電圧変動の多いところ
(感電、火災などの原因)

❗ ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

本体を据え付けるときに

⃠ ● **水洗いしない**(感電の原因)

仕様

品番	CZ-10AN4
外形寸法	(高さ) 120.5 mm × (幅) 121.5 mm (奥行き) 14 + 51.1 mm
質量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 % ～ 80 % (屋内設置専用)
電源	単相 AC100 ～ 240 V　50/60Hz
消費電力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ (64台)

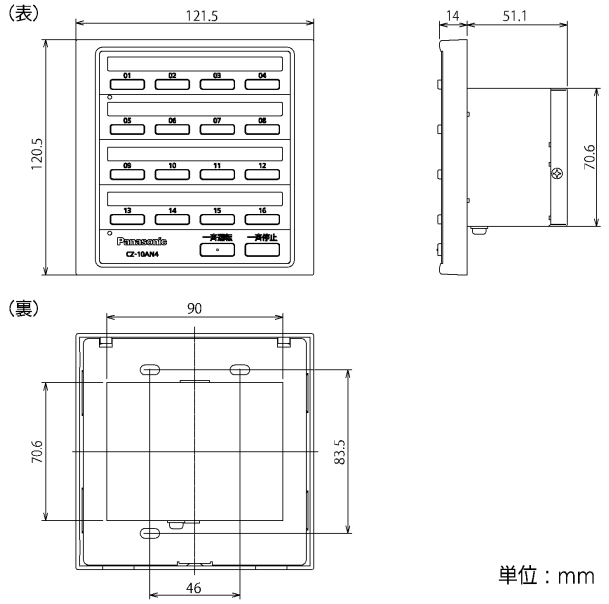
付属品

＜＞：個数

ネジ　＜2＞ M4 × 25 (埋込型JISボックス用)	取扱説明書　＜1＞ 据付(電気)工事説明書　＜1＞ スイッチ表示ラベル　＜1＞

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

外形寸法図



単位：mm

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所（本機の取り付けネジが緩み、落下の原因）　・熱源の近くなど
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 複数並べて設置するときは、左右5mm、上下50mm以上離す。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避けてください。（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離してください。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器（開閉器+Ｂ種ヒューズ）を据え付ける。
- 配線は、地中に埋設しない。

１配線のしかた

■ 電源線

（「安全上のご注意の内容」をご確認ください。）

- ケーブルの種類
  - 使用基準：600 Vビニール電線（現地調達）
  - 柔軟性のある2mm^{2}のケーブル（推奨）
- 電源端子
  - 端子ネジ　　：M4
  - 締め付けトルク：0.5 N・m（推奨値）

■ 室内外操作線

- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5 ～2mm^{2}のケーブル
  - シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル
  - 推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長
  - 1000m以内
- 接続可能台数

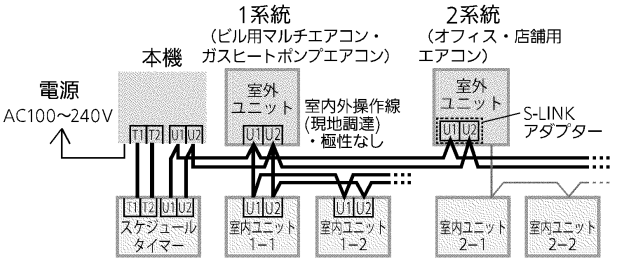
室外ユニット	最多30台
室内ユニット	最多64台 *1
集中制御機器	最多10台 *2

*1：室内ユニットの台数には、ローカルアダプターの台数を含みます。
室外ユニット・室内ユニット・集中制御機器の合計は100台までです。

*2：ON/OFF集中コントローラーは1リンクに最多8台までです。

基本配線図

室内外操作線を下図のように接続してください。



- S-LINKアダプター・ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付（電気）工事説明書」をあわせてご覧ください。

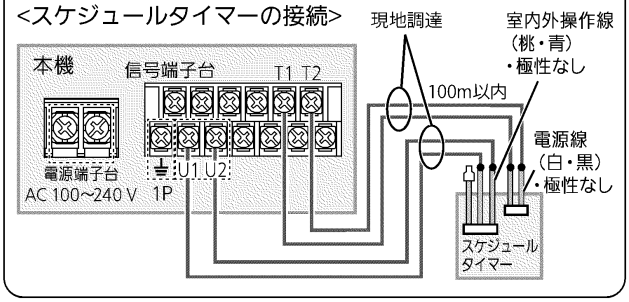
お願い

終端抵抗（プラグ）について

- 終端抵抗は室外ユニットまたはS-LINKアダプターに設定します。
- 接続する室外ユニットが1台の場合は1か所、複数台の場合は2か所を設定してください。

※室外ユニットまたはS-LINKアダプターなどに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

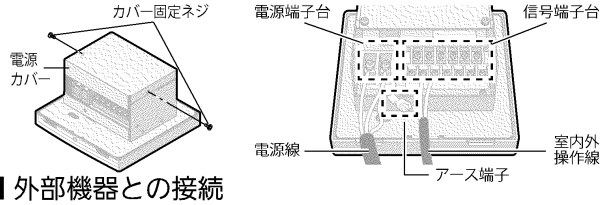
<スケジュールタイマーの接続>



1 配線のしかた（つづき）

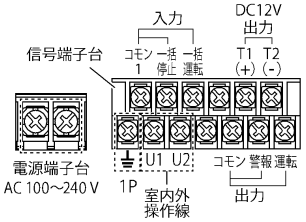
■ 配線の手順

① カバー固定ネジ2本をはずし、電源カバーを取りはずす。
② 電源線を電源端子台に接続し、アース線は、必ずアース端子に接続する。
③ 室内外操作線を信号端子台のU1、U2端子に接続する。
④ 外部機器と接続する。
　●外部機器を接続するときは「外部機器との接続」を参照してください。
⑤ 別売のスケジュールタイマーを接続する。
　●スケジュールタイマーを接続するときは、スケジュールタイマーに付属の「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。
⑥ 電源カバーを取り付け、カバー固定ネジ2本を取り付ける。



お知らせ
- 室内外操作線に、極性はありません。
- 室内外操作線にシールド線を使用する場合は、片側をアースとしてください。本機にアースを接続する場合は、信号端子台の1P（⏚）へ接続してください。

お願い
- 電源線を、信号端子台の端子に接続しないでください。（故障の原因）
- 室内外操作線を電源線などといっしょに合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- 配線を接続する際には、本機に傷が付かないようにご注意ください。



■ 外部機器との接続

入出力項目	ON/OFF集中コントローラー側 条件	端子名	設備側 切分端子	回路例	条件
状態出力	無電圧a接点 スタティック（リレー出力） 接点許容電圧：最大DC30 V 接点許容電流：最大0.5 A 最小適用負荷：DC5 V 1 mA	出力 運転 警報 コモン		デジタル入力	配線長 100 m 以内 ケーブル太さ 0.5 mm²～2mm²

入出力項目	ON/OFF集中コントローラー側 条件	端子名	設備側 切分端子	回路例	条件
制御入力	一括運転：有電圧DC24 V入力パルス 一括停止：有電圧DC24 V入力 （一括停止入力がONの間は、定期的に停止信号を送信します） 入力許容電圧：DC24 V±10 % 入力許容電流：最大10 mA	入力 一括運転 一括停止 コモン1		DC24 V COM	パルス幅 300 msec 以上 配線長 100 m 以内 ケーブル太さ 0.5 mm²～2mm²

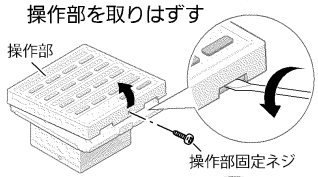
2 据え付ける

- 下ケースを取り付けるとき（手順2）ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（操作部の取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）

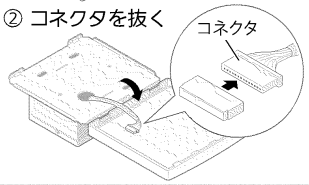
お願い
- 先に本機に接続した配線をJISボックス下の丸穴に通して、本機電源部に衝撃を与えないようにゆっくりと挿入してください。

❶ 準備する

① 操作部固定ネジをはずし、操作部を取りはずす

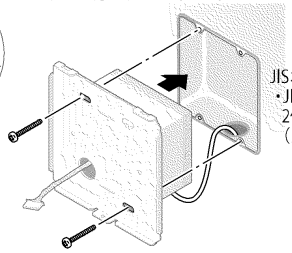


② コネクタを抜く



❷ JISボックスに据え付ける

① あらかじめ壁内に埋め込まれたJISボックス（現地調達）に本機を挿入する

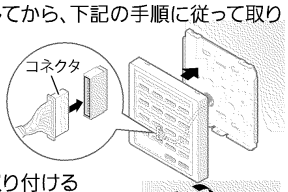


② 下ケース（電源部付）をJISボックスに据え付ける（ネジ（付属））

❸ コネクタを接続し、操作部を取り付ける

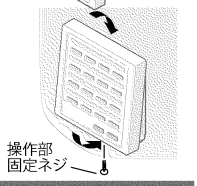
●「3 設定スイッチについて」を参照し、ディップスイッチ（DIPSW1）を設定してから、下記の手順に従って取り付けてください。

① コネクタを接続する

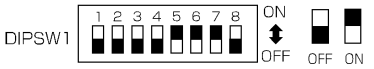


② 上側から操作部を取り付ける
　・基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
　（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

③ 操作部固定ネジを取り付ける



3 設定スイッチについて



※出荷時設定は以下のとおりになっております。
OFF：SW1・2・3・4・8
ON ：SW5・6・7

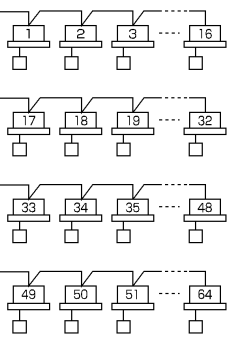
[SW1・2] ゾーンアドレス設定

操作するグループ（集中制御アドレス）に合わせてゾーン1から4を選択してください。
- 1ゾーンだけで使用の場合は、ゾーン1に設定します。
- 複数のゾーンで使用する場合、1台のON/OFF集中コントローラーは、必ずゾーン1に設定してください。

[SW3] ON/OFF集中コントローラー親子設定（親：OFF 子：ON）

① 1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを1台設置する場合は親（OFF）で使用してください。
② 1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを2台設置する場合は1台を親（OFF）、もう1台を子（ON）にしてください。
- 本機は各ゾーン毎に親子合わせて2台まで接続できます。

設定スイッチについて（SW1・2・3）	ON/OFF集中コントローラー親子 親（SW3 OFF）	子（SW3 ON）
ゾーン1 グループ1～16（SW1：OFF SW2：OFF）	OFF OFF OFF	OFF OFF ON
ゾーン2 グループ17～32（SW1：ON SW2：OFF）	ON OFF OFF	ON OFF ON
ゾーン3 グループ33～48（SW1：OFF SW2：ON）	OFF ON OFF	OFF ON ON
ゾーン4 グループ49～64（SW1：ON SW2：ON）	ON ON OFF	ON ON ON



3 設定スイッチについて（つづき）

[SW4] 集中制御親子設定（親：OFF 子：ON）

① ON/OFF集中コントローラー1台のみで使用する場合は親(OFF)で使用してください。

② インテリジェントコントローラー、システムコントローラー等の他の集中制御機器と併用する場合は本機を子(ON)にすることを推奨します。
ただし「**[SW5・6・7] 手元禁止設定**」を使用する場合は親(OFF)にしてください。

③ ②以外で1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを2台設置する場合は1台を親(OFF)、もう1台を子(ON)にしてください。

[SW5・6・7] 手元禁止設定

手元禁止に設定されたグループは、リモコンからの手元操作(運転/停止)が禁止されます。
「**[SW4] 集中制御親子設定**」が親(OFF)のときに使用できます。
※手元操作を許可したい場合は、SW5・6・7をOFFにしてください。

[SW8] 一斉運転/一斉停止対象設定

「一斉運転」「一斉停止」ボタンを押したときに運転/停止する対象を設定します。

① 「**[SW1・2] ゾーンアドレス設定**」で選択したゾーン全てのグループを対象にする場合はOFFで使用してください。

② 手元禁止されているグループのみ対象とする場合はONで使用してください。

設定スイッチについて(SW5・6・7)

グループ 1～16：手元許可	5 6 7 OFF OFF OFF
グループ 1～16：手元禁止	5 6 7 ON OFF OFF
グループ 1～4：手元許可 グループ 5～16：手元禁止	5 6 7 OFF ON OFF
グループ 1～8：手元許可 グループ 9～16：手元禁止	5 6 7 ON ON OFF
グループ 1～12：手元許可 グループ 13～16：手元禁止	5 6 7 OFF OFF ON
手元禁止設定無効	5 6 7 ON ON ON

4 試運転する

(準備) 室内ユニットおよび室外ユニットの「据付(電気)工事説明書」を参照し、事前に室内ユニットおよび室外ユニットの試運転をしてください。

① 本機の電源を入れてください。
(本機の16番ボタンが点滅し、室内ユニットの接続グループを自動的に確認します。)

② 本機の「一斉運転」ボタンを押し、ボタンの点灯を確認してください。
(1秒間隔で本機のボタン番号の順に運転します。)
接続されているグループと本機のボタンの点灯数が一致していることを確認してください。

※一致していない場合は、「**[SW1・2] ゾーンアドレス設定**」および「**5 集中制御アドレス設定**」をご覧になり、設定を確認してください。
※ローカルアダプターなどを接続する場合は、集中制御アドレスを設定してください。

● 本機のボタンが点滅している場合は以下についてご確認ください。

(1) 1番から16番のボタンが全て高速点滅(0.2秒間隔)しているとき
本機が室内ユニットを認識していない状態です。
・室内ユニットの電源が入っているか確認してください。
・集中制御アドレスが正しく設定されているか確認してください。
・室内外操作線がどこかで短絡または断線していないか確認してください。

(2) 本機を操作後に15秒間高速点滅(0.2秒間隔)したとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが操作を受けつけていない状態です。
・室内ユニットの電源が入っているか確認してください。
・集中制御アドレスが正しく設定されているか確認してください。
・室内外操作線がどこかで短絡または断線していないか確認してください。

(3) ボタンが個別に低速点滅(1秒間隔)しているとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが警報状態です。
・室内ユニットの動作を確認してください。
・室内ユニットおよび室外ユニットの「据付(電気)工事説明書」を参照し、試運転をしてください。

5 集中制御アドレス設定

※室内ユニットおよび室外ユニットの試運転を終了してから集中制御アドレスを設定してください。

● 本機に集中制御アドレス設定機能はありません。
● 集中制御アドレス設定が可能な集中制御機器(システムコントローラー、インテリジェントコントローラー等)と併用する場合は、集中制御機器から集中制御アドレス設定をしてください。
(集中制御機器に付属の「据付(電気)工事説明書」をご覧ください。)
● 上記以外の場合はワイヤードリモコンを用いてグループ毎に設定します。
下記の手順に従って集中制御アドレスを設定してください。
設定終了後、本機の電源を入れなおしてください。

ワイヤードリモコン（CZ-10RT3、CZ-10RT3Aなど）から設定する

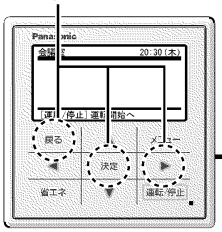
① [点検]ボタンと[換気]ボタンを同時に4秒以上押し続けます。
ユニット選択ボタンは押さないでください。
② 温度設定「▲」、「▼」ボタンで項目コード03を選択します。
③ タイマー時間「▲」、「▼」ボタンで集中制御アドレスを設定します。
④ [セット]ボタンを押す。(「設定中」が点滅から点灯に変わる。)
⑤ [点検]ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。
(通常の停止状態になる。)

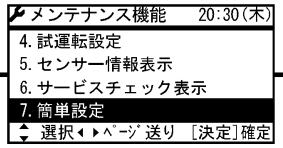
多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4Bなど）から設定する

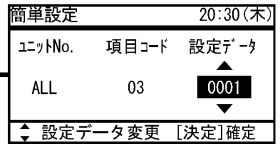
❶ 3つのボタンを同時に4秒以上押す

❷ 簡単設定を選ぶ
▲▼→[決定]

❸ 設定する
ユニットNo.は初期位置から変更しない。
項目コード03を選択します。
設定データを変更し、集中制御アドレスを設定します。
ユニットNo.選択位置で［戻る］を押して設定を終了します。







（9） e-CUT機能付システムコントローラー（CZ－10ESM4）

■仕　様

品番	CZ-10ESM4
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 16 + 51.9 mm
質量	520 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（屋内設置専用）
電源	単相 AC 100-240 V 50/60 Hz
消費電力	最大1.3 W
時計 精度	±30秒/月（常温25 ℃）※定期的に合わせてください。
時計 保持時間	100時間（満充電時）※満充電に約8時間かかります。
接続台数	室内ユニット 最多64グループ（64台）

■外形寸法図

外形寸法図
（e-CUT機能付 システムコントローラー）

品番	CZ-10ESM4

■取扱説明

e-CUT機能について

空調のムダを無くし、既存のエアコンで省エネを実現します。

設定温度自動リターン*1

温度を変えても、決めた時間がたったら自動で決めた温度にしたいときに。

来客時だけ涼しくしたい

設定温度範囲制限*1

設定できる温度の範囲を制限したいときに。

範囲外の温度には設定できません

消し忘れ防止設定*1

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めたいときに。

運転自動停止*1

運転するたびに、一定時間後に自動停止させたいときに。

使用頻度が少なく、1回の使用時間が短いときに、おすすめ

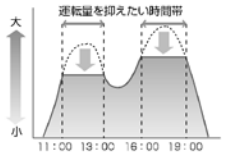
★：ガスヒートポンプエアコンの場合

デマンド設定*1（★ガス省エネ）

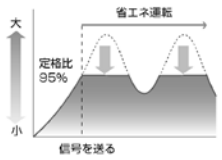
設置時に選んだ条件で、運転量を抑えたいときに。

設置時に、下記の3つのモードから選べます。

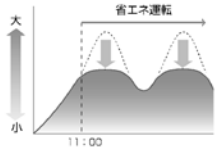
■時間帯デマンド（★ピークカット）
時間帯を指定して抑制（時間帯ごとに、運転量も指定）



■外部入力デマンド
外部機器からの信号で、抑制



■タイマー省エネ（★効率運転）
時間帯を指定して抑制



パスワード設定

権限のある人にだけ、設定変更させたいときに。

●設定変更範囲は、下記の3つから選べます。
- 省エネ設定のみ
- メニュー操作＋ウィークリータイマー設定
- すべてのキー操作

※e-CUT機能が強制的に省エネ操作を行います。
混乱を避けるため、リモコンには同梱の「省エネ集中管理中」ラベルを貼ってください。

*1：設定画面に e-CUT が表示されます。（e-CUT機能を表しています）

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	⚠注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

感電、火災を防ぐために

- **据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する**（必ず守る）（感電・火災の原因）
- **当社指定のエアコンと接続して使う**（必ず守る）（感電・火災の原因）
- **分解しない**（禁止）（感電・火災の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電・火災の原因）

（必ず守る）異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠注意

- **ぬれた手で操作しない**（禁止）（感電・故障の原因）
- **水洗いしない**（禁止）（感電の原因）

使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
- 湿気・油分・振動が多い／直射日光があたる／熱源の近く／結露する（故障の原因）
- ノイズが発生する（誤動作の原因）

●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や故障の原因）
- 汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。

エコナビ機能の概要

別売のエコナビセンサーで人の活動量を計り、人の活動量に応じて室内ユニットが省エネ運転を行います。

■人の活動量が多い場合

- 冷房・ドライ時
  設定温度で運転します
- 暖房時
  設定温度より温度を低くして運転します。

■人の活動量が少ない場合

- 冷房・ドライ時
  設定温度より温度を高くして運転します。
- 暖房時
  設定温度で運転します

■人が不在の場合

不在が約20分継続した時
- 冷房・ドライ時
  人の在室時より、温度を高くして運転します。
- 暖房時
  人の在室時より、温度を低くして運転します。

不在が約1時間継続した時
- 指定した不在運転モードで運転します。出荷設定は、設定温度を抑制した省エネ運転のまま継続します。（不在運転モードについては、エコナビセンサーの取扱説明書をご覧ください）

※ 不在運転モード中に人を検知した場合、人の活動量に応じた運転状態に戻ります。

⚠警告（必ず守る）**体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない**
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

お知らせ

●エコナビ機能のオン／オフは本機で設定可能です。
●エコナビ機能の詳細設定を行うには、別途エコナビ機能に対応したリモコン*が必要です。詳細設定方法については、エコナビ機能対応リモコン*の取扱説明書をご確認ください。
●エコナビ機能によって目標温度が変更されても、本機に表示される設定温度は変化しません。
●不在運転（スタンバイモード）により送風運転に切り換わっても、本機に表示される運転モードは変化しません。
●室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

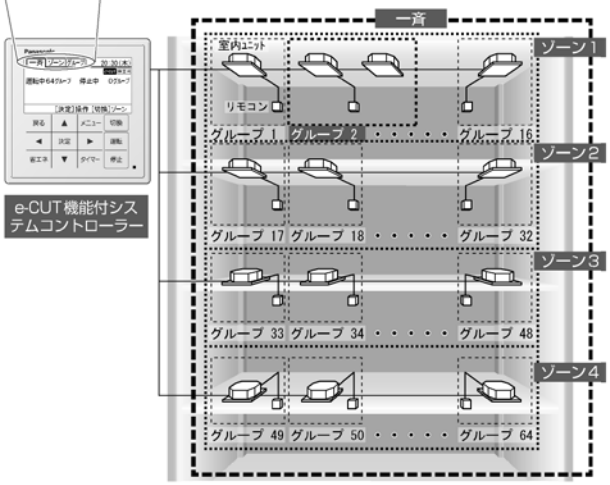
*多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4A以降）

空調管理システムについて

制御・監視エリアの規模に応じた最適な空調管理システムが選択できます。

■室内ユニットの制御
本機1台で最大64台の室内ユニットを個別・集中で多機能操作。
※ 室内ユニット64台を最大4ゾーンに分け、一斉/ゾーン/グループ単位で制御できます。

一斉	・すべての室内ユニットを最大64台操作・設定できます。
ゾーン	・複数の室内ユニットを最大4つのゾーンとして登録でき、ゾーンごとに一括して操作・設定が可能です。
グループ	・グループごとに操作・設定を行います。 ※リモコンの操作単位が1グループになります。 例):下図グループ2のように「室内ユニット2台」をリモコン操作している場合は、「室内ユニット2台」が1グループになります。



●上記は本機を集中コントローラーとして接続した例です。
●室内ユニットとして、熱交換気ユニットを接続できます。

■接続できる室内ユニットの数
・室内ユニット最大64台
・設定数：4ゾーン、64グループ
・1ゾーン：16グループ、64台

■制御モード
本機には、2つの「動作モード」と5つの「管理台数モード」があります。
※ 各モードは設置時に設定されています。詳細は、据付(電気)工事説明書をご覧ください。

●動作モード
「集中制御モード」:
・本機を"集中コントローラー"として使用。

お知らせ
集中制御モードにした場合は「リモコン禁止モード」が使用できます。

「リモコンモード」:
・本機を"リモコン"として使用。

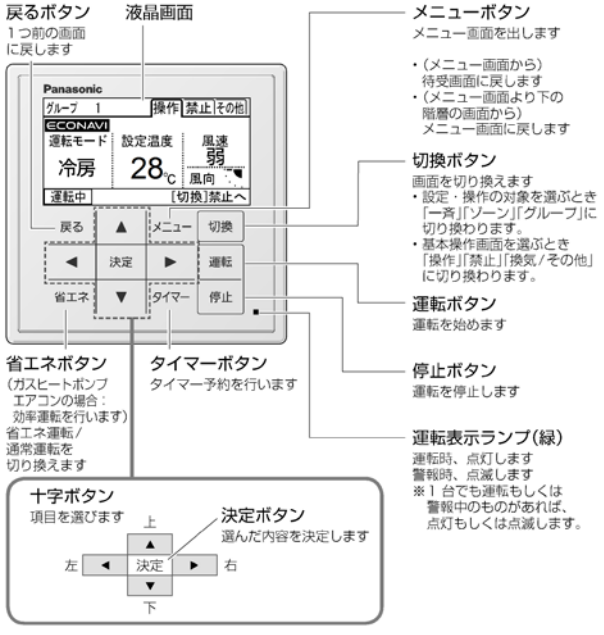
お知らせ
リモコンモードにした場合は「リモコン禁止モード」は使用できません。また他の集中コントローラーが「リモコン禁止」を設定すると、本機で室内ユニットを操作できなくなります。

●管理台数モード
「一斉モード」:
・一斉/ゾーン/グループ単位で制御できます。

「ゾーン1・2・3・4モード」:
・ゾーン1・2・3・4いずれかのゾーンの室内ユニットのみ操作・設定できます。

		動作モード	
		集中制御モード	リモコンモード
管理台数モード	一斉モード	一斉集中制御	一斉リモコン
	ゾーン1モード	ゾーン1集中制御	ゾーン1リモコン
	ゾーン2モード	ゾーン2集中制御	ゾーン2リモコン
	ゾーン3モード	ゾーン3集中制御	ゾーン3リモコン
	ゾーン4モード	ゾーン4集中制御	ゾーン4リモコン

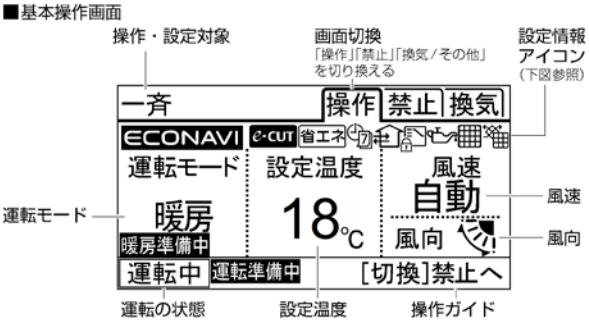
各部の名前 操作部



お知らせ
●パスワード設定がされている場合は、下記のいずれかの操作後、パスワードの入力画面が表示されます。
・メニュー内の1.省エネ設定操作後
・メニューボタンとタイマーボタン操作後
・すべてのボタン操作後
パスワードについては、パスワード設定をご確認ください。
●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
●手袋を着けた状態では、操作できません。
●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

画面表示

■基本操作画面



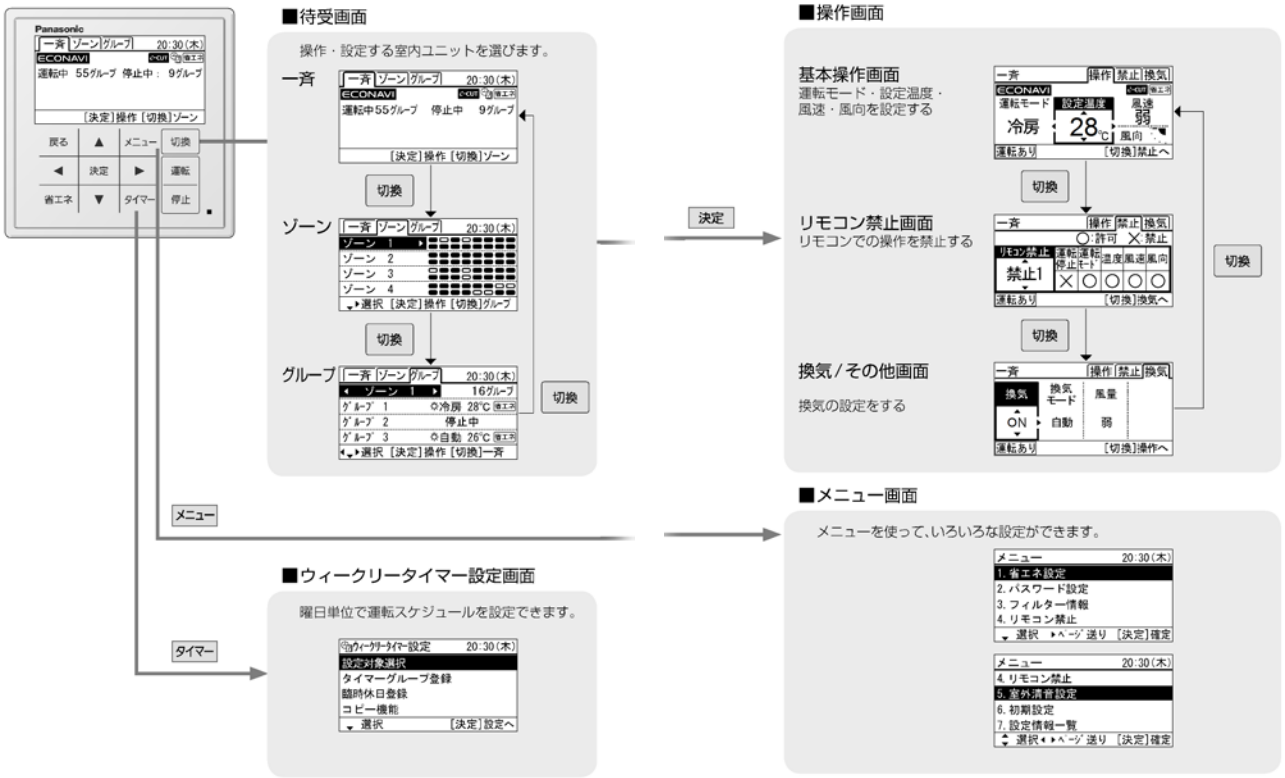
設定情報アイコン表示例(基本操作画面、待受画面に表示されます)
設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。

アイコン	内容	
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要(熱交換気ユニット接続時のみ)	
	エンジンオイル交換が必要(ガスヒートポンプエアコン使用時のみ)	
	運転モードの切り換えを禁止中(冷暖自動への切り換えも禁止)	
*2	集中制御機器からリモコン操作を制限中(リモコンモード時のみ)	
*2	キー操作ロック設定中	
	ウィークリータイマー設定中と臨時休日設定中	
	ウィークリータイマー設定中(臨時休日未設定)	
省エネ	省エネ運転中	
	外気をそのまま取り入れ換気中 (熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ)	
*2	外気を室温に近づけて取り入れ換気中*1(熱交換気ユニット接続時のみ)	
A *2	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換え換気中*1 (熱交換気ユニット接続時のみ)	
e-CUT *2	省エネ設定機能が設定中です	
e-CUT *2	省エネ設定機能が動作中です	

※すべてのアイコンの意味を確認するとき
*1：基本操作画面のみに表示されます。
*2：アイコン表示が多いときは、表示エリアをこえるので、表示されない場合があります。

画面切換について

主な画面の切り換えかたを示します。



基本操作

本機を使用するうえでの基本的な操作について説明しています。

1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ

切換 を押す

一斉　すべての室内ユニットを選ぶ。

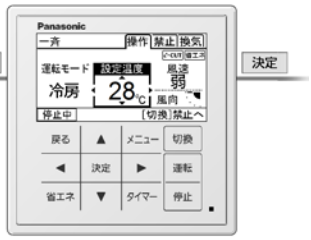
ゾーン　ゾーン*を選ぶ。

グループ　グループを選ぶ。

* ゾーンモードのときは指定されたゾーンのみ操作可能です。

2 運転モード・設定温度・風速・風向を設定する

◀ ▶ → ▲ ▼ を押す



運転モード　冷房、暖房、ドライ、送風、冷暖自動を切り換える。

設定温度　設定温度を設定する。

風速　風の強さを切り換える。

風向　風の向きを切り換える。

●「切換」ボタンで画面を切り換えて、以下の設定を行うことができます。

・「禁止」(リモコン禁止)画面
リモコンによる設定・操作を禁止する。

・「換気/その他」画面
換気のオン/オフ、設定などを行う。

さらに…

メニュー　メニュー画面で詳細な設定を行うことができます。

タイマー　ウィークリータイマー設定を行うことができます。

3 運転する

運転 を押す

運転表示ランプ(緑)

「省エネ」ボタン
(ガスヒートポンプエアコンの場合：効率運転を行います)
省エネ運転をオン/オフにする。(省エネ運転機能付きの室内ユニットのみ対応)

「決定」ボタン
手順2の画面に戻り、運転しながら設定を変更できます。

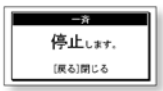
4 終了する

停止 を押す

運転を開始する。

・ポップアップ画面を表示。(4秒)
・運転表示ランプが点灯。

運転を停止する



・ポップアップ画面を表示。(4秒)

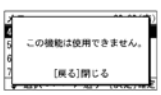
※ポップアップ画面をすぐに消したいときは「戻る」ボタンを押します。

お知らせ

●停電からの復帰後「運転」ボタンを押すと、停電前の内容で運転が再開します。
●しばらく操作しないと、節電のため、バックライトが消えます。(いずれかのボタンを押すと、点灯します)

省エネについて

●省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房/暖房などの能力は低下します。(室外ユニットの運転が制限値以下の場合は、制限されません)
●どの室内ユニットにも省エネ機能がない場合、省エネボタンを押すと右の画面が表示されます。



一斉・ゾーン・グループを選ぶ

待受画面から設定する室内ユニットを選びます。

一斉
すべての室内ユニットを選ぶ

ゾーン
を選ぶ

グループ
を選ぶ

お知らせ

●ゾーン画面でグループを選ぶことができます。

ゾーン選択画面で手順2の後 ▶ を押すと、下記の画面が表示されます。

・■ 運転中
・□ 停止中
・▬ 警報中
・【 】: 選択中のグループ
▲▼◀▶でグループを選び、「決定」ボタンを押す。

基本操作 → 1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ → 2 運転モード・設定温度・風量を設定する → 3 運転する → 4 停止する

1 画面を切り換える

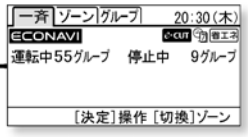
切換 を押す

一斉 → ゾーン → グループ

2 項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定 を押す

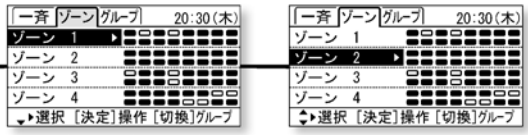
「決定」を押すと設定画面に切り換わります。



※一斉の場合、そのまま「決定」ボタンを押してください。

ゾーン1～4を選ぶ

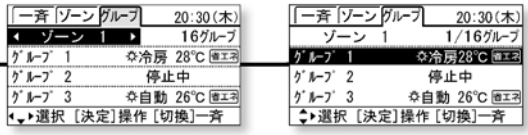
▲ ▼ → 決定 を押す



※この画面からグループを選ぶことができます。

ゾーンを選び、グループを選ぶ

◀ ▶ → ▲ ▼ → 決定 を押す



・◀▶でゾーンを選び、▲▼グループを選んで「決定」ボタンを押す。

運転モード・設定温度・風速・風向を設定する

選択した室内ユニットに対し各設定を行います。

1 操作画面を出す

決定 を押す

お知らせ

●設定できない運転モードは表示されません。
●風向の表示は、実際のフラップの角度とは異なります。
●しばらく操作しないと、節電のため、バックライトが消えます。(いずれかのボタンを押すと、点灯します)
●機器によっては設定できる温度範囲が異なります。
●本機で設定温度の範囲を変更することができます。

●風向表示が出ない機種があります。
●「一斉」と「ゾーン」のときは、代表の室内ユニットの設定を表示しています。すべての室内ユニットが表示どおりの設定になっているわけではありません。

※室内ユニットが熱交換気ユニットの場合、画面が異なります。

運転モード
冷房や暖房など
を変えるとき

設定温度
を変えるとき

風　速
を変えるとき

風　向
を変えるとき

基本操作 (P.14) → 1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ → 2 運転モード・設定温度・風速・風量を設定する → 3 運転する → 4 停止する

2 設定する項目を選ぶ

◀ ▶ を押す

・カーソルが消えているときは「決定」を押す。

3 設定する

▲ ▼ → 決定 を押す

(カーソルが消える)
待受画面に戻ります。

運転モード: 冷暖自動
暖房 → ドライ → 冷房 → 送風 → 冷暖自動

※冷暖自動：設定温度になるよう、自動で冷房/暖房を切り換えます。

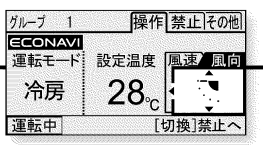
設定温度: 27℃

・冷房・ドライ:18 ℃～30 ℃
・暖房 :16 ℃～30 ℃※
・冷暖自動 :17 ℃～27 ℃
※一部の機種の上限温度は 26 ℃です。

風速 風向: 急

急 → 強 → 弱 → 自動

※自動：送風時は選べません。



風速 風向:

・：スイング
・スイング中に▲▼を押すとお好みの位置でフラップを止められます。
・暖房・送風・冷房自動 (暖房)時は、5段階、冷房・ドライ時は3段階の調節になります。

ウィークリータイマー設定の概要

曜日単位で運転スケジュールを設定して、毎回の操作を省きたい

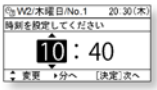
・毎週月～金曜は朝9：00に運転開始など、曜日と時刻を決めて、運転・停止や温度変更のスケジュールを設定できます。

設定のしかた（概要）

「曜日」を選ぶ

・設定方法は（P.22）

「時刻」を選ぶ



「動作」を選ぶ

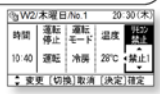
●運転：運転を始めるとき
●停止：運転を止めるとき

「運転モード」を選ぶ

「温度」を選ぶ

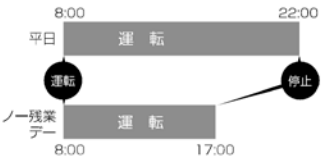
（「送風」以外のときのみ）

リモコンの「許可・禁止」を選ぶ



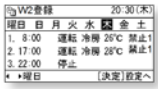
組み合わせれば、こんなことができます。

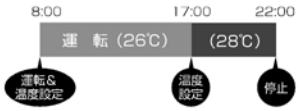
■例1
ノー残業デーは、早めに運転を止める！



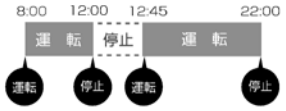
・平日は、1つの曜日（例：月曜日）を設定して、他の曜日にコピーできます。（P.26）

■例2
定時以降は、温度を高く！





■例3
昼休みは運転を止める！



■例4
今週の木曜日は休日！
登録済みのスケジュールを残したまま特定の曜日だけタイマーをオフにできます。（P.22）
・休日のある週に木曜日を「☑」（無効）に。
・休日が終わったら、「●」（有効）に。

タイマー予約する　新規登録

・画面は、タイマーグループW2として次の登録をした場合の例です。
毎週木曜日 10:40に28 ℃で冷房運転を開始、リモコンは「禁止1」を割り当てる。

1 ウィークリータイマー設定画面を出す

タイマー を押す

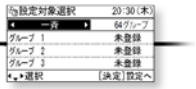
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■タイマー設定画面を終了するとき
「タイマー」ボタンを押す。

2 「設定対象選択」を選ぶ

3 対象を選ぶ

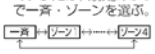
■一斉/ゾーン



・◀▶または「切換」ボタンで「一斉」・ゾーンを選ぶ。

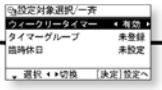
■グループ

・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選ぶ。



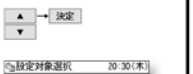
※ゾーンとグループの名前は変更できます。

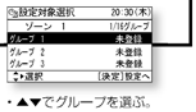
4 「ウィークリータイマー」を「有効」にする



（次ページに続く）

・▲▼で項目を選び、◀▶で有効/無効を選ぶ。





・▲▼でグループを選ぶ。

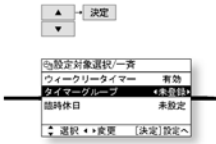
※一斉　：最大64グループ
ゾーン：最大16グループ

タイマーをオフにするとき
手順1から始め、手順4で「無効」を選び、「タイマー」ボタンを2回押す。

登録後、特定の曜日だけタイマーをオフにするとき（祝日など）
「臨時休日」を設定できます。

タイマー予約する（新規登録（つづき））

5「タイマーグループ」を選ぶ



6 ウィークリータイマーグループを選ぶ

・▲▼でW1～W8より登録したいグループを選ぶ。

7 タイマーを使う曜日をすべて「●」（有効）にする

・◀▶で曜日を選び、▲▼または「切換」ボタンで「●」（有効）/「／」（無効）を選ぶ。

8 タイマー設定する曜日を選ぶ

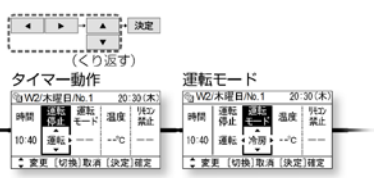
9 タイマー設定を登録する欄を選ぶ

・曜日ごとに、8つまで登録できます。
・登録後、自動的に時系列で並び替わります。

10 タイマー動作する時刻を設定する

・0:00～23:59

11 設定する



タイマー動作
・タイマー動作の種類
●運転：運転を始めるとき
●停止：運転を止めるとき

運転モード
・運転モードの種類
●冷房
●送風
●自動
●暖房
●ドライ

12 設定内容を確認する

確認して［タイマー］（2回押し終了）

温度

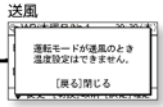
リモコン禁止

※動作モードが「集中制御モード」のとき設定できます。

■続けて追加登録するとき
「タイマー」ボタンを押さずに、手順9から繰り返す。

■設定内容を他の曜日にコピーするとき

送風



※「送風」に設定した時は、温度の設定はできません。

タイマー予約する（設定をコピーする）

タイマーグループコピー / 曜日間コピー

■タイマーグループコピー
登録したタイマーグループを他のタイマーグループにコピーします。
複数のグループを同じスケジュールにするときに便利です。

1 ウィークリータイマー設定画面で「コピー機能」を選ぶ

2 項目を選ぶ

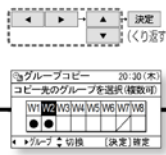
タイマーグループコピー

曜日間コピー

■曜日間コピー
登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

3 コピー元を選ぶ

4 コピー先をすべて「●」にする

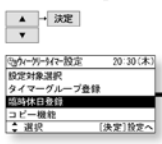


5「はい」を選ぶ

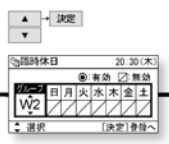
臨時休日を設定する

祝日など、特定の曜日だけタイマーをオフにすることができます。

1 P.22のウィークリータイマー設定画面で「臨時休日登録」を選ぶ



2 ウィークリータイマーグループを選ぶ



・W1～W8

3 臨時休日の曜日を選ぶ

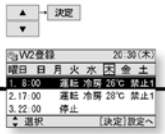
4 臨時休日の設定を切り換える

●：設定
空欄：未設定

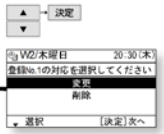
タイマー予約を変更・削除する

1 手順8のあと、変更・削除する曜日を選ぶ

2 変更・削除するスケジュールを選ぶ



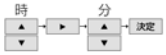
3 変更または削除を選ぶ



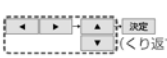
- 変更
- 削除

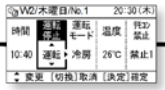
4 変更・削除する

時刻を設定する



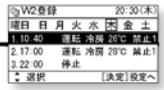
項目を選び変更する





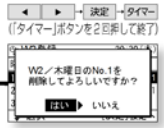
設定内容を確認する

確認して タイマー を押す
（「タイマー」ボタンを2回押して終了）



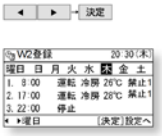
■続けて変更・削除するとき
タイマー ボタンを押さずに、手順1からくり返す。

「はい」を選ぶ

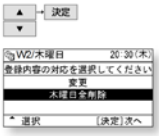


■選んだ曜日のスケジュールを“すべて削除”するとき

1 手順8で変更・削除する曜日を選ぶ

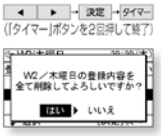


2 「木曜日全削除」を選ぶ



※曜日は選んだ曜日が表示されます。

3 「はい」を選ぶ
（「タイマー」ボタンを2回押して終了）



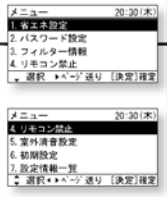
メニュー一覧

1 メニュー画面を出す

メニュー

2 メニュー項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定



- 省エネ設定
  「省エネ」ボタンとは別にそれぞれ個別に設定できます。
- パスワード設定※
  管理者パスワードを設定します。
- フィルター情報※
  フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。
- リモコン禁止
  リモコン使用の禁止・許可を設定します。
- 室外静音設定※
  室外ユニットを静音運転します。
- 初期設定
- 設定情報一覧
  設定情報アイコンの意味を確認します。

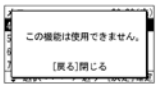
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ページを送るとき

◀ ▶

■各設定画面で数分間操作をしないとき
待受画面に戻ります。

※機種によっては、使用できないメニューがあります。
次のような表示が出ます。



省エネ設定	エコナビ設定	エコナビの設定をオン/オフします。
	e-CUT機能 (P.4) 設定温度自動リターン	温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。
	e-CUT機能 (P.4) 設定温度範囲制限	設定できる温度の範囲を制限します。
	e-CUT機能 (P.4) 消し忘れ防止設定	消し忘れ防止タイマーを設定します。
	e-CUT機能 (P.4) デマンド設定	時間帯を決めたり、外部からの操作で省エネ運転します。
	e-CUT機能 (P.4) 運転自動停止	運転するたび、一定時間後に自動停止させます。
パスワード設定※	e-CUT機能 (P.4) 暗証番号	パスワードを入力します。
	e-CUT機能 (P.4) 対象範囲設定	パスワード対象範囲を設定します。
フィルター情報※	フィルターサイン	清掃までの時間のカウントをリセットします。
	フィルター清掃時期	清掃までの時間を確認します。
初期設定	時計設定	現在日時を設定します。
	時刻表示設定	時刻表示の種類を設定します。
	操作ロック設定	ボタン操作をロックします。
	ゾーン・グループ名称設定	ゾーンとグループに名前をつけることができます。
	操作音設定	操作音をオン/オフします。
	コントラスト調整	画面のコントラストを設定します。
	バックライト設定	画面のバックライトの明るさを設定します。
	サービス連絡先表示	サービスの連絡先を確認します。
設定情報一覧	グループ情報	グループの設定情報を表示します。
	設定情報	すべての接続グループの設定情報を表示します。

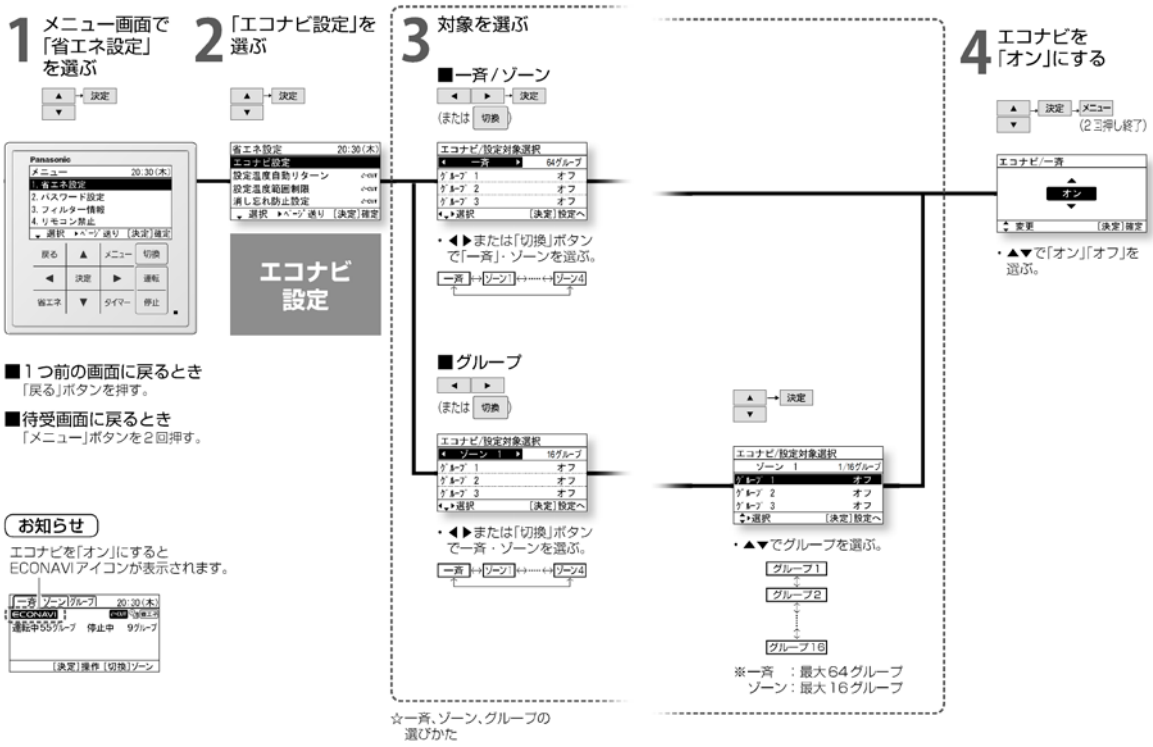
お知らせ

- パスワード設定がされている場合は、下記のいずれかの操作後、パスワードの入力画面が表示されます。
  - メニュー内の1.省エネ設定操作後
  - メニューボタンとタイマーボタン操作後
  - すべてのボタン操作後

  パスワードについては、パスワード設定をご確認ください。

エコナビ設定

エコナビ運転のオン/オフを設定します。



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

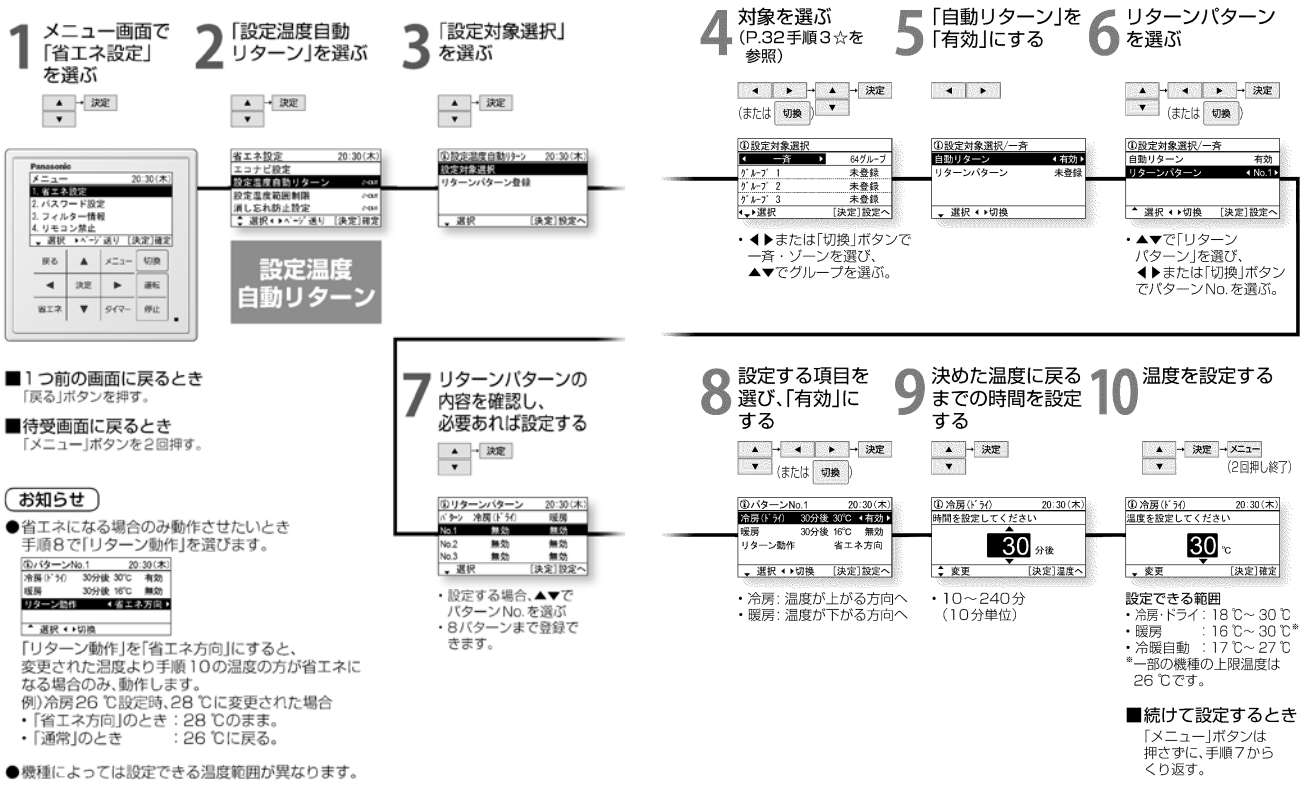
■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

エコナビを「オン」にすると
ECONAVIアイコンが表示されます。

設定温度自動リターン

温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

●省エネになる場合のみ動作させたいとき
手順8で「リターン動作」を選びます。

「リターン動作」を「省エネ方向」にすると、
変更された温度より手順10の温度の方が省エネになる場合のみ、動作します。
例)冷房26 ℃設定時、28 ℃に変更された場合
・「省エネ方向」のとき：28 ℃のまま。
・「通常」のとき ：26 ℃に戻る。

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

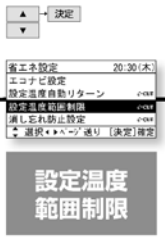
■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンは押さずに、手順7からくり返す。

設定温度範囲制限

設定できる温度の範囲を制限します。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ

2 「設定温度範囲制限」を選ぶ



3 「設定対象選択」を選ぶ

設定温度範囲制限

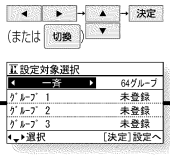
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

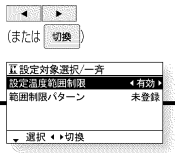
● 機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

4 対象を選ぶ（P.32手順3☆を参照）

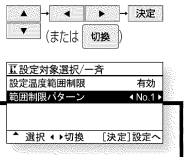


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

5 「設定温度範囲制限」を「有効」にする

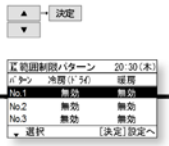


6 「範囲制限パターン」を選ぶ



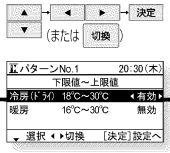
・▲▼で「範囲制限パターン」を選び、▲▼または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 範囲制限パターンの内容を確認し、必要あれば設定する

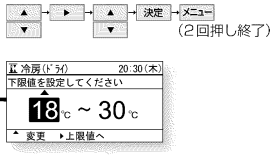


・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

8 設定する項目を選び、「有効」にする



9 温度の範囲を設定する



設定できる範囲
・冷房・ドライ：18 ℃～ 30 ℃
・暖房　　：16 ℃～ 30 ℃※
・冷暖自動　　：17 ℃～ 27 ℃
※一部の機種の上限温度は26 ℃です。

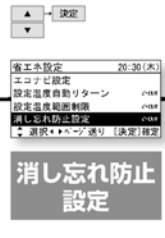
■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンは押さずに、手順7からくり返す。

消し忘れ防止設定

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めます。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ

2 「消し忘れ防止設定」を選ぶ

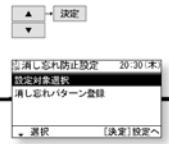


消し忘れ防止設定

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

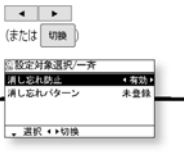
3 「設定対象選択」を選ぶ



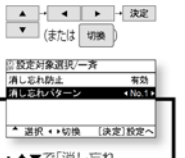
4 対象を選ぶ

・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び▲▼でグループを選ぶ。

5 「消し忘れ防止」を「有効」にする



6 「消し忘れパターン」を選ぶ

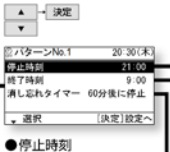


・▲▼で「消し忘れパターン」を選び、▲▼または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 消し忘れパターンの内容を確認し、必要あれば設定する

・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

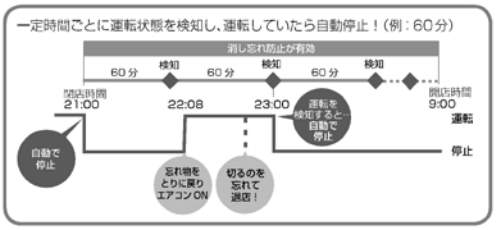
8 設定する項目を選ぶ



●停止時刻
運転を止める時刻。
（消し忘れ防止機能が働く時刻）
●終了時刻
消し忘れ防止機能が止まる時刻。
●消し忘れタイマー
「停止時刻」後、運転していないか一定時間ごとに検知するときの時間間隔。

9 設定する

・10～180分（10分単位）

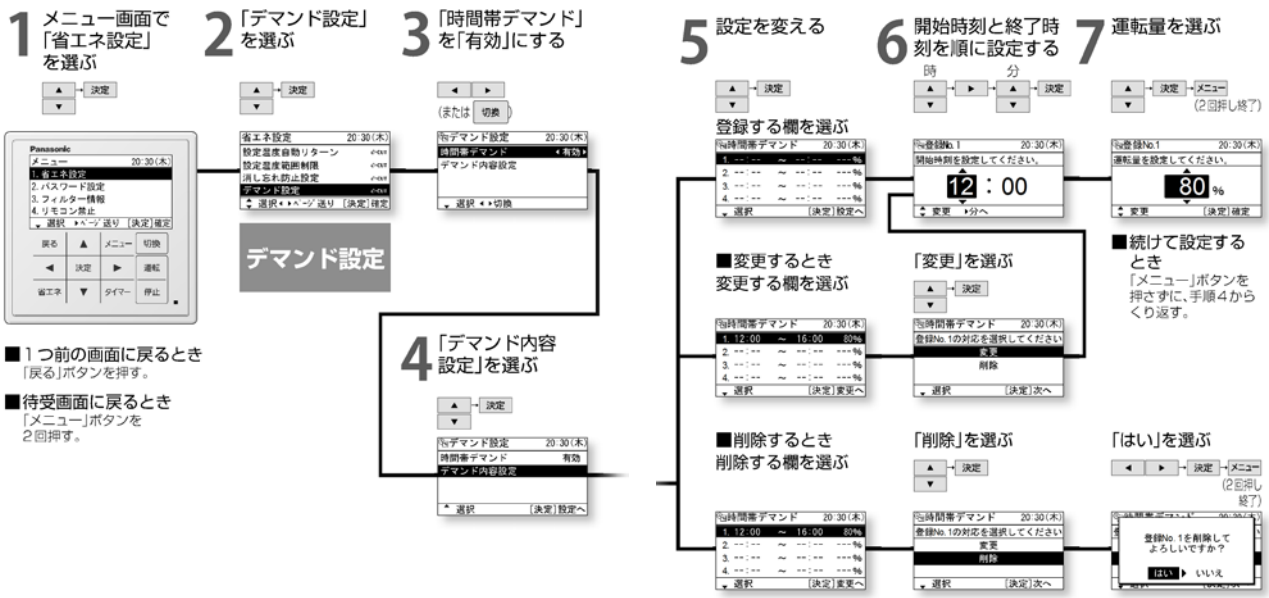


デマンド設定 時間帯デマンド

ガスヒートポンプエアコンの場合

ピークカット

指定した時間帯ごとに、指定した運転量に抑えます。

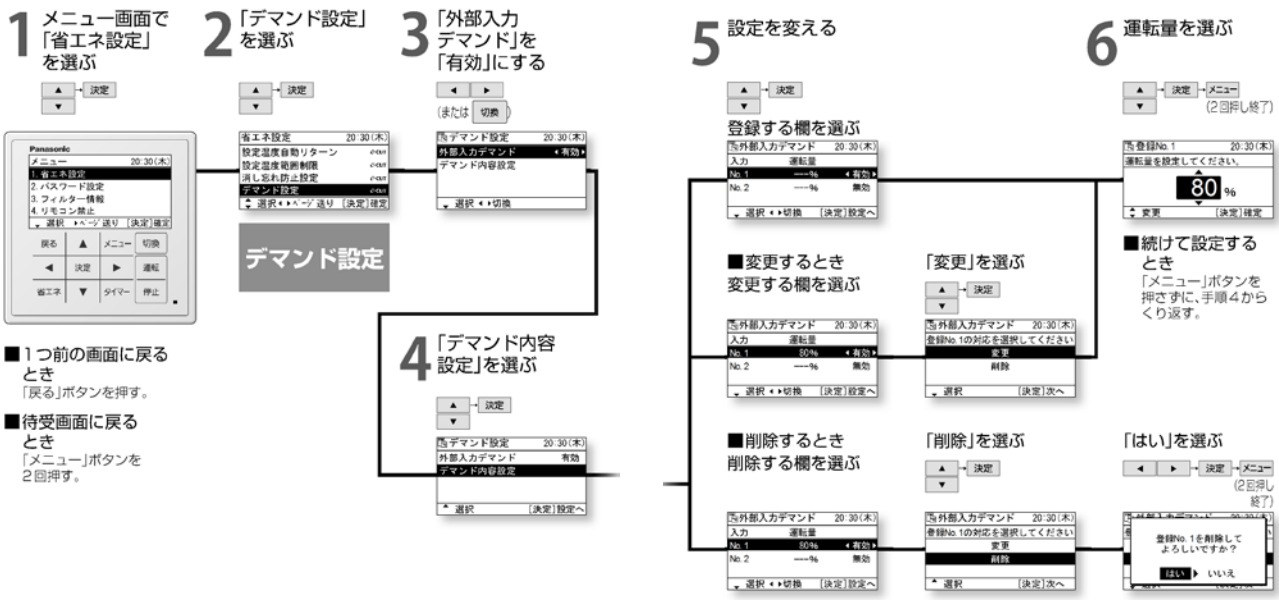


お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド　・外部入力デマンド　・タイマー省エネ
設定方法については、各ページをご覧ください。
ピークカットの設定は、時間帯デマンドの設定操作と同じになります。

デマンド設定 外部入力デマンド

外部機器からの信号で、運転量を抑えます。



お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド　・外部入力デマンド　・タイマー省エネ
設定方法については、各ページをご覧ください。

デマンド設定 タイマー省エネ

ガスヒートポンプエアコンの場合 効率運転

指定した時間帯のみ運転量を抑えます。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ

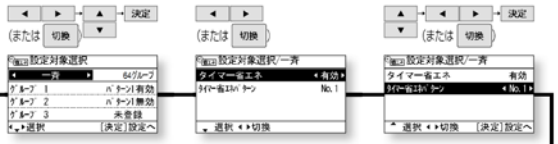
2 「デマンド設定」を選ぶ

3 「設定対象選択」を選ぶ

4 対象を選ぶ

5 「タイマー省エネ」を「有効」にする

6 「タイマー省エネパターン」を選ぶ



・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

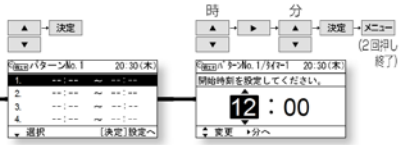
・▲▼で「タイマー省エネパターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 タイマー省エネパターンの内容を確認し、必要あれば設定する

・8パターンまで登録できます。

8 登録する欄を選ぶ

9 開始時刻と終了時刻を順に設定する



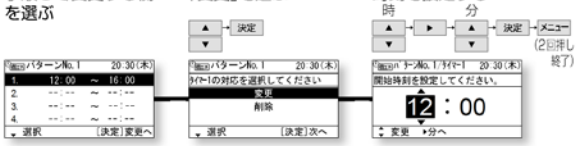
・4パターンまで登録できます。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

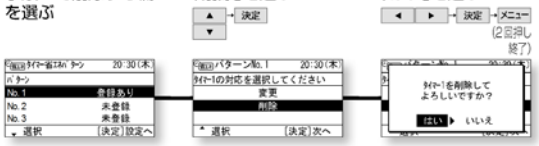
■変更するとき

手順8で変更する欄を選ぶ → 「変更」を選ぶ → 時刻を設定する



■削除するとき

手順8で削除する欄を選ぶ → 「削除」を選ぶ → 「はい」を選ぶ



お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド (P.40) ・外部入力デマンド (P.42) ・タイマー省エネ (P.44)
設定方法については、各ページをご覧ください。
効率運転の設定は、タイマー省エネの設定操作と同じになります。

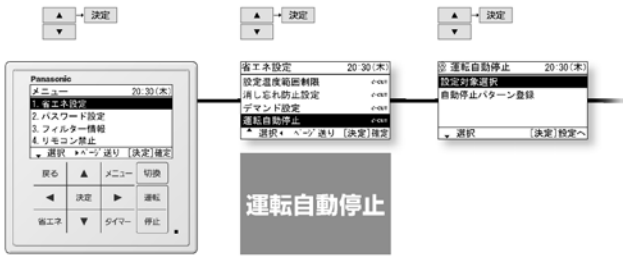
運転自動停止

運転するたび、一定時間後に自動停止させたいとき。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ

2 「運転自動停止」を選ぶ

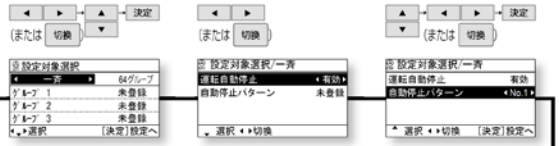
3 「設定対象選択」を選ぶ



4 対象を選ぶ

5 「運転自動停止」を「有効」にする

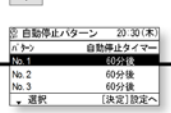
6 「自動停止パターン」を選ぶ



・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

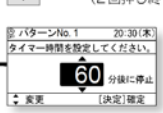
・▲▼で「自動停止パターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 自動停止パターンの内容を確認し、必要あれば設定する



・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

8 時間を設定する

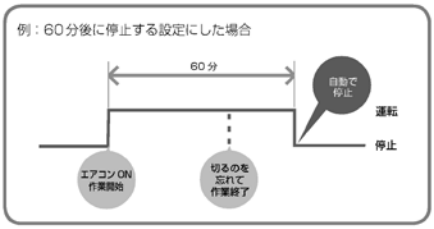


・10～180分
(10分単位)

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

例：60分後に停止する設定にした場合



パスワード設定 暗証番号/対象範囲設定

パスワード(暗証番号)とパスワードの対象範囲を設定します。パスワードの対象範囲として、次の3つを選べます。
・省エネ設定　・メニュー設定とウィークリータイマー設定　・すべてのキー操作
(各操作を選択時、ポップアップのパスワード画面が入力されます。)

1 メニュー画面で「パスワード設定」を選ぶ

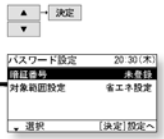
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

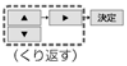
お知らせ

暗証番号が設定されているとき、暗証番号を入力するとロックが解除され、操作できます。30分何も操作しないと再びロックがかかります。

2 設定する項目を選ぶ



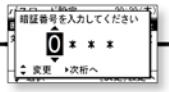
3 パスワードを入力する



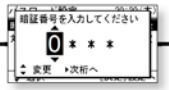
※パスワードが未登録のときは、手順5へスキップします

暗証番号

■変更するとき



■削除するとき

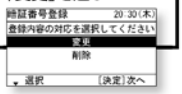


対象範囲設定

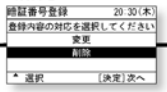
・▲▼で数字を選び、▶で次の桁に移動する。

4 項目を選ぶ

「変更」を選ぶ

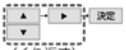


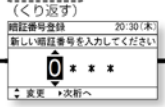
「削除」を選ぶ



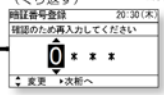
5 設定・操作する

新しいパスワードを入力する





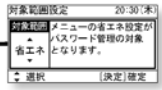
確認のため再入力する



・▲▼で数字を選び、▶で次の桁に移動する。

「はい」を選ぶ

パスワード対象範囲を選ぶ



●省エネ(出荷設定)
メニュー内の省エネ設定
●メニュー
メニュー操作およびウィークリータイマー機能の操作
●キー操作
すべてのキー操作

■据付

付属品	
小ネジ(2本) M4×25 (埋込型JIS ボックス用)	取扱説明書(1冊) 据付(電気)工事説明書(1冊) 省エネ集中管理中ラベル(1シート)

※配線は現地調達のため付属されていません。

設置上のご注意

設置場所など

●床面に対して垂直に設置する
●複数並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
●次のような場所に設置しない
・直射日光や直接外気が当たる、窓際など
・結露するところ
(防湿・防滴仕様ではないため)
●テレビ・ラジオ・パソコンから1 m以上離す
(映像の乱れ・雑音の原因)

配線のしかた

電源配線について

●電気工事は電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付工事説明書」に従って施工してください。
●電源は必ず専用回線を使用してください。
●必ずアース工事(D種接地工事)を行ってください。(感電の原因)
●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線に接続しないでください。
●漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器、または手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)が必要になります。

■配線の種類
600 Vビニール電線を使用基準とする。(現地調達)

■電源端子
端子ネジ　　：M3
締め付けトルク：0.5 N·m (推奨値)

配線のしかた(つづき)

室内外操作線について

■配線の種類
●柔軟性のある、0.5～2 mm²のケーブルを使う。
●シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使用する。
●推奨品　※( )内：エコ電線
・CVV(EM-CEE)　・CPEVS(EM-CPEES)
・VCT(ECO120)　・KPEVS(EM-K-CPEE)
・VCTF(EM-ECTF)　・MVVS(EM-MEE-S)
・VVF(EM-EEF)
※エコ電線について：紫外線(日光・照明など)の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

■総配線長
1000 m以内。

■接続可能な熱交換気ユニット
・天井埋込形・マイコンタイプ
・天吊カセット形・マイコンタイプ

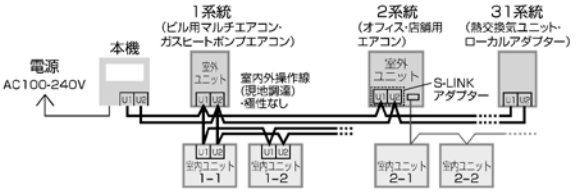
■接続可能台数

室外ユニット	最多30台
室内ユニット	最多64台(※1)
集中制御機器	最多10台

(※1)室内ユニットの台数には、熱交換気ユニット、ローカルアダプターの台数を含みます。

室外ユニット・室内ユニット・集中制御機器の合計台数は100台までです。

■基本配線図
室内外操作線を下図のように接続してください

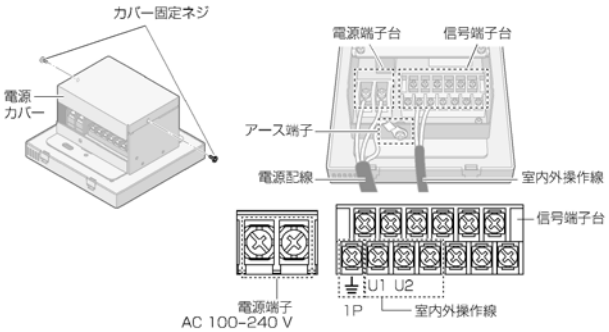


●熱交換気ユニット・ローカルアダプターは31系統になります。
●熱交換気ユニット・S-LINKアダプター・ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の工事説明書をあわせてご覧ください。

お願い

終端抵抗(プラグ)について
●終端抵抗は室外ユニットまたはS-LINKアダプターに設定します。
●接続する室外ユニットが1台の場合は1か所、複数台の場合は2か所を設定してください。
※室外ユニットまたはS-LINKアダプターなどに付属の据付工事説明書をご覧ください。

■配線の手順
① カバー固定ネジ2本をはずし、電源カバーを取りはずす。
② 電源配線を電源端子に接続し、アースは、必ずアース端子に接続する。
③ 室内外操作線を信号端子台のU1、U2端子に接続する。
④ 外部設備と接続する場合は、P.8「外部設備との接続」を参照し接続する。
⑤ 電源カバーを取り付け、カバー固定ネジ2本を取り付ける。



お知らせ

●室内外操作線に、極性は有りません。
●室内外操作線にシールド線を使用する場合は、片側をアースとしてください。
本機にアースを接続する場合は、信号端子台の1P(⏚)へ接続する。

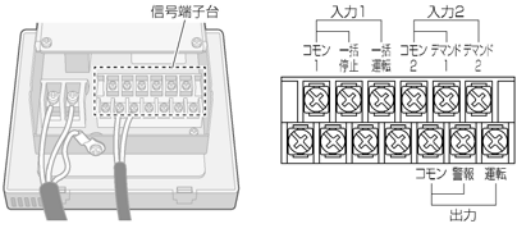
お願い

●電源配線を、信号端子台の端子に接続しない。(故障の原因)
●室内外操作線を電源配線などといっしょに合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(誤動作の原因)
●配線を接続する際には、コントローラーに傷が付かないようにご注意ください。

配線のしかた（つづき）

■外部設備との接続

名称	入出力項目	e-CUT機能付システムコントローラー側 条件	端子名	切分端子	外部設備側 回路例	条件
接点入出力端子	状態出力	無電圧a接点 スタティック（リレー出力） 接点許容電圧：最大DC30 V 接点許容電流：最大0.5 A 最小適用負荷：DC5 V　1 mA	出力 警報 運転 コモン		デジタル入力	配線長 100 m 以内 配線太さ 0.5 mm² 以上
	制御入力	一括停止：有電圧a接点 （一括停止入力がONの間は、定期的に停止信号を送信します） 一括運転：有電圧a接点　パルス デマンド1、デマンド2： 有電圧a接点　スタティック 接点許容電圧：DC24 V±10 % 接点許容電流：最大10 mA	入力1 一括停止 一括運転 コモン1 入力2 デマンド1 デマンド2 コモン2		DC24 V COM DC24 V COM	パルス幅 300 msec 以上 配線長 100 m 以内 配線太さ 0.5 mm² 以上



取り付ける

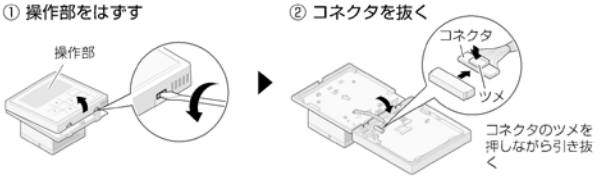
■下ケースを取り付けるとき（手順2）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）

お願い

- 先にコントローラーに接続した配線をJISボックス下の丸穴に通して、コントローラー電源部に衝撃を与えないようにゆっくりと挿入してください。

1 コントローラーの取付準備

① 操作部をはずす　② コネクタを抜く



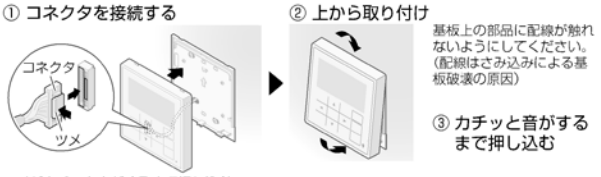
2 JIS ボックスに取り付ける

① あらかじめ壁内に埋込まれたJIS ボックス（現地調達）にコントローラーを挿入する

② コントローラーの下ケース（電源部付）を JIS ボックスに取り付ける（小ネジ（付属））

3 コネクタを接続し、操作部を取り付ける

① コネクタを接続する　② 上から取り付け



基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

③ カチッと音がするまで押し込む

ツメがカチッと音がするまで押し込む

設定する

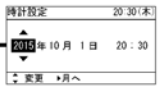
時計設定
ゾーン・グループ名称設定

1 メニューを押して「初期設定」を選ぶ

2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

時計設定

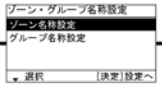
3 設定する
▲▼→▶→[決定]
（くり返す）



ゾーン・グループ名称設定

ゾーンとグループに名前を付けることができます

3 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

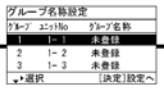


4 名称を付ける項目を選ぶ
▲▼→[決定]

■ゾーン名称

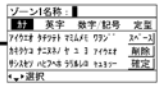
※ゾーン1～4を選べます。

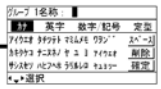
■グループ名称



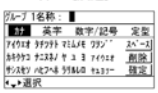
※グループ1～64を選べます。

5 名称を入力する
（入力のしかたは下記をご覧ください）



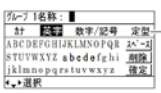


名称の入力のしかた
（全文字分、くり返す）
▲▼◀▶→[決定]



※ゾーンは
全角7文字/半角14文字まで。
※グループは
全角8文字/半角16文字まで。
スペースも文字数に含む。

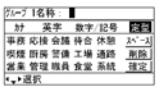
■文字種類を変更するとき
◀▶で文字種類を選び、[決定]



文字種類

■スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、[決定]

■規定の名称から選ぶとき
◀▶で「定型」を選び、[決定]



最後に「確定」を選ぶ
▼◀▶→[決定]→「メニュー」
（2回押し終了）

■1字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、[決定]

設定する（つづき） サービス連絡先登録

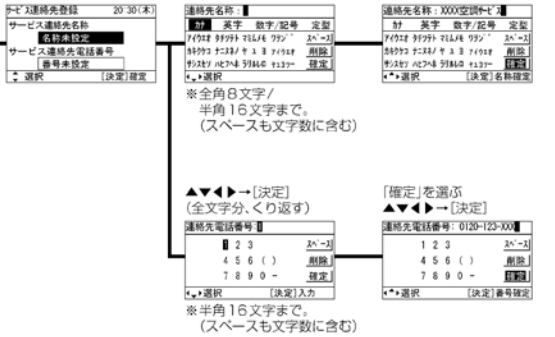
1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

2 項目を選ぶ
▲▼→[決定]

3 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

4 名称を入力する
▲▼◀▶→[決定]
（全文字分、くり返す）

「確定」を選ぶ
▼◀▶→[決定]



※全角8文字/
半角16文字まで。
（スペースも文字数に含む）

▲▼◀▶→[決定]
（全文字分、くり返す）

「確定」を選ぶ
▲▼◀▶→[決定]

※半角16文字まで。
（スペースも文字数に含む）

※文字入力のしかた

■文字種類を変更するとき
▲▼◀▶で文字種類を選び、[決定]

■既定の名称から選ぶとき
▲▼◀▶で「定型」を選び、[決定]

■スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、[決定]

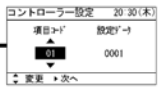
■1字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、[決定]

設定する（つづき） コントローラー設定

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

3 設定する
▲▼→[決定]→[戻る]



※工場出荷時

項目コード	設定内容	設定データ
01	**集中機器親子設定** ①e-CUT機能付システムコントローラー1台のみで使用するときは「親」で使用します。 ②インテリジェントコントローラーなどの集中制御機器と併用する場合、「子」に設定します。 ③②以外の場合でe-CUT機能付システムコントローラーを複数台使用するときは1台のみ「親」とし、ゾーンモードのときはゾーンごとに1台を「親」にしてください。 項目コード03 "管理台数モード切替" が「一斉モード」のe-CUT機能付システムコントローラーを「親」とすることを推奨します。	・0000：子 ・0001：親*
02	**コントローラー自己アドレス設定** e-CUT機能付システムコントローラー(CZ-10ESM4)は、室内外操作線上に最多10台まで接続できます。複数台設置する場合、重複を避けるために自己アドレスの割り振りを行ってください。	・0000：アドレス1* ・0001～0009：アドレス2～10
03	**管理台数モード切替** ●一斉モード すべての室内ユニットを設定できます。 ●ゾーン1・2・3・4モード 1・2・3・4のいずれかのゾーンの室内ユニットのみ設定できます。 ゾーン、グループごとに制御可能。 ※「管理台数モード」もあわせてご覧ください	・0000：一斉モード* ・0001：ゾーン1モード ・0002：ゾーン2モード ・0003：ゾーン3モード ・0004：ゾーン4モード
04	**集中／許可設定機能禁止** 集中/許可設定機能の有効/無効を設定します。 ただし、項目コード05 "集中制御/リモコンモード切替" が「リモコンモード」のときは無効となります。	・0000：禁止設定機能あり* ・0001：禁止設定機能なし
05	**集中制御／リモコンモード切替** ●集中制御モード ・禁止設定機能を使用することができます。 ●リモコンモード ・禁止設定機能は使用できません。 ・リモコン禁止項目の設定が禁止になります。 ※「管理台数モード」もあわせてご覧ください	・0000：集中制御モード ・0001：リモコンモード
06	**フラップ設定禁止** 風向切替操作および表示を不可にする。	・0000：表示操作あり* ・0001：表示操作なし

※工場出荷時

項目コード	設定内容	設定データ
07	**警報出力リレー遅延機能** 警報発生時にリレー出力ONを遅延させる機能	・0000：遅延なし* ・0001～0015 ・0001：1分、0015：15分(1分単位)
09	**パスワード自動ロック** パスワードを一時的に解除したときに、無操作時に自動でロックする。	・0000：自動ロックなし ・0001：5分 ・0005：30分(5分単位)*
0A	**画面オートOFF** 無操作時に液晶の表示を消す。	・0000：なし* ・0001：30分
0C	**デマンド機能選択** 時間帯デマンド／外部入力デマンド／タイマー省エネ3つの機能を切り換える。	・0000：時間帯デマンド* ・0001：タイマー省エネ ・0002：外部入力デマンド
2F	**パスワード(暗証番号)4桁数字** パスワード設定機能の暗証番号を変更可能とする。	・0000～9999： ・0000：*

■管理台数モード

項目コード03 "管理台数モード切替" と項目コード05 "集中制御/リモコンモード切替" の設定の組み合わせで、下記①～⑩のモードに設定することが可能です。

		集中制御／リモコンモード		制御対象	
		集中制御モード	リモコンモード		
		禁止設定機能を使用することができます。	禁止設定機能は使用できません。リモコン禁止項目の設定が禁止になります。	グループ	ゾーン
管理台数モード	一斉モード	①一斉集中制御	⑥一斉リモコン	1～64	1～4
	ゾーン1モード	②ゾーン1集中制御	⑦ゾーン1リモコン	1～16	1
	ゾーン2モード	③ゾーン2集中制御	⑧ゾーン2リモコン	17～32	2
	ゾーン3モード	④ゾーン3集中制御	⑨ゾーン3リモコン	33～48	3
	ゾーン4モード	⑤ゾーン4集中制御	⑩ゾーン4リモコン	49～64	4

試運転する

e-CUT機能付システムコントローラーの試運転

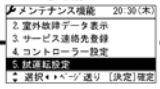
(準備)室内ユニットおよび室外ユニットの説明書を参照し、事前にユニットの試運転をしてください。
①e-CUT機能付システムコントローラーの電源を入れてください。
(設定中が点滅し室内ユニットの接続グループを自動的に確認します)
②接続されている室内ユニットの数(グループ制御時は親機のみ)とe-CUT機能付システムコントローラーに表示されているグループの数が一致していることを確認してください。
※一致していない場合、集中制御アドレス設定(P.18)をご覧になり、設定してください。
※熱交換気ユニット・ローカルアダプターを接続する場合は、集中制御アドレスを設定してください。

室内ユニットの試運転

●試運転設定オン・オフ手順

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

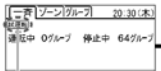
2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



お願い
- 試運転以外の目的には使わないでください。(ユニットに無理がかかるため)
- ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
- 暖房/冷房/送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

●試運転する/試運転を終了する

1 一斉/ゾーン/グループを選ぶ



一斉
[切換]押す
ゾーン
[切換]押す
グループ
[切換]押して一斉へ

一斉で操作する
[決定]押す

ゾーン1～4を選択して、操作する
▲▼→[決定]

◀▶でゾーンを選ぶ

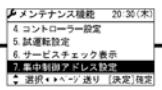
集中制御アドレス設定・室外デマンド設定

集中制御アドレス設定

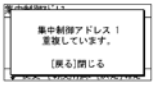
エアコンの試運転を終了してから、下記の手順に従って集中制御アドレスを設定してください。

3つのボタンを同時に4秒以上押す

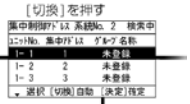
1 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



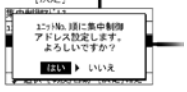
※集中制御アドレスの重複があった場合、個別設定完了時および集中制御アドレス設定終了時に通知する。



2 ■個別設定の場合
設定するユニットNo.を選ぶ
▲▼→[決定]
■自動設定の場合
[切換]を押す



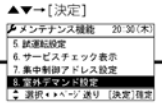
2 ■自動設定
◀▶→[はい]
→[決定]



室外デマンド設定

室外ユニットがもつデマンド1と2の設定を変更することができます。
ただし、室外機種によっては、変更が不可能な場合があります。

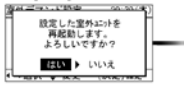
1 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



2 設定する系統No.を選ぶ
▲▼→[決定]

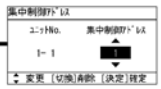
※設定後、本機および室外ユニットが再起動されるため、必ず停止中に実施してください。
※表示されるデマンド値はカット量ではなく運転量です。(室外メンテナンスリモコンのEEPROM設定と同じです)

室外デマンド設定を終了する時は
[戻る]→◀▶→[はい]を選び[決定]を押す

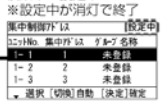


デマンド設定

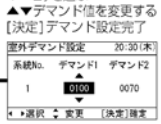
■個別設定
設定する集中制御アドレスを選ぶ
▲▼→[決定]
※削除する場合は、[切換]



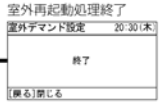
■自動設定
検索中→設定中が消灯で終了



◀▶設定対象(デマンド1・2)を選ぶ
▲▼デマンド値を変更する
[決定]デマンド設定完了



室外再起動処理終了



ワイヤードリモコンから集中制御アドレス設定を行う場合

設定完了後、e-CUT機能付システムコントローラーの電源を入れなおしてください。

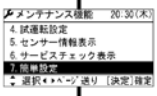
ワイヤードリモコン(CZ-10RT3、CZ-10RT3Aなど)から設定する

ワイヤードリモコンから集中制御アドレスを登録する
●エアコンが停止中に行ってください。
①[点検]ボタンと[換気]ボタンを同時に4秒以上押し続けます。
ユニット選択ボタンは押さないでください。
②温度設定「▲」、「▼」ボタンで項目コード03を選択します。
③タイマー時間「▲」、「▼」ボタンで集中制御アドレスを設定します。
④[セット]ボタンを押す。(「設定中」が点滅から点灯に変わる。)
⑤[点検]ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。
(通常の停止状態になる。)

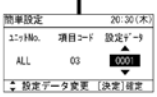
ワイヤードリモコン(CZ-10RT4、CZ-10RT4Aなど)から設定する

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

2 簡単設定を選ぶ
▲▼→[決定]



3 設定する
ユニットNo.は初期位置から変更しない。
項目コード03を選択します。
設定データを変更し、集中制御アドレスを設定します。
ユニットNo.選択位置で[戻る]を押して設定を終了する。



（１０）インテリジェントコントローラー

■仕様・外形寸法図

①ＣＺ－１０ＥＳＴ４

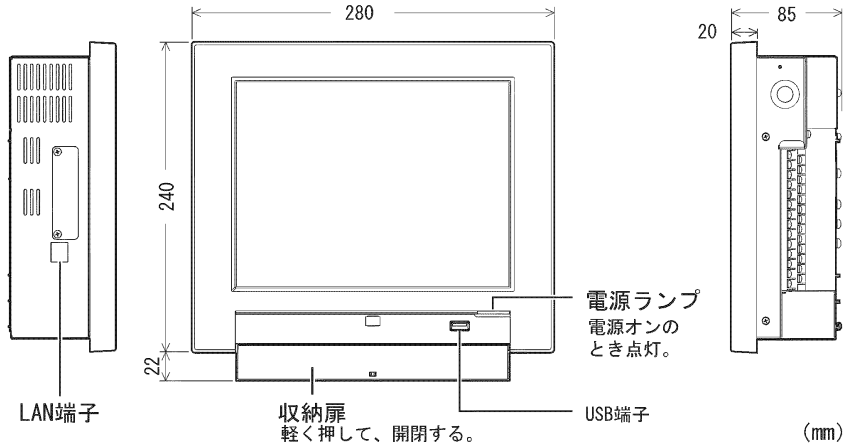
仕様

品番		CZ-10EST4
外形寸法		（高さ）240 mm ×（幅）280 mm （奥行き）20 + 65 mm
質量		2.7 kg
使用温度･湿度範囲		0 ℃～40 ℃･20%～80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数		単相 AC100～240 V・50/60 Hz
消費電力		最大20 W
時計	月差	±30秒／月（常温25 ℃） ※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日（常温25 ℃･満充電時） ※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの 接続可能台数*1		下記の合計台数が100台まで ・室内ユニット：64台まで*2 ・室外ユニット：30台まで ・集中制御機器：10台まで

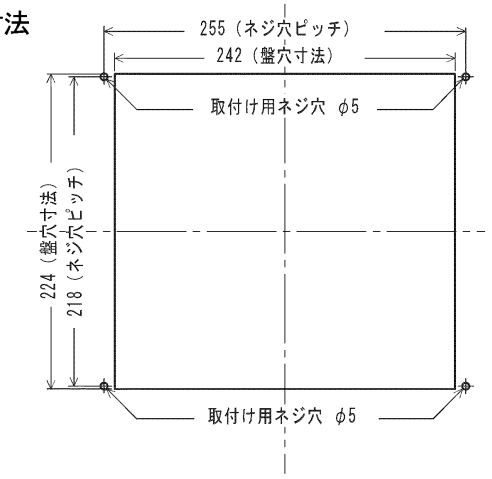
＊１：最多接続可能台数は次の通りです。
- ・本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
- ・通信アダプター接続時：室内ユニット256台、室外ユニット120台

＊２：熱交換気ユニット、ローカルアダプターの台数を含む。
※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

外形寸法図

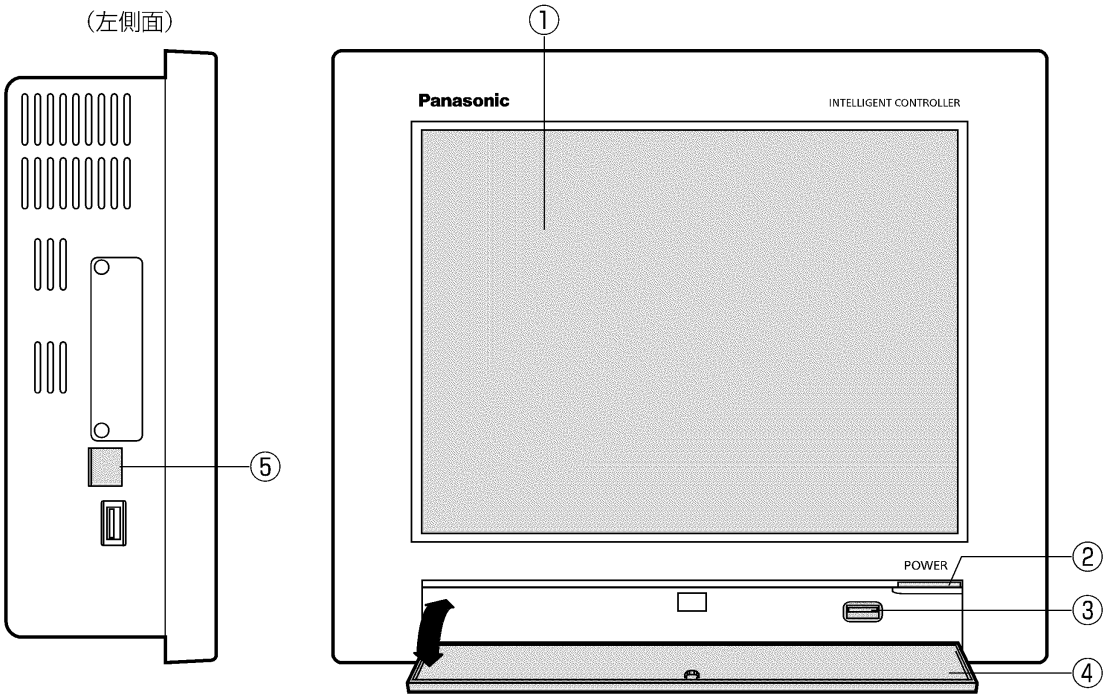


取付け穴寸法



品番	CZ-10EST4	インテリジェント コントローラー

各部のなまえ



（イラストは収納扉が開いた状態です）

名前	説明
① タッチパネル付カラー液晶ディスプレイ	画面上を指でタッチすることで操作することができます。
② 電源ランプ	電源をオンにすると点灯します。
③ USB端子	本機の各データ(設定、積算・按分)をバックアップするためにUSBメモリーを抜き差しします。
④ 収納扉	USB端子にUSBメモリーを抜き差しするとき、開閉します。 開くときは、収納扉の中央部分を軽く押し込み、前に倒します。 閉じるときは、収納扉を持ち上げ、軽く押し込みます。
⑤ LAN端子	ケーブルでネットワークに接続します。

本機の特長

本機は、空調機集中管理システムです。

- 本機1台で室内ユニット128台(64台×2系統)、室外ユニット60台(30台×2系統)まで接続し、制御できます。
- 通信アダプターを接続すれば、室内ユニットを最多256台、室外ユニットを最多120台まで接続できます。
- 10.4インチTFTカラー（1024×768ドット)タッチパネル式液晶ディスプレイを採用していますので、誰でも簡単に操作することができます。

監視・操作

すべての室内ユニット、室外ユニットの運転状況(運転/停止、運転モード、警報など)をリアルタイムで確認することができます。
また、室内ユニットを選んで設定を変更することもできます。

稼働スケジュール

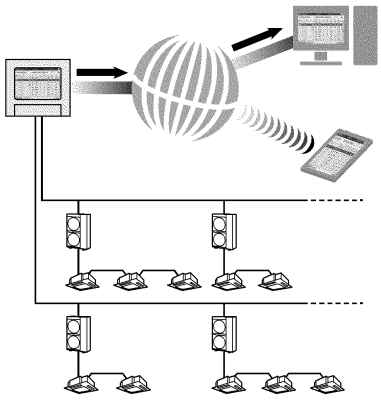
室内ユニットの1日の稼働スケジュール(運転/停止時間、運転モード、設定温度など)を個別あるいはグループで登録することができます。
稼働スケジュールは2年先まで登録できます。

空調エネルギー按分

室内ユニットの累計運転時間、室外ユニットのエンジン運転時間、運転回転数を一覧で確認できます。(積算値)
これらのデータをもとに、室内ユニット単位あるいはエリア単位で電気・ガスの空調消費按分率・使用量(kWh、m^3)を算出し、一覧で確認できます。

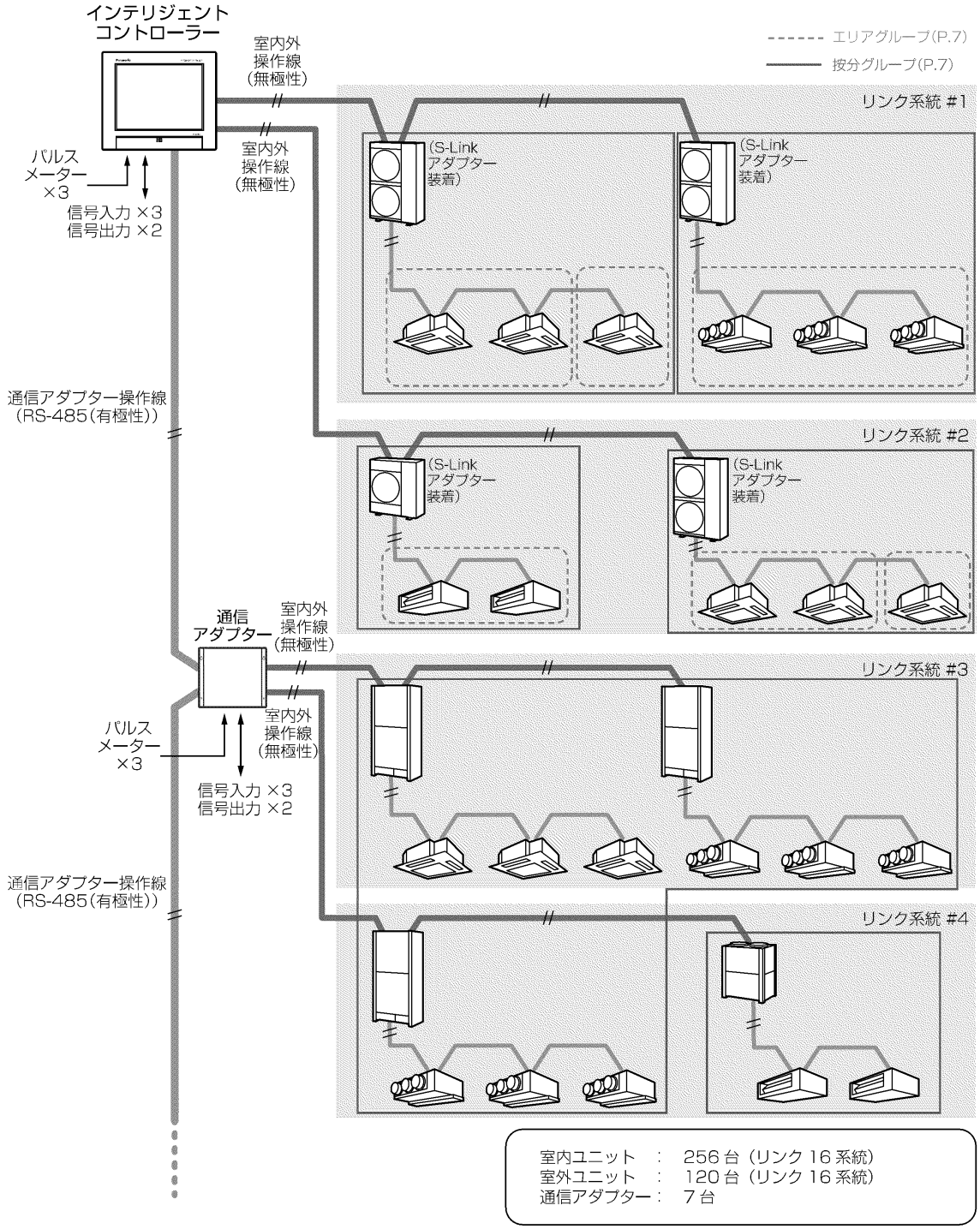
遠隔操作

本機にはLAN端子が搭載されているのでネットワークに対応しています。
インターネットに接続すると、パソコンなどで遠隔地から操作、確認することができます。



システム構成

システムの構成例は以下のとおりです。



●据付(電気)工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付(電気)工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗ ● **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
・電気設備に関する技術基準 ・内線規程
・据付(電気)工事説明書
(感電、火災の原因)
● **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**
(故障や、漏電時に感電、火災の原因)
● **電源は、必ず専用回路を使用する**
(感電、火災の原因)
⏚ ● **アース工事(D 種接地工事)を行う**
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
・アース線は、ベランダの手すりにとらない
(感電の原因)

本体を据え付けるときに

⃠ ● **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
● **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
● **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
(発熱、火災の原因)
❗ ● **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
● **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
● **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
(製品の落下による、けがの原因)

本体を据え付けるときに

❗ ● **付属品は当社指定の部品を使用する**
(製品の落下、感電、火災などの原因)
● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
● **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

⃠ ● **次のような場所で使わない**
・結露するところ
・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
・電磁波が出る機械のあるところ
・電圧変動の多いところ
(感電、火災などの原因)
❗ ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**

本体を据え付けるときに

⃠ ● **水洗いしない**(感電の原因)

仕様

品番		CZ-10EST4
外形寸法		(高さ) 240 mm × (幅) 280 mm (奥行き) 20 + 65 mm
質量		2.7 kg
使用温度･湿度範囲		0 ℃～40 ℃･20%～80%(結露なきこと)
定格電圧・周波数		単相 AC100～240 V・50/60 Hz
消費電力		最大20 W
時計	月差	±30秒／月(常温25 ℃) ※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日(常温25 ℃･満充電時) ※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数*1		下記の合計台数が100台まで ・室内ユニット：64 台まで*2 ・室外ユニット：30 台まで ・集中制御機器：10台まで

*1：最多接続可能台数は次の通りです。
・本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
・通信アダプター接続時：室内ユニット256台、室外ユニット120台

*2：熱交換気ユニット、ローカルアダプターの台数を含む。
※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

付属品

<>：個数

ネジ　<4>(M4×10)	ワッシャー　<4>
ナット　<4>(M4)	結束クランパー　<4>
取扱説明書(DVD)、かんたんガイド、据付(電気)工事説明書 <各1>	

※ケーブルは現地調達のため、付属していません。

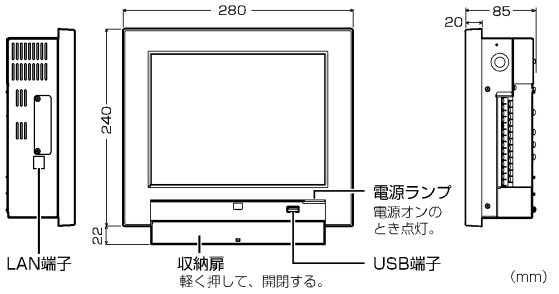
ネットワーク接続時のご注意

- インターネットに接続すると、パソコンなどで遠隔地から操作、確認することができます。
- インターネットに接続する場合は、外部からの不正アクセスなどから保護するために、セキュリティー対策をしてください。(詳細な接続・設定方法については、ネットワーク管理者にご相談ください)

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  ・直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  ・過度な衝撃や振動のある場所（本機の取り付けネジが緩み、落下の原因）　・熱源の近くなど
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避けてください。(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1 m以上離してください。(映像の乱れ、雑音の原因)
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。
- 配線は、地中に埋設しない。
- 配線が通っている制御盤の穴をパテなど(現地調達)でふさぐ。
- 絶縁物の厚み(シース部を含む)が1 mm以上のケーブルを使う。

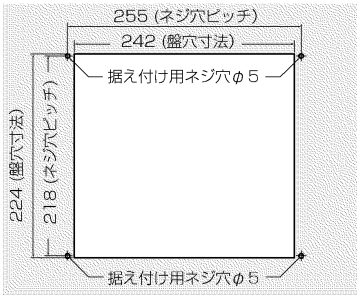
外形寸法図(各部の名前)



本体の図記号表示 ⏚ について　「保護アース」を表します。

1 制御盤を設計する

■加工図



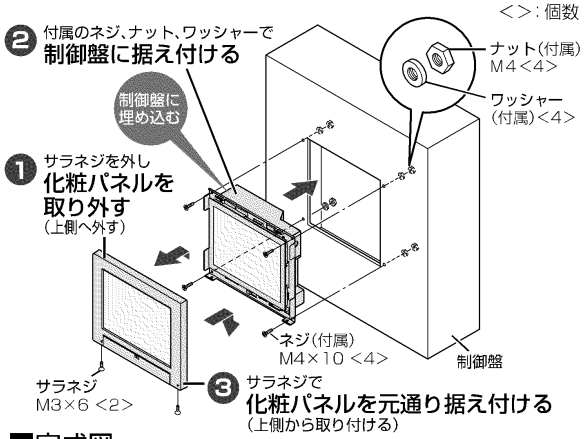
■制御盤内の通気性(放熱性)確保のために

左右側面の上側と下側(または底面)に通気孔(スリットなど)を入れてください。

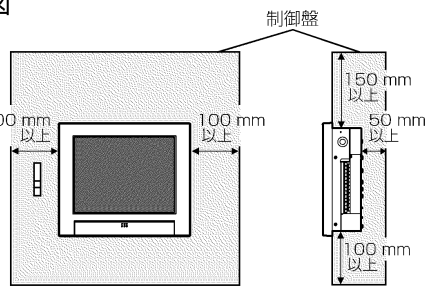
- 制御盤内の温度が40 ℃を超えないようにする。
- 据え付け時に上記の通気孔をふさがないように注意する。

2 制御盤に据え付ける

<>：個数



■完成図



3 配線の準備をする

■電源線
- ケーブルの種類
  - 使用基準：600 Vビニール電線(現地調達)
  - 柔軟性のある2 mm²のケーブル(推奨)
- 電源端子
  - 端子ネジ：M4

■室内外操作線
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²のケーブル
  - 推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長：1000 m以内

お願い
- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線(片側アース)を使ってください。

■通信アダプター操作線
(通信アダプターを接続するとき)
- 極性(＋/－)があります。
- ケーブルの種類、総配線長などについては、通信アダプターに付属の「据付(電気)工事説明書」を参照してください。

■外部機器接続線（外部機器を接続するとき）
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²のケーブル
  - 推奨品：VCT/VCTF
- 配線長：20 m以内

お願い
- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線(片側アース)を使ってください。

■LANケーブル（ネットワークに接続するとき）
- ケーブルの種類：カテゴリー 5以上のストレートケーブル
- 配線長：100 m以内

4 配線する

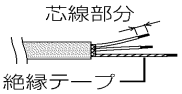
1 漏電しゃ断機を切る
- 安全のため、必ず漏電しゃ断器を切ってから配線を行ってください。

2 丸型圧着端子を取り付ける
- 電源線への取り付け
  被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付ける。

- シールド線への取り付け

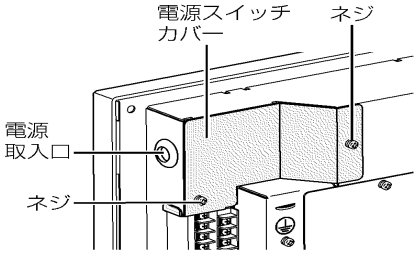
① 被覆部をはがす

② 内部の芯線をよじって絶縁テープを巻く



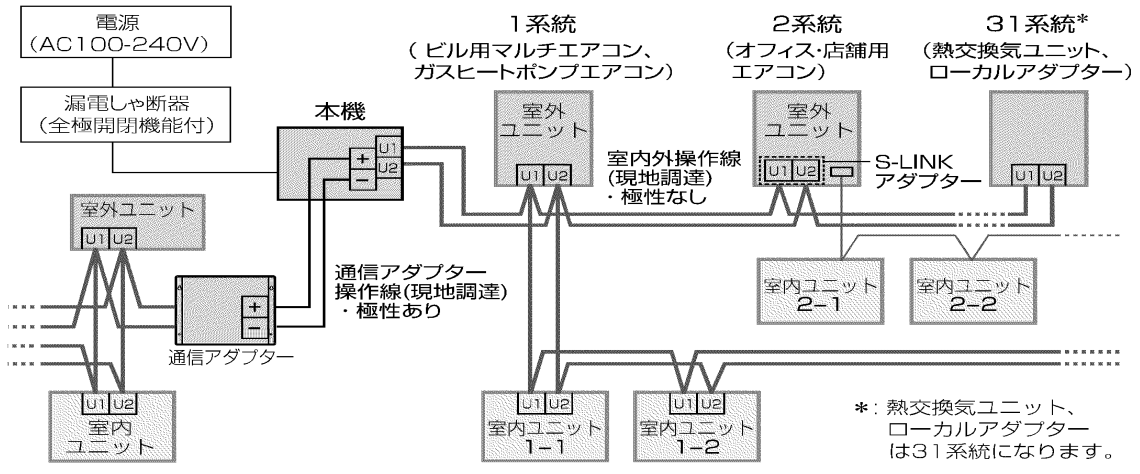
③ 丸型圧着端子を取り付ける

3 電源スイッチカバーを外す



基本配線図

- 通信アダプター、熱交換気ユニット、S-LINKアダプター、ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付(電気)工事説明書」をあわせてご覧ください。



4 配線する（続き）

4 配線する

❶ 電源線を接続する

- 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子台（板金ケース上）*1に接続する。
  *1：保護アース
- 端子ネジの締め付けトルク：0.6～0.8 N·m（規定値）
  ・締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

❷ 室内外操作線を接続する

- シールド線の場合は、アース線を信号端子台の0番（FG*2）に接続する。
  *2：機能アース
- 端子ネジの締め付けトルク：0.4～0.5 N·m（規定値）
  ・締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）
- 極性はありません。
- 接続可能台数（→おもて面「仕様」）
- 接続可能な熱交換換気ユニット（→おもて面「仕様」）

❸ 通信アダプター操作線を接続する

- 極性（＋/－）を間違えないでください。
- 接続可能台数：7台まで

（お願い）

- 通信アダプターを接続するときは、通信アダプターに付属の「据付（電気）工事説明書」を必ず参照して施工してください。

❹ 外部機器を接続する

（お願い）

- 外部機器を接続するときは、右図の「外部機器を接続するとき」を参照してください。

❺ 電源線とその他の通信線は、結束クランパー（付属）でしっかり固定する

（端子接続部に張力が加わらないように）

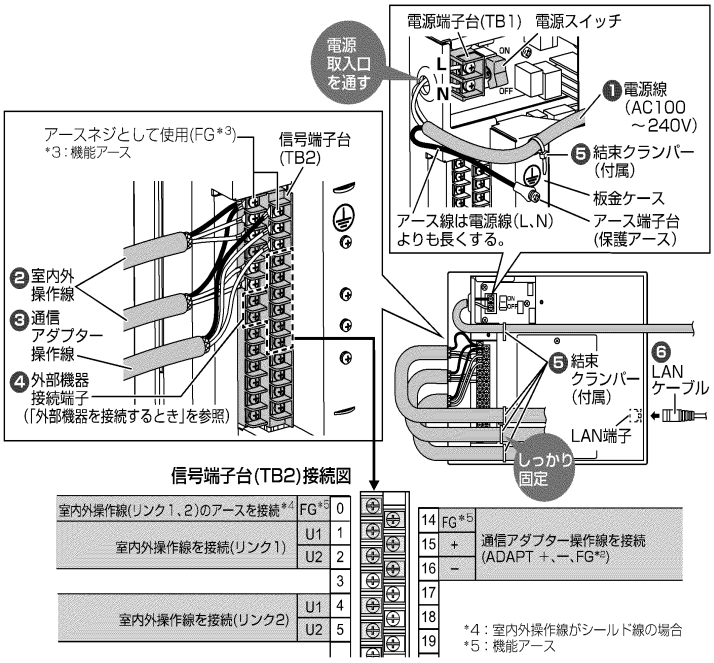
❻ LANケーブルを接続する

（お願い）

- 電源線とその他の通信線は、同一線管内に通さないでください。また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。

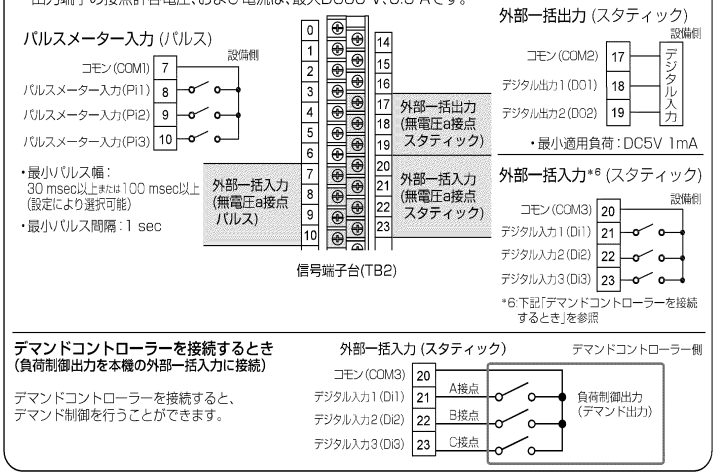
5 電源線の接続が正しいことを確認して 漏電しゃ断機を入れる

- 誤って電源線を信号端子台に接続して電源を入れると、本機または接続機器が故障することがあります。



外部機器を接続するとき

- 信号形式：無電圧a接点
- 各信号入力の配線長：20 m以内（超えるときは、通信アダプターを接続するか、リレーを使う）
- 入力端子検出のため、接点にDC5 V（約10 mA）の電圧がかかります。
- 入力端子には、外部から電圧を印加しないでください。
- 出力端子の接点許容電圧、および電流は、最大DC30 V、0.5 Aです。



デマンドコントローラーを接続するとき
（負荷制御出力を本機の外部一括入力に接続）

デマンドコントローラーを接続すると、デマンド制御を行うことができます。

5 設定・試運転する

①室内ユニット・室外ユニットすべての電源を入れる

②通信アダプターを接続したときのみ
通信アダプターの電源を入れ、必要な設定を行う
（通信アダプターに付属の「据付（電気）工事説明書」を参照してください）

③本機の電源スイッチを入れる

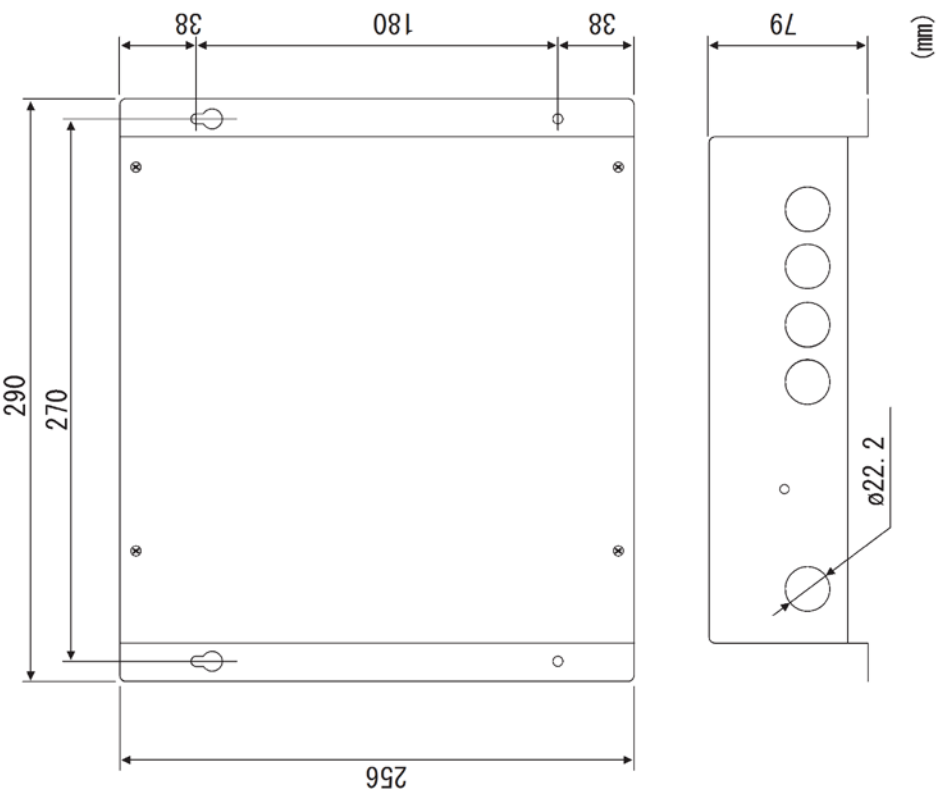
④電源スイッチカバーを元通り取り付ける
・配線をはさまないようにする。

⑤以下の設定・確認は、「かんたんガイド」を参照してください
・時刻設定 ・接続台数の表示が正しいことの確認をしてください。
・集中制御アドレスは、必ず設定をしてください。
・その他の必要な設定（ユニット名、エリア設定、按分設定など）をしてください。
・本機で室内ユニットなどを正しく操作でき、正しく状態が表示されることの確認をしてください。

⑥以下の設定・確認は、「テクニカルガイド」、「PAC試運転サービス資料」、「設備設計ガイド」のいずれかを参照してください
・空調機との通信設定をしてください。 ・接続構成の確認・確定をしてください。

（１１）ＡＭＹアダプター（ＣＺ－１０ＡＰ３５００）

■ 外形寸法図



品番	CZ-10AP3500	外形寸法図（AMYアダプター）

■ 仕 様

品番		CZ-10AP3500
電源定格		単相100～200V（50/60Hz） 最大6.0W
動作温度		-10～50℃
動作湿度		20～80%（結露なきこと）
外形寸法	mm	H 256 W 290 D 79

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよく お読みのうえ確実に行ってく ださい。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってく ださい。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う 可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に“ 取扱説明書 にそってお客様に使用方法を説明してく ださい。また、“ 据付(電気) 工事説明書 は、お客様で保管頂く よう 依頼してく ださい。

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼する。
(感電・ 火災等の原因)
●据付工事は、“ 据付(電気) 工事説明書” に従って確実に行う 。
(感電・ 火災等の原因)
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「 電気設備に関する技術 基準」、「 内線規程」 及び“ 据付(電気) 工事説明書” に従って施工する。(感電・ 火災の原因)
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し 、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。
(発熱・ 火災等の原因)
●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り 付けが必要。
(感電や火災の原因)

⚠ 注意

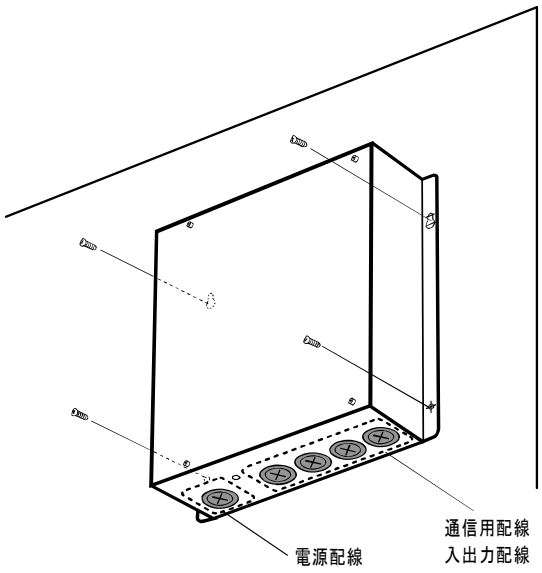
●配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってく ださい

AMYアダプターの取り 付けかた

ご注意

●通信用配線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより 合わせたり 、同一金属管内に収納したりします と、誤動作の原因となりますので避けてく ださい。
●AMYアダプターはノ イズ発生源から 充分離して据え付けてく ださい。
●水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてく ださい。
●過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてく ださい。

取り 付け位置を決め、取り 付け寸法図を参考に取り付けます。



AMYアダプターの配線のし かた

AMYアダプターの取り 付け、取り 外し は安全のため漏電しゃ断器を切ってから 行ってく ださい。

本体前面のネジ 4 本を外し 上ケースを外します。

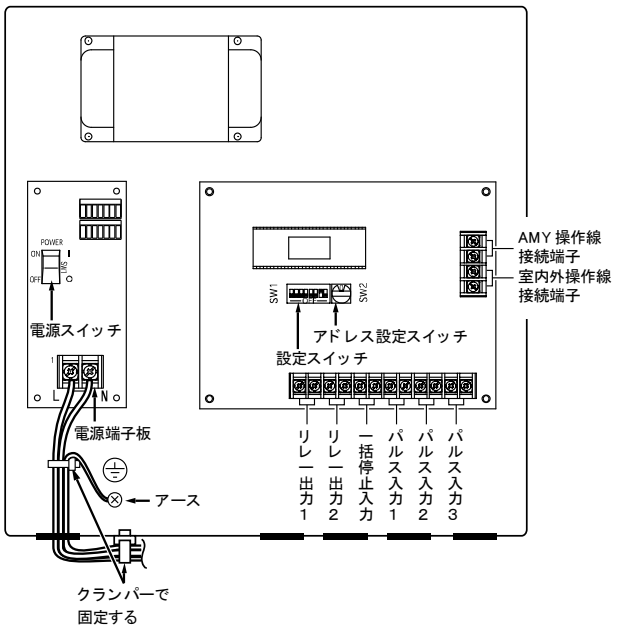
(1) 電源の接続

電源端子板のN、Lに接続してく ださい。
(AC のニュート ラル側をN に接続)
アース線を確実に接続してく ださい。
本機はAC100 VまたはAC200Vを使用できます。
電源基板のCN1、CN2のいずれかに、トランスの1次側を差し 替えて使用します。
使用する電源電圧を確認して切り 替えてく ださい。
工場出荷時はAC200Vに設定されています。

※電源電圧とコネクターの切り 替えを違えて電源をいれると基板が壊れる可能性があります。

工場出荷時は電源基板のCN1に感電防止のためコネクターハウジングが装着されています。
AC100Vに切り 替える場合は、電源トランスの1次側をCN2からCN1に差し 替えCN1にあったハウジングをCN2に装着します。

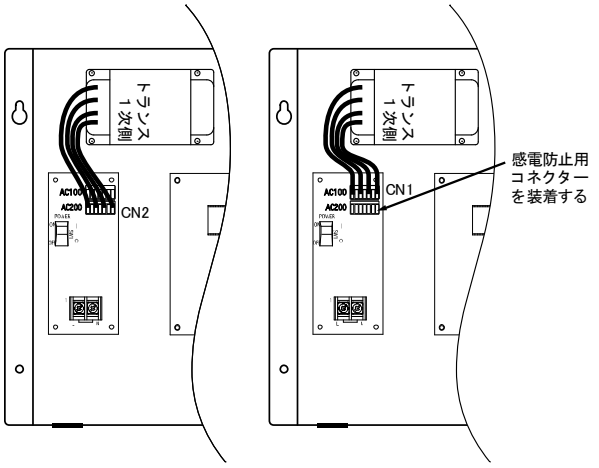
＜端子板配置図及びスイッチ配置図＞



＜電源トランス 1 次側コネクター接続図＞

AC200V
CN2
（ 工場出荷時）

AC100V
トランス 1 次側を CN2 から
CN1 に差し替える

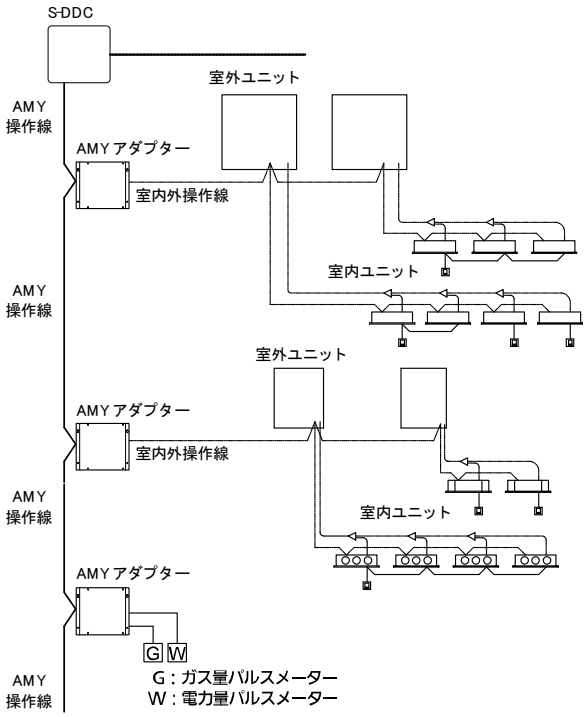


（ 2）通信線の接続

AMY操作線及び室内外操作線は、2芯0.5～2.0m㎡の電線を使用してください。
総延長はおのおの1km 以内としてください。
電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり互いを近づけたりしないでください。
通信配線と電源配線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください。

＜基本配線図＞

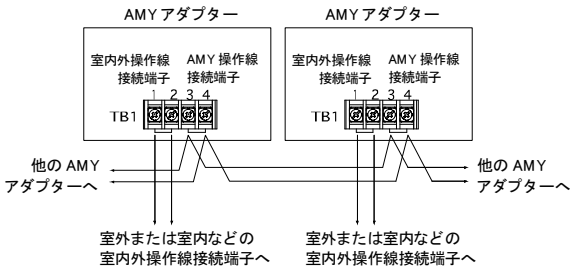
AMY アダプターの AMY 操作線、室内外操作線は
下図のような配線をしてください。



＜配線の手順＞

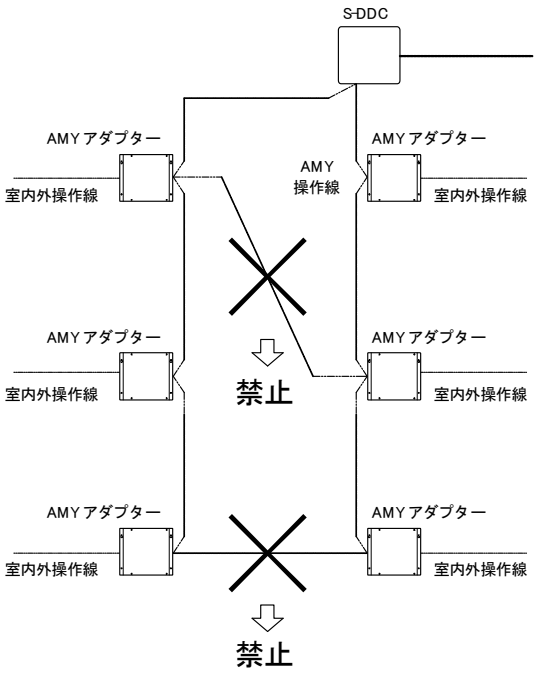
・ 室内外操作線
AMY アダプターの端子板、TB1 の①、② 室内外操作線）と室外または室内ユニット の室内外操作線用接続端子に接続します。
極性はありません。

・ AMY 操作線
AMY アダプターの端子板、TB1 の③、④ AMY 操作線）と他の AMY アダプターの AMY 操作線用接続端子に接続します。
極性はありません。

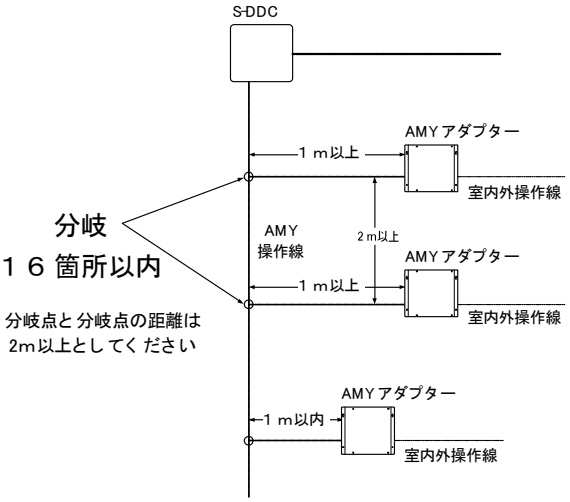


AMY操作線の注意事項

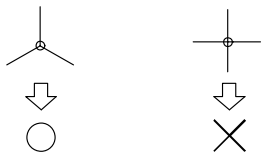
1. ループ状となる配線はしないでください。



2. 分岐配線する場合は、16 箇所以内としてください。
（ 1m 以内は分岐に含めません）



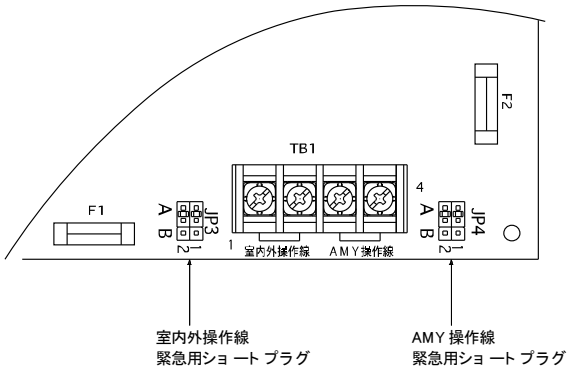
注）分岐は 1 つの端子から 3 本までです。

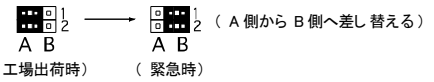


※1 つの端子から 4 本の分岐はできません。

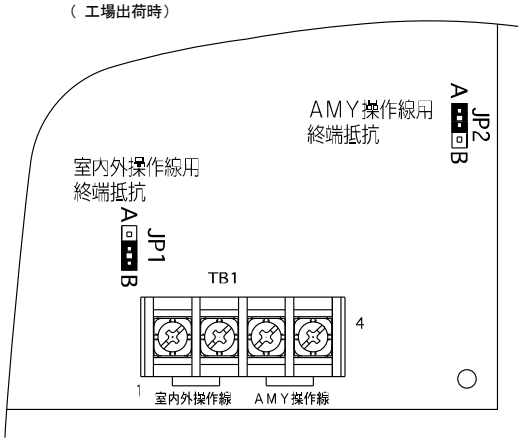
3.AMY 操作線および室内外操作線の接続端子に高電圧（ AC100V 等）の配線を接続していないか確認してください。

※誤って AC100V を印加した場合は AMY アダプターの基板のヒューズ（ AMY 操作線：F1　0.5A、室内外操作線：F2　0.5A）が溶断して基板を保護しますが、場合によっては保護できないこともあります 。
高電圧（ AC100V 等）配線を取り除いた後、基板に接続されているショートプラグ 2 個組（ 室内外操作線：JP3、AMY 操作線：JP4）を B 側へ差し替えてください。（ 作業は必ず電源 OFF にしてから行ってください）



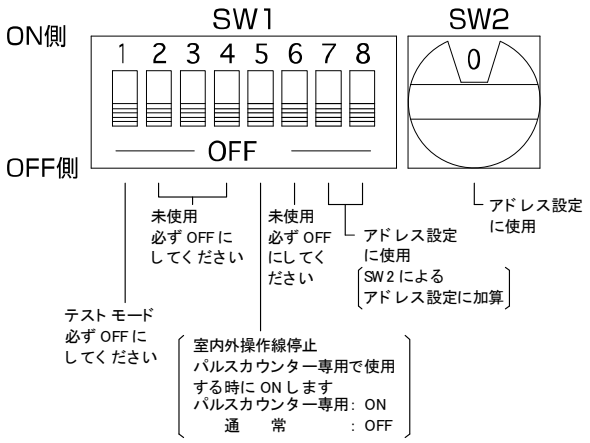


4.JP1 は室内外操作線上に終端抵抗を挿入するプラグです。
必要に応じて JP1 の設定をしてください。
工場出荷時は A 側（ 終端抵抗［無］）になっています。

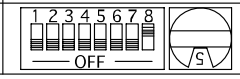
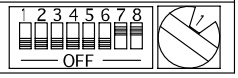


JP2 は AMY 操作線上に終端抵抗を挿入するプラグです。
必要に応じて JP2 の設定をしてください。
工場出荷時は A 側（ 終端抵抗［無］）になっています。

設定スイッチについて

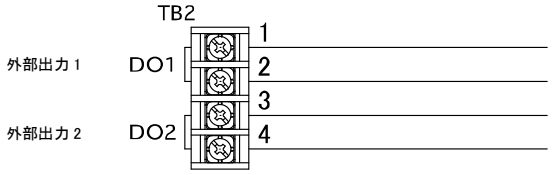


アドレススイッチの設定は以下の通りです。

アドレス番号	スイッチ設定	アドレス番号	スイッチ設定
1		16	
2		17	
3		18	
4		19	
5		20	
6		21	
7		22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	
		31	

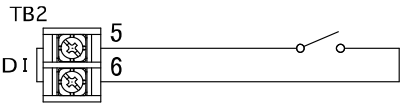
外部設備との接続

1. 外部一括出力（ 無電圧 a 接点）



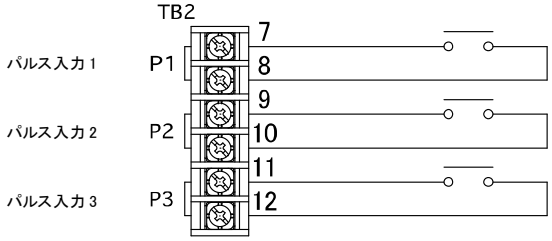
出力端子の許容接点電圧電流は DC30V、0.5A です。

2. 外部一括停止入力（ 無電圧 a 接点スタティック）



設定 ON、OFF 信号相当
入力端子の片方をパルス入力と 共通に接続できませんので
注意してください。
入力端子の検出のため、接点に DC5V の電圧がかかります。

3. パルスカウンタ入力（ 無電圧 a 接点パルス）



入力端子は他の入力とコモン接続できませんので
注意してください。
入力端子の検出のため、接点に DC5V の電圧がかかります。

● 最小パルス幅	100msec
● 最小パルス間隔	1sec

●各信号入力の接続ケーブルは現地手配とし、配線長は 100mまでです。
この距離を越える場合は、リレー受けするなどの処置をしてください。
●ノイズの影響を受ける恐れがある場所で使用する場合、0.5mm²以上の
2 芯シールド線（ 片側アース）を使用してください。

仕　様

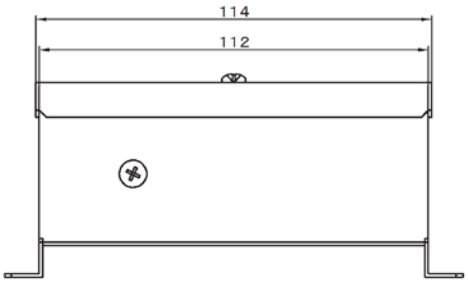
定格電圧	単相 AC 100 ／ 200V
定格周波数	50 ／ 60Hz
消費電力	最大 6.0W
動作温度	−10 ～ 50℃
動作湿度	20 ～ 80%
	（ 結露なきこと）

（１２）室内用リレー中継基板（ＣＺ－０１ＡＰＣ３）

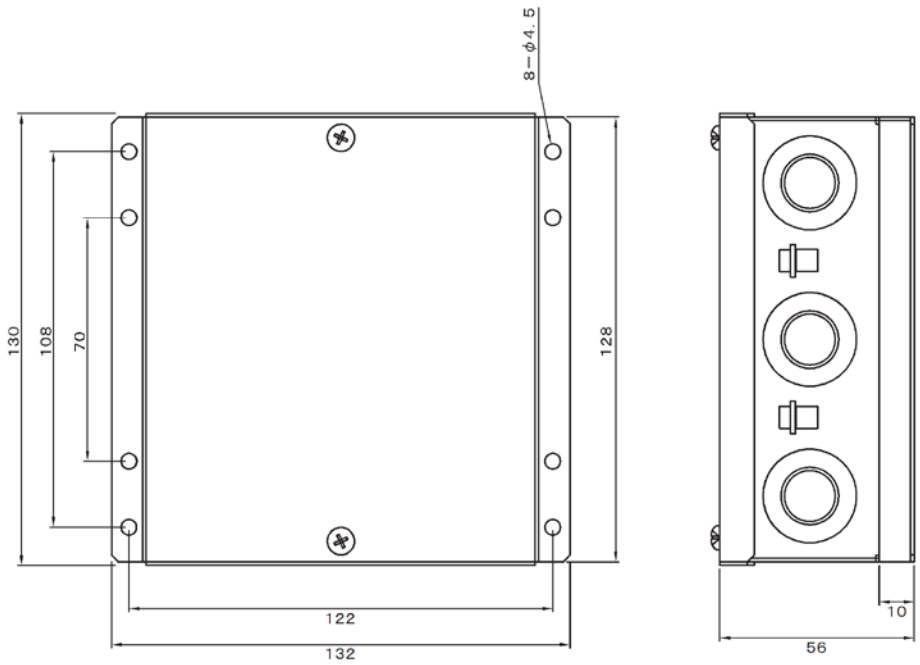
■ 仕 様

品　　番		CZ-01APC3
電 源 定 格		単相200V 50/60Hz
外形寸法	mm	(高さ) 56 × (幅) 130 × (奥行) 132
質　　量	g	850

■ 外形寸法図



単位:mm



品番	CZ-01APC3	外形寸法図 (リレー中継基板《室内機用》)

■据付

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

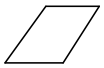
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び”据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●AC200Vを使用する場合は、確実にアースしてください。アースが不完全の場合、感電事故のおそれがあります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

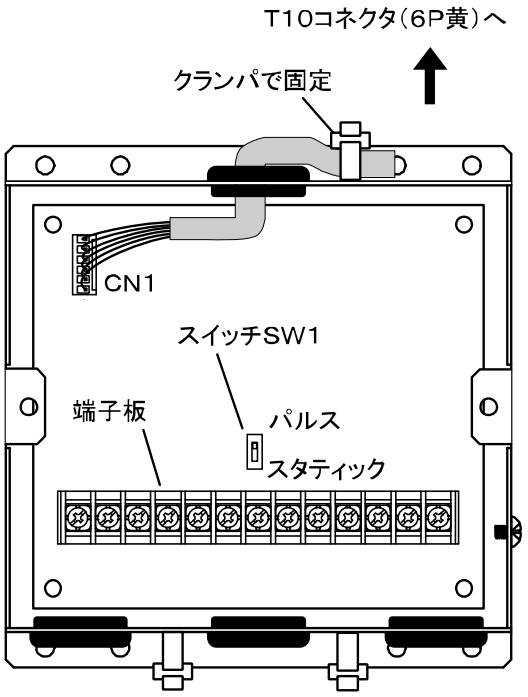
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

1．付属品

	部品名称	形状	員数
①	通信用ケーブル	1900mm	1本
②	タッピンネジ（本体固定用）	4×10	4個
③	据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ		1部

2. 室内ユニットとの接続

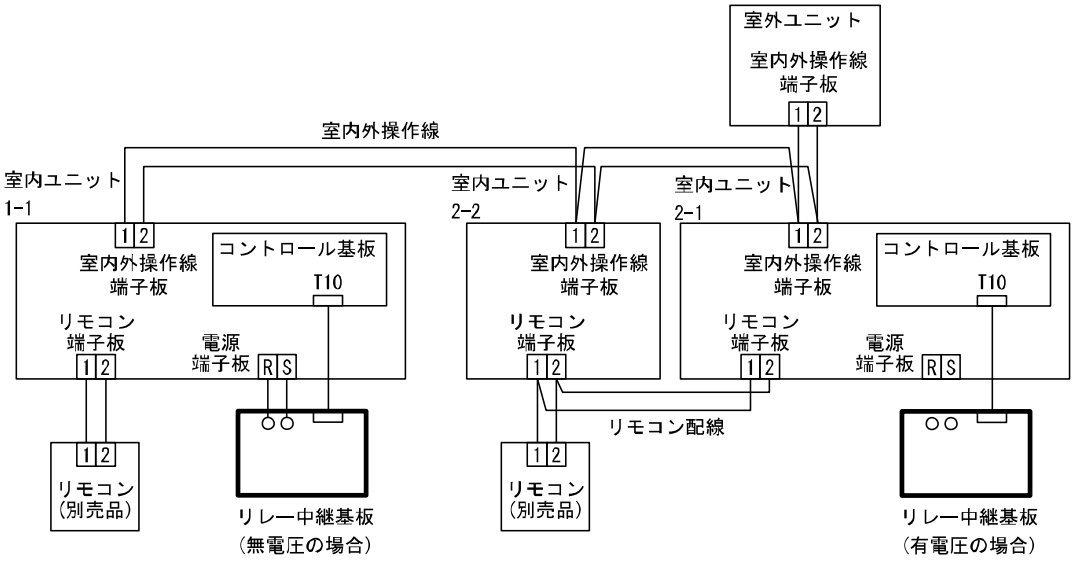
・ハトメゴムに切れ込みを入れ、付属の通信用ケーブルを通してリレー中継基板のCN1に接続してください。
・通信用ケーブルのもう一方を室内コントロール基板上のT10コネクタ(6P黄)に接続してください。
・遠方機器からの信号が無電圧の場合は、AC200V電源用ケーブル(現地手配)を室内ユニットの電源端子板(R／S)と接続してください。



3. システム系統図

・遠隔運転する場合は、グループ内のいずれかの室内ユニットにリレー中継基板を接続します。
・運転／警報モニタ信号を取り出す場合は室内ユニットごとにリレー中継基板を接続します。

システム系統図の例



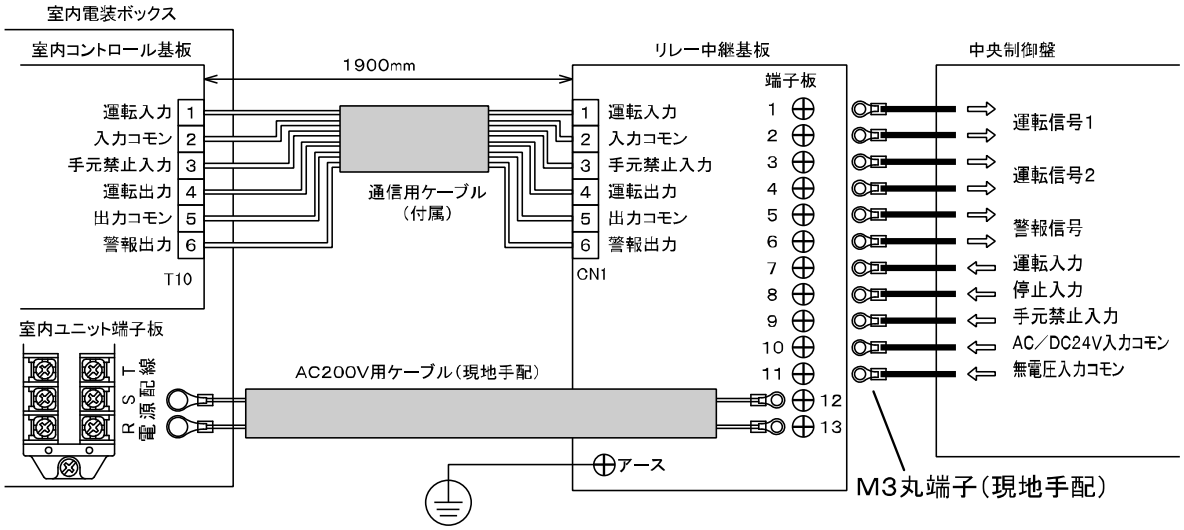
4．リレー中継基板の設置と遠方機器との接続

・リレー中継基板は室内ユニット近傍で、結露や塵埃の影響を受けない場所に設置してください。
※付属のケーブルは延長しないでください。正常な動作が行われなくなります。
・遠方機器側への配線は下記の線種で、線径は0．5mm²～2mm²をご使用ください。

エコ電線記号	従来記号	名称（従来名称）	適用規格
ECO120	VCT	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型ケーブル （ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル）	JCS4501 JIS C 3312
EM-CEE	CVV	制御用耐燃性ポリエチレンシースケーブル （制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル）	JIS C 3401
EM-ECTF	VCTF	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型コード （ビニルキャブタイヤ丸型コード）	JIS C 3306
EM-EER	VVR	600V耐燃性ポリエチレンシース丸型ケーブル （600Vビニル絶縁ビニルシース丸型ケーブル）	JIS C 3342

※エコ電線について：紫外線（日光、照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用をご使用ください

・端子板への接続は、M3の丸端子（現地手配）をご使用ください。
※先端をむき出したままの配線を使用すると、ショートして発火するおそれがあります。
・通信用ケーブルと200V電源用ケーブルは束ねずに、必ず離して敷設してください。
※ケーブルを束ねると、通信ケーブルにノイズを誘導して誤動作を起こすおそれがあります。



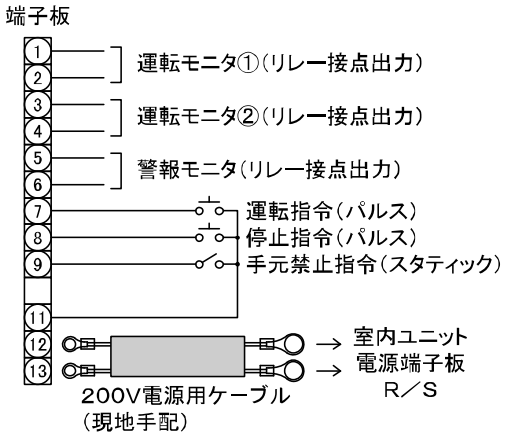
・遠方機器からの配線は端子板に接続しますが、ご使用になる信号の形式によって異なりますので注意してください。

※誤配線があると室内ユニットが正常に動作しなかったりモニタ信号が正しく出力されないだけでなく、室内コントロール基板やリレー中継基板が破壊します。

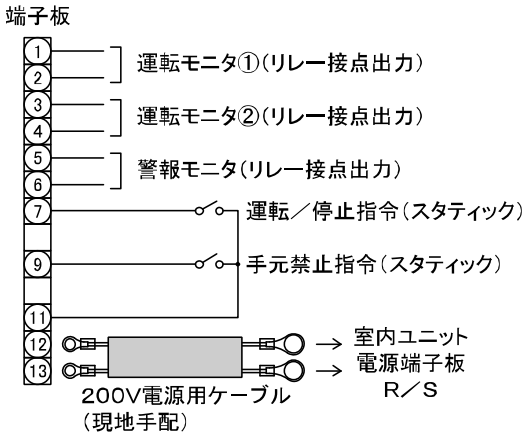
※注：スタティック形式で使用するときは、「5．基板上の設定について」をご確認の上、設定を行ってください。

※無電圧で使用する場合は配線長を50m以下にしてください。

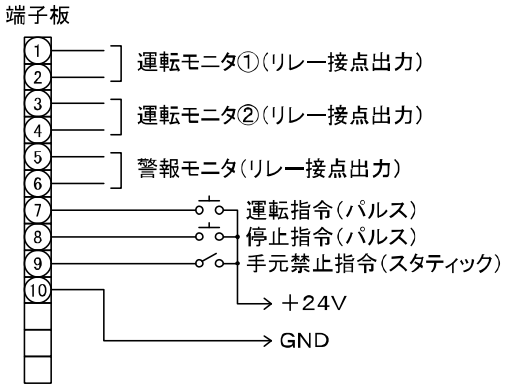
（1）無電圧　パルス形式



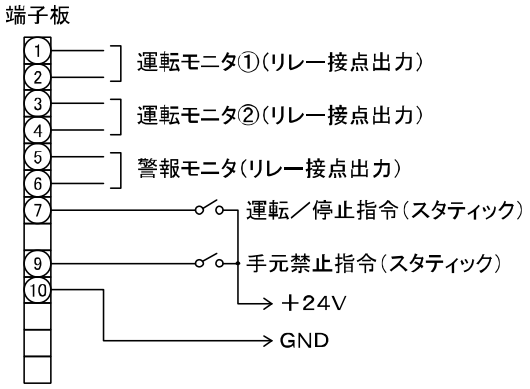
（2）無電圧　スタティック形式　※注



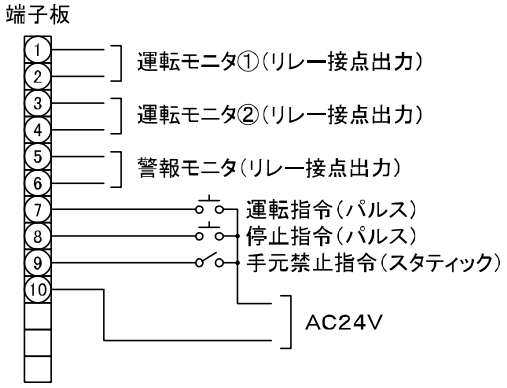
（3）DC24V　パルス形式



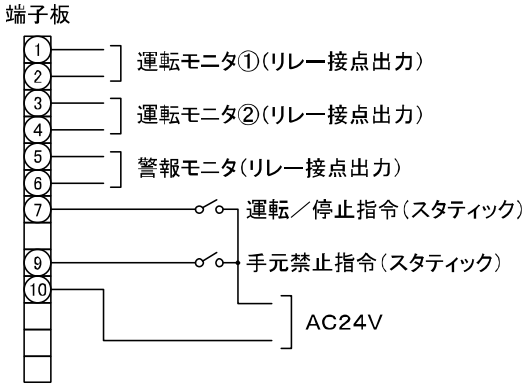
（4）DC24V　スタティック形式　※注



（5）AC24V　パルス形式



（6）AC24V　スタティック形式　※注

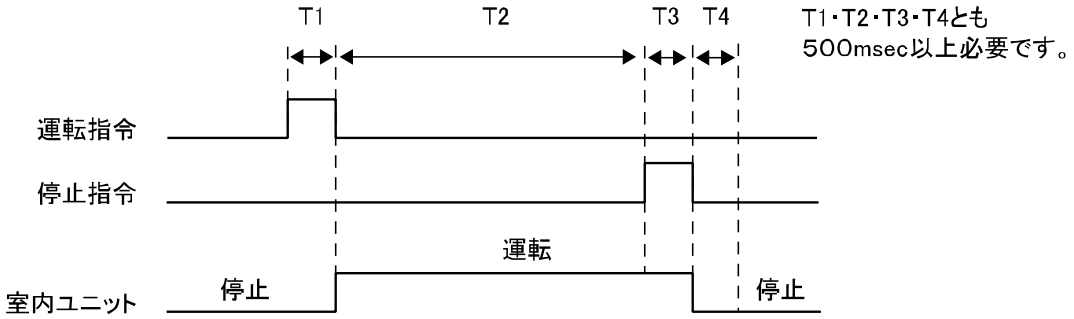


５．基板上の設定について

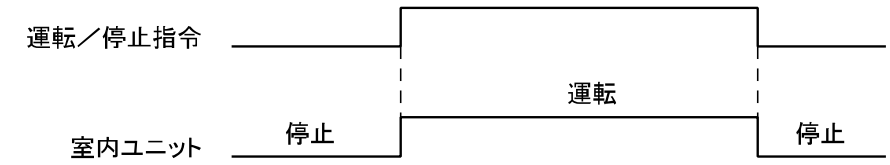
ご使用になる信号の形式を、リレー中継基板上のスイッチ(SW1)、および室内コントロール基板上のジャンパ線(JP001)で設定してください。
この設定を誤ると、リレーが連続で動作する等の誤動作を起こしますのでご注意ください。

信号形式		リレー中継基板上スイッチ(SW1)	室内基板ジャンパ線(JP001)
パルス （運転／停止 個別入力）	無電圧 DC24V AC24V	「パルス」 （工場出荷状態）	あり （工場出荷状態）
スタティック	無電圧 DC24V AC24V	「スタティック」	なし （ニッパ等で切断）

パルス形式（運転／停止個別入力方式）



スタティック形式



6. 入力仕様

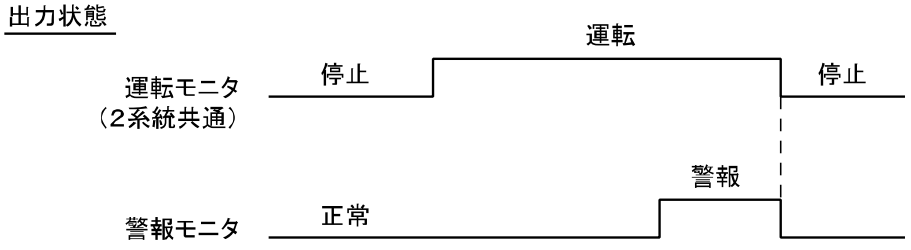
	入力項目	入力仕様	用途
①	運転入力	無電圧a接点（パルス／スタティック） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（パルス／スタティック） 接点容量6mA AC24V（パルス／スタティック） 接点容量10mA	運転指令（または運転／停止指令）の入力
②	停止入力	無電圧a接点（パルス） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（パルス） 接点容量6mA AC24V（パルス） 接点容量10mA	停止指令の入力
③	手元禁止入力	無電圧a接点（スタティック） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（スタティック） 接点容量6mA AC24V（スタティック） 接点容量10mA	手元禁止指令の入力 手元（リモコン）での運転／停止が禁止されます。

推奨リレー：富士電機HH62、オムロンMY2、もしくはこれらの相当品

7. 出力仕様

	入力項目	入力仕様	用途
①	運転モニタ （2系統）	無電圧a接点連続（スタティック） 接点定格AC200V、2A（cosφ＝0．4）	運転、停止状態の監視
②	警報モニタ	無電圧a接点連続（スタティック） 接点定格AC200V、2A（cosφ＝0．4）	警報の監視

出力状態

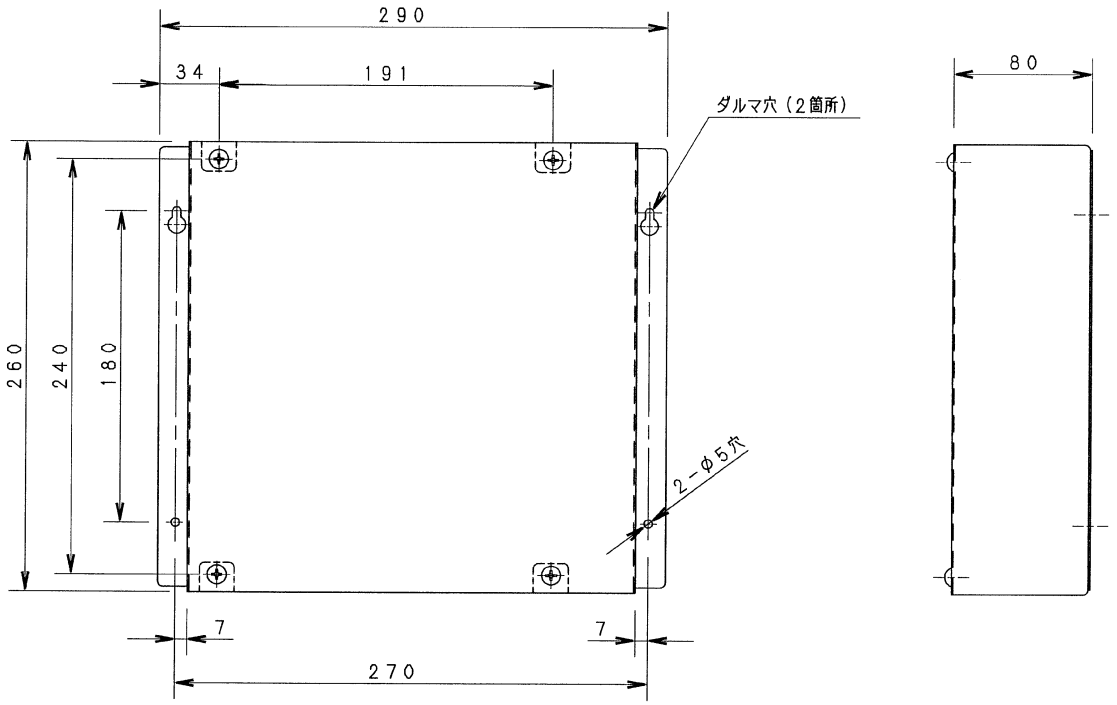


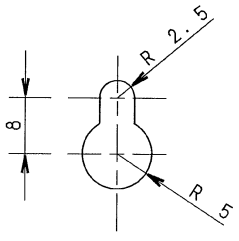
（１３）室外シリパラＩ/Ｏユニット（ＡＣＣ－ＸＳＰ４Ｕ１）

■仕様

品番		ACC-XSP4U1
電源定格		単相１００Ｖまたは２００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
消費電力		17.0W
外形寸法	mm	（高さ）８０×（幅）２９０×（奥行）２６０
質量	kg	３．２

■外形寸法図





ダルマ穴詳細

品番	ACC-XSP4U1	外形寸法図 （室外シリパラＩ／Ｏユニット）

①概要

ビル管理システムとの接続を簡単に行えるインターフェイスです。

室外ユニット４台の制御及び状態監視が可能です。（従来の室外リレー中継基板４台分に置き換わる）

入力：室内ユニットの一括発停、運転モード切替（冷暖）、デマンド（切換により手元禁止）

出力：室内ユニット運転信号、警報信号

②通信の仕方

中央制御盤からのパラレル接点信号を、室外ユニットを介してシリアル信号に変換してから室外ユニットに送信します。室外ユニットは送信された信号に基づき室内ユニットとやりとりを行い、その状態信号等を室外シリパラＩ／Ｏユニットに返し、パラレル信号に変化して中央制御盤に送ります。

1）仕様概要

ａ）特長

・室外シリパラＩ／Ｏユニット１台で最多４台の室外ユニットの制御／状態監視ができます。

・室外シリパラＩ／Ｏユニット８台接続で最多３０台の室外ユニットへ対応が可能です。

・外部入力部は有電圧（ＤＣ２４Ｖ）／無電圧 共用です。

・同一設定を複数に入力する場合、わたり配線が不要となる設定が可能(わたりSWで選択)です。

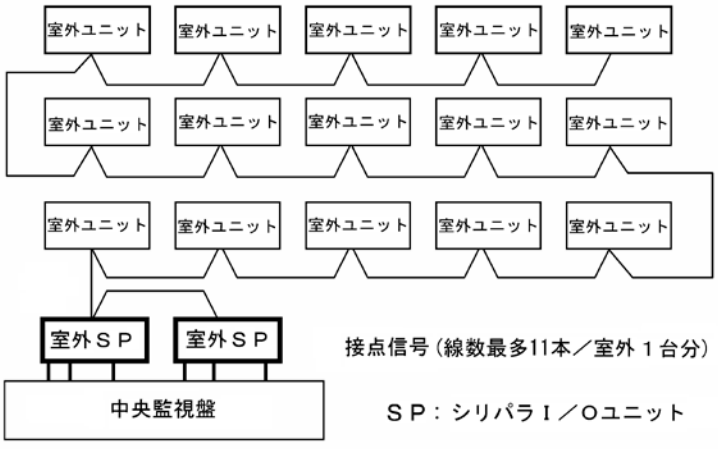
ｂ）入出力仕様

入力	一括運転入力	運転パルス	・無電圧 a 接点／DC24V（スライドＳW切替） ・パルス入力幅 300ms 以上 ・絶縁方式：フォトカプラー
	一括停止入力	停止パルス／スタティック	
	冷房入力	冷房固定スタティック	
	暖房入力	暖房固定スタティック	
	デマンド入力１	デマンド入力 （切換により手元禁止） （スタティック）	
	デマンド入力２		
出力	警報出力	室外ユニットの警報動作中 室内ユニットが１台以上警報動作中	無電圧 a 接点 接点容量(MAX AC250V3A) 最小適用負荷(DC5V10mA)
	運転出力	該当室外ユニット系統の室内ユニットが１台以上運転中	

ｃ）対象機種

・GHP：J1 形以降

2）システム図



３）据付（電気）工事（試運転）担当の方へ

安全上のご注意

*据え付け工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。

*個々に示した注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意	取扱を誤った場合、人が軽傷を追う可能性が想定される場合及び物理的損害のみの発生が想定される場合

*据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”は、お客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

●据え付け、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると感電・火災等の原因にもなります。

●据え付け工事は“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因になります。

●電気工事は電気工事の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、及び“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

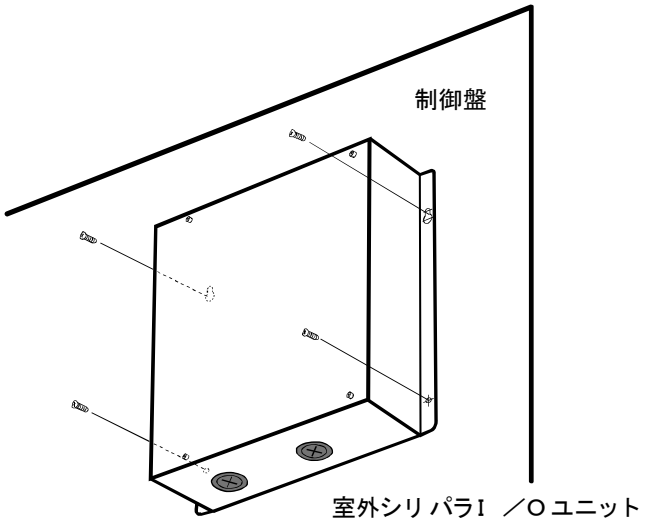
⚠注意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

１．室外シリパラⅠ／Ｏユニットの取り付け方

＜注1＞室内外操作線や入出力配線は、電源配線などと一緒に寄り合わせたり同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますのでさけてください。
＜注2＞室外シリパラⅠ／Ｏユニットはノイズ発生源から離して据え付けてください。
＜注3＞水などがかかる場所や水のたまるような極端に湿気の多いところは避けてください。
＜注4＞過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

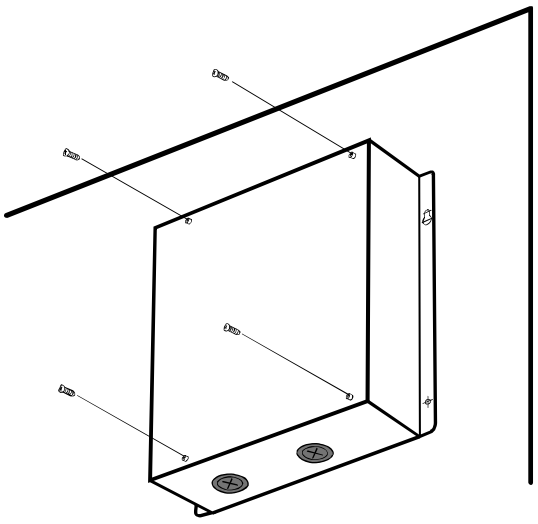
制御盤に組み込んで使用する場合、室外シリパラⅠ／Ｏユニットの数に合わせて制御盤を現地手配してください。



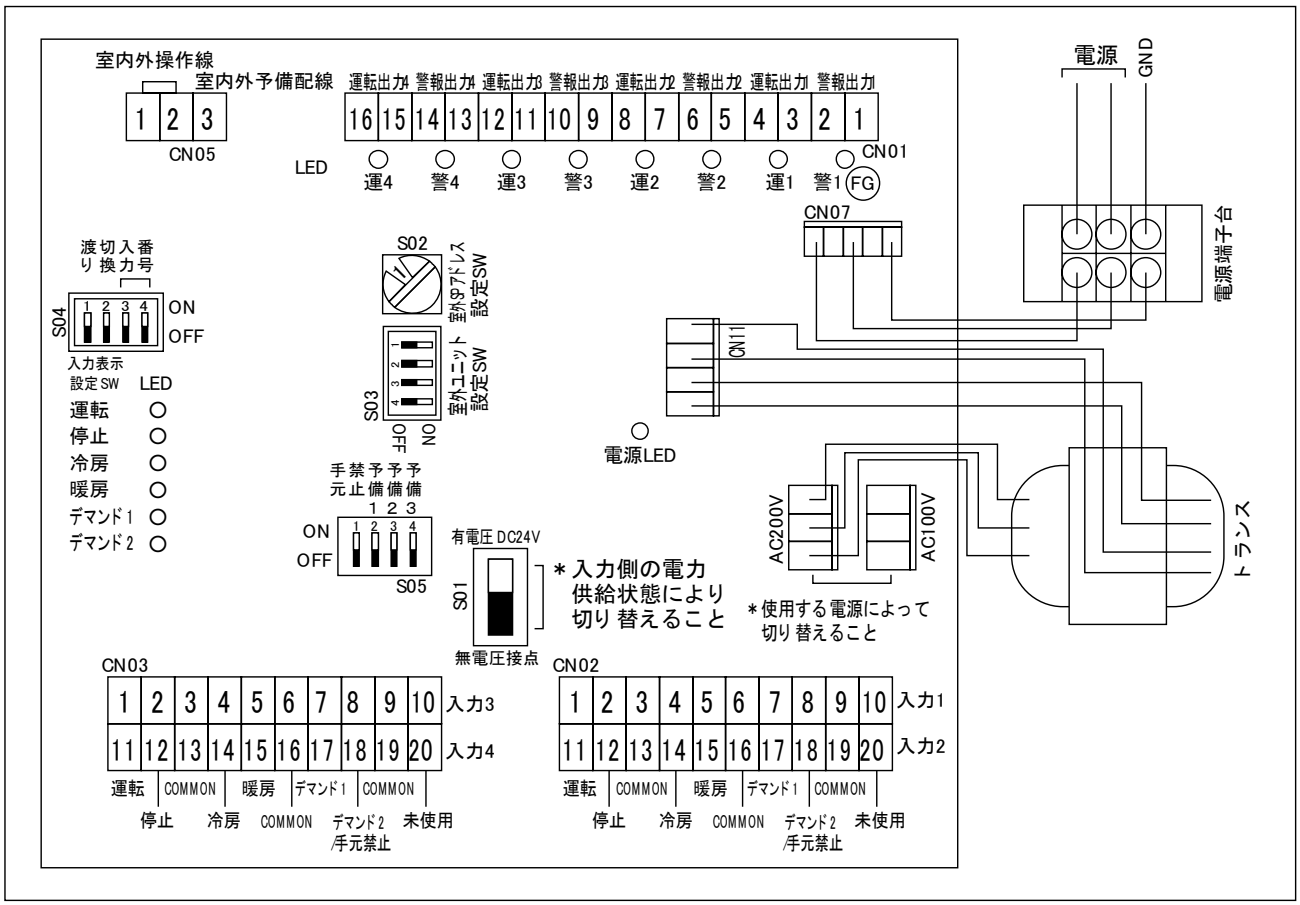
２．室外シリパラⅠ／Ｏユニットの配線の仕方

室外シリパラⅠ／Ｏユニットの取り付け、取り外しは安全のため漏電しゃ断器を切ってから行ってください。

・ネジを４本外し、上ブタを外します。



＜室外シリパラⅠ ／Ｏユニット 基板 部品配置＞

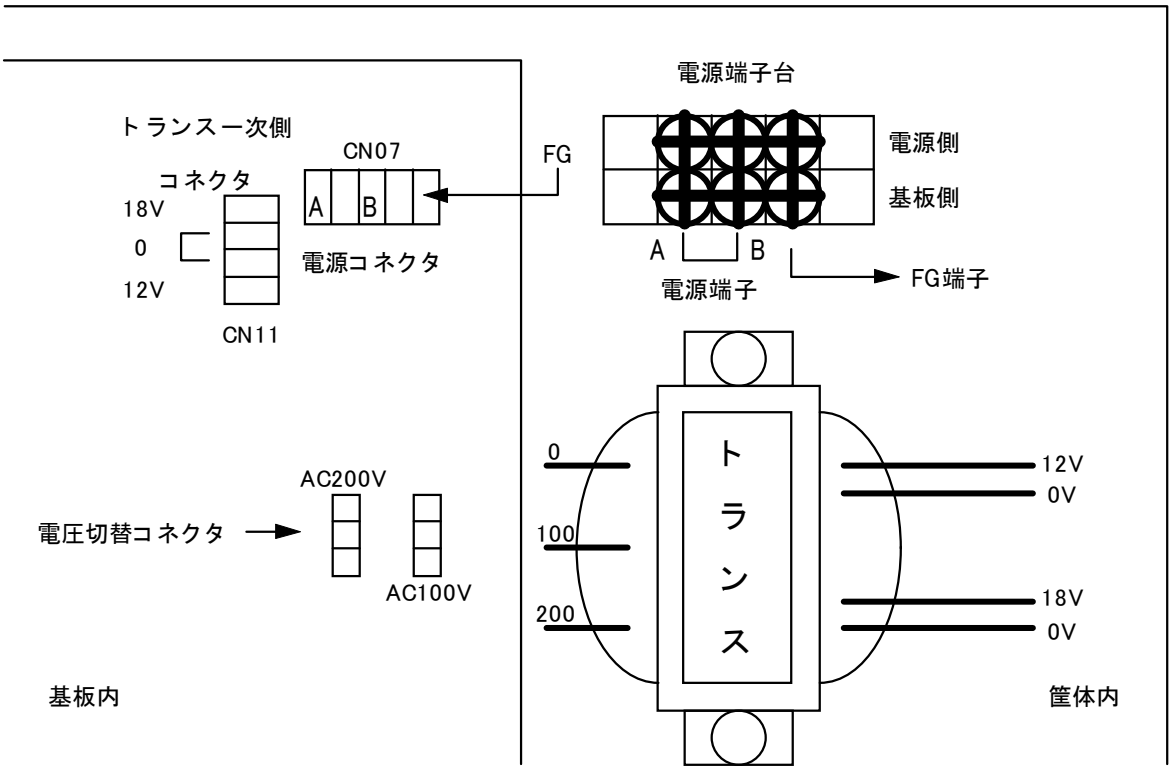


①電源の接続

AC100VまたはAC200Vのうち一方を使用します。室外シリパラⅠ ／Ｏユニット 基板のAC100V用コネクタ（ AC100V表示の赤いコネクタ） 、AC200V用コネクタ （ AC200V表示の赤いコネクタ）のいずれかにトランスの一次側（ 赤3Ｐ）を差し替えて使用します。使用する電源電圧を確認して切り換えてください。工場出荷時はAC200Vに設定されています。

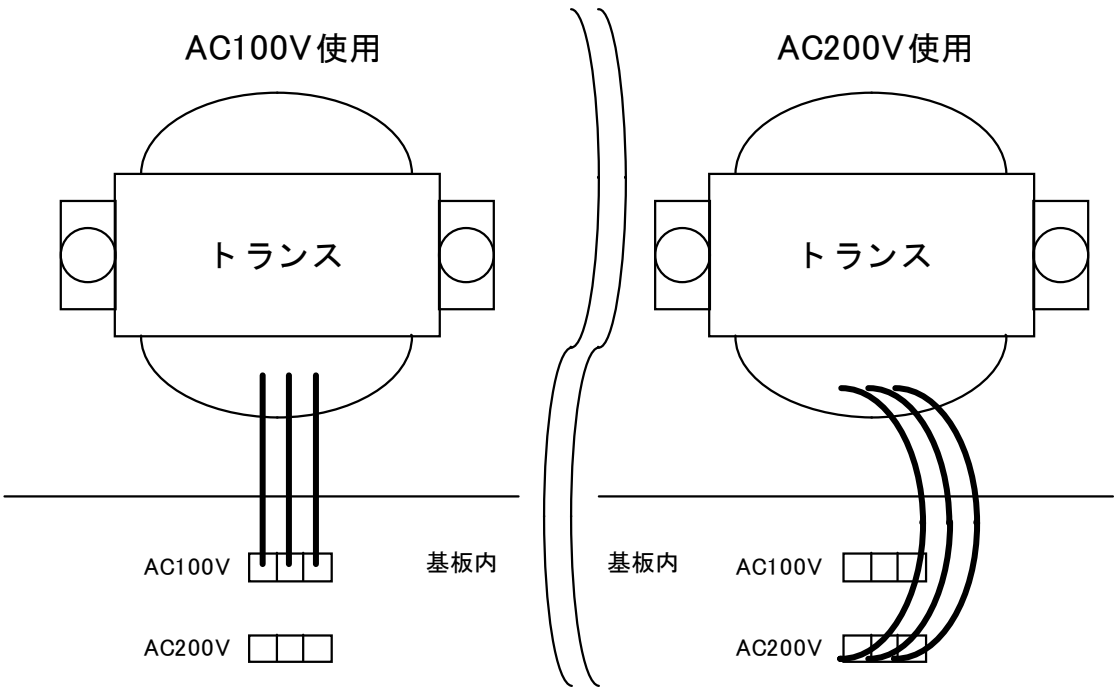
（ 注意）・ 電源電圧とトランスの一次側の切替を間違えますと壊れる恐れがありますので注意してください。
・ コネクタの差し替えは電源を切ってから作業を行ってください。
・ 高電圧回路のため感電する恐れがあります。電源ON中は触らないでください。
・ 電源ON中は、電源部のコネクタ部分等（ 金属がむきだしになっている部分）には触れないでください。

<トランス及び電源コネクタ、端子台配置図>



変更時

・AC100V仕様の時には下左図のようにトランスからの3Pコネクタを AC100V側に接続してください。（感電の恐れがあるので電源を切ってから切り換えてください）



②室外シリパラＩ／Ｏユニットと室内外操作線の接続

・室外シリパラＩ／Ｏユニットを空調機へ接続する際には室内外操作線を利用します。

・室内操作線は２芯 0.5～2.0㎟の電線を使用してください。（総延長１ｋｍまで）信号線には極性がありません。電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。室内外操作線は電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。

＜信号線線種＞太さ 0.5～2.0㎟

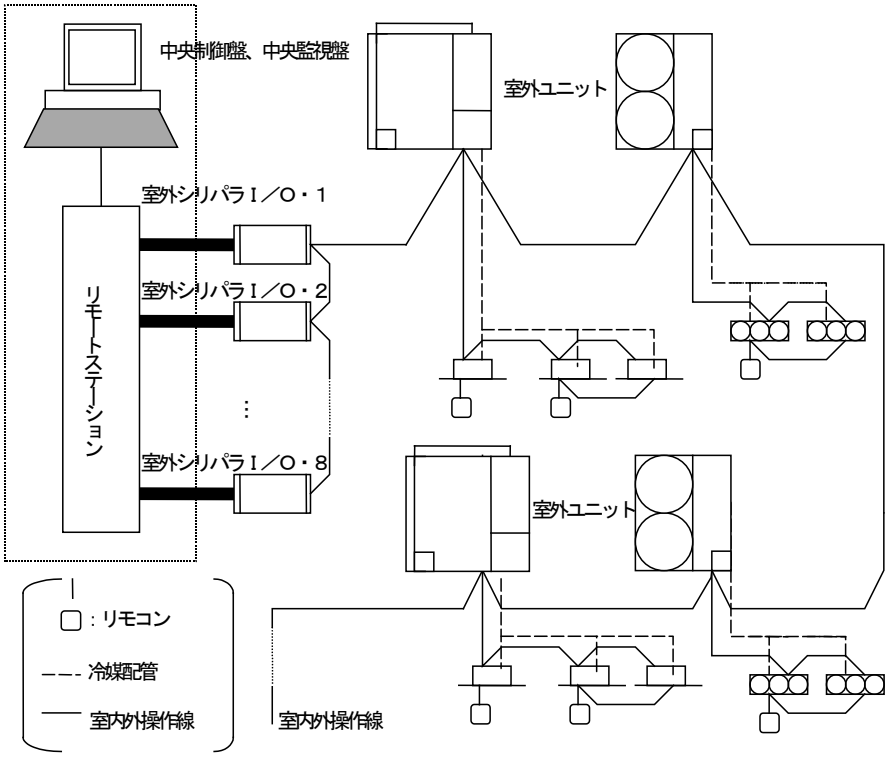
エコ電線記号	従来記号	名称（従来名称）	適用規格
EM-CEE/F	CVV	制御用耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ （制御用ﾋﾞﾆﾙ絶縁ﾋﾞﾆﾙｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ）	JIS C3401
ECO120	VCT	耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｷｬﾌﾞﾀｲﾔ丸型ｹｰﾌﾞﾙ （ﾋﾞﾆﾙ絶縁ﾋﾞﾆﾙｷｬﾌﾞﾀｲﾔｹｰﾌﾞﾙ）	JCS 4501 JIS C3312
EM-ECTF	VCTF	耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｷｬﾌﾞﾀｲﾔ丸型ｺｰﾄﾞ （ﾋﾞﾆﾙｷｬﾌﾞﾀｲﾔ丸型ｺｰﾄﾞ）	JIS C3306
EM-EEF	VVF	600V 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ平型ｹｰﾌﾞﾙ （600V ﾋﾞﾆﾙ絶縁ﾋﾞﾆﾙｼｰｽ平型ｹｰﾌﾞﾙ）	JIS C3342
EM-CPEES	CPEVS	通信用ｼｰﾙﾄﾞ付き市内対ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ （ｼｰﾙﾄﾞ付き市内対ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁ﾋﾞﾆﾙｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ）	―
EM-K-CPEE	KPEVS	計装用ｼｰﾙﾄﾞ付き市内対ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ （ｼｰﾙﾄﾞ付き市内対ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁ﾋﾞﾆﾙｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ）	JIS C5402
EM-MEE-S	MVVS	遮蔽付きﾏｲｸﾛﾎﾝ用耐熱性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｺｰﾄﾞ （遮蔽付きﾏｲｸﾛﾎﾝ用ﾋﾞﾆﾙｺｰﾄﾞ）	JCS 4271 号

＜基本配線図＞

・室外シリパラＩ／Ｏユニットの室内外操作線の配線例として下図があります。

・１システムの接続台数は室外ユニット最大３０台室内ユニットは６４台までです。

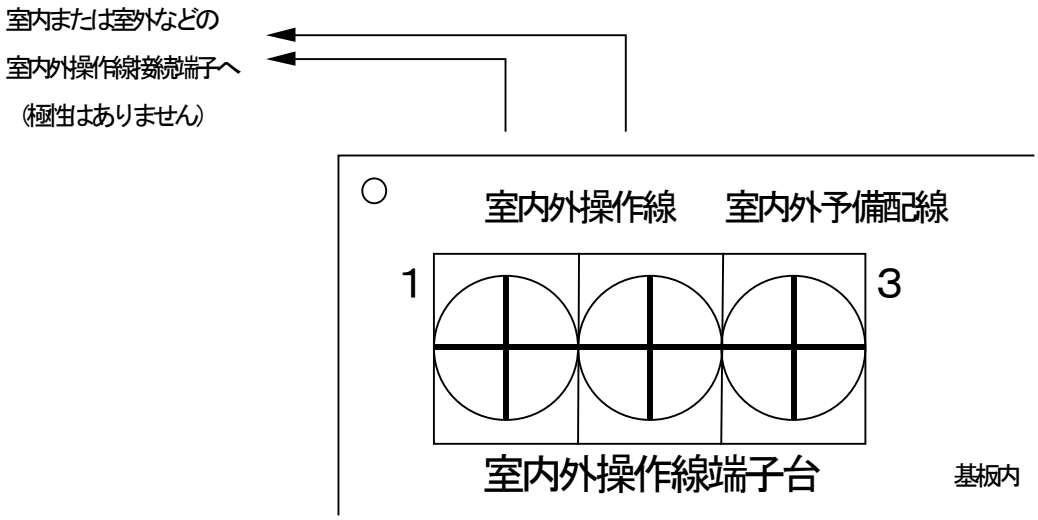
・室外シリパラＩ／Ｏユニットは１システム内に最多室外ユニット４台まで接続でき、最大８台接続３０台まで管理できます。



＜配線の手順＞

・室内外操作線

●基板の室内外操作線用端子台（通信用）ＣＮ０５の１－２間に、室外または室内ユニットの室内外操作線用接続端子を接続します。

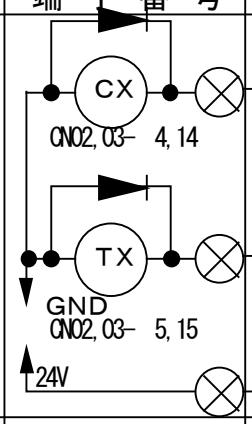
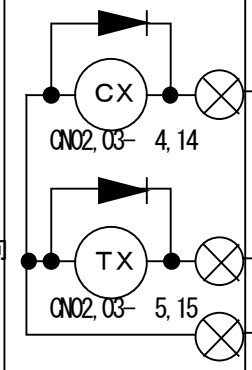
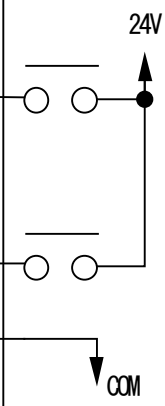


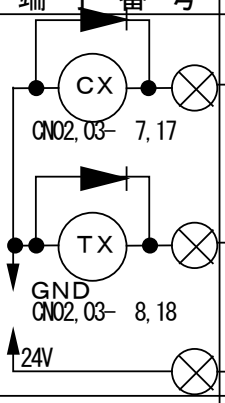
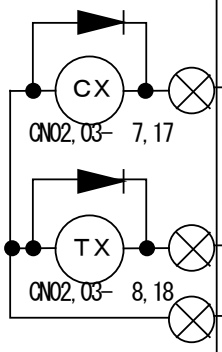
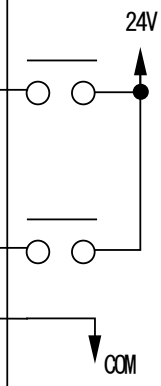
室内外操作線端子台に電源線（ＡＣ１００Ｖ／２００Ｖ）を配線していないかを確認してください。誤って電源を印加した場合は、基板のヒューズ（Ｆ０１）が溶断して基板を保護するようにしています。電源配線接続を修正したのち、室内外操作線をＣＮ０５の１－３（室内予備配線を使う）間に配線を行ってください。

（作業は必ず電源ＯＦＦしてから行ってください）

③室外シリパラＩ／Ｏと外部接続（中央制御盤、中央監視盤）間の接続

名称	入出力項目	室外シリパラＩ／Ｏユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	状態出力	運転出力１～４ 無電圧ａ接点出力 接点許容電圧電流 DC30V／1A 最小適用負荷 1V 1mA	CN01-3, 7, 11, 15 CN01-4, 8, 12, 16		デジタル入力	運転、停止入力に応対する応答時間 最大２０sec
		警報出力１～４ 無電圧ａ接点出力 接点許容電圧電流 DC30V／1A 最小適用負荷 1V 1mA	CN01-1, 5, 9, 13 CN01-2, 6, 10, 14		デジタル入力	運転、停止入力に応対する応答時間 最大２０sec
	制御入力	一括運転入力 一括停止入力 （パルス／ｽﾀﾃｨｯｸ） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ０１を 無電圧接点 （出荷時）	CX CN02, 03-1, 11 TX GND CN02, 03-2, 12 24V			パルス幅300msec以上 無電圧ａ接点出力
		一括運転入力 一括停止入力 （パルス／ｽﾀﾃｨｯｸ） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ０１を 有電圧DC２４V	CX CN02, 03-1, 11 TX CN02, 03-2, 12		24V COM	パルス幅300m sec以上 有電圧DC24V出力

名称	入出力項目	室外シリパラⅠ／Oユニット側 入出力条件	端子番号	設備（中央制御盤、中央監視盤）側 切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	制御入力	冷房入力 暖房入力 フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ０１を 無電圧接点方向 （出荷時）				パルス幅300m sec 以上 無電圧a接点出力
		冷房入力 暖房入力 フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ01 を 有電圧DC２4V方向				パルス幅300m sec 以上 有電圧DC24V出力

名称	入出力項目	室外シリパラⅠ／Oユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	制御入力（ｽﾀﾃｨｯｸ）	デマンド1、デマンド2 S05-1：ON時 （サーモOFF，手元禁止） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ０１を 無電圧接点方向 （出荷時）				パルス幅300m sec以上 無電圧ａ接点出力
		デマンド1、デマンド2 S05-1：ON時 （サーモOFF，手元禁止） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ０１を 有電圧DC２４V方向				パルス幅300m sec以上 有電圧DC24V出力

・室外シリパラⅠ／Oユニットと設備側の配線長について
　デジタル信号は１００ｍ以下で使用してください。

＊入力端子台対応表

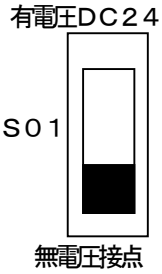
	入力１	入力２	入力３	入力４
一括運転	CN 02上段の運転 COM	CN 02下段の運転 COM	CN 03上段の運転 COM	CN 03下段の運転 COM
一括停止	CN 02上段の停止 COM	CN 02下段の停止 COM	CN 03上段の停止 COM	CN 03下段の停止 COM
冷房	CN 02上段の冷房 COM	CN 02下段の冷房 COM	CN 03上段の冷房 COM	CN 03下段の冷房 COM
暖房	CN 02上段の暖房 COM	CN 02下段の暖房 COM	CN 03上段の暖房 COM	CN 03下段の暖房 COM
デマンド1 ／サーモoff	CN 02上段のデマンド1 ／サーモoff COM	CN 02下段のデマンド1 ／サーモoff COM	CN 03上段のデマンド1 ／サーモoff COM	CN 03下段のデマンド1 ／サーモoff COM
デマンド2 ／手元禁止	CN 02上段のデマンド2 ／手元禁止 COM	CN 02下段のデマンド2 ／手元禁止 COM	CN 03上段のデマンド2 ／手元禁止 COM	CN 03下段のデマンド2 ／手元禁止 COM

＊各入力の配線時の極性

	各入力（運転、停止、 冷房、暖房、 デマンド１／サーモoff、 デマンド２／手元禁止）	COM
S01　無電圧接点	無電圧接点のため 極性無し	無電圧接点のため 極性無し
S01　有電圧DC24V	正極	COM

３．設定スイッチについて

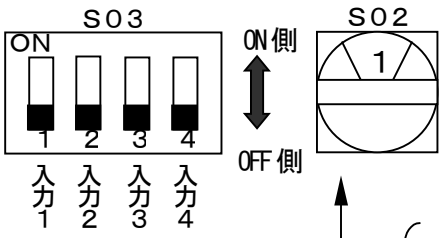
●設定スイッチＳ０１について（電圧切替は電源をいれる前に行ってください。）



・Ｓ０１（接点入力電圧切替SW）（出荷時：無電圧接点）について

1. 入力端子を無電圧Ａ接点で使用するときスイッチ０１を無電圧接点側にいれる。
2. 入力端子を有電圧ＤＣ２４Ｖ接点で使用するときスイッチ０１を有電圧ＤＣ２４Ｖ側にいれる。

●設定スイッチＳ０２、Ｓ０３について



・Ｓ０２（室外ＳＰアドレス設定SW）
室外シリパラのアドレスを設定するSWです。（＊１参照）

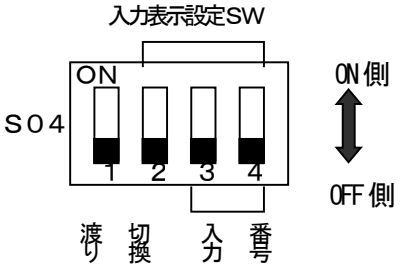
・Ｓ０３（室外ユニット設定SW）
接続室外ユニットを設定するSWです。使用する入力はSWを必ずONに切り換えてください（注：OFF入力のものは入出力を行いません）。

１：系統アドレス　１～４　　２：系統アドレス　５～８
３：系統アドレス　９～１２　４：系統アドレス１３～１６
５：系統アドレス１７～２０　６：系統アドレス２１～２４
７：系統アドレス２５～２８　８：系統アドレス２９～３０
（0は1と同じ設定。9は8と同じ設定。）

（＊１）Ｓ０２（室外SPアドレス設定SW）を換えた時の入出力端子台（入出力１～４）と系統アドレスとの関係

Ｓ０２（室外ＳＰアドレス設定SW）	入出力端子台番号				
	１	２	３	４	
１	１	２	３	４	系統アドレス（室外ユニットアドレス）
２	５	６	７	８	
３	９	１０	１１	１２	
４	１３	１４	１５	１６	
５	１７	１８	１９	２０	
６	２１	２２	２３	２４	
７	２５	２６	２７	２８	
８	２９	３０	３０	３０	

●設定スイッチＳ０４について



・Ｓ０４−１（出荷時OFF）

渡り	OFF	渡り処理無し（通常）
	ON	渡り処理有り（端子台入力１にのみ配線してください）

＊渡り処理有りの場合：端子台入力１～４に渡りの配線をしたのと同様の処理を行います。（入力２～４にも入力１と同じ入力があるものとして処理します。）渡り入力有りの場合もS03でoff入力のものは入、出力の動作は行いません。

・Ｓ０４−２（出荷時OFF）

切換	OFF	LED1～4に対応する室外ユニットとの通信状態を表示します。
	ON	LED（６こ）に入力番号で選択した端子台の各入力状態（運転、停止など）を表示します。

・Ｓ０４−３、４ 入力番号選択：確認したい入力番号を選びます。

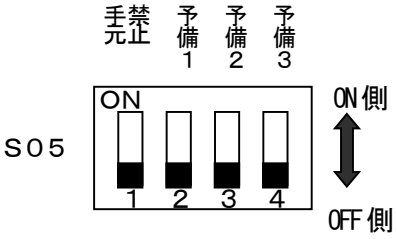
	Ｓ０４−３	Ｓ０４−４
入力1	ＯＦＦ	ＯＦＦ
入力2	ＯＦＦ	ON
入力3	ON	ＯＦＦ
入力4	ON	ON

＊Ｓ０４−２（切換）とＳ０４−３、４（入力番号）の設定によりLEDに以下の表示を行います。
（切換がONになっていると選択した入力番号の入力端子台に入力されている信号に応じたＬＥＤを点灯します）

切換	ＯＦＦ（通常時）	ON（入力確認時）
LEDの説明	1 ○ 番号に対応する室外 2 ○ ユニットとの通信が 3 ○ 正常時：点灯 4 ○ 異常時：点滅 ○ ○	運転 ○ 停止 ○ 入力有り：点灯 冷房 ○ 入力無し：消灯 暖房 ○ デマンド1 ○ デマンド2 ○

注）Ｓ０４−２（切換）がONしていると通信エラーがわからないときがありますので通信確認するときにはＯＦＦにしておいてください。

●設定スイッチＳ０５について

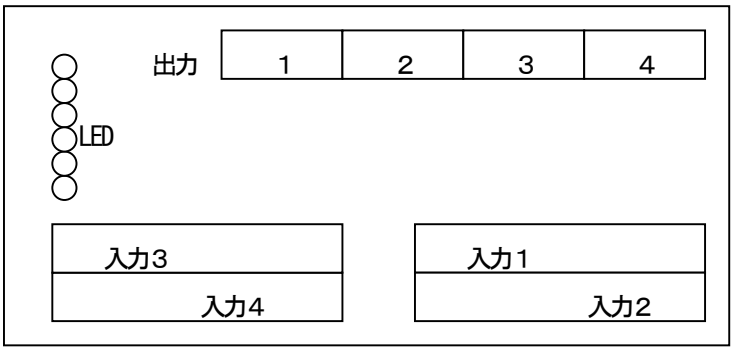


・Ｓ０５-1（出荷時OFF）手元禁止SWで入力を以下のように切り替えます。

手元	OFF	デマンド1／デマンド2
禁止	ON	サーモoff（＊1）／手元禁止

＊１：強制サーモOFF（１００%のデマンド）入力になります。

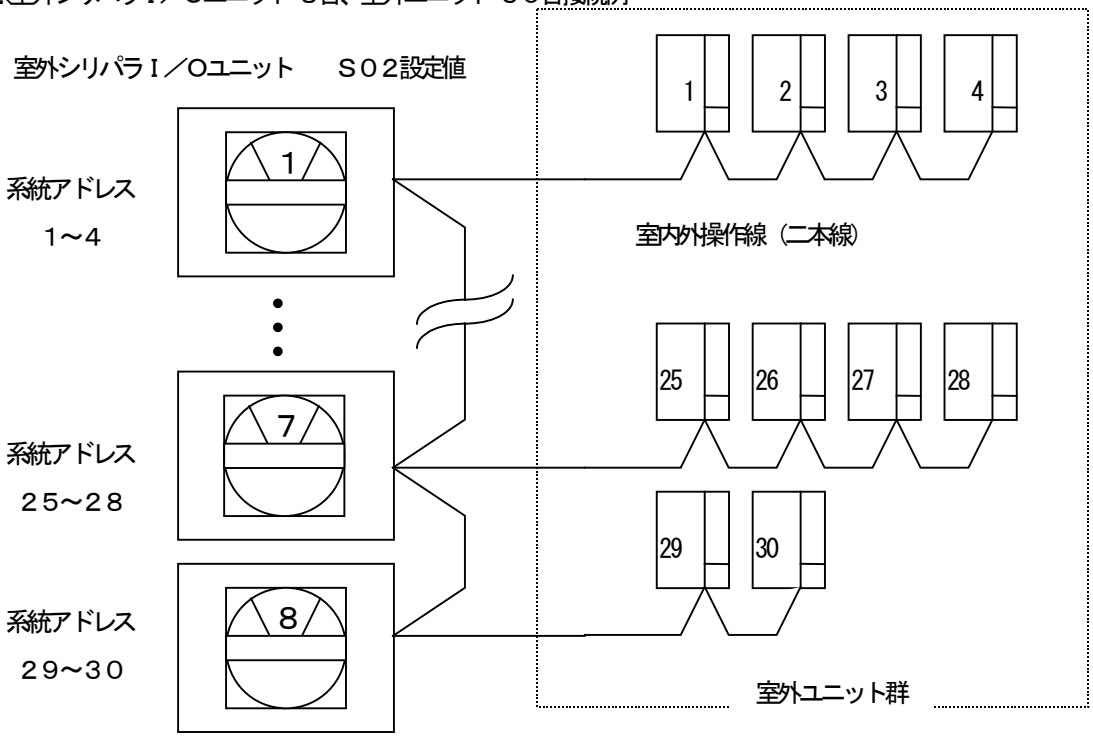
<室外シリパラⅠ／Oユニット基板上部品配置図>



４．アドレス設定ＳＷ（Ｓ０２）についての詳しい説明

室外シリパラＩ／Ｏユニットを複数台つなげて使用する場合は室外シリパラアドレスの設定が必要です（Ｓ０２）。

※室外シリパラＩ／Ｏユニット 8台、室外ユニット ３０台接続例



５．試運転

1．エアコンの電源をすべて入れてください。試運転が全て完了していることを確認してください。
2．エアコンの試運転が終了してから以下の手順で行ってください。
3．室外シリパラＩ／Ｏユニットの電源をいれてください（設定は電源投入前に済ませてください）。
4．室外シリパラＩ／Ｏユニットと室外ユニットとの通信が異常なければ、室外シリパラＩ／Ｏユニットから一括運転を入力（入力端子台の運転と COM を接続してください）し、運転ランプで確認してください。同様に各入力も確認してください。入力の確認を行う場合は設定スイッチ SO4 の 3、4(入力番号スイッチ)で確認したい入力の番号を設定した後 SO4 の 2 (切換スイッチ)を ON して確認を行えます(「３．設定スイッチについて」を参照ください）。

・室外シリパラＩ／Ｏユニットと室外ユニットの間で通信異常発生後約３分経過した場合通信確認 LED が点滅します。点滅時は点滅している室外ユニットの通信線の接続及び電源等を確認して修正してください。

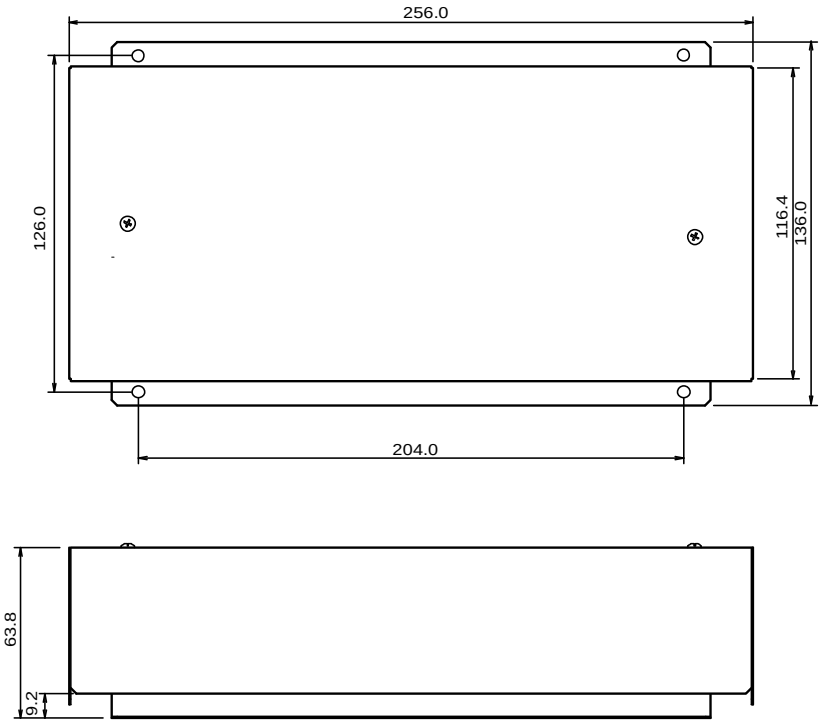
（１４）ミニシリパラⅠ/Oユニット（ＡＣＣ－ＳＰ１Ａ）

■仕様

接続対象	SANYO　：室内ユニット T形(PAC)・G形(GHP)以降 Panasonic：室内ユニット
電源	DC12V
消費電力	1.2W，0.1A
使用環境条件	温度0℃～40℃、湿度20% ～80% 、 屋内専用
外形寸法	幅256.0ｍｍ×奥行136.0ｍｍ×高さ63.8ｍｍ
重さ	0.9 kg

■外形寸法図

単位: ｍｍ



安全上のご注意

＊据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。
＊個々に示した注意事項は「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　取り扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意　取り扱いを誤った場合に、人が軽傷を追う可能性が想定される場合および物理的損害のみの発生が想定される場合

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法を説明してください。また、"据付 電気)工事担当の方へ"は、お客様で保管いただくように依頼してください。

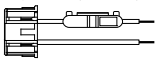
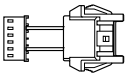
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると感電 火災等の原因にもなります。
●据付工事は"据付 電気)工事担当の方へ"に従って確実に行ってください。
据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は電気工事の資格のある方が 電気設備に関する技術基準」、「 内線規程」および"据付 電気)工事担当の方へ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

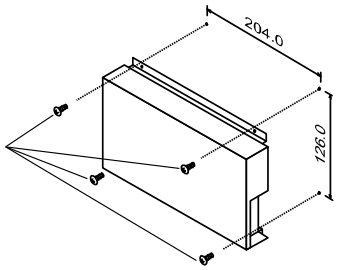
●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。

付属部品

番号	部品	個数	番号	部品	個数
①	SANYO 室内ユニット A, Z形以降用 Panasonic 室内ユニット用 T10ケーブル(150mm)  電流ヒューズ付 ※1	1	③	取付用ねじ タッピンねじ(φ4x8mm) 	4
			④	ワイヤージョイント 	2
②	SANYO 室内ユニット T, U, G, H, JI形用 T10ケーブル(100mm) 	1	⑤	据付(電気)工事 (試運転)担当のかたへ 	1

※1 ヒューズが配線の短絡、誤配線および過電流で溶断した際には、125V/0.5Aのものと交換してください。

取り付けかた

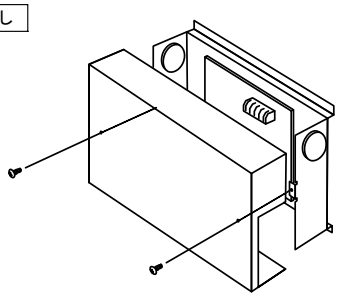


取り付け用
タッピンねじ×4
(付属部品③)

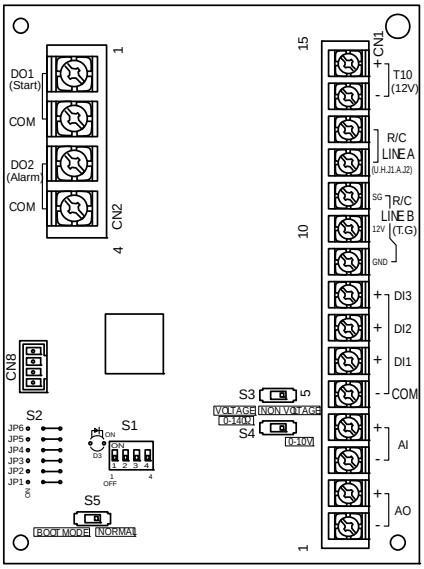
ご注意
●通信線は、電源線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因になりますので避けてください。
●ノイズ発生源から十分離して据え付けてください。
●水などかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
●過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

配線のしかた

カバーの取り外し



端子板配置図およびスイッチ配置



CN1				
15	+	T10(12V)	電源DC12V
14	−		
13		R/C LINE A	リモコン配線A
12			
11	SG	R/C LINE B	リモコン配線B
10	12V		
9	GND		
8	+	DI 3	デジタル入力
7	+	DI 2	
6	+	DI 1	
5	−	COM	
4	+	AI	アナログ入力(設定温度変更)
3	−		
2	+	AO	アナログ出力(室温モニタ)
1	−		

CN2			
1	DO1	デジタル出力1(運転出力)
2	COM	
3	DO2	デジタル出力2(警報出力)
4	COM	

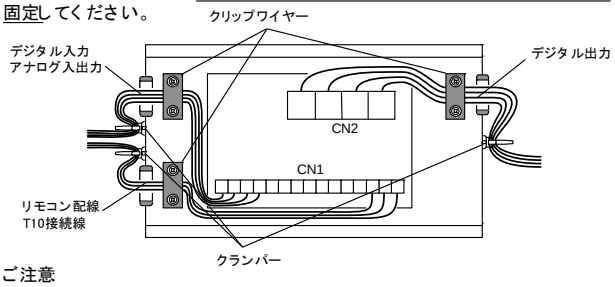
S1	制御タイプ設定スイッチ
S2	詳細設定スイッチ
S3	有電圧／無電圧切換スイッチ
S4	設定温度入力切換スイッチ
S5	未使用

CN8	未使用

ご注意
●端子板への配線接続は、必ず被覆押え付きの丸型端子をご使用ください。
(CN1側：M3.0, CN2側 ：M3.5)

配線処理のしかた

配線は、必ず本体内部のクリップワイヤーおよび外部のクランパーでしっかり固定してください。



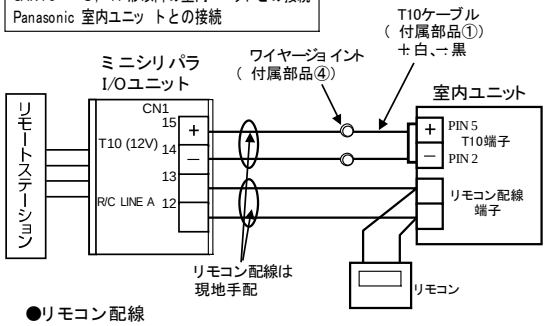
ご注意
●AC電源等の高電圧を使用する場合(デジタル出力)、その配線が基板上の部品や低電圧 CN1側)の配線に接触しないようにしてください。

（１）室内ユニットとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。（30cm以上離してください。）

●配線仕様
種類　シース付ビニルコード
太さ:　0.5～2.0mm²
配線長 最大100m

SANYO　U，H 形以降の室内ユニットとの接続
Panasonic 室内ユニットとの接続

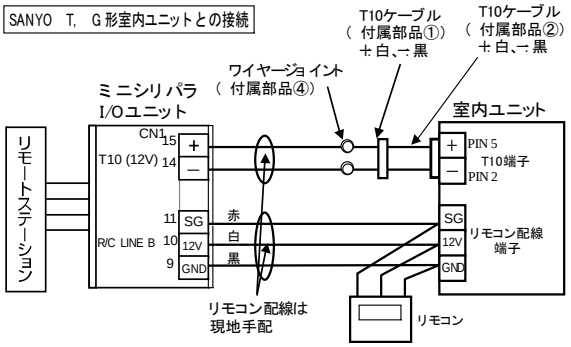


●リモコン配線
ミニシリパラ／Oユニットの端子台CN1の12,13番 リモコン配線A）と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。極性はありません。

●T10接続線
ミニシリパラ／Oユニットの端子台CN1の14,15番 T10(12V)と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので「＋」－」を間違えないように十分注意して接続してください。誤配線は故障の原因になります。

※ SANYO U, H, JI形室内ユニット のT10端子への接続は、SANYO T,G形の場合と同様に付属部品①,②を使用します。システム図と異なるので注意してください。

SANYO　T，G 形室内ユニットとの接続



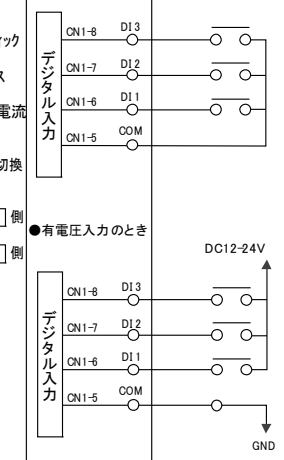
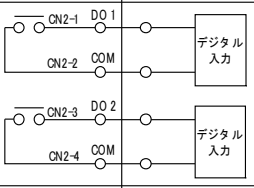
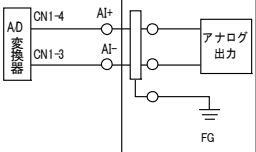
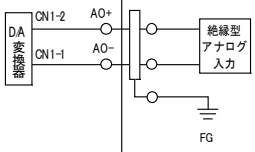
●リモコン配線
ミニシリパラ／Oユニットの端子台CN1の9,10,11番 リモコン配線B）と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。
極性がありますので「GND」「12V」「SG」を間違えないように接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

●T10接続線
ミニシリパラ／Oユニットの端子台CN1の14,15番T10（12V）と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので「＋」－」を間違えないように十分注意して接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

ご注意
●室内ユニットには必ずミニシリパラ以外に、リモコンまたは、集中制御機器 システムコントローラーなど）を設置してください。
●リモコン配線に、2個以上のミニシリパラの併設はできません。
●室内ユニットのT10端子を使用する制御機器との併用はできません。
例 室内用リレー中継基板、スケジュールタイマーなど

（２）リモート ステーションとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルを配線したり、互いを近づけたりしないでください。（30cm 以上離してください。）

名称	入出力項目	ミニシリパラI/Oユニット 側 入出力条件	ミニシリパラI/Oユニット 側 端子番号	設備側 リモート ステーション） 回路例	設備側 リモート ステーション） 入出力条件
デジタル入出力端子	デジタル入力 ※1	DI 1入力 DI 2入力 DI 3入力 電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ または、電圧a接点ﾊﾟﾙｽ 接点許容電圧電流 DC24V, 10mA 有電圧／無電圧切換スイッチ S3 無電圧時 NON VOLTAGE 側 有電圧時 VOLTAGE 側	●無電圧入力のとき（工場出荷時） ●有電圧入力のとき		有電圧(12-24V)または無電圧 パルス入力時 200ms以上
	デジタル出力 ※2	運転出力 警報出力 無電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ 接点許容電圧電流 DC 24V, 3A（最小負荷 10mA）			
アナログ入出力端子	アナログ入力 ※3	室内温度設定入力 入力 0-10V または 0-140 Ω 設定温度範囲 室内ユニットの設定設定範囲内 1℃ステップ 設定温度入力切換スイッチ S4 電圧入力時 0-10V 側 抵抗接続時 0-140 Ω 側			アナログ入力は、精度±0.1%のものをご使用ください
	アナログ出力 ※4	室内温度モニタ出力 出力電流 4-20mA 温度指示範囲 5-36℃ 0.5℃ステップ			許容負荷 最大240 Ω

※1　デジタル入力について

●制御タイプ設定スイッチS1により下表のように制御タイプが切り換わります。

制御タイプ	入力1(CN3 1)		入力2(CN3 2)		入力3(CN3 3)		
	(open)(close)	(close)(open)	(open)(close)	(close)(open)	(open)(close)	(close)(open)	電圧a接点スタティック/電圧a接点パルス ※1
0	運転 弱風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット 停止	運転 強風	入力1,2,3 全てオープンのとき、室内ユニット 停止	運転 急風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット 停止	全入力 スタティック
1	運転 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	運転 手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	－	入力1,2: スタティック 入力3: パルス
2	運転 手元運転禁止	停止 手元発停禁止	手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	－	入力1,2: スタティック 入力3: パルス
3	運転<->停止 手元発停禁止	－	運転<->停 止 手元発停許 可	－	停止 手元発停禁止	－	全入力パルス
4	運転 手元発停禁止	－	運転 手元発停許可	－	停止 手元発停禁止	－	
5	運転 手元運転禁止	－	手元発停許可	－	停止 手元発停禁止	－	
6	運転 手元発停許可	－	停止 手元発停許可	－	－	－	
7	運転<->停止 手元発停禁止	－	運転<->停 止 手元発停許 可	－	サーモ OFF	サーモ OFF 解除	入力1,2: パルス 入力3: スタティック
8	－	－	－	－	－	－	－
9	暖房	－	冷房	－	送風	－	全入力 パルス
10	暖房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット 停止	冷房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット 停止	送風 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット 停止	全入力 スタティック
11	－	－	－	－	－	－	－
12	－	－	－	－	－	－	－
13	－	－	－	－	－	－	－
14	－	－	－	－	－	－	－
15	運転	停止	－	－	サーモ OFF	サーモ OFF 解除	全入力 スタティック

※1　パルス入力時は、パルス幅を200ms以上にしてください。

●配線仕様
種類　シース付ビニルコード
太さ:　0.5～2.0mm²
配線長 最大100m

※2　デジタル出力について

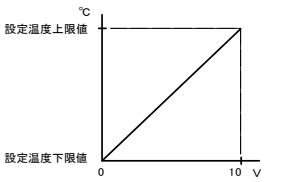
●D01は、運転出力です。
D02は、警報出力です。
●接点許容電圧電流は、最大DC24V, 3Aです。
●配線の仕様は、デジタル入力の場合と同様です。
●室内グループ制御時に、室内ユニット 1台でも運転・警報中であればそれぞれ出力します。

※3　アナログ入力について

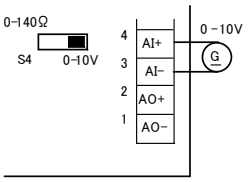
●温度設定の方法を以下の3種類より選択します。
・電圧入力① 設定温度上/下限の均等分割）
・電圧入力② 電圧固定）
・抵抗入力
※使用しない場合は、詳細設定スイッチS2のJP4をカット してください。

●電圧入力①・②の場合
・設定温度入力切換S4を「 0～10V」 側にしてください（ 工場出荷時）
・配線仕様
種類　シース付ビニルコード（ シールド 線推奨）
太さ:　1.25～2.00mm²
配線長　最大70m

●電圧入力① 設定温度上/下限の均等分割）（ 工場出荷時）
・DC 0V～10V （ 設定温度下限値～設定温度上限値）の入力範囲です。
・設定温度と電圧の関係は、下図のようになります。
・設定温度上限値と下限値は、運転モード および室内ユニット によって異なります。
（ 例）3-1:「 代表的機種の各運転モード［下限値～上限値］」の設定温度と電圧の関係をごらんください。

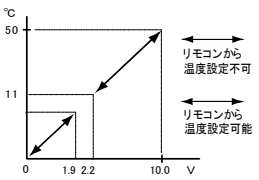


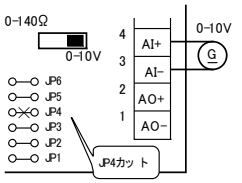
入力電圧値と温度の関係



配線接続図

●電圧入力② 電圧固定）
・DC 0V～10Vの入力範囲です。
・設定温度の有効範囲は、2.2V～10V （ 11℃～50℃） となります。
この範囲は、リモコンから 温度を設定することはできません。
・設定温度上下限値を越える入力の場合は、上下限値となります。
例えば、冷房[18℃～30℃]場合、 3.5V以下は18℃、 6.2V以上は30℃になります。
・リモコンから 温度を 設定したい場合には、入力電圧を1.9V以下にしてください。



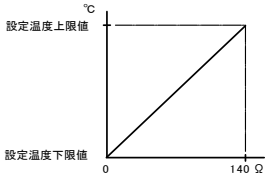


設定温度と電圧入力値の対応表 電力入力②）

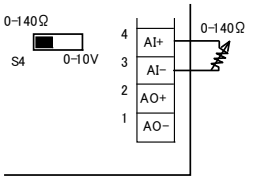
設定温度 [℃]	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
電圧入力値 [V]	3.2	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.6	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6				5.8	6.0

ご注意
・ 電圧入力は、室内ユニット との接続を行ってから入力してください。また、入力電圧は最大10Vです。 それ以上の電圧を入力しないでください。故障の原因になります。

●抵抗入力
・0～140Ωの入力範囲で、 温度設定 1℃ステップ）を行います。
・設定温度と抵抗の関係は、下図のようになります。
・設定温度上限値と下限値は、運転モード および室内ユニット によって異なります。
（ 例）3-1:「 代表的機種の各運転モード［下限値～上限値］」の設定温度と抵抗の関係をごらんください。
・設定温度入力切換S4を「 0～140Ω」 側にしてください。
・配線仕様
種類 シース付ビニルコード（ シールド 線推奨）
太さ: 1.25～2.00mm²
配線長 最大70m

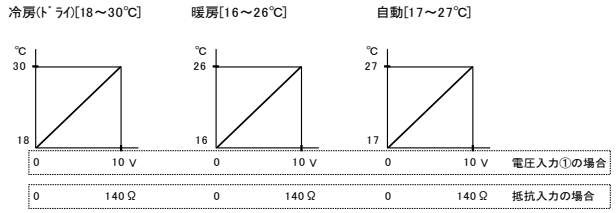


接続抵抗値と温度の関係



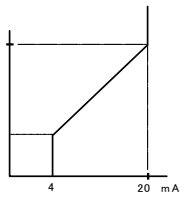
配線接続図

例）3-1： 代表的機種の各運転モード［下限値～上限値℃］



※4 アナログ出力について

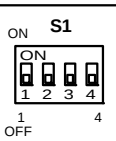
●室内温度モニター出力は、DC4～20mA（5～36℃）となっており、温度指示範囲は、0.5℃ステップです。
中央監視側での計測単位にご注意ください。
配線の仕様は、アナログ入力の場合と同様です。
負荷抵抗は、240Ω以下としてください。



電流値と温度の関係

基板での設定

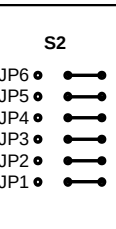
制御タイプ設定スイッチ S1



制御タイプ	S1 1	S1 2	S1 3	S1 4	制御タイプ	S1 1	S1 2	S1 3	S1 4
0	－	－	－	－	8	－	－	－	●
1	●	－	－	－	9	●	－	－	●
2	－	●	－	－	10	－	●	－	●
3	●	●	－	－	11	●	●	－	●
4	－	－	●	－	12	－	－	●	●
5	●	－	●	－	13	●	－	●	●
6	－	●	●	－	14	－	●	●	●
7	●	●	●	－	15	●	●	●	●

制御タイプを切り換えます。

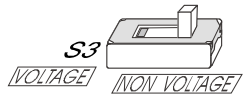
詳細設定スイッチ S2



JP6	接続	未定	（工場出荷時）
	カット	未定	
JP5	接続	リモコンまたは集中制御機器あり（工場出荷時）※4	
	カット	リモコンまたは集中制御機器なし ※4	
JP4	接続	電圧入力①	（工場出荷時）※3
	カット	電圧入力② ※3	
JP3	接続	室温として制御温度を出力	（工場出荷時）※2
	カット	室温として吸込温度を出力 ※2	
JP2	接続	設定温度後押し優先	（工場出荷時）※1
	カット	設定温度手元禁止 ※1	
JP1	接続	未定	（工場出荷時）
	カット	未定	

※1：手元リモコンでの設定温度操作を後押し優先／操作禁止に切り換えます。
※2：室内温度モニターの出力を、制御で使用中の室温暖房時シフト有りの吸込み温度またはリモコンセンサー）／吸込み温度に切り換えます。
※3：ミニシリパラを用いて設定温度の変更を行わない場合もJP4をカット（電圧固定）にしてください。
その際には、CN1の3,4番（A1±）に電圧を加えないでください。
※4：ミニシリパラをご使用する場合、リモコンまたは集中制御機器（システムコントローラーなど）をつけていただくことを基本としますが、ミニシリパラのみ（リモコンまたは集中制御機器が必要なし）でご使用したい場合には、JP5をカットしてください。ただし、ミニシリパラだけでは室内ユニットの運転動作（運転モード・風速・風向など）が制限されます。

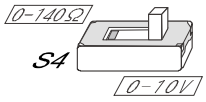
有電圧／無電圧切換スイッチ S3



（工場出荷時）

デジタル入力部において、有電圧／無電圧の切換えを行います。

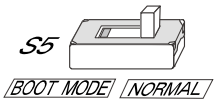
設定温度入力切換スイッチ S4



（工場出荷時）

アナログ入力において、電圧入力／抵抗入力の切換えを行います。

ブートスイッチ S5



（工場出荷時）

NORMAL側で固定したままご使用ください。

LED（緑）表示

LED表示	内容	対処方法
消灯	電源OFF	通信線の接続を確認してください。
3s間隔で点滅	T10（12V）接続エラー	T10接続線の接続を確認してください。T10ケーブル（付属品①）のヒューズが溶断していないことを確認してください。
1s間隔で点灯／消灯	室内ユニット警報	室内ユニットの警報を取り除いてください。
100ms間隔で点灯／消灯	初期通信通信エラー	通信線の接続を確認してください。
点灯 ※1	正常動作状態	－

※1 室内ユニットに設定データを送るとき、200ms間消灯します。

据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ

信号出力基板（ACC-SG-E）

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

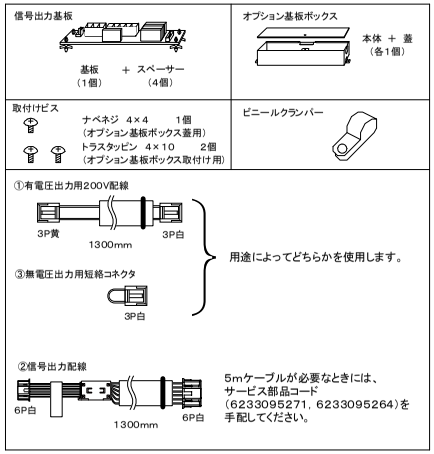
⚠ 警告

- ●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び“据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。
- ●電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。
- ●据付は、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

- ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

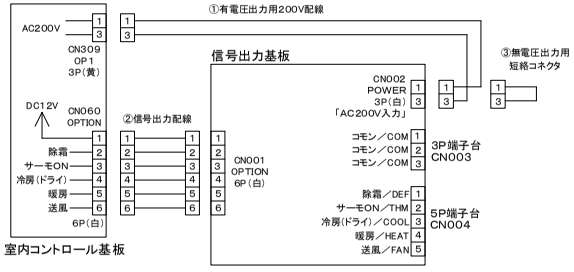
2. 付属部品



3. 配線図

・室内コントロール基板とは、②信号出力配線で接続します。
・有電圧200V出力を使用する場合は、室内コントロール基板と信号出力基板を①有電圧出力用200V配線で接続します。(③無電圧出力用短絡コネクタは使用しません。)
・無電圧出力を使用する場合は、信号出力基板に③無電圧出力用短絡コネクタを接続します。(①有電圧出力用200V配線は使用しません。)
・接続に関しては、「5. 信号の取り出しかた」をご参照ください。

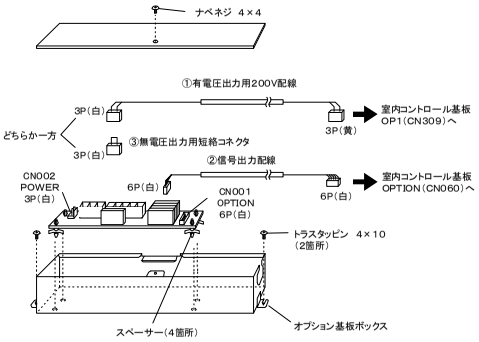
※電磁弁出力基板を併用する場合は、裏面をご覧ください。



4. 取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

1. オプション基板ボックスへと信号出力基板取り付け手順
 ・信号出力基板のスペーサーをオプション基板ボックスの底の穴に取り付けます。
  注)信号出力基板の向きに注意してください。(右図参照)
 ・オプション基板ボックスを付属のビス(4×10)で室内ユニットに取り付けます。
  「6. 室内ユニットへの取り付け(代表例)」を参照してください。
2. 下記手順で配線します。
 ・②信号出力配線の6P白コネクタを、信号出力基板のOPTION(CN001)と室内コントロール基板のOPTION(CN060)に接続します。
 ・無電圧信号を使用する場合、③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
 ・有電圧200V信号を使用する場合、①有電圧出力用200V配線の3P白コネクタを信号出力基板のPOWER(CN002)に、3P黄色コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)にそれぞれ接続します。
3. 配線が完了したら付属のビス(4×4)でオプション基板ボックスの蓋を固定します。
  注)オプション基板ボックスの蓋で配線をかみ込まないように注意してください。

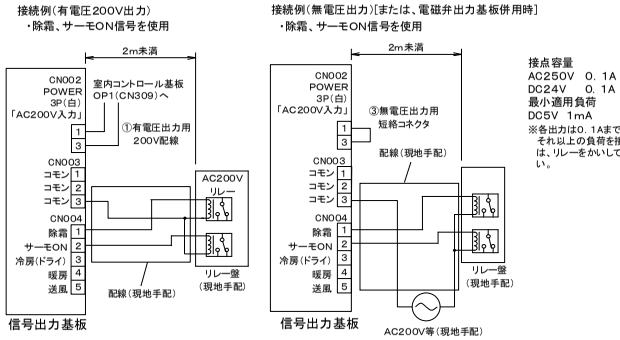


⚠ 注意　③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のCN002以外に接続しないでください。室内コントロール基板の空きコネクタの中にAC200V出力しているものがあり、間違って接続すると基板を破壊する恐れがあります。
　オプション基板ボックスは保護アースに接続されている必要があります。ボックスの固定は、室内ユニットへの取り付けと同様に保護アース接続されているところに固定してください。

5. 信号の取り出しかた

・取り出せる信号は、除霜／サーモON／冷房(ドライ)／暖房／送風の5種類です。
・5P端子台とリレー盤(現地手配)等を配線で接続してください。

⚠ 注意　・誤配線のないように注意してください。
　・信号出力基板とリレー盤の距離は2m未満にしてください。

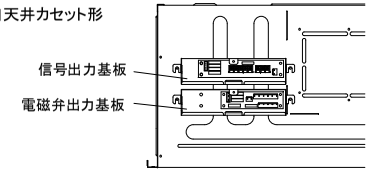


※3P端子台(CN003)の1，2，3は、基板内でつながっていますので　どこに接続しても構いません。

6. 室内ユニットへの取り付け(代表例)

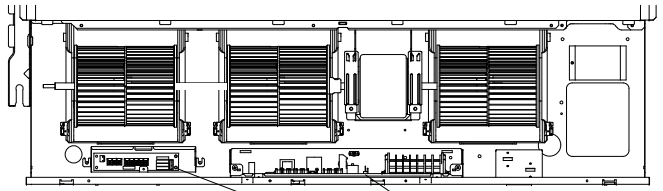
・取り付け穴が2箇所設けてある機種は電磁弁出力併用時を含め、どちらにも取り付きます。
(4方向天井カセットで電磁弁出力基板併用時は、裏面の手順を参照してください。)

●2方向天井カセット形

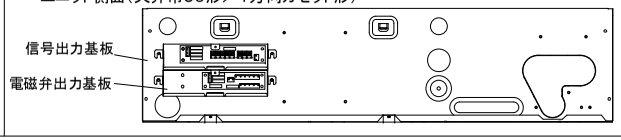


●天井吊形／1方向カセット形

ユニット天面(天井吊80形の例)

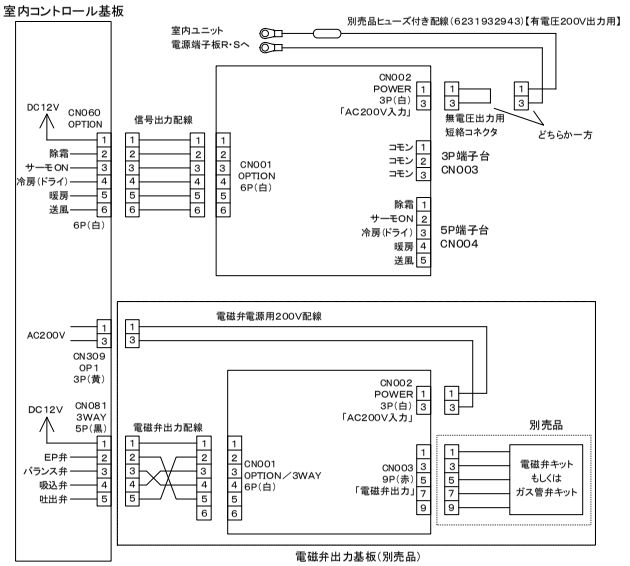


ユニット側面(天井吊50形／1方向カセット形)



電磁弁出力基板と併用する場合

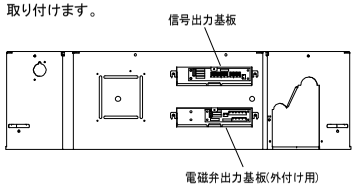
・別売品の電磁弁出力基板と併用する場合は、下図のとおり接続します。
・AC200V有電圧出力を使用する場合は、別売品のヒューズ付き配線(サービス部品コード:6231932943)を接続します。



●4方向天井カセット形での併用時の取り付け

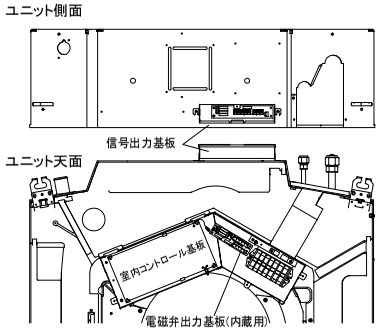
室内ユニット電装ボックスに電磁弁出力基板を内蔵できない場合

電磁弁出力基板を電装ボックスに内蔵できない機種があります。その場合は、信号出力基板と電磁弁出力基板(外付け用)をユニット側面に取り付けます。



室内ユニット電装ボックスに電磁弁出力基板を内蔵できる場合

信号出力基板をユニット側面に取り付けます。
併用する電磁弁出力基板(内蔵用)は電装ボックスに内蔵します。

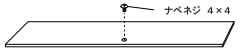


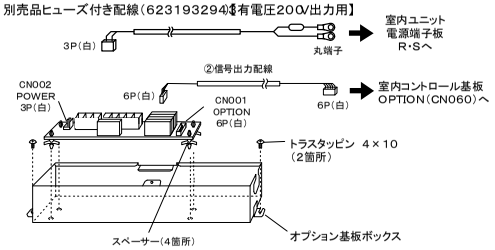
AC200V有電圧出力と昇降グリルと併用する場合

昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ(OP1:3P黄色)を使用しますので、①有電圧出力用200V配線を別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード:6231932943)に交換してください。

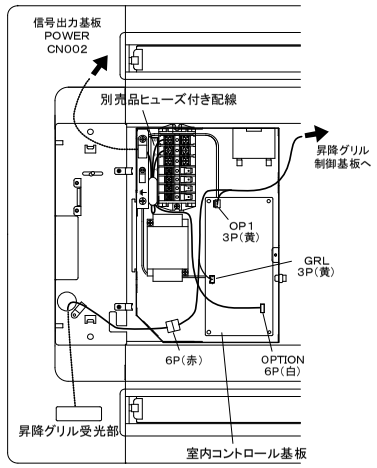
●2方向天井カセットの例

・信号出力基板の取り付け





・ユニット内配線

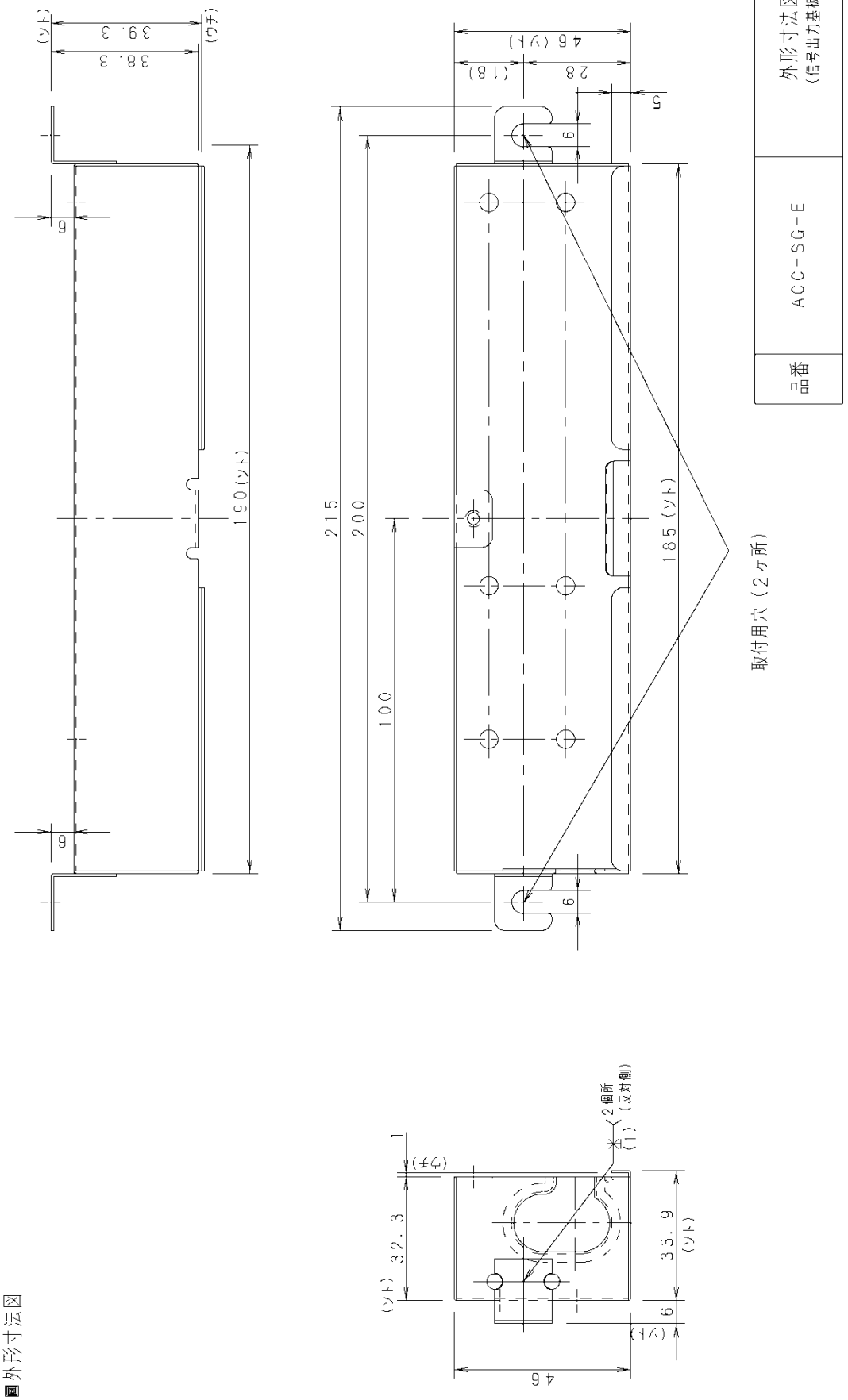


■ＡＣＣ－ＳＧ－Ｅ

■仕　様

品番		ACC-SG-E
外形寸法	mm	（高さ）39．3×（幅）185×（奥行）46
取付方法		室内ユニットに固定
信号出力		除霜、サーモON、冷房（ドライ）、暖房、送風

■外形寸法図



据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ　　電磁弁出力基板(内蔵用B1形)

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

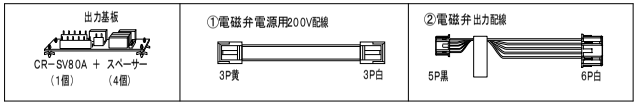
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

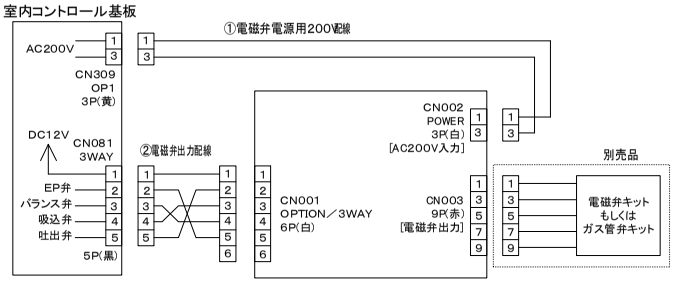
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 付属部品



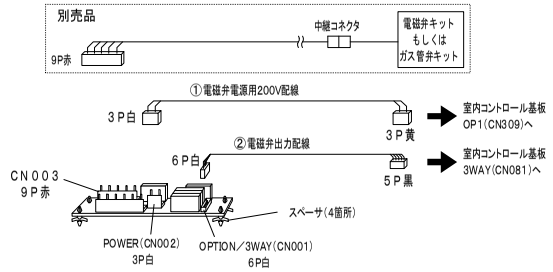
3. 配線図

・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4. 取り付け方法

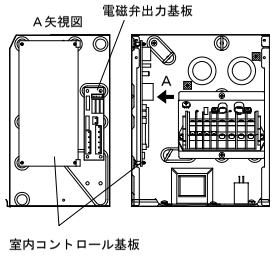
1. 室内ユニットの電装ボックスに電磁弁出力基板を取り付けます。
2. 下記手順で配線します。
・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)に接続します。
・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY(CN081)に接続します。
・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
3. 配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認してください。



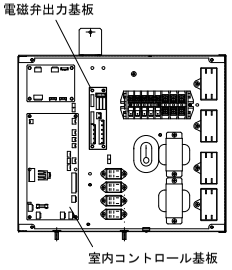
5．室内ユニットへの取り付け（代表例）

・電磁弁出力基板は電装ボックス内の取り付け穴に取り付けます。

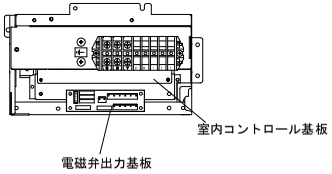
●ビルトイン形（カセット／オールダクト）



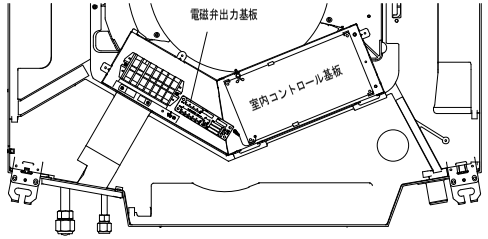
●天埋高静圧形



●ペリメーター用床置形／埋込形



●４方向天井カセット Ｅ形



据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ

電磁弁出力基板（外付け用ＥＱ形）

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

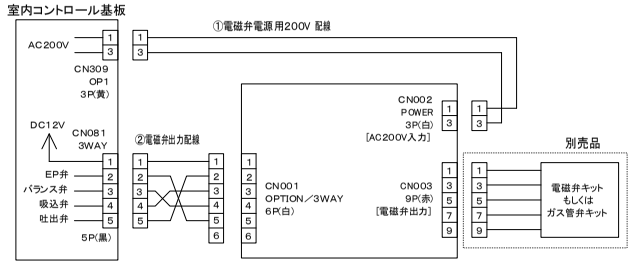
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 付属部品

電磁弁出力基板	CR－SV80A－N（1個） ＋スペーサ（4個）	①電磁弁電源用200V配線	3P黄 ― 3P白
オプション基板ボックス	本体 ＋ 蓋（各1個）	②電磁弁出力配線	5P黒 ― 6P白
取付けビス	トラスタッピン 4×6 2個 （オプション基板ボックス蓋用） トラスタッピン 4×10 2個 （オプション基板ボックス取付け用）	ビニールクランパー	クランパー 3個

3. 配線図

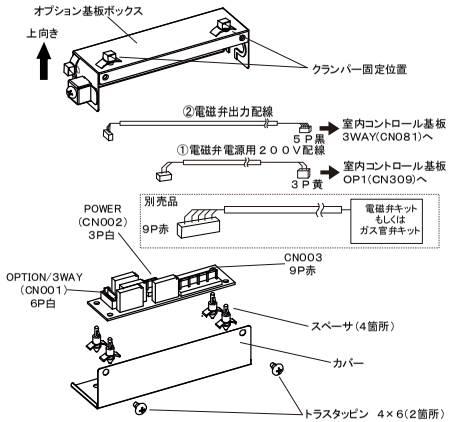
・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。

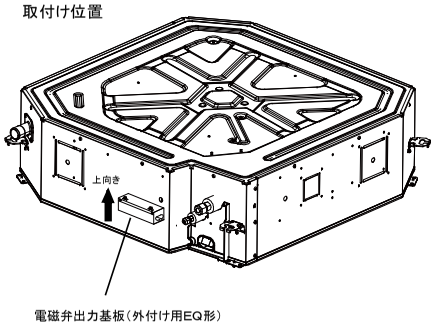


4. 取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

1. オプション基板ボックスを付属のビス（4×10）で室内ユニットに取り付けます。
   注）このとき、オプション基板ボックスの向きに注意してください。（取付け位置参照）
2. 電磁弁出力基板のスペーサをオプション基板ボックスカバーの穴に取り付けます。
3. 下記手順で配線します。
   ・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER（CN002）に接続します。
   ・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1（CN309）に接続します。
   ・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY（CN001）に接続します。
   ・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY（CN81）に接続します。
   ・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ（9P赤）を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ（CN003）に接続します。
4. 配線をオプション基板ボックスの穴に通しながら付属のビス（4×6）でオプション基板ボックスカバーを固定します。
   注）このとき、オプション基板ボックスカバーで配線をかみ込まないようにご注意ください。
5. ①電磁弁電源用200V配線、②電磁弁出力配線、電磁弁キットもしくはガス管弁キットからの配線をオプション基板ボックスにクランパーで2箇所固定します。
6. 配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認し、クランパーのあまりを切断してください。





信号出力基板と併用する場合

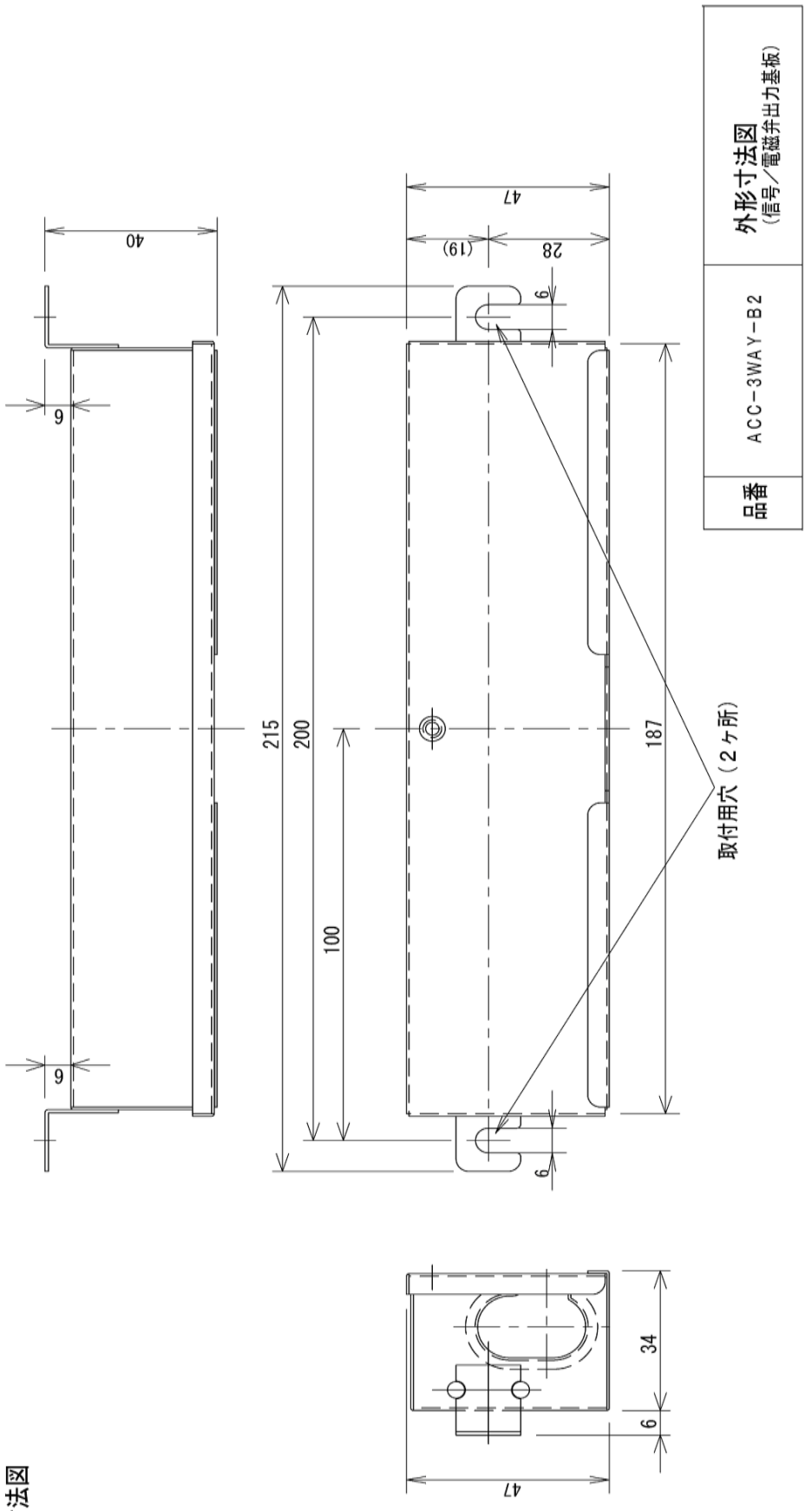
・別売品の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の"据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ"を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別売品のヒューズ付き配線（サービス部品コード：6231932943）が必要になります。

■ＡＣＣ－３ＷＡＹ－Ｂ２

■仕　様

機　種		ACC-3WAY-B2
外形寸法	mm	（高さ）４０×（幅）１８７×（奥行）４７
取付方法		室内ユニットに固定
信号出力		－
電磁弁出力		電磁弁キット、もしくはガス管弁キットと接続

■外形寸法図



据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ

電磁弁出力基板(外付け用B2形)

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

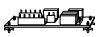
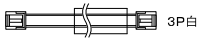
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

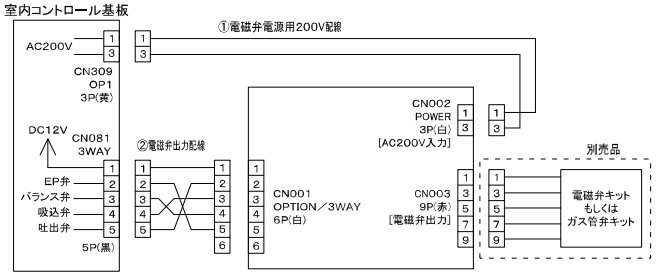
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 付属部品

電磁弁出力基板		CR−SV80A(1個) +スペーサ(4個)
オプション基板ボックス		本体+蓋(各1個)
取付ねじ		ナベねじ　4×4　1個 (オプション基板ボックス蓋用) トラスタッピン　4×10　2個 (オプション基板ボックス取付け用)
①電磁弁電源用200V配線		3P黄　3P白
②電磁弁出力配線		5P黒　6P白
クランパー		

3. 配線図

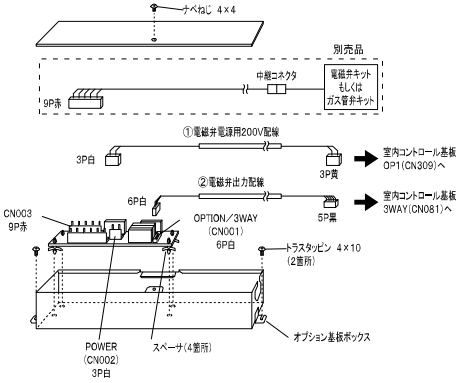
・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4. 取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

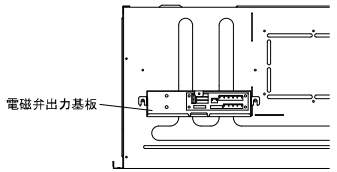
1. 電磁弁出力基板を下記手順でオプション基板ボックスに取り付けます。
・基板のスペーサをオプション基板ボックスの底の穴に取付けます。
注)このとき、電磁弁出力基板の向きに注意してください。(右図参照)
・オプション基板ボックスを付属のビス(4×10)でユニットに取付けます。
2. 下記手順で配線します。
・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)に接続します。
・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY(CN81)に接続します。
・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
3. 配線が完了したら付属のねじ(4×4)でオプション基板ボックスの蓋を固定します。
注)このとき、オプション基板ボックスの蓋で配線をかみ込まないようにご注意ください。
オプション基板ボックスは保護アースに接続されている必要があります。ボックスの固定は、室内ユニットへの取り付けと同様に保護アース接続されているところに固定してください。



5. 室内ユニットへの取り付け(代表例)

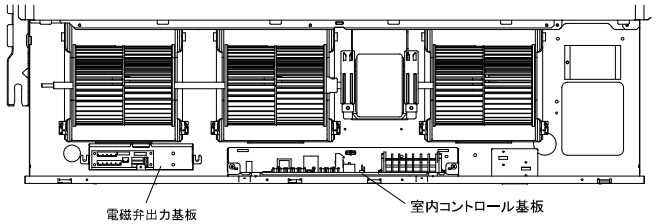
●2方向天井カセット形

ユニット側面

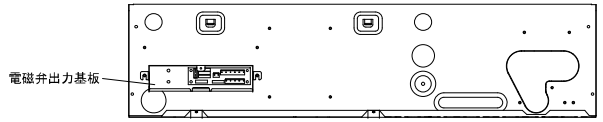


●天井吊形／1方向カセット形

ユニット天面(天井吊80形の例)



ユニット側面(天井吊50形／1方向カセット形)



信号出力基板と併用する場合

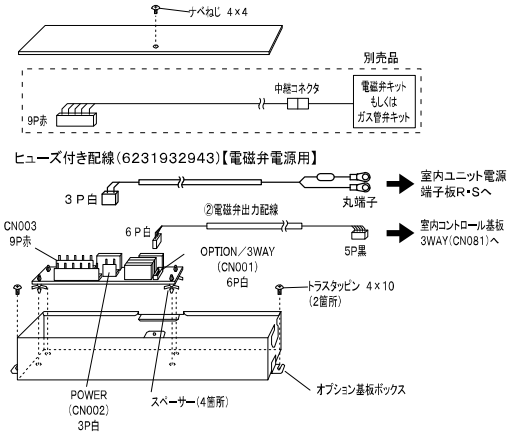
・別売品の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別売品のヒューズ付き配線(サービス部品コード:62 31932943)が必要になります。

電磁弁出力基板(外付け用B2形)

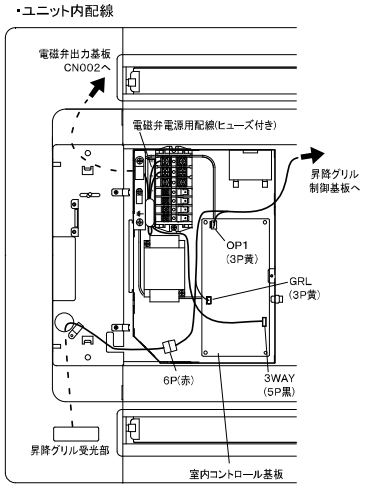
2方向昇降グリルと併用する場合

昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ(OP1:3P黄色)を使用しますので、①電磁弁電源用200V配線を別売品のヒューズ付き配線(サービス部品コード:6231932943)に交換してください。

・電磁弁出力基板の取り付け

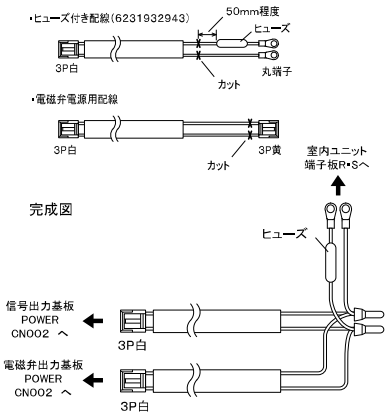


・ユニット内配線

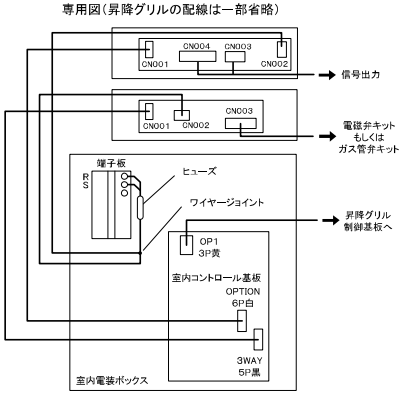


2方向昇降グリルと信号出力基板(AC200V有電圧出力)を併用する場合

別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード:6231932943)と電磁弁電源用配線をカットして、ワイヤージョイント(現地手配)で接続してください。信号出力基板に同梱されている有電圧出力用200V配線は使用しません。



専用図(昇降グリルの配線は一部省略)



※ワイヤージョイントは電装ボックス内に収めてください。

据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ　　電磁弁出力基板(壁掛形用) ACC－3WAY－EK

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

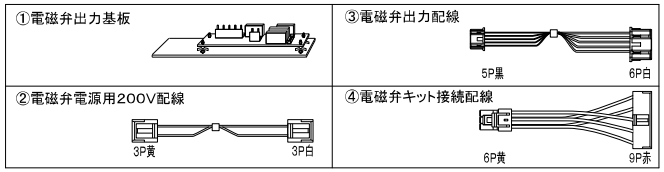
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

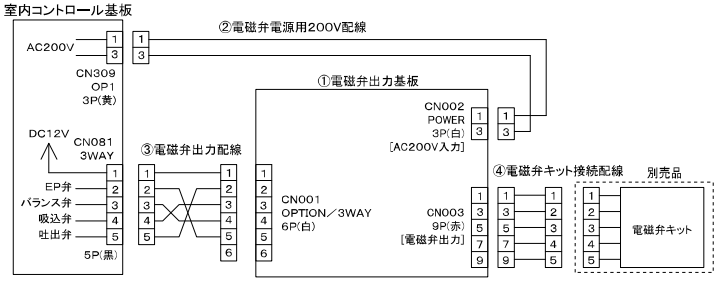
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 付属部品



3. 配線図

・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キットとなります。
・電磁弁キットは付属の電磁弁キット接続配線で接続します。



4. 取り付け方法

1. グリルの取り外しかた
・グリル下部にある2箇所のビスカバーをはずし、吸込みグリルを開いてください。(図1)
・6箇所のビスをはずします。(図1)
・カバープレートをはずします。(図1)
・下フラップをたるませて軸を抜いてはずします。(図2)

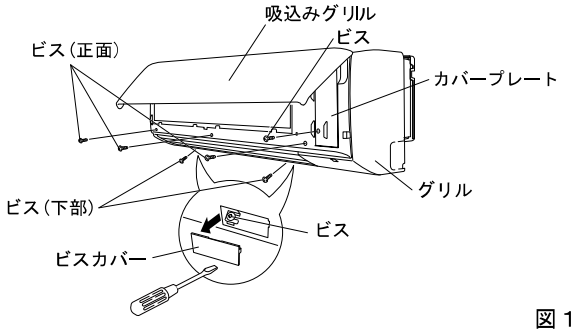


図１

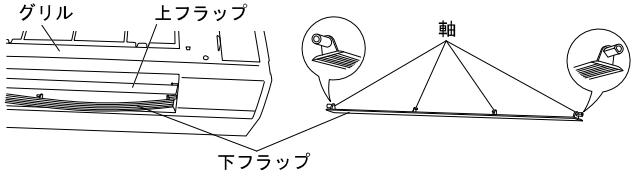


図２

・グリルの両端を持ち、引き上げるようにしてはずします。(図3)
・電装カバーをはずします。(図4)

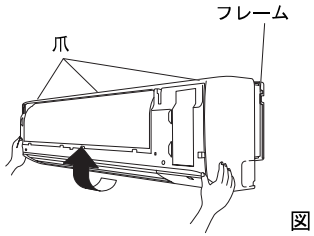


図３

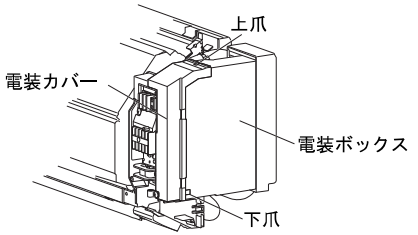


図４

2. 基板の取り付けかた
- 室内コントロール基板からコネクタCN033(白), CN103(緑), CN102(赤)
  CN100(白), CN082(白), CN104(橙)をはずし、室内コントロール基板を引き出します。(図5)
  ※室内コントロール基板を動かすときは、室内コントロール基板固定用の爪を持ち上げてください。(図6)
- 電磁弁電源用200V配線(付属品②)の3Pコネクタ(黄)を
  室内コントロール基板のOP1コネクタCN309(黄)に接続します。(図5)
- 電磁弁出力配線(付属品③)の5Pコネクタ(黒)を
  室内コントロール基板の3WAYコネクタCN081(黒)に接続します。(図5)
- 室内コントロール基板からはずしたを接続し室内コントロール基板をもどします。(図5)
  ※コネクタの付け忘れにご注意ください。

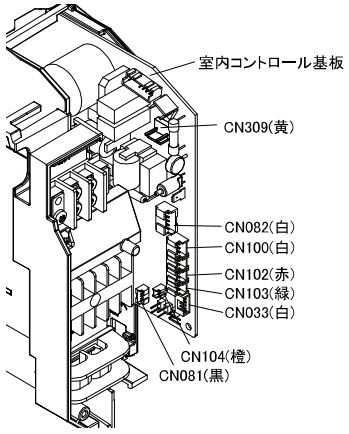


図5

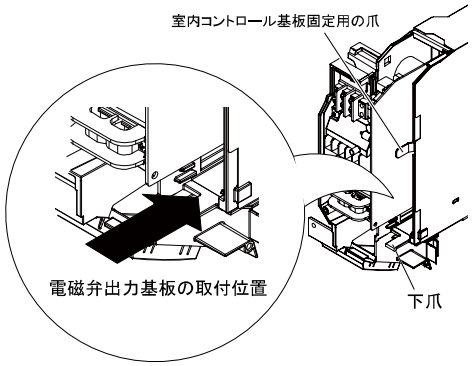


図6

- 電磁弁キット接続配線(付属品④)の9Pコネクタ(赤)を電磁弁出力基板の
  9PコネクタCN003(赤)に接続します。(図7)
- 電磁弁電源用200V配線(付属品②)の3Pコネクタ(白)を
  電磁弁出力基板のPOWERコネクタCN002(白)に接続します。(図7)
- 電磁弁出力配線(付属品③)の6Pコネクタ(白)を
  電磁弁出力基板の3WAYコネクタCN001(白)に接続します。(図7)
- 電磁弁出力基板を取付位置へ押し込みます。(図6)
  ※電磁弁出力基板の向きにご注意ください。(図7)
- 電磁弁キットからの配線を電磁弁キット接続配線(付属品④)の6Pコネクタ(黄)に接続します。(図7,8)
- 電装カバーの上爪を電装ボックスに引っかけてから下爪を取り付けます。(図4,6)
  ※配線をかみ込まないようにご注意ください。

3. グリルの取り付けかた
- フレーム上部の3箇所の爪をグリルに固定させ、グリルを取り付けます。(図3)
- グリル全体を元の位置まで押し込んで、ビス(6箇所)とビスカバー(2箇所)を取り付けます。(図1)
  ※ビス(正面)の取り付けは、電装ボックス側から順に取り付けてください。
- 下フラップをたるませながら、軸をグリルの溝に合わせて取り付けます。(図2)
- 吸込みグリルを閉じます。(図1)

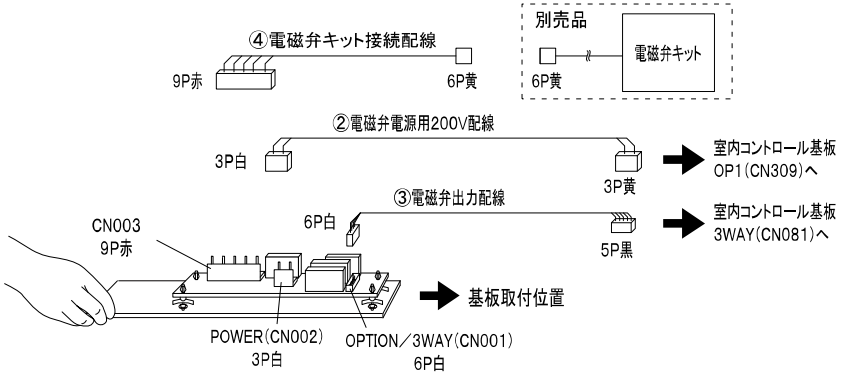


図7

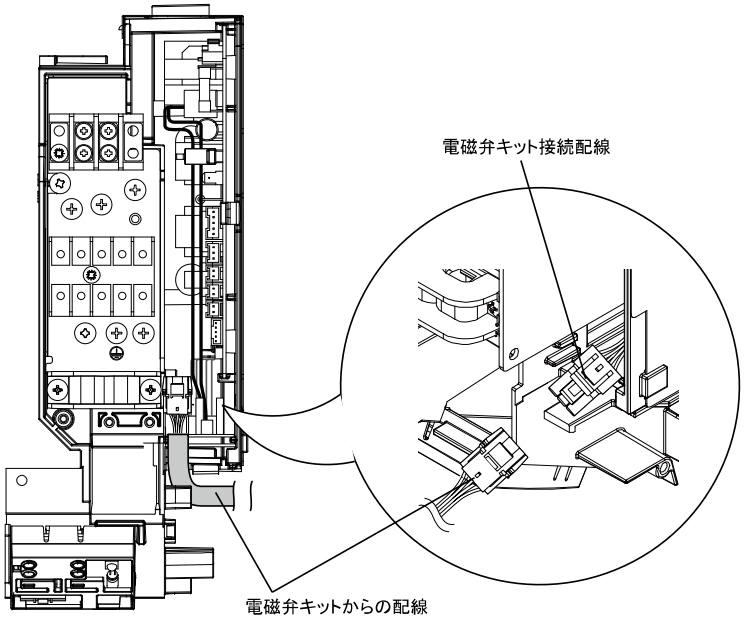


図8

（１７）Ｓ－ＤＤＣ（ＣＺ－１０ＥＳＫＤ２）

■ 外形寸法図

品番	CZ-10ESKD2

外形寸法図
S-DDC
（ダイレクトデジタルコントローラー）

■ 仕 様

品番		CZ-10ESKD2
電源定格		単相100～200V（50/60Hz） 最大4.8W
動作温度		-10～50℃
動作湿度		20～80% （結露なきこと）
外形寸法	mm	H 256 W 290 D 79

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に“取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また、“据付（電気）工事説明書”は、お客様で保管頂くよう依頼してください。

⚠ 警告

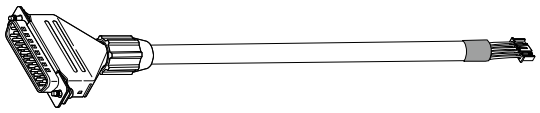
●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼する。
（感電・火災等の原因）
●据付工事は、“据付（電気）工事説明書”に従って確実に行う。
（感電・火災等の原因）
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術　基準」、「内線規程」及び“据付（電気）工事説明書”に従って施工する。（感電・火災の原因）
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。
（発熱・火災等の原因）
●漏電しゃ断器等の取り付けが必要。
（感電や火災の原因）

⚠ 注意

●配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う。

付属部品

①ＲＳ－２３２Ｃケーブル

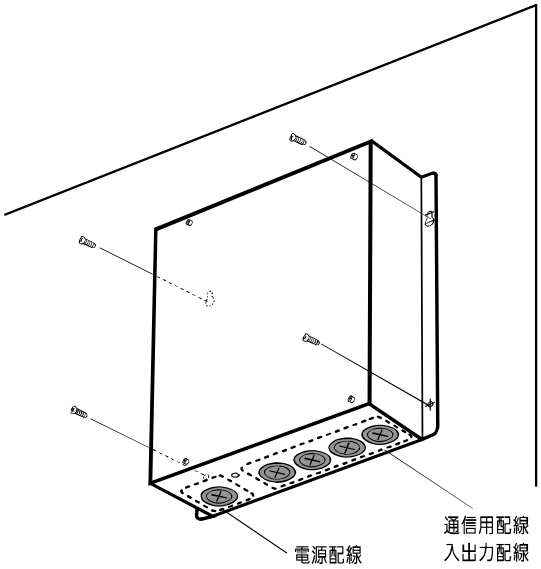


S-DDCの取り付けかた

ご注意

●通信用配線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
●S-DDCはノイズ発生源から充分離して据え付けてください。
●水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
●過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

取り付け位置を決め、取り付け寸法図を参考に取り付けます。



S-DDCの配線のしかた

S-DDCの取り付け、取り外しは安全のため漏電しゃ断器を切ってから行ってください。

本体前面のネジ４本を外し上ケースを外します。

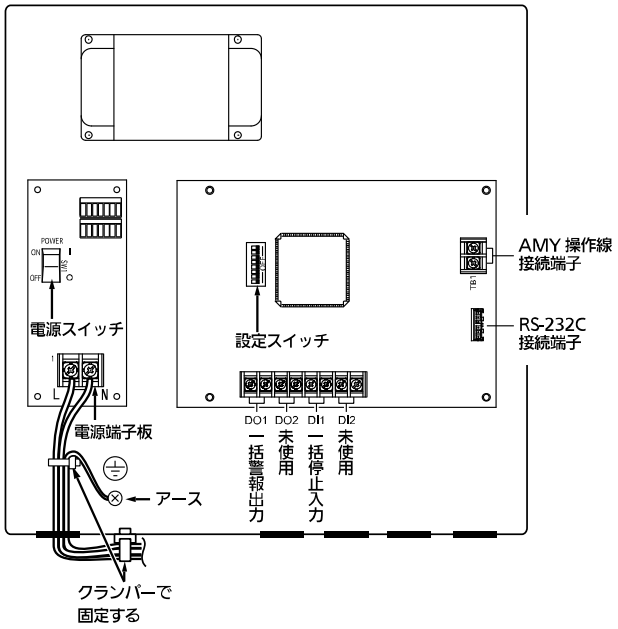
（1）電源の接続

電源端子板のN、Lに接続してください。
（AC のニュートラル側をN に接続）
アース線を確実に接続してください。
本機はＡＣ100ＶまたはＡＣ200Ｖを使用できます。
電源基板のCN1、CN2のいずれかに、トランスの1次側を差し替えて使用します。
使用する電源電圧を確認して切り替えてください。
工場出荷時はAC200Vに設定されています。

※電源電圧とコネクターの切り替えを間違えて電源をいれると基板が壊れる可能性があります。

工場出荷時は電源基板のCN1に感電防止のためコネクターハウジングが装着されています。
AC100Vに切り替える場合は、電源トランスの1次側をCN2からCN1に差し替えCN1にあったハウジングをCN2に装着します。

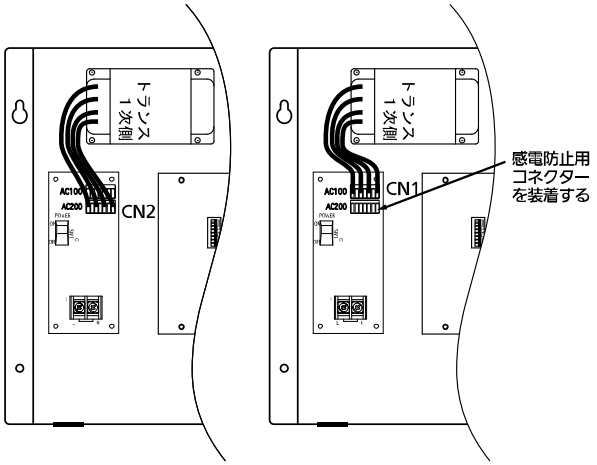
＜端子板配置図及びスイッチ配置図＞



＜電源トランス 1 次側コネクター接続図＞

AC200V 使用時
CN2 に接続
（工場出荷時）

AC100V 使用時
CN1 に接続
トランス 1 次側を
CN2 から CN1 に差し替える

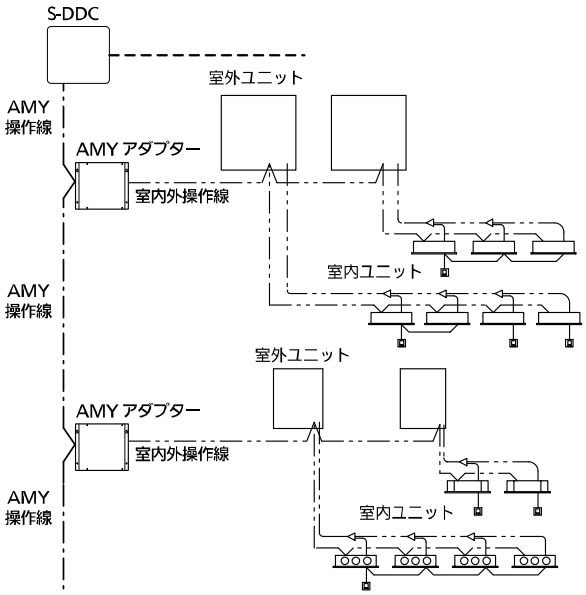


（2）通信線の接続

AMY操作線及び室内外操作線は、2芯0.5～2.0mm²の電線を使用してください。
総延長はおのおの1km以内としてください。
電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり互いを近づけたりしないでください。
通信配線と電源配線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください。

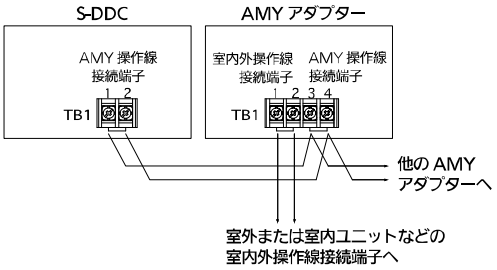
＜基本配線図＞

S-DDC の AMY 操作線は下図のような配線をしてください。

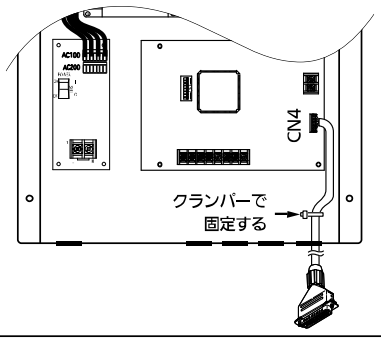


＜配線の手順＞

・AMY 操作線
S-DDC の端子板、TB1 の①、②（AMY 操作線）と
AMY アダプターの AMY 操作線用接続端子に接続します。
極性はありません。

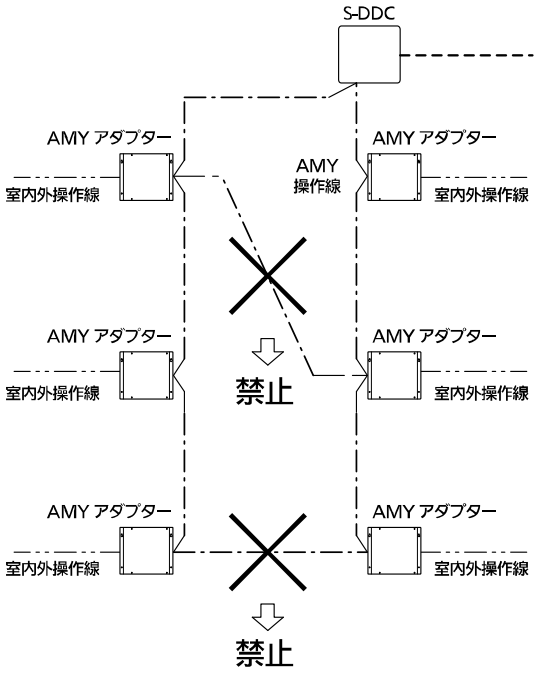


・RS-232C ケーブル
コネクター CN4 に付属の RS-232C ケーブルを接続します。

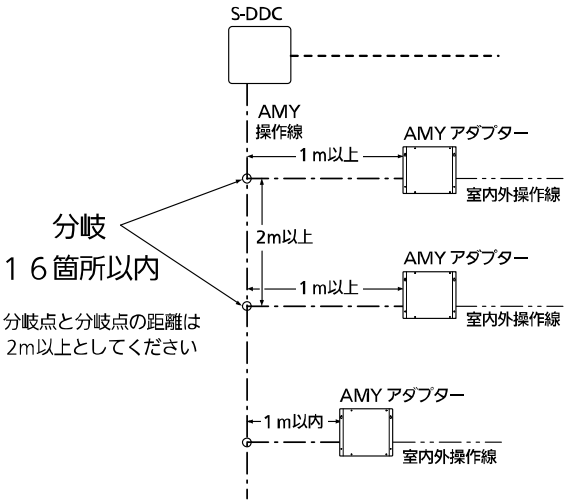


AMY操作線の注意事項

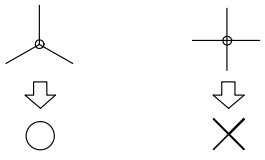
1. ループ状となる配線はしないでください。



2. 分岐配線する場合は、16 箇所以内としてください。
（1m 以内は分岐に含めません）



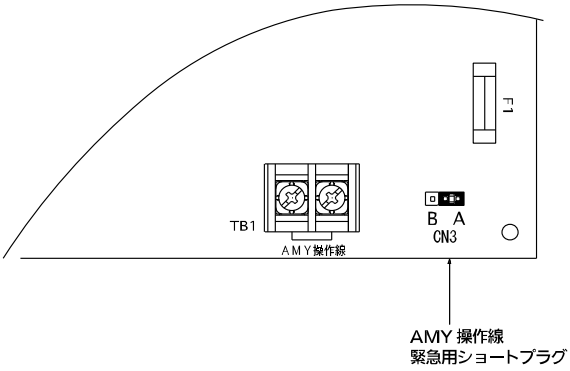
注）分岐は 1 つの端子から 3 本までです。

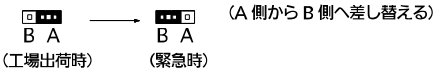


※1 つの端子から 4 本の
分岐はできません。

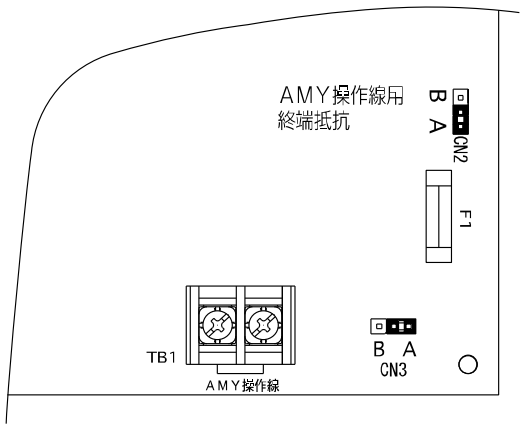
3.AMY 操作線の接続端子に高電圧（AC100V 等）の配線を
接続していないか確認してください。

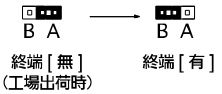
※誤って AC100V を印加した場合は S-DDC の基板のヒューズ（AMY 操作線：F1　0.5A）が溶断して基板を保護しますが、 場合によっては保護できないこともあります。
高電圧（AC100V 等）配線を取り除いた後、基板に接続されているショートプラグ（CN3）を B 側へ差し替えてください。
（作業は必ず電源 OFF にしてから行ってください）



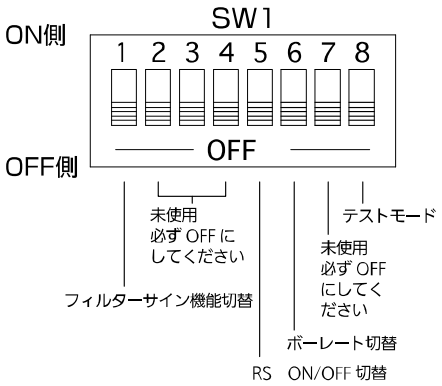


4.CN2 は AMY 操作線上に終端抵抗を挿入するプラグです。
必要に応じて CN2 の設定をしてください。
工場出荷時は A 側（終端抵抗 [無]）になっています。





設定スイッチについて



SW1-1 ： フィルターサイン機能切替
OFF：フィルターサイン機能あり（工場出荷時）
ON ：フィルターサイン機能なし

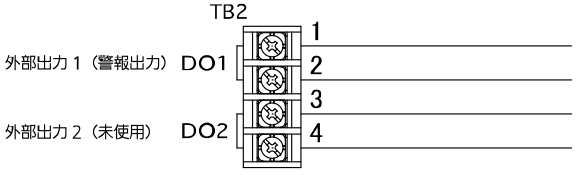
SW1-5 ： RS ON/OFF 切替
OFF：RS を常時 OFF（工場出荷時）
ON ：RS を常時 ON

SW1-6 ： ボーレート切替
OFF：4800bps（工場出荷時）
ON ：9600bps

SW1-8 ： テストモード
常時 OFF で使用してください。

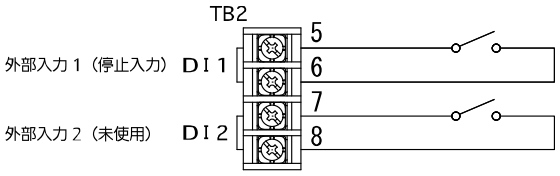
外部設備との接続

1. 外部一括出力（無電圧 a 接点）



出力端子の許容接点電圧電流は DC30V、0.5A です。

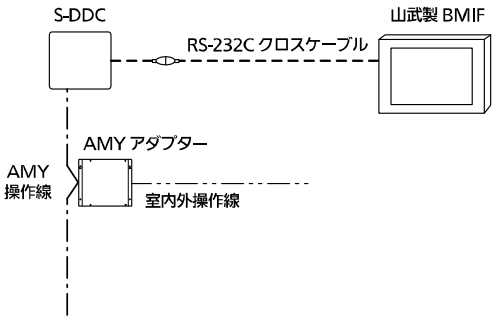
2. 外部一括入力（無電圧 a 接点スタティック）



設定 ON、OFF 信号相当
入力端子の片方をパルス入力と共通に接続できませんので
注意してください。
入力端子の検出のため、接点に DC5V の電圧がかかります。

●各信号入力の接続ケーブルは現地手配とし、配線長は 20mまでです。
この距離を越える場合は、リレー受けするなどの処置をしてください。
●ノイズの影響を受ける恐れがある場所で使用する場合、0.5mm²以上の
2 芯シールド線（片側アース）を使用してください。

3.RS-232C 入出力



●RS-232C クロスケーブルは現地手配とし、配線長は 15m までです。
●山武製 BMIF 専用です。市販の PC には接続できません。

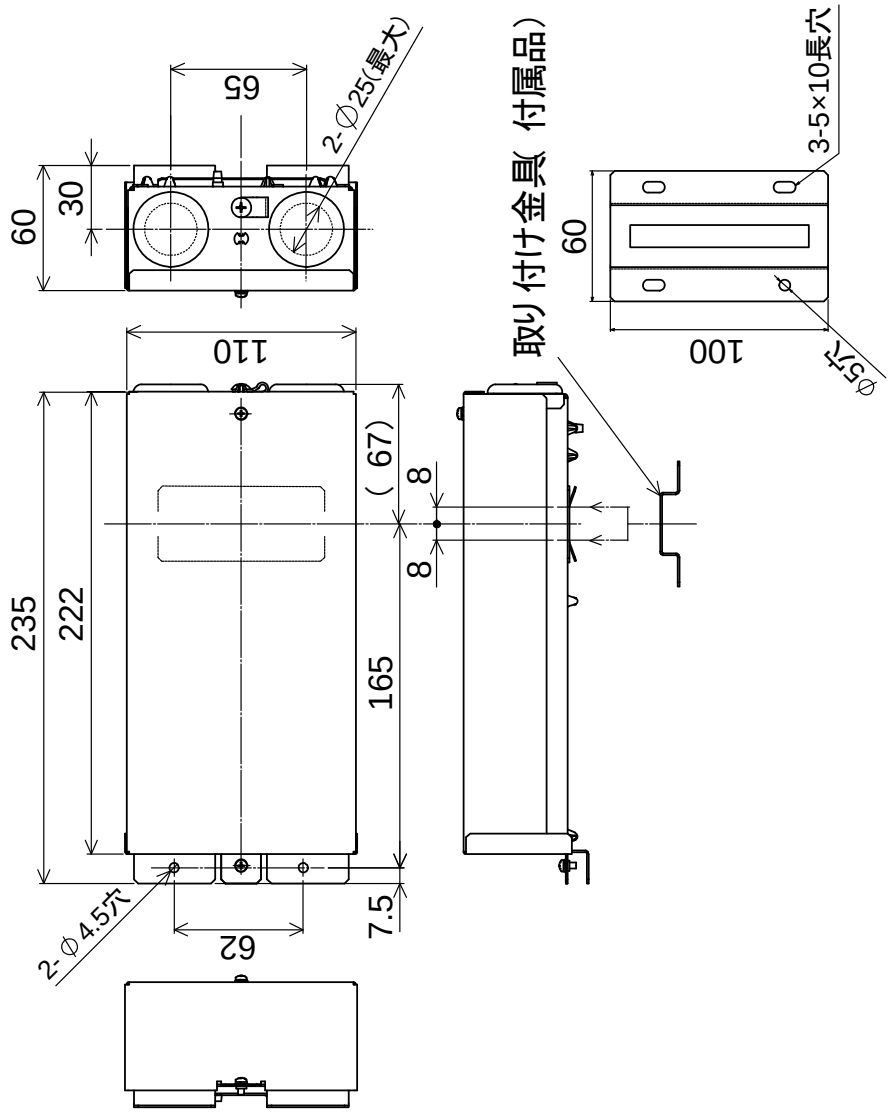
（１９）ＯＮ／ＯＦＦ制御用ローカルアダプター（ＣＺ－ＣＡＰＡ１）

仕様

品番	CZ-CAPA1
外形寸法	(高さ)60 mm ×(幅)235 mm (奥行き)110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20% ～80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相AC100-200V・50/60Hz
消費電力	最大10W

外形寸法

（ｍｍ）



外形寸法図 (オン／オフ制御用ローカルアダプター) (汎用)	
品番	CZ-CAPA1

Panasonic

据付（電気）工事説明書

オン／オフ制御用ローカルアダプター（汎用）

品番 CZ-CAPA1

●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

❗ ● **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
・電気設備に関する技術基準　・内線規程
・据付（電気）工事説明書
（感電、火災の原因）
● **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**
（故障や、漏電時に感電、火災の原因）
● **電源は、必ず専用回路を使用する**
（感電、火災の原因）

⏚ ● **アース工事（D 種接地工事）を行う**
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
・アース線は、ベランダの手すりにとらない
（感電の原因）

本体を据え付けるときに

⃠ ● **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
● **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
● **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
（発熱、火災の原因）

❗ ● **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
● **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
● **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（製品の落下による、けがの原因）
● **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）

本体を据え付けるときに

❗ ● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
● **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**
（感電、故障の原因）
● **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
● **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）

⚠注意

据付（電気）工事をする前に

⃠ ● **次のような場所で使わない**
・結露するところ
・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
・電磁波が出る機械のあるところ
・電圧変動の多いところ（感電、火災などの原因）
・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。

❗ ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

⃠ ● **水洗いしない**（感電の原因）

仕様

品番	CZ-CAPA1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20%～80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 10 W

付属品

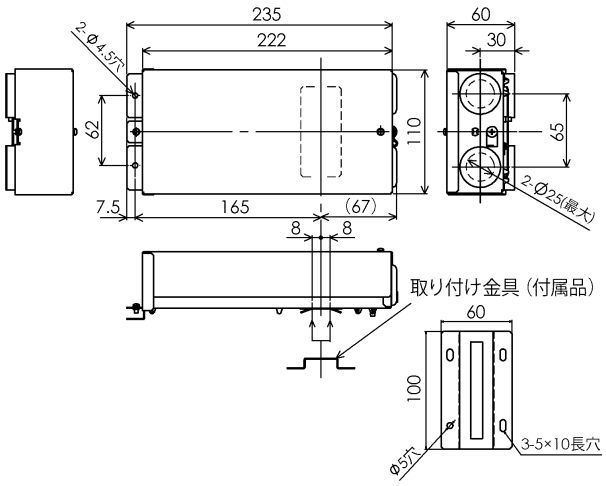
<>：個数

取付ネジ タッピンネジ 4×10 <6>	取り付け金具 <1>
結束クランパー <4>	停電時自動復帰仕様ラベル <1>
HA対応エアコン用接続線（2m） <1>	
据付(電気)工事説明書 <1>	

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

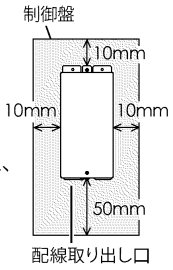
外形寸法図

(mm)



据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所、衝撃や振動のある場所（落下の原因）
  - 熱源の近くなど
  - 結露するところ
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 設置するときは、配線取り出し口を50mm以上、その他三面を10mm以上空ける。(右図参照)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。(映像の乱れ、雑音の原因)
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。
- 基板だけを別機器に組み込むような改造はしない。



停電自動復帰機能

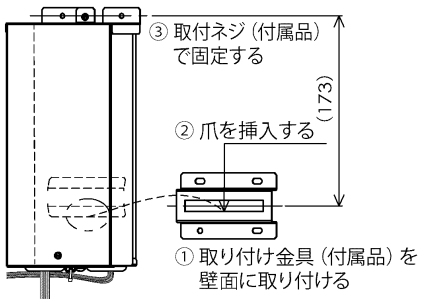
本機には、停電自動復帰機能が搭載されております。
(設定方法は、「5 設定スイッチについて」参照)
この機能は、予期せぬ短時間の停電に際し、停電後自動的に停電前の運転状態に復帰する機能です。
停電自動復帰機能を使用する場合、運転中に機器点検作業などで故意に電源スイッチを切り、その後電源スイッチを入れた場合でも、**自動的に運転が始まり、機器が動き出します。**

※ 機器点検作業時は、安全確保のため必ずブレーカーを切ってください。
※ 本機を引き渡す前に、必ず保守担当の方やお客様に**停電自動復帰機能を使用していること**を説明してください。
また、「停電時自動復帰仕様ラベル」(付属品)を本体の見える所に貼り付けてください。

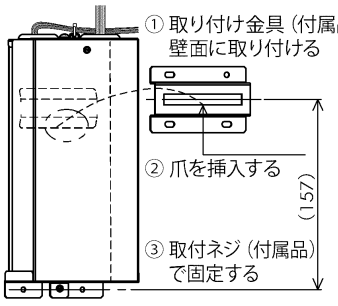
1 取り付ける

- 対象機器の周辺、または制御盤内に設置してください。
- リレー制御機器に接続する場合は、入力・出力用の配線は3m以内で機器に接続してください。
(接続ケーブルは0.5mm^{2}以上、出力用の配線は機器の容量に合わせて余裕のある接続ケーブルを選んでください。)
- 上下面(縦向き)だけでなく、左右面(横向き)より配線取り入れ方向で固定することも可能です。

● 下面より配線取入れ方向で固定する場合

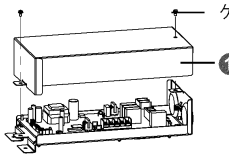


● 上面より配線取入れ方向で固定する場合
(制御盤内設置に限る)



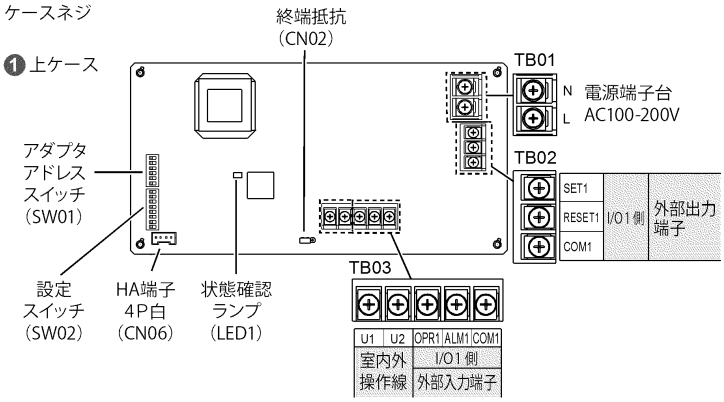
2 配線する

❶ 上ケースをはずす
（ケースネジ：2）



❷ 電源線を接続する

- ケーブルの種類
  - ・使用基準：600Vビニール電線（現地調達）
  - ・柔軟性のある 2 mm²のケーブル（推奨）
- 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子⏚に接続する。
  - ・電源端子ネジ　：M4
  - ・締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）
- リード線の先端は端子加工してください。

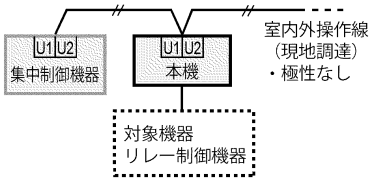


❸ 室内外操作線を接続する

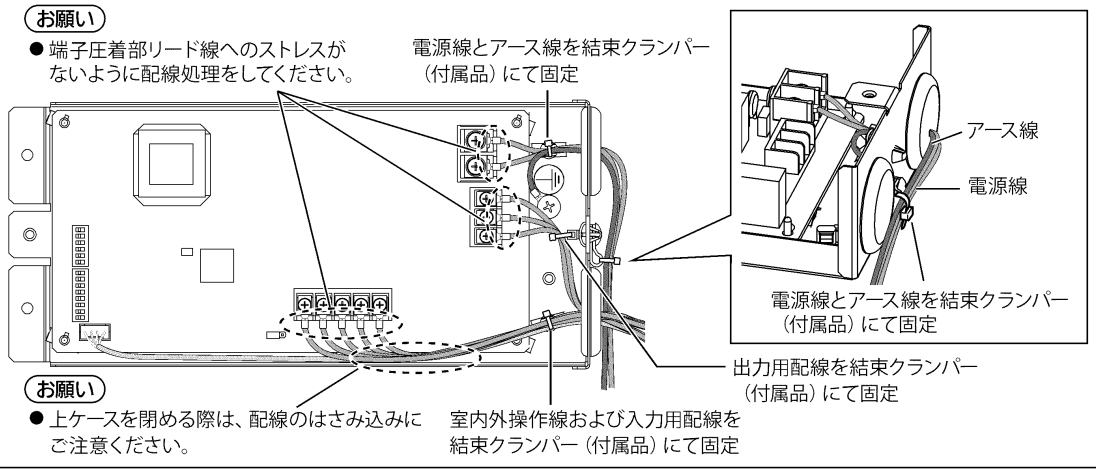
- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²のケーブル
  - ・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
  - ・シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル
- 総配線長：1000 m 以内
- 他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも接続できます。

お願い
- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

基本配線図



お願い
- 端子圧着部リード線へのストレスがないように配線処理をしてください。



お願い
- 上ケースを閉める際は、配線のはさみ込みにご注意ください。

3 HA対応エアコンの場合の接続方法

■ JEMA標準HA端子付きエアコンに接続する方法

❶ HA対応エアコン用接続線（付属品）を接続する
- HA対応エアコン用接続線（付属品）を本機の基板上のHA端子（4P白）CN06の端子に接続します。

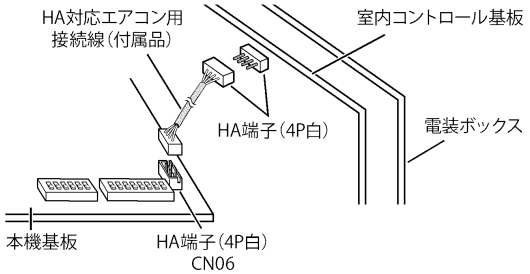
❷ 室内コントロール基板に接続する
- エアコンのパネルをはずしてください。
- 室内コントロール基板上のHA端子（4P白）にHA対応エアコン用接続線（付属品）を接続します。

※ エアコンのHA端子への取り付け方法は、各エアコンメーカーにお問い合わせください。

❸ HA制御パルス幅切換を設定する
- 設定スイッチSW02-1で、パルス幅を設定してください。

※ 三洋製家庭用エアコンSAP-EX/E/S/W/WSシリーズ（2010年製）を接続する場合は、設定スイッチSW02-1をONにしてください。

※ JEMA標準HA端子とリレー制御機能の併用はできません。



❹ 運転アンサーバックを設定する
- 設定スイッチSW02-2をOFF（運転アンサーバック入力を使用）にしてください。

4 リレー制御機器の接続方法

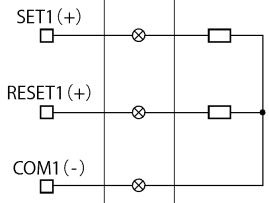
出力端子および入力端子の仕様です。

■ 出力端子について

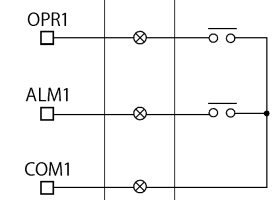
設定スイッチ（SW02）により、制御対象機器に合った出力信号および運転アンサーバックの有無を選択してください。
詳しくは「8 リレー回路例」をご覧ください。

設定スイッチ			SET 端子 /RESET 端子からの出力信号	運転アンサーバックの有無
SW02-1	SW02-2	SW02-4		
OFF	OFF	OFF	SET1 端子　：運転信号（パルス、a 接点）*1 RESET1 端子：停止信号（パルス、a 接点）*1	有
	ON			無
	OFF	ON	SET1 端子：運転 / 停止信号（パルス、a 接点）*1 SET1 端子から運転・停止信号が交互に出力されます RESET1 端子：手元禁止信号 *2	有
ON	OFF	OFF	SET1 端子：運転 / 停止信号（スタティック） 停止信号：接点 OFF（連続接点） 運転信号：接点 ON（連続接点） RESET1 端子：手元禁止信号 *2	有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動しません）
	ON			無
	OFF	ON		有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動します）

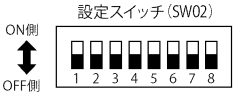
*1：パルス幅は約0.5秒です。
*2：集中制御機器側からの信号によって次のように出力します。必要に応じてご使用ください。
個別許可：接点OFF（連続接点）
手元禁止：接点ON（連続接点）

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
端子ネジ：M3.5 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） ● 接点容量 ・信号形式：有電圧 a 接点 ・接点許容電圧、電流：DC12V、3W （SET1、RESET1 両方を ON にした場合） ・最小接続負荷：5V、0.1A ● 極性 SET1、RESET1：＋極 COM1：－極 ※極性があるため、十分注意してください。	TB02 SET1（+） RESET1（+） COM1（-）			配線長　：3m 以内 配線太さ：0.5mm² 以上

■ 入力端子について

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
制御対象機器より状態モニタ信号をリレー接点で受けます。 端子ネジ：M3 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） OPR：運転信号（接点ON：運転　接点OFF：停止） ALM：警報信号（接点ON：警報あり　接点OFF：警報なし） ● 接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点　スタティック ・接点許容電圧：DC12V±10% ・接点許容電流：Max 10mA	TB03 OPR1 ALM1 COM1			配線長　：3m以内 配線太さ：0.5mm²以上

5 設定スイッチについて（SW02）



※ 出荷時の設定はすべてOFF
※ JEMA標準HA端子とリレー制御機能の併用はできません。

[SW02-1] JEMA標準HA端子をご使用の場合
HA制御パルス幅切換
- ON ：パルス幅0.25秒
- OFF：パルス幅0.5秒

[SW02-1] リレー制御機能をご使用の場合
リレー出力切換
SET/RESETリレー出力の信号形式を切り換えます。
- ON ：スタティック出力
- OFF：パルス出力

[SW02-2] 運転アンサーバック
- ON ：運転アンサーバック入力を不使用
- OFF：運転アンサーバック入力を使用

[SW02-3] 集中制御アドレス設定方法
- ON ：本機のアダプタアドレススイッチ（SW01）で設定
- OFF：集中制御機器から設定

詳細は、「6 アダプタアドレスの設定のしかた」を参照してください。

[SW02-4] 運転アンサーバック連動出力
パルス出力の場合は、「4 リレー制御機器の接続方法」を参照してください。
スタティック出力の場合
- ON ：スタティック出力が、運転アンサーバック入力に連動する
- OFF：スタティック出力は、運転アンサーバック入力に連動しない

※ リモコン付きの全熱交換器式換気扇を制御する場合はONにしてください。

[SW02-5] 停電自動復帰機能
- ON ：停電自動復帰機能を使用
- OFF：停電自動復帰機能を不使用

※ 停電復帰機能を使用する場合は十分注意してください。

[SW02-6] 停止中の警報入力
- ON ：停止中の警報入力を受け付けない
- OFF：停止中の警報入力を受け付ける

[SW02-7] 未使用
[SW02-8] 使用禁止

6 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）

アダプタアドレスは、室内ユニットのユニットNo.に相当します。
本機を複数使用する場合は重複しないように設定してください。

※ 出荷時の設定はすべてOFF

■ 集中制御アドレスを集中制御機器から設定する場合

（設定スイッチSW02-3をOFFにしてください。）

室内外操作線に直接接続される室内ユニットと本機が混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定、変更する場合に適しています。

- 本機のアダプタアドレスを、1番から順に設定してください。
  ※ 本機は、系統アドレス31として登録されます。
  例） アダプタアドレスが1番の時、本機のユニットNo.は31-1になります。
  本機の集中制御アドレスは集中制御機器から自由に設定できます。

■ 集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合

（設定スイッチSW02-3をONにしてください。）

- 本機のアダプタアドレスが、集中制御アドレスになります。
  集中制御機器から集中制御アドレスの変更はできません。
  お客様の要望に合わせて、アダプタアドレスを設定してください。
  ※ 本機は、系統31として登録され、
  アダプタアドレスと集中制御アドレスは同じになります。
  例） アダプタアドレスが5番の時は、本機のユニットNo.は31-5、
  集中制御アドレスは5番になります。
- 室内ユニットの集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。

アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.
I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6
1	－ － － － － －	17	－ － － － ● －	33	－ － － － － ●	49	－ － － － ● ●
2	● － － － － －	18	● － － － ● －	34	● － － － － ●	50	● － － － ● ●
3	－ ● － － － －	19	－ ● － － ● －	35	－ ● － － － ●	51	－ ● － － ● ●
4	● ● － － － －	20	● ● － － ● －	36	● ● － － － ●	52	● ● － － ● ●
5	－ － ● － － －	21	－ － ● － ● －	37	－ － ● － － ●	53	－ － ● － ● ●
6	● － ● － － －	22	● － ● － ● －	38	● － ● － － ●	54	● － ● － ● ●
7	－ ● ● － － －	23	－ ● ● － ● －	39	－ ● ● － － ●	55	－ ● ● － ● ●
8	● ● ● － － －	24	● ● ● － ● －	40	● ● ● － － ●	56	● ● ● － ● ●
9	－ － － ● － －	25	－ － － ● ● －	41	－ － － ● － ●	57	－ － － ● ● ●
10	● － － ● － －	26	● － － ● ● －	42	● － － ● － ●	58	● － － ● ● ●
11	－ ● － ● － －	27	－ ● － ● ● －	43	－ ● － ● － ●	59	－ ● － ● ● ●
12	● ● － ● － －	28	● ● － ● ● －	44	● ● － ● － ●	60	● ● － ● ● ●
13	－ － ● ● － －	29	－ － ● ● ● －	45	－ － ● ● － ●	61	－ － ● ● ● ●
14	● － ● ● － －	30	● － ● ● ● －	46	● － ● ● － ●	62	● － ● ● ● ●
15	－ ● ● ● － －	31	－ ● ● ● ● －	47	－ ● ● ● － ●	63	－ ● ● ● ● ●
16	● ● ● ● － －	32	● ● ● ● ● －	48	● ● ● ● － ●	64	● ● ● ● ● ●

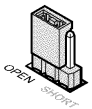
※ I/O1側の位置は「2 配線する」の端子台の図を参照してください。

－：スイッチOFF　● スイッチON

7 終端抵抗（プラグ）

● 本機のみで構成される場合、本機1台の場合は、1か所、複数台の場合は2か所を「終端抵抗あり」に設定してください。（3か所以上は禁止）

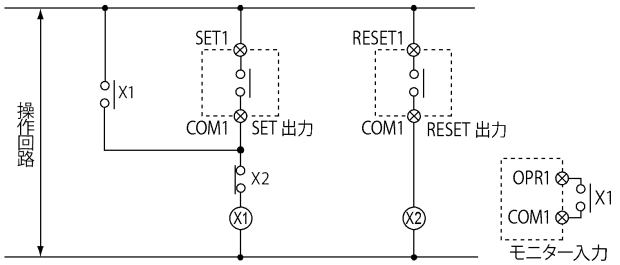
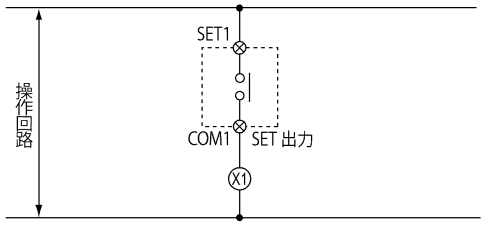
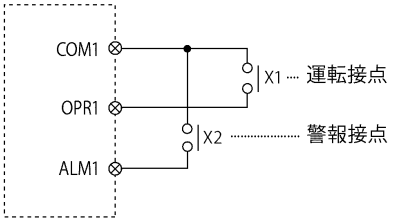
CN02が「OPEN側」 … 終端抵抗が接続されません。（出荷設定）
CN02が「SHORT側」… 終端抵抗が接続されます。



終端抵抗なし
（OPEN）

終端抵抗あり
（SHORT）

8 リレー回路例

型式	現場側機器（点線内本機を示す）	特記事項
パルス接点出力（有電圧a接点）（SET出力+RESET出力）		1）X1、X2は補助継電器 2）スイッチ SW02-1 を OFF スイッチ SW02-4 を OFF
連続接点出力（有電圧a接点）（SET出力）		1）X1は補助継電器 2）スイッチ SW02-1 をON 3）OFF 出力を集中／個別の切換に利用可能 （集中制御機器で「集中」の時 ON、 「個別許可」の時 OFF）
入力（無電圧a接点）		1）X1、X2は補助継電器 2）対象機器からの運転アンサーバックを使用しない時、 スイッチ SW02-2 を ON。 3）アンサーバック入力を使用しない場合は未接続。 （使用する入力のみ接続）

9 運転・警報表示について

● 基板上の状態確認ランプ（LED1）より運転状態を確認することができます。

点灯パターン		内容
点灯（赤）		正常運転
点滅（赤）	等間隔点滅　※1	警報発生
	不等間隔点滅　※2	システム停止中

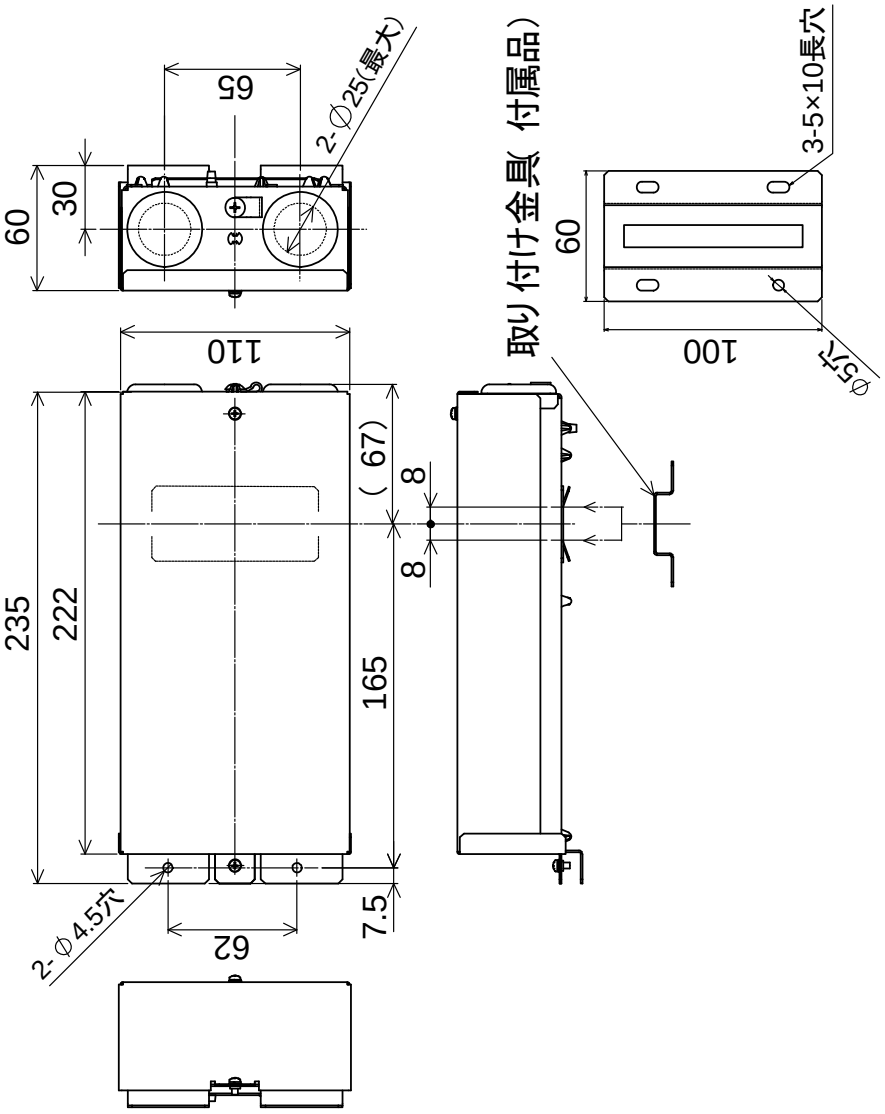
※1：0.5秒毎に点灯/消灯が切り換わる点滅
※2：2回点灯後、2秒消灯を繰り返す点滅

警報発生時は集中制御機器に以下の警報が表示されます。
C12：本機に接続している機器から警報入力があります。
本機に接続している機器の警報状態をご確認ください。
C19：アダプタアドレスが重複しています。
アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

（１９）ＯＮ／ＯＦＦ制御用ローカルアダプター（ＣＺ－ＣＡＰＬ１）

外形寸法

（ｍｍ）



外形寸法図（オン／オフ制御用ローカルアダプター）（照明・換気扇用）	
品番	CZ-CAPL1

仕様

品番	CZ-CAPL1
外形寸法	(高さ)60ｍｍ×(幅)235ｍｍ (奥行き)110ｍｍ
質量	750ｇ
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相AC100-200V・50/60Hz
消費電力	最大3.0Ｗ

Panasonic

据付(電気)工事説明書

オン／オフ制御用ローカルアダプター（照明・換気扇用）

品番 CZ-CAPL1

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  （感電、火災の原因）
- **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**
  （故障や、漏電時に感電、火災の原因）
- **電源は、必ず専用回路を使用する**
  （感電、火災の原因）

⏚
- **アース工事(D 種接地工事)を行う**
  - アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
  - アース線は、ベランダの手すりにとらない

  （感電の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
  （発熱、火災の原因）

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （製品の落下による、けがの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）

本体を据え付けるときに

❗
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

制御対象機器を運転・停止するときに

❗
- **照明や電動機の接続、点検作業時は必ず電源を切り、周囲に人がいないか十分に確認する**
  （感電、挟み込み、巻き込みの原因）
- **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ（感電、火災などの原因）
  - ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **水洗いしない**（感電の原因）

仕様

品番	CZ-CAPL1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 3.0 W

付属品

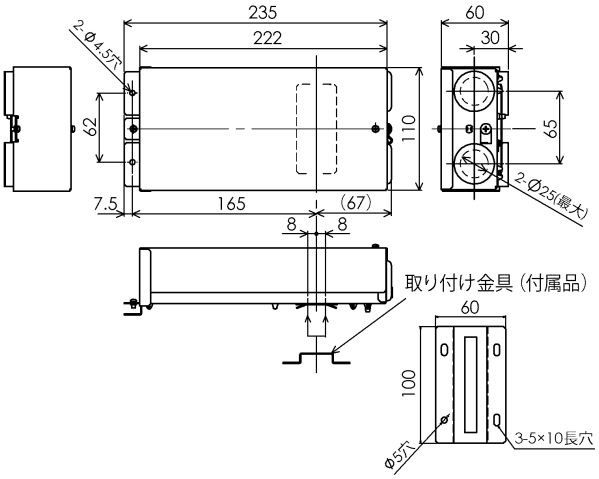
<>：個数

取付ネジ タッピンネジ 4×10 <6>	取り付け金具 <1>
結束クランパー <4>	停電時自動復帰仕様ラベル <1>
据付(電気)工事説明書 <1>	

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

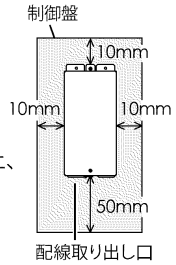
外形寸法図

(mm)



据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所、衝撃や振動のある場所（落下の原因）
  - 熱源の近くなど
  - 結露するところ
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 設置するときは、配線取り出し口を50mm以上、その他三面を10mm以上空ける。(右図参照)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。(映像の乱れ、雑音の原因)
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。
- 基板だけを別機器に組み込むような改造はしない。



停電自動復帰機能

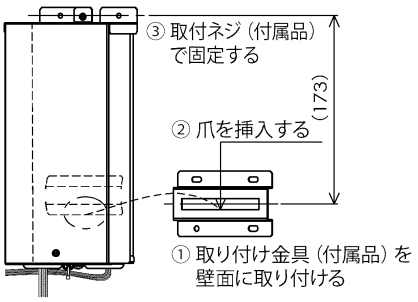
本機には、停電自動復帰機能が搭載されております。
(設定方法は、「4 設定スイッチについて」参照)
この機能は、予期せぬ短時間の停電に際し、停電後自動的に停電前の運転状態に復帰する機能です。
停電自動復帰機能を使用する場合、運転中に機器点検作業などで故意に電源スイッチを切り、その後電源スイッチを入れた場合でも、**自動的に運転が始まり、機器が動き出します。**

※ 機器点検作業時は、安全確保のため必ずブレーカーを切ってください。
※ 本機を引き渡す前に、必ず保守担当の方やお客様に**停電自動復帰機能を使用していること**を説明してください。
また、「停電時自動復帰仕様ラベル」(付属品)を本体の見える所に貼り付けてください。

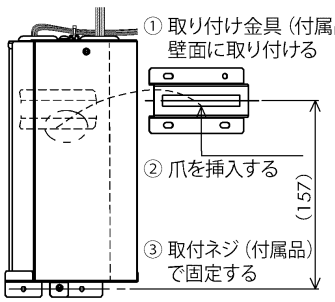
1 取り付ける

- 対象機器の周辺、または制御盤内に設置してください。
- リレー制御機器に接続する場合は、入力・出力用の配線は3m以内で機器に接続してください。
(接続ケーブルは0.5mm^{2}以上、出力用の配線は機器の容量に合わせて余裕のある接続ケーブルを選んでください。)
- 上下面(縦向き)だけでなく、左右面(横向き)より配線取り入れ方向で固定することも可能です。

● 下面より配線取入れ方向で固定する場合

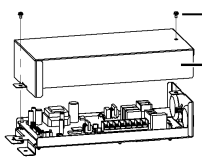


● 上面より配線取入れ方向で固定する場合
(制御盤内設置に限る)



2 配線する

❶ 上ケースをはずす
（ケースネジ：2）



❷ 電源線を接続する

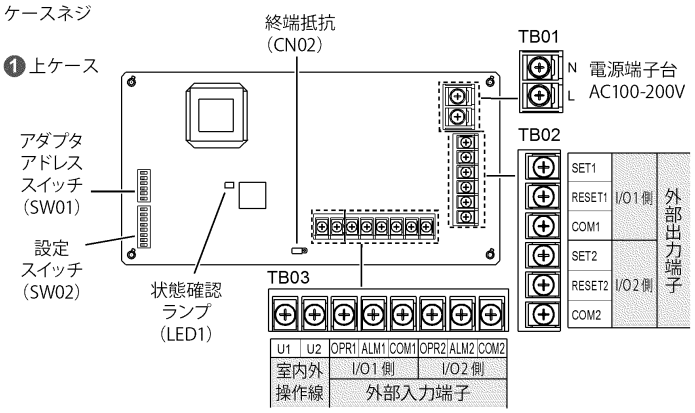
- ケーブルの種類
  - ・使用基準：600Vビニール電線（現地調達）
  - ・柔軟性のある 2 mm²のケーブル（推奨）
- 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子⏚に接続する。
  - ・電源端子ネジ　：M4
  - ・締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）
- リード線の先端は端子加工してください。

❸ 室内外操作線を接続する

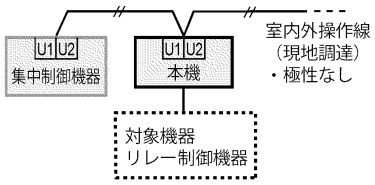
- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²のケーブル
  - ・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
  - ・シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル
- 総配線長：1000 m 以内
- 他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも接続できます。

お願い

- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

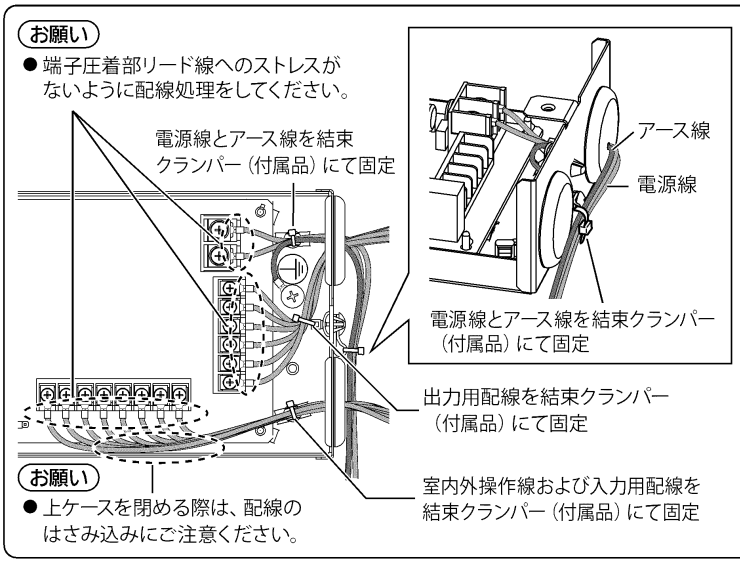


基本配線図



お願い

- 端子圧着部リード線へのストレスがないように配線処理をしてください。



お願い

- 上ケースを閉める際は、配線のはさみ込みにご注意ください。

3 リレー制御機器の接続方法

出力端子および入力端子の仕様です。リレー制御機器を 2 台まで接続可能です。
※1 台のみの接続の場合は、SW02-7をONにしてください。

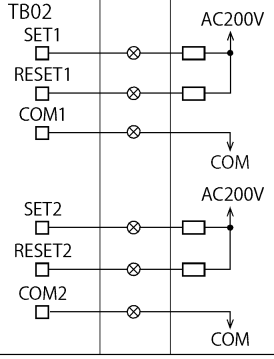
■ 出力端子について

設定スイッチ（SW02）により、制御対象機器に合った出力信号および運転アンサーバックの有無を選択してください。
詳しくは「7 リレー回路例」をご覧ください。

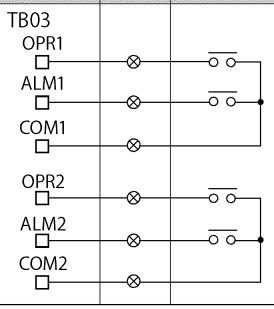
設定スイッチ			SET 端子 /RESET 端子からの出力信号	運転アンサーバックの有無
SW02-1	SW02-2	SW02-4		
OFF	OFF	OFF	SET1、2 端子　：運転信号（パルス、a 接点）*1 RESET1、2 端子：停止信号（パルス、a 接点）*1	有
	ON			無
	OFF	ON	SET1、2 端子：運転 / 停止信号（パルス、a 接点）*1 SET1、2 端子から運転・停止信号が交互に出力されます RESET1、2 端子：手元禁止信号 *2	有
ON	OFF	OFF	SET1、2 端子：運転 / 停止信号 (スタティック) 停止信号：接点 OFF (連続接点) 運転信号：接点 ON（連続接点） RESET1、2 端子：手元禁止信号 *2	有 (運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動しません)
	ON			無
	OFF	ON		有 (運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動します)

*1：パルス幅は約0.5秒です。
*2：集中制御機器側からの信号によって次のように出力します。必要に応じてご使用ください。
個別許可：接点OFF（連続接点）
手元禁止：接点ON（連続接点）

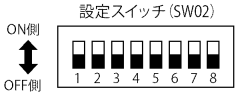
3 リレー制御機器の接続方法（つづき）

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
端子ネジ：M3.5 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） ●接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点 ・接点許容電圧、電流：AC200V、0.5A ・最小接続負荷：5V、0.1A				配線長　：3m 以内 配線太さ：0.5mm² 以上

■ 入力端子について

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
制御対象機器より状態モニタ信号をリレー接点で受けます。 出力端子ネジ　：M3 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） OPR：運転信号（接点ON：運転　接点OFF：停止） ALM：警報信号（接点ON：警報あり　接点OFF：警報なし） ●接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点　スタティック ・接点許容電圧：DC12V±10% ・接点許容電流：Max 10mA				配線長　：3m以内 配線太さ：0.5mm²以上

4 設定スイッチについて（SW02）



※ 出荷時の設定はすべてOFF

[SW02-1] リレー出力形式
SET/RESETリレー出力の信号形式を切り換えます。
● ON ：スタティック出力
● OFF：パルス出力

[SW02-2] 運転アンサーバック
● ON ：運転アンサーバック入力を不使用
● OFF：運転アンサーバック入力を使用
※ 加湿器等を制御する場合など、運転アンサーバックを使用しない場合は、ONに設定してください。

[SW02-3] 集中制御アドレス設定方法
● ON ：本機のアダプタアドレススイッチ（SW01）で設定
● OFF：集中制御機器から設定
詳細は、「5 アダプタアドレスの設定のしかた」を参照してください。

[SW02-4] 運転アンサーバック連動出力
パルス出力の場合は、「3 リレー制御機器の接続方法」を参照してください。
スタティック出力の場合
● ON ：スタティック出力が、運転アンサーバック入力に連動する
● OFF：スタティック出力は、運転アンサーバック入力に連動しない
※ リモコン付きの全熱交換器式換気扇を制御する場合はONにしてください。

[SW02-5] 停電自動復帰機能
● ON ：停電自動復帰機能を使用
● OFF：停電自動復帰機能を不使用
※ 停電復帰機能を使用する場合は十分注意してください。

[SW02-6] 停止中の警報入力
● ON ：停止中の警報入力を受け付けない
● OFF：停止中の警報入力を受け付ける

[SW02-7] リレー制御機器接続台数
● ON ：1台接続
● OFF：2台接続

[SW02-8] 使用禁止

5 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）

アダプタアドレスは、室内ユニットのユニットNo.に相当します。
本機を複数使用する場合は重複しないように設定してください。

■ 集中制御アドレスを集中制御機器から設定する場合

（設定スイッチSW02-3をOFFにしてください。）

室内外操作線に直接接続される室内ユニットと本機が混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定、変更する場合に適しています。

● 本機のアダプタアドレスを、1番から順に設定してください。
※ 本機は、系統アドレス31として登録されます。
例）アダプタアドレスが1番の時、本機のユニットNo.は31-1になります。
本機の集中制御アドレスは集中制御機器から自由に設定できます。

5 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）　（つづき）

■ 集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合

（設定スイッチSW02-3をONにしてください。）

● 本機のアダプタアドレスが、集中制御アドレスになります。
集中制御機器から集中制御アドレスの変更はできません。
お客様の要望に合わせて、アダプタアドレスを設定してください。

※ 本機は、系統31として登録され、
アダプタアドレスと集中制御アドレスは同じになります。

例）アダプタアドレスが5番の時は、本機のユニットNo.は31-5、
集中制御アドレスは5番になります。

アダプタアドレススイッチ（SW01）

※ 出荷時の設定はすべてOFF

● 室内ユニットの集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。
● 負荷の接続台数によってアダプタアドレス設定方法が違います。
下記の表を参照してください。
（負荷接続台数はSW02-7で設定します）

（1） 2台接続の場合

アダプタアドレス		アドレススイッチ No.							アダプタアドレス		アドレススイッチ No.							アダプタアドレス		アドレススイッチ No.							アダプタアドレス		アドレススイッチ No.						
I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6		I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6		I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6		I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6	
1	2	*	-	-	-	-	-		17	18	*	-	-	-	●	-		33	34	*	-	-	-	-	●		49	50	*	-	-	-	●	●	
3	4	*	●	-	-	-	-		19	20	*	●	-	-	●	-		35	36	*	●	-	-	-	●		51	52	*	●	-	-	●	●	
5	6	*	-	●	-	-	-		21	22	*	-	●	-	●	-		37	38	*	-	●	-	-	●		53	54	*	-	●	-	●	●	
7	8	*	●	●	-	-	-		23	24	*	●	●	-	●	-		39	40	*	●	●	-	-	●		55	56	*	●	●	-	●	●	
9	10	*	-	-	●	-	-		25	26	*	-	-	●	●	-		41	42	*	-	-	●	-	●		57	58	*	-	-	●	●	●	
11	12	*	●	-	●	-	-		27	28	*	●	-	●	●	-		43	44	*	●	-	●	-	●		59	60	*	●	-	●	●	●	
13	14	*	-	●	●	-	-		29	30	*	-	●	●	●	-		45	46	*	-	●	●	-	●		61	62	*	-	●	●	●	●	
15	16	*	●	●	●	-	-		31	32	*	●	●	●	●	-		47	48	*	●	●	●	-	●		63	64	*	●	●	●	●	●	

＊：未使用(don't care)　- スイッチOFF　● スイッチON

（2） 1台接続の場合

アダプタアドレス	アドレススイッチ No.							アダプタアドレス	アドレススイッチ No.							アダプタアドレス	アドレススイッチ No.							アダプタアドレス	アドレススイッチ No.						
I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6		I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6		I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6		I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6	
1	-	-	-	-	-	-		17	-	-	-	-	●	-		33	-	-	-	-	-	●		49	-	-	-	-	●	●	
2	●	-	-	-	-	-		18	●	-	-	-	●	-		34	●	-	-	-	-	●		50	●	-	-	-	●	●	
3	-	●	-	-	-	-		19	-	●	-	-	●	-		35	-	●	-	-	-	●		51	-	●	-	-	●	●	
4	●	●	-	-	-	-		20	●	●	-	-	●	-		36	●	●	-	-	-	●		52	●	●	-	-	●	●	
5	-	-	●	-	-	-		21	-	-	●	-	●	-		37	-	-	●	-	-	●		53	-	-	●	-	●	●	
6	●	-	●	-	-	-		22	●	-	●	-	●	-		38	●	-	●	-	-	●		54	●	-	●	-	●	●	
7	-	●	●	-	-	-		23	-	●	●	-	●	-		39	-	●	●	-	-	●		55	-	●	●	-	●	●	
8	●	●	●	-	-	-		24	●	●	●	-	●	-		40	●	●	●	-	-	●		56	●	●	●	-	●	●	
9	-	-	-	●	-	-		25	-	-	-	●	●	-		41	-	-	-	●	-	●		57	-	-	-	●	●	●	
10	●	-	-	●	-	-		26	●	-	-	●	●	-		42	●	-	-	●	-	●		58	●	-	-	●	●	●	
11	-	●	-	●	-	-		27	-	●	-	●	●	-		43	-	●	-	●	-	●		59	-	●	-	●	●	●	
12	●	●	-	●	-	-		28	●	●	-	●	●	-		44	●	●	-	●	-	●		60	●	●	-	●	●	●	
13	-	-	●	●	-	-		29	-	-	●	●	●	-		45	-	-	●	●	-	●		61	-	-	●	●	●	●	
14	●	-	●	●	-	-		30	●	-	●	●	●	-		46	●	-	●	●	-	●		62	●	-	●	●	●	●	
15	-	●	●	●	-	-		31	-	●	●	●	●	-		47	-	●	●	●	-	●		63	-	●	●	●	●	●	
16	●	●	●	●	-	-		32	●	●	●	●	●	-		48	●	●	●	●	-	●		64	●	●	●	●	●	●	

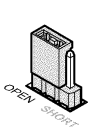
- スイッチOFF　● スイッチON

※ I/O1側とI/O2側の位置は「2 配線する」の端子台の図を参照してください。

6 終端抵抗（プラグ）

● 本機のみで構成される場合、本機1台の場合は、1か所、複数台の場合は2か所を
「終端抵抗あり」に設定してください。（3か所以上は禁止）

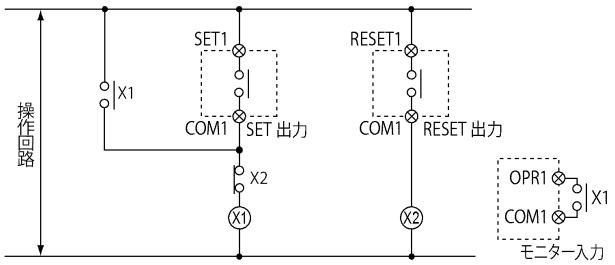
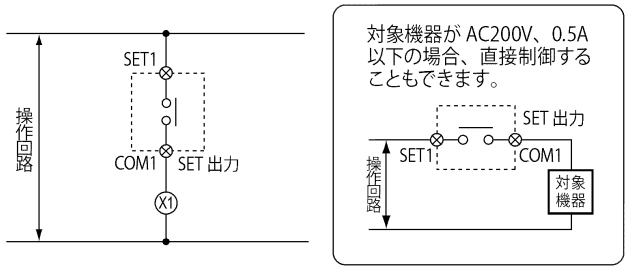
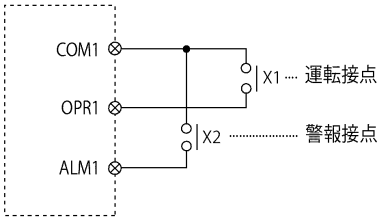
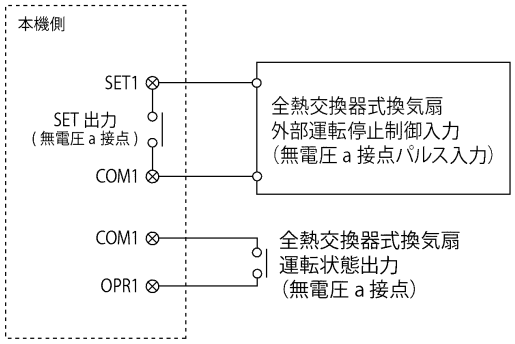
CN02が「OPEN側」 … 終端抵抗が接続されません。（出荷設定）
CN02が「SHORT側」… 終端抵抗が接続されます。



終端抵抗なし
（OPEN）

終端抵抗あり
（SHORT）

7 リレー回路例

型式	現場側機器（点線内本機を示す）	特記事項
パルス接点出力（無電圧a接点）（SET出力+RESET出力）		1）X1、X2は補助継電器 2）スイッチ SW02-1 を OFF スイッチ SW02-4 を OFF ※1台接続の場合
連続接点出力（無電圧a接点）（SET出力）		1）X1は補助継電器 2）スイッチ SW02-1 をON 3）対象機器が AC200V、0.5A 以下の場合は、SET 出力により直接制御（電源直切り）が可能 4）RESET 出力を集中／個別の切換に利用可能（集中制御機器で「集中」の時 ON、「個別許可」の時 OFF） ※1台接続の場合
入力（無電圧a接点）		1）X1、X2は補助継電器 2）対象機器からの運転アンサーバックを使用しない時、スイッチ SW02-2 を ON。 3）アンサーバック入力を使用しない場合は未接続。（使用する入力のみ接続） ※1台接続の場合
全熱交換器式換気扇との接続		1）スイッチ SW02-1 を OFF スイッチ SW02-2 を OFF スイッチ SW02-4 を ON 2）全熱交換器式換気扇の ・外部運転停止制御入力は、無電圧 a 接点パルス ・運転状態出力は、無電圧 a 接点パルス 注）集中制御機器または全熱交換器式換気扇のリモコンから繰り返し連続で運転／停止操作をすると、全熱交換器式換気扇が、設定を受け付けないことがあります。

8 運転・警報表示について

● 基板上の状態確認ランプ（LED1）より運転状態を確認することができます。

点灯パターン		内容
点灯（赤）		正常運転
点滅（赤）	等間隔点滅　※1	警報発生
	不等間隔点滅　※2	システム停止中

※1：0.5秒毎に点灯/消灯が切り換わる点滅
※2：2回点灯後、2秒消灯を繰り返す点滅

警報発生時は集中制御機器に以下の警報が表示されます。

C12：本機に接続している機器から警報入力があります。
本機に接続している機器の警報状態をご確認ください。

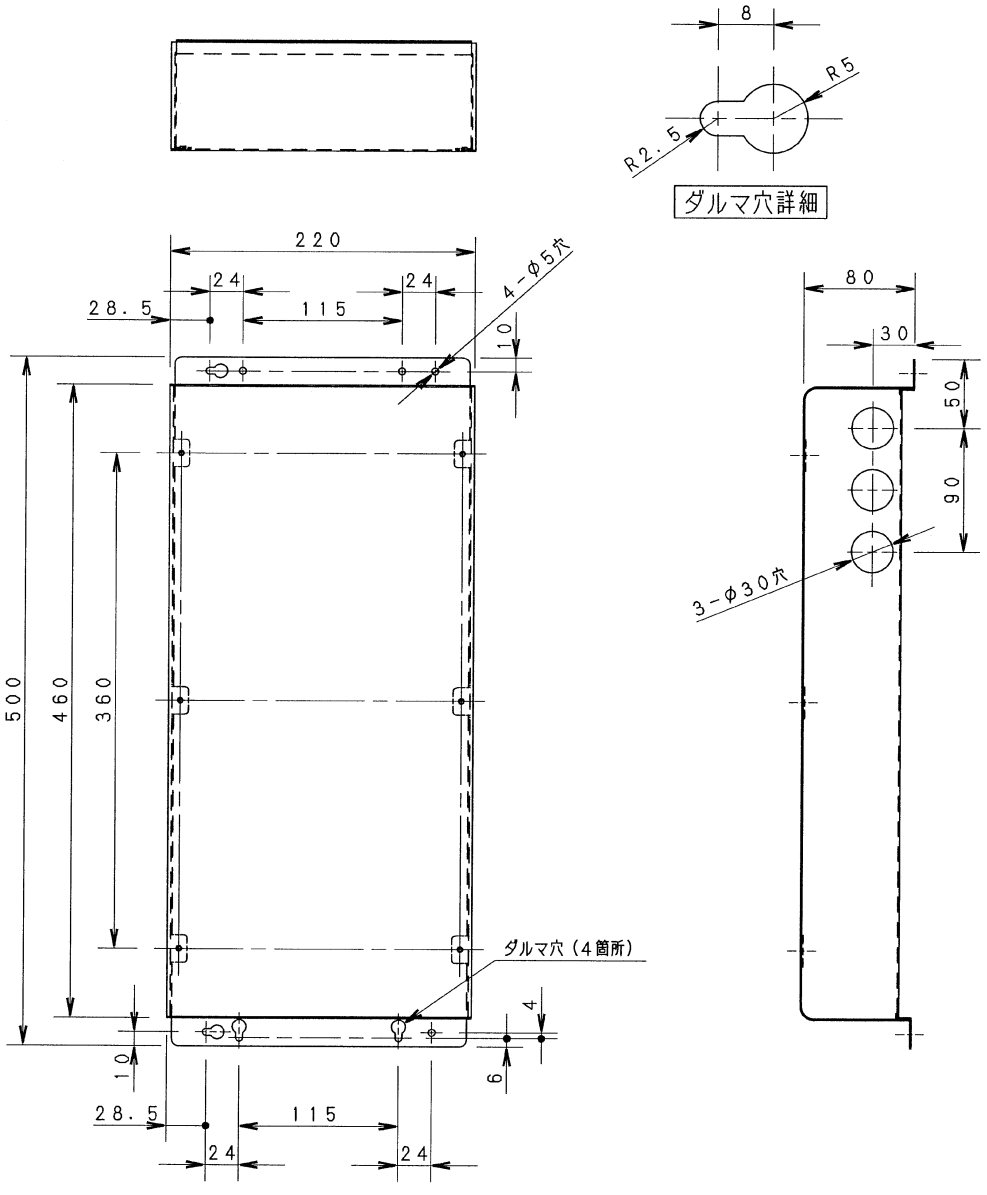
C19：アダプタアドレスが重複しています。
アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。
設定スイッチSW2-7がOFF(2台接続)の場合、本機1台につき2つのアダプタアドレスを使用するため、
2つのアダプタアドレスが両方とも重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

（２０）ロンワークスインターフェイス（ＳＨＡ－ＬＮ１６Ｕ）

■ 仕様

品番		SHA-LN16U
電源定格		単相１００Ｖまたは２００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
消費電力		11W
外形寸法	mm	（高さ）８０×（幅）５００×（奥行）２２０
質量	kg	３．３

■ 外形寸法図



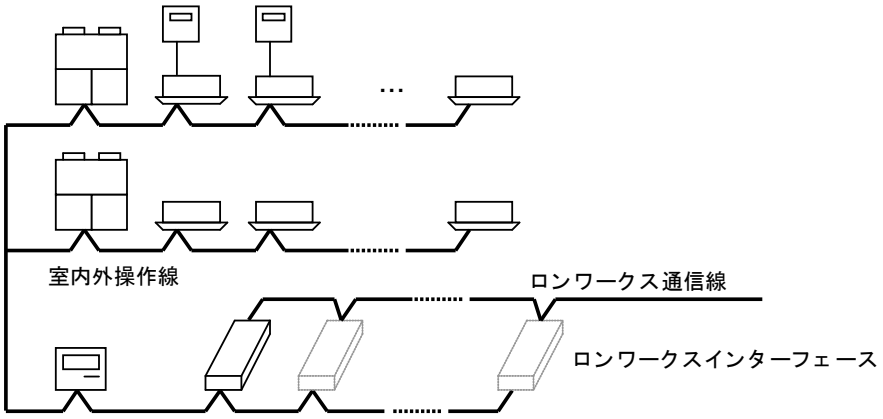
品番	SHA-LN16U	外形寸法図 （ロンワークスインターフェイス）

１．製品概要

■ 製品概要

本インターフェース は、ロンワークスで空調機を制御するための通信インターフェースです。
ロンワークス に接続される上位側のホスト から、室内ユニット 最多１６グループの基本的な設定／状態監視が可能 になります。

■システム 図



① ロンワークスインターフェース1 台で、室内ユニット 最多１６グループ（ ６４ 台）を制御可能です。
室内 ユニット が１７グループ以上のときは、インターフェースを追加接続して ください。
② ロンワークスインターフェース以外に、空調機を 制御できるリ モコン（ またはシステムコント ローラーなど）を つけてく ださい 。
③ ロンワークスインターフェースと 接続するまえに室内ユニット に集中アド レスを 設定して 下さい。

■ 機能

ロンワークス 中央監視からの 空調機設定	室内ユニット グループ毎に 設定	発停
		設定温度 （ ※1 ）
		運転モード
		オプション１ 設定 （ ※2 ）
		オプション２ 設定 （ ※2 ）
	一括設定	災害停止
ロンワークス中央監視への 空調機状態通知		発停
		設定温度
		運転モード
		オプション１ 状態 （ ※2 ）
		オプション２ 状態 （ ※2 ）
		警報状態 （ ※3 ）
		警報室内番号 （ ※4 ）
		室温 （ ※5 ）
		空調機状態 （ ※6 ）
コンフィ グレーション・ プロ パティ		送信間隔設定 （ ※7 ）
		最小送信確保時間 （ ※8 ）

（ ※1 ）室内ユニット で設定可能な上限値以上の温度が指示されたときは上限値に、下限値以下の温度が指示されたときは 下限値に設定されます。
（ ※2 ）オプション は、手元禁止／風速設定／風向設定／フィ ルターサイン から、基板上の設定スイッチで２つまで 選択できます。
（ ※3 ）室内グループ制御時、1 台以上の室内ユニット が警報のとき警報と 判断し ます。
（ ※4 ）警報室内ユニット の室内番号を通知し ます。室内グループ 内の警報室内ユニット を 特定すること が可能です。
（ ※5 ）室内グループ制御時、グループ親機の室温を通知し ます。
（ ※6 ）室内機状態は、1 台以上の室内機が警報のとき、警報コード を通知し ます。
（ ※7 ）設定された間隔で、出力可能な全データを出力し ます。
（ ※8 ）設定された間隔は、同じ データを 連続して 出力し ません。

２．据付（ 電気）工事担当の方へ

安全上のご注意

＊据付工事、電気工事は、この「 安全上のご注意」をよく お読みの上確実に行ってく ださい。
＊個々に示した注意事項は「 ⚠警告 」、「 ⚠注意 」に区分し ていますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載し ていますので、必ず守ってください。表示と意味は次のよう になっています。

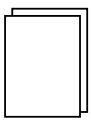
⚠警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う 可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が予想される場合。

※据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認 してく ださい 。本説明書はお客様で保管いただく ように依頼 してく ださい。

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼し てく ださい。
ご自分 で据付工事をされ不備があると感電・ 火災等の原因 にもなります。
●据付工事は“据付 （ 電気）工事担当の方へ”に従って 確実に行ってく ださい。
据付工事 に不備がありますと 、感電、火災等の原因に なります 。
●電気工事は電気工事の資格のある 方が「 電気設備に関する技術基準」、「 内線規程」、及び“ 掮卦 （ 電気）工事担当の方へ” に従ヌ 施工し てく ださい。
電気回路容量不足 や施工不備があると 、感電、火災の原因 になります。
●配線は、所定のケーブルを使用し て確実に接続し 、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定 してく ださい。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取え付けが必要です。漏電しゃ断器が取え付けら れていないと感電や火災の原因になることがあります。

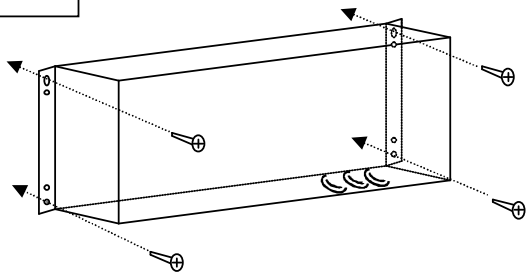
付属部品

番号	付属部品	個数
①	 製品説明書	1

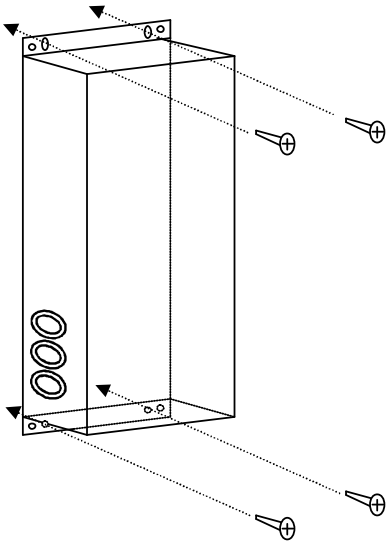
据付方法

●以下のいずれかの方法で据え付けてく ださい。
本体据付 用のねじ は現地手配です。

横置き



縦置き



●ロンワークスインターフェースは、ノイズ発生源から離して 据え付けてく ださい。
●必ず、屋内に設置し てく ださい。

配線仕様

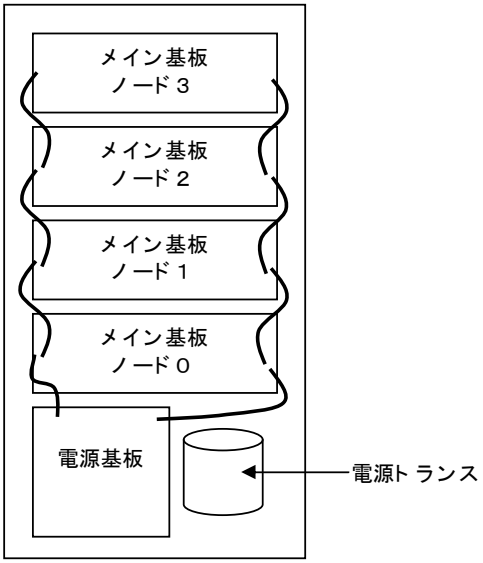
●室内外通信線には、２芯０．５－２ mm² の電線を使用し てく ださい 。
●ロンワークス通信線で使用するケーブルは、エシェロン・コーポレーション 推奨の線径０．５１ mm² 以上のツイストペアケーブル を使用し てく ださい。

エシェロン・コーポレーション推奨ケーブル例			
ケーブルの種類	線径 ／AWG	総配線長	
		バス型	フリー
24AMG ﾂｲｽﾄﾍﾟｱ (TIA568A ｶﾃｺﾞﾘ5)	０．５１㎟ ／２４	９００ｍ	４５０ｍ

●室内外通信線、ロンワークス通信線、電源配線は、同一電線管内 に通したり 、同一ケーブルで配線したり 、配線同士 を近づけたりし ないでく ださい。
●配線は、誤配線をし ないよう に接続し てく ださい。
（ 誤配線 は、故障の原因になります。）

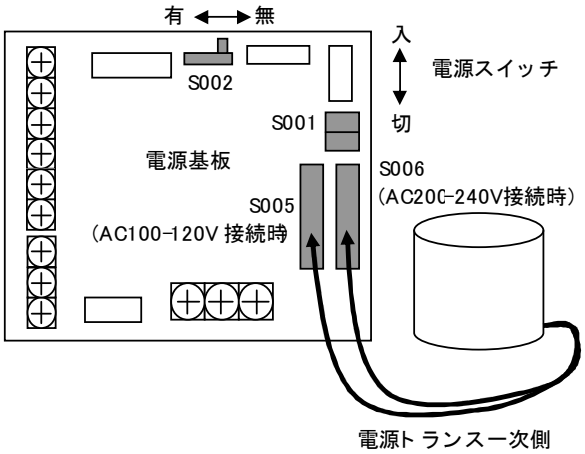
ロンワークスインターフェースの構成

●本インターフェースは、４枚のロンワークス通信基板（ノード）を持っています。
●1つのノードで、最多4グループ（３２台）の室内ユニットを制御可能です。



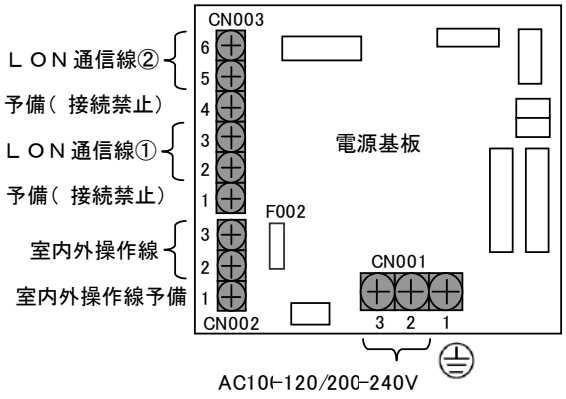
電源基板の初期設定ﬁ

無： 通常‘無’で使用してください(初期設定)。
有： ロンワークス 通信線のフリートポロジ用終端抵抗（５１ Ω）が有効になります。



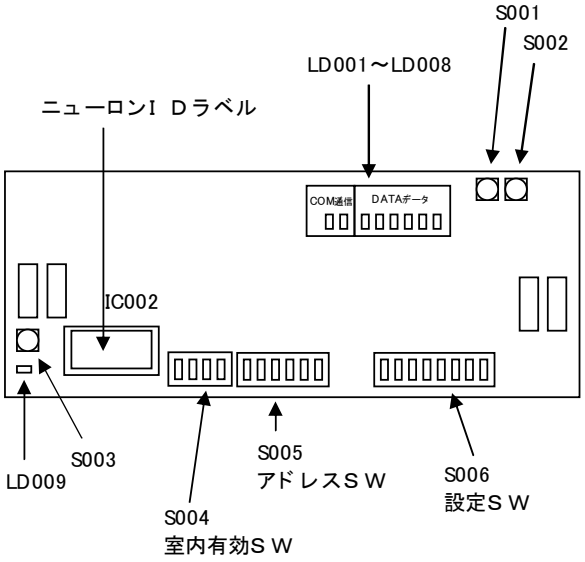
AC200-240V 接続時は、電源トランスの一次側をS006に、
AC100-120V 接続時は、電源トランスの一次側をS005に
接続して下さい。
（工場出荷時は、S006 に接続しています。）

電源基板配線のしかた

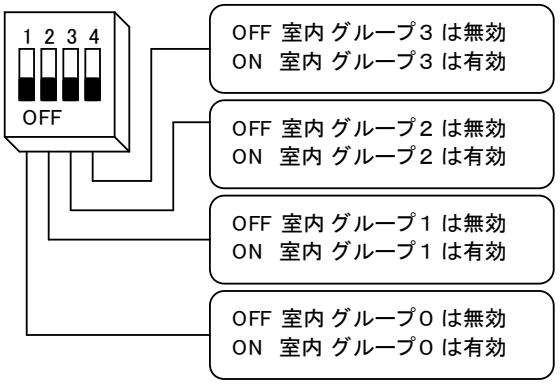


●ロンワークス通信線は、上図①②のどちらに接続しても同じです。
●室内外操作線やロンワークス通信線は、電源配線などと一緒に寄り合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますのでさけてください。
●電源を入れる前に、「電源基板の初期設定」を行ってください。
●室内外操作線への過電流（過電圧）でヒューズ(F002)が切れてしまったときは、予備端子(1)と(3)を接続してください。
●ロンワークス通信線用端子台(CN003)の予備端子には、何も接続しないで下さい。通信線のアース等を接続されると故障の原因になります。
●電源端子台(CN001-1)に、必ず、アースを接続して下さい。

メイン基板

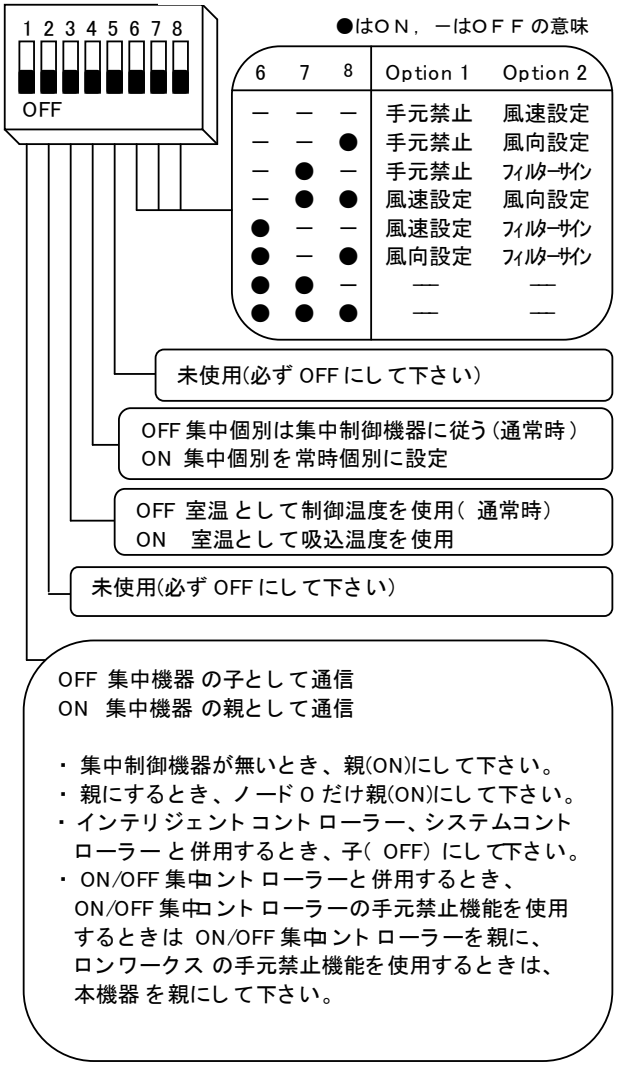


室内有効スイッチ

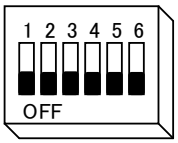


●メイン基板1 枚で、4 グループ（ 室内グループ０ ～３ ）を制御 することができます。
●室内グループが存在しないときは 無効 'に、室内 グループ が存在するときは 有効 'に設定 して下さい。

設定スイッチfi



アドレススイッチ



●はＯＮ，－はＯＦＦ の意味

アドレススイッチ						集中制御アドレス
1	2	3	4	5	6	
－	－	－	－	－	－	1
●	－	－	－	－	－	2
－	●	－	－	－	－	3
●	●	－	－	－	－	4
－	－	●	－	－	－	5
●	－	●	－	－	－	6
－	●	●	－	－	－	7
●	●	●	－	－	－	8
－	－	－	●	－	－	9
●	－	－	●	－	－	10
－	●	－	●	－	－	11
●	●	－	●	－	－	12
－	－	●	●	－	－	13
●	－	●	●	－	－	14
－	●	●	●	－	－	15
●	●	●	●	－	－	16
－	－	－	－	●	－	17
●	－	－	－	●	－	18
－	●	－	－	●	－	19
●	●	－	－	●	－	20
－	－	●	－	●	－	21
●	－	●	－	●	－	22
－	●	●	－	●	－	23
●	●	●	－	●	－	24
－	－	－	●	●	－	25
●	－	－	●	●	－	26
－	●	－	●	●	－	27
●	●	－	●	●	－	28
－	－	●	●	●	－	29
●	－	●	●	●	－	30
－	●	●	●	●	－	31
●	●	●	●	●	－	32
－	－	－	－	－	●	33
●	－	－	－	－	●	34
－	●	－	－	－	●	35
●	●	－	－	－	●	36
－	－	●	－	－	●	37
●	－	●	－	－	●	38
－	●	●	－	－	●	39
●	●	●	－	－	●	40
－	－	－	●	－	●	41
●	－	－	●	－	●	42
－	●	－	●	－	●	43
●	●	－	●	－	●	44
－	－	●	●	－	●	45
●	－	●	●	－	●	46
－	●	●	●	－	●	47
●	●	●	●	－	●	48
－	－	－	－	●	●	49
●	－	－	－	●	●	50
－	●	－	－	●	●	51
●	●	－	－	●	●	52
－	－	●	－	●	●	53
●	－	●	－	●	●	54
－	●	●	－	●	●	55
●	●	●	－	●	●	56
－	－	－	●	●	●	57
●	－	－	●	●	●	58
－	●	－	●	●	●	59
●	●	－	●	●	●	60
－	－	●	●	●	●	61
●	－	●	●	●	●	62
－	●	●	●	●	●	63
●	●	●	●	●	●	64

ＬＥＤ

メイン 基板には2 個の通信ＬＥＤ(緑) と6 個のデータＬＥＤ(赤) があります。
通信ＬＥＤは、現在の通信状態①～⑯を表示し、データＬＥＤの表示内容は、通信状態①～⑯によって異なります。

●通信ＬＥＤ(緑)

LD001	LD002	表示内容
×	×	① 電源　ＯＦＦ 時
×	低	② ――
×	高	③ マイコンバージョン　ＵＰ 中
×	●	④ 空調機　との初期通信待ち状態
低	×	⑤ 空調機　と初期通信中
低	低	⑥ ――
低	高	⑦ ロンワークス　通信マイコン異常
低	●	⑧ＥＥＰＲＯＭ　異常
高	×	⑨ ――
高	低	⑩ ――
高	高	⑪ ――
高	●	⑫ ――
●	×	⑬ 試運転　モード
●	低	⑭ ――
●	高	⑮ バージョン　表示中
●	●	⑯ 正常通信中

×: 消灯 、　　低: 低速点滅　　(１秒毎) 、
高: 高速点滅 (０．２秒毎) 、●: 点灯

●データＬＥＤ(赤)

通信ＬＥＤ (緑) の状態	データＬＥＤ(赤) の表示内容
①	全ＬＥＤ 消灯
②	全ＬＥＤ 点灯
③	――
④	空調機初期通信 の待ち時間(秒)表示　※
⑤	空調機通信状態 表示(Ｐ７ 参照)
⑥	――
⑦	全ＬＥＤ 消灯
⑧	全ＬＥＤ 消灯
⑨	――
⑩	――
⑪	――
⑫	――
⑬	試運転 モード 仕様に従う(Ｐ９ 参照)
⑭	――
⑮	バージョン 表示仕様に従う(Ｐ１０ 参照)
⑯	空調機通信状態表示 (Ｐ７ 参照)

※電源投入時に全てのメイン基板が一斉に初期通信するのを避けるため、アドレスＳＷで設定した秒だけ待機します。この表示は１秒毎に変化し、全ＬＥＤが消灯したとき 初期通信を開始します。

●通信ＬＥＤが⑤⑯の状態のときの
データ ＬＥＤ表示内容

ＬＤ	表示内容	
	室内 グループ	
003	0	ＯＦＦ　: 初期通信待 ち 低速点滅: 最小送信間隔待ち 高速点滅: 初期通信中 ＯＮ　: 正常通信中
004	1	
005	2	
006	3	
007	ロンワークス通信部にデータ 出力し たとき、 ０．２ 秒点灯	
008	室内外通信部にデータ 出力し たとき、 ０．２ 秒点灯	

３、空調機集中アドレス割当方法

●ロンワークスインターフェース以外の集中制御機器がないときは、ワイヤードリモコンを使用して、〔集中アドレス設定〕を行った後、〔集中アドレス割当〕を行って下さい。

●システムコントローラーなどの集中制御機器が既にあるときは、〔集中アドレス割当〕のみ行って下さい。

【集中アドレス設定方法】

① 点検 + 換気 ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。

② リモコンの液晶表示部に、設定中とユニット No.（グループ制御の場合はALLを表示）、項目コード 01、設定データ が点滅表示されます。
この 時、室内ユニットのファン（グループ制御の場合は全ての 室内ユニット）が回転します。

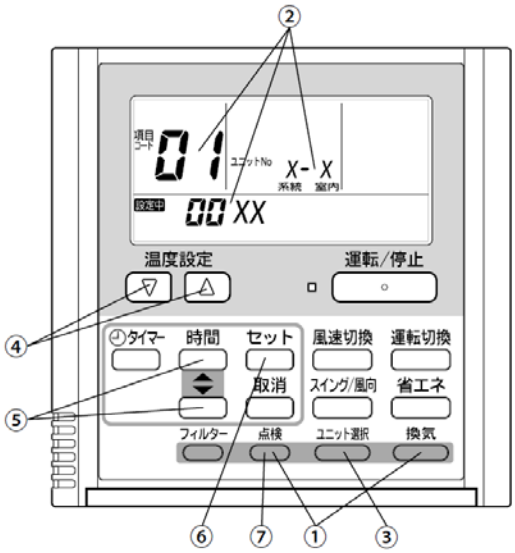
③ ユニット 選択 ボタンを押さないでください。

④ 温度設定 ▲／▼ボタンを押して、項目コード 03 に切り換えます。

⑤ タイマー時間 ▲／▼ボタンを押して、希望の集中制御 アドレスに切り換えます。

⑥ セット ボタンを押します。
（点滅表示 が点灯に変わって設定完了）

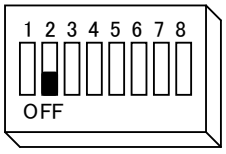
⑦ 点検 ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。



【集中アドレス割当方法】

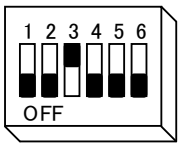
① ロンワークスインターフェースの電源基板の電源スイッチ（Ｓ００１）を【切】にして下さい。

② 設定スイッチ（Ｓ００６－２）をＯＦＦになっていることを確認してください。



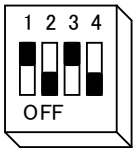
③ アドレススイッチに、先頭の集中アドレスを設定して下さい。集中制御アドレスは連番で割当られます。

《例》先頭の集中制御アドレスが’5’のとき、
本基板 は、集中制御アドレス‘５ ６〃 ７〃 ８’が割り当てられます。



④ 室内有効スイッチの有効／無効をセットして下さい。

《例》集中制御アドレスが’6’が存在しないとき、
‘５’ ’7’のみ有効にして下さい。



室内グループ０の集中制御アドレスは‘５
室内グループ２の集中制御アドレスは’7’に
設定されます。

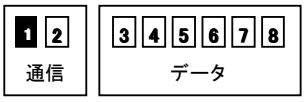
⑤ 電源基板の電源スイッチ（Ｓ００１）を【入】にしてください。

４、ロンワークスインターフェース試運転方法

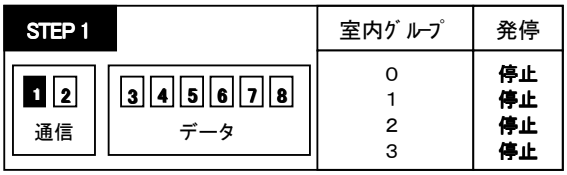
ロンワークスインタ ーフェース試運転を行う 前に、空調機の試運転、室内ユニット の集中制御アド レスの設定／割当を 行って下さい。

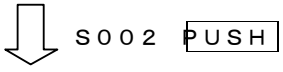
【 ロンワークスインターフェース試運転方法】

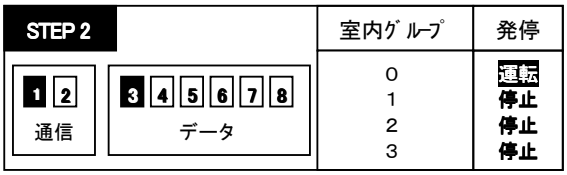
① タッチスイッチＳ００１を５ 秒以上長押しして下さい。
現在操作 している基板は試運転モード になり、ＬＤ００１ は点灯、ＬＤ００２ －ＬＤ００８ は消灯します。

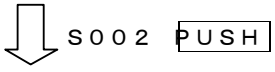


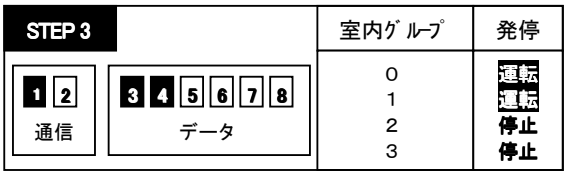
② タッチスイッチＳ００２を押すと、データＬＥＤは、下表 の順に表示します。
また 、割り 当てられた室内グループが下表のように運転 ／停止します。

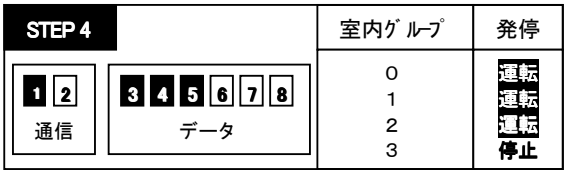


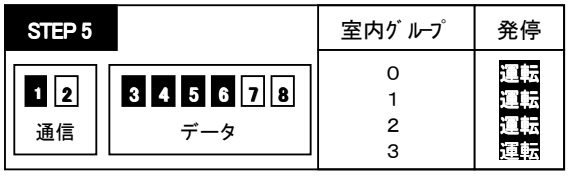


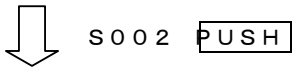


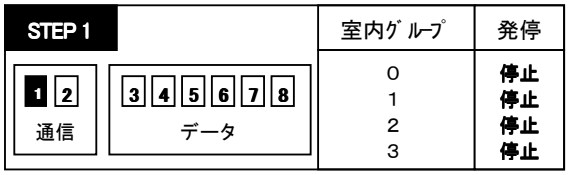








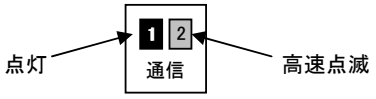




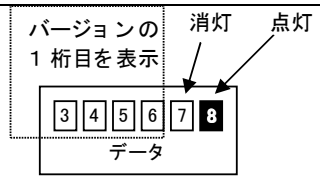
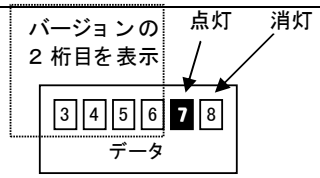
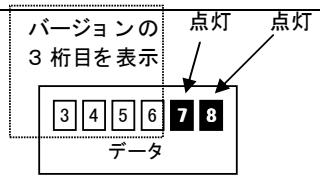
③ ロンワークスインターフェースの試運転終了後、必ず、電源 リセットして下さい。

５、ロンワークスインターフェースのバージョン確認方法

① タッチスイッチＳ００２を押して下さい。
本基板 は9 秒間バージョン表示モードになり、
ＬＤ ００１が点灯、ＬＤ００２が高速点滅します。



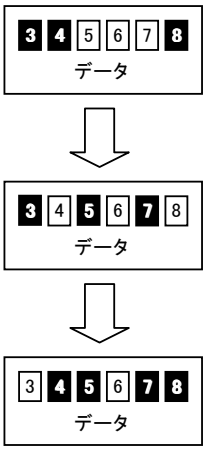
② バージョン表示中(９秒間) は以下の内容を表示します。

最初の3 秒間	
次の3 秒間	
最後の3 秒間	

●バージョン表示

0	3 4 5 6	5	**3** 4 **5** 6
1	**3** 4 5 6	6	3 **4** **5** 6
2	3 **4** 5 6	7	**3** **4** **5** 6
3	**3** **4** 5 6	8	3 4 5 **6**
4	3 4 **5** 6	9	**3** 4 5 **6**

《 例》バージョン３．５６のとき、



６、ロンワークス通信部ネット ワーク変数一覧

空調機	入出力	項目	変数名	変数 タイプ
室内グループ　０	入力	発停	nviOnOff_00	SNVT_switch
		設定温度	nviSetPoint_00	SNVT_temp_p
		運転モード	nviHeatCool_00	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 設定	nviOption1_00	SNVT_switch
		オプション２ 設定	nviOption2_00	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_00	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_00	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_00	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 状態	nvoOption1_00	SNVT_switch
		オプション２ 状態	nvoOption2_00	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_00	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_00	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_00	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_00	SNVT_count
室内グループ　１	入力	発停	nviOnOff_01	SNVT_switch
		設定温度	nviHeatCool_01	SNVT_temp_p
		運転モード	nviSetPoint_01	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 設定	nviOption1_01	SNVT_switch
		オプション２ 設定	nviOption2_01	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_01	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_01	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_01	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 状態	nvoOption1_01	SNVT_switch
		オプション２ 状態	nvoOption2_01	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_01	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_01	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_01	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_01	SNVT_count
室内グループ　２	入力	発停	nviOnOff_02	SNVT_switch
		設定温度	nviHeatCool_02	SNVT_temp_p
		運転モード	nviSetPoint_02	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 設定	nviOption1_02	SNVT_switch
		オプション２ 設定	nviOption2_02	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_02	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_02	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_02	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 状態	nvoOption1_02	SNVT_switch
		オプション２ 状態	nvoOption2_02	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_02	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_02	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_02	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_02	SNVT_count
室内グループ　３	入力	発停	nviOnOff_03	SNVT_switch
		設定温度	nviHeatCool_03	SNVT_temp_p
		運転モード	nviSetPoint_03	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 設定	nviOption1_03	SNVT_switch
		オプション２ 設定	nviOption2_03	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_03	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_03	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_03	SNVT_hvac_mode
		オプション１ 状態	nvoOption1_03	SNVT_switch
		オプション２ 状態	nvoOption2_03	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_03	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_03	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_03	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_03	SNVT_count
室内グループ０ －３	入力	火災時緊急停止	nviAllInOff	SNVT_switch

送信間隔設定	nciSndHrtBt	SNVT_time_sec
最小送信確保時間	nciMinOutTm	SNVT_time_sec

７、ロンワークス通信部ネットワーク変数詳細

[nv1]ユニット　発停指令

network input SNVT_switch nviOnOff_00;
network input SNVT_switch nviOnOff_01;
network input SNVT_switch nviOnOff_02;
network input SNVT_switch nviOnOff_03;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットの発停状態を変更するために使用します。
ロンワークスで空調機の発停を制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　state 0：停止　　value（未使用）
　　1：運転

[nv2]ユニット　発停状態通知

network output SNVT_switch nvoOnOff_00;
network output SNVT_switch nvoOnOff_01;
network output SNVT_switch nvoOnOff_02;
network output SNVT_switch nvoOnOff_03;

この出力ネットワーク変数は、室内ユニットの運転／停止状態、サーモＯＮ／ＯＦＦ状態が変化したときに出力されます。
空調機用のコントローラーからの操作により状態変化した場合にも出力されます。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。
室内ユニットがグループ制御のとき、1台以上サーモＯＮしたときサーモＯＮを出力し、全室内ユニットサーモＯＦＦのとき、サーモＯＦＦを出力します。

●内容　state 0：停止　　value　0：サーモ　ＯＦＦ
　　1：運転　　２００　：サーモＯＮ

[nv3]温度設定指令

network input SNVT_temp_p nviSetpoint_00;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_01;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_02;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_03;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットの設定温度を変更するために使用します。
ロンワークスで空調機の設定温度を制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。
室内ユニットで設定可能な設定温度上限値以上の温度が指示されたときは上限値に、下限値以下の温度が指示されたときは下限値に設定されます。

●内容
有効範囲
　冷暖自動　モード時　：１７　－２７℃
　暖房　モード時　　：１６　－２６℃
　冷房　モード時　　：１８　－３０℃
　ドライモード　時　：１８　－３０℃
　送風　モード時　　：設定温度　は使用されません
設定温度単位１．０℃（小数点以下は切捨てられます。）

＊室内ユニットの機種により、設定温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。

[nv4]温度設定状態通知

network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_01;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_01;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_02;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_03;

この出力ネットワーク変数は、設定温度状態が変化したときに出力されます。
空調機用のコントローラーからの操作により状態変化した場合にも出力されます。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

●内容
有効範囲　出力範囲　：１６　－３０℃
　　温度単位　　：１．０℃

＊室内ユニットの機種により、設定温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。

[nv5]運転　モード設定指令

network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_00;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_01;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_02;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_03;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットの運転モードを変更するために使用します。
ロンワークスで空調機の運転モードを制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　０：冷暖自動　　５:ドライ
　　１：暖房　　９:送風
　　３：冷房

＊室外ユニット、室内ユニットの機種により、設定可能な運転モードが異なります。
＊上記の内容以外の設定は無視します。

[nv6]運転　モード状態通知

network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_00;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_01;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_02;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_03;

この　出力ネットワーク変数は、運転モードが変化したときに出力されます。
空調機用のコントローラーからの操作により状態変化した場合にも出力されます。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

●内容　０：冷暖自動　　５:ドライ
　　１：暖房　　９:送風
　　３：冷房

[nv 7]オプション 1 設定指令
[nv 9]オプション 2 設定指令

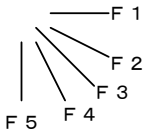
network input SNVT_switch nviOption1_00;
network input SNVT_switch nviOption1_01;
network input SNVT_switch nviOption1_02;
network input SNVT_switch nviOption1_03;
network input SNVT_switch nviOption2_00;
network input SNVT_switch nviOption2_01;
network input SNVT_switch nviOption2_02;
network input SNVT_switch nviOption2_03;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットのオプション設定をするために使用します。
オプション設定は、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルタサインリセットの中から2つ選択できます。
ロンワークスインターフェース基板上のディップスイッチで、オプションを選択してください。
ロンワークスでこれらのオプションを制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

	state	value	発停操作	温度設定	運転ﾓｰﾄﾞ
手元禁止	0	（未使用）	許可	許可	許可
	1	１００	禁止		
		１２０	許可	禁止	
		１４０	禁止		
		１５０	許可	許可	禁止
		１６０	禁止		
		１８０	許可	禁止	
		２００	禁止		
		その他			

		value	
風速設定	（未使用）	１２０	自動
		２００	急風
		１５０	強風
		１００	弱風
		その他	

		value	
風向設定	（未使用）	２００	ｽｲﾝｸﾞ
		１７０	Ｆ１
		１４０	Ｆ２
		１１０	Ｆ３
		８０	Ｆ４
		５０	Ｆ５
		その他	ｽｲﾝｸﾞ



※冷房／ﾄﾞﾗｲ時は、Ｆ４／Ｆ５位置に設定できません。

ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ	ﾃﾞｰﾀが更新されたとき、ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝﾘｾｯﾄします。

[nv 8]オプション 1 設定状態通知設定
[nv10]オプション 2 設定状態通知設定

network output SNVT_switch nvoOption1_00;
network output SNVT_switch nvoOption1_01;
network output SNVT_switch nvoOption1_02;
network output SNVT_switch nvoOption1_03;
network output SNVT_switch nvoOption2_00;
network output SNVT_switch nvoOption2_01;
network output SNVT_switch nvoOption2_02;
network output SNVT_switch nvoOption2_03;

この出力ネットワーク変数は、室内ユニットのオプション設定状態が変化したときに出力されます。
オプション設定は、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルタサインリセットの中から2つ選択できます。
ロンワークスインターフェース基板上のディップスイッチで、オプションを選択してください。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

	state	value	発停操作	温度設定	運転ﾓｰﾄﾞ
手元禁止	0	0	許可	許可	許可
	1	１００	禁止		
		１２０	許可	禁止	
		１４０	禁止		
		１５０	許可	許可	禁止
		１６０	禁止		
		１８０	許可	禁止	
		２００	禁止		

		value	
風速設定	1	１２０	自動
		２００	急風
		１５０	強風
		１００	弱風

		value	
風向設定	1	２００	ｽｲﾝｸﾞ
		１７０	Ｆ１
		１４０	Ｆ２
		１１０	Ｆ３
		８０	Ｆ４
		５０	Ｆ５

		value	
ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ	0	0	OFF
	1		ON

[nv11] 警報通知

network output SNVT_ switch nvoAlarm_ 00;
network output SNVT_ switch nvoAlarm_ 01;
network output SNVT_ switch nvoAlarm_ 02;
network output SNVT_ switch nvoAlarm_ 03;

この 出力ネット ワーク 変数は、室内ユニット に警報が発生したとき、室内ユニット の警報が復帰したとき、出力されます。
室内 ユニット がグループ制御のとき、1 台以上の室内ユニット が警報のとき警報出力します。
ロンワークスインタ ーフェ ースの電源リ セット 時にも出力されます。

●内容　state 0： 正常　　value 常時 、0
　　1： 警報

[nv12] 警報室内番号通知

network output SNVT_ switch nvoAlarmIn_ 00;
network output SNVT_ switch nvoAlarmIn_ 01;
network output SNVT_ switch nvoAlarmIn_ 02;
network output SNVT_ switch nvoAlarmIn_ 03;

この 出力ネット ワーク 変数は、室内ユニット に警報が発生したとき出力されます。
ロンワークスインタ ーフェ ースの電源リ セット 時にも出力されます。

●内容　state 常時 、0　　value 警報室内番号 ×2
※警報発生し ていないときは、value＝0

[nv13] 室温通知

network output SNVT_ temp_ p nvoSpaceTemp_ 00;
network output SNVT_ temp_ p nvoSpaceTemp_ 01;
network output SNVT_ temp_ p nvoSpaceTemp_ 02;
network output SNVT_ temp_ p nvoSpaceTemp_ 03;

この 出力ネット ワーク 変数は、室内ユニット で制御に使用している室温が変化したときに出力されます。
ロンワークインタフェース の電源リ セット 時にも出力されます。
室内 ユニット がグループ制御のときは、グループ親機の室温が出力されます。

●内容
有効範囲
　出力範囲　：－３５．０ ～ ９２ ．５℃
　温度単位　：０．５℃

＊室内ユニット の機種により 、出力温度範囲が異なる場合があります 。ご注意く ださい。

[nv14] 空調機状態通知

network output SNVT_ count nvoInState_ 00;
network output SNVT_ count nvoInState_ 01;
network output SNVT_ count nvoInState_ 02;
network output SNVT_ count nvoInState_ 03;

この 出力ネット ワーク 変数は、空調機状態が変化したとき出力されます。
室内 ユニット がグループ制御のとき、1 台以上の室内ユニット が警報のときは、警報コード を出力し ます。
ロンワークスインタ ーフェ ースの電源リ セット 時にも出力されます。

０	正常通信中(警報無し)
１～２５５	警報コード 表に従います。
３００	室内ユニット 未接続(初期通信中)

[nv15] 災害停止

network output SNVT_ switch nviAllInOff;

この 入力ネット ワーク 変数は、室内ユニット を緊急停止させるために使用し ます。
停止 させられた室内ユニット は、手元禁止(発停禁止) になります。手元禁止(温度設定／運転モード) は、停止前の状態が保持されます。
緊急停止 を解除し たとき、手元禁止(発停禁止) は、停止前の状態に戻りますが、ユニット は停止状態です。
この 機能を使用し ないとき、本ネット ワーク 変数を使用する必要はありません。

●内容　state 0： 解除　　value (未使用)
　　1： 災害停止

[nc49] 送信間隔設定

network input config SNVT_ time_ sec nciSndHrtBt;

この ネット ワークコンフィ ギュレーショ ンは、自動データ出力の間隔を 設定するものです。設定時間が経過すると 自動的に出力されます。
対象 となるネット ワーク 変数は、以下の通り です。
nvoOnOff_ 0?　nvoSetpoint_ 0?　nvoHeatCool_ 0?
nvoOption1_ 0?　nvoOption2_ 0?　nvoAlarm_ 0?
nvoAlarmIn_ 0?　nvoSpaceTemp_ 0?　nvoInState_ 0?
●内容
有効範囲 は、０．０秒～６５５３．５秒です。０．０秒に設定し た場合は、自動データ 更新が無効となります。
送信間隔設定時間 は、全ネット ワーク 変数に共通です。
設定時間 が経過すると 、上記の全ネット ワーク 変数のデータを 出力し ます。

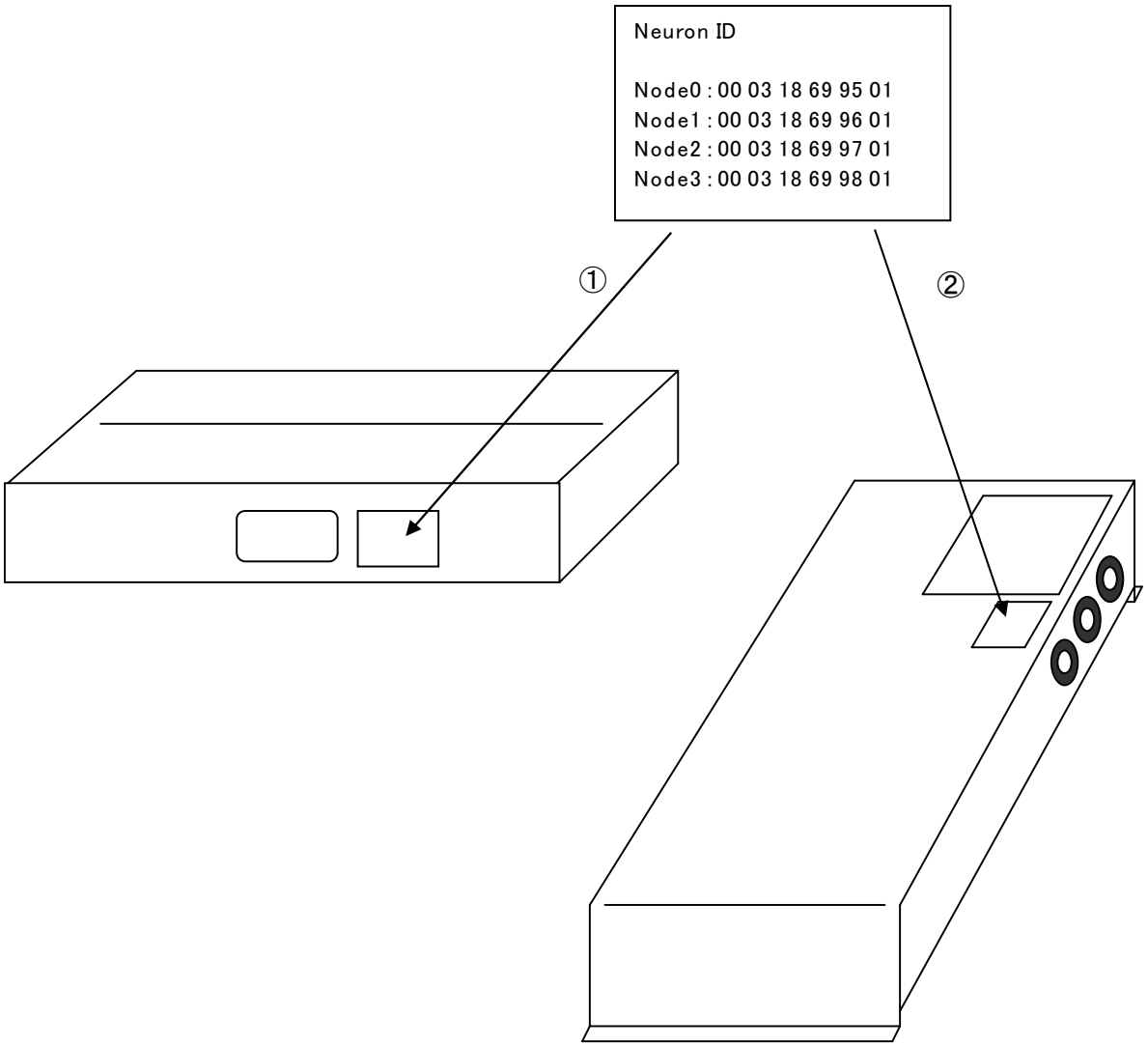
[nc52] 最小送信確保時間設定

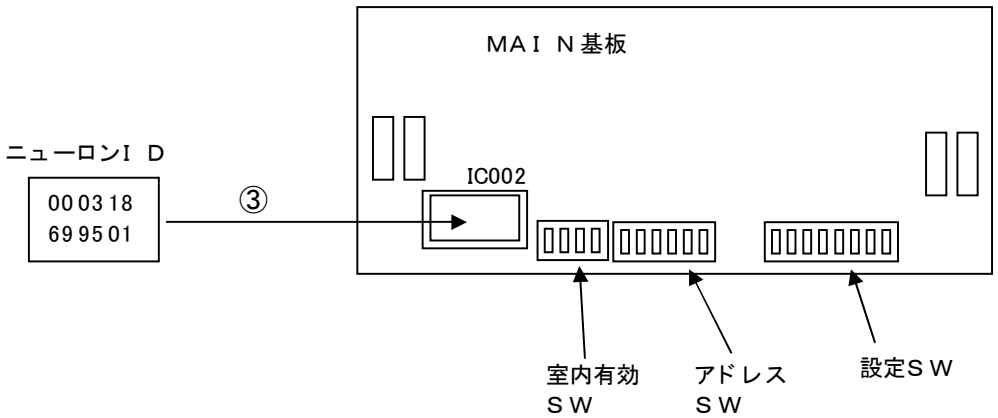
network input config SNVT_ time_ sec nciMinOutTm;

この ネット ワークコンフィ ギュレーショ ンは、出力ネット ワーク 変数の最小確保間隔を 決めるものです。
対象 となるネット ワーク 変数は、以下の通り です。
nvoOnOff_ 0?　nvoSetpoint_ 0?　nvoHeatCool_ 0?
nvoOption1_ 0?　nvoOption2_ 0?　nvoAlarm_ 0?
nvoAlarmIn_ 0?　nvoSpaceTemp_ 0?　nvoInState_ 0?
●内容
有効範囲 は、０．０秒～６５５３．５秒です。
最小送信確保時間 は、ネット ワーク 変数毎に独立し ているので、他のネット ワーク 変数と の間には有効ではありません。

８．ニューロンＩ Ｄ貼付け位置

ニューロンＩ Ｄは、以下の3 箇所に貼付しています。
①梱包箱
②板金上蓋
③メイン 基板ニューロンチップ上



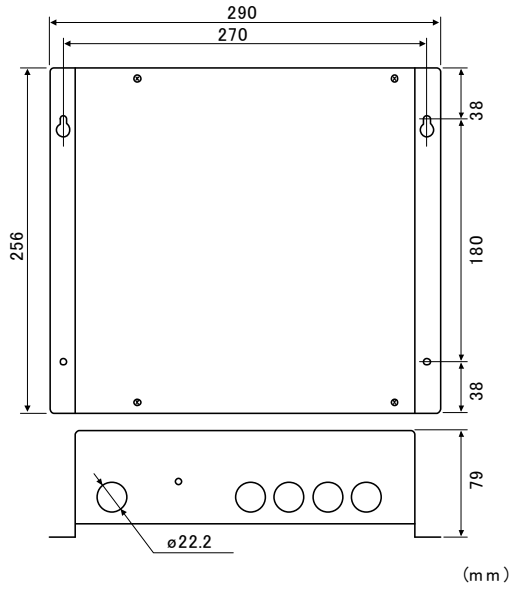


（２１）通信アダプター（ＣＺ－１０ＡＰＢ３）

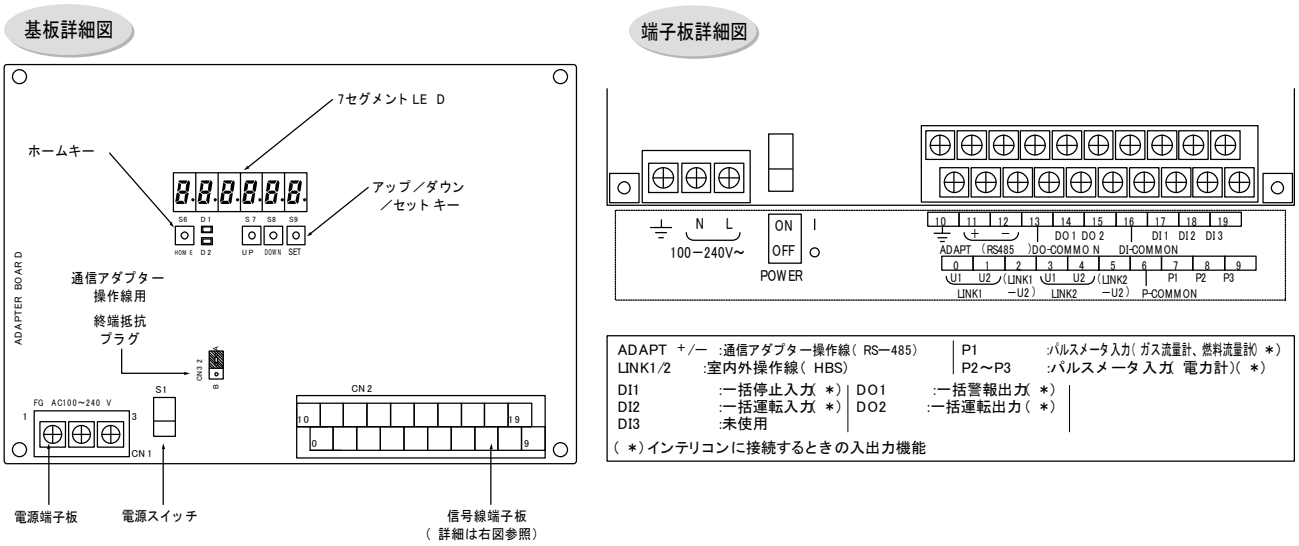
■仕　様

品　　番	ＣＺ-１０ＡＰＢ３
電　源　定　格	単相 100～240Ｖ（50/60Hz）5.6W
外形寸法（mm）	Ｈ ２５６　Ｗ ２９０　Ｄ ７９

■外形寸法図



■端子板配置図およびスイッチ配置図



据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ（ CZ-10APB3）

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「 安全上のご注意」をよく お読みのうえ確実に行ってく ださい。
■ここに示した注意事項は、「 ⚠警告」「 ⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってく ださい。
表示と意味は、次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う 可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う 可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、集中制御機器の“取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”は、集中制御装置の“取扱説明書”とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠警告

- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼し てく ださい。
  ご自分で据付工事をさ れ不備があると 感電・ 火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据付工事に不備があると 、感電・ 火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び“据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。
  電源回路容量不足や施工不備があると 、感電・ 火災の原因となります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し て確実に接続し 、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう に確実に固定してく ださい。接続や固定が不完全な場合は、発熱・ 火災等の原因になります。
- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り 付けが必要です。漏電しゃ断器が取り 付けられていないと 感電や火災の原因になることがあります。

⚠注意

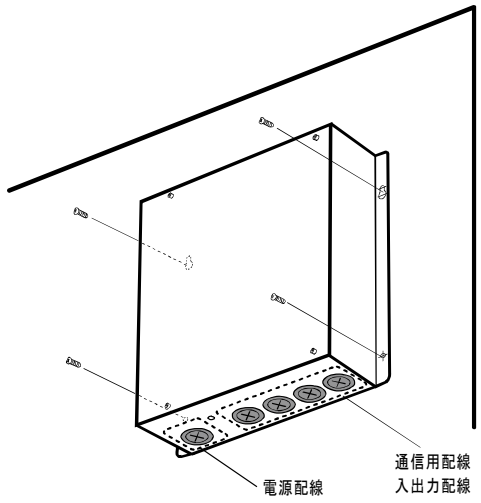
- 配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電し てから行ってく ださい。

1 取り 付けかた

ご注意

- 通信用配線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより 合わせたり 、同一金属管内に収納したりしますと 、誤動作の原因となりますので避けてください。
- 通信アダプターはノ イズ発生源から 充分離し て据え付けてく ださい。
- 水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてく ださい。
- 過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてく ださい。

取り 付け位置を決め、取り 付け寸法図を参考に取り付けます。付属のネジが効かない場所ではメート ルネジなど使用できるものを現地でご用意く ださい。

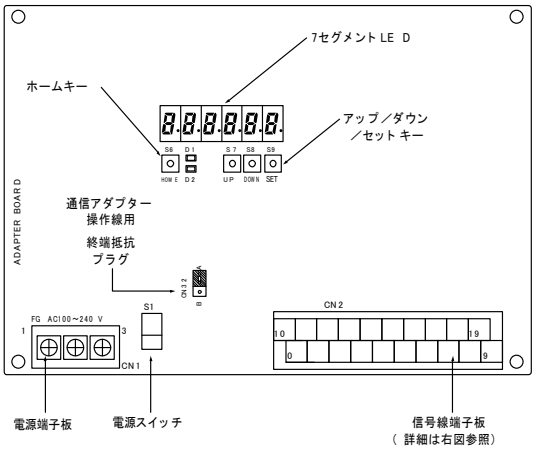


2 配線のしかた

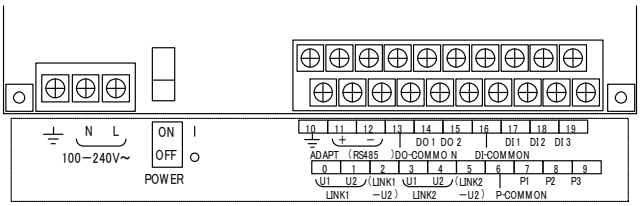
通信アダプターの取り付け、取り外しは安全のため、漏電しゃ断器を切ってから行ってください。
本体前面のネジ4本を外し上ケースを外します。

端子板配置図およびスイッチ配置図

基板詳細図



端子板詳細図



ADAPT ＋/− :通信アダプター操作線（RS−485）	P1 :パルスメータ入力（ガス流量計、燃料流量計）（＊）
LINK1/2 :室内外操作線（HBS）	P2～P3 :パルスメータ入力（電力計）（＊）
DI1 :一括停止入力（＊）	DO1 :一括警報出力（＊）
DI2 :一括運転入力（＊）	DO2 :一括運転出力（＊）
DI3 :未使用	

（＊）インテリコンに接続するときの入出力機能

（1）電源の接続

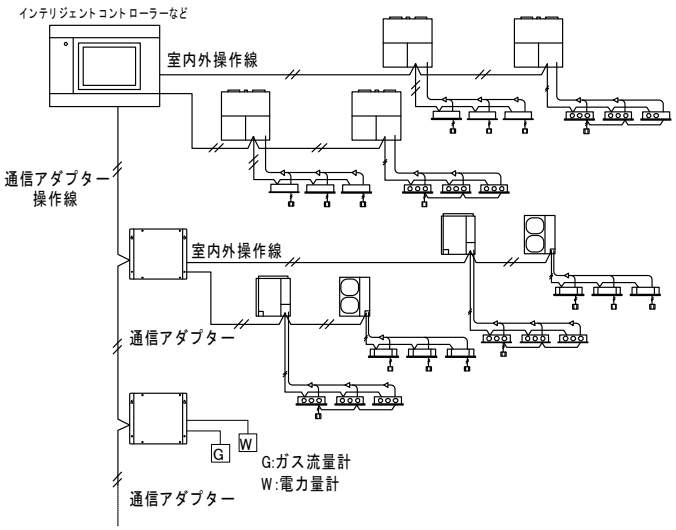
本機はAC100～240Vの範囲の電源を使用できます。
電源端子板CN1の2、3番（N、L）に接続してください。（ACのニュートラル側をNに接続）
アース線を確実に接続してください。

（2）通信線の接続

- 通信アダプター操作線は、太さ0.5～ 2.0mm ²の2芯シールド線を必ず使用してください（MVVSまたはCPEVS）
- シールドは必ず片側のみを確実にアースしてください。
- 総延長はおのおの1km以内としてください。
- 電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。（30cm以上離してください）
- LINK1配線とLINK2　配線を同一電線管に通したり、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。
- 通信配線と電源配線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください

基本配線図（インテリジェントコントローラーの場合の例）

通信アダプター操作線、室内外操作線は下図のように配線してください。



配線の手順

- 室内外操作線
  通信アダプターの信号線端子板CN2の0、1番（LINK1）と、室外または室内ユニットの室内外操作線接続端子に接続します。極性はありません。
  室内外操作線系統を2本接続する場合は、CN2の3、4番（LINK2）を使用して同様に接続します。
- 通信アダプター操作線
  通信アダプターの信号線端子板CN2の11、12番（ADAPT ＋、−）と、他の通信アダプターの同じ端子に接続します。極性がありますので、「＋」「−」を間違えないように接続してください。
  その際、必ず渡り接続としてください。
  （分岐配線は禁止です）

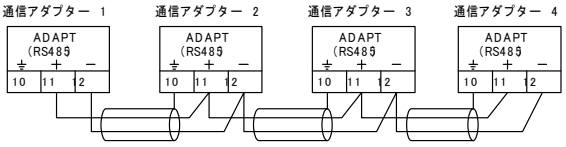
3 通信アダプター操作線の注意事項

（ 他での記述内容と 重複する項目があります）

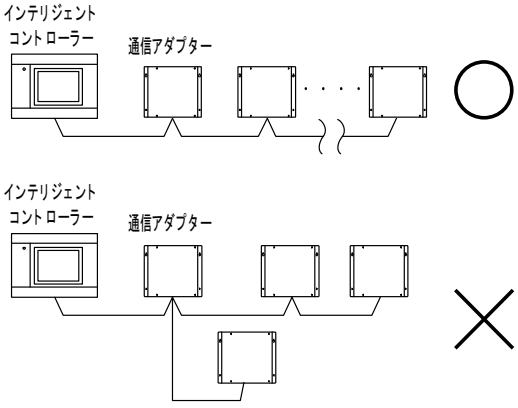
（ 1）配線の総延長は1km 以内としてく ださい。

（ 2）通信線には極性があります。「 ＋」「 －」を間違えないように接続してく ださい。

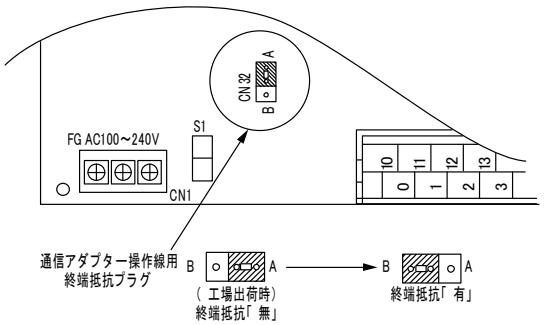
（ 3）必ずシールド 線をお使いく ださい。シールド は片側のみを確実にアースしてく ださい。



（ 4）必ず渡り配線としてく ださい。分岐配線は禁止です。
※インテリ ジェント コント ローラーは必ず渡りの端に接続してく ださい。



（ 5）渡り の両端の通信アダプター（ 2台） の基板上において、終端抵抗プラグ CN32を「 B」側（ 終端抵抗有り ）に差し 替えてく ださい。



（ 6）通信アダプターの接続台数は、最大16 台までとしてく ださい。ただし 、使用するシステム（ インテリ ジェント コント ローラー、エコスト アシステムなど ）によっては16 台未満に制限される場合がありますので、システム側の工事説明書も必ず参照してく ださい。
※インテリ ジェント コント ローラーでは最大7台です。

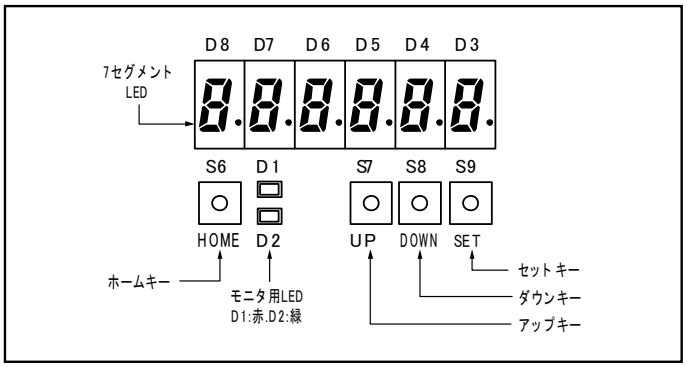
（ 7）通信アダプター操作線および室内外操作線の接続端子に、高電圧（ AC200V等 ）の配線を 接続していないか確認してく ださい。
※誤って室内外操作線の端子にAC200Vを印加した場合はヒ ューズが溶断して基板を保護しますが、場合によっては保護できないこともあります。高電圧（ AC200V等 ）配線を取り除いた後、室内外操作線の「 U2」端子の配線を 予備の端子に接続し 直してく ださい。（「 U1」端子の配線はそのまま）
予備端子は「 U2」のすぐ 隣の端子です。

端子番号1番 LINK1 -U2
→ 端子番号2番 （ LINK1 -U2）

端子番号4番 LINK2 -U2
→ 端子番号5番 （ LINK2 -U2）

4 通信アダプター基板設定方法

アダプター番号や室内外操作線接続の有／無など、各種の設定を基板上のスイッチで行います。



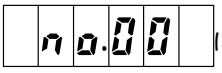
（1）スイッチ操作の概要

①項目の選択

項目選択を UP ・ DOWN キーで行い、 SET キーで選択。

②項目内容の変更

設定変更を UP ・ DOWN キーで行い、 SET キーで確定。

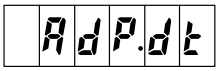
HOME キーを 2 秒以上押すと 初期状態  に戻ります。（ 設定変更途中の内容は破棄されます）

（2）アダプター番号の設定手順

① HOME キーを 2 秒以上押すと 次の表示（ 初期状態）になります。

（ no.00）

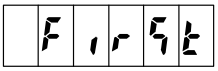
2 秒後


（ AdP.dt）

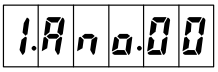
② UP キーを 5 回押すと 次の表示になります。

（ no.05）

2 秒後に次の表示に変わります。（操作は必要ありません）


（ FirSt）

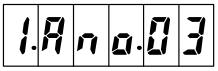
③ SET キーを 押すと 次の表示になります。（ モニタ用LED の緑のみが点灯）


（ 1.Ano.00）（ 工場出荷状態）

④ SET キーを 1 秒以上押すと「 00」 の部分が点滅して変更可能な状態となります。（ モニタ用LED の緑と 赤が点灯）

ここで UP ・ DOWN キーを使って、アダプター番号を設定します。

たとえば「 3 番」 にするときは、 UP キーを 3 回押して次の表示にします。


（ 1.Ano.03）

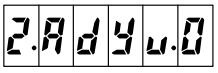
⑤確定するときは SET キーを 1 秒以上間押してください。（ モニタ用LED の緑のみが点灯になります。）

（ 3）室内外操作線接続の有／無設定

①上記「（ 2）アダプター番号の設定」 の①～③までは同じ 操作となります。この時点で次の表示になります。

（ 1.Ano.03)（ アダプター番号が3の場合）

② UP キーを1回押すと 次の表示になります。



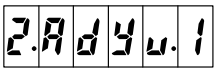
（ 2.AdYu.0)（ 工場出荷状態）

③ SET キーを1秒以上押すと「 0」の部分が点滅して変更可能な状態となります。（ モニタ用LEDの緑と赤が点灯）

ここで UP ・ DOWN キーを使って、以下にしたがって室内外操作線の接続有／無を設定します。

設定値	室内外操作線接続
0	LINK1：有り、LINK2：有り（ 工場出荷状態）
1	LINK1：有り、LINK2：無し
2	LINK1：無し、LINK2：有り
3	LINK1：無し、LINK2：無し

たとえばLINK1にのみ室内外操作線を接続した場合は、 UP キーを1回押して次の表示にします。



（ 2.AdYu.1）

④確定するときは SET キーを1秒以上押してください。（ モニタ用LEDの緑のみが点灯になります。）

（ 4）その他の設定

前記「（ 2）アダプター番号の設定」 の③の状態において、 UP ・ DOWN キーによって次表のような設定項目を選ぶことができます。必要に応じて設定を行なってください。

設定手順は同様です。

（ SET キーを1秒以上押してから UP ・ DOWN キーで変更し、 SET キーを1秒以上押して確定）

ご注意

①アダプター番号を重複しないように設定してください。
※インテリジェントコントローラーと接続する場合は、1～7の範囲です。

②「 室内外操作線の接続の有無」設定を正しく行ってください。
（ 接続の無いLINKは必ず「 無し」に設定）

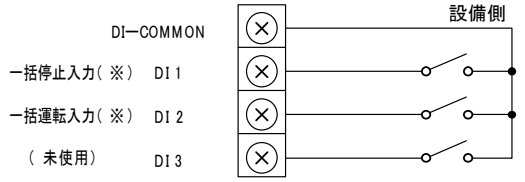
③室内外操作線を1リンクのみ接続する場合は、「 LINK1」側を使用してください。

表1　通信アダプターの設定項目

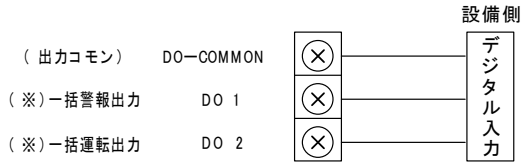
	表　示	設定項目（　網掛け　は工場出荷設定）
	1.Ano.00 （ 1.Ano.xx）	[1] アダプター番号の設定 xx＝00～15: アダプター番号 通信アダプターの番号を設定します。 インテリジェントコントローラーの場合、重複しないように1～7を設定してください。 実際に上位から通信を行う時のアドレス（リンク系統アドレス）、通信アダプター番号をnとすると、LINK1は2n、 LINK2は2n＋1となります。 たとえば、アダプター番号「2」の場合、LINK1は「4」、LINK2は「5」のアドレスとなります。
	2.AdYu.0 （ 2.AdYu.x）	[2] 室内外操作線の接続設定 x＝0: LINK1は有り、LINK2は有り x＝1: LINK1は有り、LINK2は無し x＝2: LINK1は無し、LINK2は有り x＝3: LINK1は無し、LINK2は無し 空調機を接続するLINK（室内外操作線）は「有り」、接続しないLINKは「無し」に設定します。 ※単独設置（パルスメータ専用）の場合はLINK1、2とも「無し」（x＝3）に設定します。
	3.Cont.0 （ 3.Cont.x）	[3] 親子設定 必ず0（初期値）のまま使用してください。
↑ DOWN U P ↓	4.CAn1.0 （ 4.CAn1.x）	[4] 同一リンク内の通信アダプター台数設定　1 x＝0～7 x＝0: LINK1リンク内に通信アダプター1台目 x＝1: LINK1リンク内に通信アダプター2台目 ： x＝7: LINK1リンク内に通信アダプター8台目
	5.CAn2.0 （ 5.CAn2.x）	[5] 同一リンク内の通信アダプター台数設定　2 x＝0～7 x＝0: LINK2リンク内に通信アダプター1台目 x＝1: LINK2リンク内に通信アダプター2台目 ： x＝7: LINK2リンク内に通信アダプター8台目 1つの室内外操作線に複数の通信アダプターを接続した場合、何台目の通信アダプターなのかをLINK系統ごとに設定します。
	6.PuL.10 （ 6.PUL.xx）	[6] パルス入力最小検知時間設定 x＝03:　30m sec x＝10: 100m sec 100m secより小さいパルス幅（30m sec以上）のパルスメータを接続したときは「30m sec」に設定します。
	7.LoCA.0 （ 7.LoCA.x）	[7] ローカルアダプターの接続設定 x＝0: LINK1有り、LINK2有り、 x＝1: LINK1無し、LINK2有り、 x＝2: LINK1有り、LINK2無し、 x＝3: LINK1無し、LINK2無し、 LINK系統ごとに、ローカルアダプター（オン／オフ用、通信変換用）の有無を設定します。「無」に設定しますと、ローカルアダプターの検出を行いませんから、起動が早くなります。
	8.SCAn.0 （ 8.SCAn.x）	[8] 初期通信設定 必ず0（初期値）のまま使用してください。

5 外部設備との接続

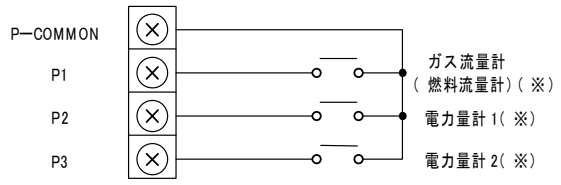
（ 1）外部一括入力(無電圧ａ接点スタティック）



（ 2）外部一括出力(無電圧ａ接点スタティック）



（ 3）パルスメータ入力(無電圧ａ接点パルス）



- 最小パルス幅 100ｍsec
- 最小パルス間隔 1sec

（ ※）インテリジェントコントローラーに接続するときの入出力機能

- それぞれの信号入力の配線長は、20m 以下としてください。この距離を超える場合は、単独に通信アダプターを設置するか、リレー受けをしてください。
- ノイズの影響を受ける恐れがある場所で使用する場合、0.5ｍｍ ² 以上の2芯シールド線(片側アース）を使用してください。
- 入力端子には外部から電圧を印加しないでください。
- 入力端子の検出のため、接点にDC5V、約10ｍＡの電圧がかかります。
- 出力端子の許容接点電圧電流はDC30V、0.5Aです。

付録Ａ．インテリジェントコントローラーに接続するとき

通信アダプターの初期設定をする前に、以下の作業が完了していることを確認してください。

①空調機の試運転が完了していますか？
②空調機と通信アダプターの配線は完了していますか？

設定作業は、以下の①～⑤順に行ってください。

①アダプターNo設定

・本設定は、必要です。
・通信アダプター操作線上でのアドレスを設定してください。
インテリジェントコントローラー内蔵基板のアドレスは0です。外付けアダプターは、重複しないように1～7 の値を設定してください。
㊍通信アダプター基板設定方法(2)アダプター番号の設定手順を参照してください。
※表1[1] 参照

②室内外操作線の接続設定

・通信アダプターを2台以上使用するとき、本設定が必要です。
・通信アダプターには2リンク接続可能です。
空調機等の接続がないリンクは、LINK無し設定にしてください。
・インテリジェントコントローラーは有効に設定された4リンクのみ接続可能です。
㊍通信アダプター基板設定方法(3)室内外操作線接続の有／無設定を参照してください。
※表1[2] 参照

③同一リンク内の通信アダプター台数設定

・新MCI（エコストア）とインテリジェントコントローラーを併用するときのみ、本設定が必要です。
・同じ室内外操作線にもう1台通信アダプターが接続されている時、2台目以降のアダプターのアドレスを変更する必要があります。
※表1[4][5] 参照

④パルス入力最小検知時間設定

・パルス入力（Ｐ1・Ｐ2・Ｐ3）を使用しないとき、本設定は必要ありません。
・通常、最小パルス幅100msec以上のパルスメータを使用してください。
やむを得ず、30msec以上のパルスメータを使用するときのみ、この設定をしてください。
※表1[6] 参照

⑤ローカルアダプターの接続設定

・ローカルアダプターを使用しないとき、構成確認時間を短縮することが可能です。
・本設定はしなくても機器の動作上、問題ありません。
※表1[7] 参照

完了！

（２２） リモートセンサー（ＣＺ－ＲＳＢ４）

●仕様

品番	CZ-RSB4
外形寸法	(高さ)120 mm ×(幅)70 mm ×(奥行)17 mm
質量	70g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
電源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接続台数	室内ユニット 最多8台

●外形寸法図

■据付

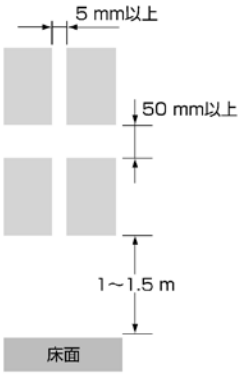
付属品

小ネジ M4 × 25(2本)	木ネジ M3.8 × 16(2本)	結束バンド(1個)
(埋込型 JISボックス用)	(露出型 壁面用)	

※リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

設置上のご注意

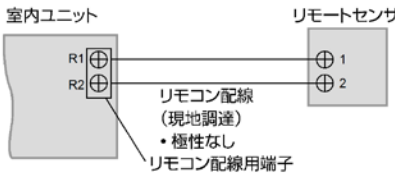
設置場所など



- 床面から1～1.5 mの高さに設置する（室内の平均的温度を感じる場所）
- 床面に対して垂直に設置する
- リモコンと並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
- 次のような場所に設置しない
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際等
  - 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側等
  - 結露するところ（防湿・防滴仕様ではないため）
  - 近くに熱源があるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
- テレビ・ラジオ・パソコンから1 m以上離す。（映像の乱れ・雑音の原因）

リモコン配線

■ **配線図**



■ **総配線長：**500 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

■ **接続可能台数**
リモコン：最多2個(リモートセンサー含む)
室内ユニット：最多8台

■ **配線の種類**

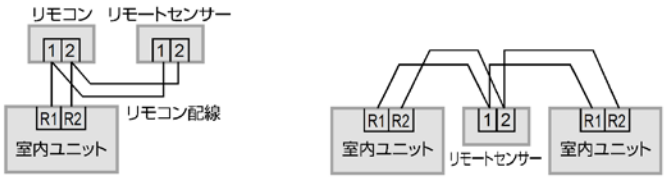
- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm²のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- シース部含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使う。
- 推奨品※(　)内：エコ電線
  - VCTF(EM-ECTF)
  - VCT(ECO120)

※エコ電線について：紫外線(日光・照明など)の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

お願い

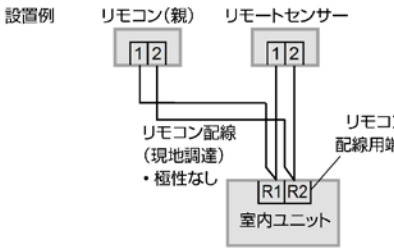
- 誤って、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しないよう、注意してください。(故障の原因)
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。(誤動作の原因)
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

※以下のような渡り配線は禁止です。

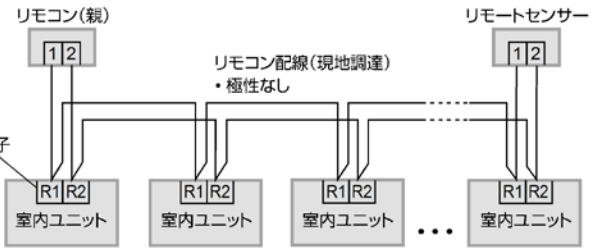


リモコンと併用される場合

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



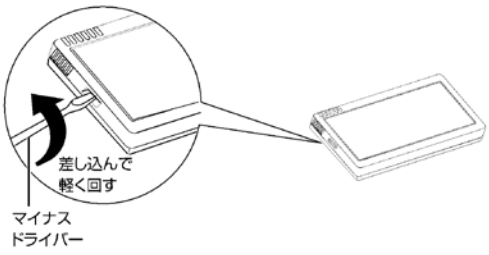
リモコンは「親リモコン」としてください。

お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンやリモートセンサーを接続しても、動作します。

取り付ける

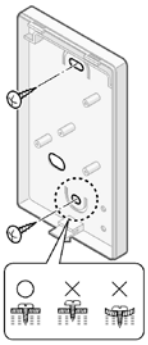
1 下ケースをはずす



お願い

下ケースを取り付けるとき
- ネジは、下ケースにあたるまで締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

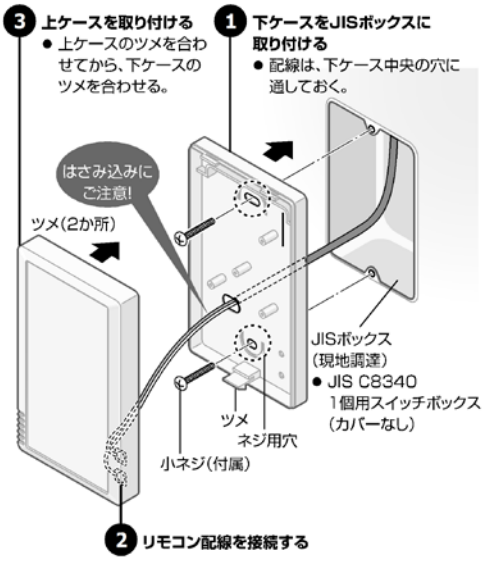
上ケースを取り付けるとき
- 手順2 ❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納しないでください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)



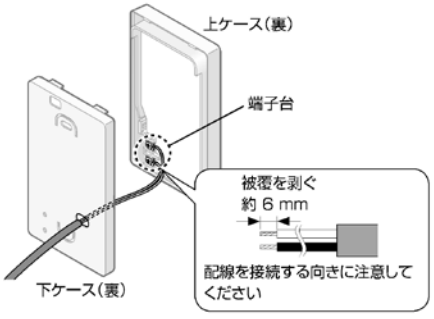
2 壁に取り付ける

埋込型の場合

- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス（現地調達）に取り付けてください。

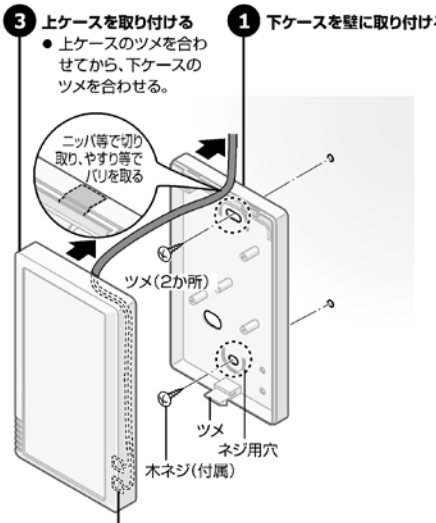


2 リモコン配線を接続する

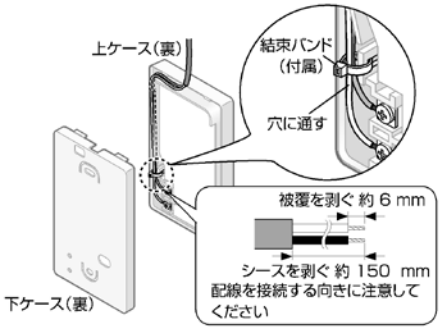


露出型の場合

- リモートセンサーが固定できる壁面に取り付けてください。



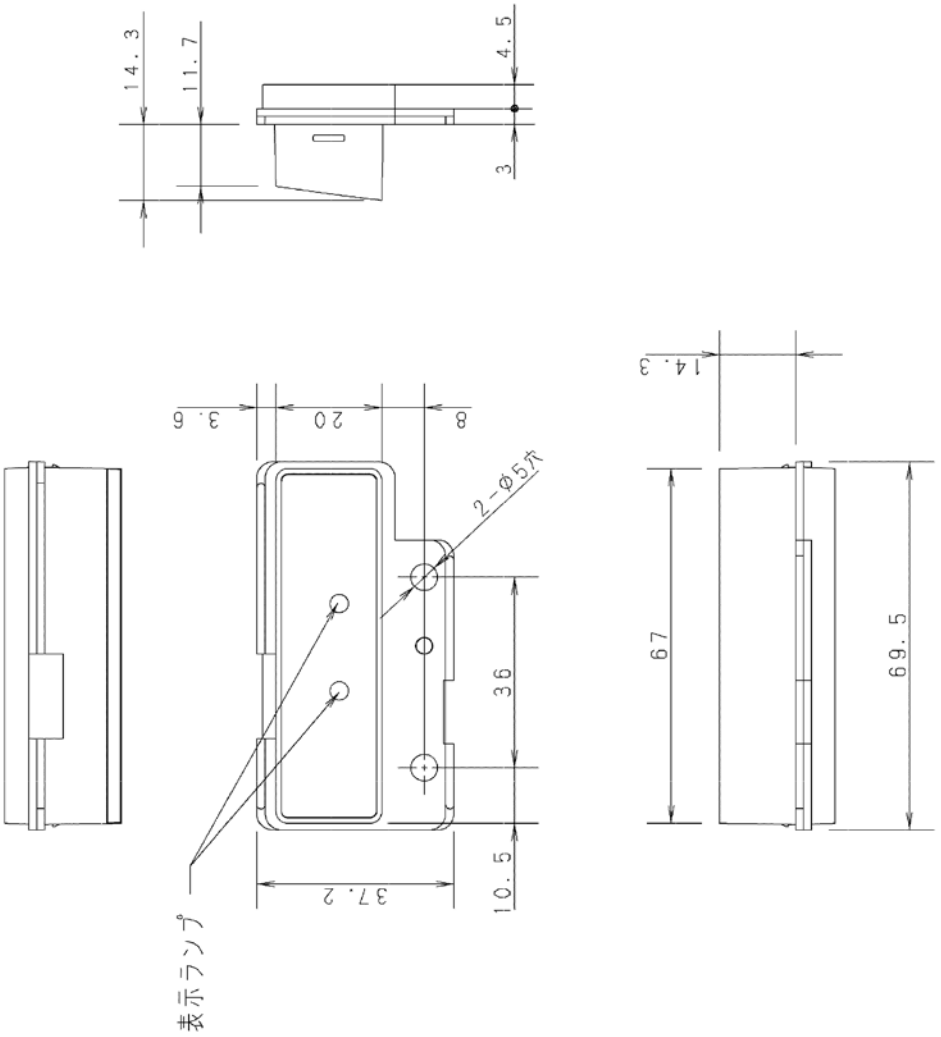
2 リモコン配線を接続する
- ケースの溝に沿って配線する



（２３）運転表示ランプキット（ＩＮＤ－ＴＨ８０Ｅ）

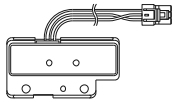
■外形寸法図

品番	IND-TH80E
外形寸法図《運転表示ランプキット》（2方向用）	



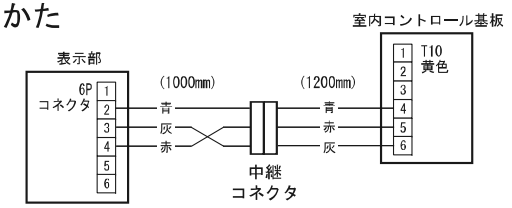
据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ

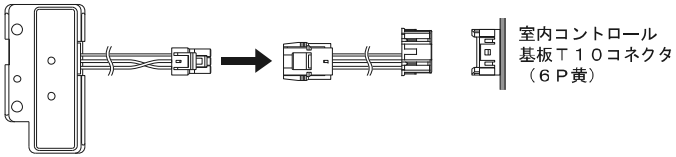
付属部品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	表示部 	1	③	クランパー（１５０mm）	2
②	中継用ワイヤー	1			

配線のしかた

●接続図



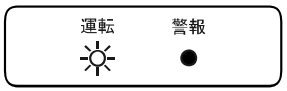


●接続方法
① 表示部を取り付けます。
② 表示部の配線に付属の中継用ワイヤーを接続します。
③ 中継用ワイヤーを室内コントロール基板のT10コネクタに接続します。
④ 配線があまった場合は付属のクランパーで結束してください。

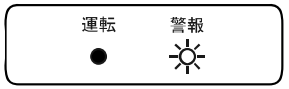
ランプ表示について

① 室内ユニットが運転状態にあるときには、常に運転ランプ（緑）が点灯します。警報が発生した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
② 警報が発生すると、警報ランプ（赤）が点灯します。ユニットが正常に復帰した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。警報の内容についてはワイヤードリモコン(別売品)に表示されます。
③ ランプがまったく点灯しない場合には、電源を切ってもう一度配線の接続をチェックしてください。

【運転状態】



【警報状態】



表示部の取り付けかた

天井パネルをはずしてから作業を行ってください。

●樹脂パネルの場合
① ビスを２本はずしてパネル裏側よりカバーＡをはずします。
矢印の箇所に爪がありますので、そこからカバーＡをはずしてください。（図１）
② 表示部の取り付け位置にカバーがついていますので、ビスを１本はずしてパネルの表側から押し込んではずします。（図２）
③ パネルに表示部をはめ込みます。６Ｐ白コネクタが奥までしっかりと接続されていることを確認してください。
④ 表示部のリード線をルーバーのシャフトに接触しないように整形します。図２の丸印の部分に配線通し用の溝がありますので、リード線がたるみがないよう溝にはめ込んでください。
⑤ カバーＡを取り付けます。このとき、図１の矢印の箇所の爪を確実にはめ込んでください。

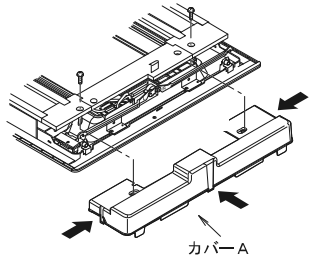


図１

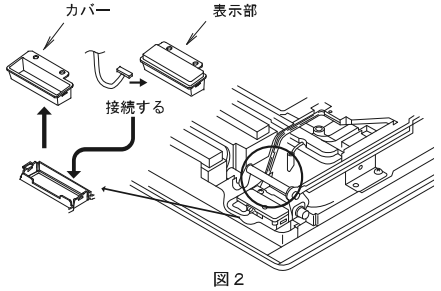


図２

●金属パネルの場合
① ビス２本をはずして、パネル裏側よりカバーＡをはずします。
② 表示部の取り付け位置にカバーがついていますので、図３の箇所を広げながらはずします。
カバーを固定しているテープは輸送保護用ですので取り除いてください。
③ パネルに表示部をはめ込みます。
④ 表示部のリード線をパネルの切り欠きを通して、板金の穴を利用してクランパーで固定します。（図４）
⑤ カバーＡを取り付けます。

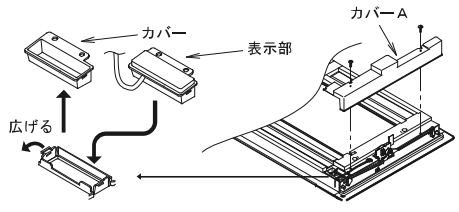


図３

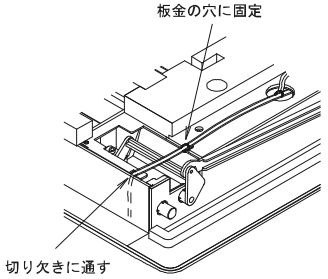
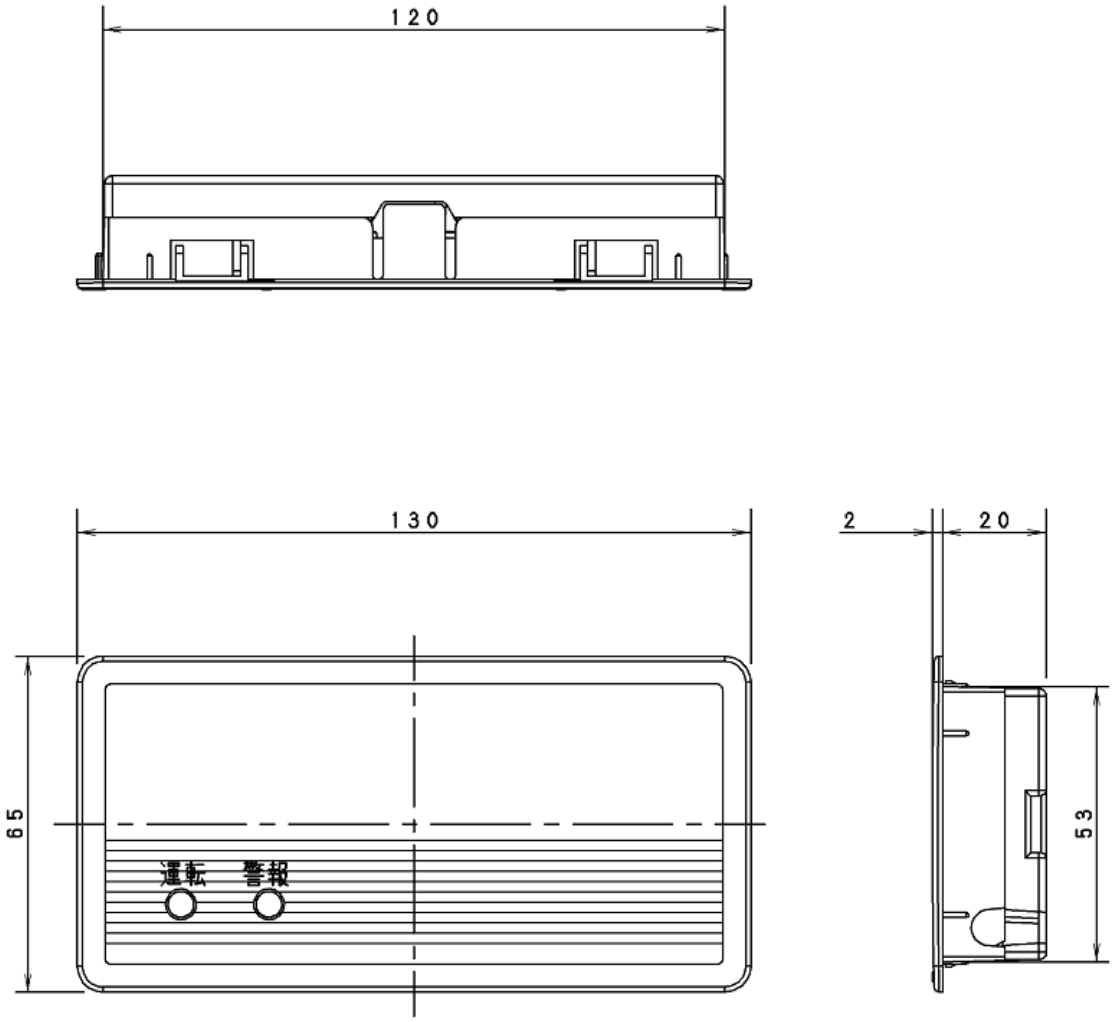


図４

運転表示ランプキット（ＣＺ－１０ＴＲＰ）

■外形寸法図



品番	CZ−10TRP	運転表示ランプキット（特注対応） 外形寸法図

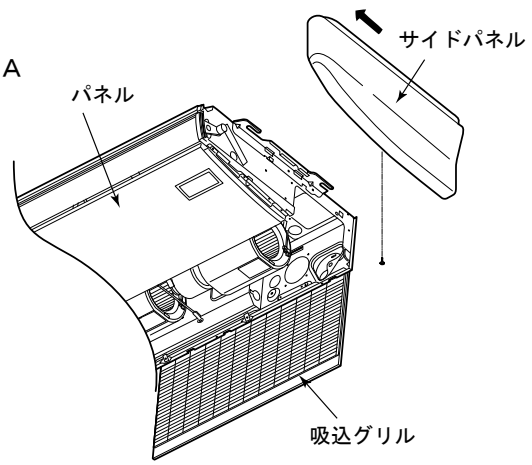
ランプ表示について

① 室内ユニットが運転状態にあるときには、常に運転ランプ（緑）が点灯します。警報が発生した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
② 警報が発生すると、警報ランプ（赤）が点灯します。ユニットが正常に復帰した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
警報の内容についてはリモコンに表示されます。
③ ランプがまったく消灯しない場合には、電源を切ってもう一度配線の接続を確認してください。

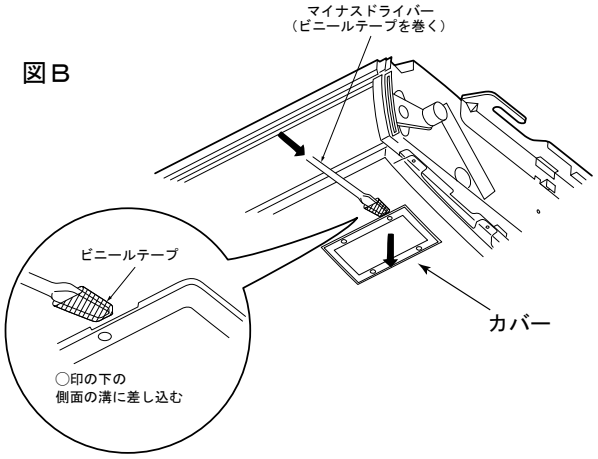
表示部の取り付けかた

① サイドパネルは吸込グリルを開き、ビス１本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。（図Ａ）
② マイナスドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下の側面の溝に差し込んで、まっすぐ押しながらはずしてください。（図Ｂ）
（過剰に力を加えすぎると、爪の破損やパネルを傷つける恐れがありますのでご注意ください。）
③ パネルにリード線を通してから表示部をパネル穴に取付けます。
（表示部の突起部がパネル穴で固定されます。）
④ 表示部のリード線は、ルーバーモーターの配線を固定しているクランパーに固定します。（図Ｃ）
⑤ サイドパネルを取付けます。
⑥ 表示部からのリード線はルーバーモーター等の配線に添わせてクランパーで固定します。（図Ｄ）
※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。
⑦ ６Ｐ黄コネクタを室内コントロール基板のＴ１０コネクタに接続します。

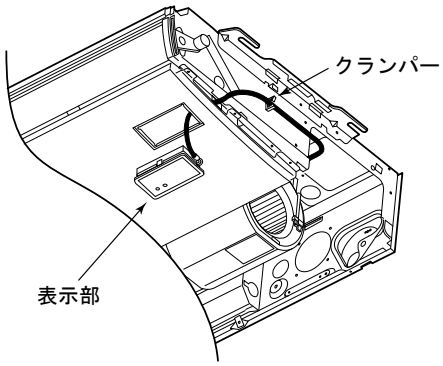
図Ａ



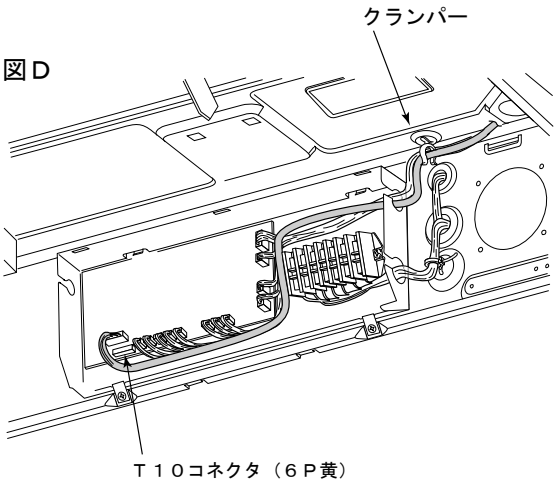
図Ｂ



図Ｃ



図Ｄ



〈注１〉表示部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

（２４）遠隔監視アダプター（ＣＺ－０１ＡＰ６０Ｂ）

●基本仕様

■監視可能空調機

監視可能空調機※1		接続可能台数		同時接続可能範囲
		室外ユニット系	室内ユニット系	
ＧＨＰ	Ｇシリーズ	室外ユニット ３０台※2	室内ユニット ６４台※3	同時接続可能※4
	Ｈシリーズ			
	Ｊシリーズ			
	Ｋシリーズ			
	Ｍシリーズ			
	Ｓシリーズ			
	Ｔシリーズ			
ローカルアダプター※5		１台※6	６４台	
混在時の接続可能台数		計３２台まで	計６４台まで	

※１・GHP：ガスヒートポンプエアコン(三洋電機株式会社製含む)
遠隔監視可能機種については、それぞれの空調機情報一覧表を参照ください。

※２・W マルチの子室外ユニットも含めます。ただし、GHP-H1 シリーズ W マルチは常に 3 台分扱いとなります。

※３・4 方向カセット 10 馬力は 2 台分に相当します。

※４・GHP 冷凍機、GHP チラーは単独での接続となります。ただし、GHP 冷凍機クーリングコイルタイプは同タイプの GHP 冷凍機とのみ複数台接続可能です。

※５・オン／オフ制御用ローカルアダプターCZ-CAP＊＊（CZ-CAPL1 など）、またはＲＡＣローカルアダプター（ＣＺ-ＣＡＰＲ１）。
ローカルアダプターは室内ユニット１ 台に相当します。

※６・ローカルアダプターが属する系統（31 系統）を示すため、ローカルアダプター全体で 1 台の室外ユニットがあるものとみなします（仮想室外ユニット）

注・ローカルアダプターの仮想室外ユニットは、ＧＨＰの室外ユニットに相当するものとして扱うため、室外ユニットの台数として数えます。

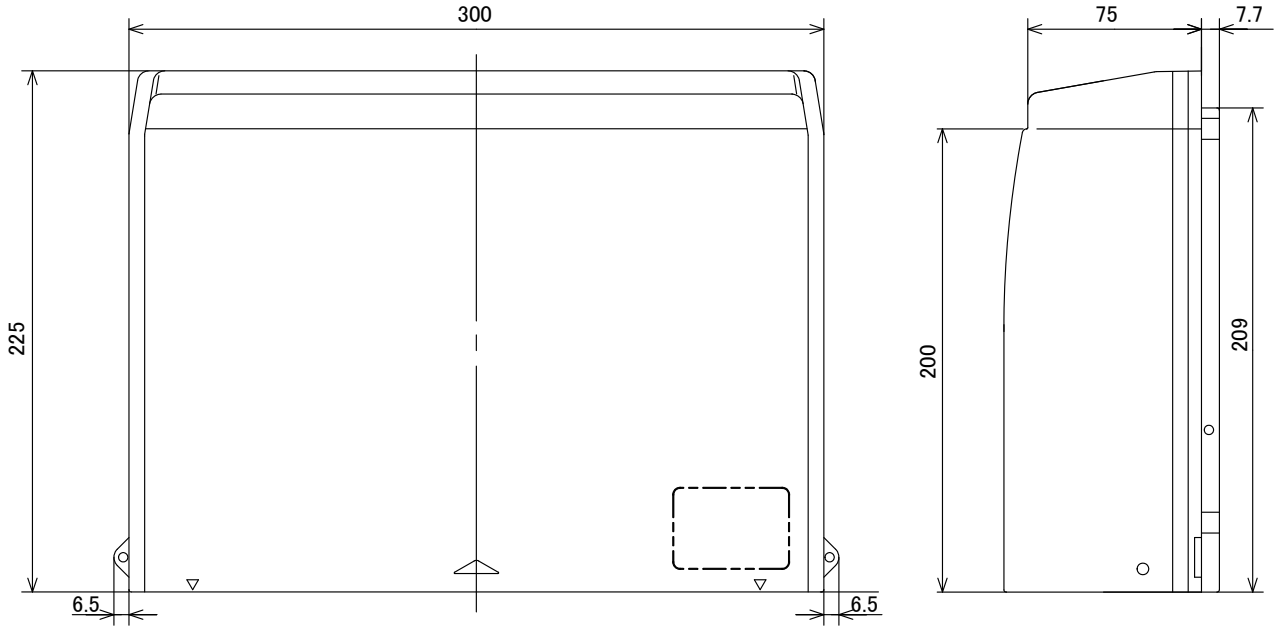
注・スマートマルチの最適制御運転では、遠隔監視アダプターはＣＺ－０１ＡＰ５０Ｂを使用してください。

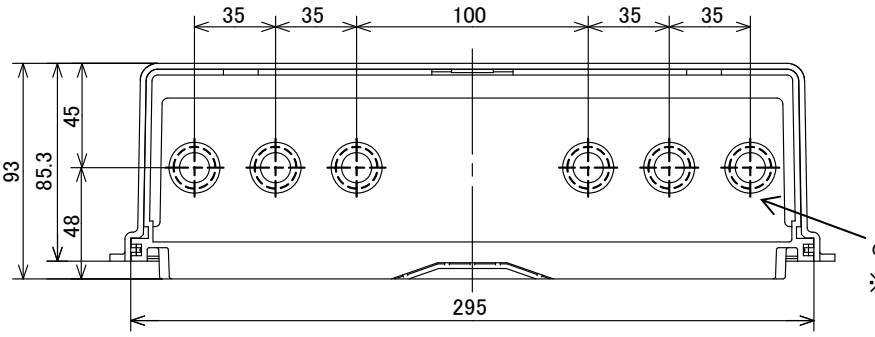
■一般仕様

		仕　　様
使用通信回線		NTT ドコモの “FOMA パケット通信” サービス
FOMA 端末	対応機種	UM01-KO 専用アダプタセット，UM01-F 専用アダプタセット UM02-KO 専用アダプタセット，UM02-F 専用アダプタセット UM03-KO 専用アダプターセット
	接続規格	RS-232 規格
	接続方式	9 ピン D-SUB コネクター（接続ケーブル付属）
	電源	本機より供給（DC5V、接続ケーブル付属）
	アンテナ	本機外部設置、ただし電波状態良好な場所では内部取り付け可能
	プロトコル	“FOMA” に準拠（PPP、TCP/IP） ※アプリケーション層はガス 3 社共通仕様
サービス端子	接続規格	RS-232 規格
	接続方式	D-SUB9 ピンコネクター（オス）
	通信速度	9600BPS 調歩同期 8 ビットデータ、偶数パリティ、1 ストップビット
	プロトコル	ガス 3 社共通仕様
	接続線長さ	最大 3m（常時接続不可）
USB サービス端子	接続規格	USB 2.0
	接続方式	USB B コネクター
	通信速度	最大 12MBPS
	プロトコル	ガス 3 社共通仕様 ※仮想シリアルポートとして動作
	接続線長さ	最大 5m（常時接続不可）
空調機接続端子	接続規格	HBS または RS-485（切り換え式）
	接続方式	ワンタッチ端子台
	監視可能台数	室外ユニット 30 台、室内ユニット 64 台（吸収式冷凍機は 8 台）
	プロトコル	独自
	接続線長さ	総延長で 1km 以内（HBS、RS-485 とも）
外部信号入力１	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス流量計接続
	配線長	30m 以内
外部信号入力２	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス電力量計接続（コジェネ監視時）
	配線長	30m 以内
外部信号入力３	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス電力量計など接続
	配線長	30m 以内
外部信号入力４	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス電力量計など接続
	配線長	30m 以内

外部信号出力1	出力方式	無電圧 a 接点（N.O）
	接点定格	DC30V ， 0.5A
	最小適用負荷	DC0.1V，0.1mA
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	使用できません（弊社独自機能として使用します）
	配線長	30m 以内
LAN ポート	接続規格	イーサネット／IEEE 802.3
	接続方式	100BASE-TX RJ-45 コネクター
	通信速度	最大 100MBPS
	プロトコル	TCP/IP など
	用途	使用できません（試験用）
	接続線長さ	最大 100m（ケーブル 100BASE-TX カテゴリ５以上）
SD カードスロット	接続規格	SD メモリーカード（SD カード）× 1 ※SD-HC メモリーカードには対応しておりません。
	接続方式	SPI モード
	最大容量	2GB
	ファイル フォーマット	FAT16 ※SD カード使用時、あらかじめパソコンでフォーマットが必要
外部センサー端末		使用できません(試験用)
予備通信端子	接続規格	RS-485
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	使用できません（予備）
	プロトコル	独自
	接続線長さ	総延長で 1km 以内
内蔵時計		年月日時分秒　月差約 1 分（1 週間以上バッテリバックアップ）
空調機情報メモリー		運転状態情報：室外ユニット 30 台＋室内ユニット 64 台分 （一次メモリー）※バッテリバックアップなし 発呼情報：（室外ユニット 30 台＋室内ユニット 64 台）×4 回分以上 ※バッテリーバックアップつき トレンド情報：室外ユニット 30 台＋室内ユニット 64 台、各 60 回分 （二次メモリー）※不揮発性メモリー（フラッシュメモリ）
設定	各種設定値	内部 EEPROM に記憶（一部はフラッシュメモリ）
	終端抵抗有無	空調機接続端子用ショートピン
		外部センサー端末接続端子用ショートピン
		予備通信端子用ショートピン
表示	動作中表示	緑 LED
	通信禁止中表示	赤 LED
	各種状態表示	6 桁 7 セグメント LED（赤）
	異常表示	赤 LED（7 セグメント LED でも表示）
	表示階層表示	緑 LED
操作部	手動発呼	押しボタンスイッチ
	通信禁止	押しボタンスイッチ
	表示・設定	HOME キー、UP キー、DOWN キー、SET キー（各押しボタンスイッチ）
電源		単相 AC100～240V 50/60Hz
消費電力		約 10W（FOMA 端末含む）
動作温度・湿度		－20℃ ～ ＋50℃　・　25% ～ 85%（結露ないこと）
設置場所		屋外または屋内の垂直面
取り付け方法		壁面取り付け（ビス止め）
寸法		縦 225mm×横 300mm×奥行 93mm（突起部除く）
重量		約 1.5kg（FOMA 端末、アンテナ含まず）

■外形図



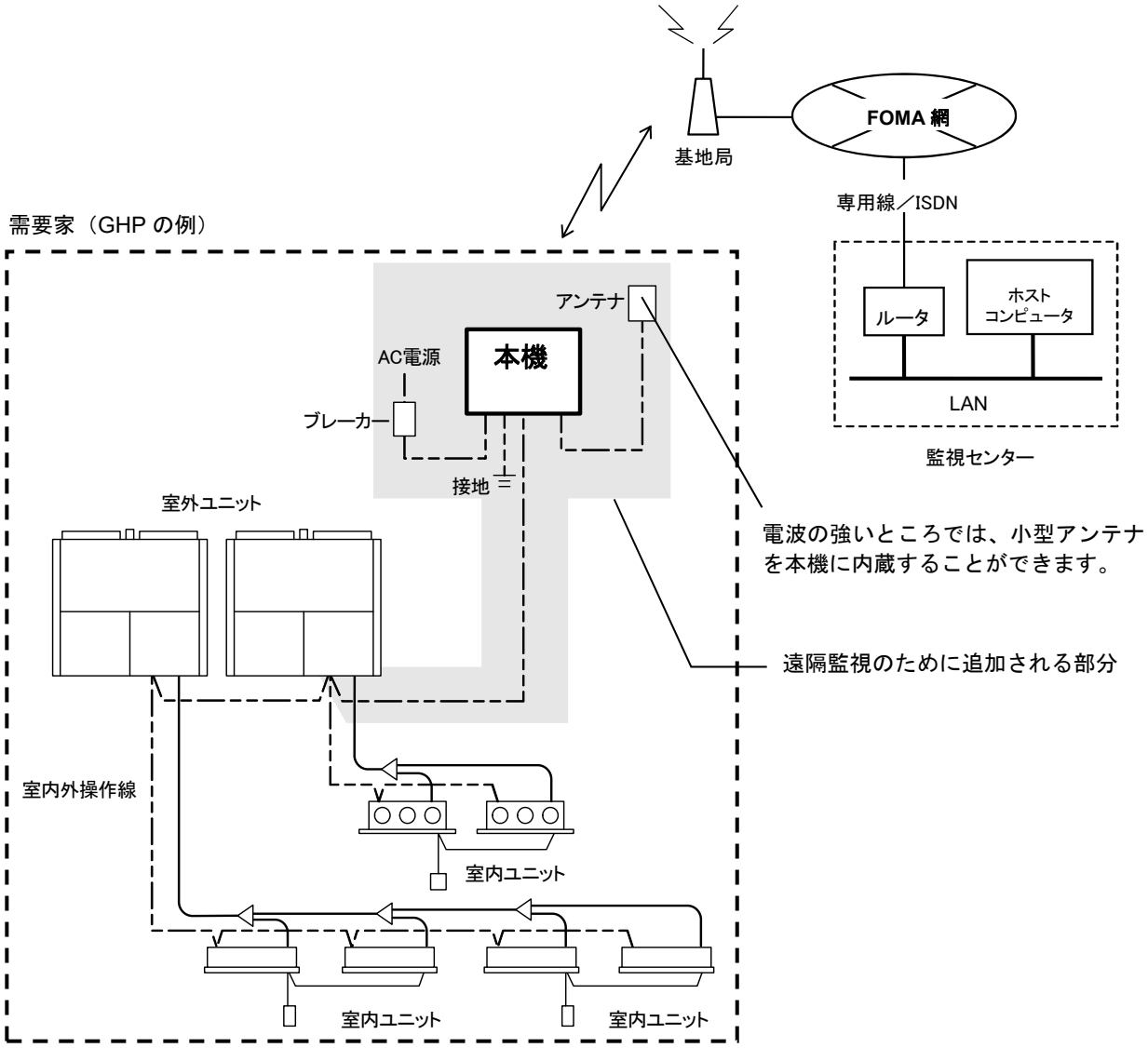


PC+ABS 樹脂
色：ホワイトグレー（N8.5）

φ18（φ12）膜付きグロメット×６
※（　）内はグロメット穴径

●システムの構成

■システム構成図



●システムの特長・変更点

目的	顧客サービス、メンテナンス業務の効率化、技術情報の収集等
使用通信回線	NTT ドコモの “FOMA パケット通信” サービスによる無線通信
対応 FOMA 端末※1	UM01-KO 専用アダプター，UM01-F 専用アダプター UM02-KO 専用アダプター，UM02-F 専用アダプター UM03-KO 専用アダプター
設置可能地域	“FOMA”のサービス地域、かつ電波到達場所
監視対象の空調機器※2	GHP，PAC，コジェネ等、弊社指定の空調機器
通信手順	ガス三社共通仕様 ＋ 弊社独自仕様
主な機能	空調機器の異常監視、運転データ収集、遠隔制御等

※１・FOMA 端末は現地手配品です。

※２・便宜上、コジェネも空調機器としています（以降同じ）。

●据付要領

（１）設置場所

■屋内または屋外に設置します。ただし、屋外の場合は直射日光が長時間当たらないように取り付けてください。

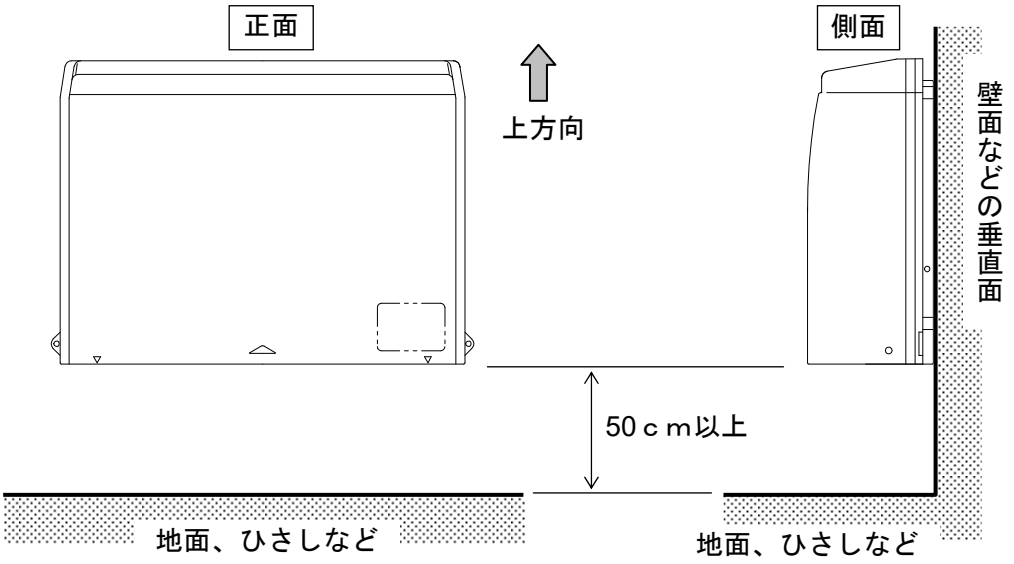
※吸収式冷凍機Ｖシリーズは、工場出荷時に本機が取付けられています。

■ケースを開閉するために、上下にスペースが必要です。

■設置場所にかかわらず、下図に示す方向に取り付けてください。上下を逆にしたり、横向きにしたりして取り付けないでください。

■下図に示すように、地面から（ひさしなどが出ている場合はそこから）高さ 50cm 以上の位置に取り付けてください。

高さ 50cm を確保できない場合は、配線引き込み口にコーキング剤をつめて、防水処理を施してください。（コーキング剤は現地手配でお願いします）



■次のところには設置できません

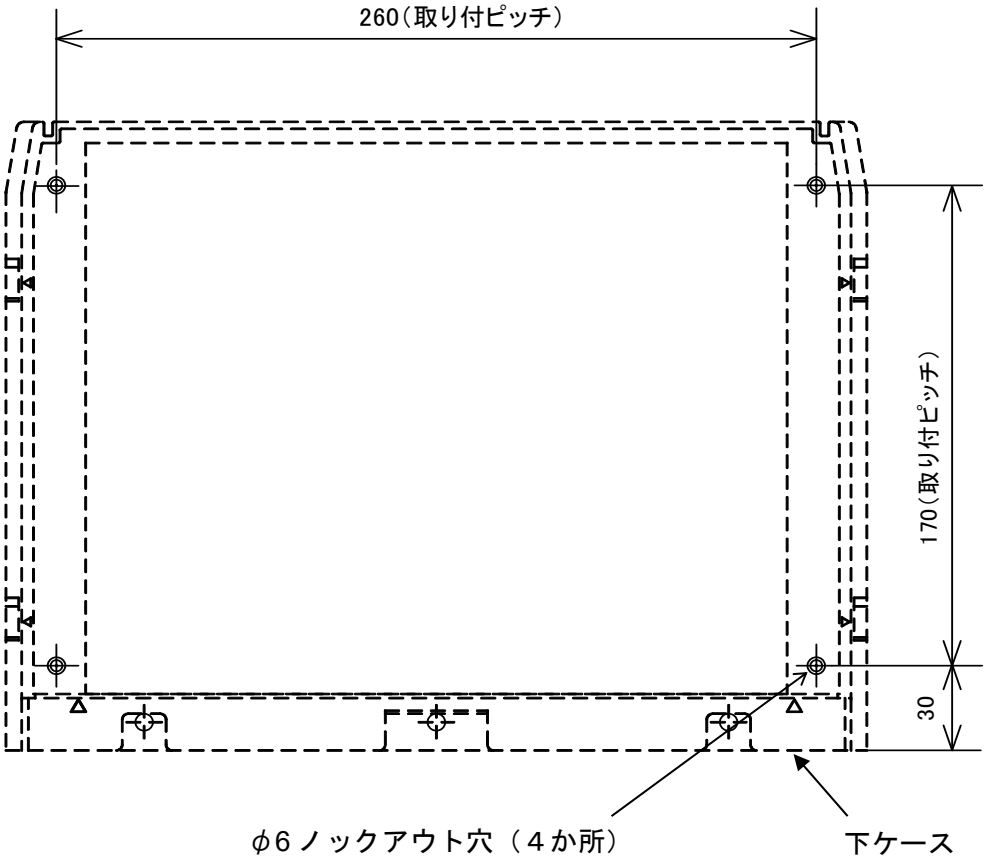
・低温（－20℃以下）になるところや高温（＋50℃以上）になるところ
・湿度の高い（85%以上）ところ
・ノイズ（電気､電磁､静電など）を発生する機器や動力線の近く
・過度に振動するところ
・可燃性ガスが漏れる恐れのあるところ
・海浜地区など、塩分が多いところ
・温泉地帯など、硫化ガスが多いところ
・水や油（機械油含む）、有機溶剤などの飛散や蒸気が多いところ
・電圧変動が多いところ
・FOMA パケット通信サービス用の電波が届かないところ
・病院内など、電波の発信が規制されているところ

■配線引き込み口から虫などの侵入が予想される場合は、配線引き込み口の隙間にコーキング剤をつめてください。（コーキング剤は現地手配でお願いします）

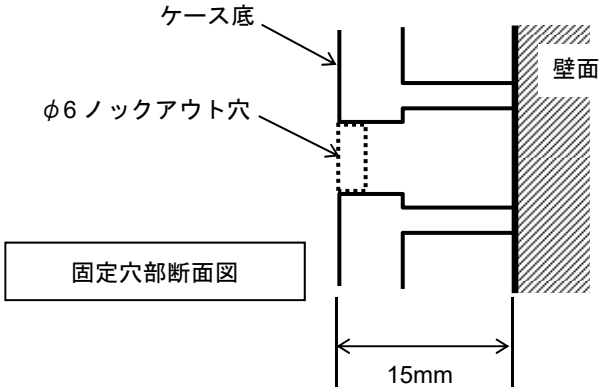
■FOMA 用の電波ができるだけ強い位置および方向に設置してください。電波の強さは FOMA 端末の LED 表示やドコモ製携帯電話の電波強さ表示を参考にしてください。（NTT ドコモに測定を依頼することも可能です）

（２）取り付け

1）取り付け寸法図

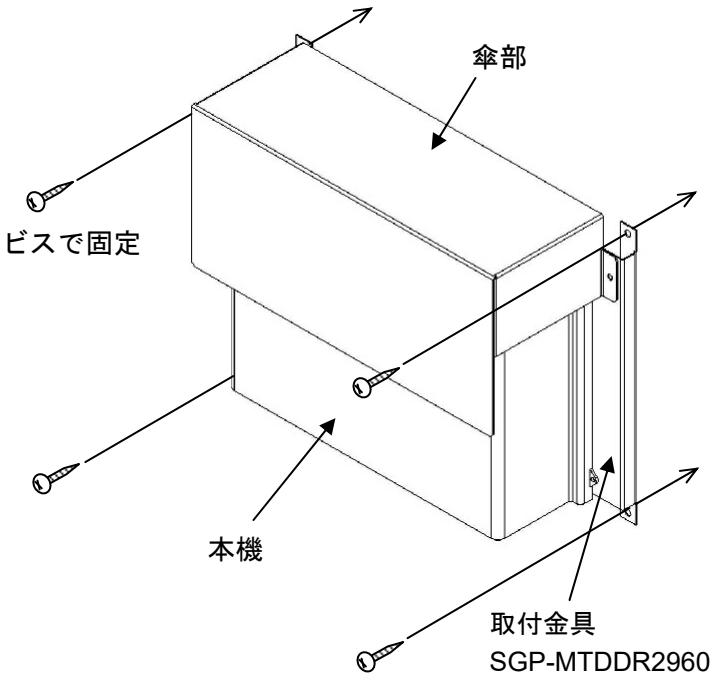


・上図に示す向きに、壁面等に取り付けてください。
・ノックアウト穴はプラスドライバ等を当てて打ち抜いてくださ。
・固定穴部分（ノックアウト穴部分）の壁面からの高さは、右図のように 15mm あります。
この寸法で固定できるビスをご用意ください。本機重量約 1.5kg（FOMA 端末別）。
・屋内または屋外に設置できます。屋外の場合、直射日光等により高温にならない場所に設置してください。
・固定穴などから水が浸入する恐れがある場合は、コーキング剤を詰めてください。

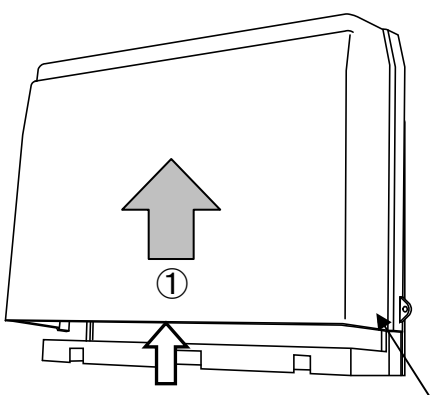


2）取付金具を使用する場合

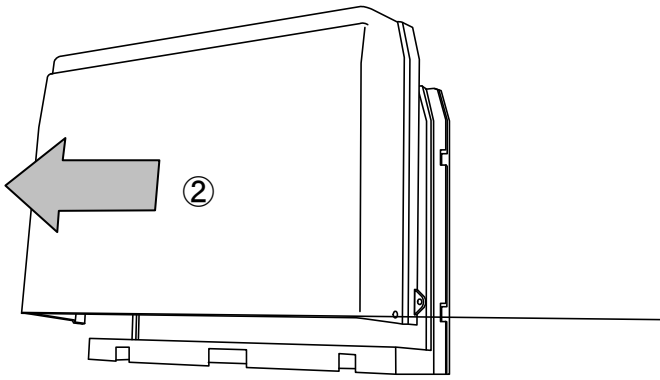
①取付金具をビスで取り付けます。
②本機を取付金具に取り付けます。
③本機に必要な設定を行います。
④傘部を取り付けます。



3）ケースの開け方



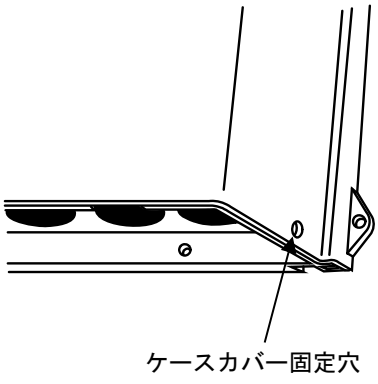
上ケース中央を押し上げます



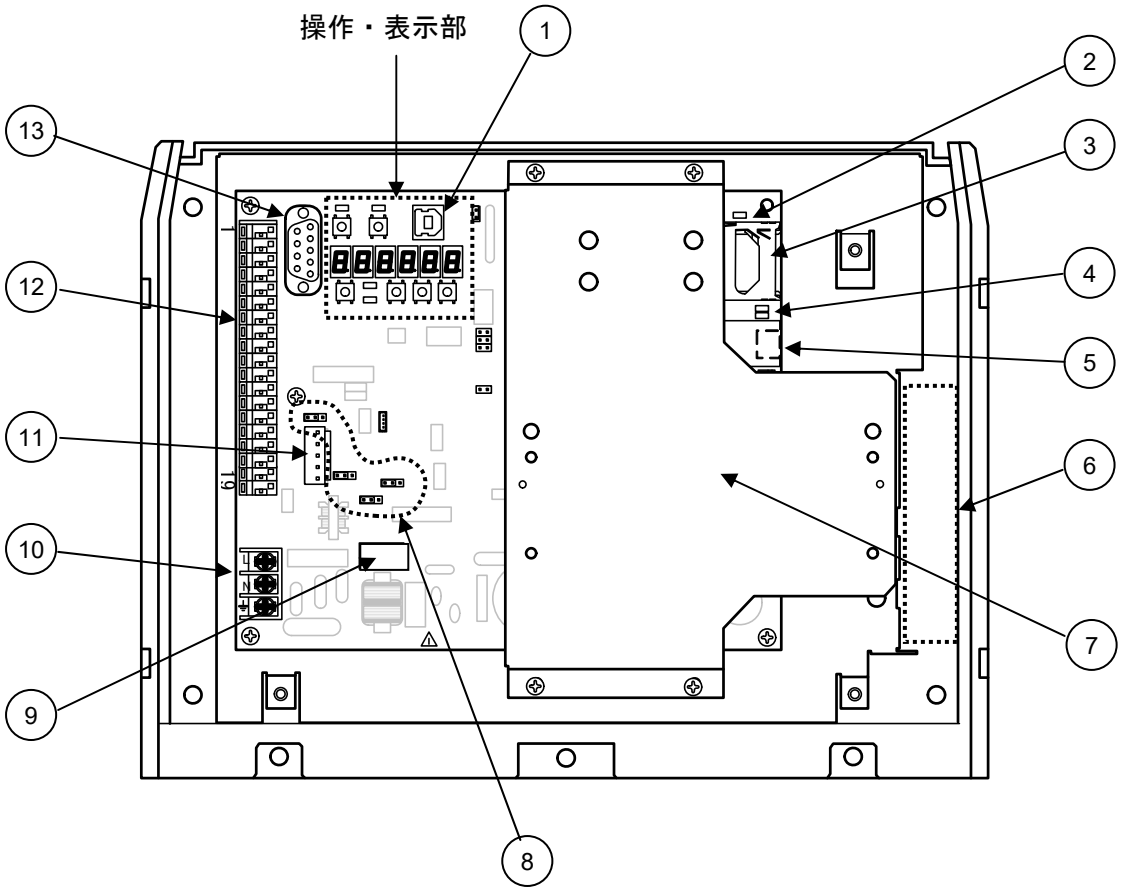
カバーに封印がある場合は、封印を解除してください。

4）ケースカバーの封印

・全ての設置作業終了後に、カバーの脱落やいたずら あるいは感電事故など防止のため、右図に示す固定穴を付属のビスで封印してください。
・小型の南京錠などを使えば、さらに厳重な保護になります。



●各部の名称



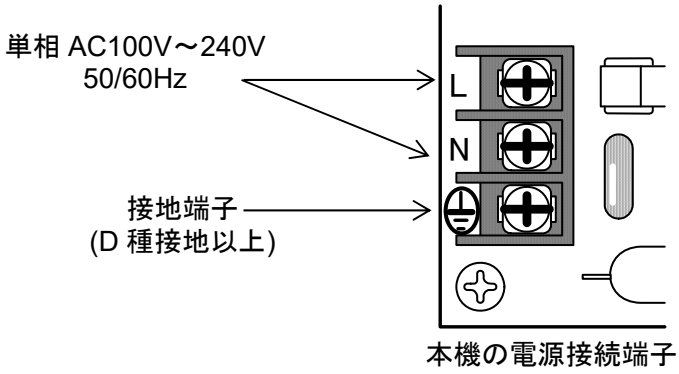
１．USB サービス端子（Bコネクター）
２．SD カードアクセス表示 LED
３．SD カードスロット
４．LAN アクセス表示 LED
５．LAN ポート（イーサネット端子）
６．FOMA 小型アンテナ取り付け位置（両面テープまたは結束バンドで固定）
７．FOMA 通信端末取り付け位置
８．ショートピン（JP5～JP8）
９．電源スイッチ（右側を押し込んで ON）
１０．電源接続端子
１１．外部 I/O 端末（外部センサー）接続コネクター
１２．各信号接続端子台
１３．サービス端子（RS-232 DSUB-9 ピンオス）

備考１：図は接続用配線が省略されています。
備考２：図は FOMA 端末を取り付けていない状態です。

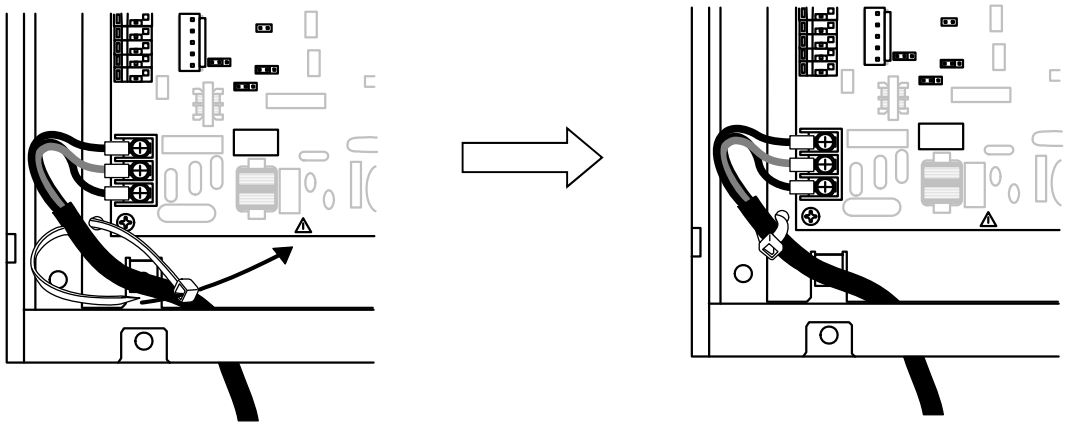
●接続要領

①電源の接続方法

・単相 100V～240V（50/60Hz）を、端子台 CN9 の L，N に接続してください。



・消費電力：約 10W（FOMA 端末含む）
・必ずブレーカーを使用してください。（現地手配）
・太さ 0.75mm^2 以上の電線を使用してください。（現地手配）
・必ず接地してください。（D 種接地以上）
・付属の結束バンドで配線を下図のように固定してください。
※結束後、余分なバンドは切除してください。



注・指定の電源以外は接続しないでください。故障の原因になる場合があります。

②ワンタッチ端子の接続方法

1）接続方法

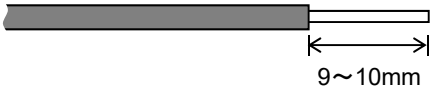
電線の先端の被覆を約 10mm 剥き､端子台の押さえボタンを押しながら挿入口に奥まで差し込みます。
押さえボタンから手を離すと電線がロックされます。
電線を軽く手で引っ張って、完全にロックされていることを確認してください。

2）使用上の注意

・使用可能電線　　：単線 0.3mm^2～2.0mm^2,　<u>※より線は棒端子併用を推奨します</u>

注・使用する端子によって異なるので詳細は「③空調機の接続方法」（次項）を参照してください。

・電線被覆剥きしろ　　：9～10mm



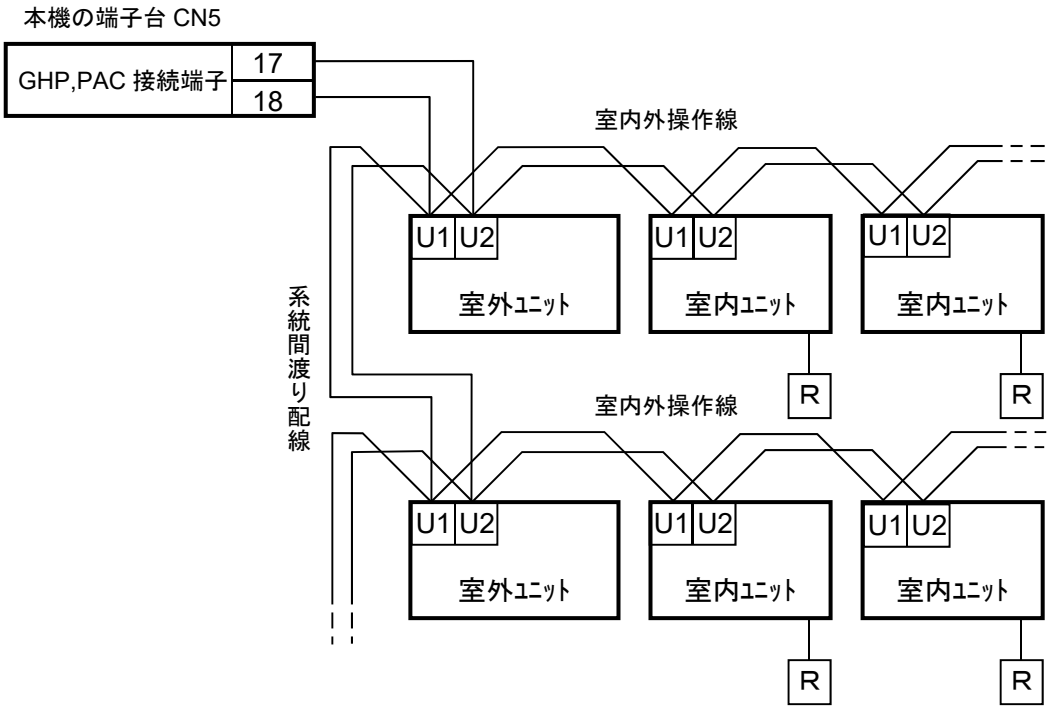
・電線により線を使用する場合で棒端子を使用しない場合は、確実に端子に挿入されてロックされていることを確認してください。
・１つの電線挿入口には１本の電線を挿入してください。２本以上挿入するとロックが不完全となるので行わないでください。

3）電線の分岐方法について

ワンタッチ端子台には１本の電線しか接続できません。
２本以上接続する必要がある場合は、外部に端子台を用意して端子台で分岐するか、圧着またはハンダ付けにより分岐してください。
分岐箇所に水滴が着いたりして断線や絶縁不良が発生しないように絶縁テープで覆うなどの処理をしてください。
電線の分岐は、電装ボックス内などの雨の当たらないところに収めるようにしてください。

③空調機の接続方法

1）GHP，PAC



・室外ユニット、室内ユニットの接続端子番号は機種により異なる場合があります。

・GHP，PAC 接続端子に極性はありません。

・ケーブルは 0.5mm^2～2.0mm^2 次のような電線を使用してください。（現地手配）

CVV	制御用ビニル絶縁シースケーブル
VCTF	ビニルキャプタイヤ丸型コード
VCT	600V ビニルキャプタイヤケーブル
VVR	ビニル絶縁シースケーブル丸型
MVVS	編組シールドつき計装用ケーブル
CPEVS	シールドつきポリエチレン絶縁シースケーブル

・シールドつきケーブルを使用する場合は、シールドの片側のみ F・G（接地）端子に接続してください。

・終端抵抗は、通常室外ユニット側に設定されているため本機側で入れる必要はありません。本機側で入れる必要がある場合はショートピン JP5 を ON 側にしてください。

JP5

OFF ▯▯▯ ON ←終端抵抗なしの状態

OFF ▯▯▯ ON ←終端抵抗ありの状態

・室内外操作線の配線は下記の規定に従ってください。（GHP，PAC の室内外操作線の規定に準拠）

(1)分岐点数が１６箇所以内であること（配線長１m 以内は分岐に含めない）

(2)３分岐以上に分岐しないこと（いわゆるスター配線の禁止）

(3)分岐と分岐の距離は２m 以上必要

(4)分岐した先で分岐しないこと（バス方式では支線からの分岐を禁止）

(5)ループを形成しないこと

(6)配線の合計距離は１km 以内

(7)シールド線を使う場合は、片側のみ接地

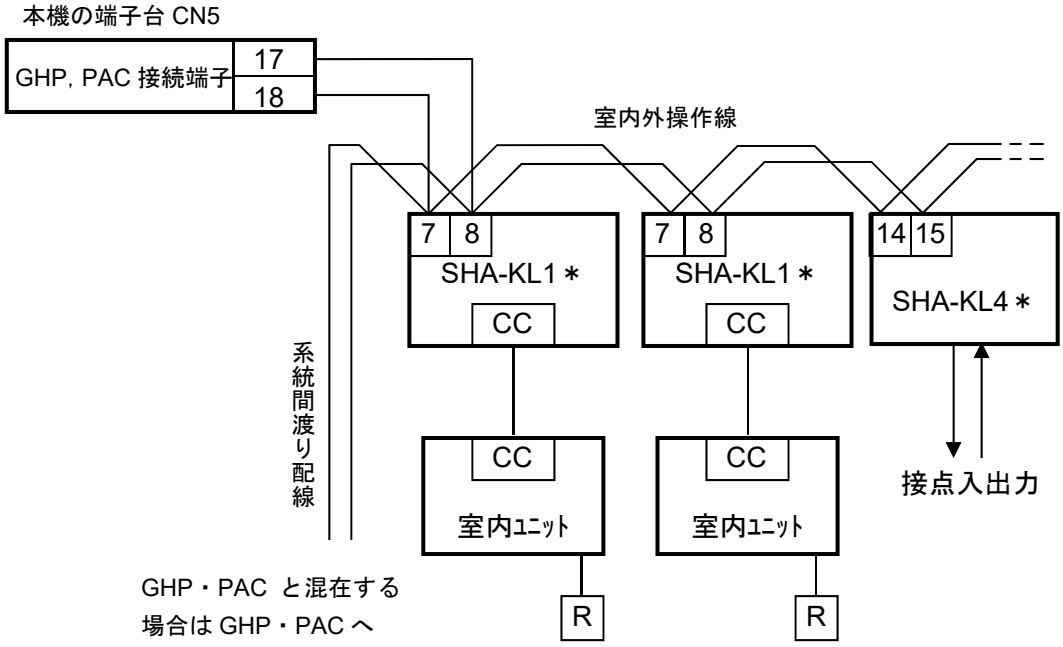
(8)パナソニック（三洋電機）製空調機用電源線との隔離距離は 50mm 以上､その他の動力線との隔離距離は 300mm 以上

(9)前記隔離距離が確保できない場合は、どちらかを鉄製の電線管に入れること

(10)多芯ケーブルを使って通信と電源を混在させたり、複数の通信を混在させたりしないこと

注・同一電線管に電源線と室内外操作線を入れないでください。
やむをえない場合は､通信線に MVVS を使って可能な限り短い（50m 以下、状況により異なる場合あり）配線にしてください。

２）ローカルアダプター



・ケーブルの種類､接続条件等は GHP・PAC と同じです。

・終端抵抗は、GHP・PAC と接続がない場合、本機あるいはローカルアダプターのどれか 1 台に入れる必要があります。本機側で入れる場合はショートピン JP5 を ON 側にしてください。

JP5

OFF ▯▯▯ ON ←終端抵抗なしの状態

OFF ▯▯▯ ON ←終端抵抗ありの状態

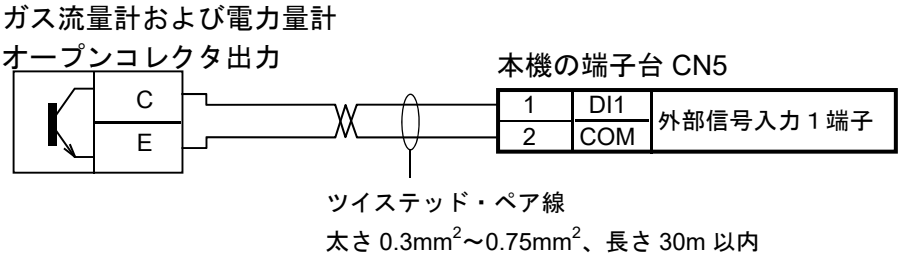
・ローカルアダプターは仮想の 31 系統に属する室内ユニットとみなします。ローカルアダプターを監視する場合は、31 系統の仮想室外ユニットが 1 台存在するものとして動作しますのでご注意ください。

なお、仮想室外ユニットには情報が存在しません（運転中のみ存在）。

④ガス流量計・電力量計の接続

・ガス流量計および電力量計の接続は任意です。

・ガス流量計および電力量計の接続方法。



※上図は外部信号入力１端子を接続した場合の図です。

※外部信号入力２～４端子も同様の接続方法です

・端子台 CN5 の外部信号入力１端子（１，２番）にガス流量パルスを入力します。

・端子台 CN5 の外部信号入力２端子（３，４番）に電力量パルスを入力します。

・端子台 CN5 の外部信号入力３端子（５，６番）は予備入力とします。

・端子台 CN5 の外部信号入力４端子（７，８番）は予備入力とします。

・外部信号入力１・２端子共に、オープンコレクタまたは無電圧接点を接続してください。
１番・3 番・5 番・7 番がコレクタ側です。

・図はオープンコレクタ出力の場合です。無電圧接点の場合、極性はありません。

・0.3mm²～0.75mm² 一対の、ツイステッドペアケーブルを使用してください。（現地手配）

・配線長 30m 以内。

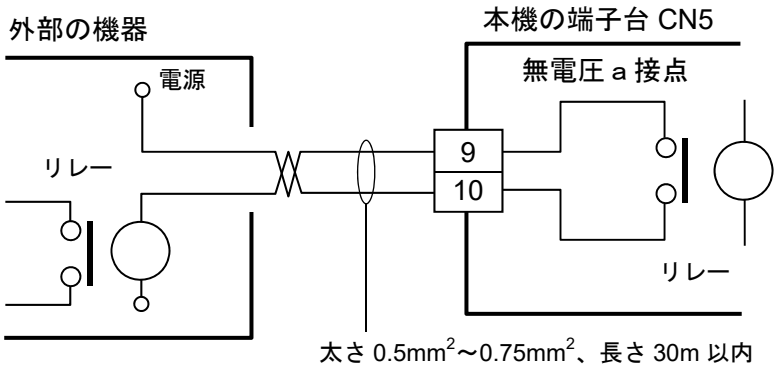
・動力線あるいはノイズの原因となる配線等と併走しないようにしてください。

注１・電力量パルスの測定は、コジェネまたはハイパワーエクセル形GHP 監視時に使用可能です。

注２・ガス流量計、電力量計共に、出力パルス幅は ON/OFF 共に 50mS 以上必要です。

⑤外部信号出力

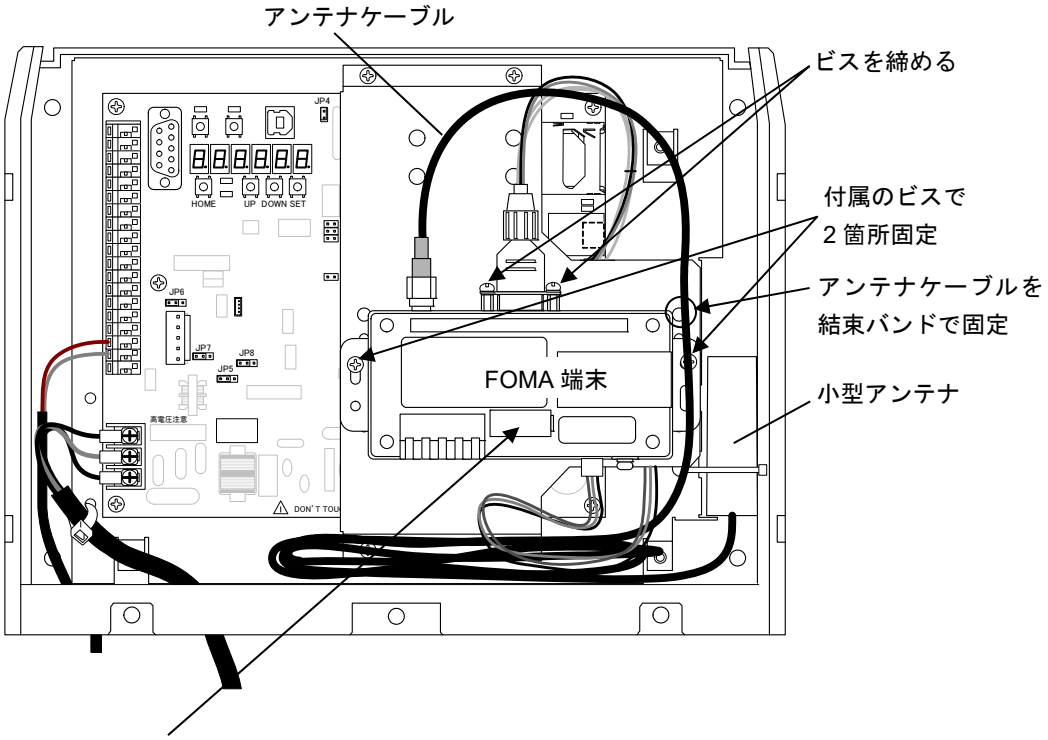
・外部信号出力を使用する場合は、下図のように配線してください。
※下図の外部の機器は一例です。



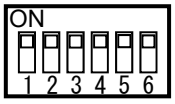
接続例

・端子台 CN5 の外部信号出力（９，１０番）
・接点許容電流･電圧　DC30V，0.5A。
・最小適用負荷　DC0.1V，0.1mA
・使用可能電線　太さ 0.5mm²～0.75mm²
・配線長 30m 以内。

⑥FOMA 端末の取り付け方法



※FOMA 端末の DIP スイッチを必ず下記のように設定してください（フタの内部）。



FOMA 端末の DIP スイッチ設定
※通信速度 19200BPS（9600BPS の設定でも使用可能です）

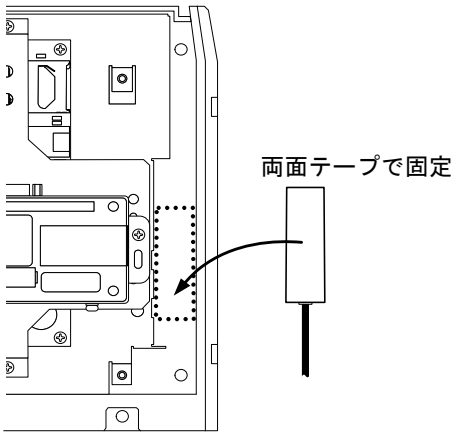
※使用する FOMA 端末の説明書も参照してください。

※UM03-KO 端末を使用する場合とその他の端末を使用する場合で、端末サイズ及び
使用する電源コネクタが異なりますので、説明書を参照してください。

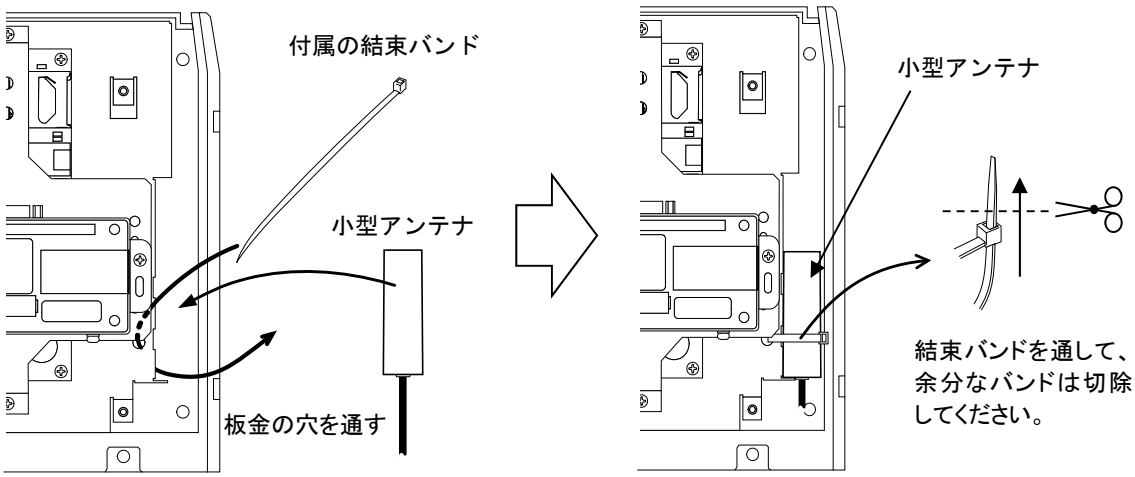
注１・RS-232 コネクターはビスで固定してください。
注２・FOMA 端末のアース端子は使用しないでください。
注３・アンテナケーブルは結束バンドで固定してください。

⑦小型アンテナの取り付け

1）小型アンテナを本機内部に取り付ける場合はアンテナに付属の両面テープで固定してください。

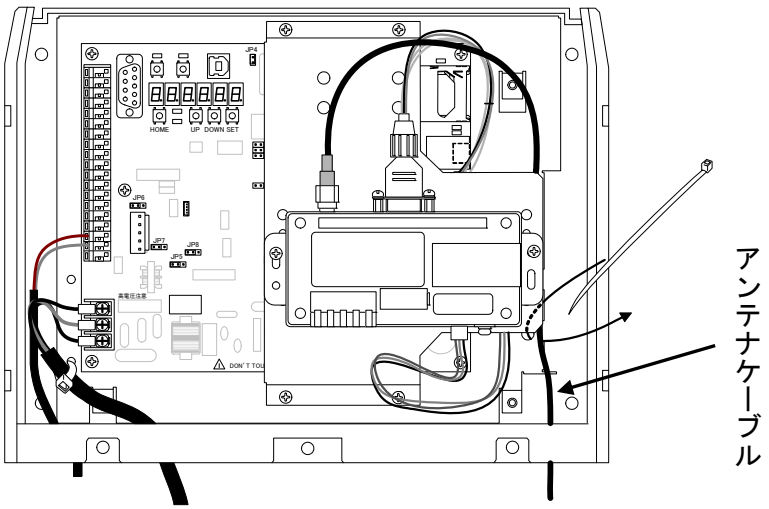


※付属の結束バンドで取り付ける場合



・電波の弱い所では、アンテナを外部に取り付けてください。
・アンテナを外部に取り付ける場合、防滴ケースに入れる等の処理が必要な場合があります。

2）小型アンテナを本機外部に取り付ける場合は下図のように付属の結束バンドでアンテナケーブルを固定してください。※結束後、余分なバンドは切除してください。



●GHP・PAC 接続時の注意事項

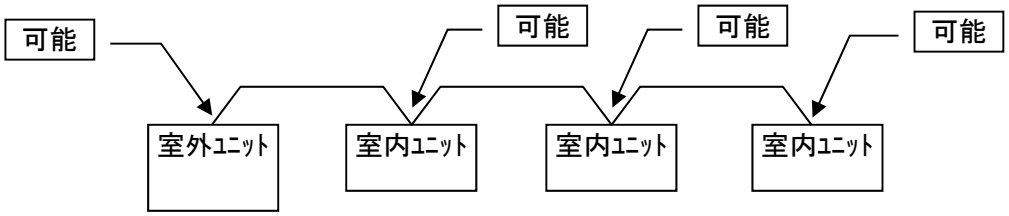
※コジェネ、ローカルアダプターも GHP・PAC の規定に準じます。

①接続可能ポイント

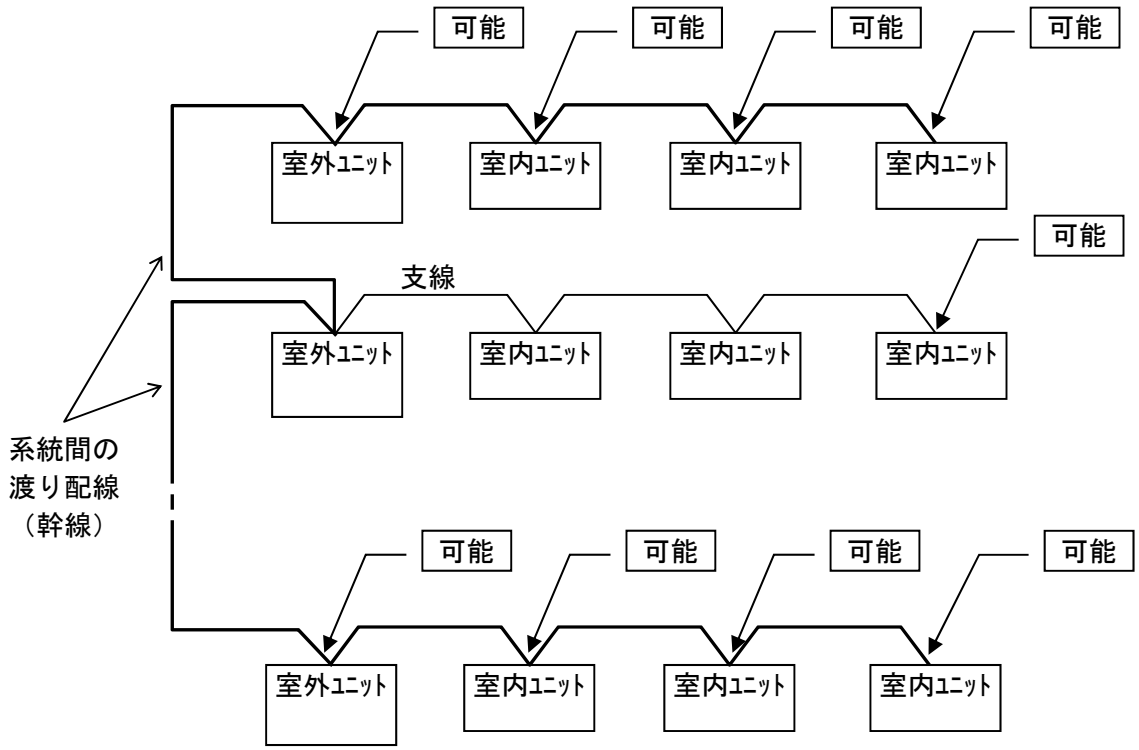
注１・“可能”と記されている端子以外での接続は禁止です。

注２・下記において、同一リンク（室内外配線）内に複数の「可能」個所があっても、必ずしも複数台の遠隔監視装置が接続できるという意味ではありません。
また、分岐個所が 16 箇所を越えることはできません。

1）1 系統の場合



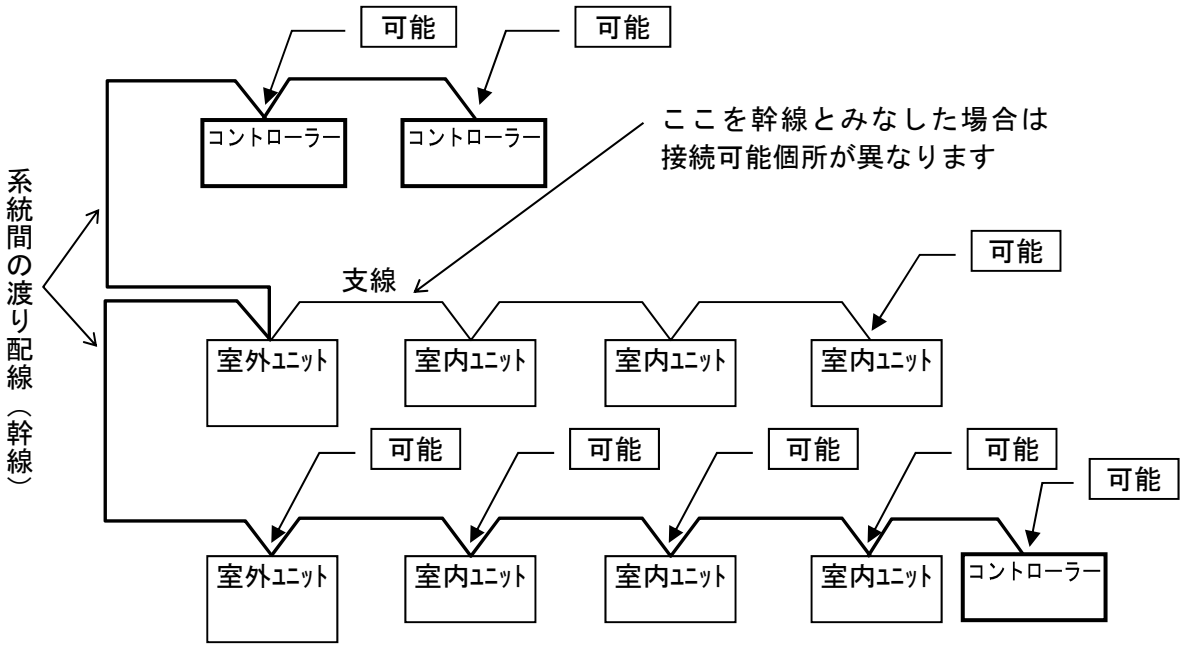
2）複数系統の場合



■下記のどれかの場所に接続できます
・通信線の繋ぎ込みが 1 本の端子
・上図に太線で示す配線（幹線）上で、通信線の繋ぎ込みが 2 本以下の端子

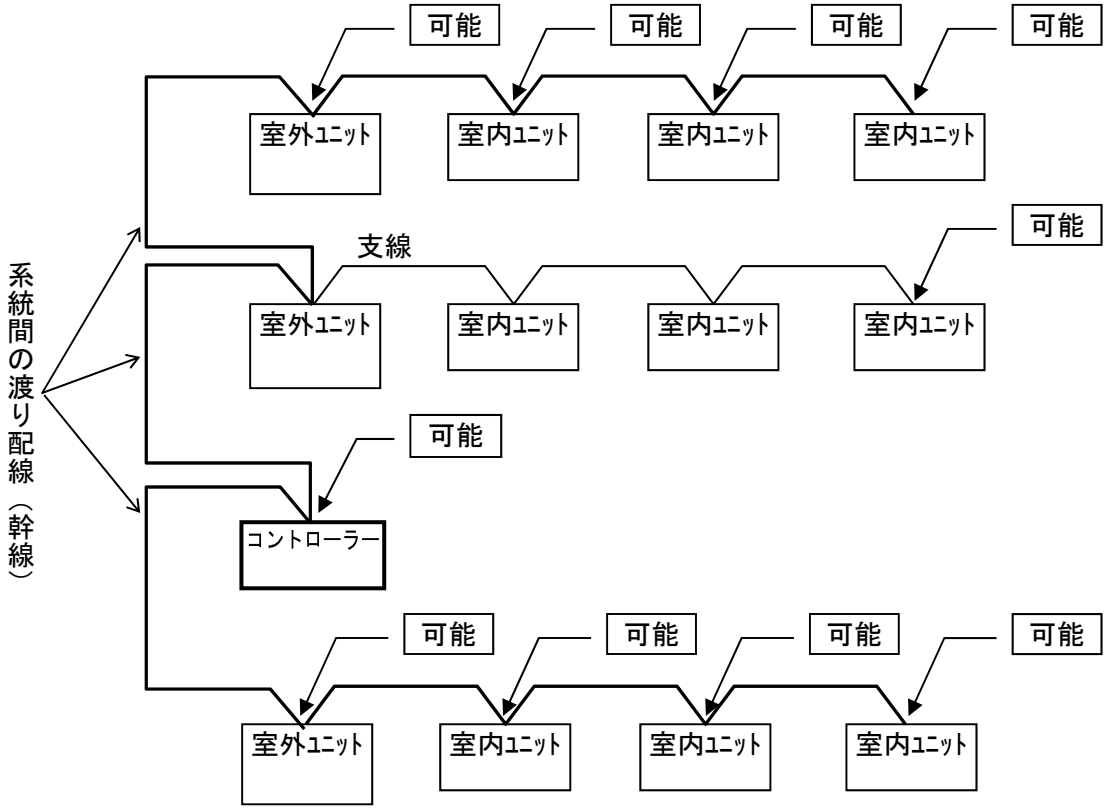
■系統間渡り配線が無く、各系統が独立している場合は各系統のアドレスを再設定し、系統間渡り配線を追加する必要があります（ ②その他の注意点 2）独立している複数の系統を監視する場合は系統間渡り配線が必要です」参照）。

3）末端にコントローラーなどが接続されている場合



■下記のどれかの場所に接続できます
- 通信線の繋ぎ込みが 1 本の端子
- 上図に太線で示す配線（幹線）上で、通信線の繋ぎ込みが 2 本以下の端子

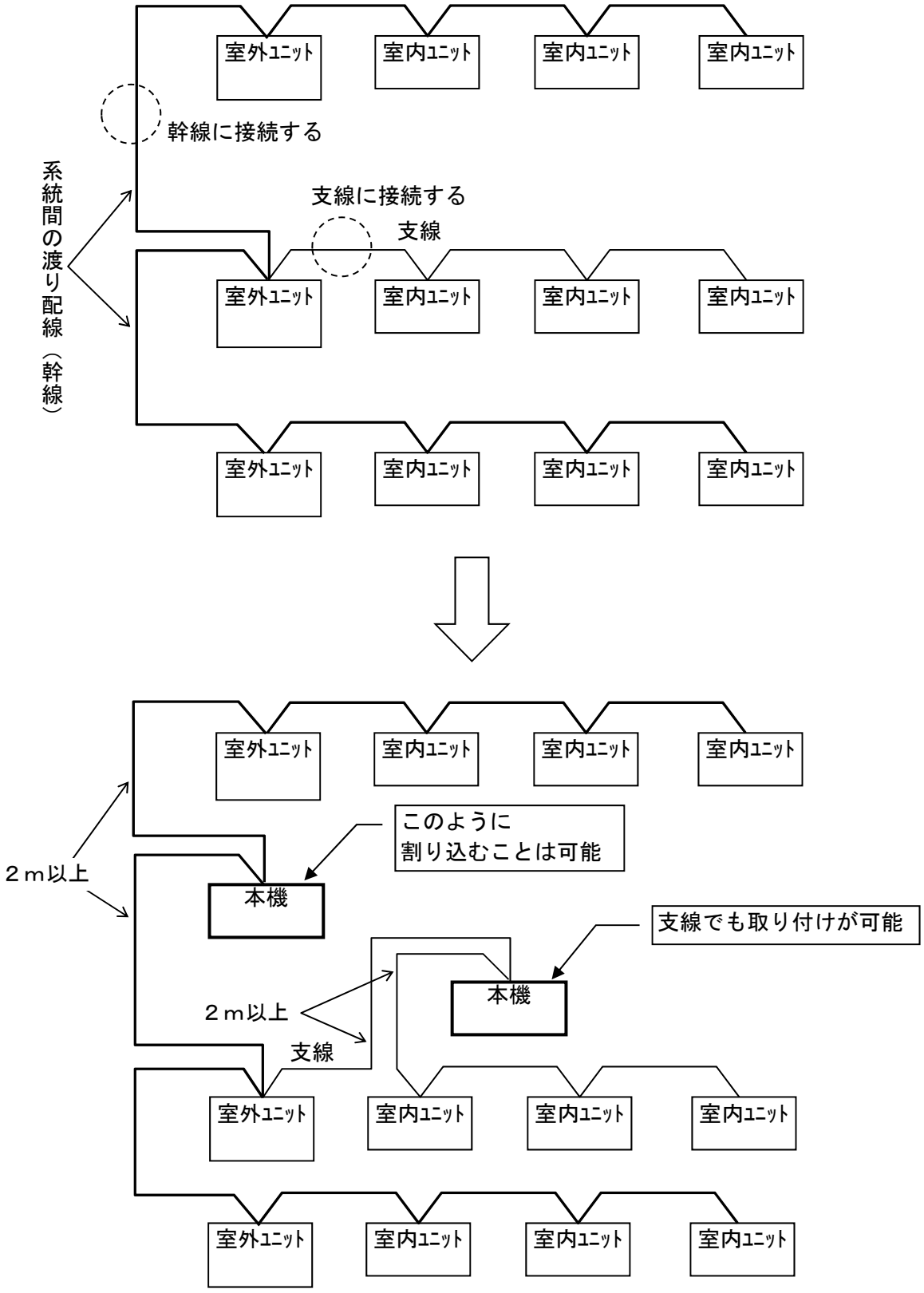
4）渡り配線の途中にコントローラーなどが接続されている場合



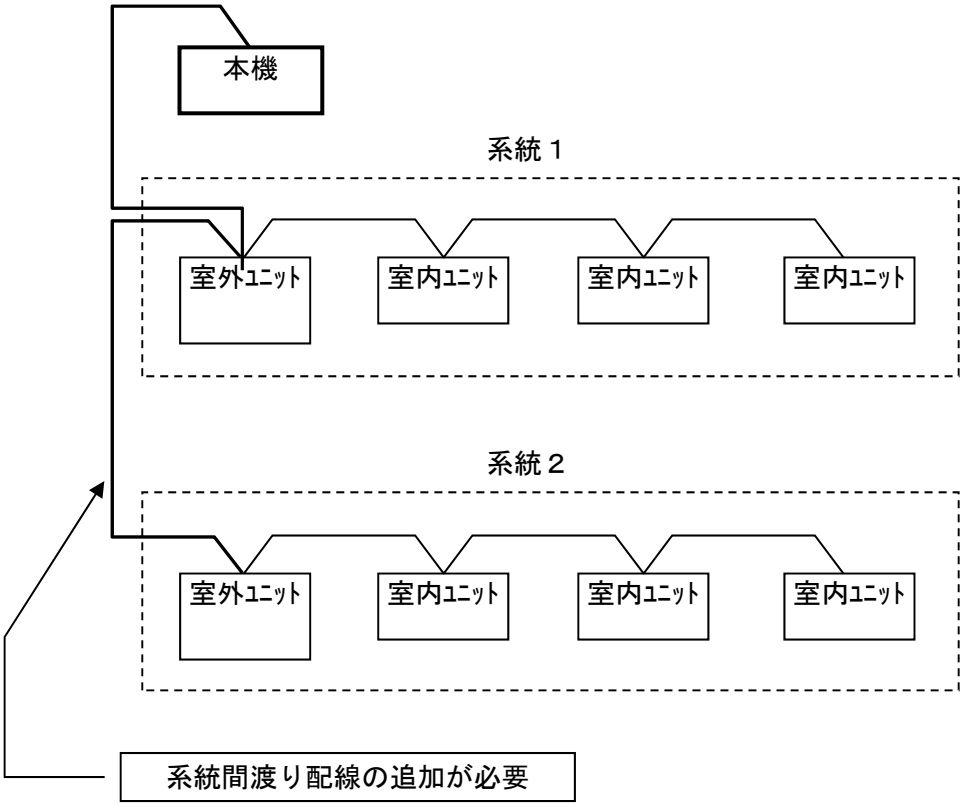
■下記のどれかの場所に接続できます
- 通信線の繋ぎ込みが 1 本の端子
- 上図に太線で示す配線（幹線）上で、通信線の繋ぎ込みが 2 本以下の端子

②その他の注意点

1）配線の途中に割り込んで接続する方法は基本的にどこでも可能です。



2）独立している複数の系統を監視する場合は系統間渡り配線が必要です

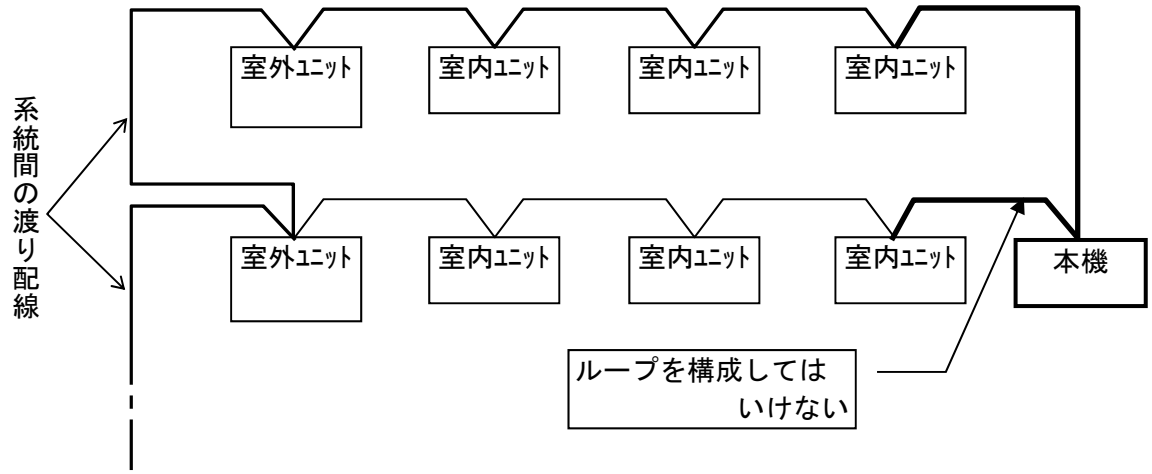


■遠隔監視装置を接続する配線のほかに、系統間の渡り配線を追加する必要があります。図の太線部分。
■異なる系統で同じアドレスの室外ユニットがある場合は、再アドレス設定または自動アドレスを行ってアドレスが重複しないようにしなければなりません。
■配線は GHP，PAC の室内外操作線の規定に準じて行ってください。
■系統間の渡り配線を行った結果、その配線内の合計台数が室外ユニット 30 台、室内ユニット 64 台以内でなければなりません（4 方向カセット 10 馬力は 2 台分に相当）。

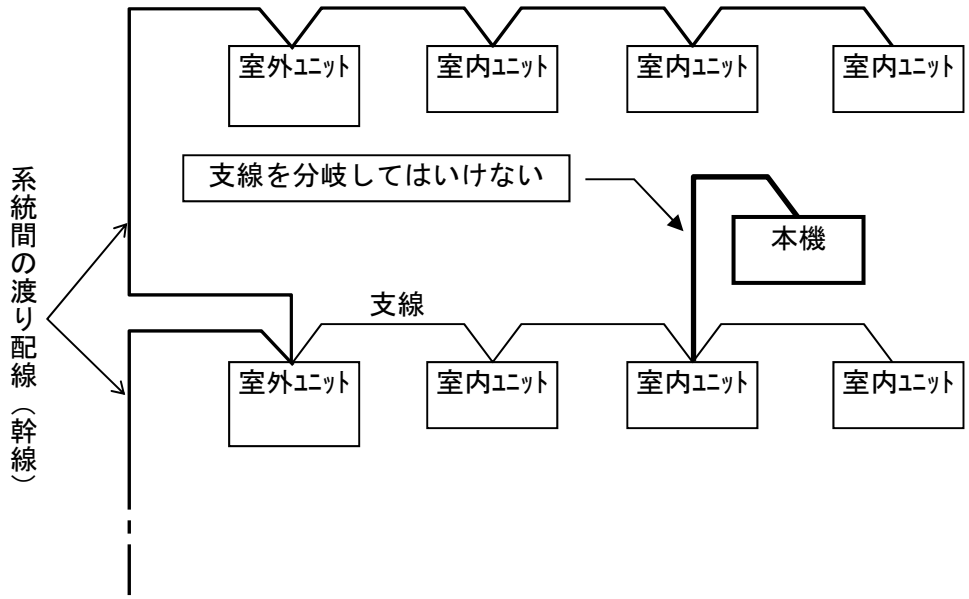
注・系統間の渡り配線を行った結果、その配線内の合計台数が遠隔監視装置で監視できる台数以内でなければ、それを越える部分は無視され監視できません。

③接続時の禁止事項

1）ループ配線の禁止

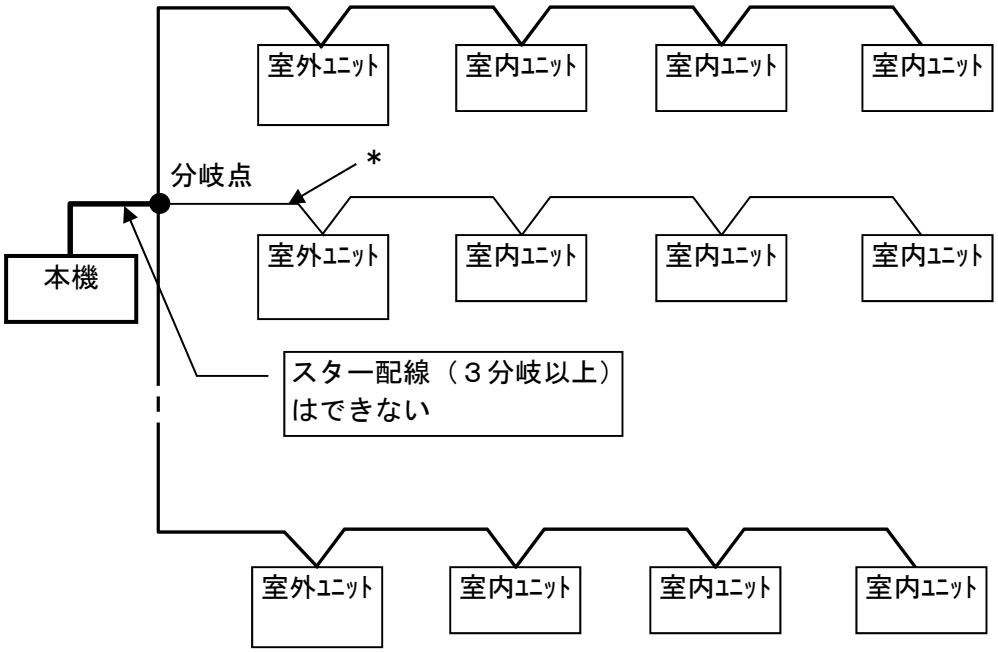


2）分岐の分岐（支線の分岐）の禁止



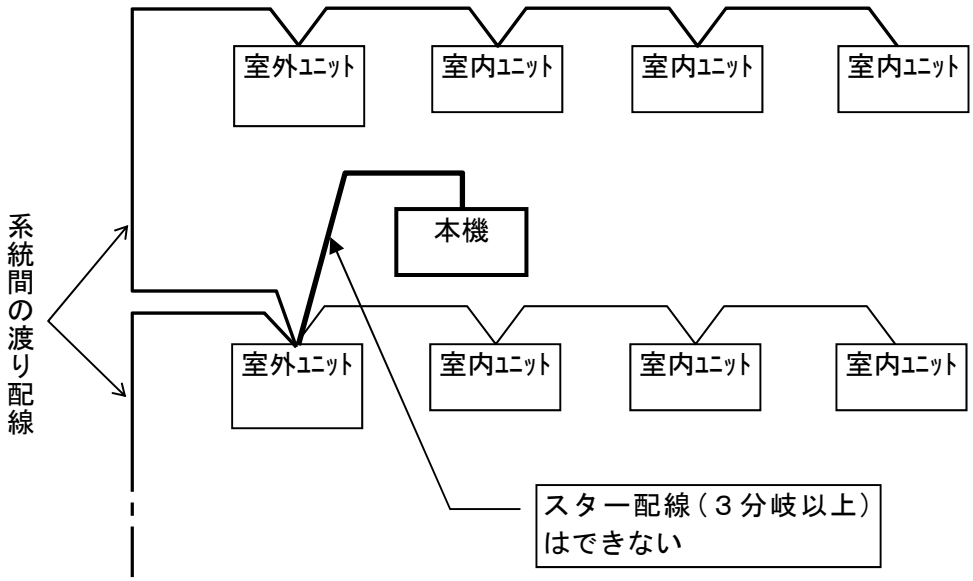
3）スター配線の禁止

■その１

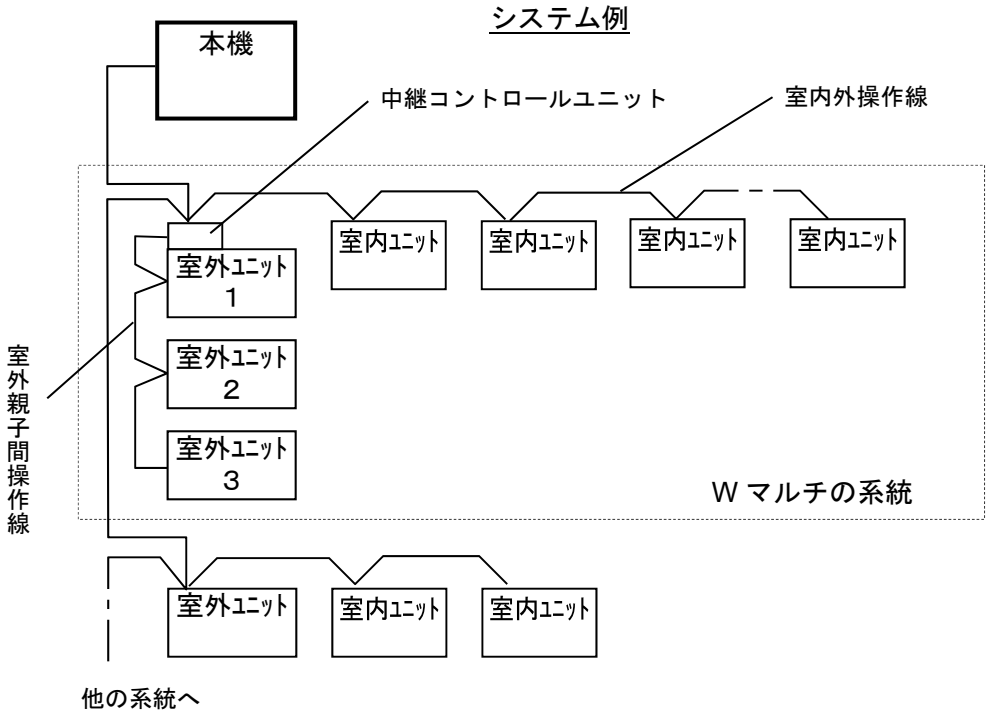


＊ここが１ｍ以内であっても分岐のひとつとなるので注意（次項のスター配線２に該当）。

■その２



④H1 シリーズ GHP のWマルチ接続時の注意点



1）接続箇所

本機は上図のように室内外操作線に接続します。室外親子間操作線には接続できません。

2）室外ユニットアドレスの制限

a) 常に 3 台分のアドレスを使用します。
- W マルチ室外ユニットの台数に関係なく、中継コントロールユニットのアドレスから連続３台分のアドレスを使用します。
- 例えば中継コントロールユニットのアドレスが 10 号機であるとき、室外ユニット１のアドレスを 10 号機、室外ユニット２を 11 号機、室外ユニット３を 12 号機とみなします。なお、室外ユニット３がない場合に 12 号は未使用番号となります。
- 中継コントロールユニットのアドレスを除く２台分のアドレスは本機のみが使用する仮想のアドレスで、室外ユニットに設定する必要はありません。

b) 3 台分のアドレスは他の室外ユニットで使用できません。
- Wマルチが使用する 3 台分のアドレスは、他の室外ユニットで使用できません。
- 中継コントロールユニットのアドレスは 1～28 号機でなければなりません。

c) 室内ユニットは全て室外ユニット１の系統に属するものとして扱います。
- 室外ユニット２～３の系統は、室内ユニット 0 台となります。

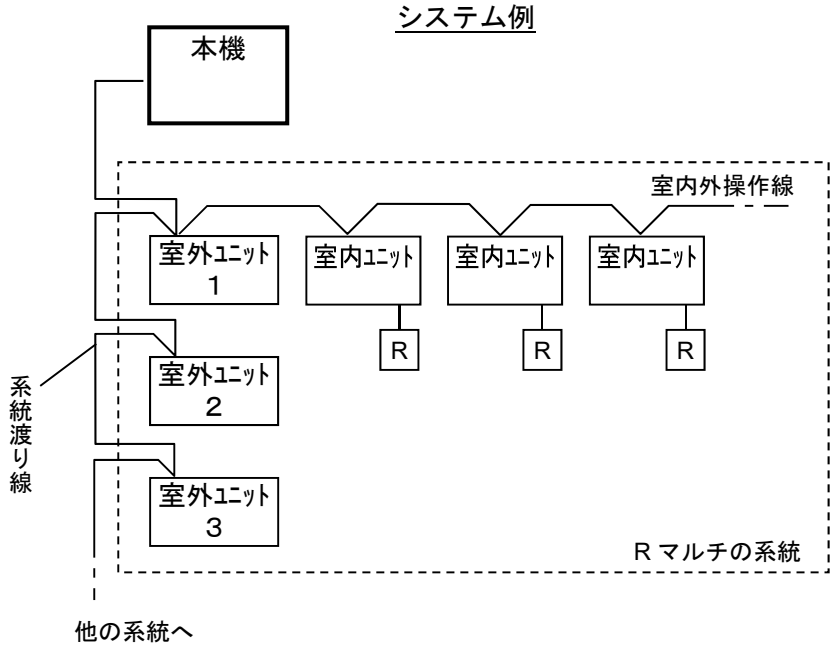
d) 室外シリパラ I/O ユニット（ACC-XSP4U1）を使用する場合は注意が必要です。
- アドレスの空きができるため、連続したアドレスが使用できません。

3）接続台数

Wマルチは､その室外ユニットの台数に関係なく常に3台分とみなします｡本機が監視できる台数は、その 3 台分を含めて 30 台までです。

⑤J，K，M，S，T シリーズ GHP の W マルチ接続時の注意点

システム例



1）接続箇所

本機は上図のように室内外操作線に接続します。

2）室外ユニットアドレスの制限

a) 室外ユニット番号は 1 からの連番でなければなりません。

b) 室外ユニット２以降の室外ユニット（子室外ユニット）もアドレスを使用します。
例えば室外ユニット 1 のアドレスが 10 号機であるとき、室外ユニット２を 11 号機、室外ユニット３を 12 号機とみなします。ただし、30 号機を越えることはできません。
子室外ユニットのアドレスは本機のみが使用する仮想のアドレスで、室外ユニットに設定する必要はありません。

c) Wマルチ室外ユニットが使用するアドレスは他の室外ユニットで使用できません。
例えば、室外ユニット 1 のアドレスが 10 号機で上図のように室外ユニットが 3 台あるとき、同じ室内外操作線上（リンク）に別の 11 または 12 号機の室外ユニットがある場合は、そのアドレスを 10～12 号以外に変更しなければなりません。

d) 室内ユニットは全て室外ユニット 1 の系統に属するものとして扱います。
上図の例では、室外ユニット２～３の系統は、室内ユニット 0 台となります。

e) 室外シリパラ I/O ユニット（ACC-XSP4U1）を使用する場合は注意が必要です。
子室外ユニットの分だけアドレスの空きができるため、連続したアドレスが使用できません。

3）接続台数

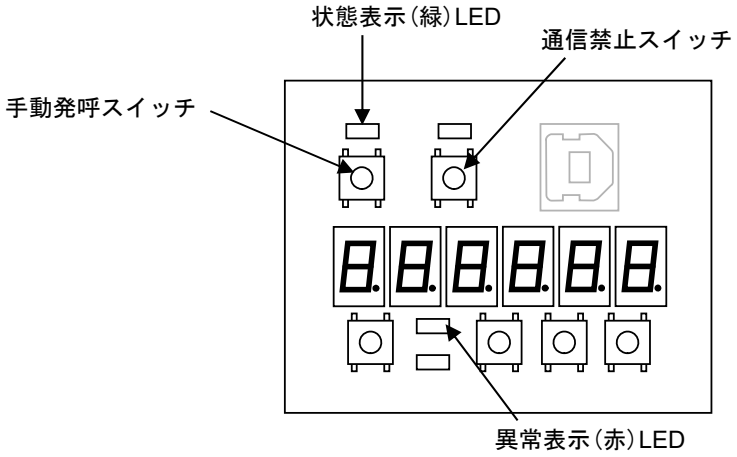
ひとつのWマルチの系統で室外ユニット 3 台を監視可能です。
本機が監視できる台数は、その 3 台分を含めて 30 台までです。

●試運転要領

①電源の投入

本機の電源を初めて投入するとき、あるいは空調機の構成確認を行う場合は、下記の操作で電源を投入してください。なお、この操作を行うと全ての空調機運転情報が消去されます。

1）全ての空調機が正常に稼動していることを確かめます。
2）元のブレーカーを ON します。
3）FOMA 端末の電源スイッチを ON にします。
4）“手動発呼スイッチ”と“通信禁止スイッチ”を押したまま、本機の電源スイッチ（SW1）を ON します。



5）数秒後、状態表示(緑)LED がゆっくり点滅し７セグメント LED 表示が構成確認表示となります。“手動発呼スイッチ”および “通信禁止スイッチ”から手を離します。
6）状態表示(緑)LED と異常表示(赤)LED が点滅します。異常表示(赤)LED の点滅は発呼先電話番号などが未設定のためです
7）以後、サービス端子より必要な設定を行います。

注１・本機が稼動後、空調機の台数や構成が変わった場合は、一旦電源スイッチ（SW1）を OFF し、再度④～⑥を行ってください。※設定を確認し必要により再設定してください。

注２・FOMA 端末の“パケット圏内”ランプが点灯しない場合は、電波が弱い、あるいは FOMA サービスエリア外と考えられます。

②簡易接続確認

認識した空調機（室外ユニット）の台数を確認するため､接続している室外ユニットの番号を、LED 表示の異常データ表示＜メニューNo.01＞で確認できます。

1）異常データ表示＜メニューNo.01＞（レベル０）

・メニュー番号選択時の表示項目（レベル１）
メニュー番号表示を「ｎｏ０１」に合わせた状態でＳＥＴキーを押すと、異常データの表示を行います。それぞれの情報をＵＰ/ＤＯＷＮキーで選択して表示します。
ＵＰ/ＤＰＷＮキーを押すと、接続されている室外機の番号を表示することが出来ます。

	ＬＥＤ表示	概要
↑ DOWN UP ↓	ｏ０１（o01）	室外機１系統
	ｏ０２（o02）	室外機２系統
	・	
	・	
	・	以下、全室外機について表示

※室外機が接続されていない場合は、ｎｏ－ｏｕｔと表示されます

③空調機の構成確認

空調機の台数が変わった、あるいは機種が変わった等の場合は、改めて空調機の構成確認を行う必要があります。
空調機の構成確認を行うと、これまで本機内に記憶していた空調機運転情報は全て消去されます。ただし、空調機に関係しない設定値はそのまま残ります。

手動発呼スイッチと通信禁止スイッチを押しながら電源を ON すると、空調機の構成確認を行います。
起動メニューから空調機の構成確認実施を選択しても同様に行うことができます。
本機の電源を初めて ON する場合、または本機のバージョンアップを実施した後などには自動的に構成確認が行われることがあります。

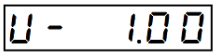
注１・空調機の構成が変わった場合は必ず構成確認を実施してください。

注２・空調機の構成確認を実施すると、全ての空調機情報，発呼情報，トレンド情報，通信履歴などもクリアされます。

■表示の状態

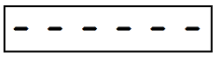
①“手動発呼スイッチ”と“通信禁止スイッチ”を押しながら電源を ON

↓



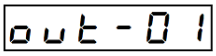
↓

②準備中



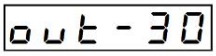
↓

③検索中の室外機番号表示



:

:

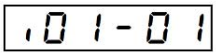


※吸収式の場合は 13 までの表示になります。

↓

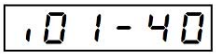
④検索中の室内機番号表示

存在する室内機のみ表示します。（下図は例です）
吸収式監視の場合は表示ありません。



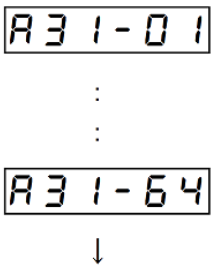
:

:



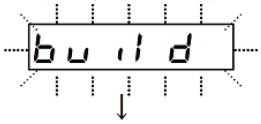
↓

⑤検索中のローカルアダプター番号を表示します
ローカルアダプターを監視する設定が無い場合、または吸収式監視の場合は表示ありません。



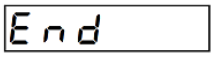
↓

⑥構築中の表示
数十秒間点滅表示します。（表示時間は空調機の台数によって異なります）



↓

⑦構成確認の終了



↓

⑧通常表示へ
異常がある場合は表示が異なります。下図の表示は正常な場合の例です。

④初期設定

（１）設定方法

本機を使用するには、サービス端子に接続したパソコンからいくつかの項目を設定しておく必要があります。

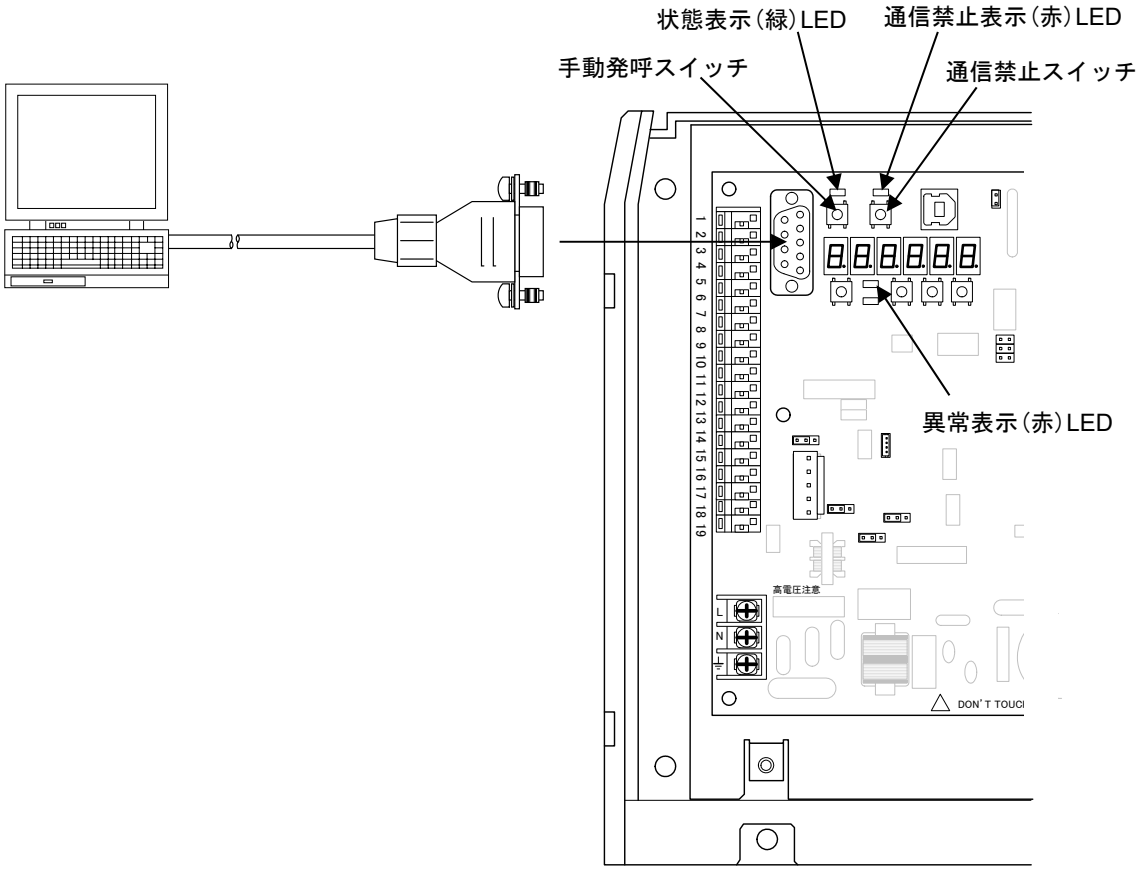
※USB サービス端子（USB ポート）を使用して設定を行うことも可能ですが、ここではサービス端子（RS-232C）を使用した場合の方法を説明します。

※設定項目と内容および設定手順は、別途手順を定めた要領書に従ってください。ここでは、基本的な設定手順のみを示します。

ⅰ．本機の通信禁止表示（赤）LED が点灯していることを確認し、点灯していない場合は“通信禁止表示スイッチ”を押し点灯させます。

ⅱ．状態表示（緑）LED、異常表示（赤）LED が共に点灯していることを確認します。ただし、過去に初期設定を行ったことがある場合は、異常表示（赤）LED は点灯しない場合があります。

ⅲ．本機のサービス端子にパソコンを RS-232 ケーブルで接続します。



ⅳ．パソコンでサービス用設定ソフトを起動します。

ⅴ．設定ソフトを使用し空調機の構成を確認します。

vi．設定ソフトを使用し下記の必須項目を設定します。
a) 現在日時
b) 需要家 ID
c) 遠隔監視アダプターの IP アドレスとポート番号
d) 発呼先１の電話番号と IP アドレスとポート番号
e) 各室外ユニットごとに、メーカーコードと型式コード。
※何をどのように設定するかは運用方法によって変わる場合があります。
※FOMA 端末への APN の設定はできません。

vii．異常表示(赤)LED が消灯することを確認します。
ただし、空調機の異常を検知すると点滅する場合があります。

viii．設定ソフトを使用し、接続解除（通信終了）を行います。

ix．サービス端子の RS-232 ケーブルをはずします。

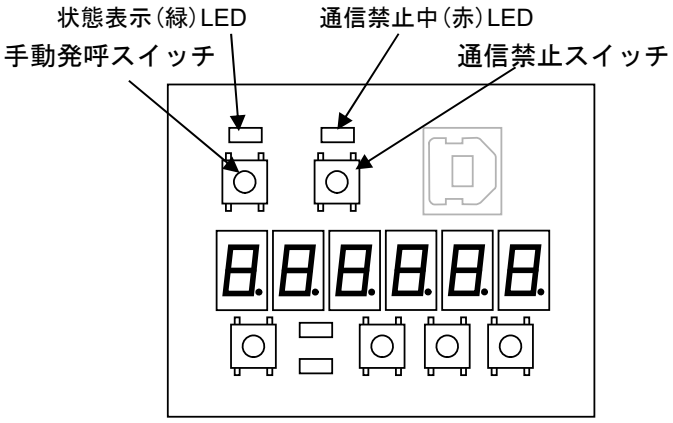
注１・状態表示(緑)LED がゆっくり点滅（１秒周期）中は空調機の構成確認中なので、点灯に変わってから作業を行ってください。

注２・実際の構成を正しく認識していない場合は、正常に動作しないことがあります。

（２）手動発呼による通信確認

1）通信禁止表示(赤)LED が消灯していることを確認します。消灯していない場合は“通信禁止スイッチ”を２秒以上押して消灯させます。

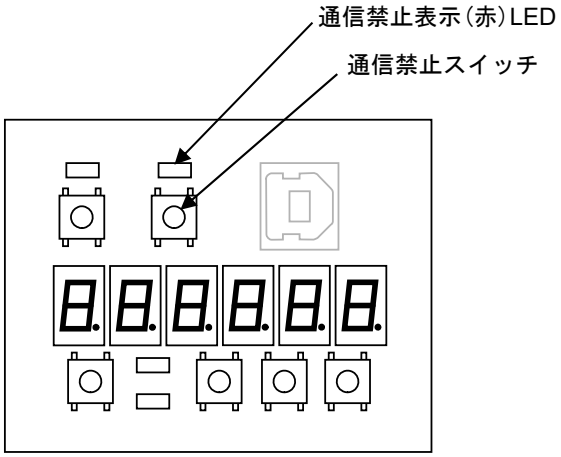
2）“手動発呼スイッチ”を２秒以上押し続けると手動発呼します。
ただし、下記の状態の時には発呼できません。
①初期設定（発呼先電話番号，IP アドレスなど）が行われていないとき（Err-29～32が発生）。
②通信端末が接続していないとき。または通信端末が異常のとき（Err-04発生）。
③通信禁止表示(赤)LED が点灯中のとき。
④発呼異常（Err-02）が発生中のとき。



（３）通信禁止の操作方法

1）発呼の禁止方法

通信禁止表示(赤)LED が点灯中は本機からの発呼を禁止します。着呼は可能です。
通信禁止表示(赤)LED は下記のいずれかの方法で点灯／消灯を切り換えられます。
①“通信禁止スイッチ”を２秒以上押し続ける。
②監視センターから通信コマンドによって ON/OFF を設定する。
③サービス端子または USB サービス端子から、パソコンによって ON/OFF を設定する。



2）通信の中断方法

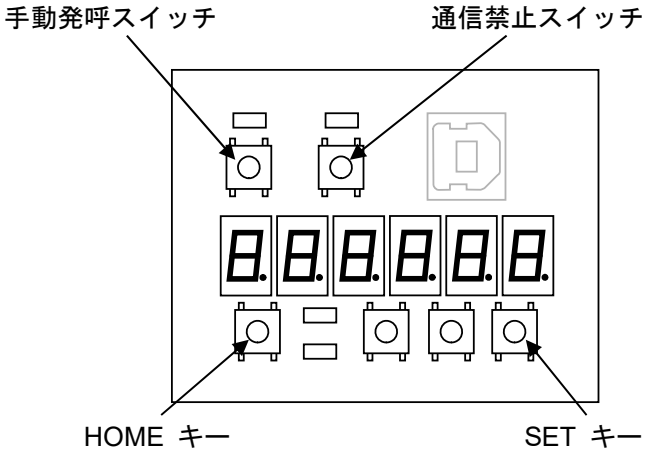
通信禁止表示(赤)LED が消灯中で監視センターと通信（状態表示(緑)LED が早点滅）中に“通信禁止スイッチ”を２秒以上押し続けると通信を中断できます。ただし、切のいいところで中断するので数十秒かかる場合があります。
前項に示した、監視センターまたはパソコンによる通信コマンドで通信禁止表示(赤)LED を点灯する設定を行っても、そのとき行っている監視センターとの通信は中止できません。

⑤特殊な処理を行う起動方法

（１）操作方法

1）空調機の構成確認動作を行いたい場合
↓
“手動発呼スイッチ”と“通信禁止スイッチ”を押しながら電源スイッチを ON

2）起動メニューを表示して特殊な処理を実施したい場合
↓
HOME キーと SET キーを押しながら電源スイッチを ON



上記の処理は起動時のバージョン表示の後に実行されます。
バージョン表示の例（Ver-1.00 の場合）。
U-　1.00

注１・起動時に表示されるバージョン番号が消えるまで上記に示すスイッチ(キー)は押し続けてください。

【起動メニュー】

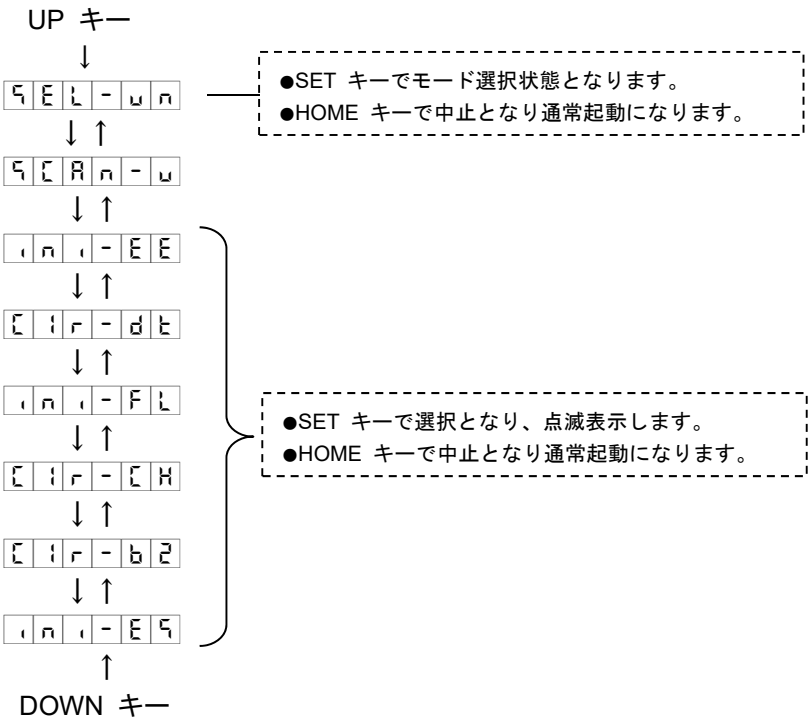
ＬＥＤ表示	機能
SEL-un（SEL-un）	監視対象空調機の変更
SCAn-u（SCAn-u）	空調機の構成確認実施 (全ての空調機情報、通信履歴をクリアも実施)
ini-EE（ini-EE）	全ての設定を初期化
C1r-dt（C1r-dt）	全ての空調機情報、通信履歴などをクリア
ini-FL（ini-FL）	全てのトレンド情報、制御履歴などを初期化
C1r-CH（C1r-CH）	制御履歴情報のクリア
C1r-b2（C1r-b2）	省エネ制御関連※１の内部制御情報などをクリア
ini-ES（ini-ES）	省エネ制御関連※１の設定値を初期化

※１・スケジュール制御、室内機パトロール制御、間引き制御、省エネ制御、省エネ設定制御、GHP 日報情報。

注２・約１ 分間操作しないと起動メニューを終了し通常起動になります。
注３・C1r-CH、C1r-b2、ini-ES は Ver-2.11 以降で使用可能です。

■起動メニューによる特殊処理選択方法

メニュー以下の操作方法は下記「（３）.監視対象空調機の変更」以後の説明を参照ください。



（２）構成確認を実施する

「③ 空調機の構成確認」を参照してください。

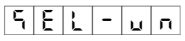
（３）監視対象空調機の変更

起動メニューから“ＳＥＬ－ｕｎ”を選択すると、本機が遠隔監視する空調機の選択ができます。

注２・監視対象空調機の変更を行うと全ての設定が初期化されます。

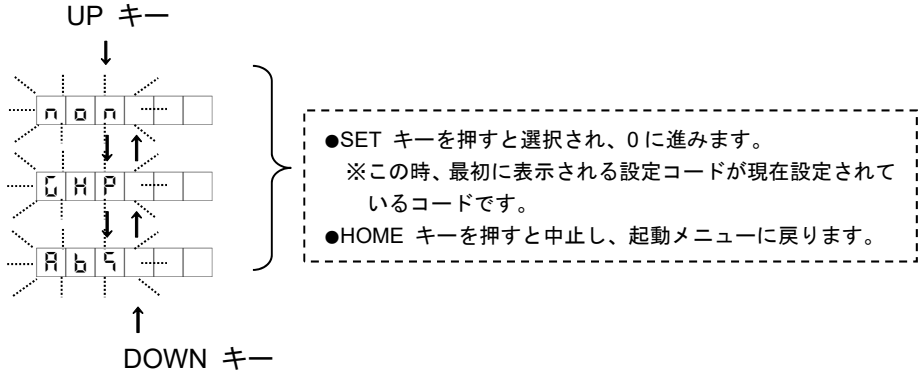
■操作方法

１）起動メニューから“ＳＥＬ－ｕｎ”を選択して SET キーを押します。



２）監視モードの選択になり、点滅表示します。

※この時、最初に表示する監視モードが現在設定されているモードです。



設定されるモード

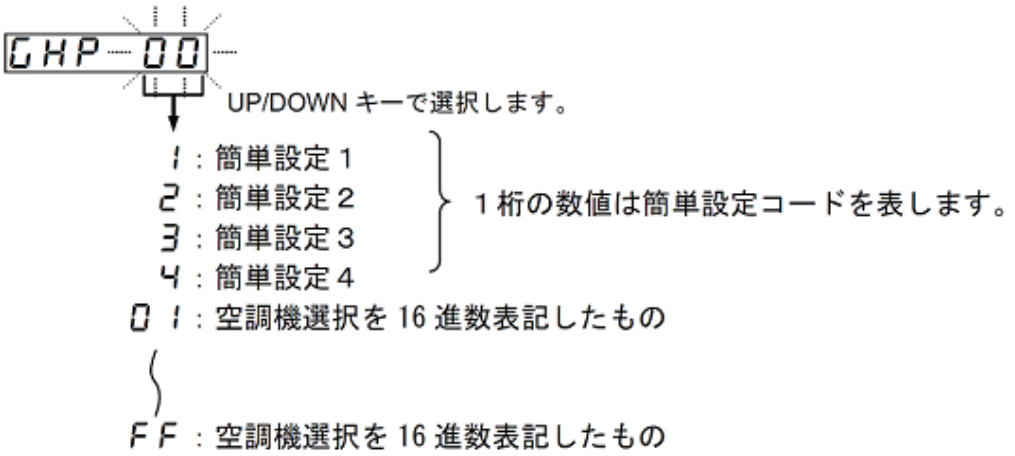
LED 表示	監視モード
non (non)	空調機を監視しないモード（設定しないでください）。
GHP (GHP)	GHP, PAC を監視するモード。 ※出荷時の設定
AbS (AbS)	吸収式冷凍機を監視するモード。

3）対象とする空調機の選択

下表に従って、監視する空調機を設定します。

下図は GHP,PAC を監視するモードの場合の例です。吸収式冷凍機を監視するモードの場合も同様です。

空調機を監視しないモードと検査モードの場合は空調機の選択はありません。



下表に従い、簡単設定コードで設定できる空調機を監視する場合は、簡単設定コードを設定してください。

簡単設定コードで設定できない空調機の構成を選択したい場合は、「5）GHP，PAC 監視モード時に 16 進数で設定する場合の早見表」（次項）を参照し、設定してください。

ただし、「00」は設定できません。

【簡単設定】

● GHP、PAC を監視するモードのとき

LED表示	監視機器
GHP 1 (GHP 1)	GHP/コジェネ/温度計測器 ※出荷時の設定
GHP 2 (GHP 2)	GHP/コジェネ/PAC/温度計測器
GHP 3 (GHP 3)	GHP/コジェネ/温度計測器/ローカルアダプター/VW
GHP 4 (GHP 4)	GHP/コジェネ/PAC/温度計測器/ローカルアダプター/VW

※VW：ウイルスウォッシャー

4）設定完了

下記表示の後、自動的に再起動します。

End

備考：監視対象空調機の変更は本機を再起動しないと有効になりません。

注３・全ての設定は初期化され、出荷時の設定となります。

5）GHP、PAC 監視モード時に16 進数で設定する場合の早見表

16 進表記	監視対象の空調機						
	温度計測器	VW	ローカルアダプター	PAC（エスパ）	PAC（マルチ）	コジェネ	GHP
01	×	×	×	×	×	×	○
02	×	×	×	×	×	○	×
03	×	×	×	×	×	○	○
04	×	×	×	×	○	×	×
05	×	×	×	×	○	×	○
06	×	×	×	×	○	○	×
07	×	×	×	×	○	○	○
08	×	×	×	○	×	×	×
09	×	×	×	○	×	×	○
0A	×	×	×	○	×	○	×
0b	×	×	×	○	×	○	○
0C	×	×	×	○	○	×	×
0d	×	×	×	○	○	×	○
0E	×	×	×	○	○	○	×
0F	×	×	×	○	○	○	○
10	×	○	○	×	×	×	×
11	×	○	○	×	×	×	○
12	×	○	○	×	×	○	×
13	×	○	○	×	×	○	○
14	×	○	○	×	○	×	×
15	×	○	○	×	○	×	○
16	×	○	○	×	○	○	×
17	×	○	○	×	○	○	○
18	×	○	○	○	×	×	×
19	×	○	○	○	×	×	○
1A	×	○	○	○	×	○	×
1b	×	○	○	○	×	○	○
1C	×	○	○	○	○	×	×
1d	×	○	○	○	○	×	○
1E	×	○	○	○	○	○	×
1F	×	○	○	○	○	○	○

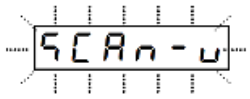
16 進表記	監視対象の空調機						
	温度計測器	VW	ローカルアダプター	PAC（エスパ）	PAC（マルチ）	コジェネ	GHP
20	○	×	×	×	×	×	×
21	○	×	×	×	×	×	○
22	○	×	×	×	×	○	×
23	○	×	×	×	×	○	○
24	○	×	×	×	○	×	×
25	○	×	×	×	○	×	○
26	○	×	×	×	○	○	×
27	○	×	×	×	○	○	○
28	○	×	×	○	×	×	×
29	○	×	×	○	×	×	○
2A	○	×	×	○	×	○	×
2b	○	×	×	○	×	○	○
2C	○	×	×	○	○	×	×
2d	○	×	×	○	○	×	○
2E	○	×	×	○	○	○	×
2F	○	×	×	○	○	○	○
30	○	○	○	×	×	×	×
31	○	○	○	×	×	×	○
32	○	○	○	×	×	○	×
33	○	○	○	×	×	○	○
34	○	○	○	×	○	×	×
35	○	○	○	×	○	×	○
36	○	○	○	×	○	○	×
37	○	○	○	×	○	○	○
38	○	○	○	○	×	×	×
39	○	○	○	○	×	×	○
3A	○	○	○	○	×	○	×
3b	○	○	○	○	×	○	○
3C	○	○	○	○	○	×	×
3d	○	○	○	○	○	×	○
3E	○	○	○	○	○	○	×
3F	○	○	○	○	○	○	○

（４）空調機の構成確認実施

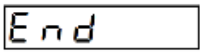
起動メニューから“SCAn-U”を選択すると、空調機の構成確認を実施することができます。
“手動発呼スイッチ”と“通信禁止スイッチ”を押しながら電源を ON して起動した場合と同様です。

注４・空調機の構成確認を実施すると、全ての空調機情報，通信履歴などもクリアされます。

■操作方法
1）起動メニューから“SCAn-U”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、空調機の構成確認を実施して起動します。

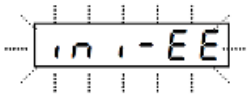


（５）全ての設定を初期化

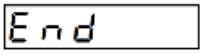
起動メニューから“InI-EE”を選択すると、不揮発性メモリ（EEPROM,フラッシュメモリ）に記録された設定値を全て消去して初期化できます。
「全ての設定を初期化」を実施すると、自動的に空調機の構成確認も行われます。

注５・「全ての設定を初期化」によって初期化された設定は復元できません。
注意して実施して下さい。

■操作方法
1）起動メニューから“InI-EE”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



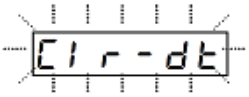
2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、設定の初期化および空調機の構成確認を実施して起動します。



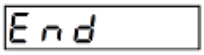
（６）全ての空調機情報，通信履歴などをクリア

起動メニューから“Clr-dt”を選択すると、本機内に記録された全ての空調機データを消去します。
空調機の運転データ，発呼情報，トレンド情報，通信履歴などが消去されます。

■操作方法
1）起動メニューから“Clr-dt”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、本機内に記録された全ての空調機データを消去して起動します。

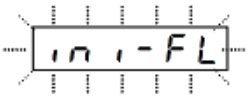


（７）全てのトレンド情報，制御履歴を初期化

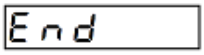
起動メニューから“ini-FL”を選択すると、トレンド情報，制御履歴記録用メモリーを初期化（フォーマット）します。
この初期化を実施すると全てのトレンド情報，制御履歴記録はクリアされます。

注６・本機の異常“Err-18”（トレンド用メモリ・フラッシュメモリ異常）が発生した場合を除き、通常は実施する必要ありません。

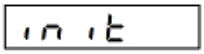
■操作方法
1）起動メニューから“ini-FL”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、トレンド情報，制御履歴記録用メモリーを初期化して起動します。



3）トレンド情報，制御履歴記録用メモリーを初期化中は下記の表示があります。
初期化には数十秒間かかります。



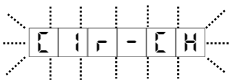
（８）制御履歴情報のクリア

起動メニューから“ＣＬｒ－ＣＨ”を選択すると、記録されている制御履歴情報を消去します。

注９・この機能は Ver-2.11 以降で使用可能です。

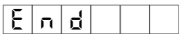
■操作方法

１）起動メニューから“ＣＬｒ－ＣＨ”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



２）再度 SET キーを押します

下記表示の後、制御履歴記録を消去して起動します。



（９）省エネ制御関連の内部制御情報などをクリア

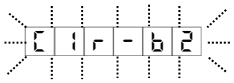
起動メニューから“ＣＬｒ－ｂ２”を選択すると、省エネ制御関連※１の内部制御情報などを消去します。
この消去を実施しても省エネ制御関連の設定に影響はありませんが、各制御は停止状態となり、GHP 日報情報はクリアされます。

※１・スケジュール制御、室内機パトロール制御、間引き制御、省エネ制御、省エネ設定制御、GHP 日報情報。

注１０・この機能は Ver-2.11 以降で使用可能です。

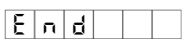
■操作方法

１）起動メニューから“ＣＬｒ－ｂ２”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



２）再度 SET キーを押します

下記表示の後、省エネ制御関連の内部制御情報などを消去して起動します。



（１０）省エネ制御関連の設定値を初期化

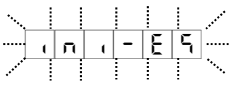
起動メニューから“ｉｎｉ－ＥＳ”を選択すると、省エネ制御関連※１の設定内容を全て初期化します。
この初期化を実施すると、省エネ制御関連の内部制御情報などの消去も行われます。

※１・スケジュール制御、室内機パトロール制御、間引き制御、省エネ制御、省エネ設定制御、GHP 日報情報。

注１１・この操作によって初期化された設定は復元できません。注意して実施してください。
注１２・この機能は Ver-2.11 以降で使用可能です。

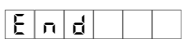
■操作方法

1）起動メニューから“ｉｎｉ－ＥＳ”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



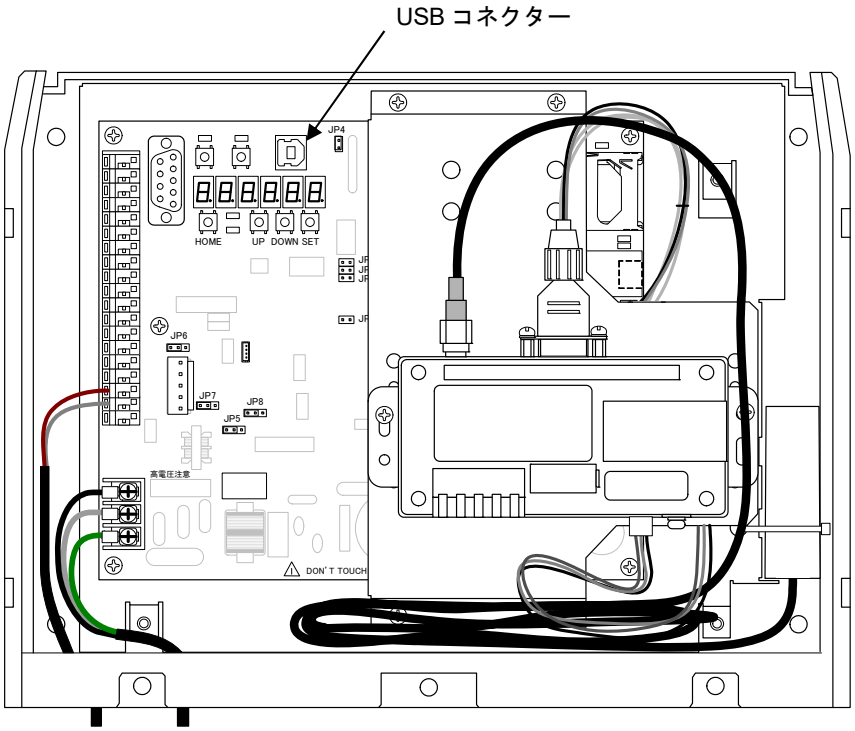
2）再度 SET キーを押します

下記表示の後、省エネ制御関連の設定値を初期化して起動します。



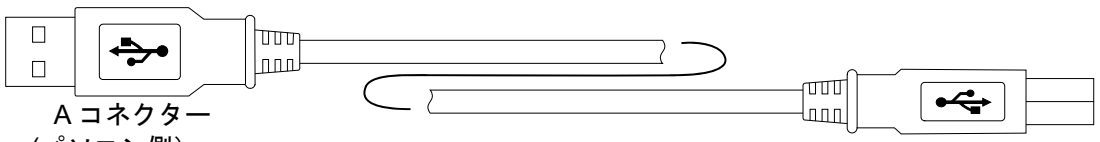
⑥USB サービス端子の使用方法

■USB コネクターの位置



本機の内部

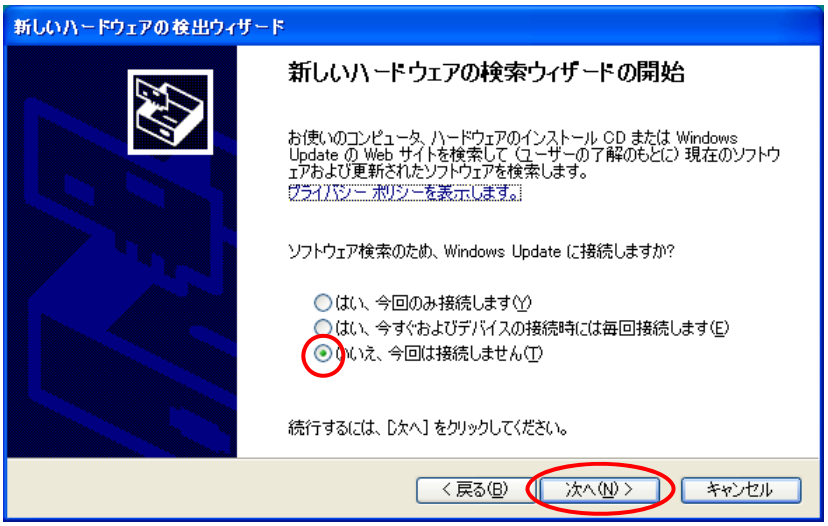
■必要なケーブル

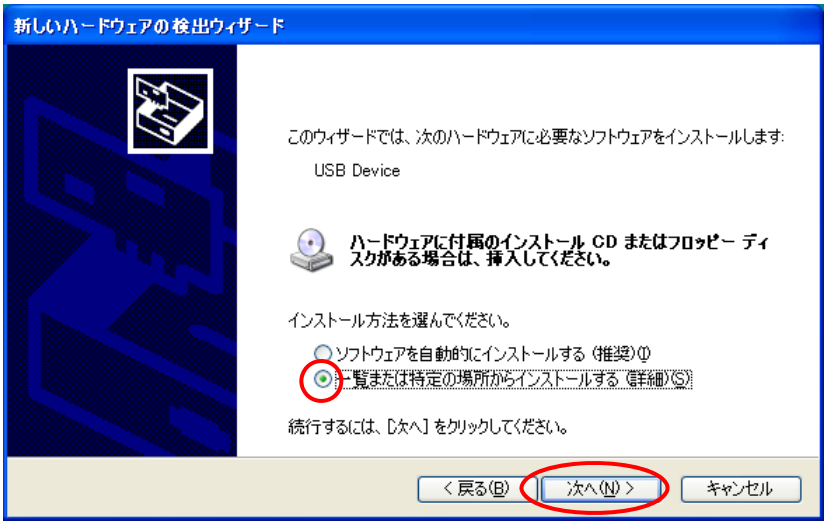


図のような、片側Ａ－片側Ｂの標準ケーブルをご用意ください。

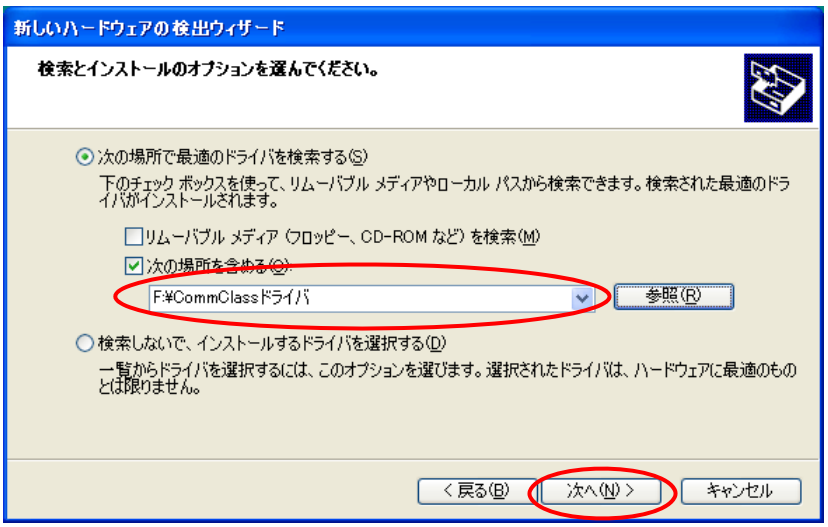
■USB ドライバ ソフトのインストール

USB ケーブルで稼働中の本機とパソコンを初めて接続すると、パソコンがドライバのインストールを求めてきます。以下、WindowsXP を例に説明いたします。

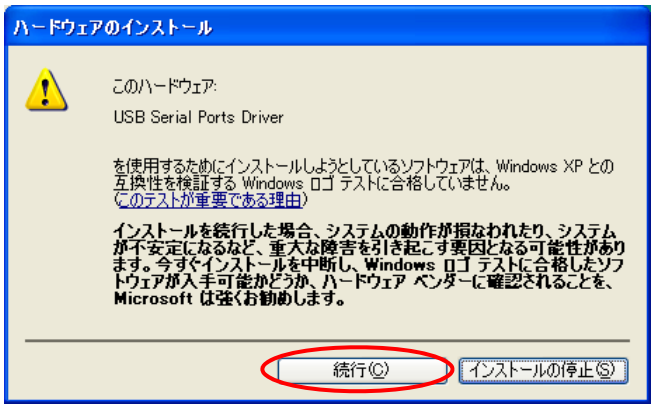




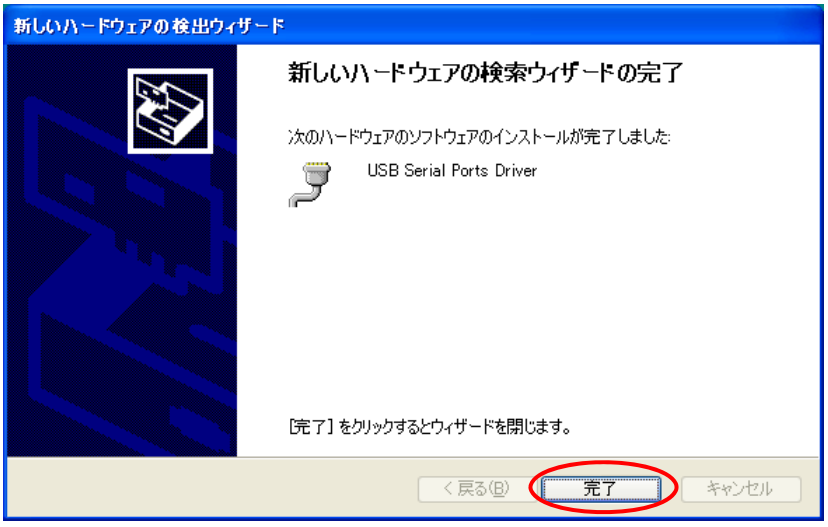
別途提供するファイル“CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf”の場所を指定してください。



下記の警告が出ますが、「続行」をクリックしてください。



インストール終了



備考１：USB ドライバ自体は Windows に付属したものを使用します。
ファイル“CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf”は、そのUSB ドライバを使用するための定義ファイルです。

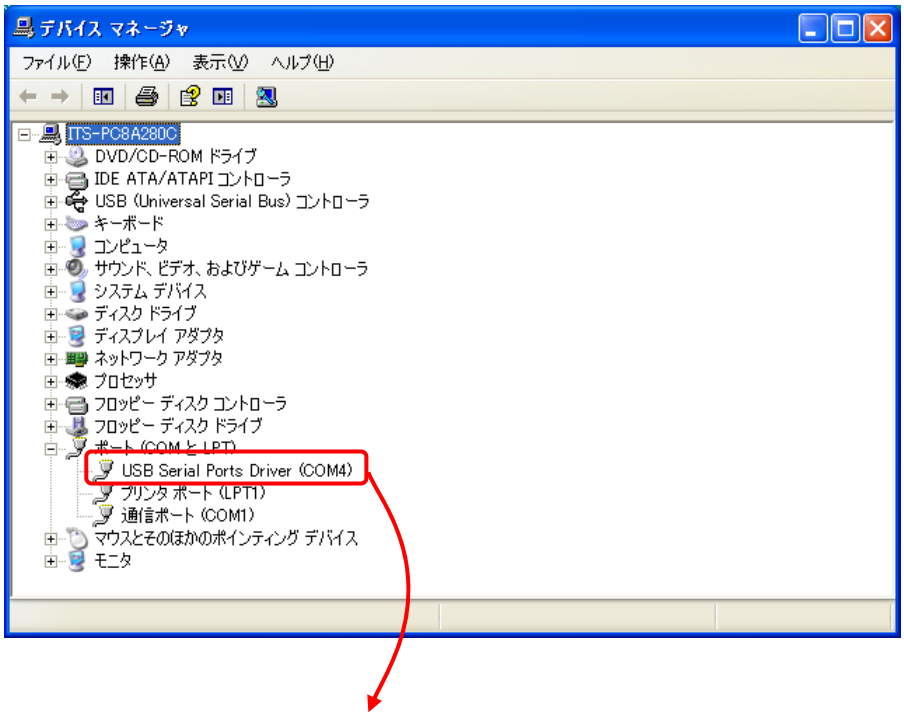
備考２：“CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf”は Windows 専用です。

■USB ポートの使用方法

本機の USB サービス端子は、仮想シリアルポートとして動作します。
パソコン側は、通常のシリアルポートを使用する場合と同様に使用することができます。
ただし、通信速度やデータビット構成の設定は無効です。

USB ドライバをインストールすると、本機を仮想シリアルポートとして接続できます。そのポート番号は下記の方法で知ることができます。

システムのプロパティ→ハードウェアからデバイスマネージャを開きます。
※下図は WindowsXP の例です。



“USB Serial Ports Driver（COM＊）”と表示されているのが、インストールした USB ドライバです（＊はポート番号）。
この例では、シリアルポート“COM4”として使用できることがわかります。

■USB サービス端子の使用上の注意

・パソコンと本機を USB ケーブルで接続した状態で本機の電源を OFF すると、本機の電源を再度 ON しても使用できない場合があります。
その場合は、一旦 USB ケーブルをはずし、パソコンソフト（設定ソフトなど）も一旦終了して、USB ケーブルの接続から改めて行ってください。
・USB ドライバ定義ファイル“CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf”は本機専用のものです。他の機器では使用できません。また、このファイルは本機に付属していません。必要な方に別途配布させていただきます。

（２５）Ｐ－ＡＩＭＳシステム（ピーエイムス）

基本ソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３
料金計算ソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ａ
デマンドソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｄ
レイアウト表示ソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｇ
設備管理ソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｓ
グラフ表示ソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｔ
BACnet 通信ソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｂ
Web ソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｗ
カメラ空調省エネソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３ＣＡ
カメラ換気省エネソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３ＣＶ
カメラ照明省エネソフト	：ＣＺ－１０ＳＷＢ３ＣＬ

①システムの概要

1)概要

・Ｐ-ＡＩＭＳ システムは、中規模～大規模ビル向けのＰＡＣ／ＧＨＰ専用集中管理システムです。
・接続できる室内機の台数が異なるＰ-ＡＩＭＳｍｉｎｉ とＰ-ＡＩＭＳｎａｎｏ があります。
・市販のパソコン（Ｗｉｎｄｏｗｓ１０ Ｐｒｏ ６４ｂｉｔまたはＷｉｎｄｏｗｓ ８．１ Ｐｒｏｆｅｓｓｉｏｎａｌ ６４ｂｉｔ）を使用するソフトウェア販売です。
・１台のＰ-ＡＩＭＳ システム（パソコンは別途手配）に、最多１，０２４台の室内ユニット（室外ユニットは最多９６０台）が接続できます。
・１台のＰ-ＡＩＭＳ ｍｉｎｉ（パソコンは別途手配）に、最多６４台の室内ユニット（室外ユニットは最多６４台）が接続できます。
・１台のＰ-ＡＩＭＳ ｎａｎｏ（パソコンは別途手配）に、最多１６台の室内ユニット（室外ユニットは最多１６台）が接続できます。
・ＰＡＣ・ＧＨＰが混在したビルであっても、１台のＰ-ＡＩＭＳ システムで管理できますが、リンク配線を分ける必要があります。
・ｅ－ＣＵＴ機能・室内ユニット集中コントロール・運転状態監視・空調エネルギー按分・空調料金計算など多機能です。
・空調料金を計算できます。ＣＳＶファイル（Ｅｘｃｅｌ互換）で出力できます。（ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ａ）
・警報・状態変化履歴のデータを、ＣＳＶファイル（Ｅｘｃｅｌ互換）で出力できます。
・専用の通信アダプター（ＣＺ－１０ＡＰＢ３）を室内外操作線に接続する方式です。室内ユニット側への新たな配線は不要ですので、既築のビルであっても施工が容易です。
・レイアウト表示ソフトを使用することで、平面図から室内ユニットの監視、制御ができます。
・通信アダプターわたりの通信系統は最多８系統まで接続が可能です。
・Ｅ形ＧＨＰ以降の新、旧ＧＨＰ（三洋電機株式会社製含む）を１台のシステムで監視、制御ができます。
・セキュリティ、火災報知器信号との連動制御を行うことができます。
・空調機以外のビル設備機器の監視・制御を行うことができます。
・ＢＡＣｎｅｔ（ＩＰｖ４、ＩＰｖ６）規格で他社との接続を行うことができます。
・Ｗｅｂ機能を使用して遠隔監視・制御を行うことができます。

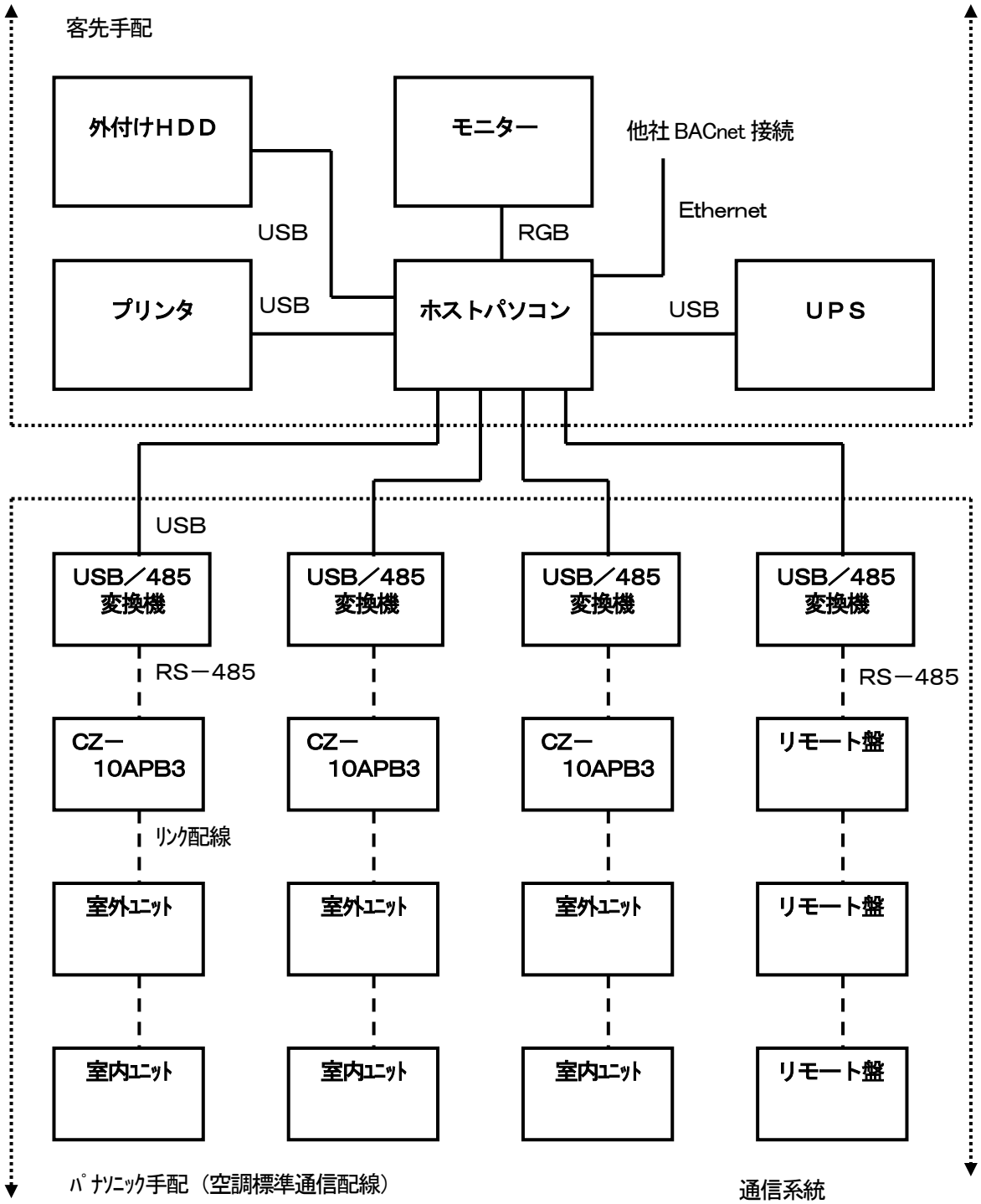
2)関連機器

・ＣＺ－１０ＳＷＢ３（基本ソフト）
　監視、制御、スケジュール運転、警報履歴、画面ハードコピー。ＣＳＶ出力。
・ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ａ（料金計算ソフト）
　電気、ガス空調使用料金計算。ＣＳＶ出力。
・ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｄ（デマンドソフト）
　室外、室内ユニット毎のデマンド制御。室外、室内のサイクリック制御。
・ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｇ（レイアウト表示ソフト）
　レイアウト表示画面（平面図）での表示／操作が可能。
・ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｓ（設備管理ソフト）
　空調機以外の設備機器を監視・制御する事ができます。リモートステーション盤が必要です。
・ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｔ（グラフ表示ソフト）
　空調機、設備機器等の運転時間、電力使用量、ガス使用量、設定温度などの履歴をグラフ表示。
・ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｂ（ＢＡＣｎｅｔソフト）
　他社とＢＡＣｎｅｔ（ＩＰｖ４、ＩＰｖ６）規格で接続する事が可能。
・ＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｗ（Ｗｅｂソフト）
　空調・ビル設備の遠隔監視・制御が可能。

・ＣＺ－１０ＡＰＢ３
通信アダプターです。
リンク配線２系統に１台必要です。
防滴仕様ではありませんので、必ず屋内か制御盤などの中に設置してください。

・ＣＺ－ＣＡＰＬ１、ＣＺ－ＣＡＰＡ１（オン／オフ制御用ローカルアダプター）
ＪＥＭＡ標準ＨＡ端子を備えた機器や、接点信号でＯＮ／ＯＦＦできる機器をP-ＡＩＭＳ システムからＯＮ／ＯＦＦ制御や状態監視を行うためのインターフェイスＢＯＸです。
詳しくは専用の資料をご覧ください。

②ハードウェア構成


客先手配
外付けＨＤＤ
モニター
他社 BACnet 接続
Ethernet
USB
RGB
プリンタ
USB
ホストパソコン
USB
ＵＰＳ
USB
USB／485
変換機
USB／485
変換機
USB／485
変換機
USB／485
変換機
RS－485
RS－485
CZ－
10APB3
CZ－
10APB3
CZ－
10APB3
リモート盤
ﾘﾝｸ配線
室外ﾕﾆｯﾄ
室外ﾕﾆｯﾄ
室外ﾕﾆｯﾄ
リモート盤
室内ﾕﾆｯﾄ
室内ﾕﾆｯﾄ
室内ﾕﾆｯﾄ
リモート盤
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ手配（空調標準通信配線）
通信系統
空調最多 8 系統
ﾘﾓｰﾄ盤最多 4 系統

③システムの機能

1) ｅ－ＣＵＴ機能
- 省エネ設定
- 設定温度自動リターン(冷房、暖房別)
- 消し忘れ防止
- 設定温度範囲制限(冷房、暖房別)
- タイマー省エネ／効率運転
- デマンドモード
- 運転自動停止

2) 室内ユニット集中コントロール
- 運転／停止(個別／一括／制御グループごと)
- 運転モード切換(冷房／暖房／ドライ／送風／冷暖自動)
- 風速設定(弱風／強風／急風／自動)
- 風向設定(５段階およびスイング)・・・・・・・リモコンレス設定の時のみ
- 室温設定
- 集中モード設定(手元許可／禁止１～４)
  さらにリモコンでの操作禁止項目の変更もできます。
- １日２０回までのスケジュール設定が可能です。当日、翌日、翌々日だけの変更も可能です。

3) 空調エネルギー按分
- 室内ユニットごとの累積運転時間計数(風速別)
- 室内ユニット／室外ユニットごとの累積発停回数計数
- 室内ユニットごとのガス・電気の空調消費按分率計算（オン／オフ用ローカルアダプターの場合はサーモＯＮ信号入力を使用することで可能ですが、制限事項があります。）
- テナントごとのガス・電気の空調使用料金計算（オン／オフ用ローカルアダプターの場合はサーモＯＮ信号入力を使用することで可能ですが、制限事項があります。）
- 照明等の電力使用量表示

4) 運転モニター
- 運転状態監視(運転／停止・冷暖モード・警報関連・風向・設定温度・室温)
- 警報履歴(発生日時・警報内容)の表示(過去２万件分)
- 操作、状態変化履歴の表示（過去２０万件分）
- フィルター清掃サイン・エンジンオイル点検サインの確認
- 外部一括異常出力(リレー接点)

5) その他
- Ｗｉｎｄｏｗｓ１０ Ｐｒｏ ６４ｂｉｔまたは Ｗｉｎｄｏｗｓ ８．１ Ｐｒｏｆｅｓｓｉｏｎａｌ ６４ｂｉｔ採用
- 遅延運転によるキュービクル保護
- オン／オフ制御用ローカルアダプターによる外部機器のＯＮ／ＯＦＦ
- 操作状況に応じた操作ヘルプ画面
- すべてのデータを毎日、外付けハードディスクに自動保存可能
- 按分データ・警報履歴等をＣＳＶファイルで出力可能
- プリンター(現地手配)を接続すれば、各種データの印刷（画面ハードコピー）が可能
- 外部一括停止入力対応(火災報知器など)
- 暗証番号による画面表示禁止機能
- レイアウト表示ソフトを使用することで、平面図から室内ユニットの監視、制御が可能
- セキュリティ信号等との室内ユニット連動停止が可能
- デマンドソフトを使用することで、室外ユニット、室内ユニットのサイクリック制御が可能
- 保守登録を設定することで、警報表示の復旧、スケジュール制御を停止することが可能
- ＵＰＳの停電信号を入力することで、パソコンの自動シャットダウンが可能
- 空調機以外のビル設備機器の監視・制御が可能
- ＢＡＣｎｅｔ（ＩＰｖ４、ＩＰｖ６）規格で他社との接続が可能
- Ｗｅｂソフトを使用することで空調・ビル設備の遠隔監視・制御が可能

④システム機能詳細

1) システム機能

１－１パスワードの設定

システムの各機能に対して、パスワードにより管理レベルを制限することができます。

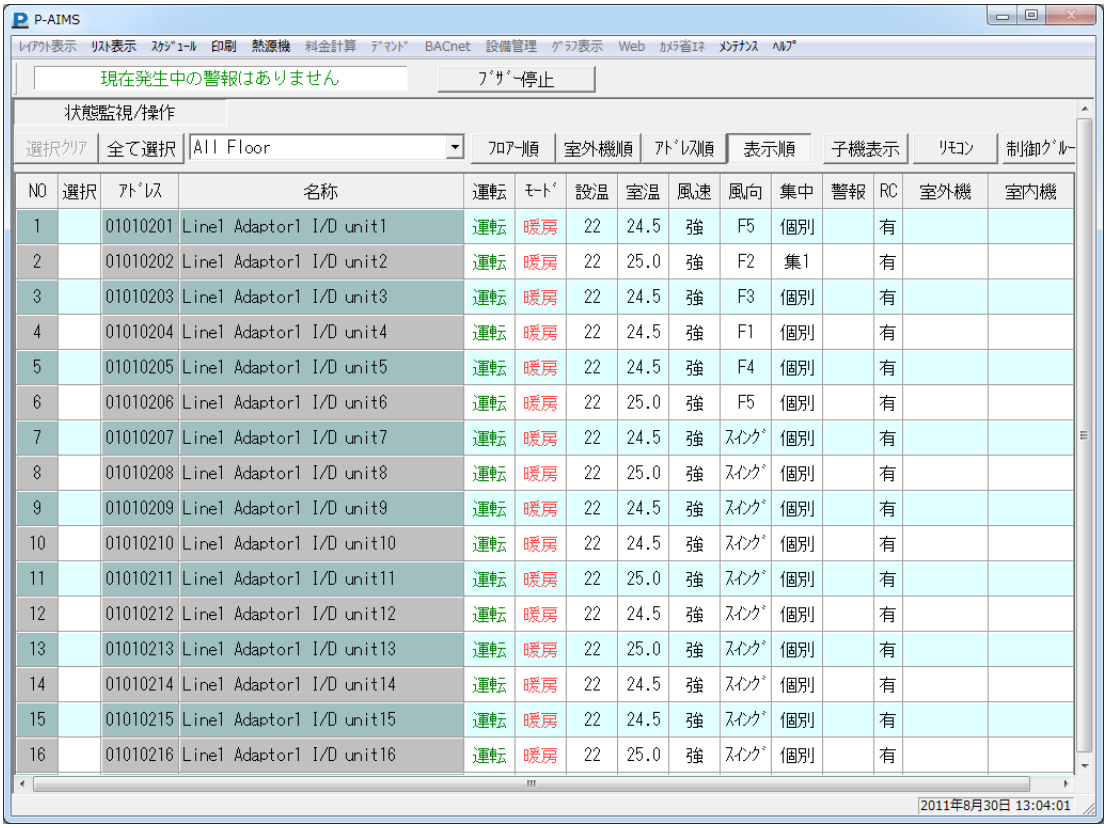
１－２システム時刻の設定

P-ＡＩＭＳ システム側で修正時刻を設定すると１秒間に０．１秒ずつ修正を行います。

2) 監視・操作機能

２－１状態監視

各機器の現在の運転／停止、冷暖モード、設定温度、室温、風速、風向、集中、警報の状況を一覧リストに表示します。また、その値が変化した場合にはリアルタイムに表示を変更します。



NO	選択	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	運転	ﾓｰﾄﾞ	設温	室温	風速	風向	集中	警報	RC	室外機	室内機
1		01010201	Line1 Adaptor1 I/D unit1	運転	暖房	22	24.5	強	F5	個別		有		
2		01010202	Line1 Adaptor1 I/D unit2	運転	暖房	22	25.0	強	F2	集1		有		
3		01010203	Line1 Adaptor1 I/D unit3	運転	暖房	22	24.5	強	F3	個別		有		
4		01010204	Line1 Adaptor1 I/D unit4	運転	暖房	22	24.5	強	F1	個別		有		
5		01010205	Line1 Adaptor1 I/D unit5	運転	暖房	22	24.5	強	F4	個別		有		
6		01010206	Line1 Adaptor1 I/D unit6	運転	暖房	22	25.0	強	F5	個別		有		
7		01010207	Line1 Adaptor1 I/D unit7	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
8		01010208	Line1 Adaptor1 I/D unit8	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
9		01010209	Line1 Adaptor1 I/D unit9	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
10		01010210	Line1 Adaptor1 I/D unit10	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
11		01010211	Line1 Adaptor1 I/D unit11	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
12		01010212	Line1 Adaptor1 I/D unit12	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
13		01010213	Line1 Adaptor1 I/D unit13	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
14		01010214	Line1 Adaptor1 I/D unit14	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
15		01010215	Line1 Adaptor1 I/D unit15	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
16		01010216	Line1 Adaptor1 I/D unit16	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		

２－２操作出力

一覧リスト上で、各機器の運転／停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中の操作ができます。
また、同一の操作出力であれば複数台の一括操作ができます。

２－３グループ毎の一括操作

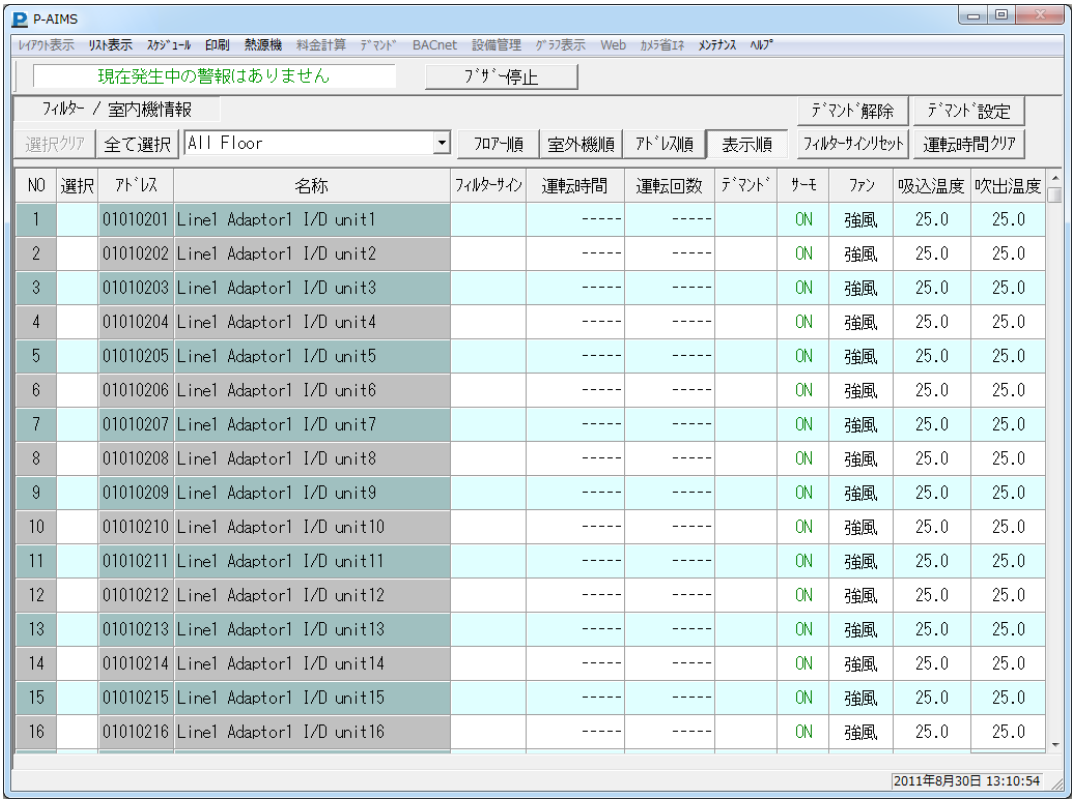
一覧リスト上から、後述“４）４－１グループ制御”により登録されたグループ毎に運転／停止、冷暖モード、設定温度、風速、集中／個別、風向の操作、設定変更ができます。

２－４警報（故障）監視

各機器について、警報（故障）発生を常時監視します。
警報（故障）が発生した場合には、ディスプレイ画面上の“警報表示部”に、新たに発生した警報（故障）を表示します。複数の警報が発生している場合は、最新の警報を表示します。また、同時に“ブザー”を鳴動させて通知します。ブザーはパソコン本体のブザーを使用します。状態監視画面警報欄は警報コードを表示します。

２－５フィルターサイン監視

各室内ユニットのフィルターサインを常時監視します。
フィルターサインが発生した場合、室内ユニット情報画面に「フィルターサイン」表示をします。
警報履歴表示、警報発生のメッセージはありません。また、ブザー鳴動は行いません。
保守設定中の場合、室内ユニット情報画面に「フィルターサイン」表示をしますが、リセット操作はできません。



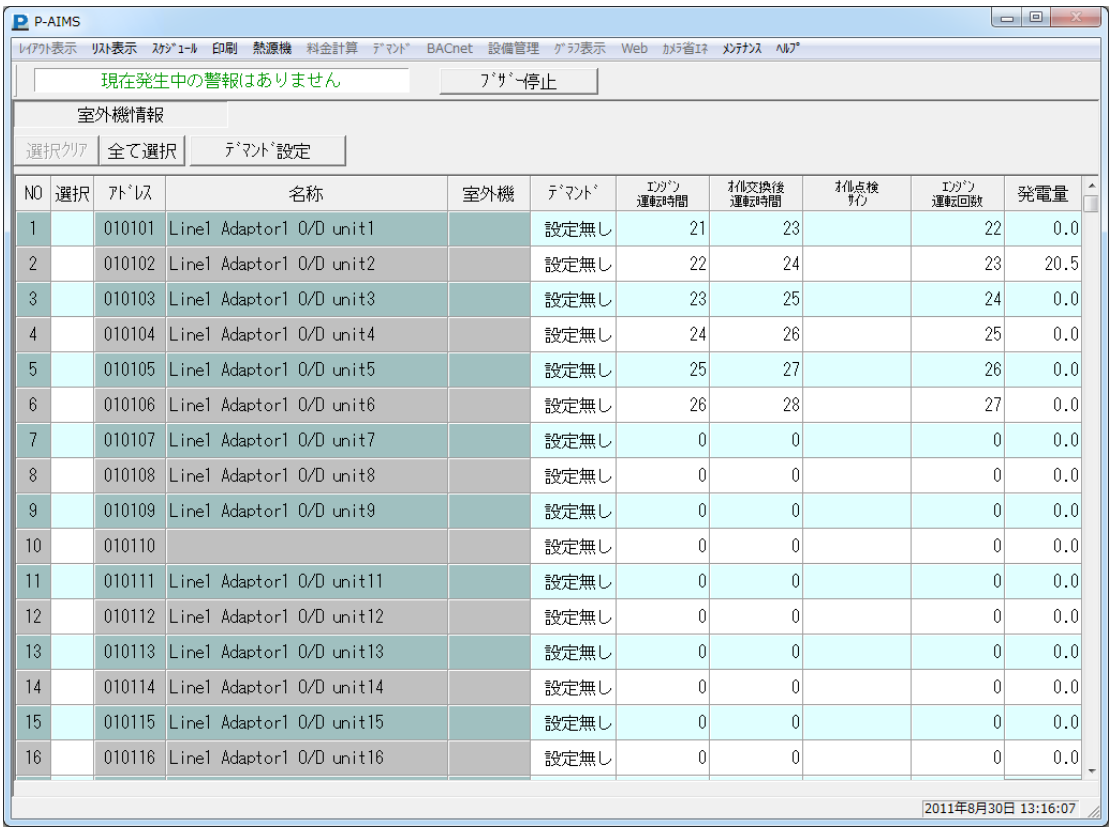
２－６室内ユニット情報監視

各室内ユニットの運転回数を表示します。
各室内ユニットの運転時間を表示します。運転時間はP-ＡＩＭＳ システムで計算している値です。室内ユニットが保持している値とは異なります。

２－７エンジンオイル点検監視

各室外ユニット（ＧＨＰのみ）のエンジンオイル点検を常時監視します。
エンジンオイル点検が発生した場合、室外ユニット情報画面にオイル点検を表示します。
オイル点検は警報履歴に表示し、警報発生のメッセージ、ブザー鳴動を行います。

２－８室外ユニット情報監視
室外ユニットデマンド設定ができます。（ＰＡＣのみ）
室外ユニットエンジン運転時間、オイル交換後運転時間を表示します。（ＧＨＰのみ）



NO	選択	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	室外機	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ｴﾝｼﾞﾝ運転時間	ｵｲﾙ交換後運転時間	ｵｲﾙ点検ｻｲﾝ	ｴﾝｼﾞﾝ運転回数	発電量
1		010101	Line1 Adaptor1 O/D unit1		設定無し	21	23		22	0.0
2		010102	Line1 Adaptor1 O/D unit2		設定無し	22	24		23	20.5
3		010103	Line1 Adaptor1 O/D unit3		設定無し	23	25		24	0.0
4		010104	Line1 Adaptor1 O/D unit4		設定無し	24	26		25	0.0
5		010105	Line1 Adaptor1 O/D unit5		設定無し	25	27		26	0.0
6		010106	Line1 Adaptor1 O/D unit6		設定無し	26	28		27	0.0
7		010107	Line1 Adaptor1 O/D unit7		設定無し	0	0		0	0.0
8		010108	Line1 Adaptor1 O/D unit8		設定無し	0	0		0	0.0
9		010109	Line1 Adaptor1 O/D unit9		設定無し	0	0		0	0.0
10		010110			設定無し	0	0		0	0.0
11		010111	Line1 Adaptor1 O/D unit11		設定無し	0	0		0	0.0
12		010112	Line1 Adaptor1 O/D unit12		設定無し	0	0		0	0.0
13		010113	Line1 Adaptor1 O/D unit13		設定無し	0	0		0	0.0
14		010114	Line1 Adaptor1 O/D unit14		設定無し	0	0		0	0.0
15		010115	Line1 Adaptor1 O/D unit15		設定無し	0	0		0	0.0
16		010116	Line1 Adaptor1 O/D unit16		設定無し	0	0		0	0.0

3)表示機能
３－１表示画面
主表示部はカラー液晶表示とし、日本語処理による高解像度のグラフィックス表示とします。

３－２ヘルプ（操作方法）表示
各画面の操作ガイダンスを表示します。

３－３警報発生継続状況表示
現在発生継続中の警報（故障）について、最新のものから順次一覧リストに表示します。警報が復旧した場合は一覧リストから削除します。一覧リストでは最大２，０００件を表示します。

３－４警報履歴表示
発生継続中の警報（故障）も含め、警報の発生・復旧履歴を一覧リストに表示します。一覧リストでは最大２，０００件を表示します。警報履歴データは過去２０，０００件分を記憶し、これを超えた場合には古いデータから順次消去します。また、期間を指定して検索・表示することができます。

３－５未確認警報表示

発生継続中の警報（故障）も含め、オペレータによる確認操作が行われていない警報履歴を表示します。また、警報を確認した担当者の登録が可能です。一覧リストでは最大２，０００件を表示します。

NO	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	警報ｺｰﾄﾞ	発生/復旧 日時	発/復	確認	担当
1	01010205	Line1 Adaptor1 I/D unit5	[A05]	2011/08/30 13:56:09	復旧	□	
2	01010202	Line1 Adaptor1 I/D unit2	[A02]	2011/08/30 13:55:49	復旧	□	
3	01010203	Line1 Adaptor1 I/D unit3	[A03]	2011/08/30 13:55:49	復旧	□	
4	01010204	Line1 Adaptor1 I/D unit4	[A04]	2011/08/30 13:55:49	復旧	□	
5	01010201	Line1 Adaptor1 I/D unit1	[A01]	2011/08/30 13:55:33	復旧	□	
6	01010201	Line1 Adaptor1 I/D unit1	[A01]	2011/08/30 13:54:19	発生	□	
7	01010201	Line1 Adaptor1 I/D unit1	[A01]	2011/08/30 13:53:57	復旧	□	
8	01010202	Line1 Adaptor1 I/D unit2	[A02]	2011/08/30 13:53:57	発生	□	
9	01010202	Line1 Adaptor1 I/D unit2	[A02]	2011/08/30 13:53:41	復旧	□	
10	01010201	Line1 Adaptor1 I/D unit1	[A01]	2011/08/30 13:53:01	発生	□	
11	01010202	Line1 Adaptor1 I/D unit2	[A02]	2011/08/30 13:53:01	発生	□	
12	01010203	Line1 Adaptor1 I/D unit3	[A03]	2011/08/30 13:53:01	発生	□	
13	01010204	Line1 Adaptor1 I/D unit4	[A04]	2011/08/30 13:52:43	発生	□	
14	01010205	Line1 Adaptor1 I/D unit5	[A05]	2011/08/30 13:52:43	発生	□	
15		ｼｽﾃﾑﾘｾｯﾄ	全警報解除	2011/08/30 13:35:08	復旧	□	
16		ｼｽﾃﾑﾘｾｯﾄ	全警報解除	2011/08/30 13:31:20	復旧	□	

３－６状態変化・操作履歴表示

各機器の現在までの状態変化、中央監視装置による操作履歴を一覧リストに表示します。（１日単位）
一覧リストでは最大２，０００件を表示します。状態変化・操作履歴データは過去２００，０００件を記憶し、これを超えた場合には古いデータから順次消去します。また、期間を指定して検索・表示することができます。

NO	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	操作	運転	ﾓｰﾄﾞ	設温	風速	風向	集中	日時
1	011601	Line1 Adaptor16 O/D unit1	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
2	011502	Line1 Adaptor15 O/D unit2	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
3	011401	Line1 Adaptor14 O/D unit1	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
4	011302	Line1 Adaptor13 O/D unit2	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
5	011201	Line1 Adaptor12 O/D unit1	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
6	011102	Line1 Adaptor11 O/D unit2	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
7	011001	Line1 Adaptor10 O/D unit1	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
8	010902	Line1 Adaptor9 O/D unit2	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
9	010801	Line1 Adaptor8 O/D unit1	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
10	010702	Line1 Adaptor7 O/D unit2	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
11	010601	Line1 Adaptor6 O/D unit1	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
12	010201	Line1 Adaptor2 O/D unit1	簡易ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ強制停止						2011/08/30 13:36:22
13	01183103	回線1 ｱﾀﾞﾌﾟﾀ18 室内機3	状態変化	運転						2011/08/30 13:35:52
14	01183101	回線1 ｱﾀﾞﾌﾟﾀ18 室内機1	状態変化	運転						2011/08/30 13:35:52
15	01160164	Line1 Adaptor16 I/D unit64	状態変化	停止	冷房	18	急	F1	個別	2011/08/30 13:35:52
16	01160163	Line1 Adaptor16 I/D unit63	状態変化	停止	冷房	18	急	F1	個別	2011/08/30 13:35:52

4)制御機能

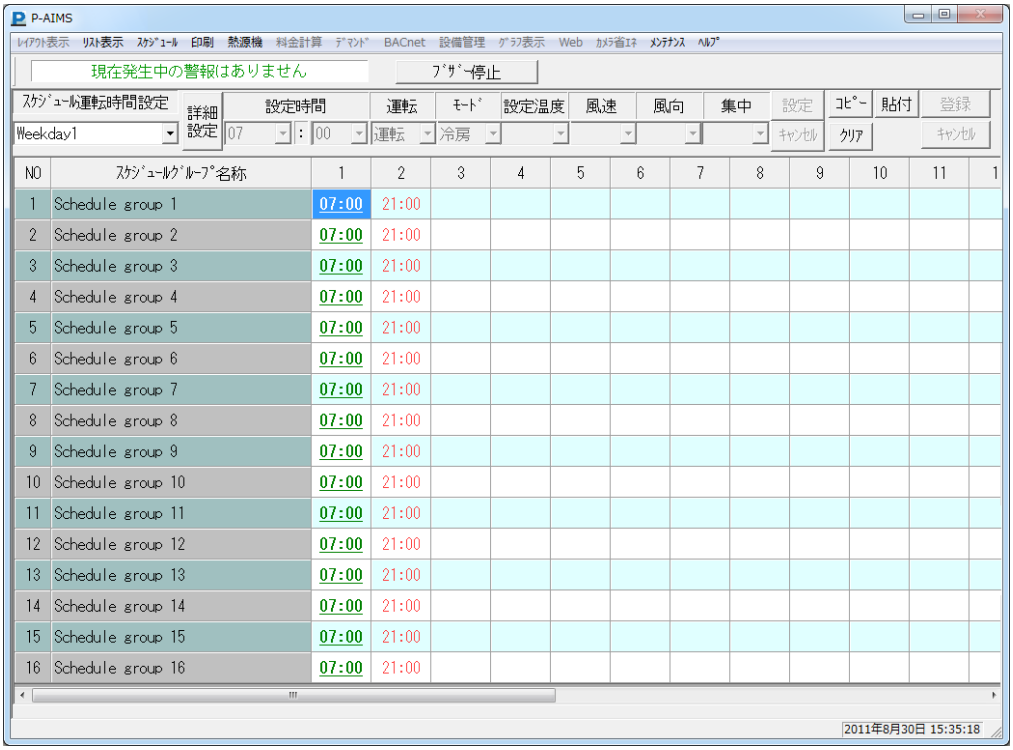
４－１グループ制御

制御グループに登録された各室内ユニットについて、前述“２）２－３グループ毎の一括操作”による運転／停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中の操作、設定変更ができます。
制御グループは最多１００件登録可能です。

４－２スケジュール制御

スケジュールグループに登録された各室内ユニットについて、予め設定したスケジュールにより自動発停の操作をさせます。

1)スケジュールによる発停パターンは３０モード（コメント入力可能）の設定ができ、カレンダー上で日毎及び、曜日毎にモードの指定ができます。
2)各モードにおいて、機器毎に任意の運転時間を各２０回まで設定できます。
3)カレンダースケジュールは、当月を含めて１年後まで設定できます。
4)設定できる範囲は運転／停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中です。
5)当日、翌日、翌々日のみ時間変更のスケジュール登録が可能です。



４－３イベント制御

イベントグループに登録された各機器・装置について、設定した入力条件により連動発停の操作をさせることができます。

４－４リモコン禁止／許可制御

禁止できる項目は運転／停止、温度設定、冷暖モード、風速、風向です。
Ｅ、Ｆ形ＧＨＰ（三洋電機株式会社製）は以下の集中５～７の設定ができます。
Ｓ、Ｍ、Ｋ、Ｊ、Ｈ、Ｇ形ＧＨＰ（三洋電機株式会社製含む）は集中１～４の設定ができます。集中１～４の禁止項目は変更が可能です。

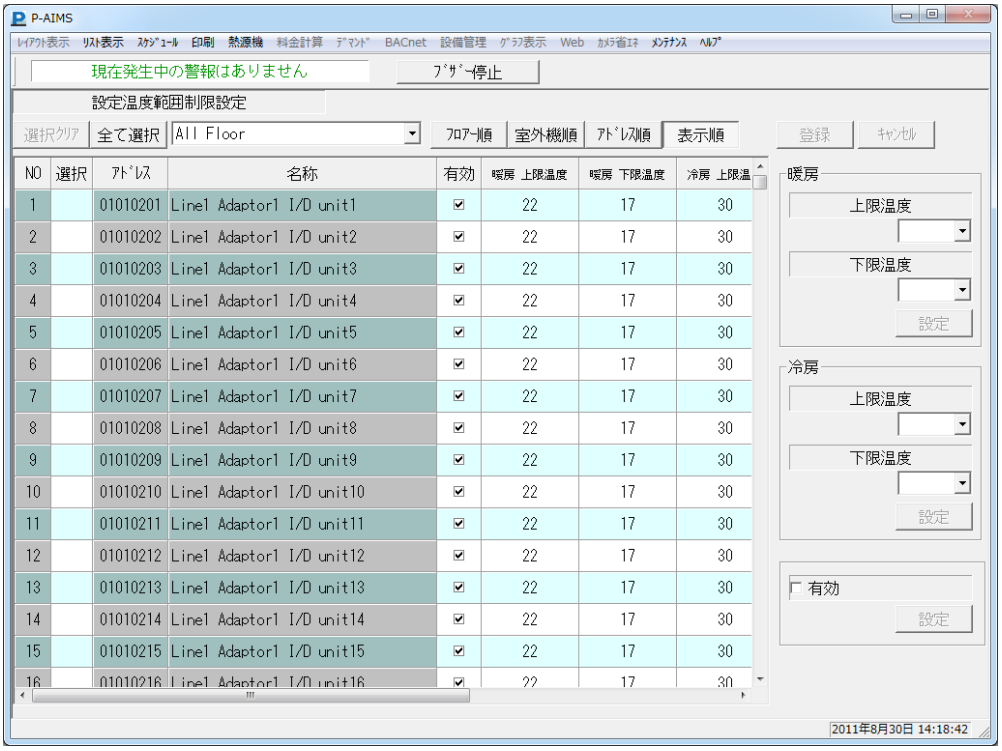
	運転／停止	温度設定	モード設定	風速設定	風向設定
個別	○	○	○	○	○
集中１	×	○	○	○	○
集中２	×	×	×	○	○
集中３	○	×	×	○	○
集中４	○	○	×	○	○
集中５	×	○	○	○	－
集中６	×	×	×	○	－
集中７	○	×	×	○	－

４－５保守登録
メンテナンス中の機器・装置について、保守登録を指定できます。
保守登録が指定された機器・装置はP-ＡＩＭＳ システムからの操作を禁止し、警報（故障）監視を停止します。
警報発生中に保守登録を行った場合、状態監視画面警報欄の表示は保守します。警報履歴は復旧となります。警報発生のメッセージ、ブザー鳴動はありません。保守設定画面警報欄の警報表示は復旧となります。
保守登録後に警報が発生した場合、状態監視画面警報欄の表示は保守します。警報履歴、保守設定画面警報欄も警報表示は行いません。
保守設定中はイベント制御、スケジュール制御は動作しません。

４－６設定温度自動リターン制御
手元リモコンなどで設定温度を変更しても、一定時間が過ぎると自動的に設定温度が元に戻ります。

４－７消し忘れ防止制御
設定した停止時刻に空調を自動停止します。停止時刻から終了時刻の間は、自動停止時間の間隔（10 分など）で自動停止を行います。

４－８設定温度範囲制限制御
リモコンで使用可能な設定温度の制限を行う事が出来ます。上限２８℃、下限２６℃と設定した場合、リモンコンで２４℃を設定しても、P-ＡＩＭＳ から、下限設定の２６℃に変更します。



４－９デマンド/ピークカット制御
室外機のデマンド制御を行い、消費電力のピークカットを行うことができます。１日２回設定できます。

４－１０運転自動停止制御
空調機を設定した時間後に自動停止します。

5)印刷機能
５－１外部プリンタによる印刷
1)警報発生履歴、操作／状態変化履歴の印刷
指定された期間について、警報（故障）の発生／復旧、操作、状態変化の履歴を印刷します。
2)画面のハードコピー印刷
表示画面を印刷します。

6) データ保存機能

６－１自動バックアップ

データベースを自動バックアップします。（１日１回）
警報履歴、操作／状態変化履歴データ（日単位）をＣＳＶ形式で自動バックアップします。（１日１回）

６－２警報履歴、操作／状態変化履歴データの保存

警報履歴、操作／状態変化履歴データを任意の期間で指定し、外部の記録メディアにＣＳＶ形式で保存することができます。

7) その他機能

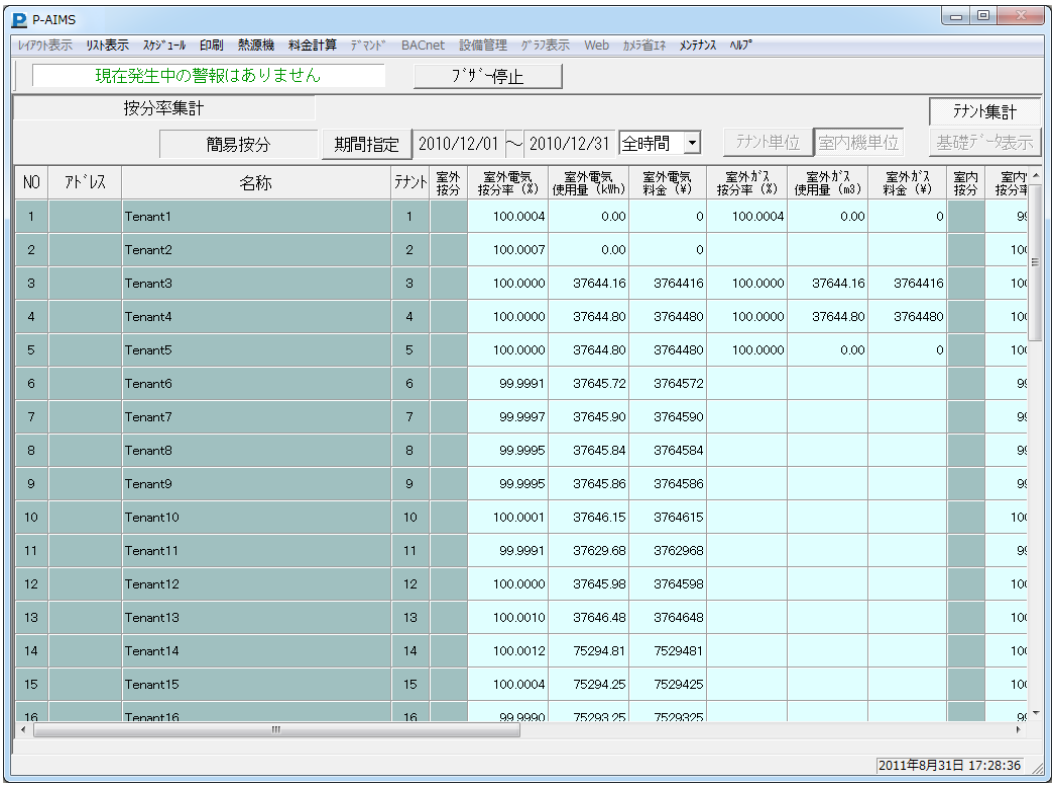
７－１ＵＰＳ自動シャットダウン

ＵＰＳの停電信号により自動シャットダウンを行います。

8) 料金計算機能（別途、料金計算ソフトＣＺ－１０ＳＷＢ３Ａが必要です）

８－１空調エネルギー按分データの表示

各室内ユニット、テナント毎にサーモＯＮ・ＯＦＦ積算時間（急風、強風、弱風、合計）の表示が可能です。
サーモＯＮ・ＯＦＦ積算時間は全時間、時間内、時間外、特定日毎に集計が可能です。
各室内ユニット、テナント毎に電気／ガス使用量の表示が可能。全時間、時間内、時間外、特定日毎に集計が可能です。



NO	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	ﾃﾅﾝﾄ	室外按分	室外電気按分率（%）	室外電気使用量（kWh）	室外電気料金（¥）	室外ｶﾞｽ按分率（%）	室外ｶﾞｽ使用量（m3）	室外ｶﾞｽ料金（¥）	室内按分	室内按分率
1		Tenant1	1		100.0004	0.00	0	100.0004	0.00	0		9
2		Tenant2	2		100.0007	0.00	0					10
3		Tenant3	3		100.0000	37644.16	3764416	100.0000	37644.16	3764416		10
4		Tenant4	4		100.0000	37644.80	3764480	100.0000	37644.80	3764480		10
5		Tenant5	5		100.0000	37644.80	3764480	100.0000	0.00	0		10
6		Tenant6	6		99.9991	37645.72	3764572					9
7		Tenant7	7		99.9997	37645.90	3764590					9
8		Tenant8	8		99.9995	37645.84	3764584					9
9		Tenant9	9		99.9995	37645.86	3764586					9
10		Tenant10	10		100.0001	37646.15	3764615					10
11		Tenant11	11		99.9991	37629.68	3762968					9
12		Tenant12	12		100.0000	37645.98	3764598					10
13		Tenant13	13		100.0010	37646.48	3764648					10
14		Tenant14	14		100.0012	75294.81	7529481					10
15		Tenant15	15		100.0004	75294.25	7529425					10
16		Tenant16	16		99.9990	75293.25	7529325					9

８－２積算値表示

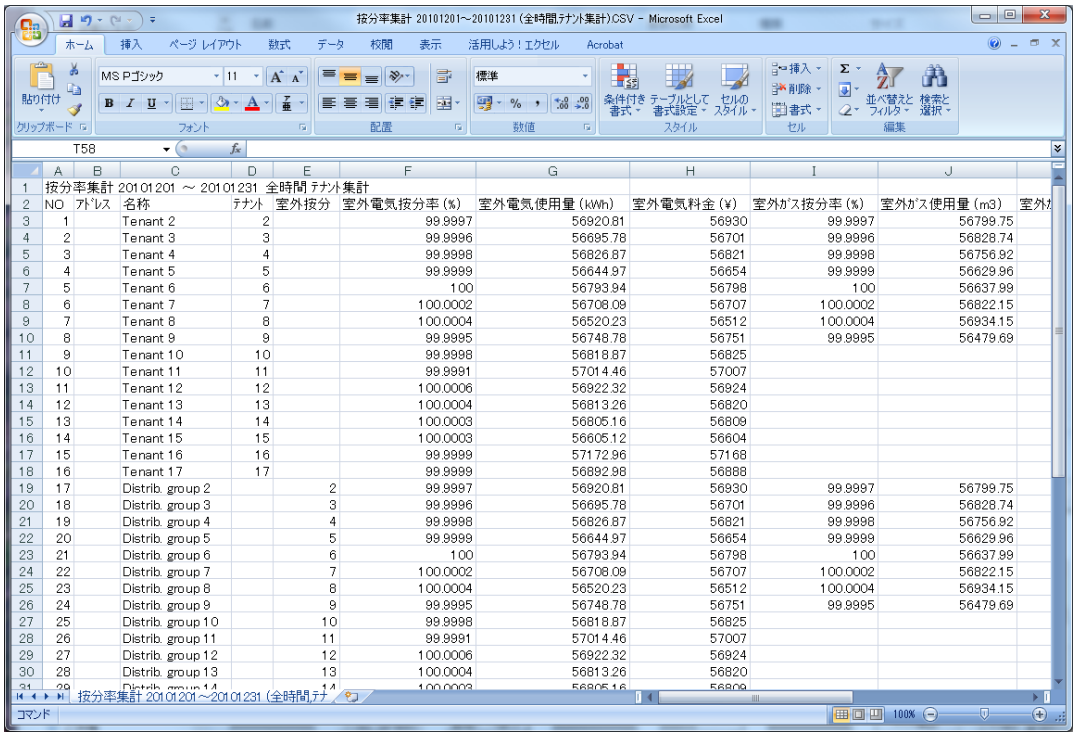
電力メータ、ガスメータの積算値を一覧リストに表示します。
現在までの累積値、任意に指定した期間の全時間、時間内、時間外、特定日毎の積算値を表示します。

８－３印刷機能

各室内ユニット、テナント毎のサーモＯＮ・ＯＦＦ積算時間、按分率、使用量の印刷ができます。
電力メータ、ガスメータ積算値の印刷ができます。

８－４保存機能

按分データ、積算値データは過去１年分を保存します。
空調エネルギーデータを任意の期間で指定し、外部の記録メディアにＣＳＶ形式で保存できます。
空調エネルギーデータをＣＳＶ形式で自動バックアップします。（１日１回）
　日単位データ：サーモＯＮアダプタ値
　月単位データ（締め日基準で１ヶ月の合計値）電力メータ、ガスメータ積算値、電力、ガス使用量
保存データは、汎用ソフト（Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｅｘｃｅｌ）で利用できます。

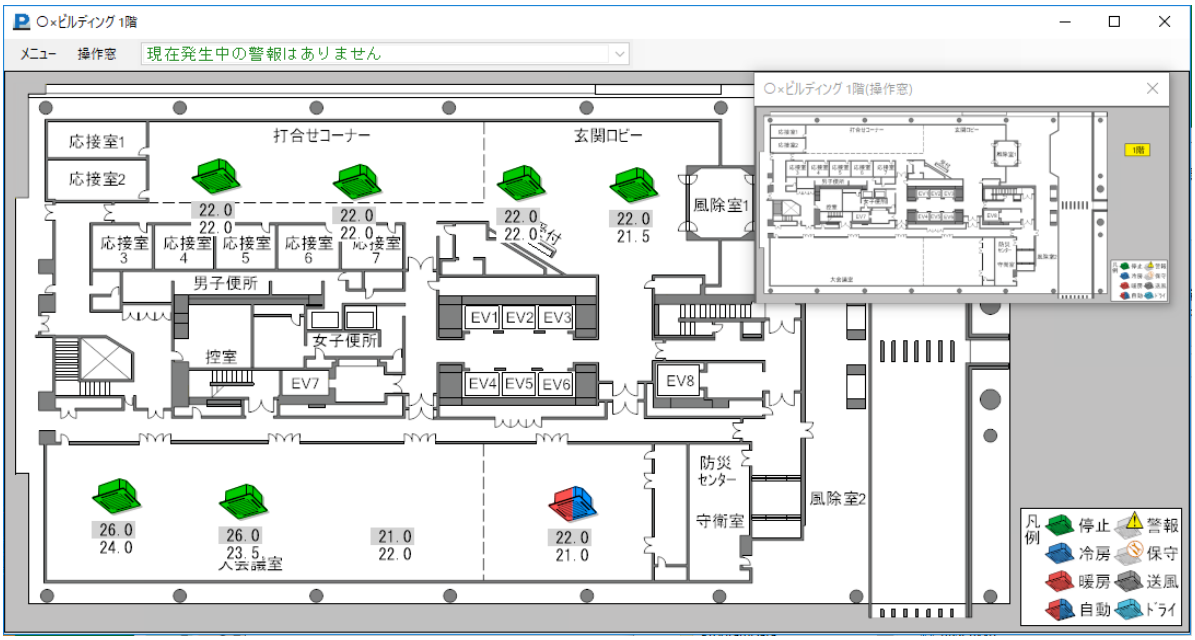


	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	按分率集計 20101201 ～ 20101231 全時間 テナント集計									
2	NO	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	ﾃﾅﾝﾄ	室外按分	室外電気按分率 (%)	室外電気使用量 (kWh)	室外電気料金 (¥)	室外ｶﾞｽ按分率 (%)	室外ｶﾞｽ使用量 (m3)
3	1		Tenant 2	2		99.9997	56920.81	56930	99.9997	56799.75
4	2		Tenant 3	3		99.9996	56695.78	56701	99.9996	56828.74
5	3		Tenant 4	4		99.9998	56826.87	56821	99.9998	56756.92
6	4		Tenant 5	5		99.9999	56644.97	56654	99.9999	56629.96
7	5		Tenant 6	6		100	56793.94	56798	100	56637.99
8	6		Tenant 7	7		100.0002	56708.09	56707	100.0002	56822.15
9	7		Tenant 8	8		100.0004	56520.23	56512	100.0004	56934.15
10	8		Tenant 9	9		99.9995	56748.78	56751	99.9995	56479.69
11	9		Tenant 10	10		99.9998	56818.87	56825		
12	10		Tenant 11	11		99.9991	57014.46	57007		
13	11		Tenant 12	12		100.0006	56922.32	56924		
14	12		Tenant 13	13		100.0004	56813.26	56820		
15	13		Tenant 14	14		100.0003	56805.16	56809		
16	14		Tenant 15	15		100.0003	56605.12	56604		
17	15		Tenant 16	16		99.9999	57172.96	57168		
18	16		Tenant 17	17		99.9999	56892.98	56888		
19	17		Distrib. group 2		2	99.9997	56920.81	56930	99.9997	56799.75
20	18		Distrib. group 3		3	99.9996	56695.78	56701	99.9996	56828.74
21	19		Distrib. group 4		4	99.9998	56826.87	56821	99.9998	56756.92
22	20		Distrib. group 5		5	99.9999	56644.97	56654	99.9999	56629.96
23	21		Distrib. group 6		6	100	56793.94	56798	100	56637.99
24	22		Distrib. group 7		7	100.0002	56708.09	56707	100.0002	56822.15
25	23		Distrib. group 8		8	100.0004	56520.23	56512	100.0004	56934.15
26	24		Distrib. group 9		9	99.9995	56748.78	56751	99.9995	56479.69
27	25		Distrib. group 10		10	99.9998	56818.87	56825		
28	26		Distrib. group 11		11	99.9991	57014.46	57007		
29	27		Distrib. group 12		12	100.0006	56922.32	56924		
30	28		Distrib. group 13		13	100.0004	56813.26	56820		

9) レイアウト表示機能（別途、レイアウト表示ソフトＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｇが必要です）

９－１レイアウト表示

各機器の現在の運転／停止、冷暖モード、設定温度、室温、風速、風向、集中、警報の状況を表示します。
また、その値が変化した場合にはリアルタイムに表示を変更します。
画面上で、各機器の運転／停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中の操作ができます。
また、同一の操作出力であれば複数台の一括操作ができます。
最大４画面を同時に表示させることができます。
操作窓を使用して、拡大表示させることができます。
機器検索用サイドバーで機器の検索ができます。
レイアウト図切り替えサイドバーでレイアウトの切り替えができます。



10)デマンド制御（別途、デマンド制御ソフトＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｄ、デマンドコントローラが必要です）

１０－１室外ユニットデマンド制御
デマンドレベル（３段階）毎に室外ユニットのデマンド制御を登録できます。
デマンド制御設定内容は機種により異なります。

１０－２室内ユニットデマンド制御
デマンドレベル（３段階）毎に室内ユニットのデマンド制御を登録できます。
室内ユニットの制御はサーモＯＦＦ、設定温度±１℃、設定温度±２℃の３種類です。

１０－３室外ユニットサイクリック制御
制御グループ１から制御周期に従い順次サイクリック制御を行います。該当の室外ユニットは停止します。

１０－４室内ユニットサイクリック制御
制御グループ１から制御周期に従い順次サイクリック制御を行います。該当の室内ユニットはサーモＯＦＦします。

11）設備管理制御（別途、設備管理ソフトＣＺ－１０ＳＷＢ３ＢＳ、端末ユニット、リモートステーション盤が必要です）

１１－１設備管理ソフト機能
デジタル入力、デジタル出力、パルス入力、アナログ入力、アナログ出力可能な端末ユニットを組み合わせる事で、設備機器の発停、状態、警報監視、積算値、アナログ表示・設定の機能を持っています。

12）ＢＡＣｎｅｔ通信（別途、ＢＡＣｎｅｔ通信ソフトＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｂが必要です）

１２－１ＢＡＣｎｅｔ通信ソフト機能
ＢＡＣｎｅｔ通信規格（ANSI/ASHRAE135-2004、IEIJ-G-0006:2006（電気設備学会制定））に準拠。
室内機２５５台まで接続可能。Ｉ／Ｆ機能だけでなく、Ｐ-ＡＩＭＳ ソフトでの監視・制御が可能。

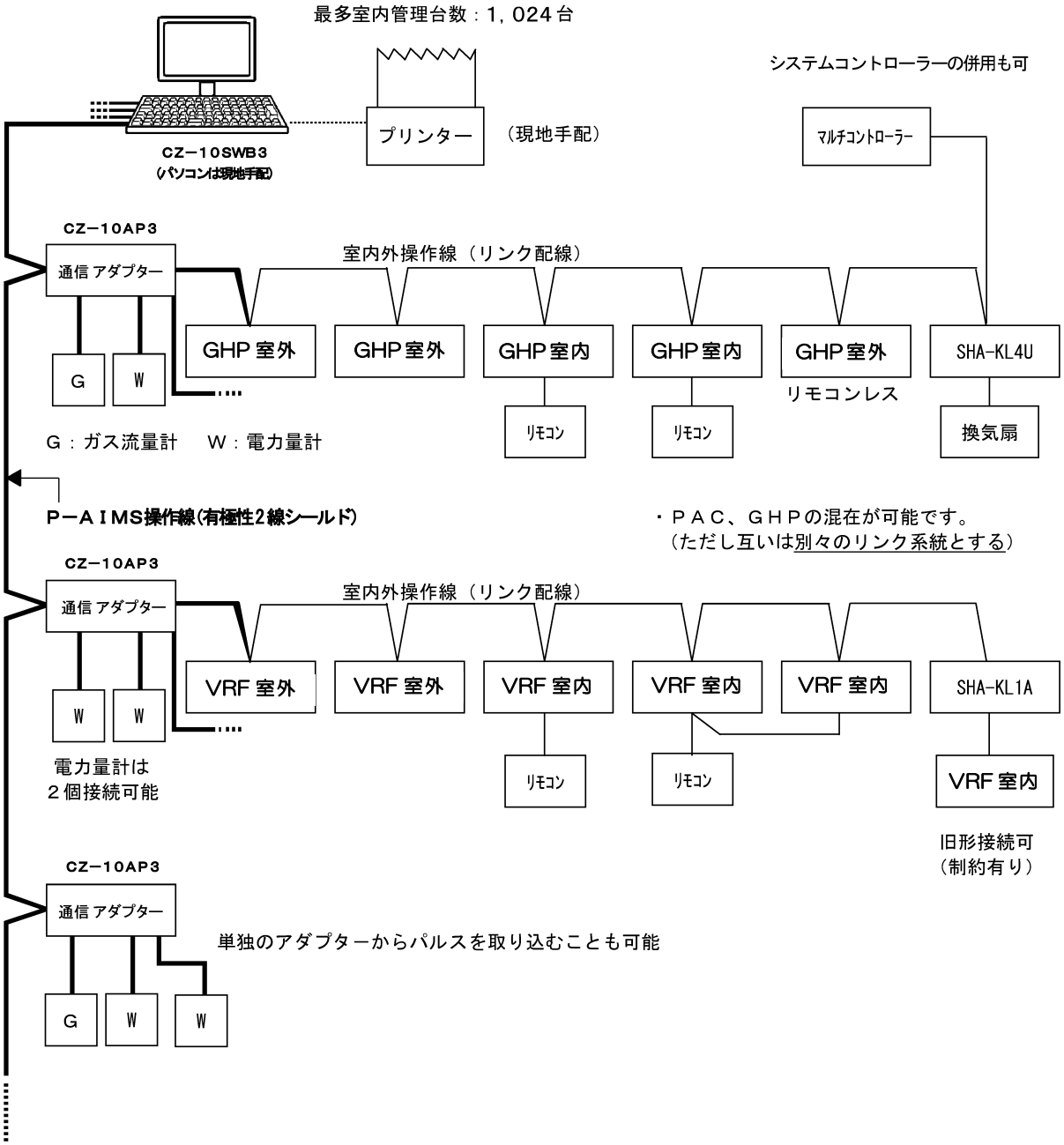
13）Ｗｅｂ接続（別途、ＷｅｂソフトＣＺ－１０ＳＷＢ３Ｗが必要です）

１３－１Ｗｅｂソフト機能
イントラネット、インターネットを利用して空調・ビル設備の遠隔監視・制御が可能です。
また、料金計算データ等のダウンロードが可能です。

⑤P-ＡＩＭＳ システム系統図例

通常の空調工事の配線
P-ＡＩＭＳ システムの配線

ＣＺ－１０ＳＷＢ３



通信アダプターは 最多３２台（通信系統最多8台）

室内外操作線：室外ユニット最多３０台
室内ユニット最多６４台

≪ご注意≫　ＰＡＣとＧＨＰは、１つの室内外操作線内での混在はできません。
必ず専用の通信アダプターに接続してください。

⑥ＣＺ－１０ＳＷＢ３仕様

1）仕様

・動作環境

ＯＳ：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０ Ｐｒｏ ６４ｂｉｔ／８．１ Ｐｒｏｆｅｓｓｉｏｎａｌ ６４ｂｉｔ

ＣＰＵ：インテル Core™ i5-6500 以上 64bit

インテル Core™ i7-7700 以上 64bit（レイアウト表示ソフト 室内機512台以上使用時）

メモリ：８ＧＢ以上

ＨＤＤ：ＳＳＤ（Ｓｏｌｉｄ Ｓｔａｔｅ Ｄｒｉｖｅ） ２５０ＧＢ以上

ディスプレイ：１９２０×１０８０（フルHD）、１０２４×７６８（最小）

・構成機器（すべて別途手配）

パソコン（１台）

ディスプレイ（１台）

外付けハードディスク（１台）

ＵＰＳ（１台）

ＵＳＢ－ＲＳ４８５変換機（１系統に１台）

プリンター（１台）

・伝送幹線

２芯シールドケーブル（０．５mm^2～２mm^2）

有極性です。

・伝送仕様

ＲＳ－４８５

・伝送速度

１９２００ｂｐｓ

・接続台数

P-ＡＩＭＳ 操作線：通信アダプター最多３２台（１通信系統最多８台）

室内外操作線：室外ユニット最多３０台・室内ユニット最多６４台

・対応機種

Ｔ、Ｓ、Ｍ、Ｋ、Ｊ、Ｈ、Ｇ、Ｆ、Ｅ形ガスエンジンヒートポンプエアコン（三洋電機株式会社製含む）

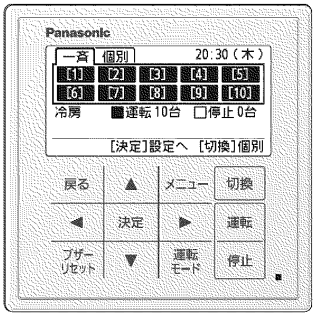
４．３シリーズＥ、Ｂ、Ａ、Ｕ、Ｔ、Ｓ、Ｒ形電気式パッケージエアコン（三洋電機株式会社製含む）

Panasonic

取扱説明書

チラーリモコン

品番 **CZ-10RTC1**



もくじ

安全上のご注意……2
本機の特長……3
使用上のお願い……3
システムの構成……4
各部のなまえとはたらき……5
画面の見かた……6
運転のしかた……9
冷水/温水の温度を設定する……10
集中・解除設定を行う……11
冷/暖切り換えのしかた……12
冷房入力と暖房入力について……13
時計の設定……15
タイマーの使いかた……16
ウィークリータイマー設定……17
シフト運転……22
初期設定……23
知っていただきたいこと……26
保証とアフターサービス……27
仕様……裏表紙

据付（電気）工事説明書　別添付

このたびは、チラーリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●本書はチラーリモコンの取扱説明書です。吸収冷温水機またはGHPチラーに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。

●ご使用前に「安全上のご注意」（2 ページ）を必ずお読みください。

●この取扱説明書は吸収冷温水機またはGHPチラーに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

●取扱説明書のページは右下、左下にあるページを参照してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者（サービス会社）に依頼する
必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定の機器と接続して使う
必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

リモコンを分解しない
禁止
（感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）
必ず守る

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、サービス会社へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

ぬれた手で操作しない
禁止
（感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止
（感電・火災の原因）

火災・地震・落雷のときは運転停止
必ず実施
火災・地震の発生時、および落雷のおそれのあるときは、すみやかに運転を停止してください。そのまま運転を続けると、火災や感電の原因になります。

次のような場所で使わない
禁止
（感電・火災などの原因）
- 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 電圧変動の多いところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 結露するところ

2

本機の特長

● **接続台数**※1 ..... 1台のリモコンに最大10台のGHPチラーあるいは吸収冷温水機を接続可能※2
● **表示**.....LCDパネル
● **操作機能**.....運転/停止、冷温水温度設定、冷房/暖房切り換え※3、他
● **モニター**.....吸収冷温水機、冷温水ポンプ、冷却水ポンプ※4、アラーム
● **タイマー**.....ウィークリータイマー、延長運転タイマー
● **親子リモコン**.....親リモコン1台に子リモコン3台まで※5

※1 CZ-10RTC1は、GHPチラーあるいは吸収冷温水機の対応機種にご使用できます。
※2 吸収冷温水機と、GHPチラーでは、制御方法が異なりますので、1台のリモコンで吸収冷温水機とGHPチラーを同時にコントロールすることはできません。
※3 冷暖自動切り換えに対応したユニットの場合です。冷房/暖房切り換えの設定方法は、据付（電気）工事説明書をお読みください。
※4 GHPチラーにはありません。
※5 メンテナンス機能のリモコンアドレス設定と管理リモコン設定より親子を切り換えます。切り換えは、サービスマン以外の方は行わないでください。

● ユニットとは、GHPチラーまたは吸収冷温水機をさします。
● 集中解除設定で解除に設定されているユニットは運転できません。運転する場合は集中に設定してください。(P.11)

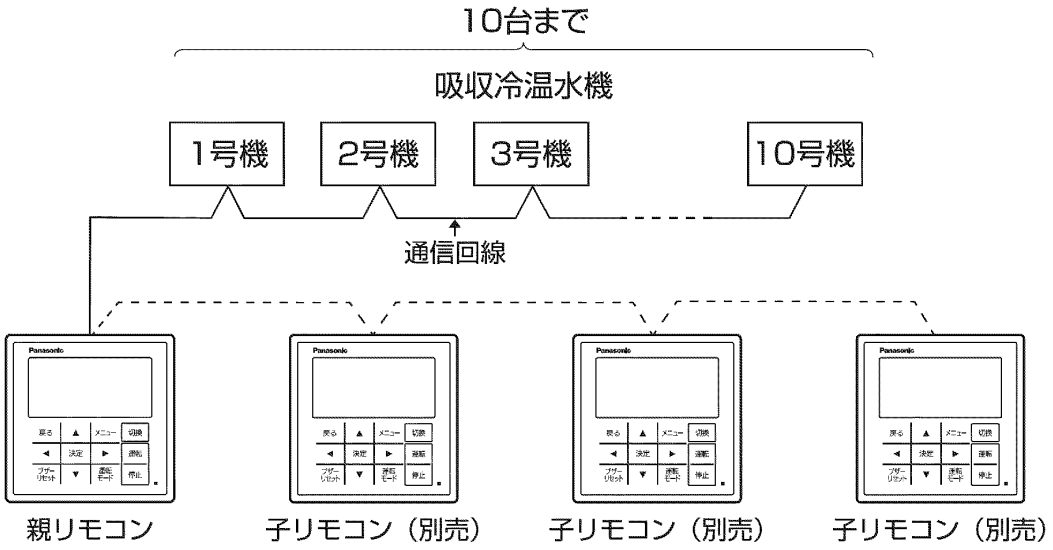
使用上のお願い

● 次のような場所に設置しない
・湿気・油分・振動が多い/直射日光があたる/熱源の近く/結露する(故障の原因)
・ノイズが発生する(誤動作の原因)

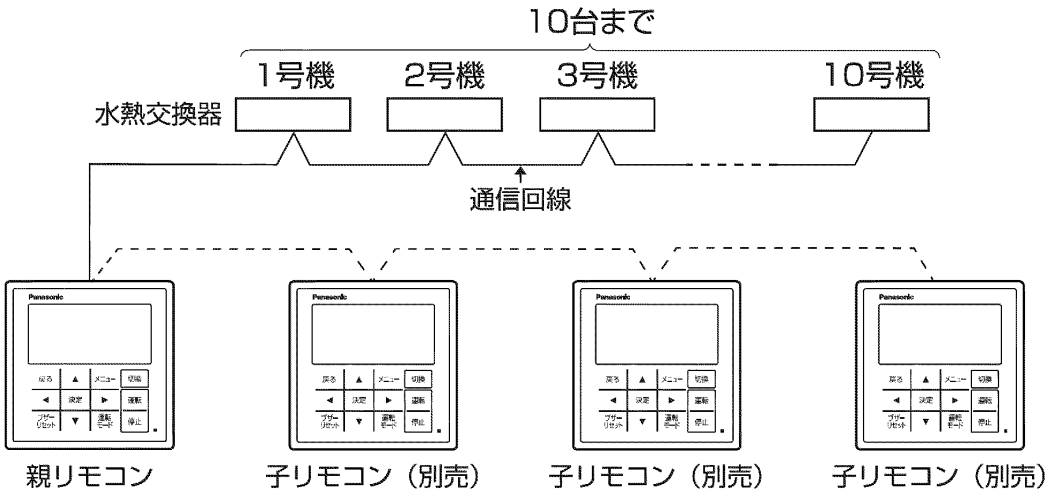
● ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(変色や故障の原因)
・ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

システムの構成

■吸収冷温水機の場合



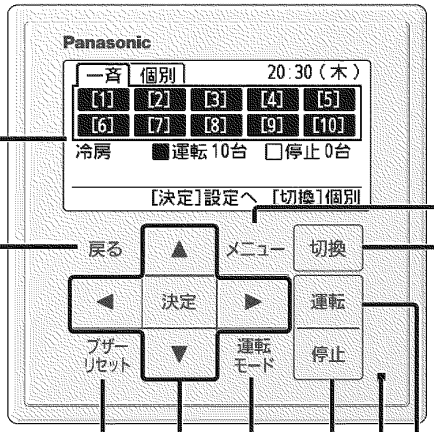
■GHPチラーの場合



4

各部のなまえとはたらき

このリモコンで、最大10台のGHPチラーあるいは吸収冷温水機を運転できます。



液晶ディスプレイ

戻る
1つ前の画面に戻ります。

ブザーリセット
異常発生時の警報ブザーを停止します。

▲/▼/◀/▶ボタン
項目を選択/調整します。

決定ボタン
- 選んだ項目に決定します。
- 設定画面に切り換えます。

運転モード
冷房/暖房を切り換えます。※1※2※3
（ユニット一斉切り換えのみ可能）

メニューボタン
メニュー画面に切り換えます。

切換ボタン
複数のユニットを接続時、トップ画面のタブ（一斉/個別）を切り換えます。※2

運転ボタン※3
ユニットの運転を開始します。

運転表示ランプ（緑）
1台以上のユニットが運転中に点灯します。

停止ボタン※3
ユニットの運転を停止します。

※1 吸収冷温水機については、冷暖自動切り換えに対応したユニットの場合のみ使用可能です。（据付時に設定されています）

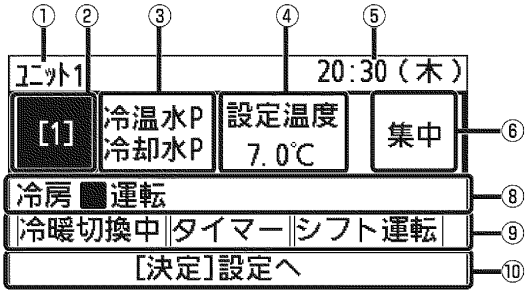
※2 親リモコンのみ

※3 集中解除設定で解除に設定されているユニットは、運転/停止、運転モード、冷温水温度設定が操作できません。

画面の見かた

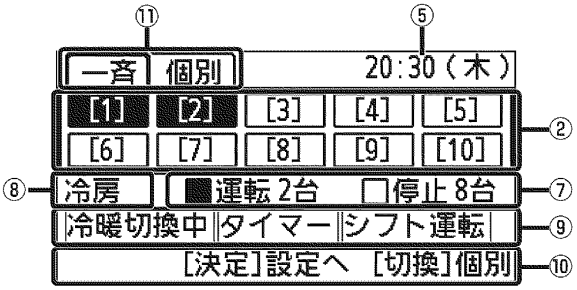
トップ画面

■ユニットが１台のみの場合

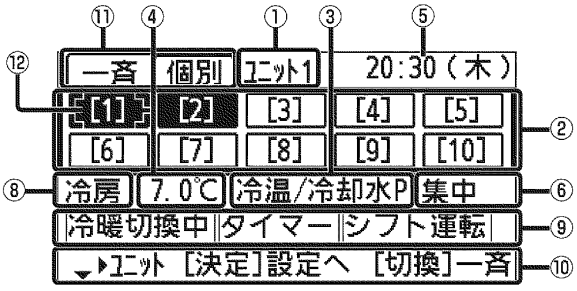


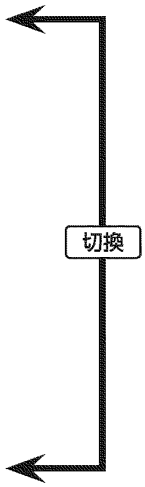
■ユニットが複数の場合（例：10台）

＜一斉タブのとき＞



＜個別タブのとき＞





6

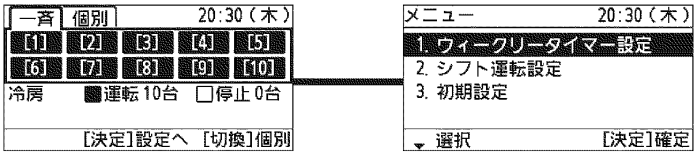
①	**ユニット名**	ユニット名（番号）が表示されます。
②	**ユニット番号** **運転/停止** **（集中/解除）**	ユニット番号が表示されます。 [1] ：運転中/[1]：停止中/[1]：停止準備（ポンプ動作中） [1] の[ ]点灯時は集中、消灯時は解除を意味します。
③	**ポンプ状態**	冷温水ポンプがオンのとき、**冷温水P** が表示され、冷却水ポンプがオンのとき、**冷却水P** が表示されます。 ポンプがオフのときは、非表示になります。 ※ **冷却水P** は、吸収冷温水機と接続時のみ表示されます。
④	**設定温度**	冷温水の設定温度が表示されます。
⑤	**現在時刻・曜日**	現在の時刻と曜日が表示されます。
⑥	**集中/解除**	**集中**：設定の対象となるユニット **解除**：設定の非対象となるユニット ※解除中は、運転/停止などの操作ができません。
⑦	**運転/停止台数**	現在の運転中と停止中の台数が表示されます。 ※一斉タブのときに表示されます。
⑧	**運転モード**	**冷房** / **暖房** が表示されます。 ※混在した場合は、**冷暖房** が表示されます。
⑨	**その他情報** **異常情報**	冷暖切換中　：冷暖切換中に表示されます。表示中は運転操作はできません。※1 タイマー　　：ウィークリータイマー設定中に表示されます。※2 シフト運転　：シフト運転設定が手動/自動設定のときに表示されます。※2 ただし、異常発生時は上記よりも優先してユニット番号と異常コードが表示されます。 ※1 吸収冷温水機のみ表示されます。 ※2 親機のみ表示されます。
⑩	**操作ガイド**	操作できる内容が表示されています。
⑪	**一斉/個別タブ**	切換 をタッチして一斉/個別を切り換えます。
⑫	**カーソル**	選択されたユニットにカーソル（[　]）が表示されます。 ※個別タブのときに表示されます。

画面の見かた

メニュー画面

1 メニュー画面を出す
[メニュー]をタッチする

2 メニュー項目を選ぶ
[▲][▼]→[決定]をタッチする



トップ画面　　メニュー画面

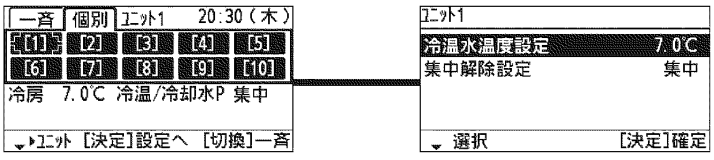
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

1.ウィークリータイマー設定		
ウィークリータイマー	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.17
延長運転	タイマー設定の本日の最終切時刻を延長します。	P.20
曜日間コピー	登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。	P.19
2.シフト運転設定		
シフト運転	設定温度に対して、一時的に温度を上げて（下げて）運転します。	P.22
3.初期設定		
1.時計設定	現在日時を設定します。	P.15
2.時刻表示設定	時刻表示の種類を設定します。	P.15
3.操作音設定	操作音のオン/オフを設定します。	P.23
4.異常音設定	異常発生時にブザーを鳴らす/鳴らさないを設定します。	P.23
5.コントラスト調整	画面のコントラストを設定します。	P.25
6.バックライト設定	バックライトの明るさと点灯時間を設定します。	P.24

設定メニュー画面

1 設定メニュー画面を出す
[決定]をタッチする

2 設定メニュー項目を選ぶ
[▲][▼]→[決定]をタッチする



トップ画面　　設定メニュー画面

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

冷温水温度設定	運転の状態に応じて、冷水/温水の温度を設定します。	P.10
集中解除設定	操作の対象となるユニットを設定します。	P.11

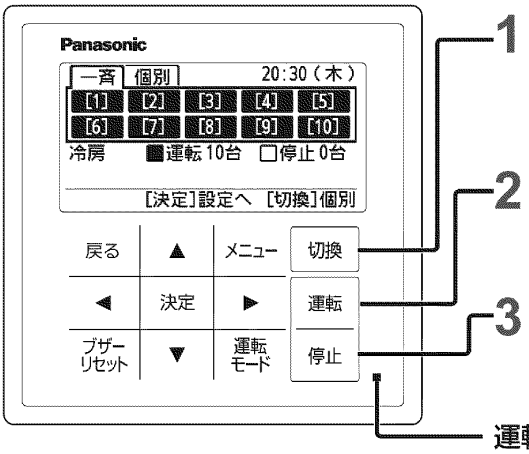
※一斉の場合は、集中解除設定は選択できません。

8

運転のしかた

- 複数台のすべてのユニットを運転する場合は、約13秒間隔で順次運転を開始します。
- ボタンは爪などの先のとがったもので押さないでください。傷付きの原因になります。
- 運転する前に集中解除設定を確認してください。解除に設定されているユニットは運転できません。運転する場合は集中に設定してください。(P.11)
- 異常が発生しているユニットは運転できません。その場合はお買い上げの販売店またはお近くのサービス会社へお知らせください。

すべてのユニットを運転/停止する場合



1 切換 をタッチして、「一斉」を選ぶ

- タッチするたびに、「一斉」「個別」が切り換わります。
- 一斉：すべてのユニットを一括で操作します。

2 運転 をタッチして、運転を開始する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから運転します。

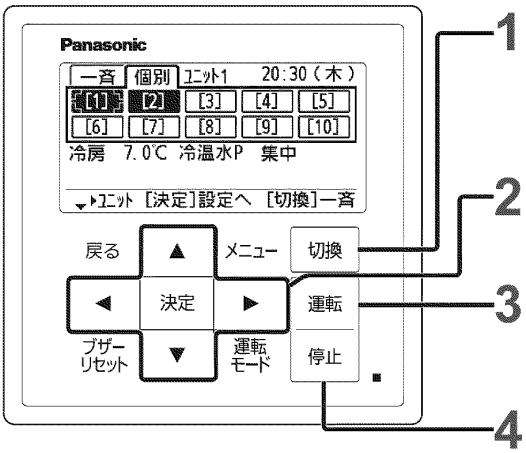
3 停止 をタッチして、運転を停止する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから停止します。

運転表示ランプ

すべてのユニットが停止している場合に消灯します。
1台でも運転している場合は点灯します。

ユニットを個別に運転/停止する場合



1 切換 をタッチして、「個別」を選ぶ

- タッチするたびに、「一斉」「個別」が切り換わります。
- 個別：1つのユニットを選んで操作します。

2 ◀ ▶ ▲ ▼ をタッチして カーソルを移動させ、ユニットを選ぶ

3 運転 をタッチして、運転を開始する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから運転します。

4 停止 をタッチして、運転を停止する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから停止します。

冷水/温水の温度を設定する

親リモコンのみ

運転モードが冷房時は冷水温度を、暖房時は温水温度を設定します。

設定温度範囲は以下になります。

機種	冷水温度範囲	温水温度範囲
吸収冷温水機	7.0～12.0 ℃	40.0～60.0 ℃
GHPチラー	5.0～15.0 ℃	35.0～55.0 ℃

※据付時の設定によって異なる場合があります。

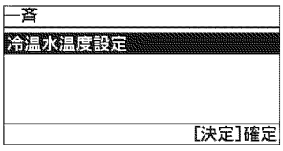
すべてのユニットを一括で温度設定する

1 「一斉」を選ぶ

[切換]

2 設定メニュー画面(P.8)で「冷温水温度設定」を選ぶ

[決定]



3 温度を設定する

[▲][▼]→[決定]

● 設定温度は、0.1 ℃単位です。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

ユニットを個別に温度設定する

1 「個別」を選ぶ

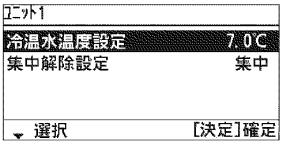
[切換]

2 設定したいユニットを選ぶ

[◀][▶][▲][▼]→[決定]

3 設定メニュー画面(P.8)で「冷温水温度設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



4 温度を設定する

[▲][▼]→[決定]

● 設定温度は、0.1 ℃単位です。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

集中・解除設定を行う

親リモコンのみ

運転する前に集中解除設定を確認してください。解除に設定されているユニットは運転/停止等の操作ができません。操作したい場合は、集中に設定してください。

- 吸収冷温水機で異常が発生した場合、集中から解除に設定してください。
- 集中解除設定は、一斉に設定変更することはできません。
- [　]の表示で設定を確認してください。[　]点灯時は集中、消灯時は解除に設定されています。(P.7の表内②)

1 「個別」を選ぶ

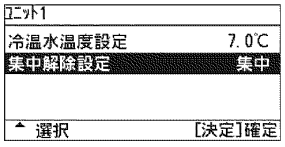
[切換]

2 設定したいユニットを選ぶ

[◀][▶][▲][▼]→[決定]

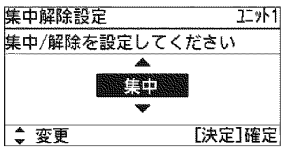
3 設定メニュー画面(P.8)で「集中解除設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



4 「集中」「解除」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



■ 1つ前の画面に戻るとき

「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき

「メニュー」ボタンを2回押す。

冷/暖切り換えのしかた

親リモコンのみ

- 吸収冷温水機が冷暖自動切換に対応していない場合は操作できません。
- 冷暖切換中は、集中/解除設定、シフト運転設定、冷温水温度設定、運転開始操作はできません。

1 冷房/暖房を切り換える

運転モード

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから運転モード切換を開始します。
- 切換時間
  冷房→暖房：最長20分
  暖房→冷房：最長2時間05分
  （GHPチラーは切換時間はありません）
- 切換が完了すると、冷暖切換中の表示が消えます。

12

冷房入力と暖房入力について

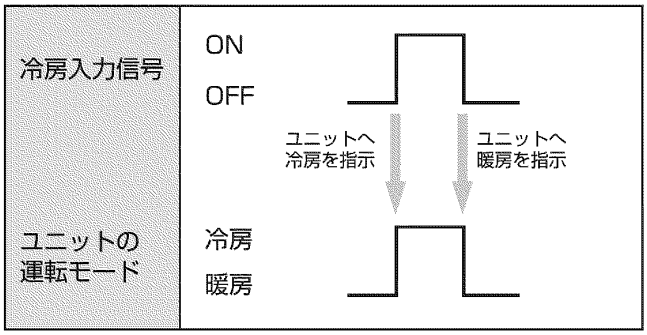
親リモコンのみ

ユニットの運転モードを入力信号に合わせて冷房/暖房を切り換えます。
冷房/暖房切り換えの設定方法は、据付（電気）工事説明書をお読みください。

- サンプリング：10 ms間隔
- チャタリング：1秒安定で有効

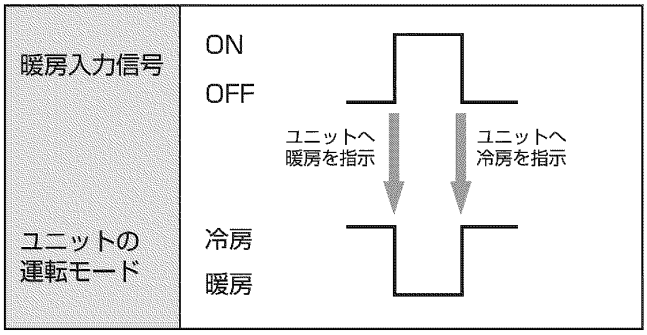
①冷 / 暖切換設定　　**外部接点冷房入力：有** ☑
外部接点暖房入力：無 ☐

暖房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視してください。



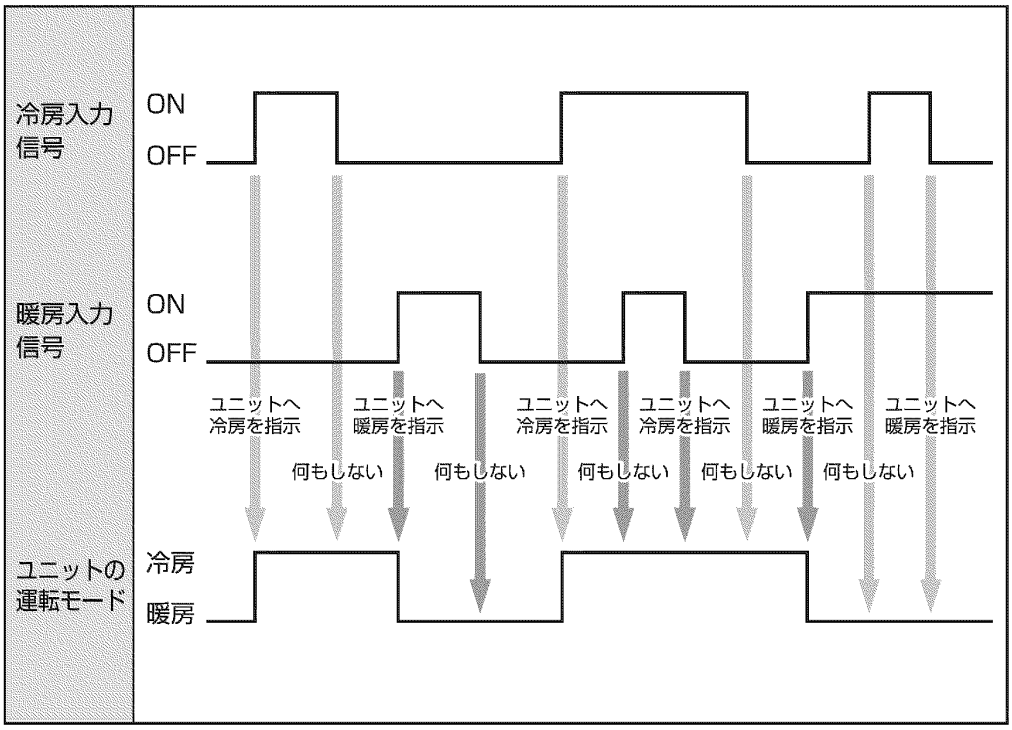
②冷 / 暖切換設定　　**外部接点冷房入力：無** ☐
外部接点暖房入力：有 ☑

冷房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視してください。



冷房入力と暖房入力について

③冷 / 暖切換設定　　外部接点冷房入力：有 ☑
外部接点暖房入力：有 ☑



時計の設定

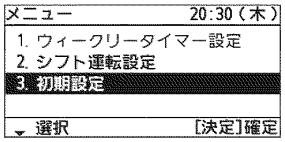
親リモコン、子リモコンともに時計の設定をしてください。

1 メニュー画面を出す

[メニュー]

2 「3.初期設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]

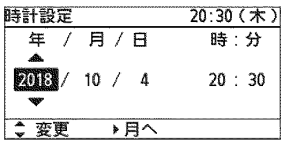


3 「1.時計設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]

4 年/月/日/時/分を設定する

[▲][▼](年)→[▶]
→[▲][▼](月)→[▶]
→[▲][▼](日)→[▶]
→[▲][▼](時)→[▶]
→[▲][▼](分)→[決定]



- [▲][▼]で数値を設定し、[▶]で次の項目に進んでください。
- [決定]で設定が反映されます。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

24時間表示/12時間表示を切り換える

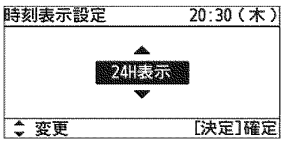
1 初期設定画面（左記手順3）を出す

2 「2.時刻表示設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]

3 「24H表示」「AM・PM表示」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- 出荷時設定：24H表示
- 「時刻表示設定」で「AM・PM表示」を選んでも、ウィークリータイマーなどの設定時刻は、24時間表示のままです。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

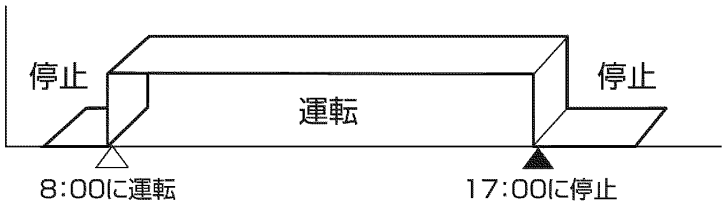
タイマーの使いかた

● タイマー機能は、全ユニット一括で運転/停止の動作となります。
● タイマーは、曜日ごとに設定する「ウィークリータイマー」です。

■こんなときにお使いください

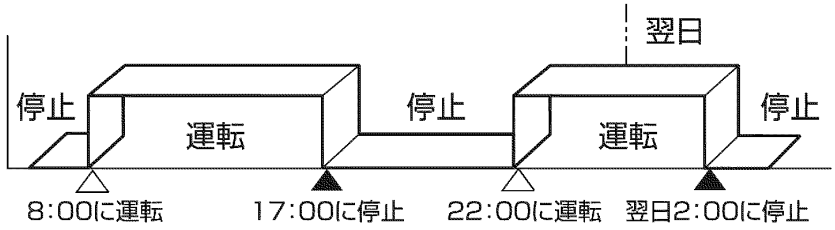
8時に運転、17時に停止したい

毎曜日、お望みの時刻にユニットの運転を開始し、また停止させたいとき
● 運転と停止を組み合わせることができます。



運転と停止を2回行いたい

毎曜日2回、お望みの時刻にユニットの運転を開始し、また停止させたいとき
● 日をまたぐときは、翌日に設定します。



● このタイマーは時計式ですので、必ず現在時刻を合わせてください。
● リモコンを複数台使用する場合、子リモコンでのタイマー設定はできません。
● 2日にわたる運転を行う場合は、始めの日に運転時刻を設定し、次の日に停止時刻を設定してください。
● タイマーは設定を変更しない限り、毎週同じ設定で運転/停止します。

ウィークリータイマー設定

親リモコンのみ

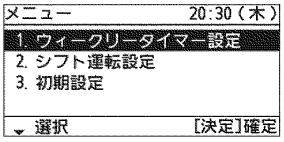
曜日単位で１日４つのタイマー運転と停止を設定できます。
タイマーは時刻順に表示されます。

1 メニュー画面を出す

[メニュー]

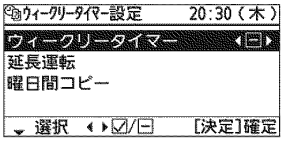
2 「1.ウィークリータイマー設定」を選ぶ

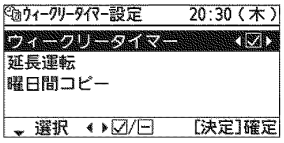
[▲][▼]→[決定]



3 ウィークリータイマーを☑(有効)に切り換える

[◀][▶]→[決定]





- ウィークリータイマーの設定を[ー](無効)にすると、ウィークリータイマーは動作しません。
- ウィークリータイマーを無効に設定しても、登録したタイマー予約の内容は残ります。

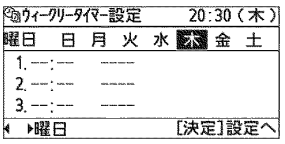
4 設定を使う曜日を選ぶ

[◀][▶]→[▲][▼]→[決定]

- [◀][▶]で曜日を選び、[▲][▼]で☑(有効)/[ー](無効)を選びます。

5 曜日を選ぶ

[◀][▶]→[決定]



6 予約を登録する欄を選ぶ

[▲][▼]→[決定]

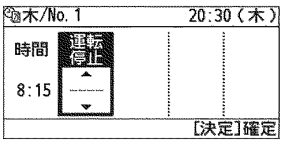
- 曜日ごとに４件まで登録できます。

7 時刻を設定する

[▲][▼](時)→[▶]→
[▲][▼](分)→[決定]

8 運転/停止を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



■ １つ前の画面に戻るとき

「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき

「メニュー」ボタンを２回押す。

ウィークリータイマー設定

予約内容を変更する

1 P.17手順6で変更する項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定

2 「変更」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

3 P.17手順7～8と同じ操作で、設定を変更する

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

予約を削除する

1 P.17手順6で変更する項目を選ぶ

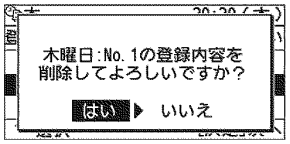
▲ ▼ → 決定

2 「削除」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

3 「はい」を選ぶ

◀ ▶



● 選んだ予約が削除されます。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

選んだ曜日の予約をすべて削除する

1 P.17手順5で削除する曜日を選ぶ

◀ ▶ → 決定

2 「全削除」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

● 選んだ曜日の予約がすべて削除されます。

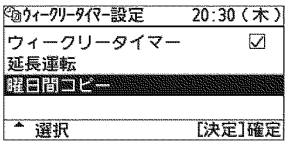
■ 1つ前の画画に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

予約内容を他の曜日にコピーする

1 ウィークリータイマー設定画面（P.17手順3）で「曜日間コピー」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



2 コピー元の曜日を選ぶ

◀ ▶ → 決定

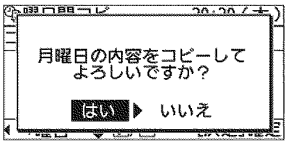
3 コピー先の曜日を選ぶ

◀ ▶ → ▲ ▼ → 決定

● ◀ ▶ で曜日を選び、▲ ▼ で☑（有効）/ー（無効）を選びます。
● ☑：コピー元

4 「はい」を選ぶ

◀ ▶



● 予約がコピーされます。

■ 1つ前の画画に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

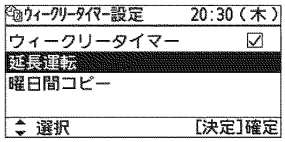
ウィークリータイマー設定

運転を延長する

- 当日のウィークリータイマー設定に停止予約がない場合は設定できません。
- 設定により日をまたいで運転することがあります。

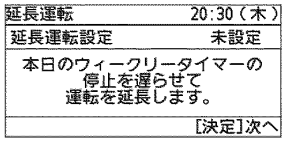
1 ウィークリータイマー設定画面（P.17手順3）で「延長運転」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



2 延長運転を設定する

決定



3 延長時間を設定する

▲ ▼（時）→ ▶ →
▲ ▼（分）→ 決定

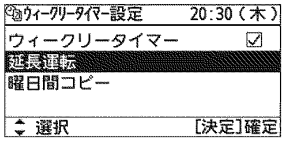
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

延長運転時間を変更する

1 ウィークリータイマー設定画面（P.17手順3）で「延長運転」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

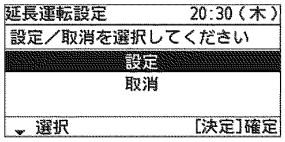


2 設定を確認する

決定

3 「設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



4 左記手順3と同じ操作で、時間を変更する

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

延長運転を取り消す

1 P.20「延長運転時間を変更する」の手順３で「取消」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

■ １つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

シフト運転

親リモコンのみ

- シフト運転中は、冷房時では冷水設定温度を１℃高く、暖房時では温水設定温度を２℃低くシフトし、再設定します。
- シフト自動運転は、次のように冷温水温度をシフトします。
  冷房時：17：00～09：00時の間、冷水設定温度を１℃高くします。
  暖房時：10：00～16：00時の間、温水設定温度を２℃低くします。

※シフト運転中に冷温水設定温度の変更や冷/暖切換を行うと、元の温度に戻らない場合があります。

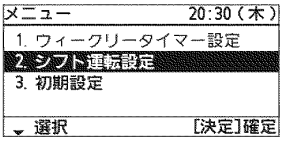
シフト運転をする

1 メニュー画面を出す

[メニュー]

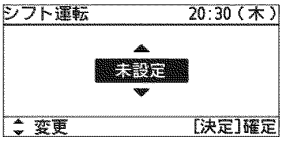
2 「2.シフト運転設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



3 「手動」「自動」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- 未設定：シフト運転を行わない。
  （シフト運転解除）（出荷時設定）
- 手　動：シフト運転を行う。
- 自　動：シフト時刻どおりに自動的にシフト運転を行う。
- [決定]で設定が反映されます。
- 「手動」「自動」を選ぶとトップ画面に[シフト運転]が表示されます。

■ １つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

初期設定

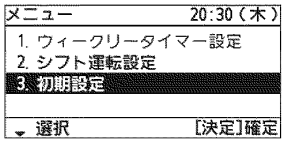
操作音を設定する

1 メニュー画面を出す

[メニュー]

2 「3.初期設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]

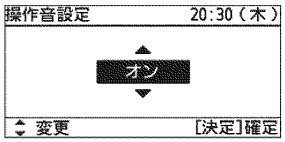


3 「3.操作音設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]

4 「オン」「オフ」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- オン：操作音を鳴らす。（出荷時設定）
- オフ：操作音を鳴らさない。

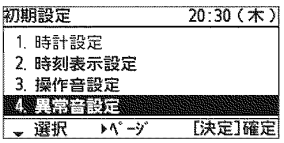
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

異常発生時にブザーを鳴らす

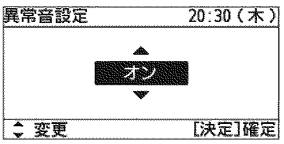
1 初期設定画面（左記手順3）で「4.異常音設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



2 「オン」「オフ」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- オン：ブザーを鳴らす。（出荷時設定）
- オフ：ブザーを鳴らさない。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

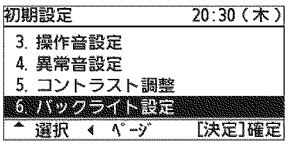
■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

初期設定

バックライトの明るさを設定する

1 初期設定画面（P.23手順3）で「6.バックライト設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

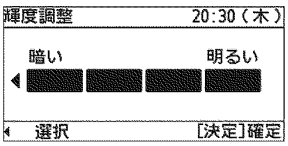


2 「輝度調整」を選ぶ

▲ ▼ → 決定

3 輝度を調整する

◀ ▶ → 決定



● 4段階で調整できます。

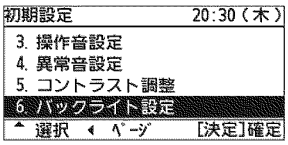
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

バックライトの点灯時間を設定する

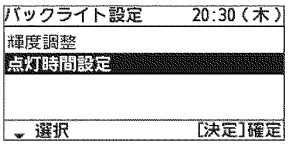
1 初期設定画面（P.23手順3）で「6.バックライト設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



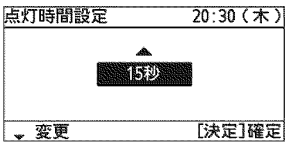
2 「点灯時間設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



3 点灯させる時間を選ぶ

▲ ▼ → 決定



● 15秒/30秒/1分/3分/5分/7分/10分から選びます。

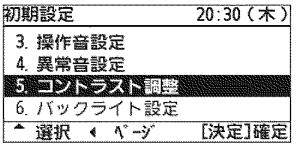
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

コントラストを調整する

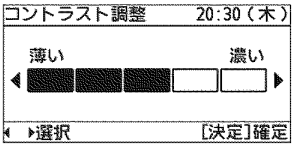
1 初期設定画面（P.23手順3）で「5.コントラスト調整」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



2 コントラストを調整する

◀ ▶ → 決定



● 5段階で調整できます。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

知っていただきたいこと

異常について

- ユニットに異常が発生すると、ブザーが鳴ります※1。異常が発生したユニットは自動的に停止します。
- 異常が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお近くのサービス会社へお知らせください。
- エラー表示に関しては
  - 吸収冷温水機はユニットの取扱説明書をご確認ください。
  - GHPチラーに関してはユニットに添付している「お客様ご相談窓口」の「商品相談窓口」・「各地域の修理ご相談窓口」へ連絡してください。
  - リモコンは、据付（電気）工事説明書に記載があります。

（エラーの表示例）

※1 ブザーリセットをタッチすると一時的にブザーが鳴らなくなります。異常内容や異常台数が変化した場合は、再度ブザーが鳴ります。
初期設定の異常音設定によりブザーを鳴らさないこともできます。

リモコンへの「エンジンオイル」表示について

GHPチラーの場合、ガスエンジンの運転時間が所定時間になりますと、リモコンに「エンジンオイル」を表示します。（右図）
「エンジンオイル」を表示した場合は、販売会社またはサービス会社に連絡し、定期点検を行ってください。
点検を行わないと所定時間以後、運転時間に応じた設定間隔ごとに運転を停止します。
そのまま放置しておきますと故障の原因となります。

停電について

- 運転中に本機の電源が停電し、その後復帰した場合は本機の設定により、停止、継続を切り換えられます。切り換えは、お買い上げの販売店またはお近くのサービス会社へご相談ください。
- 運転を再開するには、「運転」ボタンをタッチするか、タイマー予約の開始時刻になると、運転を再開します。ユニットの説明書もご確認ください。

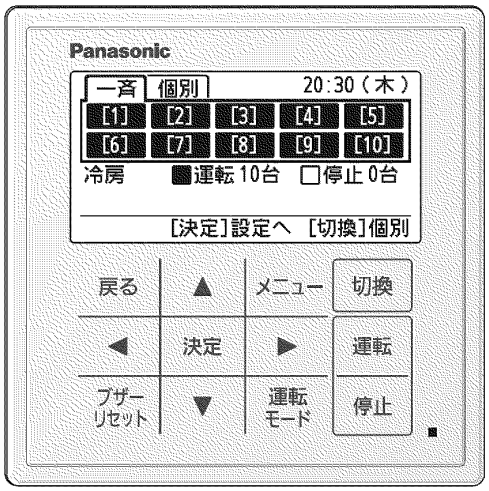
Panasonic

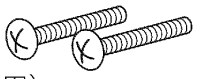
据付（電気）工事説明書

チラーリモコン
品番 CZ-10RTC1

もくじ

ページ
- 安全上のご注意 ……2
- 各部の名前 ……3
- 据え付け時のご注意 ……4
- 配線のしかた ……4
- 取り付ける ……9
- 設定する …… 10
  - 機種初期設定…… 10
  - メンテナンス機能…… 10
  - 初期設定…… 16
- 異常履歴 …… 18
- エラー表示 …… 18
- 仕様 …… 裏表紙



付属品	
小ネジ（2本） M４×２５ （埋込型JISボックス用） 	取扱説明書（１冊） 据付（電気）工事説明書（１冊）

※ケーブルは現地調達のため付属されていません。

- 「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
  特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
  また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 吸収冷温水機の納入仕様書またはGHPチラーに付属の説明書もあわせてご覧ください。
- **取扱説明書のページは右下、左下にあるページを参照してくだい。**

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

●分解や改造は行わない
（感電・火災の原因）

●電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱・火災の原因）

●アース工事（D種接地工事）を行う
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
- アース線は、ベランダの手すりにとらない

（感電の原因）

●据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者（サービス会社）に依頼する
（感電・火災の原因）

●電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付（電気）工事説明書

（感電・火災の原因）

●漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける
（故障や、漏電時に感電・火災の原因）

●電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う
（感電の原因）

●据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う
（感電・火災などの原因）

●据え付けは、本機の重量に十分耐えられる所に確実に行う
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

（落下の原因）

●配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災などの原因）

●付属品は当社指定の部品を使用する
（製品の落下・感電・火災などの原因）

2

⚠ 注意

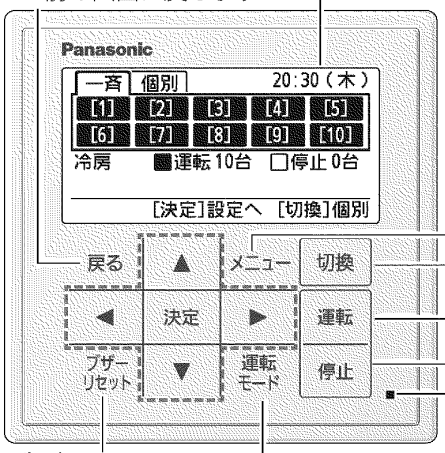
●次のような場所で使わない（感電・火災などの原因）

- 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- 腐食性ガスなどのもれるおそれのあるところ
- 電圧変動の多いところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 結露するところ
- ノイズの発生する可能性のあるところ
- 直接日光が当たる場所や近くに熱源があるところ
- 湿気や振動の多いところ

●ぬれた手で操作しない
（感電・故障の原因）

●水洗いしない
（感電の原因）

各部の名前



メニューボタン
メニュー画面を出します。
- （メニュー画面から）待受画面に戻します。
- （メニュー画面より下の階層の画面から）メニュー画面に戻します。

切換ボタン
複数のユニットを接続時、トップ画面のタブ（一斉/個別）を切り換えます。

運転ボタン
運転を始めます。

停止ボタン
運転を停止します。

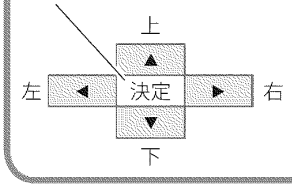
運転表示ランプ（緑）
運転時、点灯します。
※1台でも運転中のものがあれば、点灯します。

運転モード
「暖房」「冷房」に切り換わります。

ブザーリセット
異常発生時の警報ブザーを停止します。

十字ボタン
項目を選びます。

決定ボタン
選んだ内容を決定します。



お知らせ

- ●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- ●手袋を着けた状態では、操作できません。
- ●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- ●ユニット※は遠方設定されていないと操作できません。
  （運転モード、運転/停止、温度設定）
  詳細はユニットの説明書をご確認ください。

※ユニットとは、吸収冷温水機またはGHPチラーをさします。

3

据え付け時のご注意

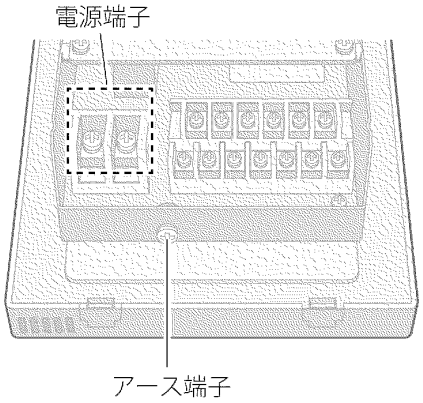
据え付け場所など

（P.2「安全上のご注意」の内容をご確認ください。）
●床面に対して垂直に据え付ける。
●複数並べて据え付けるときは、上下左右50 mm以上離す。
●次のような場所に据え付けない。
・直射日光や直接外気が当たる、窓際など
・結露するところ（防湿・防滴仕様ではないため）
●テレビ・ラジオ・パソコンなどの機器から1 m以上離す。
（映像の乱れ・雑音の原因）

配線のしかた

電源配線について

（P.2「安全上のご注意」の内容をご確認ください。）
●電気工事は電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付（電気）工事説明書」に従って施工してください。
●電源は必ず専用回線を使用してください。
●必ずアース工事（D種接地工事）を行ってください。（感電の原因）
●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線に接続しないでください。
●漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器、または手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）が必要になります。



■配線の種類

600 Vビニール電線を使用基準とする。
（現地調達）

■電源端子

端子ネジ　　：M4
締め付けトルク：1.2 N･m（推奨値）
●電源線に取り付ける圧着端子はM4サイズ（横幅8.4 mm以下）をご使用ください。

リモコン線について

■ケーブルの種類

●柔軟性のあるシールド付ツイストペア線を使う。
- 吸収冷温水機：0.3～0.75 mm^2
- GHPチラー：0.5～1.25 mm^2

●シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブルを使用する。

■総配線長

吸収冷温水機：1200 m
GHPチラー：300 m

■信号端子

端子ネジ：M3
締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）

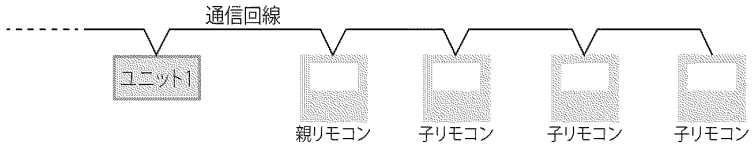
●信号線に取り付ける圧着端子はM3サイズ（横幅6.3 mm以下）をご使用ください。

■接続可能台数

最多10台の吸収冷温水機、またはGHPチラーを接続可能。
※吸収冷温水機とGHPチラーでは、制御方法が異なりますので、1台のリモコンで吸収冷温水機とGHPチラーを同時にコントロールすることはできません。

最多4台のリモコンを接続可能。
旧リモコン（CZ-10RTGXA / RCS-SW15GXA / RCS-SW15GX）と併用する場合は、本機1台、旧リモコン1台まで接続可能。
旧リモコンを接続する場合はP.12「リモコン新旧混在」の設定をしてください。

●リモコンを複数台設置する場合



※親リモコンは1台のみ、子リモコンは3台まで

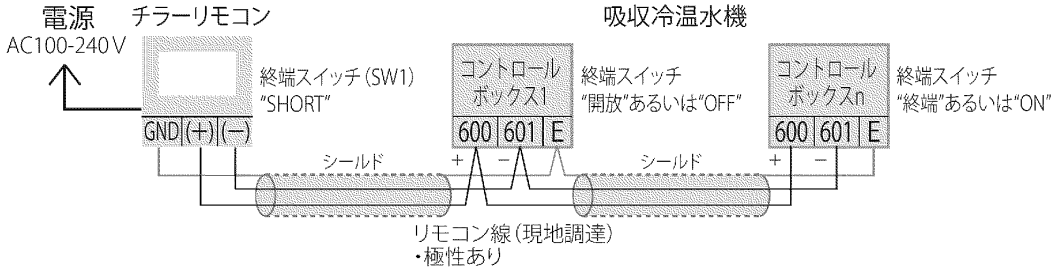
P.10「リモコンアドレス設定」を確認	リモコン1（D0）	リモコン2（D1）	リモコン3（D2）	リモコン4（D3）	各リモコンから設定
P.10「管理リモコン設定」を確認	本機	有☑	有☑	有☑	親リモコンから設定

配線のしかた（つづき）

■基本配線図

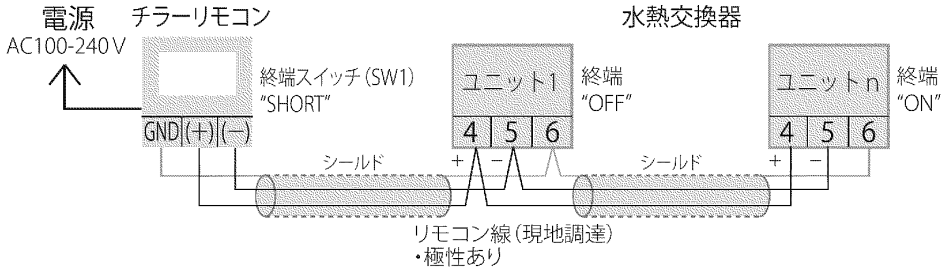
リモコン線を下図のように接続してください。
リモコン線はループを作らずに、"一筆書き"ができるようにしてください。

●吸収冷温水機の接続　複数台設置の場合



- ユニットは10台まで接続可能です。
- シールドは両側接続を推奨します。
- 詳細は吸収冷温水機の納入仕様書をご確認ください。

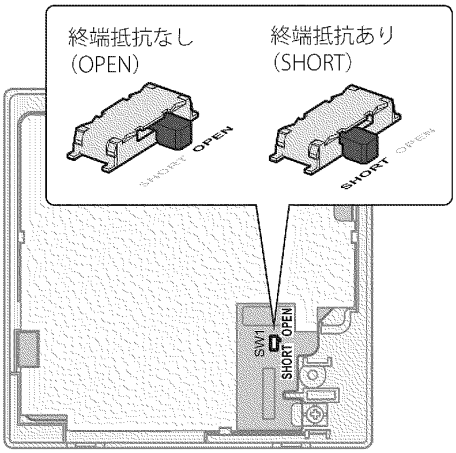
●GHPチラーの接続　複数台設置の場合



- ユニットは10台まで接続可能です。
- シールドは両側接続を推奨します。

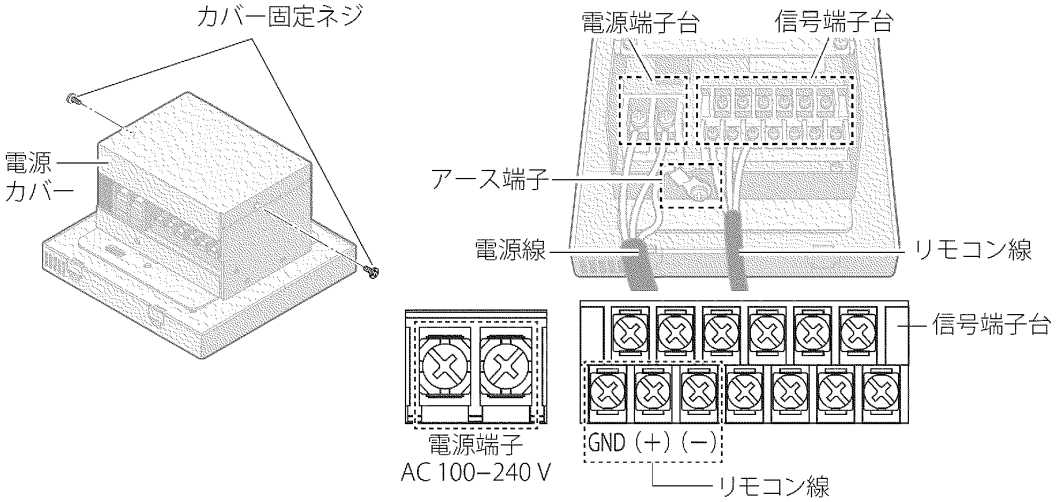
■終端抵抗

リモコン線を接続したとき、末端になる機器2台には「終端抵抗」を挿入しなければいけません。
終端抵抗は各機器内に用意され、スイッチで"ON（SHORT）"、"OFF（OPEN）"を切り換えることができます。
本機では右図の通り、SW1によって切り換えます。
※ユニットに付属の説明書もあわせてご確認ください。

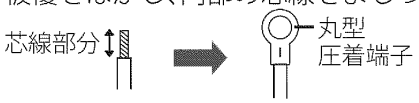


■配線の手順

① カバー固定ネジ2本をはずし、電源カバーを取りはずす。
② 電源線を電源端子に接続し、アースは、必ずアース端子に接続する。
③ リモコン線を信号端子台の＋、－、GND端子に接続する。
④ 外部設備と接続する場合は、P.8「外部設備との接続」を参照し接続する。
⑤ 電源カバーを取り付け、カバー固定ネジ２本を取り付ける。

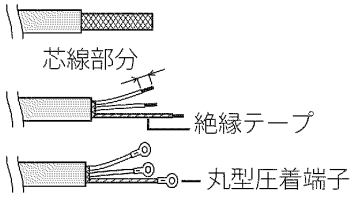


●圧着端子の取り付け
被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付ける。



●シールド線への取り付け

① 被覆部をはがす
② 内部の芯線をよじって
絶縁テープを巻く
③ 丸型圧着端子を
取り付ける



お知らせ

●リモコン線は、極性があるため接続時はご注意ください。
●リモコン線は必ずシールド線を使用し、シールドは両側接続を推奨します。
本機にシールド線アースを接続する場合は、信号端子台のGNDへ接続する。

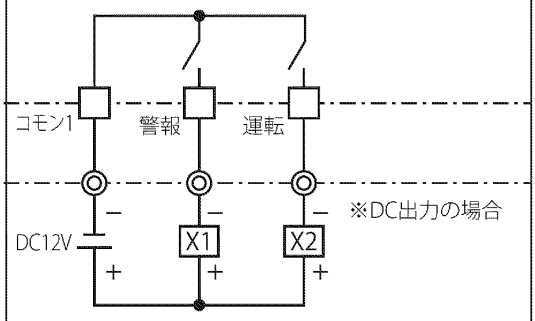
お願い

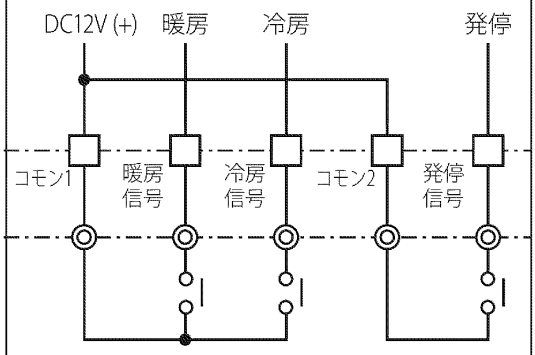
●電源線を、信号端子台の端子に接続しない。(故障の原因)
●リモコン線を電源線などといっしょに合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。
(誤動作の原因)
●配線を接続する際には、チラーリモコンに傷が付かないようにご注意ください。

配線のしかた（つづき）

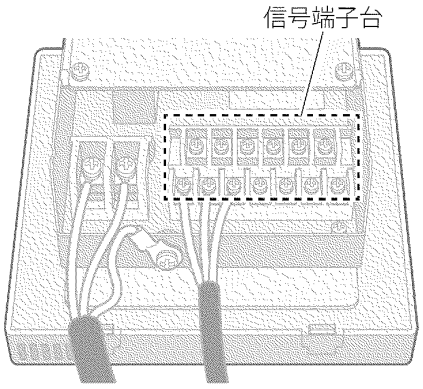
■外部設備との接続

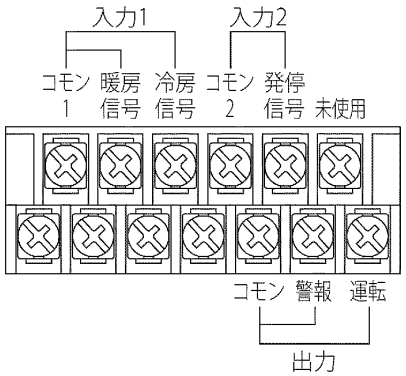
●接点入出力端子

	出力端子	条件
CZ-10RTC1 内部回路 外部配線 外部機器 （回路例）		無電圧 a 接点 スタティック（リレー出力） 警報出力：正常時は開、異常時は閉 運転出力：停止時は開、運転時は閉 接点仕様： 最大 AC100V 0.5A 最大 DC30V 0.5A 最小適用負荷：DC5V 1 mA 外部配線長　：20m 以内 外部配線太さ：0.5 mm² 以上

	入力端子	条件
CZ-10RTC1 内部回路 外部配線 外部機器 （回路例）		入力端子の接続は親リモコンのみ。 入力端子に電圧をかけると 入力回路が破壊します。 暖房信号：無電圧入力 閉で暖房、開は無効※ 冷房信号：無電圧入力 閉で冷房、開は無効※ 発停信号：無電圧エッジ 立上り：運転信号 立下り：停止信号 接点許容電圧：DC12 V ±10% 接点許容電流：10 mA 外部配線長　：100m 以内 外部配線太さ：0.5 mm² 以上

※暖房信号/冷房信号はリモコンの設定により機能が異なります。
リモコンの設定は、P.12「冷/暖切換設定」をご確認ください。

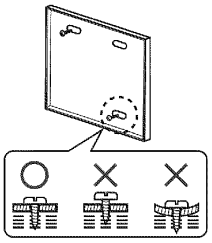




8

取り付ける

■下ケースを取り付けるとき(手順2)



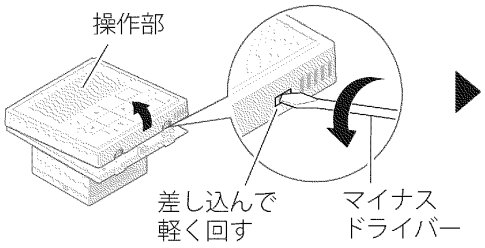
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
  (上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因)
- ネジは、締めすぎないでください。
  (下ケースの変形による、落下の原因)
- JISボックス(JIS C8340 2個用スイッチボックス)をお使いください。
  (現地調達)

お願い

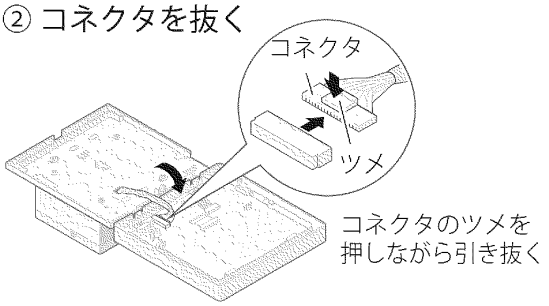
先にチラーリモコンに接続した配線をJISボックス下の丸穴に通して、チラーリモコン電源部に衝撃を与えないようにゆっくりと挿入してください。

1 チラーリモコンの取付準備

① 操作部をはずす



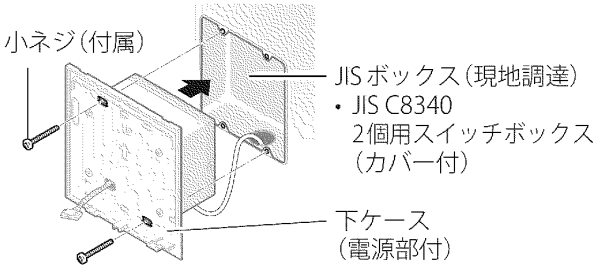
② コネクタを抜く



2 JIS ボックスに取り付ける

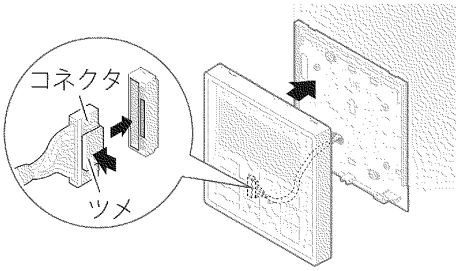
① あらかじめ壁内に埋込まれたJIS ボックス(現地調達)にチラーリモコンを挿入する

② チラーリモコンの下ケース(電源部付)を JIS ボックスに取り付ける(小ネジ(付属))



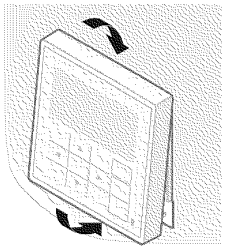
3 コネクタを接続し、操作部を取り付ける

① コネクタを接続する



ツメがカチッと音がするまで押し込む

② 上から取り付け



基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
(配線はさみ込みによる基板破壊の原因)

③ カチッと音がするまで押し込む

設定する

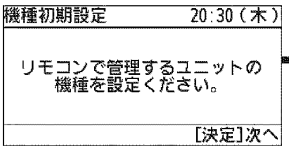
機種初期設定

メンテナンス機能(リモコンアドレス設定/

●チラーリモコンの設定を行う前にユニットの試運転を実施してください。
●ユニットの試運転後、チラーリモコンの電源を入れてください。

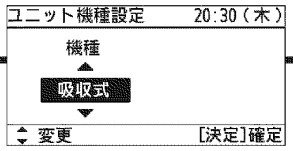
1 機種を設定する

決定 ボタンで次へ



起動時に設定画面が表示されます。
設定を完了すると次回からは表示されません。

▲▼ ボタンで機種を選択
決定 ボタンで決定

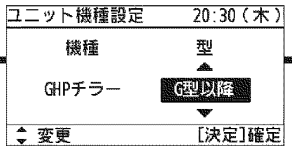


接続するユニットが
「吸収式」か「GHPチラー」を
選択する。

2 型を選ぶ

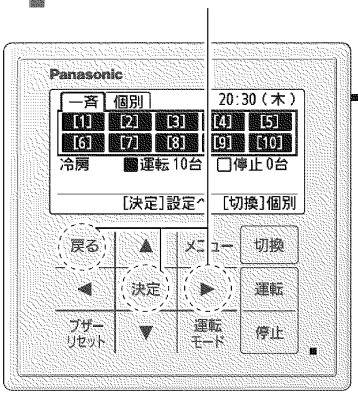
(GHPチラーの場合のみ)

▲▼ ボタンで型を選択
決定 ボタンで決定



接続するユニットの型を
選択する。

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

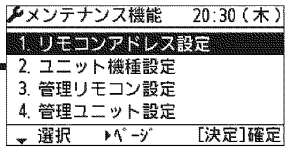


お知らせ

メンテナンス機能は 戻る ボタンで
設定を終了します。

2 設定する項目を選ぶ

▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



リモコン
アドレス設定

ユニット
機種設定

管理リモコン
設定

管理ユニット
設定

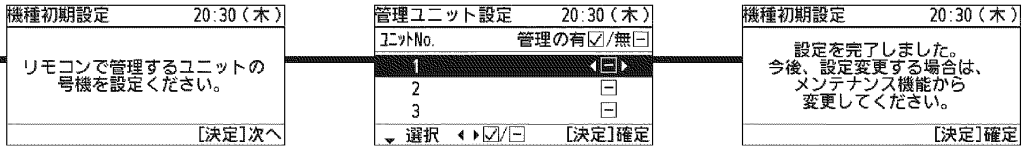
ユニット機種設定/管理リモコン設定/管理ユニット設定)

3 号機を設定する

決定 ボタンで決定

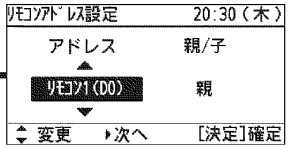
▲▼ ボタンでユニットNoを選択
◀▶ ボタンで有☑/無ー を切換
決定 ボタンで決定

決定 ボタンで
機種初期設定の完了

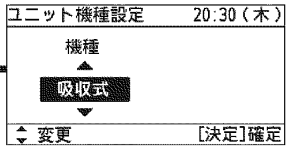


メンテナンス機能は、
P.10以降をご確認ください。

3 設定を変える

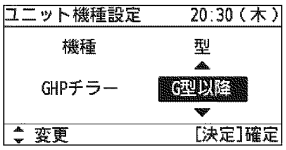


▲▼ ボタンで「リモコン1」～「リモコン4」を選択
▶ ボタンで親/子設定に移動
▲▼ ボタンで「親」「子」を選択
決定 ボタンで決定

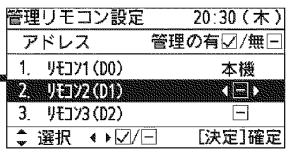


▲▼ ボタンで「吸収式」「GHPチラー」を選択
決定 ボタンで決定

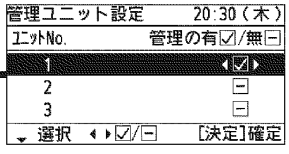
※「GHPチラー」を選んだ場合、下記をご確認ください。



「GHPチラー」を選んだ場合、
▲▼ ボタンで「F型」「G型以降」を選択



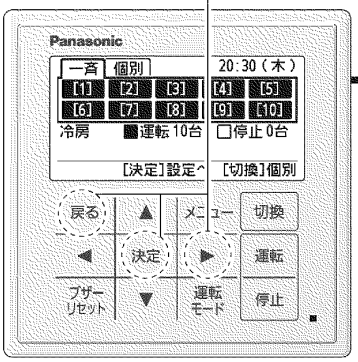
▲▼ ボタンで子リモコンを選択
◀▶ ボタンで有☑/無ー を切換
決定 ボタンで決定
※リモコンを複数台使用する場合、子リモコンのアドレスを
選択してください。(親リモコンから設定)



▲▼ ボタンでユニットを選択
◀▶ ボタンで有☑/無ー を切換
決定 ボタンで決定

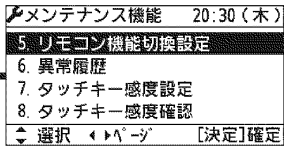
設定する（つづき） メンテナンス機能

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



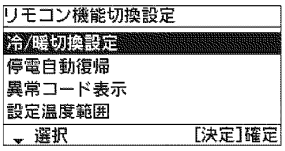
2 設定する項目を選ぶ

▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



3 設定する項目を選ぶ

▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



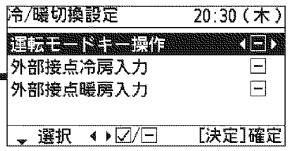
- リモコン機能切換設定
  - 冷/暖切換設定
  - 停電自動復帰
  - 異常コード表示
  - リモコン新旧混在

お知らせ

メンテナンス機能は 戻る ボタンで設定を終了します。

(冷/暖切換設定/停電自動復帰/異常コード表示/リモコン新旧混在)

4 設定を変える

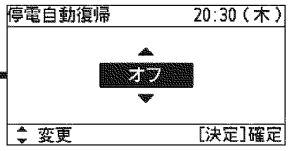


▲▼ ボタンで項目を選択
◀▶ ボタンで有 ☑ / 無 ⊟ を切換
決定 ボタンで決定

冷/暖切換設定を切り換える。(親リモコンから設定)

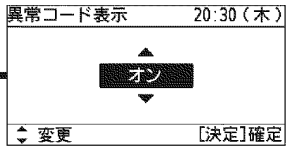
・運転モードキー操作：運転モード ボタン操作による冷房/暖房切換
・外部接点冷房入力：外部接点入力による冷房切換
・外部接点暖房入力：外部接点入力による暖房切換

外部接点による冷/暖切換設定については、P.14をご確認ください。



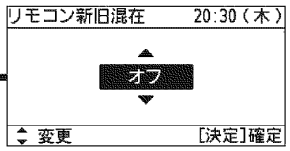
▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

停電自動復帰機能の有無を切り換える。
・オン：停電復帰後運転継続
・オフ：停電復帰後運転停止(出荷時設定)



▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

トップ画面に表示する異常コードの表示・非表示を切り換える。
・オン：アラーム番号表示あり(出荷時設定)
・オフ：アラーム番号表示なし



▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

システム上に旧リモコン(CZ-10RTGXA / RCS-SW15GXA / RCS-SW15GX)を子リモコンとして接続する場合は、「オン」に設定する。
・オン：旧リモコンを使用する
・オフ：旧リモコンを使用しない(出荷時設定)

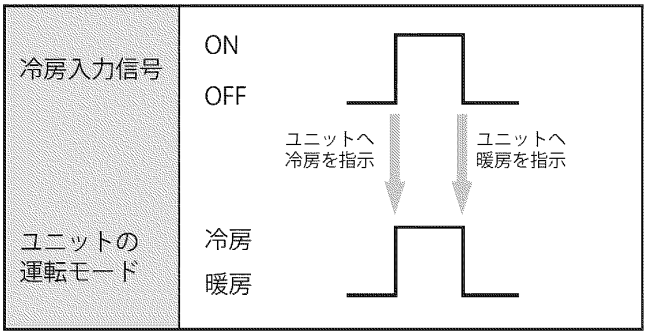
設定する（つづき）

■冷房入力と暖房入力

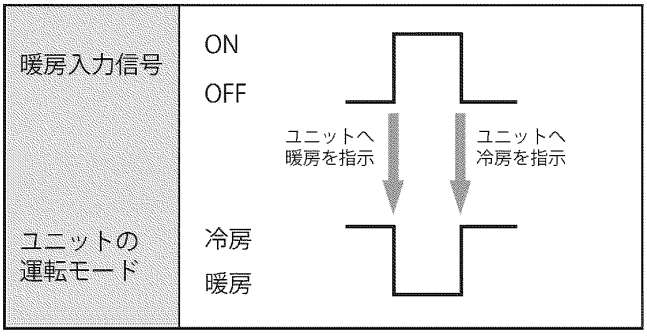
ユニットの運転モードを入力信号に合わせて冷房/暖房を切り換える。

●サンプリング：10 ms間隔
●チャタリング：連続1秒安定で有効

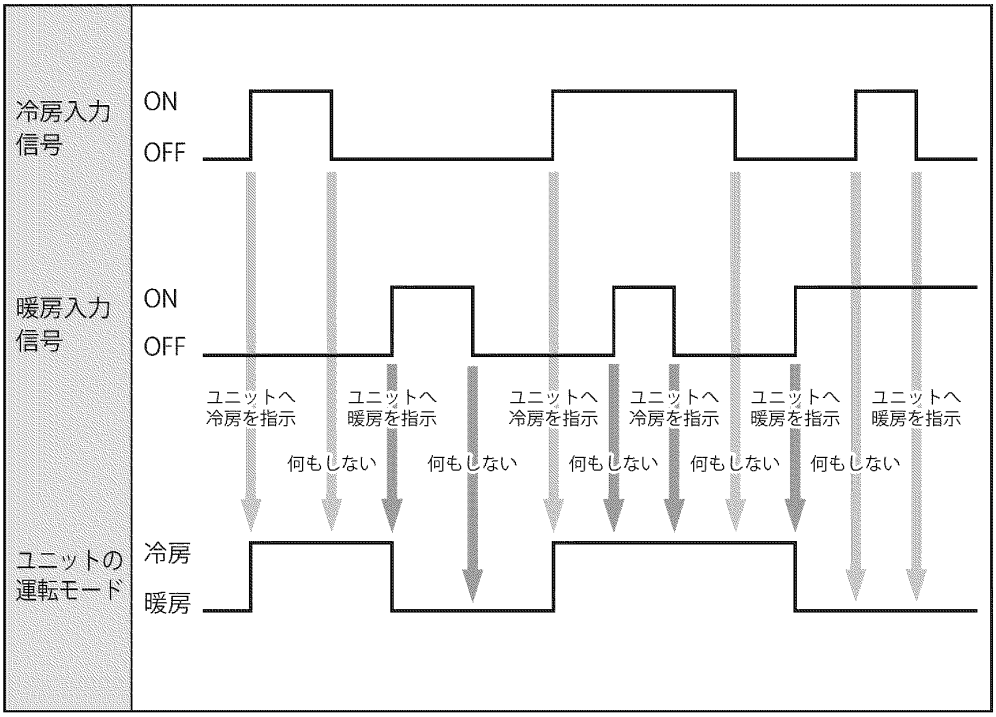
① 冷/暖切換設定　外部接点冷房入力：有☑
　　外部接点暖房入力：無☐
　暖房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視する。



② 冷/暖切換設定　外部接点冷房入力：無☐
　　外部接点暖房入力：有☑
　冷房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視する。

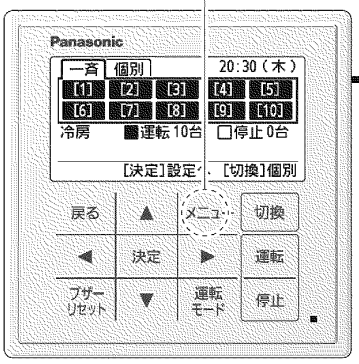


③冷/暖切換設定　外部接点冷房入力：有☑
外部接点暖房入力：有☑



設定する（つづき）　初期設定（時計設定/

1 メニューを押す

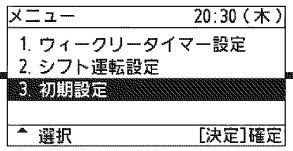


お知らせ

初期設定は 戻る ボタンで設定を終了します。

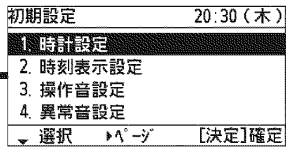
2 「3.初期設定」を選ぶ

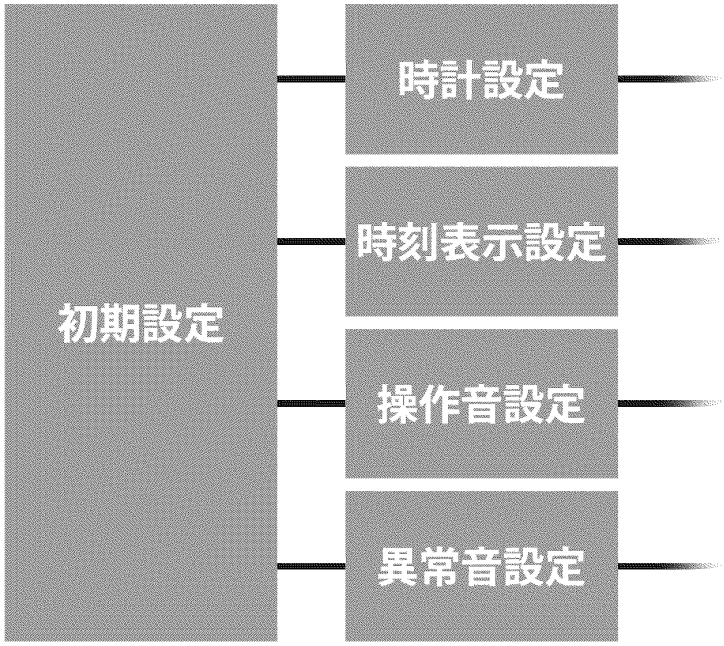
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



3 設定する項目を選ぶ

▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



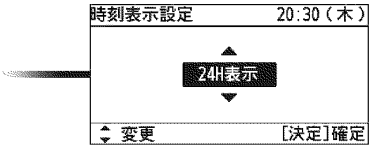


時計表示設定/操作音設定/異常音設定)

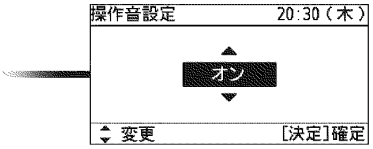
4 設定を変える

◀▶ ボタンで変更したい項目(年/月/日/時/分)を選択
▲▼ ボタンで値を変更
決定 ボタンで決定

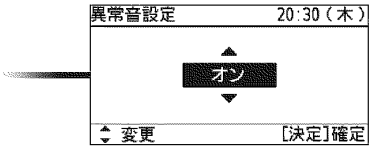
※決定ボタンを押すと0秒スタートします。



▲▼ ボタンで「24H表示」「AM・PM表示」を選択
決定 ボタンで決定



▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定



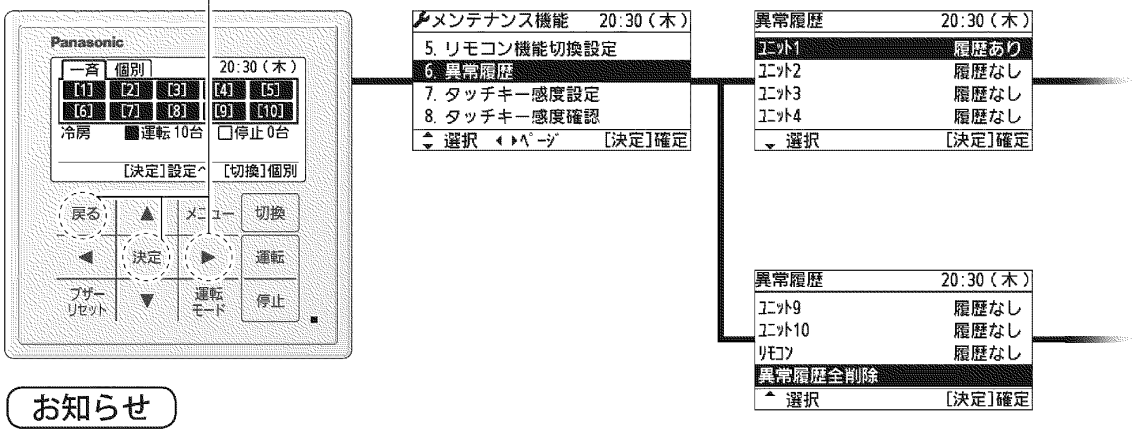
▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

異常履歴

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

2 「6.異常履歴」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定

3 確認する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



お知らせ

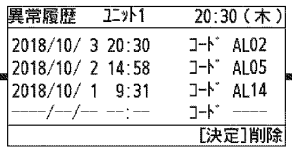
異常履歴は 戻る ボタンで表示を終了します。
リモコン、各ユニットごとに最新4件の異常履歴を表示します。

エラー表示

チラーリモコンより異常を検出した場合、以下の警報が表示されます。
※ユニットのエラー表示に関しては吸収冷温水機は取扱説明書を確認してください。
GHPチラーに関しては、ユニットに添付している『お客様相談窓口』の「商品相談窓口」・「各地域の修理ご相談窓口」へご連絡ください。

エラーコード		項目	症状
吸収冷温水機	GHPチラー		
E09	E01	通信異常	チラーリモコン ー ユニット間にて通信不良が発生しています。
E08	R08	自己アドレス重複	通信上に自分のアドレスと同じアドレスが存在しています。
E10	R10	親リモコン重複	通信上に親リモコンが複数存在しています。
E11	R11	親リモコン不在	通信上に親リモコンが不在です。

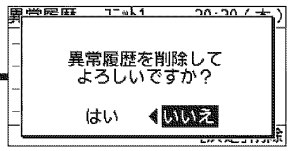
4 異常履歴を確認する

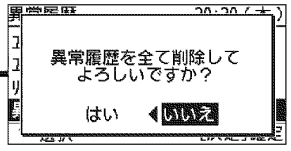


※選択したユニットまたは、リモコンの
異常履歴を4つまで表示する。
※一番上から最新の履歴を表示する。

5 異常履歴を削除する

決定 ボタンでポップアップ表示
◀▶ ボタンで選択
決定 ボタンで履歴削除





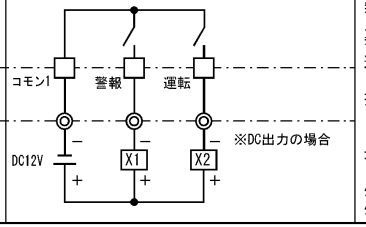
	対処方法
	P.4「配線のしかた」をご確認ください。 P.10「管理ユニット設定」をご確認ください。
	P.10「リモコンアドレス設定」をご確認ください。 アドレスが重複しないようアドレス設定してください。
	P.10「リモコンアドレス設定」をご確認ください。 親リモコンは1台のみとなります。
	(1) P.10「リモコンアドレス設定」をご確認ください。 親リモコンを1台設定してください。 (2) P.10「管理リモコン設定」をご確認ください。 親リモコンから設定をしてください。

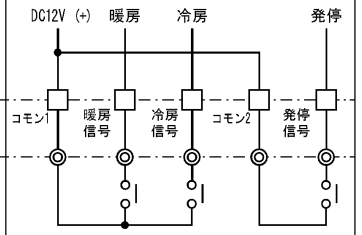
■仕様

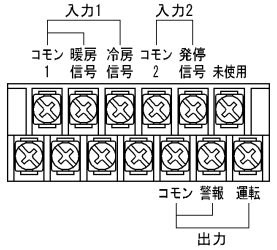
品番		CZ-10RTC1
外形寸法		（高さ）120 mm ×（幅）120 mm ×（奥行き）16 ＋ 51.9 mm
質量		520g
使用温度・湿度範囲		-10 ℃～50 ℃・20 %～80 %
電源		単相 AC 100-240 V　50/60 Hz
消費電力		最大2 W
時計	精度	±30秒／月（常温25 ℃）※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間（満充電時）※満充電に約8時間かかります。
接続台数		最多10台（吸収冷温水機またはGHPチラー）
外部接点	入力定格	「外部設備との接続」をご確認ください。
	出力定格	「外部設備との接続」をご確認ください。
通信		RS-485

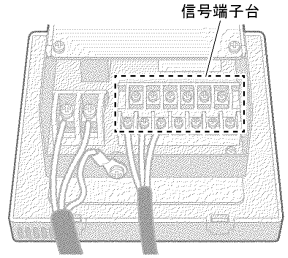
■外部設備との接続

●接点入出力端子

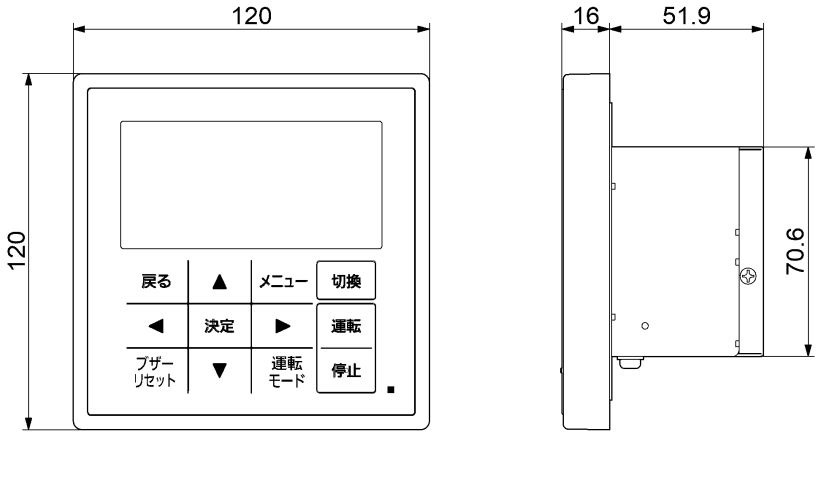
	出力端子	条件
CZ-10RTC1 内部回路 / 外部配線 / 外部機器（回路例）		無電圧 a 接点 スタティック（リレー出力） 警報出力：正常時は開、異常時は閉 運転出力：停止時は開、運転時は閉 接点仕様： 最大 AC100V 0.5A 最大 DC30V 0.5A 最小適用負荷：DC5V 1 mA 外部配線長　：20m 以内 外部配線太さ：0.5 mm² 以上

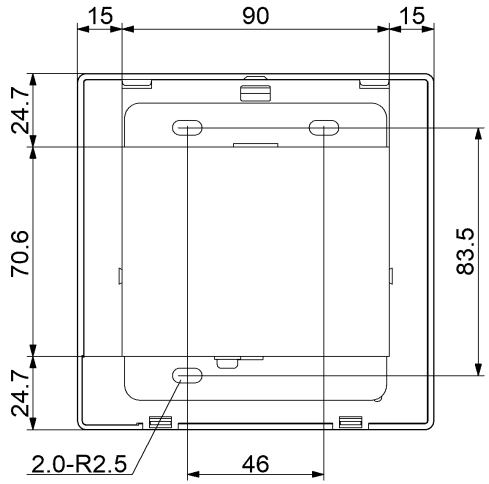
	入力端子	条件
CZ-10RTC1 内部回路 / 外部配線 / 外部機器（回路例）		入力端子の接続は親リモコンのみ。 入力端子に電圧をかけると 入力回路が破壊します。 暖房信号：無電圧入力 閉で暖房、開は無効※ 冷房信号：無電圧入力 閉で冷房、開は無効※ 発停信号：無電圧エッジ 立上り：運転信号 立下り：停止信号 接点許容電圧：DC12V±10% 接点許容電流：10 mA 外部配線長　：100m 以内 外部配線太さ：0.5 mm² 以上





■外形寸法





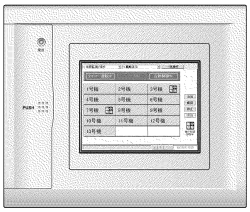
単位：mm

品番	CZ-10RTC1	外形寸法図（チラーリモコン）

（２７）チラーコントローラー（ＣＺ－１０ＲＴ１５Ｇ）

Panasonic

取扱説明書
チラーコントローラー
品番 CZ-10RT15G



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 5 ページ）を必ずお読みください。
● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

もくじ

1. 安全上のご注意 …… 4
2. 使用・据え付け上の注意事項 …… 6
3. 本機の特長 …… 7
4. システムの構成 …… 8
5. 各部のなまえとはたらき …… 9
6. クイックリファレンス …… 12
7. ご使用方法 …… 14
7.1. 電源の入れかた …… 14
7.2. 表示画面のなまえとはたらき …… 14
7.2.1. 起動処理画面 …… 14
7.2.2. 表示画面例 …… 15
7.3. 初期設定 …… 16
7.3.1. システム設定フロー …… 16
7.3.2. 日時／システムの設定 …… 17 メイン３／サブ１
7.3.3. 接続台数の設定 …… 21 メイン３／サブ２
7.4. 状態監視と操作画面 …… 23
7.4.1. 概略表示 …… 23 メイン１／サブ１
7.4.1.1. 一括操作のしかた …… 24
7.4.1.2. 個別操作のしかた …… 26
7.4.1.3. 詳細表示 …… 27 メイン１／サブ２
7.5. 運転データと警報履歴の確認 …… 28
7.5.1. ユニットごとの運転データ …… 28 メイン２／サブ１
7.5.2. 警報履歴の確認 …… 29 メイン２／サブ２
7.6. 各種設定 …… 31
7.6.1. プログラムタイマーの予約 …… 31 メイン４／サブ１
7.6.1.1. デイリータイマーの設定 …… 31
7.6.1.2. ウィークリータイマーの設定 …… 33 メイン４／サブ２
7.6.2. 休日／タイマー特別日の設定 …… 34 メイン４／サブ３
7.6.3. 制御特性の設定 …… 35 メイン４／サブ４
7.6.4. その他の設定 …… 36
7.6.4.1. 無通信モードの設定 …… 36
7.6.4.2. ブザー音 …… 36
7.6.4.3. 画面のオートオフ設定 …… 37
7.6.4.4. タッチパネルの補正 …… 37
7.6.4.5. 電源のオフ …… 38
7.6.5. アナログ基板設定 …… 39 メイン４／サブ５
7.6.5.1. アナログ入出力基板の有無 …… 39
7.6.5.2 変流量制御判定タイマーおよび制御量 …… 39
7.6.5.3 アナログデータ変換 …… 40
7.7. 異常時の表示 …… 41
7.7.1. ユニット警報 …… 41
7.7.2. 通信異常 …… 41
8. 外部信号の接続 …… 42
8.1. 一括運転出力 …… 42
8.2. 一括警報出力 …… 42
8.3. 冷房／暖房入力 …… 43
8.4. 運転／停止入力 …… 43
9. 知っていただきたいこと (1) …… 44
10. 知っていただきたいこと (2) …… 45
11. 故障かなと思ったときは …… 46
12. 仕様 …… 47

メイン３／サブ１ は、
メインメニュー３／サブメニュー１
の説明を表しています。

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ 必ず守る
据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（水漏れや感電・火災の原因）

❗ 必ず守る
当社指定のエアコンと接続して使う
（水漏れや感電・火災の原因）

❗ 必ず守る
異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）
異常・故障例
・スイッチを入れても運転しない。
・運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
・ブレーカーがたびたび切れる。
・本体が変形したり、異常に熱い。
すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠警告

分解しない
（感電・火災の原因）

指定以外の電源を使用しない
（火災・故障の原因）
単相 100 V ～ 240 V を使用してください。

水洗いしない
（感電・火災の原因）

⚠注意

ぬれた手で操作しない
（感電や故障の原因）

漏れた液晶に触れない
表示面が破損した場合、中の液体（液晶）を口にしたり、皮膚につけたりしないようにしてください。
万一、皮膚についた場合には、すぐに大量の流水で最低 15 分間洗浄してください。
飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させたあと、医師の診断を受けてください。

2. 使用・据え付け上の注意事項

使用上の注意事項

- 次のような場所での使用は避けてください。
  - 可燃性ガス等の漏れるおそれのある所。
  - 海浜地区等、塩分の多い所。
  - 温泉地区、硫化ガスの発生する所。
  - 水や油（機械油含む）の飛散や蒸気の多い所。
  - 電圧変動の大きい所。
  - 電磁波を発生する機械のある所。
  - 有機溶剤の飛散する所。
- 強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- コントローラーの近くで暖房器具を使用しないでください。コントローラーの樹脂部分が熱により変形・変色するおそれがあります。
- 本機専用のタッチペンを使用してください。専用以外のタッチペンで操作をすると、故障の原因になります。
- 製品をベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかないでください。変色、故障の原因になることがあります。ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

据え付け上の注意事項

- 湿気・油分や振動の多い所、直射日光のあたる所、熱源の近くには設置しないでください。故障の原因になります。
- ノイズの発生する所には設置しないでください。誤動作の原因になります。
- 電気工事を行うには資格が必要です。
  お買い上げの販売店に依頼し、ご自分では行わないでください。
- 配線作業は、人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどはコントローラーから 1m 以上離してください。映像の乱れや雑音の原因になります。
- コントローラーの取り付け状態が弱くなっていないか、年に 1 ～ 2 回確認してください。

3. 本機の特長

本機は、GHP（ガスヒートポンプ）チラー専用の集中コントローラーです。

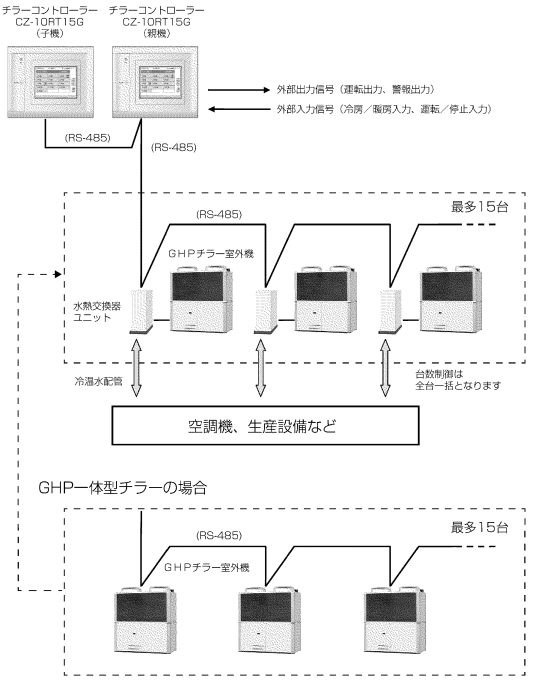
- 接続台数 ……・1 台のチラーコントローラーに最多 15 系統の GHP チラーが接続可能
  ・親機・子機の設定が可能（2 か所から運転 / 停止と監視が可能）
- 表示 ……・6.5 インチ TFT カラー液晶タッチパネルディスプレイ
  （640 × 480 ドット VGA）
- 操作機能 ……・運転／停止、運転モード（冷暖）切換、温度設定、
  シフト運転、台数制御運転
- 運転モニタ ……・運転状態（運転／停止、運転モード、警報、冷温水出口温度、
  冷温水ポンプ ON/OFF）の一括監視
  ・警報履歴の表示
- プログラムタイマー ……・1 日 50 回までのデイリータイマー（50 種類）を組み合わせて、ウィークリータイマーを 50 種類まで設定可能
  ・休日／タイマー特別日（5 種類）設定可能
- 外部入出力（親機のみ）……・冷房入力、暖房入力（別入力／同一入力）
  ・運転／停止入力
  ・一括警報出力、一括運転出力（リレー接点）

※ GHP チラーには、GHP 室外機と水熱交換器ユニットが分離されたタイプと、一体となったタイプ（GHP 一体型チラー）とがあります。

4. システムの構成

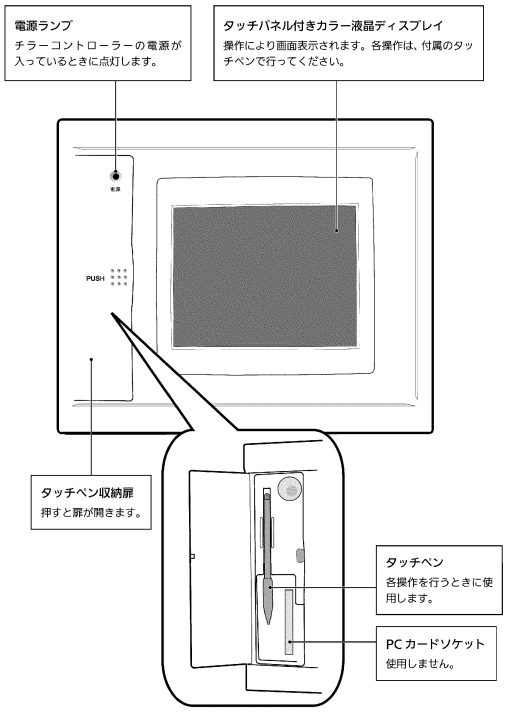
システム構成例

※子機は接続されない場合もあります。



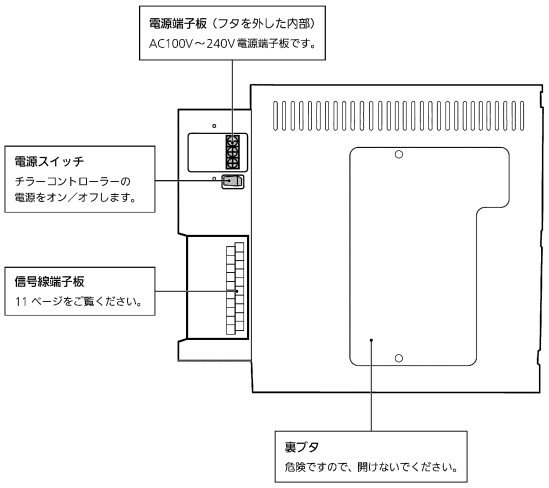
5. 各部のなまえとはたらき

正　面

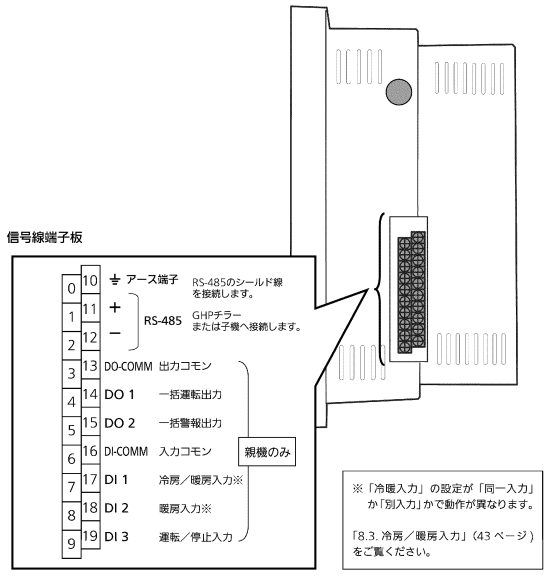


5. 各部のなまえとはたらき（つづき）

背　面



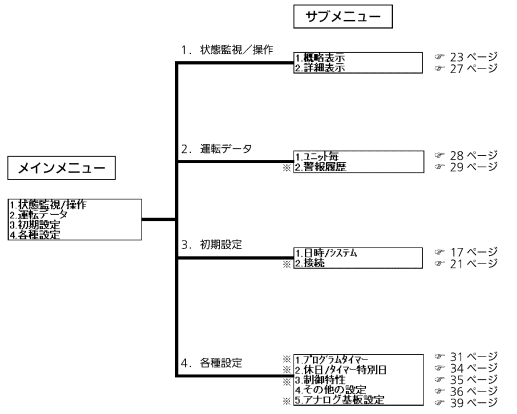
側　面



★０～９番の端子には何も接続しないでください。

6. クイックリファレンス

メニュー一覧



※印：親子選択（18 ページ）が「子」の設定のときは表示されません。

機能早見表

主な機能のみ掲載しています。

ユニットの操作のしかた

一括で操作したい	→7.4.1.1. 一括操作のしかた	☞ 24 ページ
個別に操作したい（親機のみ）	→7.4.1.2. 個別操作のしかた	☞ 26 ページ
運転モードを変更したい（親機のみ）	→7.4.1.1. 一括操作のしかた	☞ 24 ページ
設定温度を変更したい（親機のみ）	→7.4.1.1. 一括操作のしかた	☞ 24 ページ

ユニット運転状態のモニタ

詳細な運転状態をモニタしたい	→7.4.1.3. 詳細表示	☞ 27 ページ
現在の積算時間を見たい	→7.5.1. ユニットごとの運転データ	☞ 28 ページ
警報が起きた履歴を確認したい	→7.5.2. 警報履歴の確認	☞ 29 ページ

システム設定

日付や時刻を調整したい	→7.3.2. 日時／システムの設定	☞ 17 ページ
接続台数を設定したい（親機のみ）	→7.3.3. 接続台数の設定	☞ 21 ページ
タイマー運転の設定をしたい（親機のみ）	→7.6.1. プログラムタイマーの予約	☞ 31 ページ
ブザー音の設定をしたい	→7.6.4.2. ブザー音	☞ 36 ページ

その他

チラーコントローラーの電源を切りたい	→7.6.4.5. 電源のオフ	☞ 38 ページ
タッチパネルのずれを直したい	→7.6.4.4. タッチパネルの補正	☞ 37 ページ

7. ご使用方法

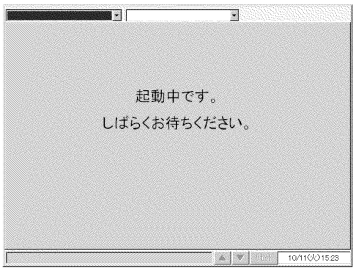
7.1. 電源の入れかた

配線状態（GHP チラー、チラーコントローラー子機）を確認したら、チラーコントローラーの電源スイッチ（10 ページ参照）をオンします。システムが自動的に起動します。

7.2. 表示画面のなまえとはたらき

7.2.1. 起動処理画面

以下は、チラーコントローラー起動時の起動処理画面です。



★電源を切る時のお願い★

チラーコントローラーの電源を切る時は、必ず次の手順でお願いします。

「4. その他の設定」画面（ メイン４／サブ４ ）において、一番下の 電源オフ を選択する。

⇩

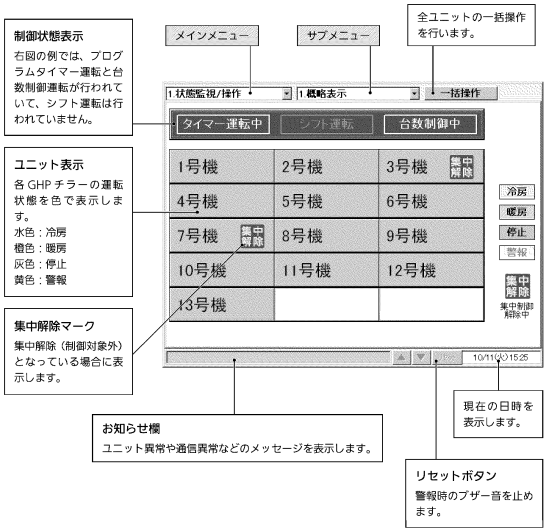
「システムを終了しますか？」と表示されたら OK を選択する。

⇩

「電源を切っても安全です。」と表示されたら、その状態で電源を切る。
（数分程度かかる場合があります）

7.2.2. 表示画面例

ある画面表示を例に各部の説明をします。



7. ご使用方法（つづき）

7.3. 初期設定

チラーコントローラーをご使用いただくにあたり、「初期設定」（メインメニュー 3）は、必須の設定項目ですので、必ず設定してください。

7.3.1. システム設定フロー

◎：設定が必要です。
△：場合によっては設定が必要です。
×：設定は必要ありません（変更しないでください）。

START

↓

メイン３／サブ１ 日時／システム ◎

（1）現在日時の設定（子機がある場合、子機の日時も設定してください）
（2）親子選択（子機がある場合、ここで子機に設定してください）
（3）冷暖入力
（4）シフト運転モード
（5）台数制御選択

↓

メイン３／サブ２ 接続 ◎（接続ユニットの自動認識は行いません）

↓

メイン４／サブ１ プログラムタイマー △

（1）デイリータイマー
（2）ウィークリータイマー

↓

メイン４／サブ２ 休日／タイマー特別日 △

↓

メイン４／サブ３ 制御特性 ×（変更しないでください）

↓

メイン４／サブ４ その他の設定 △（子機がある場合、必要に応じて子機でも設定してください）

（1）無通信モードの設定　・・・必ず NO（通常）にしてください。
（2）ブザー音
（3）画面のオートオフ設定
（4）タッチパネルの補正　・・・出荷時に調整済みですが、ずれている場合は補正してください。
（5）電源のオフ

↓

メイン４／サブ５ アナログ基板設定 △（GHP 一体型チラーでアナログ入出力基板を使用する場合）

（1）アナログ入出力基板有無（「有り」にしてください）
（2）変流量制御判定タイマー
（3）アナログデータ変換（現場の機器に合わせて必ず設定してください）

↓

END

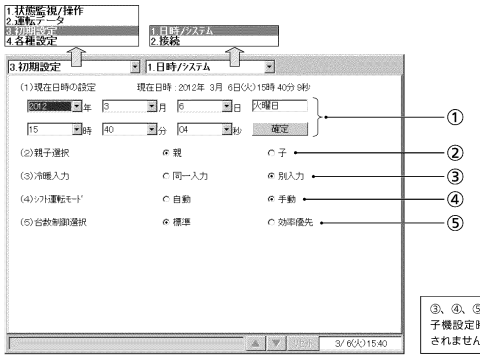
メイン３／サブ１

7.3.2. 日時／システムの設定

現在の日付・時刻や、システムに関係する設定を行います。
運用開始前に必ず行ってください。

手順

メインメニューで 3. 初期設定 、サブメニューで 1. 日時／システム を選択します。



③、④、⑤ は、子機設定時は表示されません。

① 現在の日時を設定します。
現在日時の設定 で、プルダウンメニュー▼から年、月、日、時、分、秒を選択します。
曜日は自動表示されます。
確定 を選択したタイミングで日時が更新されます。

時刻を現在よりも進めた場合、その間の時刻に設定されているプログラムタイマーは無効となり、送信されません。

7. ご使用方法（つづき）

メイン３／サブ１

② 親機・子機の選択を行います。チラーコントローラーを２台併設（親子設置）するときは、
必ず１台を親機、もう１台を子機に設定してください。
親子選択の変更を行おうとすると、次のメッセージが表示されます。

親子設定を変更すると、「初期設定」「その他の設定」の内容がすべて出荷設定に戻りますのでご注意ください。
チラーコントローラーは、最大２台（親１台＋子１台）設置できます。

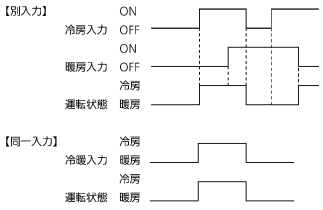
子機では、親機に比べて機能や表示に制限があります。

	親機の場合	子機の場合
運転／停止操作	○	○
上記以外の操作	○	× ※1
1-1 画面（概略表示）	○	○
1-2 画面（詳細表示）	○	○
2-1 画面（運転データ）	○	○
2-2 画面（警報履歴）	○	×
3-1 画面（日時／ｼｽﾃﾑ）	○	○
3-2 画面（接続）	○	×
4-1 画面（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾀｲﾏｰ）	○	×
4-2 画面（休日／ﾀｲﾏｰ特別日）	○	×
4-3 画面（制御特性）	○	×
4-4 画面（その他の設定）	○	○
外部入力（冷暖、運転／停止）	○	×
外部出力（一括運転、一括警報）	○	×

※１　子機では、ユニットの操作は運転／停止以外、行えません。（画面表示操作は行えます）

メイン３／サブ１

③ 外部冷房／暖房入力信号の選択を行います。（親機のみ）
冷房入力、暖房入力を個別の端子に接続する場合は「別入力」、同じ１つの端子に接続する場合は「同一入力」を選択します。
「別入力」の場合、端子が OFF から ON（開放→短絡）で冷房または暖房となります。
両方 ON した場合は無効となります。
「同一入力」の場合、端子が ON（短絡）で冷房、OFF（開放）で暖房となります。



④ シフト運転モードの選択を行います。（親機のみ）
「手動」の場合、全ユニット一括操作の詳細設定用ソフトリモコン（「概略表示」画面（ メイン１／サブ１ ）、「詳細表示」画面（ メイン１／サブ２ ））の シフト運転 ボタン操作にしたがって設定温度シフトが実行／解除されます。
「自動」の場合、現在日時にしたがって自動で設定温度シフトが実行／解除されます。

- ● シフト値　冷房時：＋１℃
  暖房時：－２℃
- ● 自動シフト時間帯　冷房時：17:00 ～翌日 9:00
  暖房時：10:00 ～ 16:00

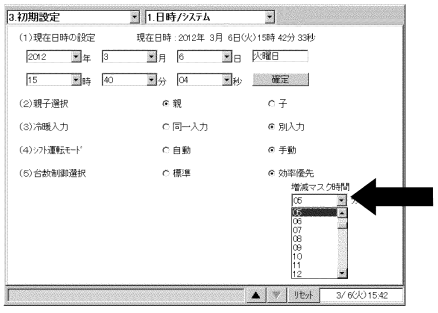
7. ご使用方法（つづき）

メイン３／サブ１

⑤ 台数制御の種類の選択を行います。（親機のみ）
- ● 標準
  負荷の変動に応じて、最適な運転台数となるよう台数の増減を行います。
- ● 効率優先
  運転台数の増減に加えて、各ユニットを統合的に制御することにより、
  部分負荷運転におけるシステムの効率が向上します。

すべてのユニットが「効率優先」の台数制御に対応している場合のみ、「効率優先」が選択できます。

「効率優先」が選択されると、下図のように、台数を増減したときのマスク時間を選択するプルダウンメニューが表示されます。
０分～ 60 分の範囲で設定できますが、通常は出荷設定（５分）のままにしておき、サービスマン以外の方は変更しないでください。



※台数制御選択の変更は、必ずユニットを全停止させた状態で行ってください。
台数制御の運転中に台数制御選択を変更しようとすると、下図のメッセージが表示されます。

OK を選択するとすべてのユニットを強制的に停止します。選択された台数制御で運転を再開する場合は、再度、一括運転を行ってください。
キャンセル を選択すると台数制御選択は変更されずに、メッセージが消えます。

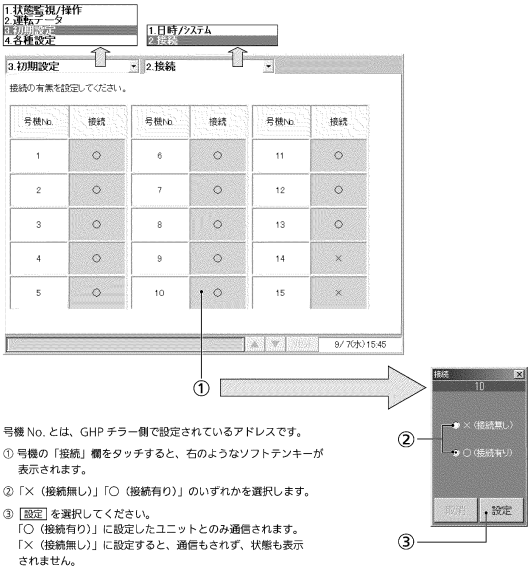
メイン３／サブ２

7.3.3. 接続台数の設定

GHP チラーの接続台数を設定します。
接続されているユニットの自動認識は行いませんので、必ずこの画面で接続号機の設定を行ってください。

手順

メインメニューで 3．初期設定 、サブメニューで 2．接続 を選択します。
※子機の場合は選択できません。



号機 No. とは、GHP チラー側で設定されているアドレスです。

① 号機の「接続」欄をタッチすると、右のようなソフトテンキーが表示されます。

②「×（接続無し）」「○（接続有り）」のいずれかを選択します。

③ 設定 を選択してください。
「○（接続有り）」に設定したユニットとのみ通信されます。
「×（接続無し）」に設定すると、通信もされず、状態も表示されません。

7. ご使用方法（つづき）

メイン３／サブ２

※ 台数制御選択が「効率優先」であるときに 「×（接続無し）」から「○（接続有り）」に変更しようとすると、下図のメッセージを表示します。

OK を選択するとすべてのユニットを強制的に停止し、台数制御選択を「標準」に戻します。
台数制御を再開する場合は、再度、一括運転を行ってください。
必要であれば、再度、「効率優先」を選択しなおしてください。
キャンセル を選択すると台数制御選択の変更は行われずにメッセージが消えます。

メイン１／サブ１

7.4. 状態監視と操作画面

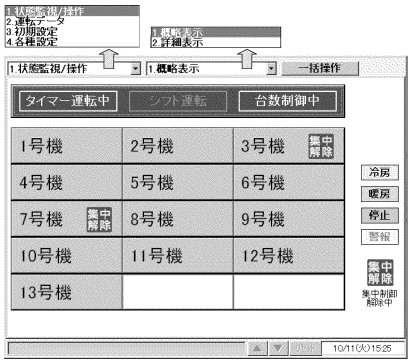
7.4.1. 概略表示

接続されている GHP チラーを一括表示します。

手順

メインメニューで 1．状態監視／操作 、サブメニューで 1．概略表示 を選択します。

各ユニットの運転状態が表示されます。



各ユニットの運転状態にしたがって、該当する枠の中が次の色で表示されます。
冷房：水色
暖房：橙色
停止：灰色
警報：黄色（文字は赤色）

7. ご使用方法（つづき）

メイン１／サブ１

7.4.1.1. 一括操作のしかた

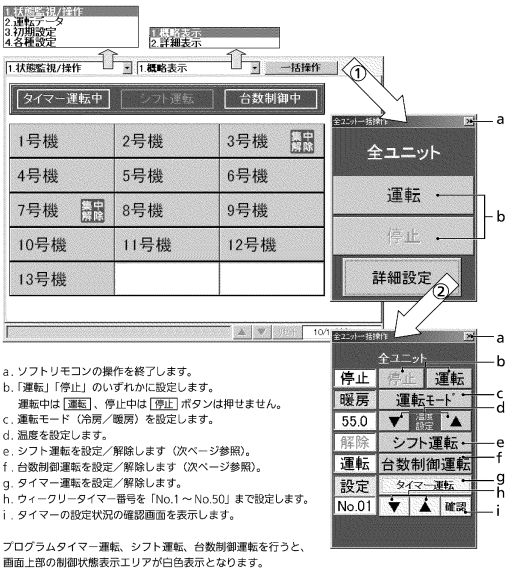
接続されている GHP チラーを一括で操作できます。

手順

メインメニューで 1．状態監視／操作 、サブメニューで 1．概略表示 を選択します。

① 一括操作 をタッチすると、全ユニット一括操作の ON/OFF 操作用ソフトリモコンが表示されます。

② 詳細設定 をタッチすると、全ユニット一括操作の詳細設定用ソフトリモコンが表示されます。



a. ソフトリモコンの操作を終了します。
b.「運転」「停止」のいずれかに設定します。
　運転中は 運転 、停止中は 停止 ボタンは押せません。
c. 運転モード（冷房／暖房）を設定します。
d. 温度を設定します。
e. シフト運転を設定／解除します（次ページ参照）。
f. 台数制御運転を設定／解除します（次ページ参照）。
g. タイマー運転を設定／解除します。
h. ウィークリータイマー番号を「No.1～No.50」まで設定します。
i. タイマーの設定状況の確認画面を表示します。

プログラムタイマー運転、シフト運転、台数制御運転を行うと、
画面上部の制御状態表示エリアが白色表示となります。
上図の例では、プログラムタイマー運転と台数制御運転が行われていることを意味しています。

メイン１／サブ１

【シフト運転について】

- シフト運転は、シフト運転モードの自動／手動の選択によって動作が異なります（「7.3.2. 日時／システムの設定」を参照）。
  「手動」に設定されている場合は、[シフト運転] ボタンの ON ／ OFF にしたがって設定温度のシフトが実行／解除されます。
  「自動」に設定されている場合は、現在日時にしたがって自動で設定温度のシフトが実行／解除されます。
  冷房時：17:00 ～翌日 9:00
  暖房時：10:00 ～ 16:00
- 設定温度のシフト値は次の通りです。
  冷房時：＋1℃
  暖房時：－2℃

【台数制御運転について】

- 台数制御運転を行うと、すべてのユニットが台数制御用の設定温度に変わります。
  出荷設定は、冷房：7℃、暖房：45℃です。
- 台数制御を「運転」にしただけでは、台数制御運転は行われません。
  ユニットを「運転」状態にした時点から台数制御が開始されます（「集中解除」となっているユニットを除く）
  台数制御運転中にユニットを停止させると、台数制御は休止状態となります。
- 台数制御が「運転」のときにユニットを「運転」させても、負荷条件によって、実際に運転するユニット台数は異なります。最低でも 1 台は運転します。
- 台数制御運転では、負荷に応じた効率の良い台数で運転を行いますが、負荷以外の条件（連続運転時間や積算運転時間など）により、ユニットが一時的に停止する場合があります。

7. ご使用方法（つづき）

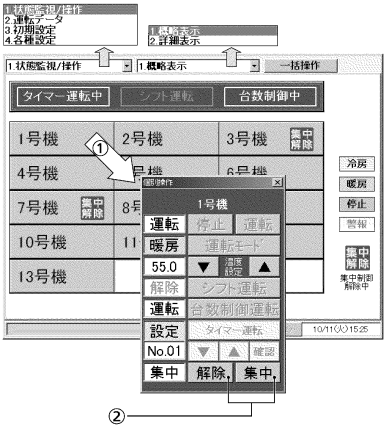
メイン１／サブ１

7.4.1.2. 個別操作のしかた

接続されている GHP チラーを個別で操作することができます。
ただし操作項目は限定されます。

手順

メインメニューで [1. 状態監視／操作] 、サブメニューで [1. 概略表示] を選択します。



① 各ユニットをタッチすると、個別操作用ソフトリモコンが表示されます。（親機設定時のみ）
全ユニット一括操作の詳細設定用リモコンとほぼ同じですが、温度設定と解除 / 集中のみ操作できます。
温度設定は、台数制御運転中はできません。

② 出荷設定時は、すべてのユニットが本コントローラーの制御対象となっていますが、任意のユニットを選び、このソフトリモコンで [解除] を選択すると、制御対象外となり、**停止します。**
制御対象外のユニットは、集中解除マークが表示され（上図の 3、7 号機）、台数制御や外部一括運転／停止入力についても無視されます。春や秋の冷暖房中間期に運転台数を減らしたい場合やメンテナンス時に一時的にユニットを止めておきたい場合に使用します。
[集中] をタッチすると集中解除マークが消えて制御対象に戻ります。このとき、一括運転中であれば運転します。

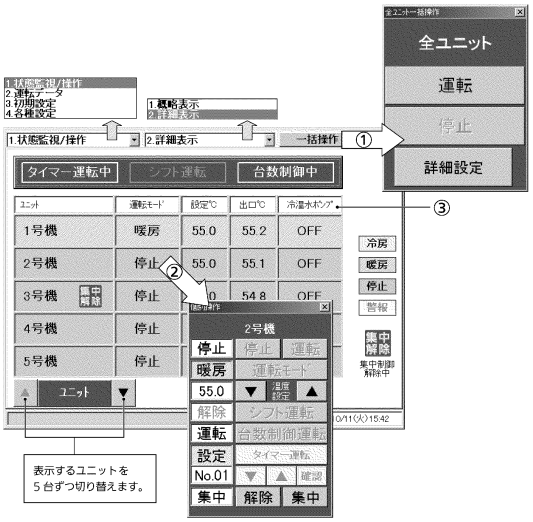
メイン１／サブ２

7.4.1.3. 詳細表示

ユニットごとの詳細な運転状態を表示・操作できます。

手順

メインメニューで [1. 状態監視／操作] 、サブメニューで [2. 詳細表示] を選択します。



① [一括操作] にタッチすると、全ユニット一括操作の ON/OFF 操作用ソフトリモコンが表示されます。

② 各ユニットの行をタッチすると、個別操作用ソフトリモコンが表示されます。（親機設定時のみ）
全ユニット一括操作の詳細設定用リモコンとほぼ同じですが、温度設定と解除 / 集中のみ操作できます。
温度設定は、台数制御運転中はできません。

③「冷温水ポンプ」は冷温水ポンプインターロック入力の ON/OFF 状況です。

7. ご使用方法（つづき）

メイン２／サブ１

7.5. 運転データと警報履歴の確認

7.5.1. ユニットごとの運転データ

GHP チラー系統ごとに運転時間、運転回数の積算状況を確認できます。

手順

メインメニューで [2. 運転データ] 、サブメニューで [1. ユニット毎] を選択します。

表示されている号機番号は GHP チラーのアドレスです。
運転時間、運転回数とは、その GHP チラーに接続されている GHP チラー室外機のエンジンの運転時間、運転回数（停止状態から運転を開始した回数）です。

7. ご使用方法

メイン 2 ／サブ 2

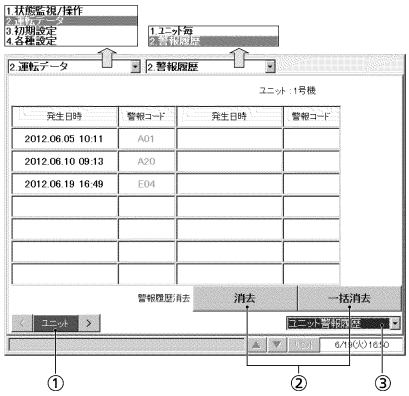
7.5.2. 警報履歴の確認

警報や異常の履歴を過去 14 件まで表示します。

手順

メインメニューで [2. 運転データ] 、サブメニューで [2. 警報履歴] を選択します。
※子機の場合は選択できません。

【ユニット警報履歴】各ユニットごとに、警報や異常の履歴が確認できます。



① 表示したいユニットを選択します。

② 対象のユニットの警報履歴のみを消去する場合は [消去] ボタンを、すべてのユニットの警報履歴を消去する場合は [一括消去] をタッチします。
次のような画面が表示されたら [はい] を選択します。

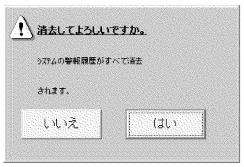
③「ユニット警報履歴」「システム警報履歴」を選択します。

7. ご使用方法（つづき）

メイン 2 ／サブ 2

【システム警報履歴】チラーコントローラーと内蔵の通信アダプターの通信異常の履歴が確認できます。
GHP 一体型チラーの場合は、アナログ入出力基板との通信異常も確認できます。

① すべてのシステム警報履歴を消去します。
次のような画面が表示されたら [はい] を選択します。



②「ユニット警報履歴」「システム警報履歴」を選択します。

メイン 4 ／サブ 1

7.6. 各種設定

7.6.1. プログラムタイマーの予約

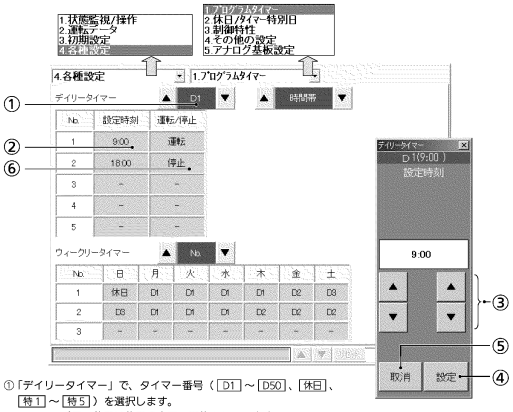
50 種類のデイリータイマー、50 種類のウィークリータイマーを設定することができ、祝祭日などの
タイマー休日の設定もできます。

7.6.1.1. デイリータイマーの設定

1 日あたり、設定時刻を 50 件まで、50 種類のデイリータイマーを設定することができます。

手順

メインメニューで [4. 各種設定] 、サブメニューで [1. プログラムタイマー] を選択します。
※子機の場合は選択できません。



①「デイリータイマー」で、タイマー番号（ [D1] ～ [D50] 、 [休日] 、
[特1] ～ [特5] ）を選択します。
タイマー番号の休日は休日設定用に予約されています。
タイマー番号の [特1] ～ [特5] はタイマー特別日設定用に予約されています。

②「設定時刻」の欄をタッチすると、デイリータイマー操作用リモコンが表示されます。

③ タイマー設定時刻を選択します。

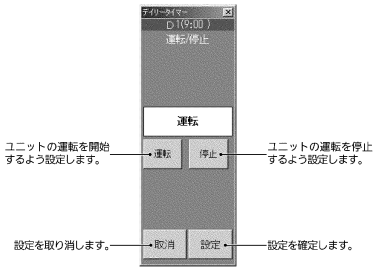
④ [設定] を選択し、設定時刻を確定します。

7. ご使用方法（つづき）

メイン 4 ／サブ 1

⑤ 設定を取り消す場合は [取消] を選択します。表示が「－」になります。

⑥「運転／停止」の欄をタッチし、設定します。



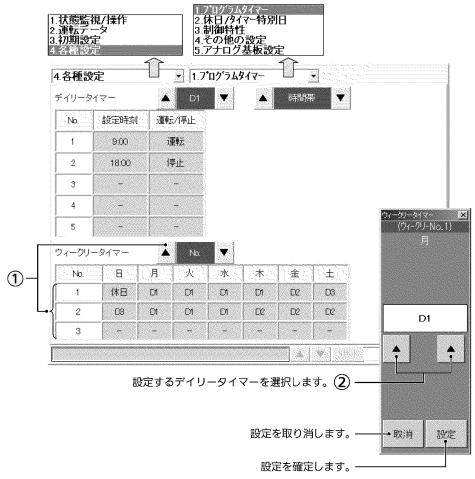
メイン４／サブ１

7.6.1.2. ウィークリータイマーの設定

曜日ごとに任意のデイリータイマーを割り当てて週間プログラムを設定します。
50 種類のウィークリータイマーを設定することができます。

手順

メインメニューで［4．各種設定］、サブメニューで［1．プログラムタイマー］を選択します。
※子機の場合は選択できません。



① 「ウィークリータイマー」で、ウィークリータイマー番号（［1］～［50］）を選択します。
ウィークリータイマーは、50 種類設定することができ、3 項目ずつ表示されます。
▼をタッチするたびに、「1, 2, 3, 」「2, 3, 4」「4, 5, 6」のように表示されます。
▲をタッチするたびに、「50, 1, 2」「49, 50, 1」「48, 49, 50」のように表示されます。

② 設定するデイリータイマー番号（［D1］～［D50］、［休日］、［特別日 1］～［特別日 5］）を選択し、各ボタンで設定／取り消しします。

7. ご使用方法（つづき）

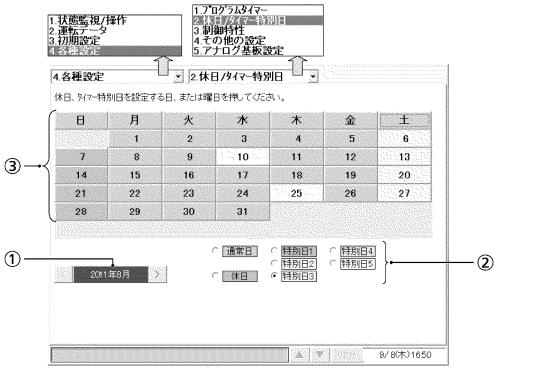
メイン４／サブ２

7.6.2. 休日／タイマー特別日の設定

祝祭日など、休日用タイマーの設定日やタイマー特別日を設定することができます。
向こう 2 年分の登録ができます。（親機設定時のみ）

手順

メインメニューで［4．各種設定］、サブメニューで［2．休日/ﾀｲﾏｰ特別日］を選択します。
※子機の場合は選択できません。



① 設定したい年月のカレンダーを選択します。

② 設定したい種別を選択します。（通常日、休日、特別日 1 ～ 5）

③ カレンダーで、休日／タイマー特別日に設定する日、または曜日を選択します。
種別に応じて、右記のとおりの色になります。

※ 休日、タイマー特別日の設定を解除するには「通常日」に設定してください。

※ 休日、タイマー特別日の動作内容は「プログラムタイマー」画面で設定します。
（「7.6.1.2. ウィークリータイマーの設定」を参照）

※ たとえば「休日」とは、休日タイマーで動作しますので、前夜から運転していた場合、休日タイマーに何も設定していないと、翌日は終日運転となります。
終日停止にしておきたい場合は、「休日」のデイリータイマーに、設定時刻を「0:00」、運転 / 停止を「停止」と設定しておきます。

通常日　：灰色
休日　　：ピンク色
特別日 1：橙色
特別日 2：黄色
特別日 3：水色
特別日 4：草色
特別日 5：クリーム色

メイン４／サブ３

7.6.3. 制御特性の設定

「標準」の台数制御を行う際の制御特性パラメータを変更することができます。

当社サービスマン以外は絶対に変更しないでください

7. ご使用方法（つづき）

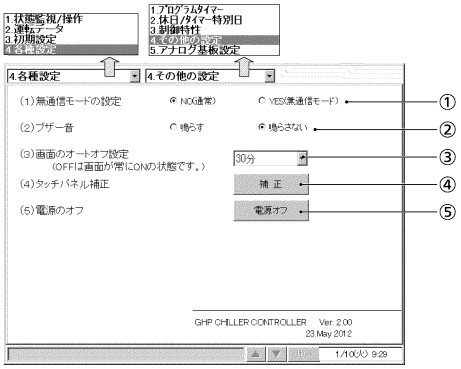
メイン４／サブ４

7.6.4. その他の設定

画面のオートオフなどの設定やタッチパネルの補正、電源 OFF などを行います。

手順

メインメニューで［4．各種設定］、サブメニューで［4．その他の設定］を選択します。



7.6.4.1. 無通信モードの設定

① 無通信状態で使用するかしないかを設定します。
「YES（無通信モード）」に設定すると、通信異常などは出ませんが、ユニットとの通信を一切行わなくなり表示データも無意味なものとなります。
GHPチラーとの通信が不完全な状態（設置されていない、電源が入らないなど）で、表示レイアウト等の確認だけを行いたいような場合に利用します。
通常は、「NO（通常）」で使用し、不用意に「YES（無通信モード）」に変更しないようご注意ください。

7.6.4.2. ブザー音

②「鳴らす」に設定すると、設定中に有効なボタンをタッチするとブザー（ピー音）が鳴ります。
警報発生時もブザーが鳴ります。
「鳴らさない」に設定すると、警報時のブザーも鳴らなくなります。

メイン４／サブ４

7.6.4.3. 画面のオートオフ設定

③ 所定の時間（ここでの設定時間）だけ画面操作を行わないと、画面表示が自動的に消えるよう設定します。
再び画面をタッチすると、画面表示が復帰します。

設定値：5 分／ 10 分／ 15 分／ 30 分／ OFF（初期設定：30 分）
※「OFF」に設定すると画面のオートオフを行いません。
※ 時間には、約 1 分の誤差があります。

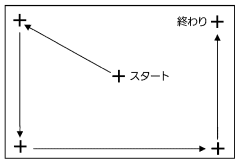
画面のオートオフは、LCD（液晶ディスプレイ）やバックライトの寿命を延長させる効果があり、節電にもなります。

7.6.4.4. タッチパネルの補正

チラーコントローラー周囲の温度・湿度や経年劣化などの影響で、長時間ご使用になりますと、タッチパネル画面のポイントがずれてくる場合があります。このような場合は位置補正を行なってください。

④ [補正] ボタンをタッチすると、次の画面が表示されます。

ここで [はい] を選択すると、白い画面の中央に十字のマークが表示されます。
タッチペンで、その中心部を 1 秒以上タッチし続けてから離します。
十字が自動で左上に移動しますので、同様に十字の中心を 1 秒以上タッチし続けてから離します。
左上→左下→右下→右上と同様に操作を行っていきます。



最後に十字が消えて、「新しい補正内容を設定しました」と表示されますので、
画面のどこかをタッチすれば、補正した結果が有効となって、元の画面に戻ります。
画面操作をせずに 30 秒経過すると、補正結果は無効となって元の画面に戻ります。

7. ご使用方法（つづき）

メイン４／サブ４

7.6.4.5. 電源のオフ

⑤ チラーコントローラーの電源を切る場合、このボタンをタッチしてから行ってください。
「システムを終了しますか？」とメッセージ画面が表示されたら [OK] を選択してください。
その後、データの書き込み処理を行い「電源を切っても安全です。」とメッセージ画面が表示されますので、その状態で電源を切ってください。（書き込みデータが多い場合、このメッセージ画面が表示されるまでに数分程度かかる場合があります）

> **!!** 「電源を切っても安全です。」が表示される前に電源を切ると、誤動作をしたり起動できなくなったりする可能性があります。

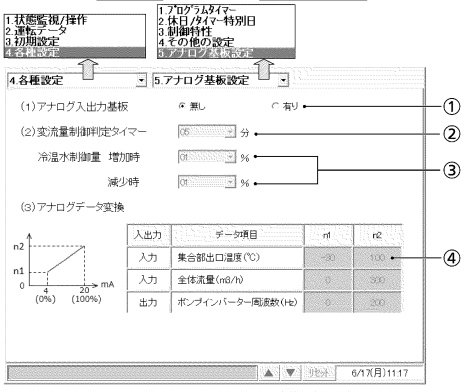
メイン４／サブ５

7.6.5. アナログ基板設定

GHP 一体型チラーにおいてアナログ入出力基板（オプション）を使用するときに関連する設定を行います。

手順

メインメニューで [4. 各種設定]、サブメニューで [5. アナログ基板設定] を選択します。



出荷設定は、上図の通りです。

7.6.5.1. アナログ入出力基板の有無

① アナログ入出力基板（オプション）を使用するかしないかを設定します。
「有り」に設定すると、アナログ入出力基板を中継して集合部出口温度、全体流量を取得し、ポンプ出力の制御を行います。
②③④の設定は、アナログ入出力基板「有り」の時のみ有効（変更可能）です。
アナログ入出力基板を使用しないときは必ず「無し」に設定してください。

7.6.5.2. 変流量制御判定タイマーおよび制御量

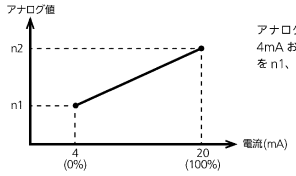
② 変流量制御を開始するまでの判定時間を設定します。1 ～ 60 分の範囲で設定できます。
出荷設定は「5 分」です。
※ 変流量制御は、台数制御運転中のみ有効となります。

③ 冷温水制御量
起動時および運転台数変化時、基準周波数を 15 秒ごとに変化させる量を設定します。
1 ～ 10%および「無制限」が設定できます。
「無制限」を選択すると、基準周波数へ即時変化させます。
出荷設定は「1 %」です。

7. ご使用方法

7.6.5.3. アナログデータ変換

④ アナログ入出力基板で入出力を行うときの電流とアナログ値の関係を設定します。
現場で使用する機器（集合部出口温度センサー、全体流量センサー、ポンプ）に合わせて必ず設定してください。



アナログ入出力基板からの入出力電流が 4mA および 20mA のときのアナログ値を n1、n2 で設定します。

- 集合部出口温度　センサーからの入力値 4mA および 20mA が何℃に相当するかを設定します。
  -30 ～ 100℃の範囲で設定できます。
- 全体流量　センサーからの入力値 4mA および 20mA が何 m^3 に相当するかを設定します。
  0 ～ 300m^3 の範囲で設定できます。
- ポンプ周波数　インバータへの出力値 4mA および 20mA が何 Hz に相当するかを設定します。
  0 ～ 200Hz の範囲で設定できます。

入力欄をタッチすると、次のようなソフトテンキーが表示されますので、4/20mA に相当するアナログ値を入力し、「設定」を押します。

ご注意

システム運転中に n1、n2 の値を変更しないでください。
変更する場合はいったんシステムを停止し、変更後に運転を再開してください。

12. 仕様

品番		CZ-10RT15G
外形寸法		（高さ）240 mm ×（幅）280 mm ×（奥行）138 mm
取付方法		制御盤前面扉
接続台数		最多 15 台の GHP チラー チラーコントローラーの親機・子機は各 1 台まで
時計精度		±約 2 分／月（常温 25℃）定期的に合わせてください。
タイマー	設定単位	1 分
	動作	1 日あたり 50 回設定 デイリータイマー 50 種／ウィークリータイマー 50 種
	プログラム周期	1 週間
使用温度・湿度範囲		5℃～ 40℃・20% ～ 80%（結露なきこと）
表示		6.5 インチ TFT カラー液晶ディスプレイ（640 × 480 ドット） バックライト付き
電源定格		単相 100V ～ 240V 50/60Hz
消費電力		最大 30W
重量		3.4 kg

Panasonic

据付（電気）工事説明書
チラーコントローラー

品番　CZ-10RT15G

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
（発熱、火災の原因）

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
・電気設備に関する技術基準
・内線規程
・据付（電気）工事説明書
（感電、火災の原因）
- **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**
（故障や漏電時に感電、火災の原因）
- **電源は、必ず専用回路を使用する**
（感電、火災の原因）
- **据付工事は「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）

❗
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**
（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**（感電、故障の原因）

⏚
- **アース工事（D種設置工事）を行う**
ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない（感電の原因）

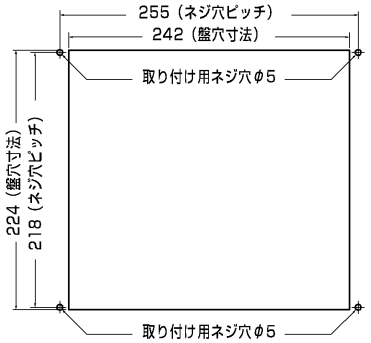
⚠注意

⃠
- **次のような場所では使わない**
・結露するところ
・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ
・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
・電磁波が出る機械のあるところ
・電圧変動の多いところ
・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ
（感電、火災などの原因）
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

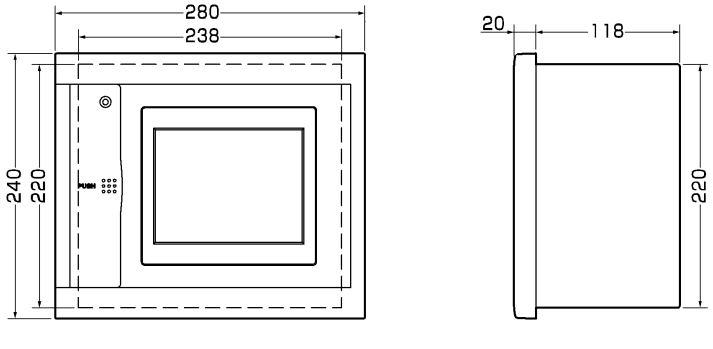
❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

1 制御基板設計時の注意事項

制御盤加工図



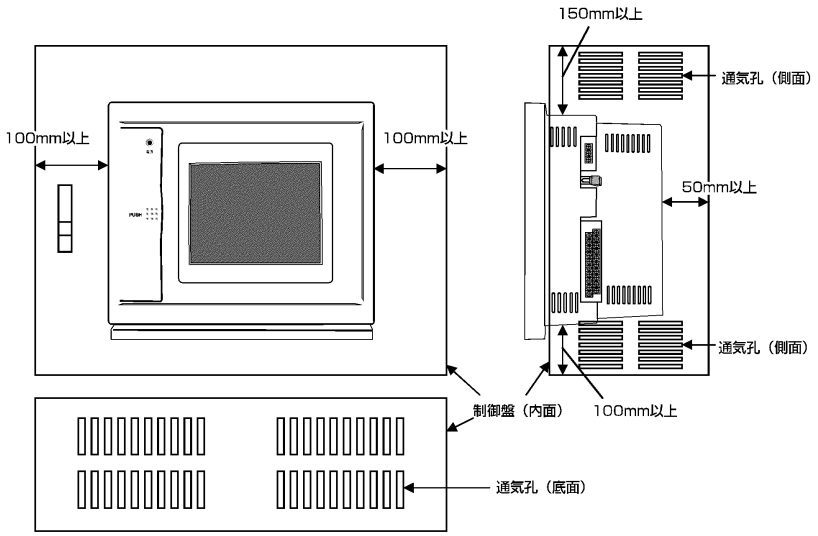
外形寸法図



制御盤の設計にあたり、以下の点についてご考慮ください。

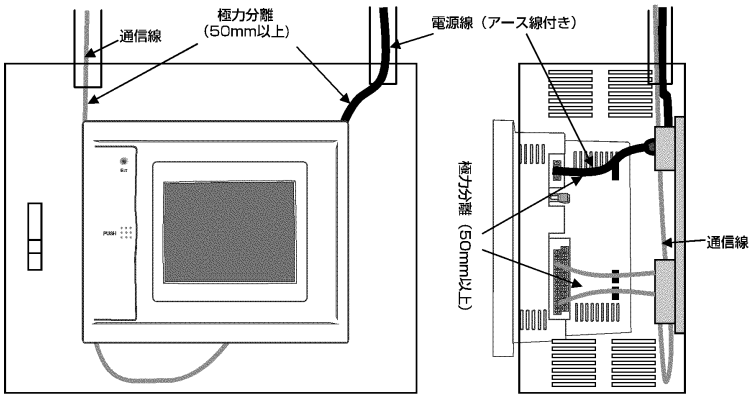
1. 通気性（放熱性）のため、下図のように左右の側面上側、及び側面下側（または底面）に通気孔（丸穴、スリット等）を入れてください。（設置時、通気孔をふさがないようご注意ください。）制御盤内の温度が 40 ℃を超えないようご注意ください。

参考図



2. 電源線と通信線は、ノイズの影響を軽減させるためできるだけ分離（制御盤内部の場合、50mm 以上）してください。

参考図



2 取り付けかた

ご注意

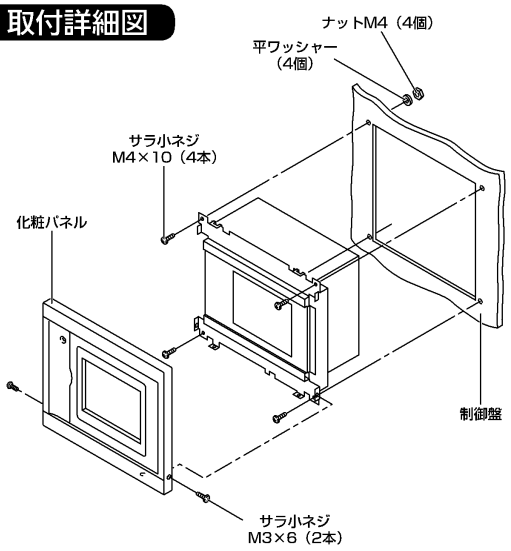
- 屋内設置専用です。
- 通信用配線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- ノイズ発生源から充分離して据え付けてください。
- 水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
- 過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。
- 制御盤に埋め込んで取り付けてください。

①化粧パネルの両側面下部と底部のサラ小ネジを 2 本はずします。

②コントローラー本体を付属のネジ･ナット･ワッシャ（4 本）で制御盤に固定します。

③化粧パネルを元のように取り付けます。

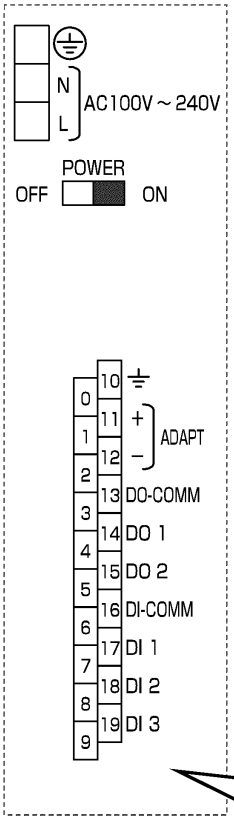
取付詳細図



3 配線のしかた

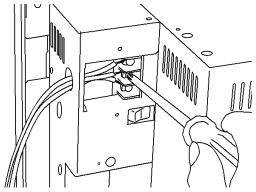
取り付け、取り外しは安全のため、元電源（ブレーカ）を切ってから行ってください。

端子盤配置図

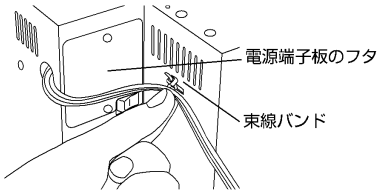


(1) 電源の接続

電源端子板のフタを取り外してください。
電源は商用電源 (AC100 ～ 240V) より、本機専用で接続してください。
電源端子板の L と N(AC のニュートラル側を N 側) に接続してください。



アース線は電源端子板のアース端子に接続してください。
電源端子板のフタを取り付けてください。
電源線を付属の束線バンドでしっかりと固定してください。



(2) 通信線の接続

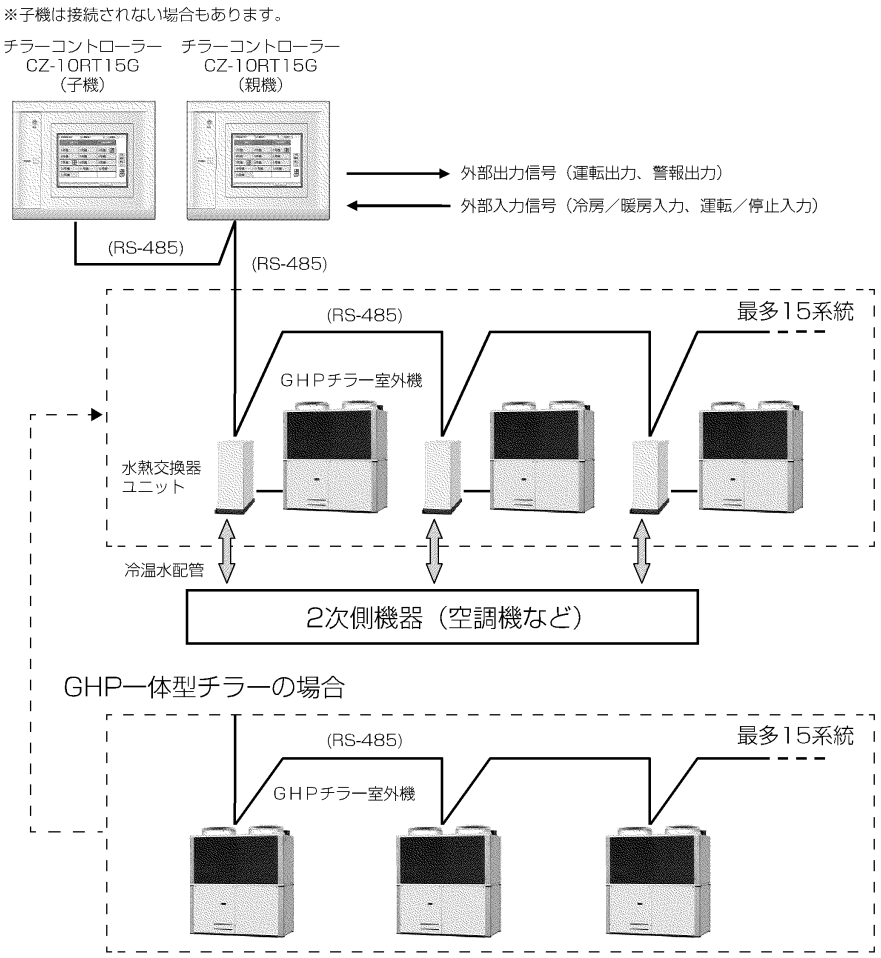
- ＲＳ４８５通信線は、太さ 0.5 ～ 2.0mm^2 の 2 芯シールド線を必ず使用してください。(MVVS または CPEVS)
- ＲＳ４８５通信線には**＋，－の極性があります。**
- シールドは必ず片側のみを確実にアースしてください。
- 総延長は 1km 以内としてください。
- 電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。(30cm 以上離してください)
- 通信配線と電源配線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください。

端子名とその用途

ADAPT ＋ / －	：ＲＳ４８５通信線	
DI 1	：冷房入力（冷房／暖房入力）	
DI 2	：暖房入力	
DI 3	：運転／停止入力	※外部入出力は
DO 1	：一括運転出力	チラーコントローラー
DO 2	：一括警報出力	親機のみ有効

基本配線図

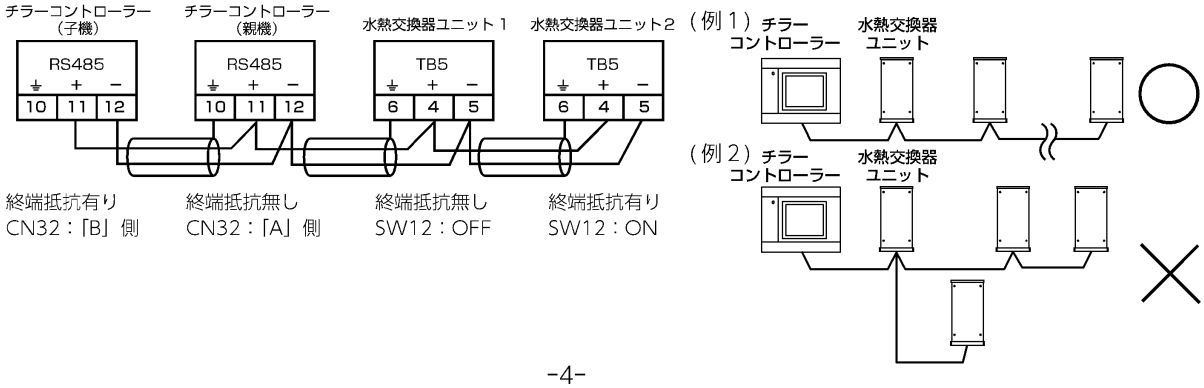
ＲＳ４８５通信線は下図のように配線してください。



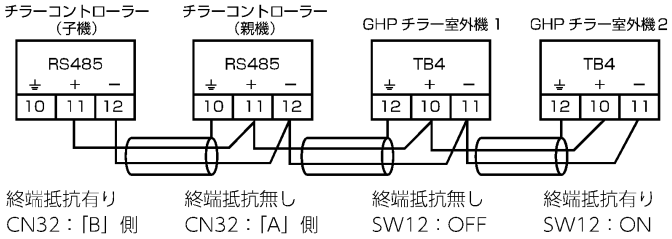
配線の手順

（GHP 一体型チラーの場合は、「水熱交換器ユニット」を「GHP チラー室外機」に読み替えてください。）

- ＲＳ４８５通信線**（＋，－の極性があります）**
  最多 15 台の水熱交換器ユニット、及び子機のチラーコントローラーを接続することができます。
  ＲＳ４８５通信線の接続端子に、AC200V 等の電源線を接続していないか確認してください。
- チラーコントローラーおよび水熱交換器ユニットの通信線端子板の「＋」どうし、「－」どうしを、必ず渡りで接続します。（例２のような分岐配線は禁止です）
- 通信線の末端となる水熱交換器ユニットにおいて終端スイッチ（SW12）を「ON」側にしてください。それ以外の水熱交換器ユニットは必ず終端スイッチ（SW12）を「OFF」側にしてください。



GHP 一体型チラーの場合

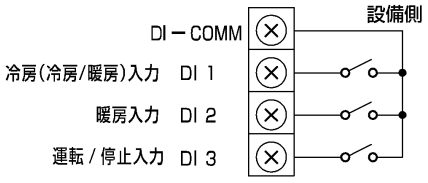


※アナログ入出力基板（オプション）を内蔵する場合は、必ずアナログ入出力基板のディップスイッチ SW1-1 ～ 1-4 をすべて OFF（アドレス「10」）で使用してください。
その他、配線方法などの詳細は、アナログ入出力基板の工事説明書を参照ください。

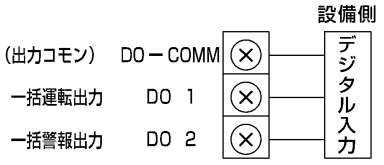
- 終端抵抗の工場出荷状態は下記の通りです。
  チラーコントローラー：CN32 が「B」側（終端抵抗有り）
  水熱交換器ユニット　：SW12 が「OFF」（終端抵抗無し）
- 親機もしくは子機のチラーコントローラーが渡り配線の末端以外の場所に接続される場合は、終端抵抗を「無し」（CN32 が「A」側）に変更してください。

4 外部設備との接続

(1) 外部一括入力（無電圧 a 接点スタティック）



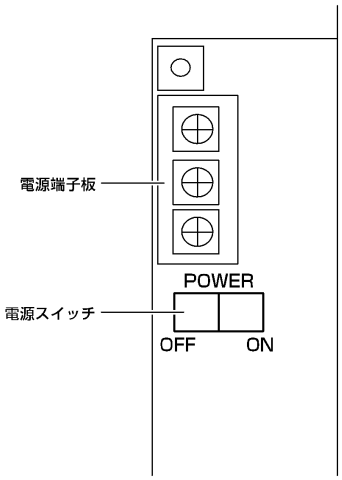
(2) 外部一括出力（無電圧 a 接点スタティック）



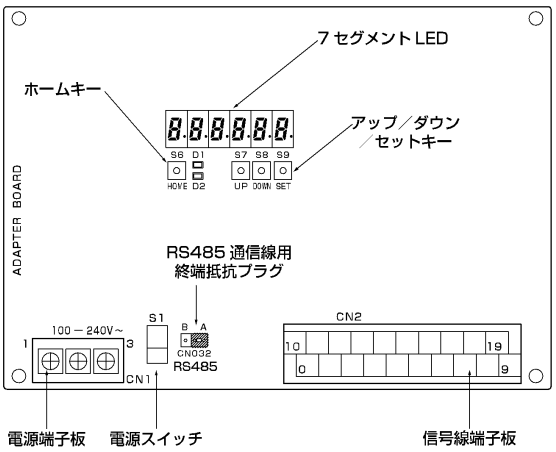
- 外部入力および外部出力は、親機設定のチラーコントローラーのみ有効です。子機には接続しないでください。また、外部入力は必ずチラーコントローラーに入力してください。（GHP チラーへの直接入力は禁止）
- それぞれの信号入力の配線長は、20m 以下としてください。
  この距離を超える場合は、リレー受けをしてください。
- ノイズの影響を受ける恐れがある場所で使用する場合、必ず 0.5mm^2 以上の 2 芯シールド線（片側アース）を使用してください。
- 入力端子には外部から電圧を印加しないでください。
- 入力端子の検出のため、接点に DC5V、約 10mA の電圧がかかります。
- 出力端子の許容接点電圧電流は DC30V、0.5A です。
- 冷暖房信号を同一入力で使用するときはＤＩ１、別入力で使用するときはＤＩ１、ＤＩ２に接続してください。
- 冷暖房信号を同一入力で使用する場合、ＤＩ１とＤＩ－ COMM 間がＯＮ（短絡）で冷房、ＯＦＦ（開放）で暖房となります。

5 電源スイッチについて

本機には電源スイッチが付いています。
電源を接続した後、液晶表示が表示されないときは、電源スイッチを確認してください。



6 基板詳細図

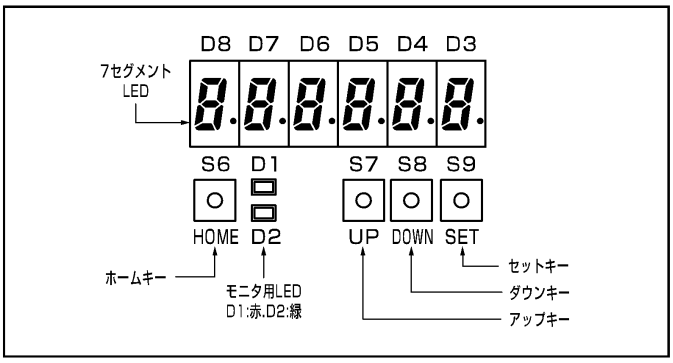


※子機のチラーコントローラーは、アダプター番号を「１」に変更してください。(次項「子機設定方法」を参照)

※終端抵抗プラグは、「A」側で終端抵抗無し、「B」側で終端抵抗有りです。
工場出荷状態は、「B」側になっています。

7 子機設定方法

子機のチラーコントローラーは、下記の手順でアダプター番号を「1」に変更してください。



⚠警告	チラーコントローラー内部には高圧部あり 基板に触れると感電のおそれ

(1) スイッチ操作の概要

①項目の選択

項目選択を [UP]・[DOWN] キーで行い、[SET] キーで選択。

②項目内容の変更

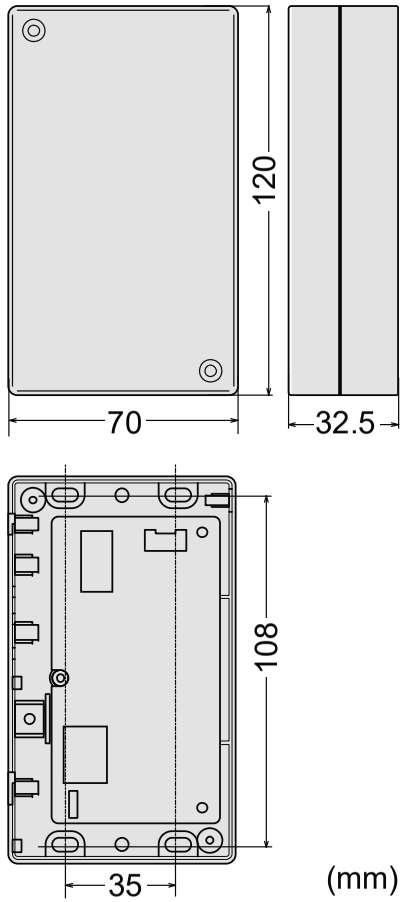
設定変更を [UP]・[DOWN] キーで行い、[SET] キーで選択。

[HOME] キーを 2 秒以上押すと初期状態 n0.00 に戻ります。(設定変更途中の内容は破棄されます)

仕様

品番	CZ-CAPR1
外形寸法	（高さ）120 mm×（幅）70 mm×（奥行き）32.5 mm
質量	100 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（結露なきこと） 屋内設置専用
電源	DC 5 V（ルームエアコンより供給）

外形寸法



品番	CZ-CAPR1	外形寸法図 （ＲＡＣ ローカル アダプター）

Panasonic

取扱説明書
RAC ローカル アダプター
品番 CZ-CAPR1

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書は RAC ローカル アダプターの取扱説明書です。
  集中制御機器とルームエアコンの取扱説明書をあわせてお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、集中制御機器とルームエアコンの取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

必ず守る

●異常・故障時には直ちに使用を中止し、ルームエアコンの電源プラグを抜く
（発煙・発火、感電のおそれがあります）

異常・故障例
- こげ臭いにおいがする。
- 内部に水や異物が入った。

⇒すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 警告

必ず守る

● **据え付けは、必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
（感電、発火の原因になります）

● **ルームエアコンが見えない位置からのご利用時は、集中制御機器などで、こまめに設定内容や運転状況を確認する**
（急激な外気温・室温の変化などにより、体調悪化の原因になります）
・対人専用冷暖房装置として、使用してください。
・食品・動植物・精密機器・美術品等の保存等の特殊用途には使用できません。
・人などが死亡、重傷を負ったり、財産の損害が発生したりするおそれがあります。

● **ルームエアコンの電源プラグが確実に差し込まれていること、またプラグにほこりがたまっていないことを定期的に確認する**
（接触不良や絶縁不良によるプラグからの発熱や発火、火災の原因になります）

● **事前に、他の人が設定したタイマー予約など、設定状況を十分把握する**
（思わぬ運転や停止により、体調悪化の原因。動植物に悪影響をおよぼす原因になります）

● **ルームエアコンは異常がないこと、部屋は風の変化があっても悪影響がでないこと（飛びやすい物がないなど）を事前に確認する**
（風により物が落下し、火災やけが、家財汚損の原因になります）

● **ルームエアコンの周辺に人がいることが分かっているときは、事前に見えない位置から運転や停止することを知らせる**
（台などに乗っていた場合、突然の運転（停止）に驚いて落下・転倒の原因になります。
また、急激な外気温・室温の変化などにより、体調悪化の原因になります）
・温度調節や停止は、ルームエアコンのリモコンでも操作することができます。
・お子様（乳幼児）や身体の不自由な方・高齢者などご自身で温度調節などができない方が在室している場合は、ご利用にならないでください。

禁止

● **分解・改造をしない**
（感電、発火の原因になります）
⇒修理は必ずお買い上げの販売店
または専門業者に依頼してください。

● **水につけたり、水をかけたりしない**
（感電のおそれがあります）

誤動作や故障、けがの原因となるため、次のことをお守りください。

・停電自動復帰機能をお使いの場合、ルームエアコンの電源プラグをコンセントに差し込むとすぐに運転を開始することがあるのでご注意ください。
（台などに乗っていた場合、突然の運転に驚いて落下・転倒の原因。）
・本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。
また本製品に強い圧力をかけないでください。
・本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
・お手入れは、ルームエアコンの電源プラグを抜いてから、柔らかい布でからぶきしてください。
ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布で ふいてください。
化学ぞうきんなどを使うときは、その注意書きに従ってください。

使用上のご確認

本アダプターは、インテリジェントコントローラーなどの集中制御機器とルームエアコンを接続するときに必要となるインターフェースです。
本アダプターにより、集中制御機器からルームエアコンの操作や監視を行うことができます。
また、外部接続のON/OFF接点を用いてルームエアコンの運転/停止、リモコン操作の禁止/許可、カードキー連動、緊急停止、強制サーモOFFを行えます。

集中制御機器から設定可能なルームエアコンの機能

○：集中制御機器から設定可
ー：集中制御機器から設定不可
（ルームエアコンのリモコンでは設定可能ですが、機種により設定できない機能があります。）

ルームエアコンの機能			使用可否
停止/運転			○
運転モード	暖房		○
	冷房		○
	除湿	快適除湿	ー
		冷房除湿	○
		衣類乾燥	ー
		除湿弱	ー
	送風		○
	自動 （快適おまかせ）		○
温度設定			○
風量			○
風向	風向設定（上下）		○
	風向設定（左右）		ー
エコナビ			○
センサー機能（風あて、風よけ、オートオフ など）			ー
快適機能（パワフル、もっと、しずか、ロング、室温みはり など）			ー
ナノイー			ー
フィルターおそうじ運転			ー
タイマー機能（切タイマー、入タイマー、おやすみ切タイマー など）			ー

● 集中制御機器の操作により、ルームエアコン特有の機能（快適除湿、衣類乾燥、除湿弱、パワフルなど）を解除することがあります。
● 本アダプターを接続した場合、スマートフォンやHEMSによるルームエアコンの遠隔操作は、できません。

お知らせ

一時的に本アダプターとルームエアコンの接続を切断したいとき
ルームエアコンに付属しているリモコンで遠隔操作を「なし」に設定してください。
（設定方法はルームエアコンの取扱説明書を参照してください）
※切断時は、集中制御機器の画面にＣ１５警報が表示されます。

ルームエアコンに対してご使用いただける集中制御機器の機能

○：ルームエアコンに対して使用可　ー：ルームエアコンに対して使用不可

集中制御機器の機能		使用可否
設定/表示	運転／停止	○
	運転モード	○
	温度設定	○
	風速設定	○
	風向設定	○
	リモコン手元操作禁止※	○
	省エネモード	ー
	換気	ー
	フィルターサインリセット	ー
	エコナビ	○
	試運転	○
	室外静音設定	ー
	デマンド	ー
	設定温度自動リターン	○
	設定温度範囲制限	○

集中制御機器の機能		使用可否
設定/表示	消し忘れ防止	○
	運転自動停止	○
	ウィークリータイマー	○
表示	警報表示	○
	警報履歴表示	ー
	室外故障データ表示	ー
	フィルターサイン	ー
	フィルター清掃時期確認	ー
	暖房準備中	ー
	除霜中	ー
	室内温度	ー
	運転積算時間	○
	サーモＯＮ積算時間	○
	発停回数	ー
その他	グループ制御	ー

※リモコン手元操作禁止設定時は、リモコンによる操作ができなくなります。ご使用いただく環境をご考慮のうえ集中制御機器から設定をしてください。

故障かな？

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

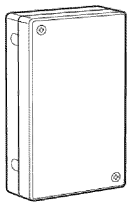
症状	原因・対処
集中制御機器の画面に Ｃ１４警報が表示される	ルームエアコンの警報が発生しています。 ・運転を停止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
集中制御機器の画面に Ｃ１５警報が表示される	本アダプターとルームエアコンとの間で通信異常が発生しています。 ・ルームエアコンに付属しているリモコンで遠隔操作を「あり」に設定してください。 （設定方法はルームエアコンの取扱説明書を参照してください） ・上記でも状況が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
集中制御機器の画面に 上記以外の警報が表示される	・お買い上げの販売店にご相談ください。

Panasonic

据付(電気)工事説明書

RACローカルアダプター

品番 CZ-CAPR1



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくように依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。(お客様による施工は行わないでください。)
●ルームエアコンが本アダプターに対応しているか、必ずご確認のうえ、施工をしてください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  ・電気設備に関する技術基準　・内線規程
  ・据付(電気)工事説明書　(感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **本アダプターの接続を行う前にルームエアコン本体の電源プラグを抜く**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- **異常、故障時には直ちに使用を中止し、ルームエアコン本体の電源プラグを抜く**
  (感電、火災の原因)

⚠注意

⃠
- **次のような場所で使わない**
  ・結露するところ
  ・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  ・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  ・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  ・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  ・有機溶剤の飛沫するところ
  ・電磁波が出る機械のあるところ
  ・電圧変動の多いところ
  (感電、火災などの原因)
- **水洗いしない**(感電の原因)

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

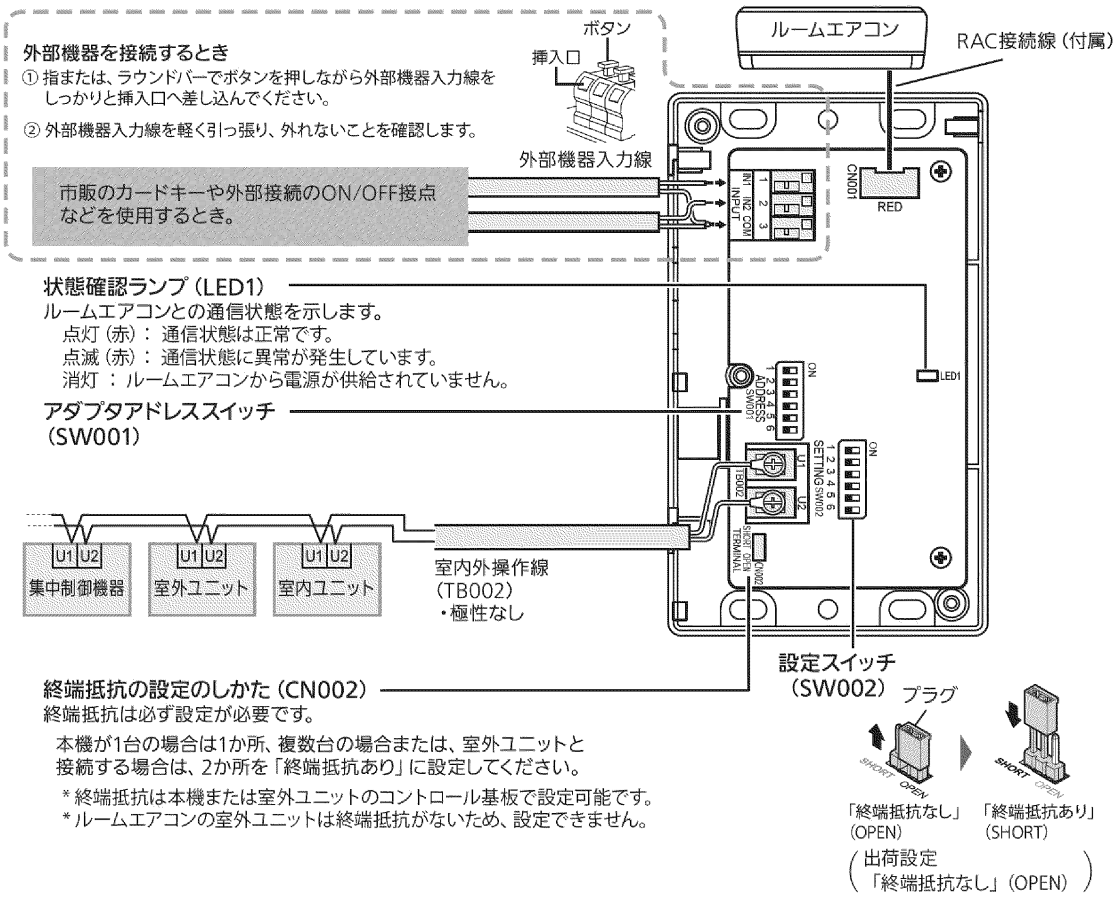
据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  ・直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  ・過度な衝撃や振動のある場所(本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)　・熱源の近くなど
- 床面に対して垂直または水平に据え付ける。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- 配線は、地中に埋設しない。
- 絶縁物の厚み(シース部を含む)が1mm以上のケーブルを使う。
- 天井裏や壁の中に本アダプターを据え付ける場合
  ・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。
  ・メンテナンス、およびサービスができるように設置する。

ルームエアコンの対応機種

本アダプターは、CN-NETコネクタを持つ2017年度モデル以降の当社製住宅設備用ルームエアコンに対応しています。

基本配線図



配線の準備をする

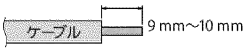
■ 室内外操作線

- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²のケーブル
  - ・推奨品：VCT/VCTF
- 総配線長：1000 m 以内

■ 外部機器入力線（外部機器を接続するとき）

- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある0.5 ～ 0.75 mm²のケーブル
  - ・推奨品：VCT/VCTF
- 総配線長：20 m 以内
  （超えるときは、リレーを使う）

（お願い）
- ・単線かストレートケーブルのみ使用。
- ・ケーブルの被覆を剥ぐ。



	本機		外部機器側		
	条 件	端子名	切分端子	回路例	条 件
制御入力	無電圧a接点 スタティック または パルス ・接点許容電圧：DC5 V ± 10% ・接点許容電流：最大 10 mA	入力1（IN 1） 入力2（IN 2） コモン（COM）	1 2 3	COM	・パルス幅：300 msec以上

配線する

❶ RAC 接続線（付属）をルームエアコンに接続する
コネクタの接続位置、プリント基板の位置、配線の引きまわしはルームエアコンの「据付工事説明書」を参照してください。
① ルームエアコンのCN-NETコネクタにRAC接続線を接続します。
② 本機の据え付け位置を決め、配線の引きまわし方法を決めます。

❷ 上ケースをはずす
（ケースネジ：2）

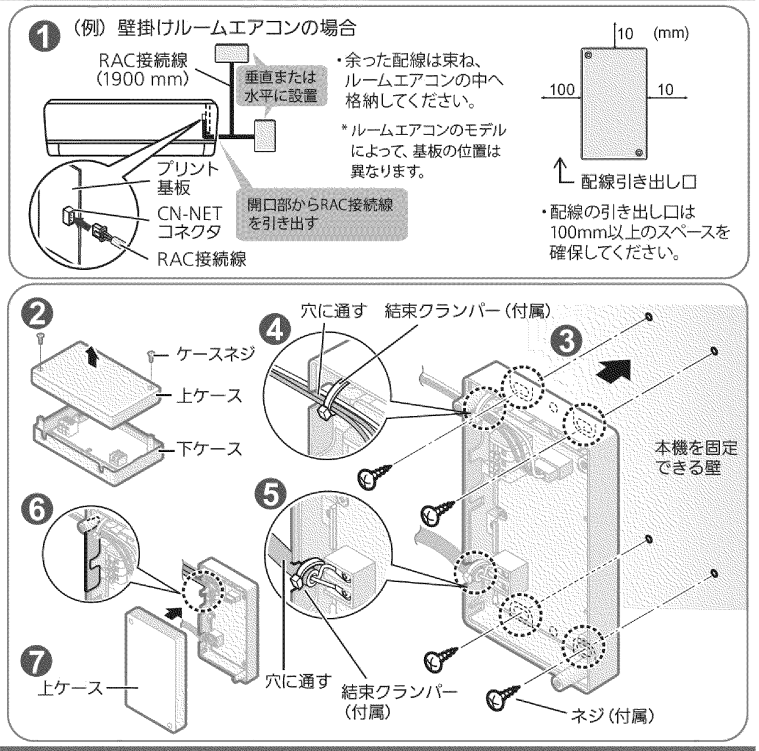
❸ 下ケースを壁に取り付ける
（ネジ（付属）：4）

❹ RAC 接続線（付属）を接続する
・ケースの穴に通して配線してください。
・結束クランパー（付属）で配線を固定する。

❺ 室内外操作線を接続する
・ケースの穴に通して配線してください。
・結束クランパー（付属）で配線を固定する。
● 端子ネジの締め付けトルク：0.4 ～0.5 N・m（規定値）
● 極性はありません

❻ 外部機器を接続するとき
外部機器入力線を接続する
・ニッパ等で切り取り、やすり等でバリをとる。
・手順❹や❺のように結束クランパー（付属）で、配線を固定する。

❼ 上ケースを取り付ける
・下記の「RACローカルアダプターの設定する」を参照して設定を完了後、上ケースを取り付けてください。



RACローカルアダプターの設定をする

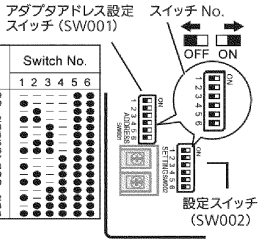
必ず電源を OFF にして設定してください。

1 アダプタアドレスの設定のしかた（SW001）

右の表を参照し、アダプタアドレスを設定してください
・ローカルアダプターが同じ系統内に複数あるときは、アダプタアドレスが重複しないようにしてください。
・集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合は、室内ユニットの集中制御アドレスを重複しないように設定してください。

＊：出荷設定

Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6
＊1	● ● ● ● ● ●	17	● ● ● ● ● ●	33	● ● ● ● ● ●	49	● ● ● ● ● ●
2	● ● ● ● ● ●	18	● ● ● ● ● ●	34	● ● ● ● ● ●	50	● ● ● ● ● ●
3	● ● ● ● ● ●	19	● ● ● ● ● ●	35	● ● ● ● ● ●	51	● ● ● ● ● ●
4	● ● ● ● ● ●	20	● ● ● ● ● ●	36	● ● ● ● ● ●	52	● ● ● ● ● ●
5	● ● ● ● ● ●	21	● ● ● ● ● ●	37	● ● ● ● ● ●	53	● ● ● ● ● ●
6	● ● ● ● ● ●	22	● ● ● ● ● ●	38	● ● ● ● ● ●	54	● ● ● ● ● ●
7	● ● ● ● ● ●	23	● ● ● ● ● ●	39	● ● ● ● ● ●	55	● ● ● ● ● ●
8	● ● ● ● ● ●	24	● ● ● ● ● ●	40	● ● ● ● ● ●	56	● ● ● ● ● ●
9	● ● ● ● ● ●	25	● ● ● ● ● ●	41	● ● ● ● ● ●	57	● ● ● ● ● ●
10	● ● ● ● ● ●	26	● ● ● ● ● ●	42	● ● ● ● ● ●	58	● ● ● ● ● ●
11	● ● ● ● ● ●	27	● ● ● ● ● ●	43	● ● ● ● ● ●	59	● ● ● ● ● ●
12	● ● ● ● ● ●	28	● ● ● ● ● ●	44	● ● ● ● ● ●	60	● ● ● ● ● ●
13	● ● ● ● ● ●	29	● ● ● ● ● ●	45	● ● ● ● ● ●	61	● ● ● ● ● ●
14	● ● ● ● ● ●	30	● ● ● ● ● ●	46	● ● ● ● ● ●	62	● ● ● ● ● ●
15	● ● ● ● ● ●	31	● ● ● ● ● ●	47	● ● ● ● ● ●	63	● ● ● ● ● ●
16	● ● ● ● ● ●	32	● ● ● ● ● ●	48	● ● ● ● ● ●	64	● ● ● ● ● ●



● ：ON　- ：OFF

2 設定スイッチについて（SW002） ＊：出荷設定

● [SW1] 集中制御アドレス設定方法の切換
OFF＊：集中制御機器から設定
ON　：本機のアダプタアドレス設定スイッチ（SW001）を使用して設定
・集中制御アドレスがアダプタアドレスと兼用されます。
・集中制御アドレスはアダプタアドレススイッチによって固定になります。
・集中制御アドレスは「アダプタアドレスの設定のしかた」で設定します。
・集中制御機器から設定する場合は集中制御機器の「据付（電気）工事説明書」を参照してください。

● [SW2] リモコン操作を禁止する方法の切換
OFF＊：リモコン操作が禁止されます。
ON　：リモコン操作は許可されますが、アダプターが設定を元の状態に戻します。

● [SW3] 停電自動復帰
OFF＊：-（ルームエアコンの設定に依存します。）
ON　：停電前の状態で復帰

● [SW4]ルームエアコンのブザー音の切換
OFF＊：集合制御機器から操作したとき、ルームエアコンのブザーを鳴らします。
ON　：集合制御機器から操作したとき、ルームエアコンのブザーを鳴らしません。

● [SW5/6]接点入力信号切換（右の表を参照）

状態 SW5	状態 SW6	接点入力詳細	外部機器操作の詳細
OFF＊	OFF＊	入力 1：運転/停止 信号（スタティック）	SHORT：運転 OPEN　：停止
		入力 2：信号（スタティック）リモコン禁止	SHORT： ・リモコン操作禁止 OPEN： ・リモコン操作許可
OFF	ON	入力 1：運転/停止 信号（パルス）	OPEN → SHORT（300 ms 以上） →OPENで 運転/停止 状態が反転 （運転 ⇔ 停止）
		入力 2：信号（スタティック）リモコン禁止	SHORT： ・リモコン操作禁止 OPEN： ・リモコン操作許可

状態 SW5	状態 SW6	接点入力詳細	外部機器操作の詳細
ON	OFF	入力 1：カードキー信号	SHORT： ・リモコン操作許可 OPEN： ・ルームエアコン停止、リモコン操作禁止 （集中制御機器からの操作は許可）
		入力 2：緊急停止	SHORT： ・ルームエアコン停止、リモコン操作禁止 （集中制御機器からの操作も禁止） OPEN： ・リモコン操作許可 ※緊急停止のみ使用時は、入力1をSHORTにすること
ON	ON	入力 1：強制サーモOFF	SHORT： ・ルームエアコンサーモOFF OPEN： ・ルームエアコンサーモOFF解除
		入力 2：未使用	-

ルームエアコンの設定を変更する

本アダプターを接続して、遠隔操作するためには、ルームエアコンに付属のリモコンで
ルームエアコン本体の設定が必要です。
①接続アダプターの種類を設定
②遠隔操作の許可を設定
詳しくは、ルームエアコンの「据付工事説明書」を参照してください。

集中制御機器側の能力設定について

集中制御機器で按分率の計算をする場合、集中制御機器側でルームエアコンの能力を設定する必要があります。
（設定方法は集中制御機器の「取扱説明書」を参照してください）

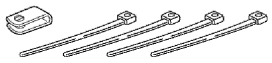
警告表示

本アダプタより異常を検出した場合、集中制御機器に以下の警報が表示されます。

- C14：ルームエアコンで警報が発生しています。
  警報内容の確認はルームエアコンの「取扱説明書」に従って確認してください。
- C15：本アダプタとルームエアコンとの間で通信異常が発生しています。
  本紙「ルームエアコンの設定を変更する」の内容および、本アダプタとルームエアコンとの間の
  配線を確認してください。
- C19：アダプタアドレスが重複しています。
  アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

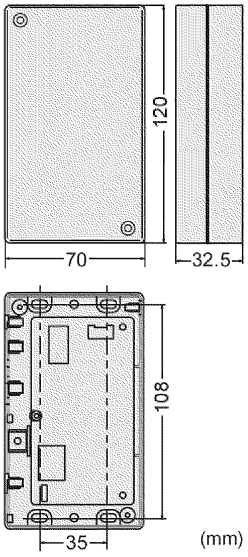
仕様

品番	CZ-CAPR1
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 70 mm × (奥行き) 32.5 mm
質量	100 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（結露なきこと） 屋内設置専用
電源	DC 5 V （ルームエアコンより供給）

付属品 <>：個数	
RAC 接続線 <1> 4P白　4P赤 長さ：1900mm	ネジ <4> (M3.8 × 16)
クランパー類 ネジ止め<1>　結束用<4> 	据付（電気）工事説明書 <1> 取扱説明書 <1>

※RAC接続線以外のケーブルは現地調達のため付属していません。

外形寸法図



施工後の確認 点検内容

□ 接続コードの挟み込みはないか
⇒ルームエアコン室内ユニット内部の引きまわし時の挟み込みがないか

□ 接続コネクタ、接続コードに負荷がかかっていないか
⇒接続コネクタが強く引っ張られたままの状態になっていないか

□ 接続コードが据付工事説明書通りに引きまわしができているか
⇒ルームエアコンの「据付工事説明書」通りかどうか

□ 接続コードを収納できているか
⇒ルームエアコン室内ユニット背面に浮きなく収納できているか

□ 電源ユニットの電源カバー閉じ忘れ、ルームエアコン室内ユニット本体の
ネジの締め忘れた所はないか
⇒ネジの余りや、電源カバーの固定ツメのかけ忘れがないか

□ 本アダプターが落下しない位置に確実に固定されているか
⇒壁へのネジ固定は確実か